

栃木県埋蔵文化財調査報告第 388 集

刈沼遺跡・刈沼向原遺跡

—宇都宮テクノポリスセンター地区開発に伴う埋蔵文化財発掘調査—

(第2分冊)

2017. 3

栃木県教育委員会
公益財団法人とちぎ未来づくり財団

かりぬまいせき かりぬまむかいはらいせき
刈沼遺跡・刈沼向原遺跡

—宇都宮テクノポリスセンター地区開発に伴う埋蔵文化財発掘調査—

(第2分冊)

2017. 3

栃木県教育委員会
公益財団法人とちぎ未来づくり財団

第2分冊 目 次

第4章 刈沼遺跡第2次調査区の遺構と遺物	1
第1節 刈沼遺跡第2次調査区の遺構と遺物	1
第2節 方形周溝墓	1
第3節 土坑	19
第4節 溝	37
第5節 遺物	50
第5章 刈沼遺跡第3次調査区の遺構と遺物	56
第1節 概要	56
第2節 遺構	56
第3節 遺物	56
第6章 刈沼向原遺跡第1次調査区の遺構と遺物	60
第1節 概要	60
第2節 遺構<住居跡・土坑・溝>	60
第3節 遺物	81
第7章 刈沼向原遺跡第2次調査区の遺構と遺物	82
第1節 概要	82
第2節 住居跡	83
第3節 土坑・溝	91
第4節 遺物	106
第8章 刈沼向原遺跡第3次調査区の遺構と遺物	107
第1節 概要	107
第2節 遺構と遺物	107
第9章 理化学分析	113
第1節 刈沼遺跡出土試料の ¹⁴ C年代測定と校正年代	113
第2節 刈沼遺跡出土の石鏃の押圧剥離	122

第3節	刈沼遺跡出土遺物付着赤色顔料の蛍光X線分析	130
第4節	刈沼遺跡出土石器等の岩石肉眼鑑定	138
第5節	刈沼遺跡出土磨製石斧及び独鈷石の石材について	148
第10章	総括	163

挿図目次

第358図	刈沼遺跡第2次調査区全体図(1)	2	第401図	グリッド出土土器(縄紋土器)	51
第359図	刈沼遺跡第2次調査区全体図(2)	3	第402図	打製石斧	52
第360図	SZ01(1)	4	第403図	磨石類	53
第361図	SZ01(2)	5	第404図	石皿類等	54
第362図	SZ01出土土器	6	第405図	独鈷石	55
第363図	SZ02(1)	8	第406図	グリッド出土土器(弥生~古墳時代)	55
第364図	SZ02(2)	9	第407図	SD01、SK01・02・03	57
第365図	SZ03(1)	10	第408図	第3次調査区出土遺物(1)	58
第366図	SZ03(2)	11	第409図	第3次調査区術土遺物(2)	59
第367図	SZ04(1)	12	第410図	刈沼向原遺跡調査区全体図	61-62
第368図	SZ04(2)	13	第411図	刈沼向原遺跡第1次調査区割り図	63
第369図	SZ05(1)	14	第412図	SI01、SK06・07・08・121	64
第370図	SZ05(2)	15	第413図	SD01、SK05・80・115・116	65
第371図	SZ03・04・05・06出土土器	16	第414図	SK01~04・12・78	67
第372図	SZ06	17	第415図	SK10・92・109・110	68
第373図	SZ07	18	第416図	SK09・11・18・116	69
第374図	SK01~07	20	第417図	SK19・20・24・26・95・96・98・102・106	70
第375図	SK08・30・31・65	21	第418図	SK18・21・22・23・31	71
第376図	SK09~11・17・23・24・67	22	第419図	SK46	72
第377図	SK12~16・18・19	23	第420図	SK38・43・86・94	73
第378図	SK20・21・56	24	第421図	SK39・40・42	75
第379図	SK22・54	25	第422図	SK47・53・54・55・76・89・90・91、SD02・03	76
第380図	SK25・26・27・29	26	第423図	SK49・50・56・58・74・88、SD02	77
第381図	SK28・SX20	27	第424図	SK66・67・69・113、SD04	78
第382図	SK32・39・40・47・57・64・68	28	第425図	SK68・70・71	79
第383図	SK33・60	30	第426図	SK39・40	80
第384図	SK34~38・49	31	第427図	第1次調査区出土遺物	81
第385図	SK42・61	32	第428図	刈沼向原遺跡トレンチ配置図	82
第386図	SK43~46・55	33	第429図	SI01(1)	84
第387図	SK48・59	34	第430図	SI01(2)	85
第388図	SK50	35	第431図	SI01出土遺物	86
第389図	SK51~53	36	第432図	SI02	87
第390図	SK62・63	37	第433図	SI02出土遺物	88
第391図	SD01	39	第434図	SI03	90
第392図	SD02・03・05・14	41	第435図	SI03出土遺物	91
第393図	SD02・05・14	42	第436図	SD16~18・20、SK29・30・32	93
第394図	SD02	43	第437図	SD05・15・16・17、SK26・28・31	94
第395図	SD02・09・17	44	第438図	SD04・12、SK14・27	95
第396図	SD02・09・14	45	第439図	SD04・10・11	96
第397図	SD03・06	46	第440図	SD04・05・11・19、SK8~11	97
第398図	SD03・14	47	第441図	SD13・14、SK13	98
第399図	SD03	48	第442図	SD06、SK02・03	99
第400図	土坑・溝出土土器(縄紋~近世)	49	第443図	SD07・08、SK12	100

第 444 図	SD09・21	101	第 454 図	SX01	111
第 445 図	SK04・05・07・15 ~ 18・22・33・34	102	第 455 図	SX02	111
第 446 図	SK19・20・21・23・24	103	第 456 図	SK163	112
第 447 図	溝出土遺物	104	第 457 図	包含層出土土器分布図(1)	166
第 448 図	SK01 出土遺物	105	第 458 図	包含層出土土器分布図(2)	167
第 449 図	グリッド出土遺物	106	第 459 図	刈沼遺跡縄紋時代遺構分布図	169
第 450 図	SI05	108	第 460 図	下野二次 E 地点	170
第 451 図	SI05 出土遺物	109	第 461 図	下野二次 D 地点	171
第 452 図	SD06・07・08、SK160	110	第 462 図	下野三次 G 地点	172
第 453 図	SD06	110	第 463 図	下野三次 H 地点	173

表目次

第 4 表	刈沼遺跡第 2 次・第 3 次遺構一覧表	157	第 7 表	出土土器位置毎集計表	163
第 5 表	刈沼向原遺跡第 1 ~ 第 3 次遺構一覧表	159	第 8 表	住居跡毎出土土器分類比率	164
第 6 表	石器機種地区別集計表	162			

写真図版目次

写真図版一 航空写真 1	刈沼遺跡・刈沼向原遺跡全景 (東から)	SK48
	刈沼遺跡第一次調査区全景 (南東から)	SK49 土層断面
写真図版二 航空写真 2	刈沼遺跡第 1 次調査区全景 (南から)	SK50
	刈沼遺跡第 1 次調査区南側全景 (南東から)	SK51
	刈沼遺跡第 1 次調査区全景 (垂直)	SK53
	刈沼遺跡第 1 次調査区南側全景 (垂直)	SK54 土層断面
	刈沼遺跡第 1 次調査区全景 (南から)	SK55
	刈沼遺跡第 1 次調査区全景 (垂直)	写真図版六 刈沼遺跡第 1 次調査区 (四)
写真図版三 刈沼遺跡第 1 次調査区 (一)	SI01 床面	SK56
	SI01 完掘	SK58 土層断面
	SI03 完掘	SK59
	SI03 東側遺物出土状況	SK60
	SI04 土層断面	SK61
	SI04 完掘	SK64 土層断面
	SI07	SD04・SD16
	SI08 炉	SD04 (I4I2) 土層断面
写真図版四 刈沼遺跡第 1 次調査区 (二)	SI08・13	写真図版七 刈沼遺跡第 1 次調査区 (五)
	SI08・13 完掘	SD04 (I5I5) 土層断面
	SI09	SD04・SD16 (I5J6) 土層断面
	SI09 完掘	SD09 (I4I1) 土層断面
	SI11 完掘	SD09 (I6I1) 土層断面
	SI12 遺物出土状況	I6I7 遺物出土状況
	SI12 完掘	I6I7 遺物出土状況
	SK32 遺物出土状況	I4J1 遺物出土状況
写真図版五 刈沼遺跡第 1 次調査区 (三)	SK43	I5I7 遺物出土状況
		写真図版八 刈沼遺跡第 1 次調査区 (六)
		I6I7 遺物出土状況
		I6I9 遺物出土状況
		I0I4 土層断面図
		作業風景

西側斜面確認状況
 西側斜面土層断面
 T-7 土層断面
 西側斜面作業風景
 写真図版九 刈沼遺跡第2次調査区(一)
 S I 0 1 完掘
 S K 0 1
 S K 0 2 土層断面
 S K 0 6
 S K 0 6 遺物出土状況
 S K 0 9
 S K 1 4・S K 1 5
 S K 1 7 土層断面
 写真図版一〇 刈沼遺跡第2次調査区(二)
 S K 2 0
 S K 2 1・S K 5 6
 S K 2 3
 S K 2 5 土層断面
 S K 2 7 土層断面
 S K 2 7
 S K 2 8
 S K 2 9 土層断面
 写真図版一一 刈沼遺跡第2次調査区(三)
 S K 3 4
 S K 3 6
 S K 3 9
 S K 4 2・S K 6 1
 S K 4 3 土層断面
 S K 4 4
 S K 4 7 土層断面
 S K 5 0 遺物出土状況
 写真図版一二 刈沼遺跡第2次調査区(四)
 S K 5 0
 S K 5 1・S K 5 2 遺物出土状況
 S K 5 1 土層断面
 S K 6 2 土層断面
 S K 6 4 土層断面
 S K 6 8
 S D 0 1 B 土層断面
 S D 0 1
 写真図版一三 刈沼遺跡第2次調査区(五)
 S D 0 1
 S D 0 2・S D 1 4
 S D 1 4 土層断面
 S D 1 4 土層断面
 S D 1 4 土層断面
 S D 0 2・S D 1 4
 S D 0 3 土層断面
 S D 0 3
 写真図版一四 刈沼遺跡第2次調査区(六)
 S D 0 5 土層断面
 S D 0 5
 S D 0 6 土層断面
 S D 0 6
 S D 0 9 土層断面
 S D 0 9
 S D 0 9
 S D 1 4 土層断面
 写真図版一五 刈沼遺跡第2次調査区(七)
 S D 1 4
 S D 1 4
 S D 1 7 土層断面
 S D 1 7
 S Z 0 2 完掘
 S Z 0 2 土層断面
 S Z 0 2 土層断面
 S Z 0 3 完掘
 写真図版一六 刈沼遺跡第2次調査区(八)
 S Z 0 1 完掘
 S Z 0 3 土層断面
 S Z 0 4 完掘
 S Z 0 5 完掘
 S Z 0 5 土層断面
 写真図版一七 刈沼遺跡第2次調査区(九)
 S Z 0 5 土層断面
 S Z 0 5 土層断面
 S Z 0 6 完掘
 S Z 0 6 完掘
 S Z 0 6 土層断面
 S Z 0 6 土層断面
 S Z 0 7 完掘
 S Z 0 7 土層断面
 写真図版一八 刈沼遺跡第2次調査区(一〇)
 S Z 0 7 完掘
 S H 1 0 完掘
 S X 3 7 土層断面
 S X 5 8 完掘
 調査区全景
 写真図版一九 刈沼遺跡第3次調査区
 S D 0 1 土層断面
 S D 0 1 西部遺物出土状況
 S D 0 1 東部遺物出土状況
 S D 0 1 中央部遺物出土状況
 S D 0 1
 S D 0 1
 S D 0 1
 S D 0 1 調査状況
 写真図版二〇 刈沼向原遺跡第1次調査区(一)
 S I 0 1 完掘
 S I 0 1 土層断面
 S K 0 3・S K 0 4
 S K 0 5 土層断面
 S K 0 6
 S K 1 2 土層断面
 S K 3 8
 S K 3 8 土層断面
 写真図版二一 刈沼向原遺跡第1次調査区(二)
 S K 3 9
 S K 4 0
 S K 4 0 土層断面
 S K 4 3
 S K 4 7 土層断面
 S K 7 4・S K 7 8・S D 0 2
 S K 7 8 土層断面
 S K 8 8 土層断面
 写真図版二二 刈沼向原遺跡第1次調査区(三)
 S K 8 8
 S K 8 9 土層断面
 S K 1 0 9 土層断面
 S K 1 1 0 土層断面
 S K 1 1 6
 S K 1 1 6 土層断面
 S D 0 1 土層断面

SD02土層断面
写真図版二三 刈沼向原遺跡第1次調査区(四)・刈沼向原遺跡第
2次調査区(一)

SD03土層断面
SD04
SD04土層断面
西側土層断面
SI01完掘
SI01土層断面
SI01A区遺物出土状況
SI01遺物出土状況

写真図版二四 刈沼向原遺跡第2次調査区(二)

SI01遺物出土状況
SI01カマド土層断面
SI01調査状況
SI02土層断面
SI02土層断面
SI02土層断面
SI02カマド遺物出土状況
SI02カマド

写真図版二五 刈沼向原遺跡第2次調査区(三)

SI02貯蔵穴遺物出土状況
SI03完掘
SI03完掘
SI03遺物出土状況
SK15・SK16・SK17土層断面
SK20・SK21
SK33・SK43
SD04土層断面

写真図版二六 刈沼向原遺跡第2次調査区(四)

SD04西側遺物出土状況
SD04
SD04・SD05
SD05土層断面
SD05・SD10・SD11土層断面
SD05
SD06
SD07・SD08

写真図版二七 刈沼向原遺跡第2次調査区(五)

SD07・SD08土層断面
SD07・SD08土層断面
SD09
SD10・SD11土層断面
SD10・SD11土層断面
SD12土層断面
SD13・SD14土層断面
SD13・SD14土層断面

写真図版二八 刈沼向原遺跡第2次調査区(六)

SD15土層断面
SD16・SD17土層断面
SD16・SD17土層断面
SD16・SD17西側土層断面
SD16・SD17掘削状況
SD17・SD20土層断面
SD17・SD18・SD20
SD17・SD18・SD20

写真図版二九 刈沼向原遺跡第2次調査区(七)

SD07・SD18・SD20

SD10・SD11作業状況
T-31遺構確認状況
T-4遺構確認状況
T-1遺構確認状況
中央地区遺構確認状況
刈沼向原遺跡第2次調査区全景
重機作業状況

写真図版三〇 刈沼向原遺跡第2次調査区(八)・刈沼向原遺跡第
3次調査区(一)

中央部完掘
刈沼向原遺跡第3次調査区全景
刈沼向原遺跡第3次調査区全景
刈沼向原遺跡第3次調査区全景
SX01

写真図版三一 刈沼向原遺跡第3次調査区(二)

SI05完掘
SI05完掘
SI05土層断面
SI05 Pit 1土層断面
SI05遺物出土状況
SI05遺物出土状況
SI05遺物出土状況
SI05遺物出土状況

写真図版三二 刈沼向原遺跡に第3次調査区(三)

SK161
SK162
SK163土層断面
SD06
SD06土層断面
SD07・SD08
SD07土層断面
SD08土層断面

写真図版三三 遺物

写真図版三四 遺物(縄紋土器)

写真図版三五 遺物(石器・石製品集合写真)

写真図版三六 遺物(縄紋土器)

写真図版三七 遺物(縄紋土器)

写真図版三八 遺物(縄紋土器)

写真図版三九 遺物(縄紋土器)

写真図版四〇 遺物(小型土器・ミニチュア土器)

写真図版四一 遺物(縄紋土器)

写真図版四二 遺物(縄紋土器)

写真図版四三 遺物(製塩土器)

写真図版四四 遺物(垂飾品・耳飾り)

写真図版四五 遺物(土偶・耳飾り)

写真図版四六 遺物(土製品・石器)

写真図版四七 遺物(石鏃)

写真図版四八 遺物(石器)

写真図版四九 遺物(石器)

写真図版五〇 遺物(擦切具)

写真図版五一 遺物(磨石・敲石類)

写真図版五二 遺物(石皿・砥石)

写真図版五三 遺物(砥石)

写真図版五四 遺物(石製品・古墳時代の土器)

第4章 刈沼遺跡第2次調査区の遺構と遺物

第1節 刈沼遺跡第2次調査区の遺構と遺物

概要 刈沼遺跡第2次調査は平成12年度に行われた。南端は第1次調査区に接しており、幾つかの遺構は第1次調査区から連続的に続く。北端は刈沼向原遺跡第1・2次調査区の南端に近接している。幾つかの遺構は第1次調査区と連続的とはいえ、第1次調査区の主要な遺構であった縄紋時代後晩期の遺構は無く、縄紋時代遺物の出土もやや少量に留まる。第2次調査区で検出された遺構としては、方形周溝墓7基、土坑70基、溝8条である。方形周溝墓については古墳時代前期と推定されるが、残りの遺構は時期不明である。

遺構外包含層出土遺物としては縄紋時代後晩期のものが少数見られると共に、弥生土器・古墳時代の土師器が一定量出土している。古墳時代遺物については方形周溝墓との関わりで説明し得る。弥生時代遺物は少数だが中期の例が目立っており、遺構は確認できなかったものの、何らかの活動痕跡を示しているかもしれない。方形周溝墓の周溝からも縄紋・弥生時代遺物が出土している。グリッド出土例も含めると第2次調査区出土遺物は縄紋遺物を主として23箱の遺物がある。溝出土遺物の中には中近世～近代の遺物も出土しており、直接的に時期を示すものと考えて良いか難しいものの、参考とすることはできよう。

方形周溝墓については、一定範囲へのまとまりを示す部分があるが、他の遺構についてはやや散漫でまとまりを見出すことはできない。溝については、調査区を南北に縦走するSD14、縦走及び横断するように作られているSD02(1次調査区のSD02とは別遺構)、調査区北端近くで東西方向横断溝のSD03が主な遺構となる。また北東側全体図中でも多く見られるSHについては風倒木・土層捻転跡、SXが攪乱穴、重機掘削穴等で、断面記録などが残されているものも多いが、遺構ではないと判断し、本報告では個別の図の提示は行わず、全体図中にのみ示すこととする。

基本土層についての記録は確認できないが、幾つかの写真を見る限り、第1次調査区同様、ローム面上に一定の厚さの黒色土堆積があり、包含層と見て良さそうである。方形周溝墓をはじめ幾つかの遺構はこの黒色土中でプラン確認が為されている。多くの遺構における最終的な掘り上がりは、概ねローム面まで下げて行われている。地形も第1次調査区と概ね同様で、調査区西側では谷へ向かって西側が下がる傾斜が認められている。一方調査区の東2/3程度は概ね台地平坦面と言える。

なお写真記録ではSI01が残されているが、図面記録が無く、年報などにおける概要報告でも示されていないことから、ここでは示さない。

第2節 方形周溝墓

方形周溝墓は全部で7基が確認された。刈沼遺跡の第1・3次調査区や刈沼向原遺跡では確認されておらず、ここの調査区でのみ確認された遺構である。分布を見ると調査区南西側にSZ01・04・06・07の4基がまとまり、若干離れた東側にSZ02・03の2基が、SX07の北方、調査区北端近くでSX05が単独的に位置している(第358・359図)。方形周溝墓個別の特徴は以下に示してゆくが、総じてやや不整なものが目立ち、とりわけ周溝外縁ラインが乱れているものも多い。主体部やマウンドが確認されたものはなく、すべて周溝のみ

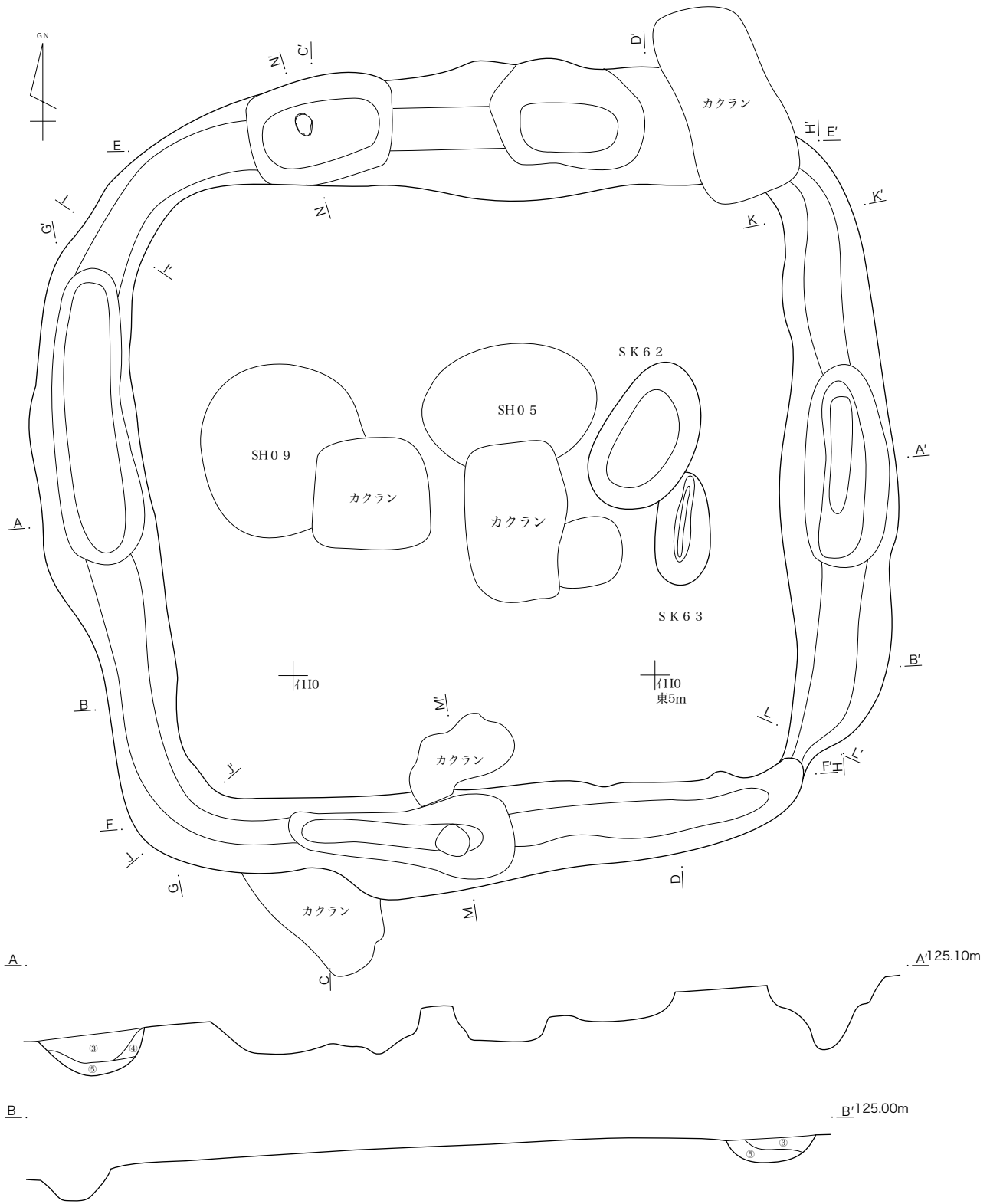


刈沼遺跡第2次

第 358 图 刈沼遺跡第 2 次調査区全体图 (1)



第 359 図 刈沼遺跡第 2 次調査区全体図 (2)

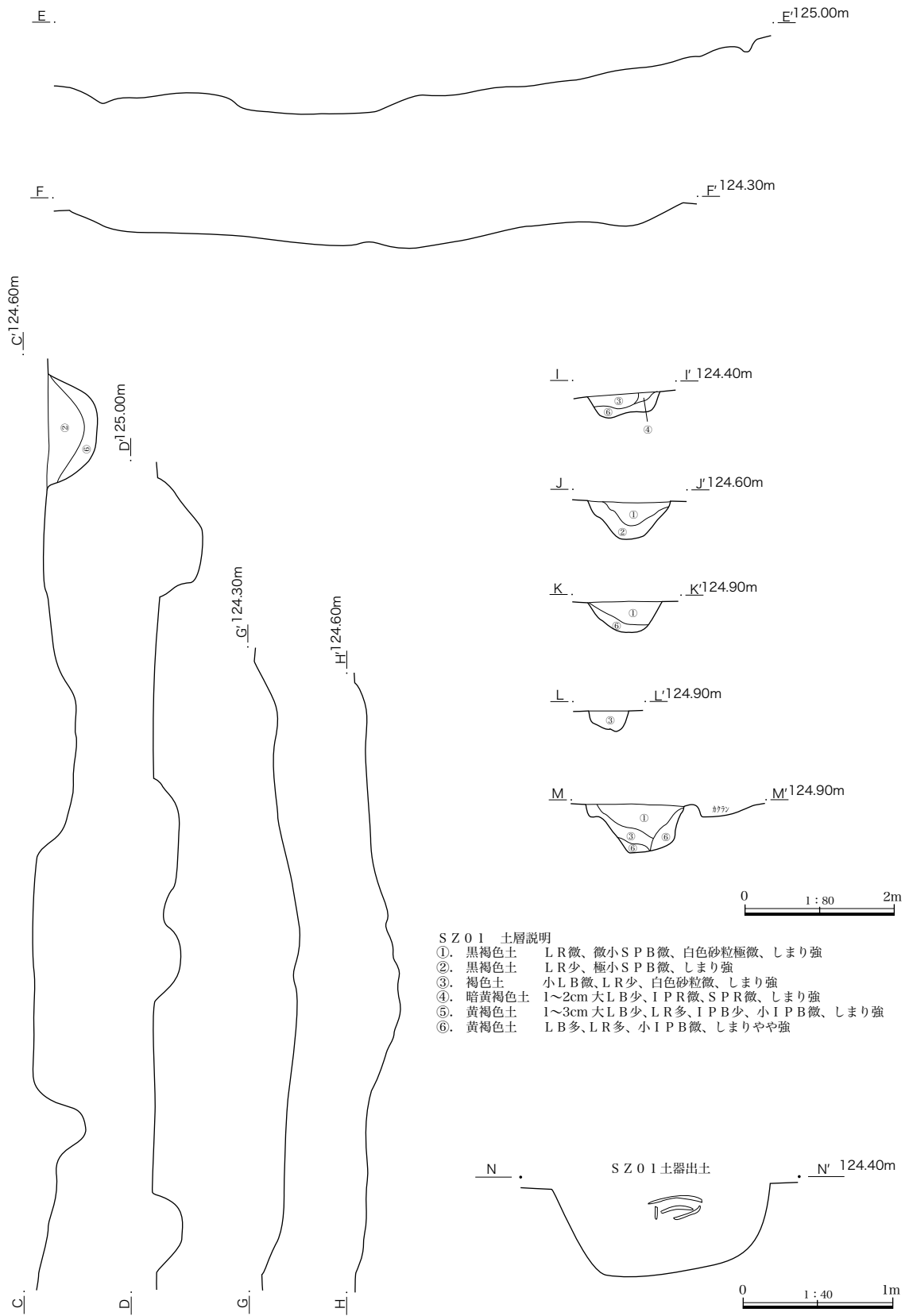


SZ01 土層説明

- ①. 黒褐色土 LR微、微小SPB微、白色砂粒極微、しまり強
- ②. 黒褐色土 LR少、極小SPB微、しまり強
- ③. 褐色土 小LB微、LR少、白色砂粒微、しまり強
- ④. 暗黄褐色土 1~2cm大LB少、IPR微、SPR微、しまり強
- ⑤. 黄褐色土 1~3cm大LB少、LR多、IPB少、小IPB微、しまり強
- ⑥. 黄褐色土 LB多、LR多、小IPB微、しまりやや強

0 1:80 2m

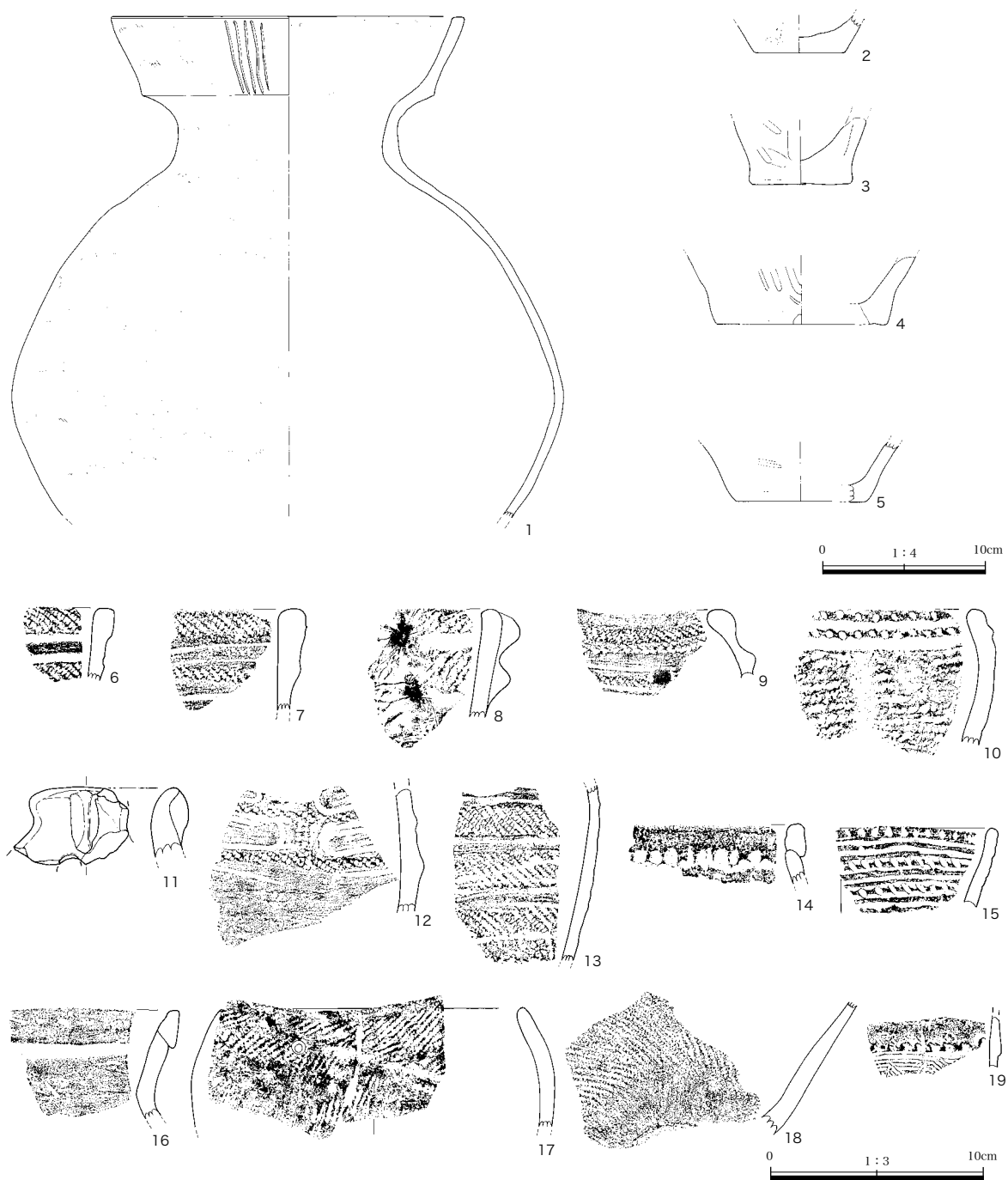
第360図 SZ01(1)



SZ01 土層説明

- ①. 黒褐色土 L R微、微小SPB微、白色砂粒極微、しまり強
- ②. 黒褐色土 L R少、極小SPB微、しまり強
- ③. 褐色土 小LB微、LR少、白色砂粒微、しまり強
- ④. 暗黄褐色土 1~2cm 大LB少、I PR微、SPR微、しまり強
- ⑤. 黄褐色土 1~3cm 大LB少、LR多、I PB少、小I PB微、しまり強
- ⑥. 黄褐色土 LB多、LR多、小I PB微、しまりやや強

第361図 SZ01(2)



第362図 SZ01出土土器

の確認である。SZ02 や SZ04 のように周溝が途切れている例もある。内部に幾つかの土坑が確認されているものがあるものの、後世または前時代の遺構と推定され、主体部に関わる穴は無いと判断した。

S Z 0 1 (遺構第 360・361 図、遺物第 362 図、写真図版一六)

SZ01 は、調査区南西イ1H9 グリッドに位置する。地形は緩やかに西側へ傾斜が下がる位置にある。すぐ南側には SD02 がある。また周溝に囲まれた内部に SH2 基・SK62・SK63 及び攪乱穴が数基ある。周溝にも攪乱との重複がある。確認は黒色土～ローム漸移層、周溝の壁や底面はローム層である。形態やや不整で、1辺 8 m～10 m 程度、周溝外縁で計測すると 11.05×11.82 m、周溝幅 0.6～1.88 m、主には 1.2～1.5 m 程度の幅である。周溝深さは 0.4～0.96 m まであり、平均 0.5～0.6 m 程度である。東西で見ると西側の周溝の方がやや深い傾向にある。また周溝の各コーナー部分は狭く浅い傾向にある。辺の中央がやや深くなるが、平面図で示したような明瞭な土坑状の段差ラインと考えることは難しい。南辺は若干の段差があり、また西辺も一部若干の段差があるものの、全体で見れば底面平坦とさえ言うことができよう。

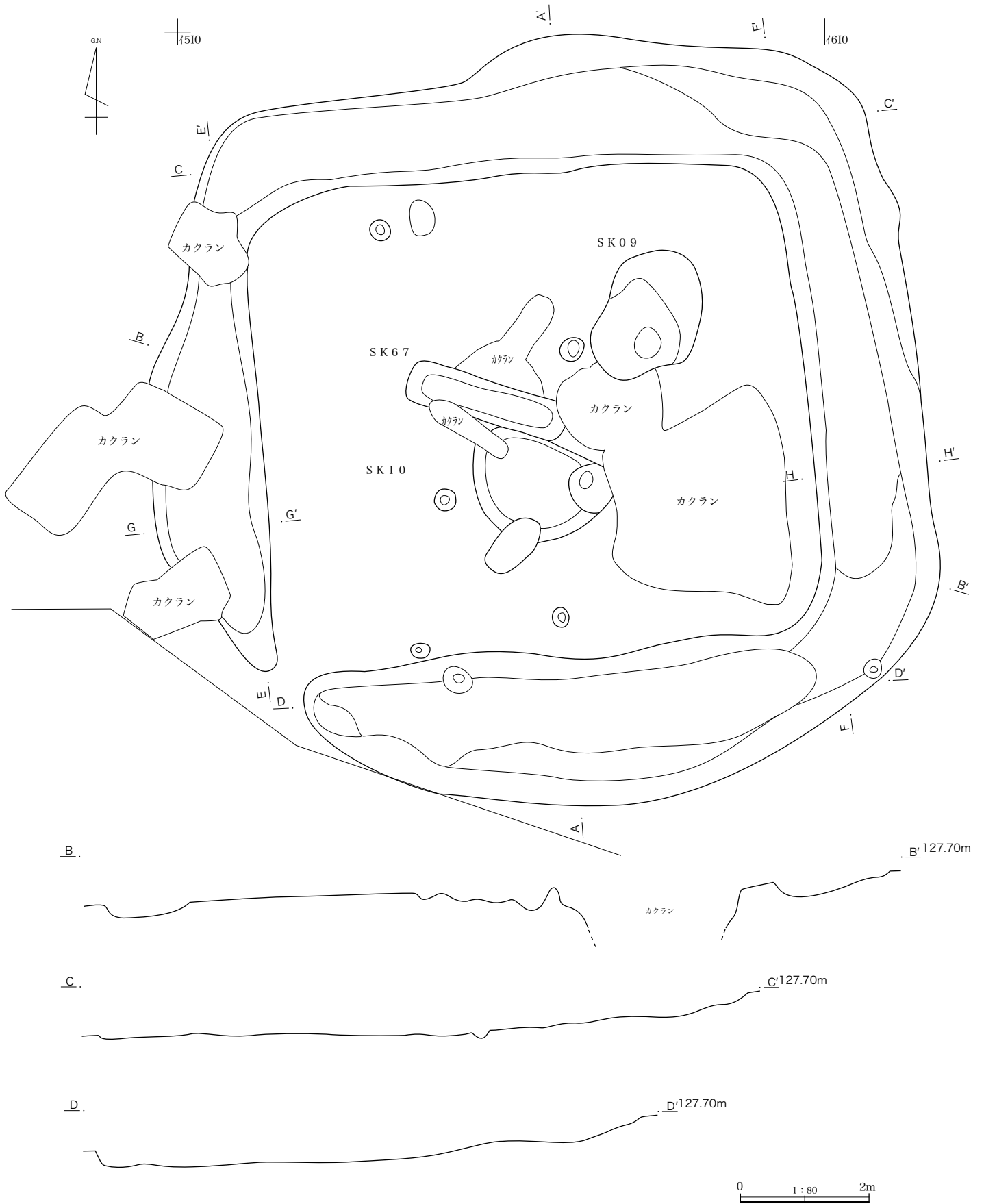
周溝断面で見ると立ち上がりは緩やかであるが、内側への角度ではやや急となるところがある。周溝南辺外側の近辺でピットが調査されているようだが、原図等を確認しても、土層断面や所見記録が無く、周溝との関係は不明であり、ここでは図示しない。また周溝内側の上面を東西通しで見ると、図では不明瞭だが若干中央が高く膨らむような形態であることが写真記録から確認される。

北側辺の覆土上位で完形に近く復元し得た壺1固体(第362図1、体部が膨らむやや大形の壺)の出土がある。写真記録が確認できず詳細は不明であるが、残された断面図などからすれば、やや潰れた状態での出土のようである。この個体以外での出土遺物は混入の縄紋破片が多いが、第362図の2～4については古墳時代前期壺?の底部と推定され、伴う可能性がある。19の弥生土器についても近接する時期であり注意される。いずれも出土位置の記録は確認できなかった。

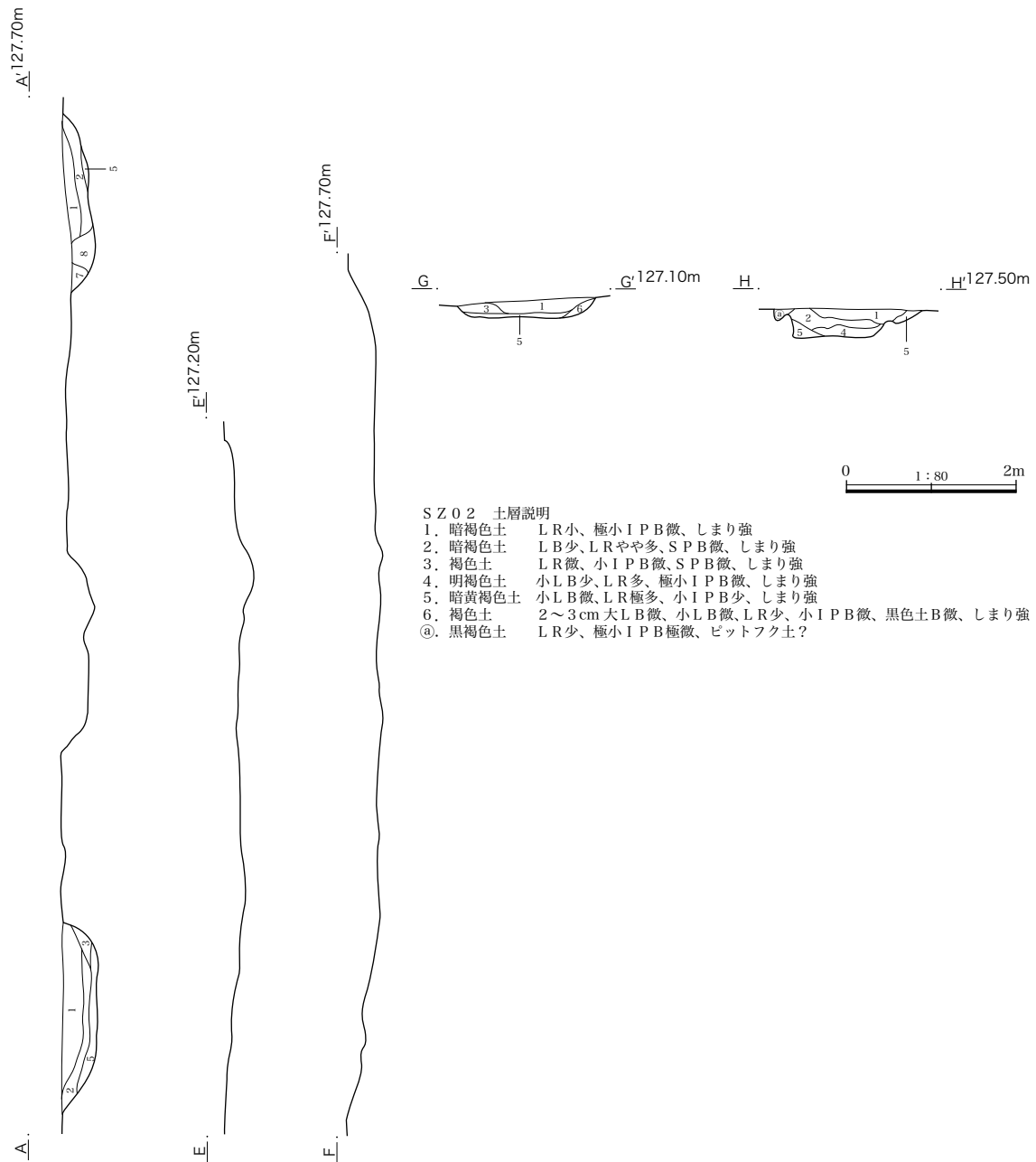
他に SZ01 として取り上げた遺物では、図示した以外で縄紋土器 10 点、弥生土器 1 点、土師器 10～15 個体分程度の小片がある。

S Z 0 2 (遺構第 363 図、写真図版一七)

SZ02 は調査区南東、主としてイ5I0 グリッドの台地平坦面に位置する。グリッドは 4 グリッドに跨る。北側に SZ03 があり両者は 2 m の距離である。南北 11.83 m、東西 11.84 m、周溝深さは最大で 42 cm、多くは 22～30 cm と浅い。周溝幅は 90 cm～228 cm とかなり差があるが、平均すると 140～160 cm 程である。軸は N-5° -W である。周溝に囲まれた中央や周溝に SK10.SK09.SK67 及び未命名のピットがある。方形周溝墓との関係は不明で、恐らくより新しいものが多いと推測され、煩雑になるが一応図示した。確認は黒色土～ローム漸移層、周溝壁はローム漸移層～ローム層で、断面皿状、傾斜は概ね緩やかだが、内側の壁では一部やや急角度となるところがある。周溝底面は概ね平坦だが若干の凹凸がある。南西コーナーが一部掘り残されているが、写真を見ると黒い部分が残っており、浅くはなるものの途切れずに全周する可能性もある。周溝覆土は黒色土が上位、ロームの多い暗褐色土が下位層の基調となっているが、土層断面写真をチェックすると、やや掘り過ぎている可能性が窺える。尚平面図下位のラインは、第1次調査区部分との境界ラインであるが、第1次調査区側で関わる掘り込みは確認されていない。また出土遺物は 42 点の土師器小片及び縄紋土器 10 点があるが、いずれも小片で図示していない。



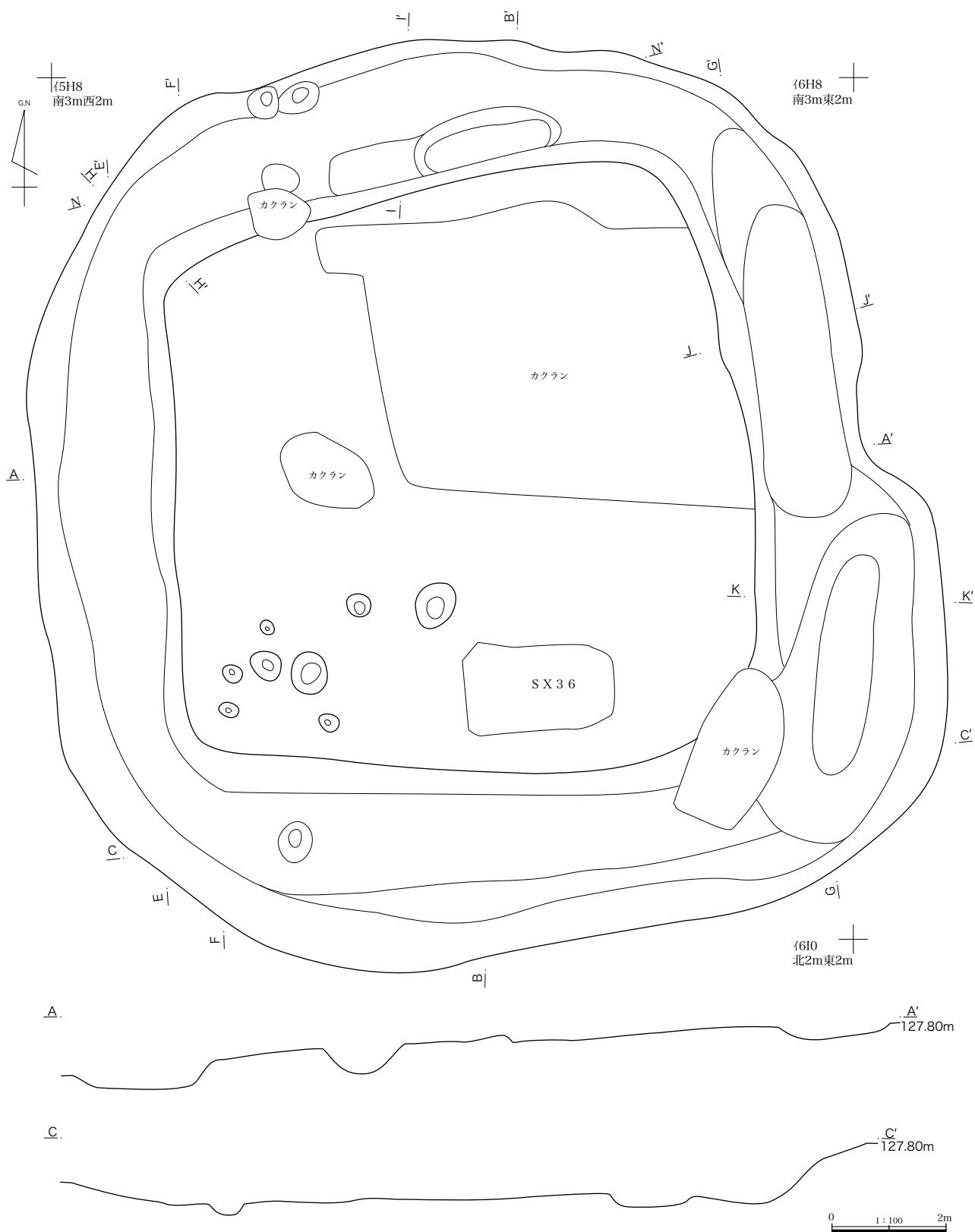
第363図 SZ02(1)
- 8 -



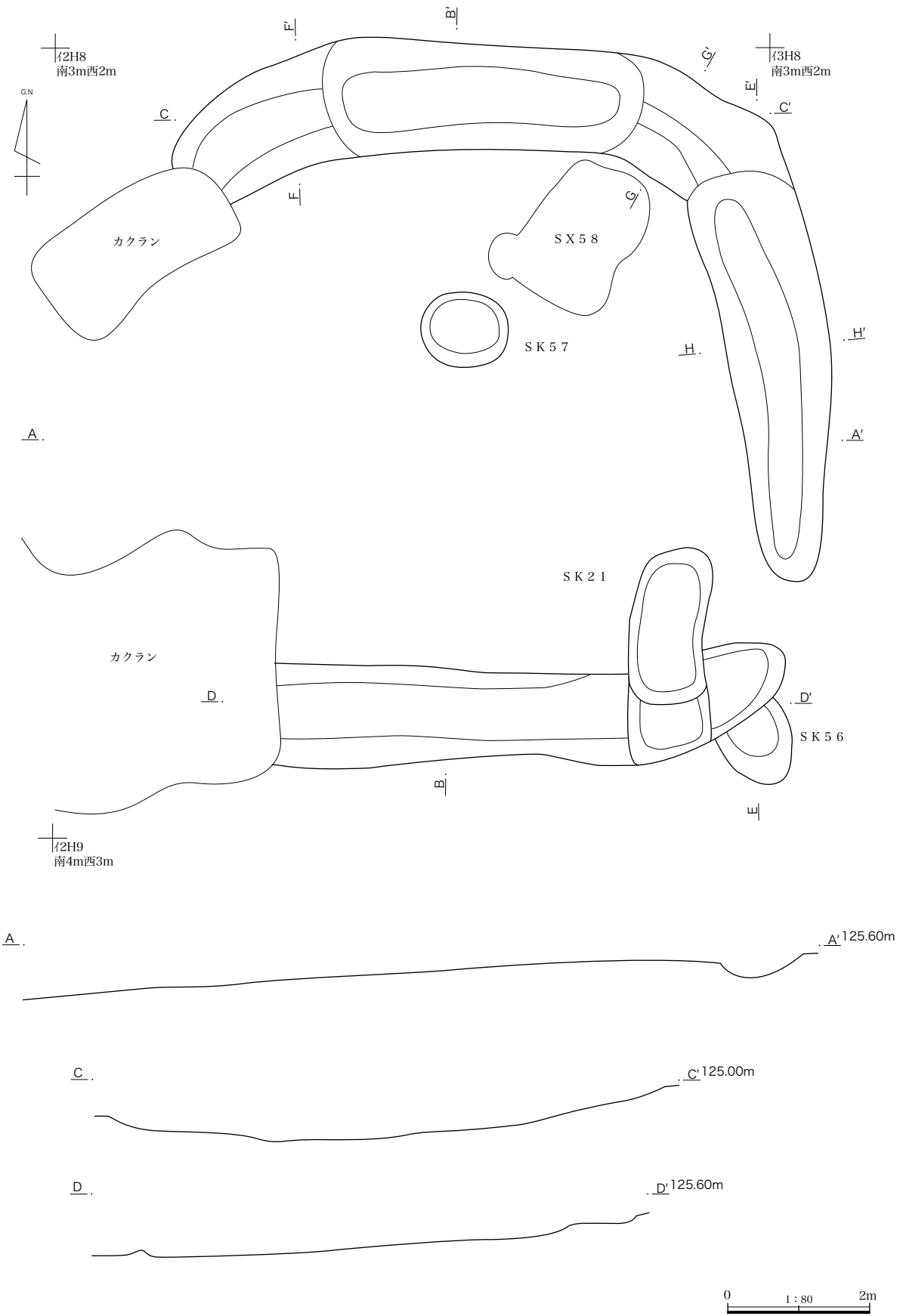
第 364 図 SZ02(2)

SZ03 (遺構第 365・366 図、遺物 371 図、写真図版一五・一六)

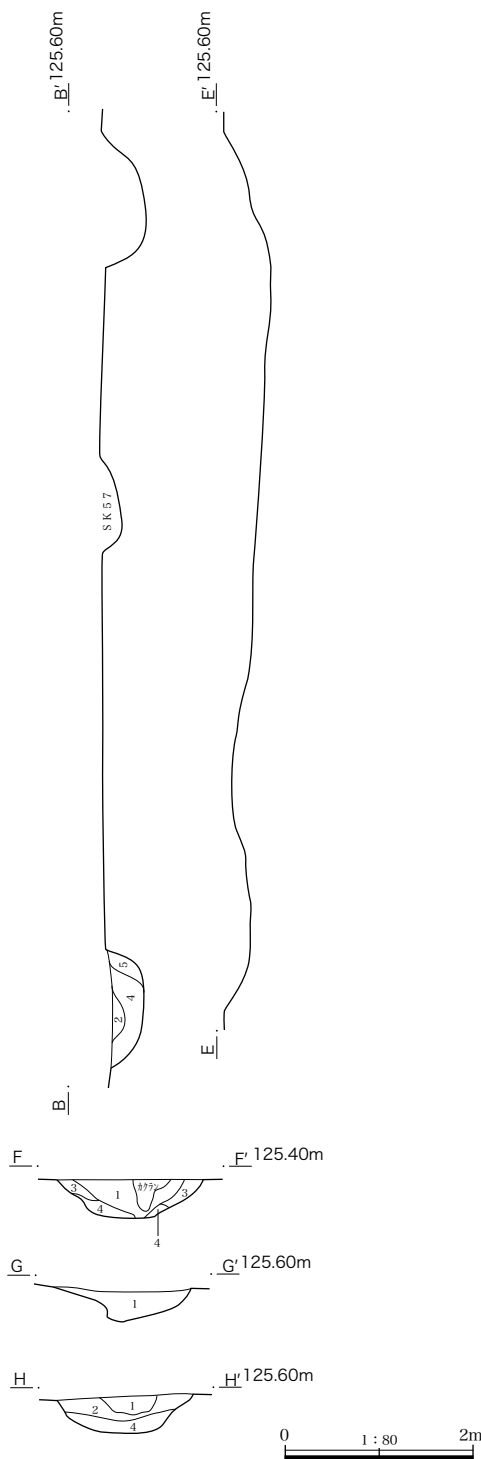
SZ03は、イ5H8～イ6H8グリッドの台地平坦面に位置する。南側にSZ02、西1mにSD02がある。確認面及び周溝壁上位は黒色土～ローム漸移層。周溝底面はローム層である。南北15.82m、東西15.56m、方台部10m程度の長さで、本遺跡方形周溝墓の中で最も大きい規模である。周溝幅は172～352cmで、東辺及び南辺(298cm)の幅が広い。周溝断面は概ね皿状で壁の傾斜は緩やかだが、内側の壁傾斜ではやや急角度のところがある。深さは24～76cm、東辺の北側が土坑状に落ち込み、長さ688cm～240cm、またその南側の土坑状部分は248×58×深さ64cmである。他と比べてここは比較的深く、プランも東側へ張り出すなど、「周構内土坑」を窺わせるところがある。但し周溝覆土中の掘り込みや、顕著な他と顕著に異なる覆土の特徴を見出すことはできず、そうした所見も残されていない。或いは攪乱が入っていることも考慮すべき



第365図 SZ03(1)



第367図 SZ04(1)



SZ04 土層説明

- 1. 黒褐色土 小LB微、LR少、IPR微、小SPB極微
- 2. 褐色土 LR多、小IPB多、IPR多、SPR極微、白色砂粒極微
- 3. 暗褐色土 LR少、しまり強
- 4. 暗褐色土 LR少、小IPB極微、IPR少、微小SPB極微、白色砂粒極微

第368図 SZ04(2)

かもしれない。周溝北辺中央でも一段下がるところがある。またH'ラインの①②層は、周溝覆土とは明確に異なっているようであり、周溝を掘り込む別遺構があった可能性があるか。

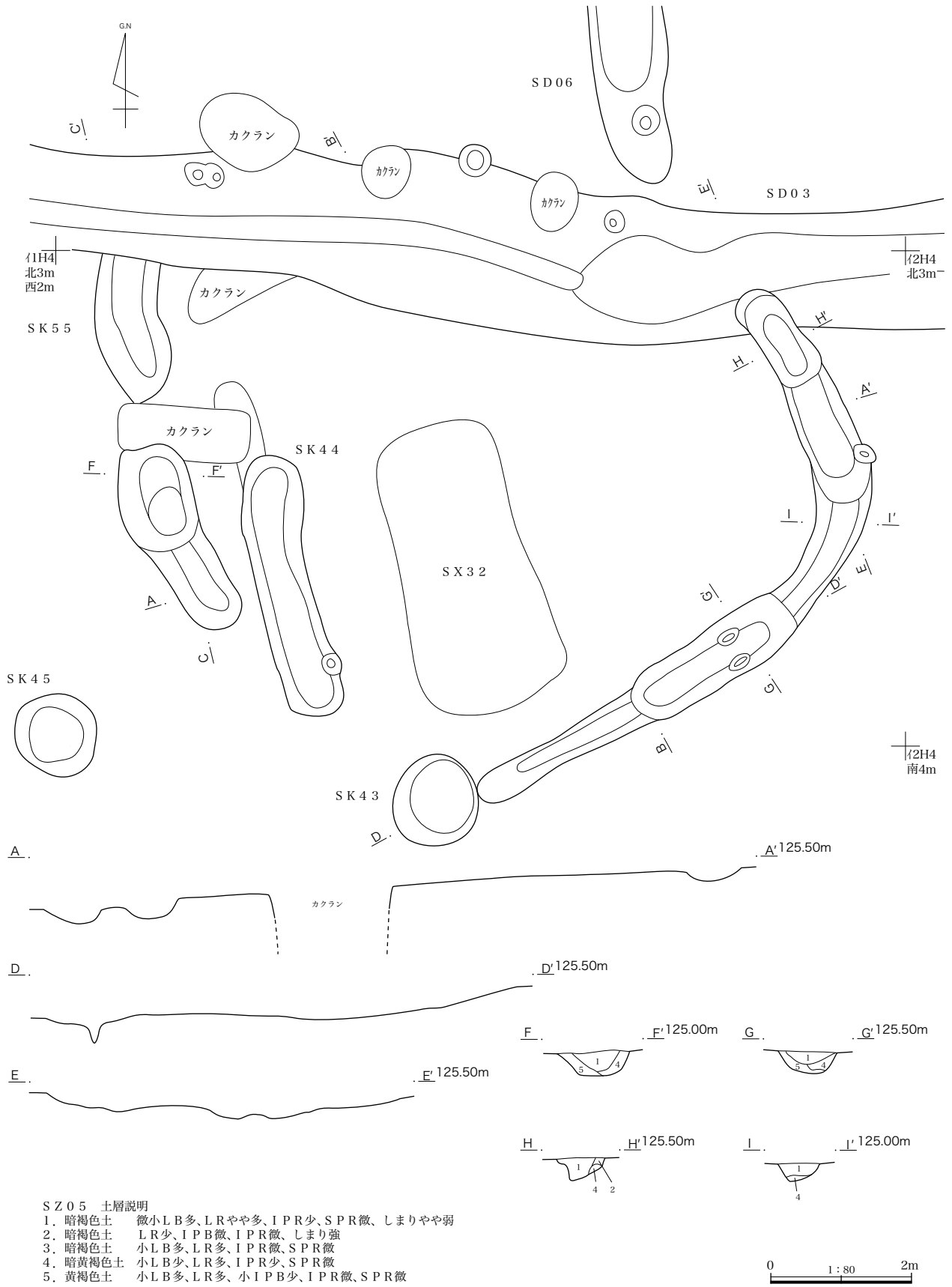
周溝で囲まれた内側は北東で大きな攪乱が入り、状態は良くない。この部分及び周溝で比較的多くのピットが確認されており、原図ではより多くのピットが記録されていたが、一部を除き本報告では除外した。何らかの伴うピットや別遺構の可能性もあるが、細い穴については攪乱の可能性もある。

遺物は少量出土している。混入の縄紋土器（第371図6.7）以外では、土師器の同図1、弥生土器（同図2～5）がある。併せると35点で、8割ほどが縄紋土器である。土師器についてはハケメ調整痕が残る壺口頸部で、遺構の時期を示すものとなる。第371図2～4については弥生時代後期終末で同図1に伴う可能性もある。但し出土位置・状態の記録は確認できていない。

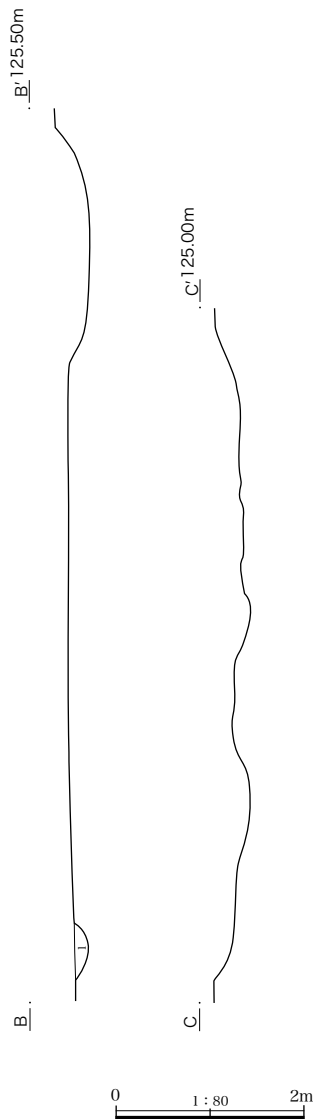
SZ04（遺構第367・368図、遺物371図、写真図版一六）

第2次調査区南西側の方形周溝墓群東側にある。I2H8～I3H8グリッドに位置し、地形的には緩い斜面にかかる場所である。北西にSZ07、南西にSZ01がある。確認面は黒色土（漸移層を完全に覆うやや上位のレベル）、壁は黒色土～ローム漸移層、底面はローム層でやや凹凸がある。西辺は確認されていない。北辺南辺とも西端が攪乱にかかっている。軸はN-0°で、10.02×9.35m、周溝内側の計測で7.3×7.3mとなる。周溝幅1.4～1.7m、主には1.1～1.5m程度、深さは各辺で異なり、北辺で0.4m、東辺で24～38cm、南辺で32cm等となっている。周溝で囲まれた内側でも中央付近の黒色土上面がやや高く、マウンド状になっている。但しこの位置に於ける断ち割っての土層観察は為されておらず、マウンド・土盛り上げの有無については不明である。周溝や内側でSK56.57.21がある。いずれも周溝墓との関係は不明である。SK21の底

第4章 刈沼遺跡第2次調査区の遺構と遺跡



第369図 SZ05(1)



第370図 SZ05(2)

面は周溝底面と同じ深さ、SK56の底面は周溝底面よりやや深い。周溝覆土はやや複雑な堆積を示しているところもあるが、壁際・底面上の暗褐色系→中央・覆土上位の黒色系に大きくは分けられる。壁は比較的急な傾斜を為すところもある。出土遺物は混入の縄紋土器が56点の出土で、第371図9のみ弥生土器と推定されるものである。但し出土位置不明であり、本周溝墓の時期参考として良いかは問題がある。土器器小片も8点ほど出土している。

SZ05（遺構第369・370図、遺物371図、写真図版一六・一七）

第2次調査区の北西、I1H4～I2H4グリッドの台地平坦面から斜面にかかる位置にある。この1基のみ他の方形周溝墓とは離れている。北側にSD03があり、覆土相互の観察は無いものの、SZ05→溝の関係が推測される。軸も他の方形周溝墓と異なりやや西に振れる（N-59°-W）。ほぼ中央の直交軸で9.52m、内縁で8.14mである。周溝幅は38～108cmと、場所により異なるが70～80cmぐらいが多い。深さは東辺16～34cm、西辺が24～38cm、南辺が15～32cmである。

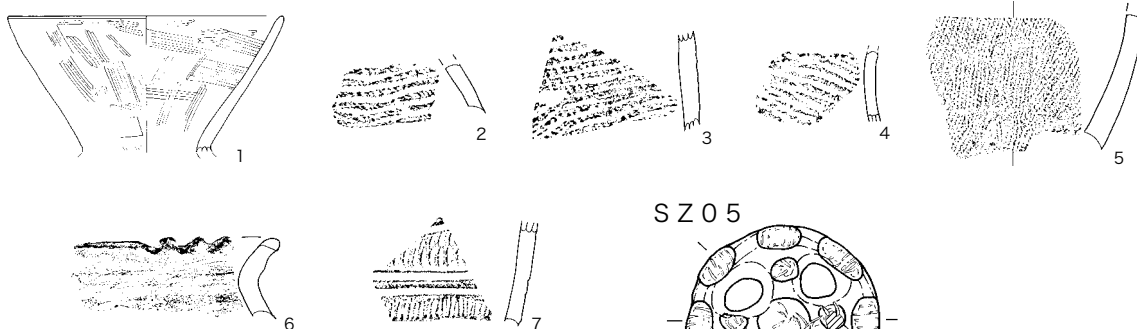
断面皿状で、壁の傾斜は緩やかである。他の方形周溝墓に比べ、相対的に周溝幅は狭く浅い傾向にあると言えるかもしれない。西辺北側では別遺構番号を付したSK55が周溝の可能性はある。SK44も周溝状の形態だが（第386図）、軸が異なり、本遺構と関わる可能性は低い。南西コーナーは不明で、途切れる形態か、浅い周溝かについては、不明である。SK06も関わる可能性がある。

周溝覆土は黒味の強い土を主体に、壁際や底面上でやや明るくロームの多い土が見られた。壁は漸移層～ローム層、底面はロームで凹凸がある。東辺や南辺で土坑状の下がる部分を示しているが、顕著な深さの差はない。周溝底面断面は皿状から逆台形状。周溝にかかるピットはいずれも伴わない。本跡と関わる遺物の出土は確認できない。縄紋の混入であるが、完形の耳飾り1点（第371図8）が出土している。

SZ06（遺構第372図、遺物371図、写真図版一七）

第2次調査区南西、I1H8グリッドの斜面に位置する。西辺は調査区外にかかる。東にSZ07、南東にSZ01がある。後述するSD01が重複するほか、SK58、SH11が重なる。確認面は黒色土、周溝の壁は黒色土・ローム漸移層～ローム層、底面はロームで若干の凹凸があるが、土層断面写真記録などを見ると若干掘り過ぎている可能性がある。図の覆土5層等はローム地山の可能性がある。軸はN-7°-Wで、軸長9.58×直交軸現存部分で6.7m、周溝幅は北辺1.72m、東辺1.9m、南辺1.58m、深さはそれぞれ62cm、38～48cm、35cmとなる。コーナー部は若干幅が狭く1.18～1.4m程度となる。周溝断面は皿状で壁の傾斜緩やかだが、内側では若干角度が急となることもある。

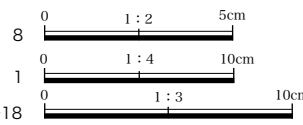
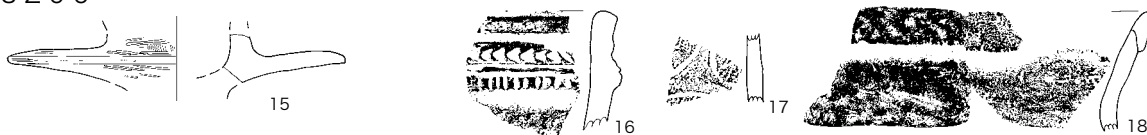
SZ03



SZ04



SZ06



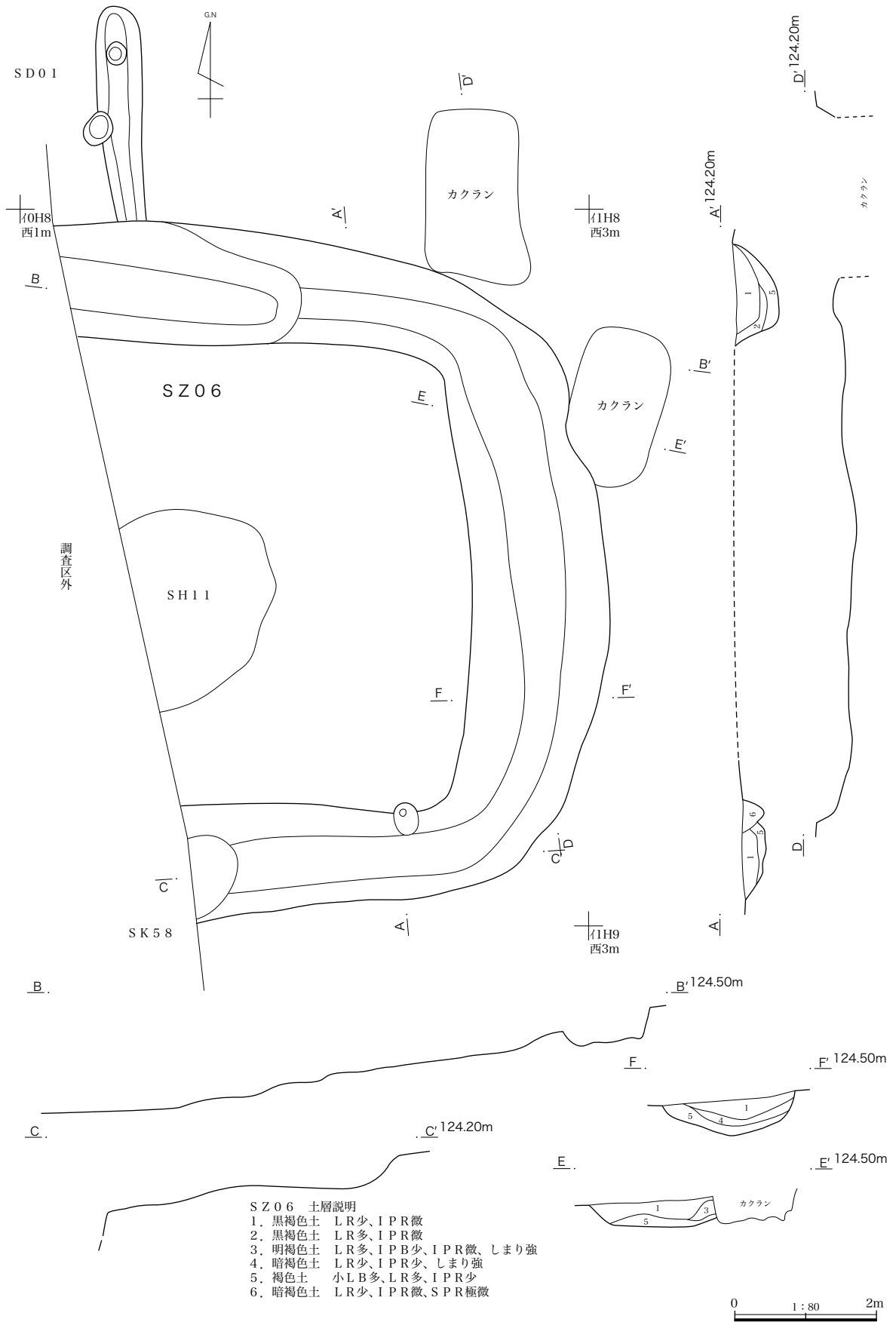
第371図 SZ03・04・05・06出土土器

写真では周構内や周溝で囲まれた内側でピットが掘られているが、記録・所見が無く不明である。完掘写真を見ると、内側の中央東西でベルトが設定されており、この南北ではローム漸移層近くまで面的に掘り下げられ、この東側では黒色土のやや上位の面までとなっている。マウンドの確認・断ち割り調査とも推測されるが、土層断面の記録は残されておらず、調査の過程も含め良く分からない。北側にかかるSD01や南側周溝部分と重なるSK58との関係についても、両者の関係を示す記録や所見が無く、不明とせざるを得ない。

遺物は縄紋土器及び土師器が数片出土している。第371図15が土師器坏部接続の器台と推定される破片で、周溝墓時期判断の参考となる資料である。混入の縄紋土器3点は16が縄紋中期、18は晩期粗製土器、17は後期末～晩期初頭である。他に土師器小片16点ほどが確認されている。

SZ07 (遺構第373図、写真図版一七・一八)

第2次調査区南西、I1H8グリッドの斜面～斜面にかかる部分に位置する。4基まとまる方形周溝墓群の中では北側に位置し、南にSZ01、南東にSZ04、南西にSZ06がある。確認は黒色土～ローム漸移層で、周



第372図 SZ06

溝壁は概ねローム漸移層、周溝底面はロームで概ね平坦である。周溝断面は皿状だが東辺では比較的急な傾斜角度となるところもある。軸はN-2°-Eで、規模は7.20 m × (6.40)、内縁で5.64 × 5.16 mである。周溝幅・深さは北辺で68～74 (12) cm、東辺で52～84 (24) cm、南辺で48～88 (22～26) cmである。西辺は攪乱が多く形状不明で計測値も示し得ない。全体形状でもやや南北が長いという特徴を示し得るが、この西辺の状況が判断を困難とさせている。西辺の一部で記録されている土層断面原図及び写真記録を確認・整理したが、整合しない部分が多く、本図での掲載を行わなかった。

写真や平面図で示したように周溝で囲まれた内側で比較的多くのピットがある。但しこれらについての記録や所見は確認できず、伴うか否かは不明である。また写真を見ると外側にもピットが複数基調査されているが、これについても記録が無く不明である。全体的に攪乱が多い区域のようであり、これらピットの多くも攪乱との判断が為されたのかもしれない。周溝土層断面の記録を見ると、上位の覆土は黒色土で、地山黒色土と類似し、下位の褐色系の覆土はロームが多く、ローム漸移層に近い特徴を有している。掘り上げ土の再流入と推測されるが、地山との区別・判断が難しかったようである。

なお本遺構の東辺については当初SD04と付されており、その記録も一部残されている。重なる位置で周溝覆土を切る別遺構の可能性も考え検討したが、同軸で深さもほぼ変わらないことから、番号を解消・欠番として扱うこととする。また重複するSK22.SK54との関係についても記録・所見が無く不明である。またSZ07本遺構からの出土遺物は1点のみで、時期判断もできない。SZ01やSZ07ともかなり近接した位置となるが、新旧関係を推測する手がかりや所見はない。遺物では土師器小片1点が出土している。

第3節 土坑

刈沼遺跡第2次調査区の土坑は全てで70基確認された。不整形、楕円形、不整形などが多く、縄文時代の袋状土坑や中近世の長方形土坑のような定型性の強いものは殆ど見られない。分布についても、調査区北東のSK34～38の区域など、数基がまとまる箇所はあるものの、集中域といえるほどの部分はなく、散漫な分布状態を示す。性格や時期についても不明なものが多い。

上記のような状況から、図示にあたっては区域割りを行わず、単独遺構図を便宜的に1ページ内に数基まとめ、概ねそれに沿って略述してゆくこととする。位置や遺構計測値等は表を参照されたい。

SK01・02・03・04・05・06・07 (遺構第374図、遺物第400図)

7基いずれも別の箇所にあるもので、編集上7基の土坑を1図版にまとめた。SK01はSZ07方形周溝墓の東側にある。底面はローム層。底面内のラインは緩い段差である。

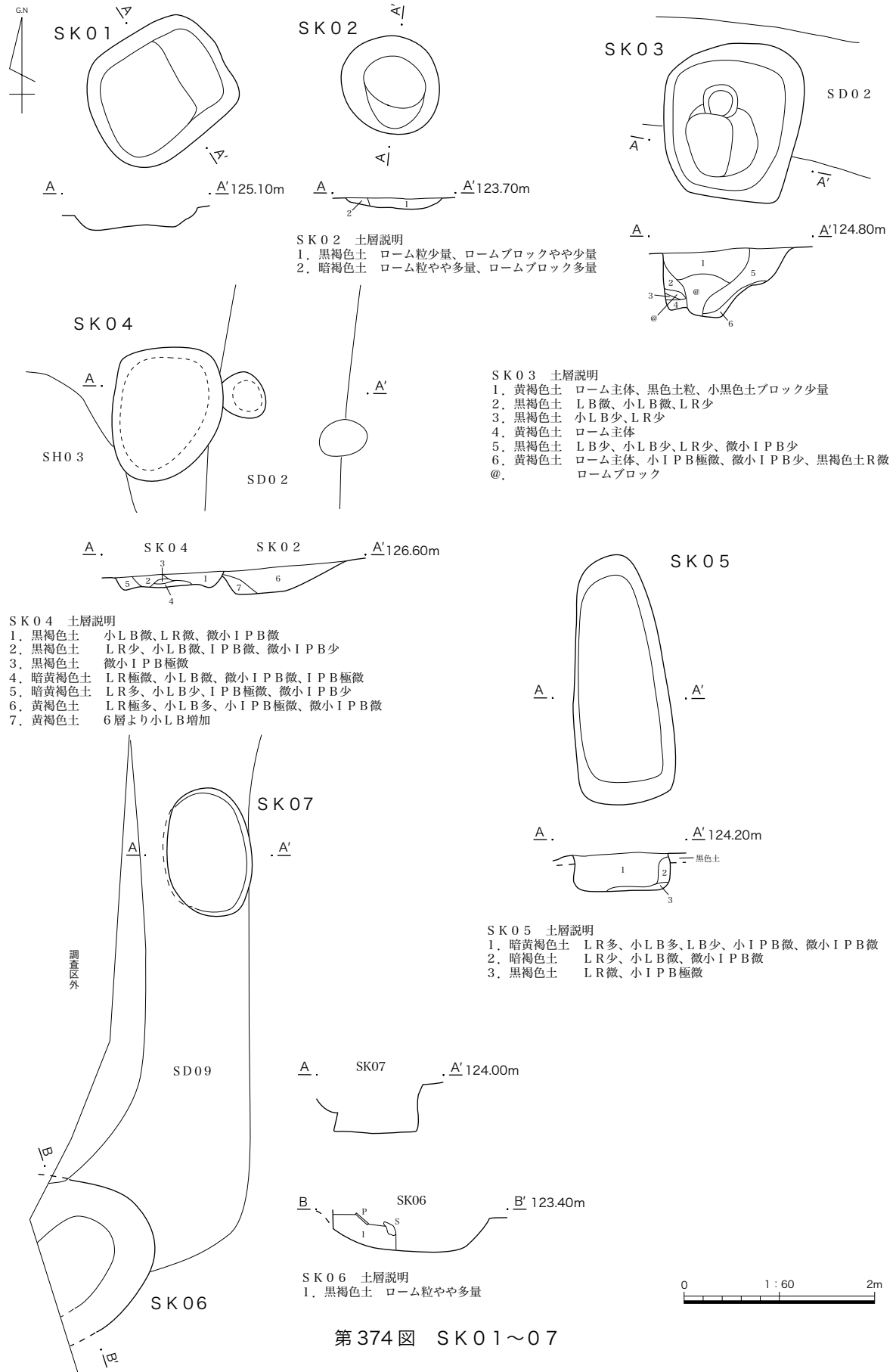
SK02の壁・確認面はローム漸移層、底面はローム層である。調査区南西SD17の東、第1次調査区との境界に位置する。

SK03は底面が一段深くなる土坑である。土層堆積が不自然で、厚く大きめのロームブロック含有など、土層捻転跡或いは、人為的に埋めた跡と推測される。

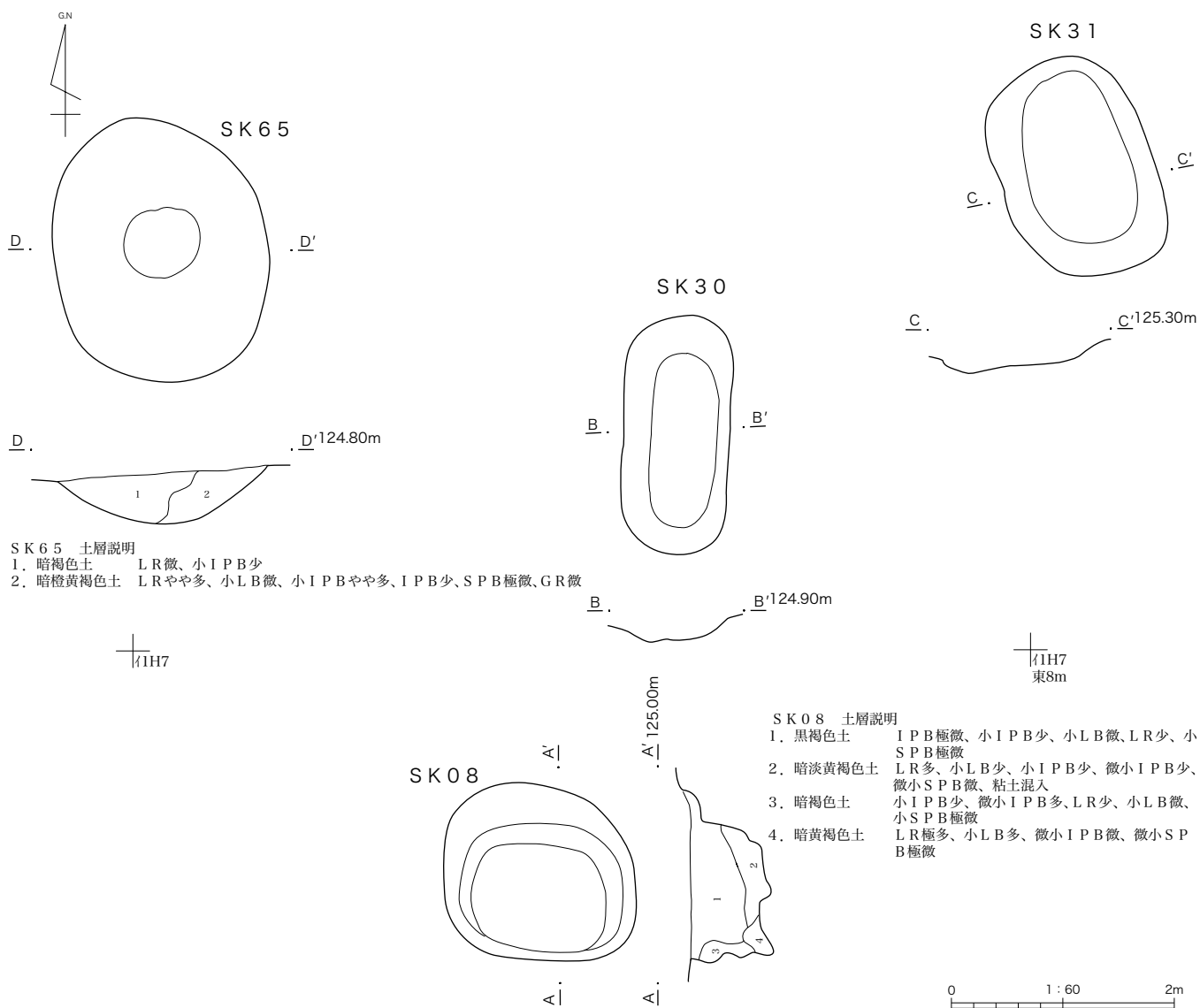
SK04は浅い不整形楕円土坑である。SD02→SK04である。覆土1層は黒色土主体、2～4層はローム主体である。プランは不明瞭で、攪乱に近そうだが良く分からない。SD02南東コーナー近くに位置する。

SK05はSZ01の南西にある。確認面は黒色土で、覆土はより黒味が強い。壁中位より下はローム、覆土1

第4章 刈沼遺跡第2次調査区の遺構と遺跡



第374図 SK01~07



第375図 SK08・30・31・65

層はロームが多く埋め戻し状である。底面は概ね平坦で、壁が若干オーバーハングする。

SK06はSD09の南西端にある。壁・底面はロームである。覆土は不明だが、写真からは黒褐色土とみえる。土器片・礫やや多く覆土上位から出土している。SD09→SK06と推測されるが不明である。第400図1の縄紋後期小片?及び同図2(後期粗製土器体部)が出土しており伴う可能性高いが、確実ではない。

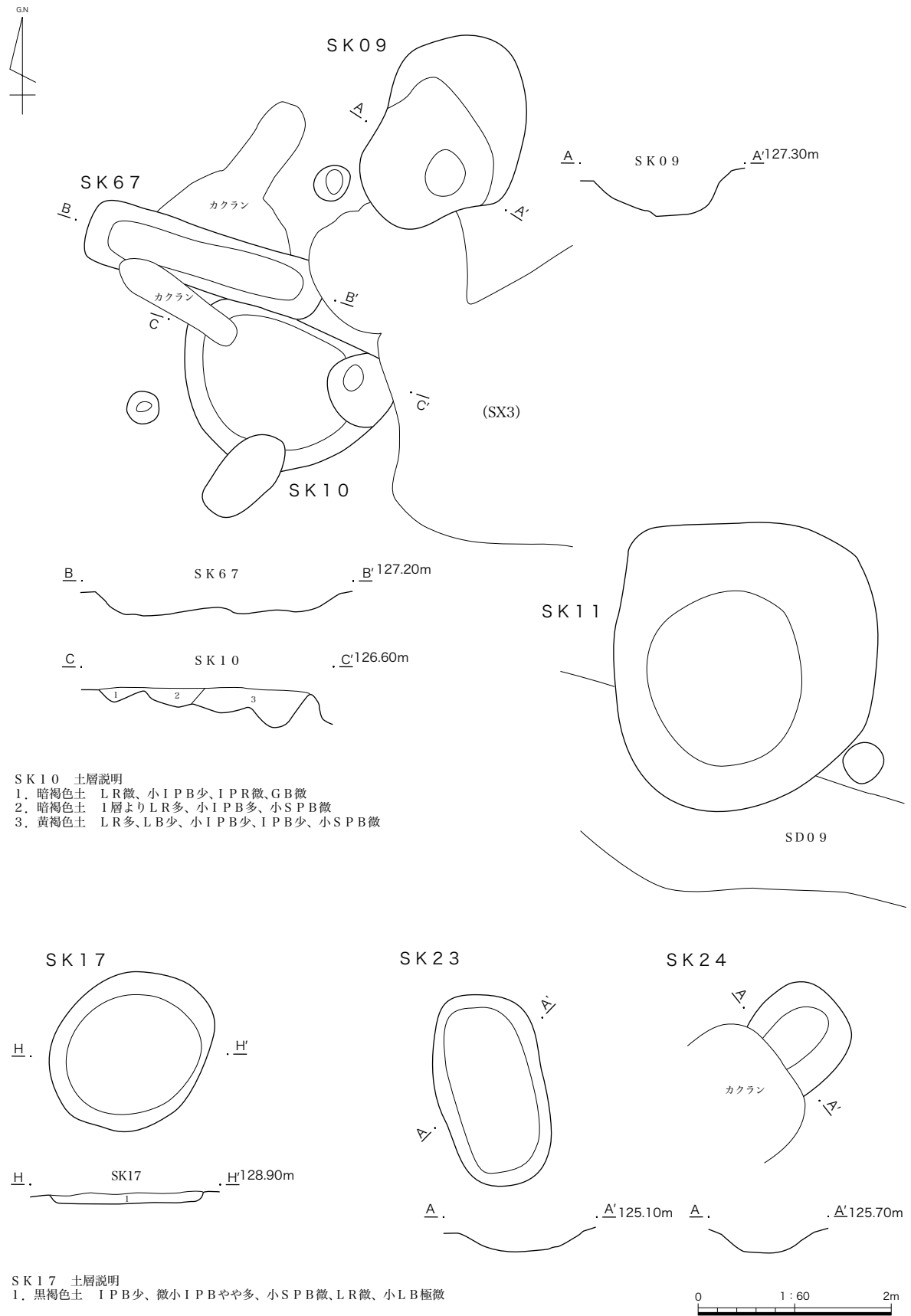
SK07はSK06の北3mで、SD09と重複する。底面は溝より深い。底面ロームは概ね平坦で、西壁がややオーバーハング、他は垂直に近い。掘り込みは明瞭である。

SK08・30・31・65 (遺構第375図)

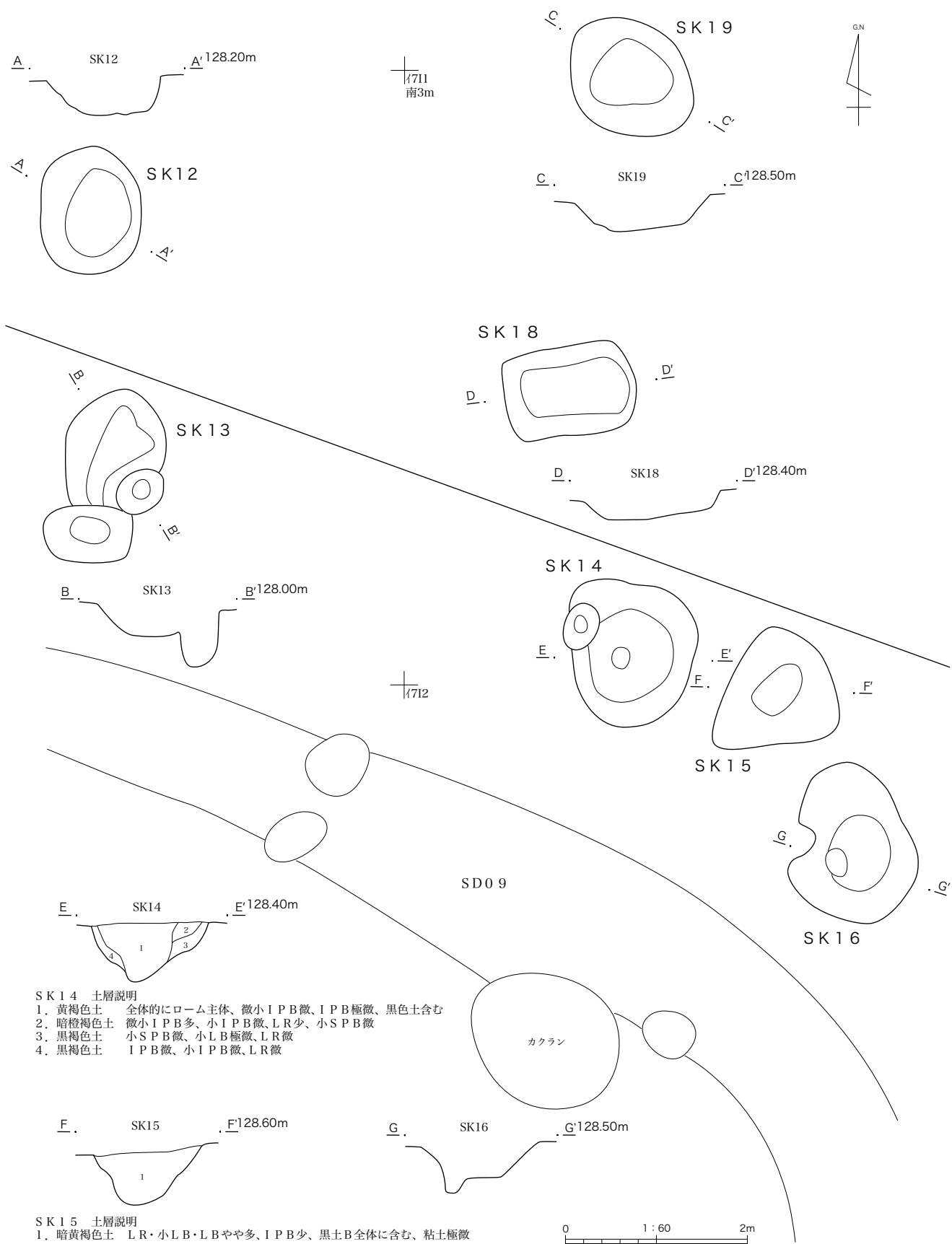
この4基は図示した位置関係で、SZ07の北側、緩やかに傾斜しているところに位置している。

SK08の覆土1層は黒味強い。3・4層はロームが多く、底面は凹凸がある。ピット状に下がるところもある。完掘写真からは、掘り込み比較的明瞭と見えるが、攪乱小穴も多そうである。

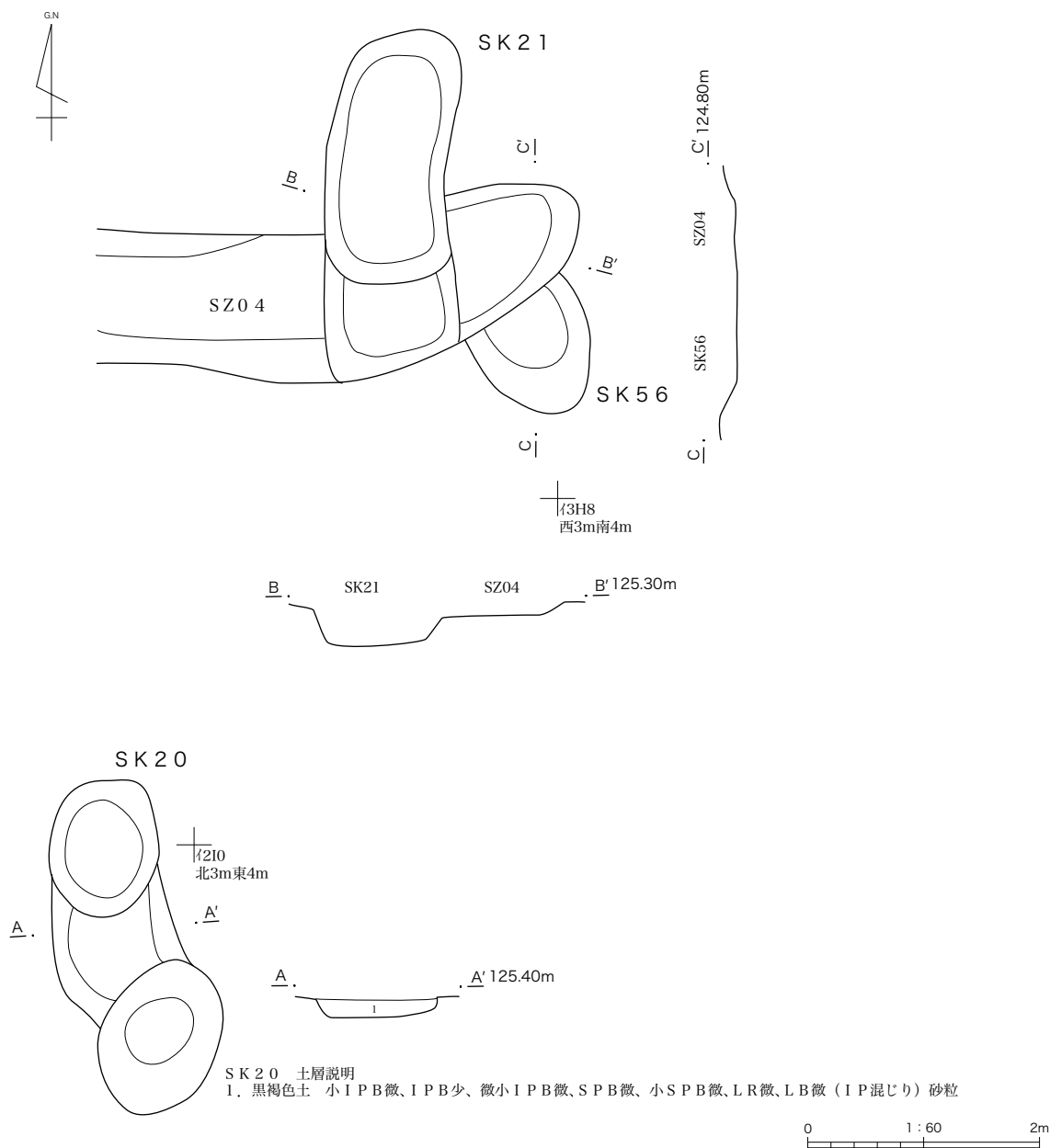
SK30は長楕円形土坑で、断面浅い皿状だが掘り込み明瞭である。覆土は不明。



第376図 SK09~11・17・23・24・67



第377図 SK12~16・18・19



第378図 SK20・21・56

SK31 はやや不整な楕円形土坑で、掘り込み不明瞭。SK65 は掘り込み比較的明瞭で、底面はやや凹凸がある。

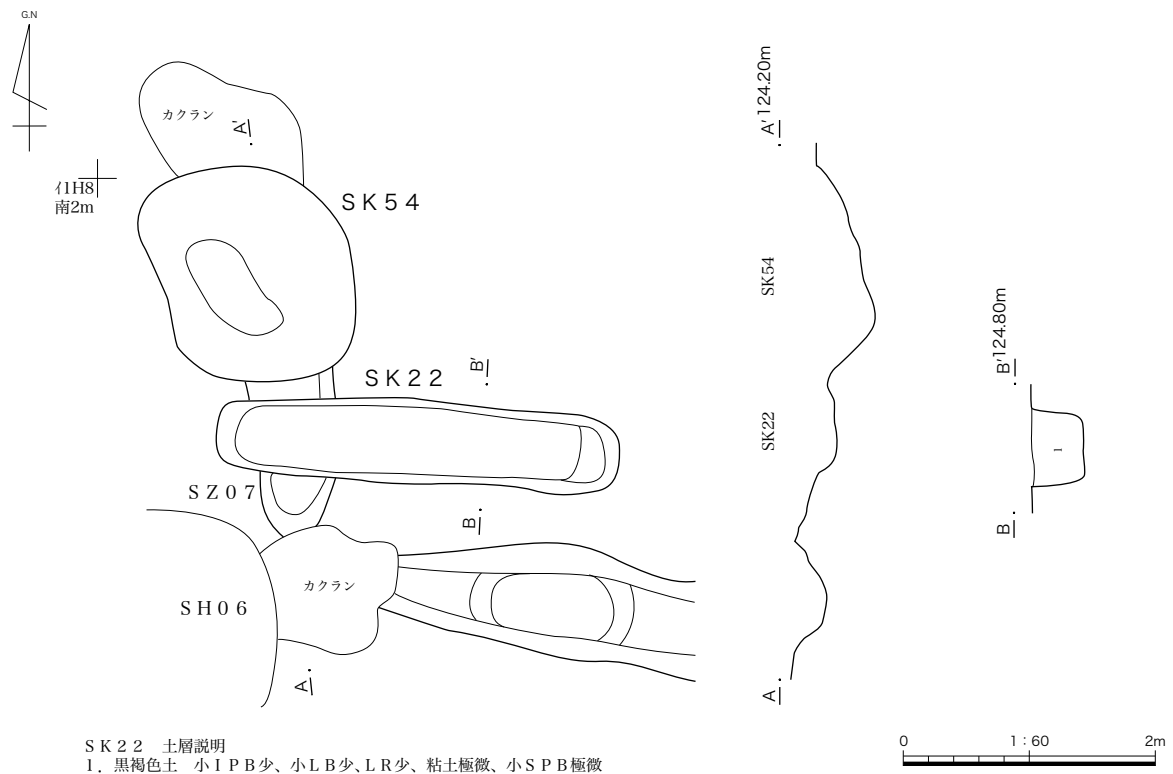
SK09・10・67（遺構第376図）

いずれも攪乱の可能性がある。SZ02 の周溝内部にある。

SK09 は記録写真と図面で不整合がある。底面はロームで凹凸がある。攪乱の可能性もある。

SK10 は底面の凹凸が著しい。平面記録不十分で、写真及びセクション図から補っている。写真では覆土1～3層の区別ができずいずれも同じに見える。SX03 をはじめ、重なる遺構との関係は不明である。

SK67 は長方形土坑だが、溝の可能性もある。SK10 をはじめ重なる他遺構との関係は不明である。壁・底面はロームで、西端がピット状に下がるが、これは攪乱かもしれない。



SK 22 土層説明
1. 黒褐色土 小IPB少、小LB少、LR少、粘土極微、小SPB極微

第 379 図 SK 22・54

SK 11・17・23・24 (遺構第 376 図、遺物 400 図)

SK11 は壁の傾斜が緩やかで、底面は皿状だがやや凹凸がある。断面図が無く覆土も不明で、SH037 と付されているものがあるなど、遺構名の混乱がある。南東にピットあり、記録少なく不明だが、深さ 10 cm 程度のようなものである。SD09 との関係も不明である。

SK17 の壁・底面は黒色土～ローム漸移層、覆土は黒色土でローム粒がやや多い。縄紋期の土坑と推定され、無紋の破片多数が出土している。晩期有文の小片 1 点、礫 2 点もある。このうち 2 点を図化した。第 400 図 4.5 は後期後半安行式系の粗製土器で、土坑の時期を示していると判断される。

SK23 は楕円形土坑で、底面はやや凹凸がある。SK24 は掘り込み比較的明瞭で、ロームの底面はやや凹凸がある。小穴については攪乱の可能性はある。

SK 12・13・14・15・16・18・19 (遺構第 377 図)

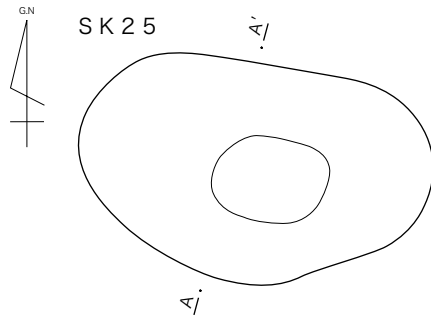
この 7 基は、図に示した位置関係で、調査区南東に位置している。SK13～SK16 は第 1 次調査区範囲内だが、第 2 次調査区番号で扱われている。ややまとまった土坑分布だが、定型性弱く、或いは遺構との判断に疑問なものも多い。

SK12 は確認面や底面などの様子について写真記録が無く不明である。

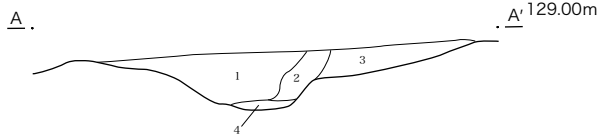
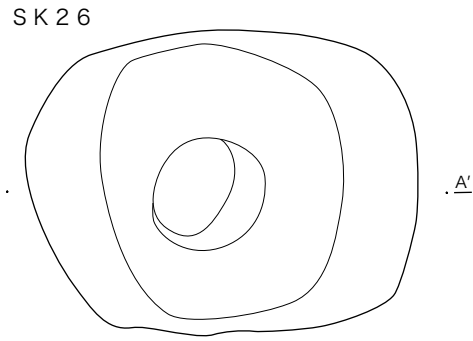
SK13 は 2 基の土坑+ピットだが、こちらも写真が無く壁・底面の状態など不明である。残る原記録ではすべて同一遺構となっている。

SK14 は平面不整円形、断面挿り鉢状を呈する。覆土 1～4 層は自然堆積となろうか？底面はロームでやや凹凸がある。ピットとの関係も不明で、定型的ではない。

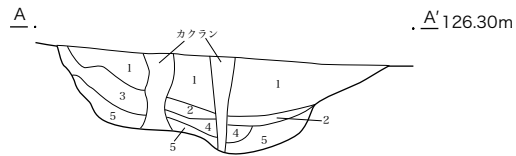
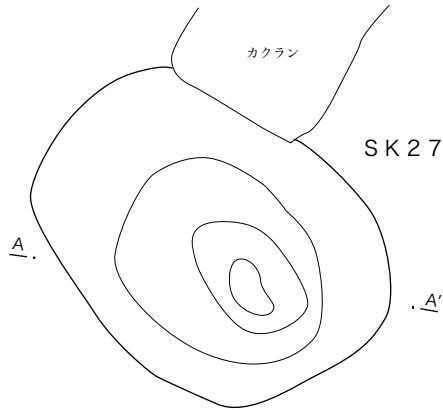
第4章 刈沼遺跡第2次調査区の遺構と遺跡



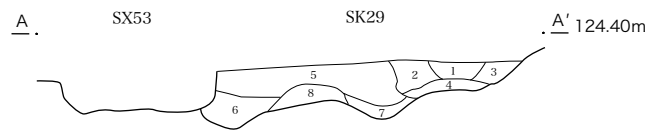
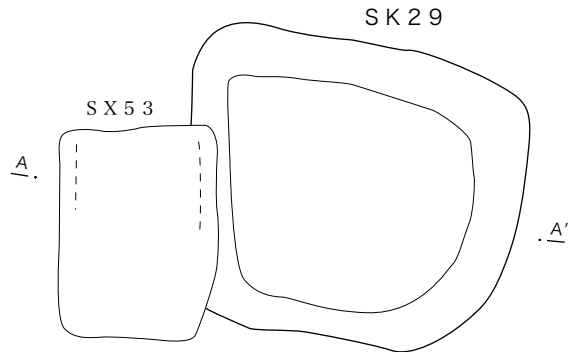
SK 25 土層説明
1. 黒褐色土 LR少、小IPB少、小SPB、SPB微



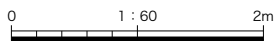
SK 26 土層説明
1. 黒褐色土 LB微、LR微、IPR微、SPB極微
2. 淡褐色土 小IPBやや多、IPB少、LRやや多、SPB極微
3. 暗褐色土 IPR微、LR微、小LB極微
4. 橙褐色土 IP主体、LR含む、粘土含む



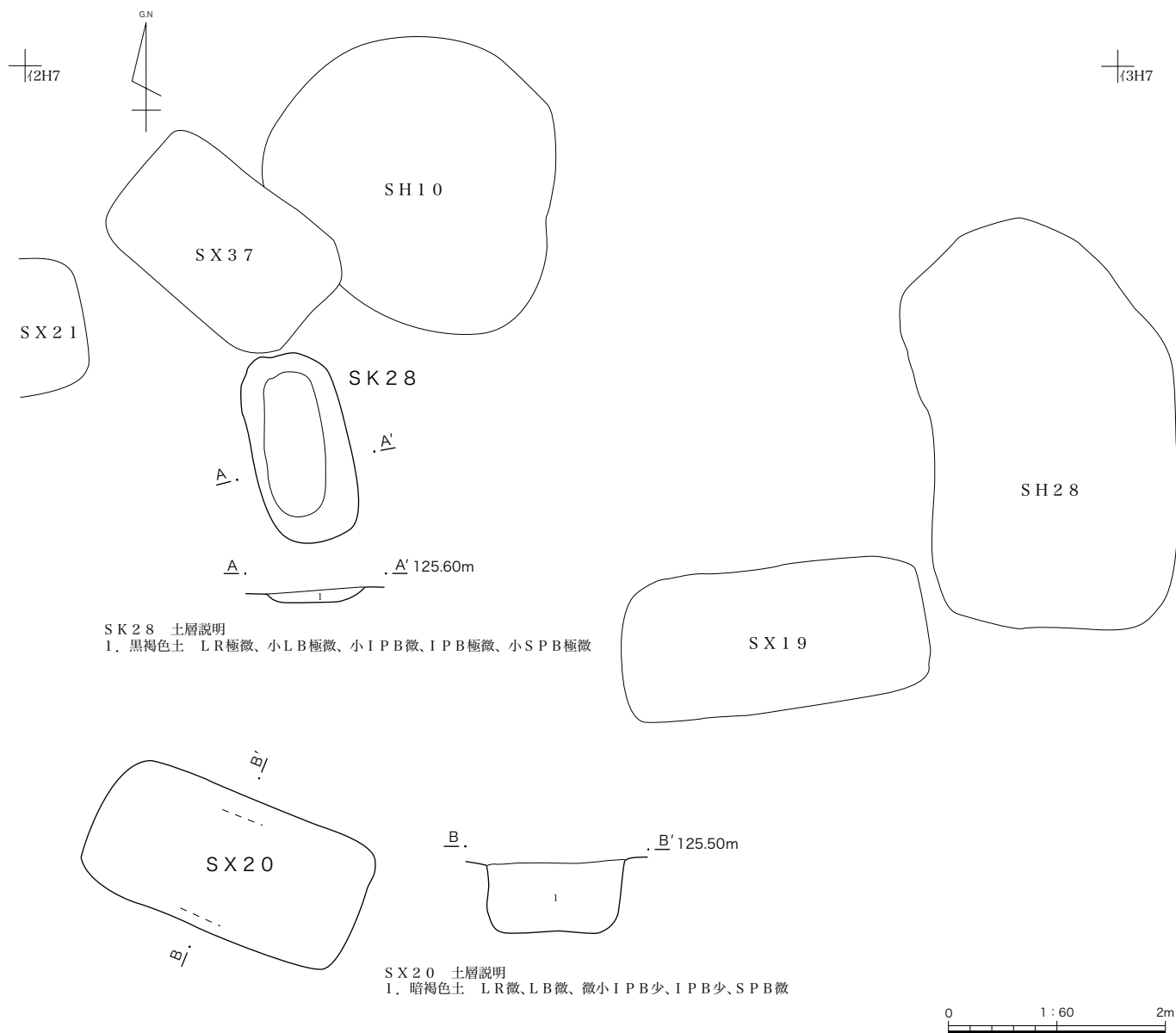
SK 27 土層説明
1. 暗褐色土 LR少、小IPB少、小SPB少、SPB極多、小SPB少、黒色土少
2. 明黄褐色土 SPB極多、小SPB少、黒色土少
3. 褐色土 SPB少、小IPB極微
4. 橙褐色土 IPB多、小IPB多、小SPB極微
5. 明橙褐色土 IPB主体、LR少、黒色土少、小SPB極微



SK 29 土層説明
1. 褐色土 黒色土と微小IPBがやや多
2. 褐色土 LR少、微小IPB微、小IPB微、GR極微、LB極微
3. 褐色土 LR少、微小IPB少、小IPB微、GR極微
4. 暗淡黄褐色土 LR多、微小IPB微、IPB微
5. 黒褐色土 LR微、微小IPB微、IPB微、小IPB微、SPB微、GR極微
6. 暗黄褐色土 LRやや多、小IPB少、微小IPB微、SPB極微
7. 暗黄褐色土 LR多、IPB微、微小IPB微
8. 暗黄褐色土 LR多、IPB微、微小IPB微



第380図 SK 25・26・27・29



第381図 SK28・SX20

SK15は不整形の土坑としたが、覆土中のロームブロックが多く、攪乱の可能性がある。一部の記録に残る表でも「欠番」との記載がある。

SK16は底面・壁とも凹凸がややあり、さらに覆土も不明である。これも表で「欠番」となっているが、根拠は不明であり、とりあえず図示する。

SK18は浅い隅丸長方形土坑で、これも写真等の記録が無い。

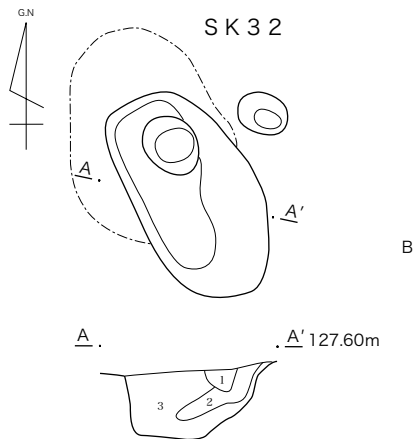
SK19は不整形円形の土坑で、この例も写真等の記録が少なく詳細不明である。

SK20・21・56（遺構第378図）

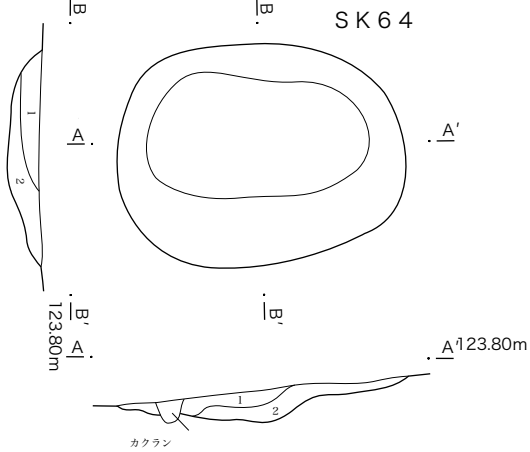
SK20はSZ04の南で、3基のピットからなる。北からa、b、cとするが、a・bは一連の遺構かもしれない。更に掘られている小ピットがあるが、これは攪乱の可能性がある。ロームの底面はやや凹凸がある。

SK21はSZ04の周溝と重複するが、関係は不明である。南端と周溝端との重複についても良く分からない。

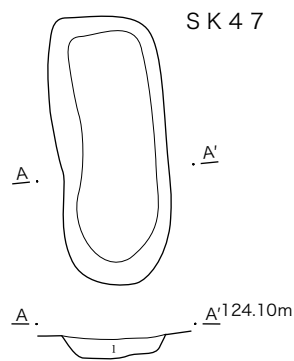
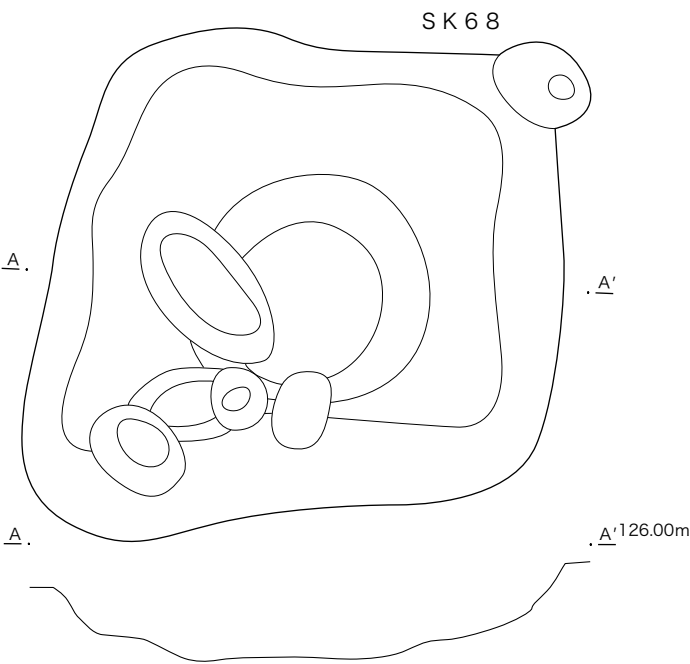
第4章 刈沼遺跡第2次調査区の遺構と遺跡



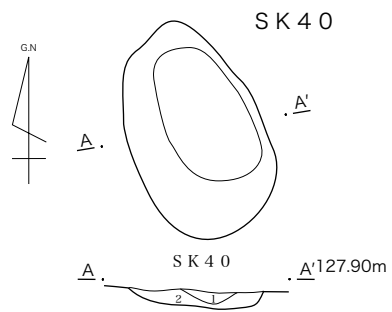
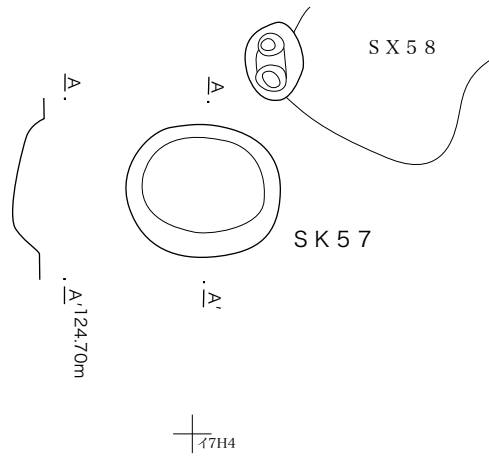
SK 32 土層説明
 1. 黄褐色土 L主体、黒色土混入、小IPB微、小SPB微、GB極微
 2. 暗褐色土 LR少、LB少、小IPB微、小KPB微、GB極微
 3. 黄褐色土 L主体、小IPB微、黒土混じる



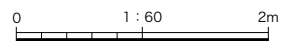
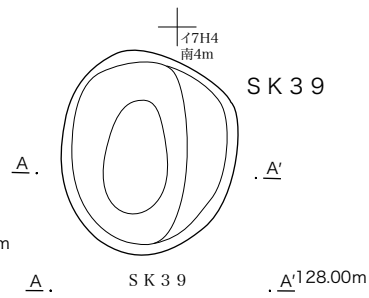
SK 64 土層説明
 1. 暗褐色土 LR少、小IPB微、小SPB極微、GB極微、根カクラン多
 2. 暗淡黄褐色土 LRやや多、小LB少、小IPB微、IPB極微



SK 47 土層説明
 1. 黒褐色土 LR極微、小LB極微、小IPB微、小SPB極微、粘土極微



SK 40 土層説明
 1. 黒褐色土 SPB微、IPB微、
 2. 暗褐色土 IPB少、LR微、SPB極微



第382図 SK 32・39・40・47・57・64・68

底面は概ね平坦で、周溝底面より深い。壁はやや急な傾斜で、覆土は不明である。

SK56の底面はローム～漸移層で、概ね平坦である。周溝底面より深い。新旧関係は不明である。

S K 2 2 ・ 5 4 (遺構第 379 図)

SK22はSZ07南西コーナーでまとまる土坑の一つである。長方形土坑で、近現代の耕作穴(芋穴)或いは中近世の土坑となろうか。壁は垂直に近く、底面は平坦である。覆土は黒味が強く、ロームブロックが多い。すぐ北側に別の長方形土坑が写真で確認できるが、図や所見などが確認できない。SK54の底面はロームで凹凸が著しい。底面の平坦部は狭い。写真では形態・覆土とも攪乱穴状である。

S K 2 5 ・ 2 6 ・ 2 7 ・ 2 9 (遺構第 380 図)

SK25は浅い断面皿状の不整楕円形土坑で、底面一部平らだが凹凸がある。

SK26の覆土は4層に分層されているが、あまり差は無い。確認面の黒色土より黒味強い。

SK27の層は、上位が黒味強い土、下位はSPやIPを多く含む。底面中央が一段下がり、凹凸が著しい。

SK29は不整隅丸方形の土坑で、底面の凹凸が著しい。底面のピットは攪乱であろうか。細かく分層されているが、あまり差はないように見える。明るめの1～4層、黒味のある5～8層があり、写真ではSPが目立っている。重なるSXよりは古いようである。

S K 2 8 (遺構第 381 図)

SK28の周囲にSX・SHが多い。掘り込み明瞭で、覆土は黒味が強い。近い位置にあるSX020も掘り込み明瞭な断面方形の穴であり、いずれも近現代の穴・耕作穴であろうか。

S K 3 2 ・ 3 9 ・ 4 0 ・ 4 7 ・ 5 7 ・ 6 4 ・ 6 8 (遺構第 382 図)

SK32の覆土は、ローム主体の1・3層間に黒土2層が入り込む。底面平坦、壁上位はやや急角度である。北側のラインは別遺構もしくは掘り過ぎであろうか。遺構で良さそうだが、性格や時期は不明である。深さ10cmほどのピットがあるが、伴うか否かは不明である。

SK39は浅い楕円形土坑である。覆土は単一黒色土。浅い落ち込み状で人為遺構か疑問が残る。SK40は、掘り込みが明瞭ではない。掘り上がり写真に多くのピットが見えるが記録が無く、根穴の可能性もある。

SK47は長方形土坑で、確認面は黒色土、底面はロームで凹凸がある。

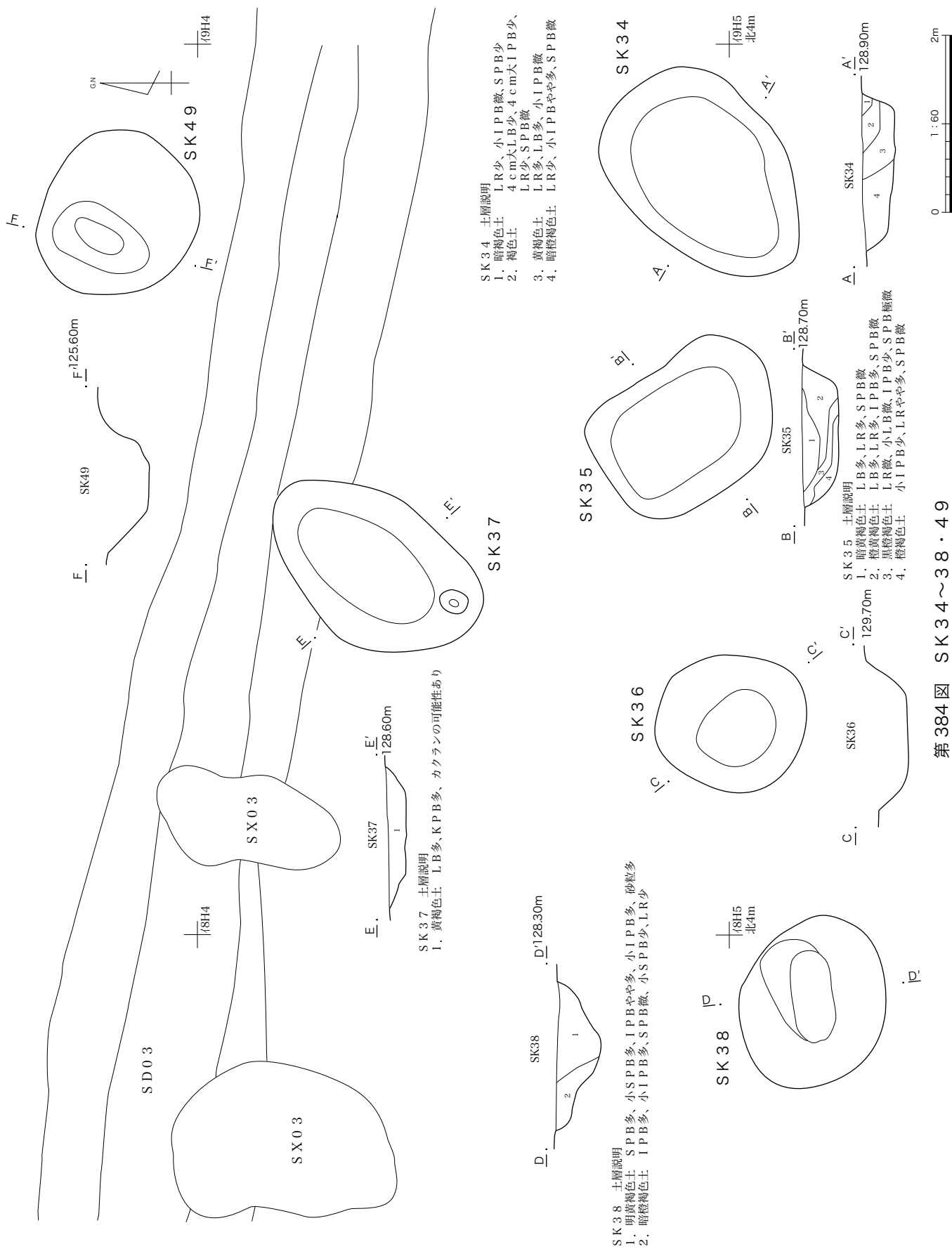
SK57はSZ04周溝内側にある浅い楕円形土坑で、底面は概ね平坦である。完掘写真では底面中央に小穴があるが、攪乱かもしれない。

SK64は不整楕円形土坑で、底面は凹凸がある。土層断面写真を見ると明らかに掘り過ぎであり、実際の断面は皿状で壁は緩やかな傾斜のようである。

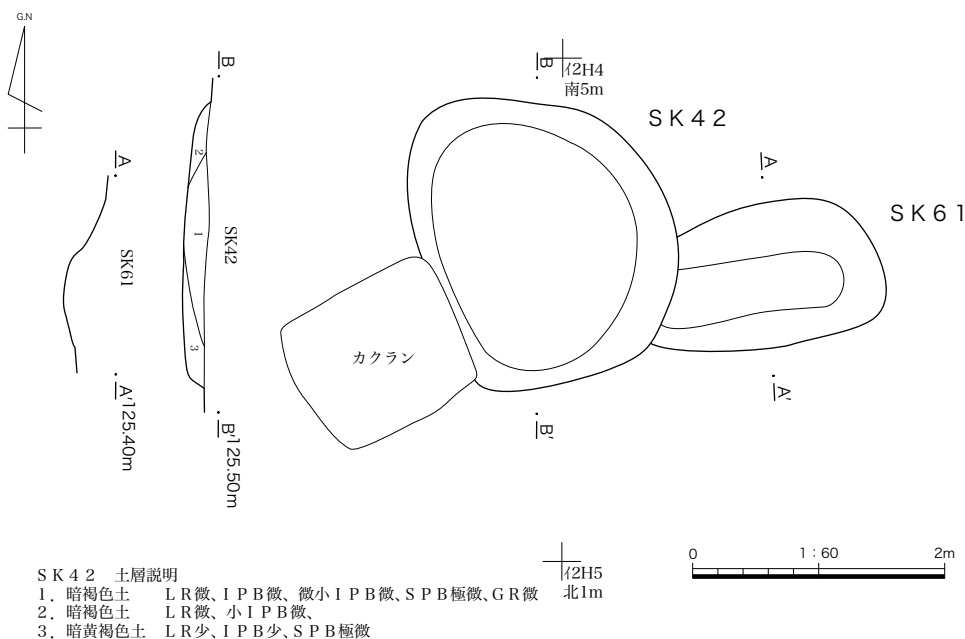
SK68の確認面は黒色土で、壁上位も黒色土～漸移層、底面はロームでやや凹凸がある。図でのピット状ラインは皿状の浅い落ち込みに近い。やや深い掘り込み、壁の均一的な傾斜などは遺構的だが、竪穴遺構のような目的な遺構とは言い難い。

S K 6 0 ・ S H 3 3 ・ 3 4、S K 3 3 (遺構第 383 図)

3基の関係はSK60→SH33→SH34であるが、切り合いは不明瞭である。SH34は褐色味強い覆土、SH33



第384図 SK34~38・49



第 385 図 SK42・61

は黒味強い覆土である。SHの2基は風倒木捻転跡、これに切られるSK60が浅い楕円形土坑である。

SK33は浅い円形土坑で、断面皿状、底面は概ね平坦である。

SK34・35・36・37・38・49 (遺構第384図)

この6基の土坑は調査区北西でややまとまりを見せる。形態・規模も比較的類似した土坑の一群と言えるが、内実は捻転跡状のものが多く、まとまりも有意ではない可能性が高い。

SK34は掘り込み不明瞭で、土層断面2～4層は地山と見える。浅い落ち込みを誤認している可能性が高い。

SK35の土層断面を見ると、ロームの多い層が不自然な堆積を示しており、捻転跡的な堆積を示す。底面の凹凸等も含め考え、遺構とはならない可能性が高い。

SK36は浅い円形土坑で、掘り込みはやや不明瞭である。セクション写真がなく、良く分からない。底面のロームは凹凸ある。

SK37はSD03と重複するが関係は不明である。小穴が多くあるが、ほぼ攪乱のようである。底面に凹凸がかなりある。全体に攪乱の可能性もある。

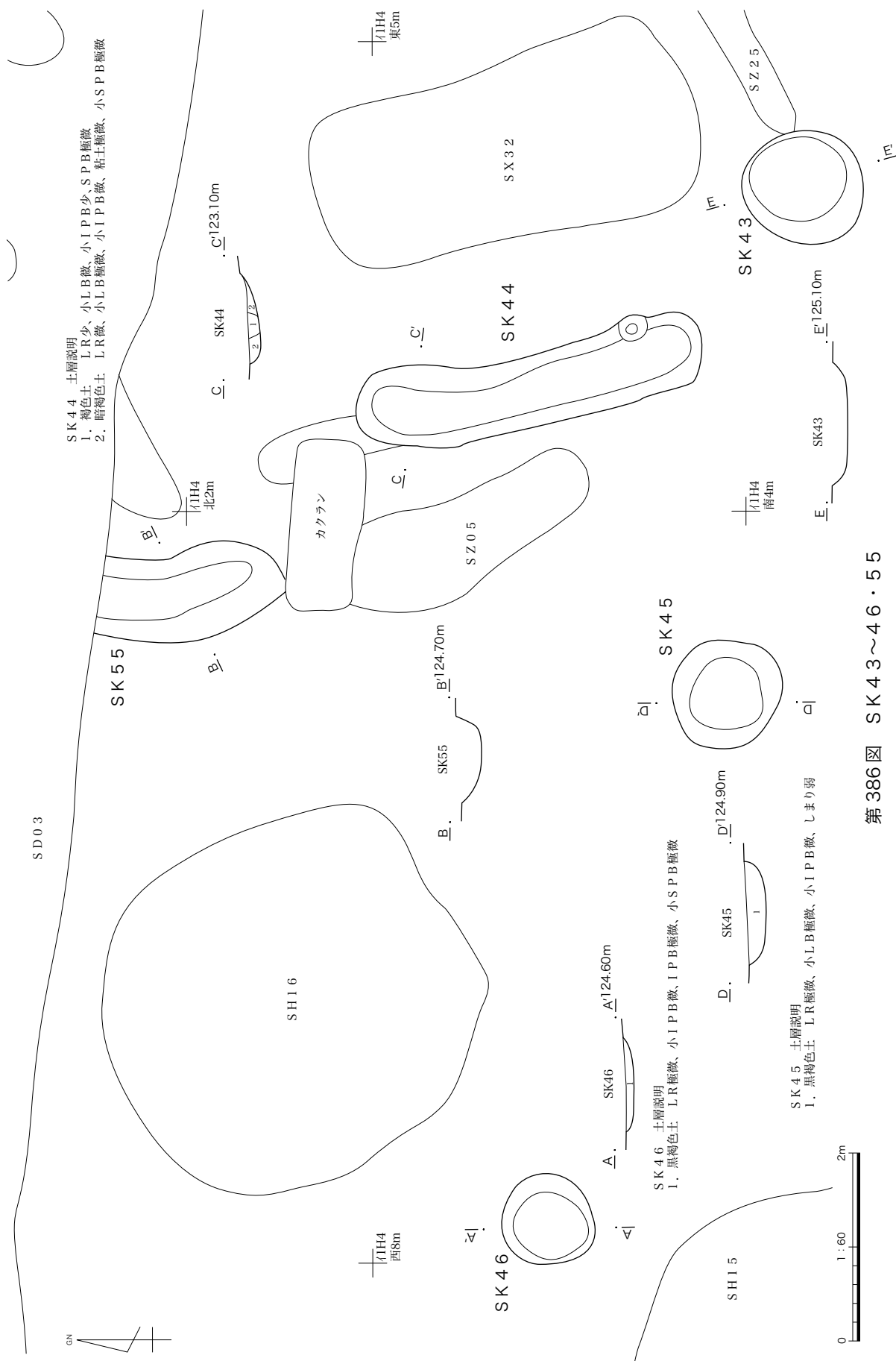
SK38は播り鉢状の中央が下がる断面形で、底面は狭い平坦面がある。覆土下位はかなりローム質で、地山の疑いがある。覆土上位はSPが多い。

SK49はこのまとまりの中では最も北でSD03より北である。平面・断面ともかなり不整な形態で、覆土は黒色土を基本に、上位にSP・ロームブロックが入る捻転跡状の堆積を示していることから、遺構ではない可能性が高い。

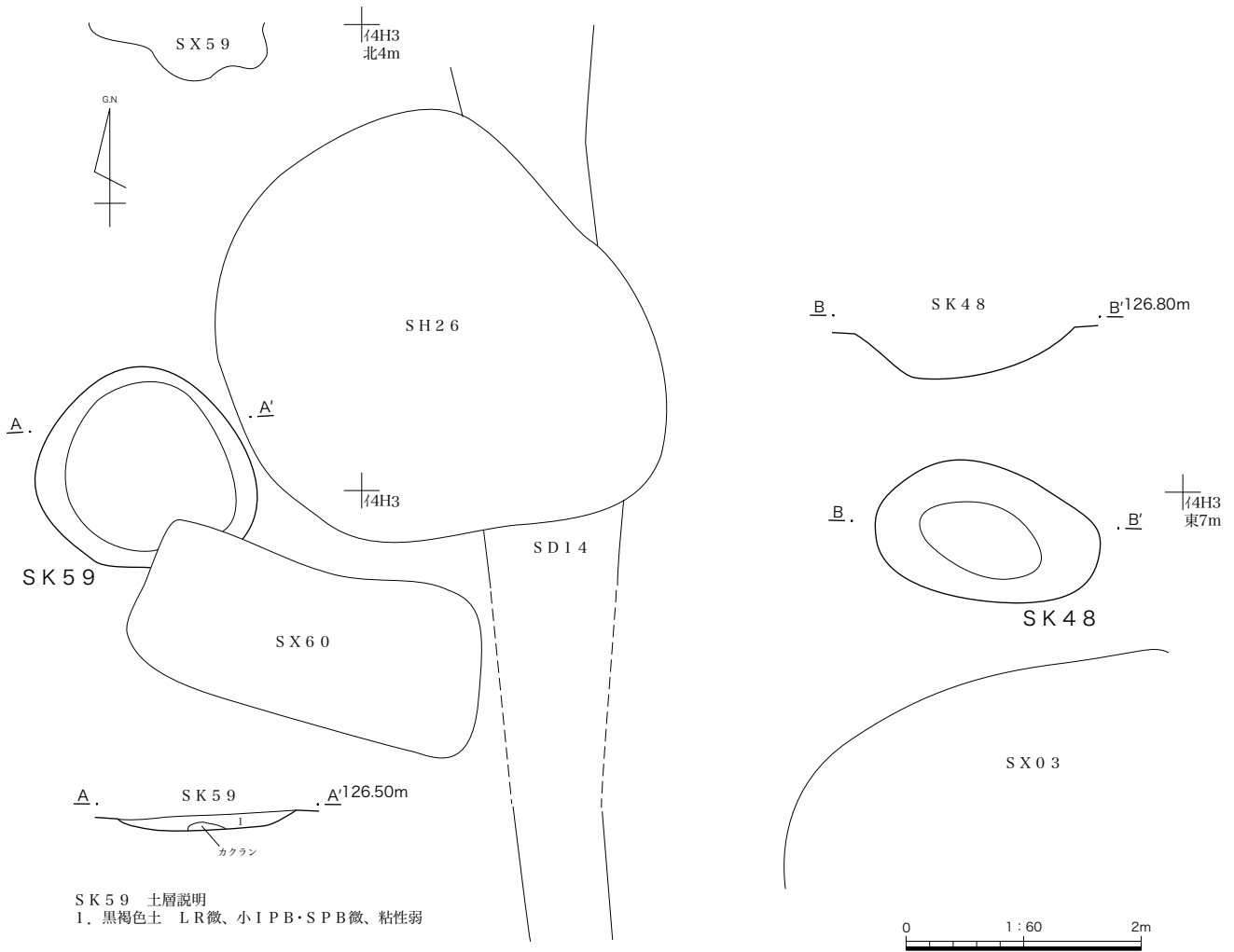
SK42・61 (遺構第385図、遺物第400図)

第2次調査区北側、SZ05の南側に位置する。

SK42は攪乱及びSK61と重複するが、関係は不明である。浅い皿状の土坑で、掘り込みは不明瞭、SK61→SK42と推定される。覆土中央はやや黒味強い。本土坑からの出土遺物1点を図示する(第400図3)。



第386図 SK43~46・55



第387図 SK 48・59

後期後半安行式のひさご形注口土器注口部破片であり、本土坑の時期を示す可能性がある。

SK61の底面はロームで凹凸が著しい。根穴と推定の小ピットがやや多数で、原図にある1ピットは除外して示している。浅い落ち込みの可能性や、SK42を挟んでの攪乱と同一穴（溝）となる可能性もあろうか。

SK 43・44・45・46・55（遺構第386図）

第2次調査区北西のやや土坑がまとまる区域である。SZ05 近辺だが、方形周溝墓との関係はない。

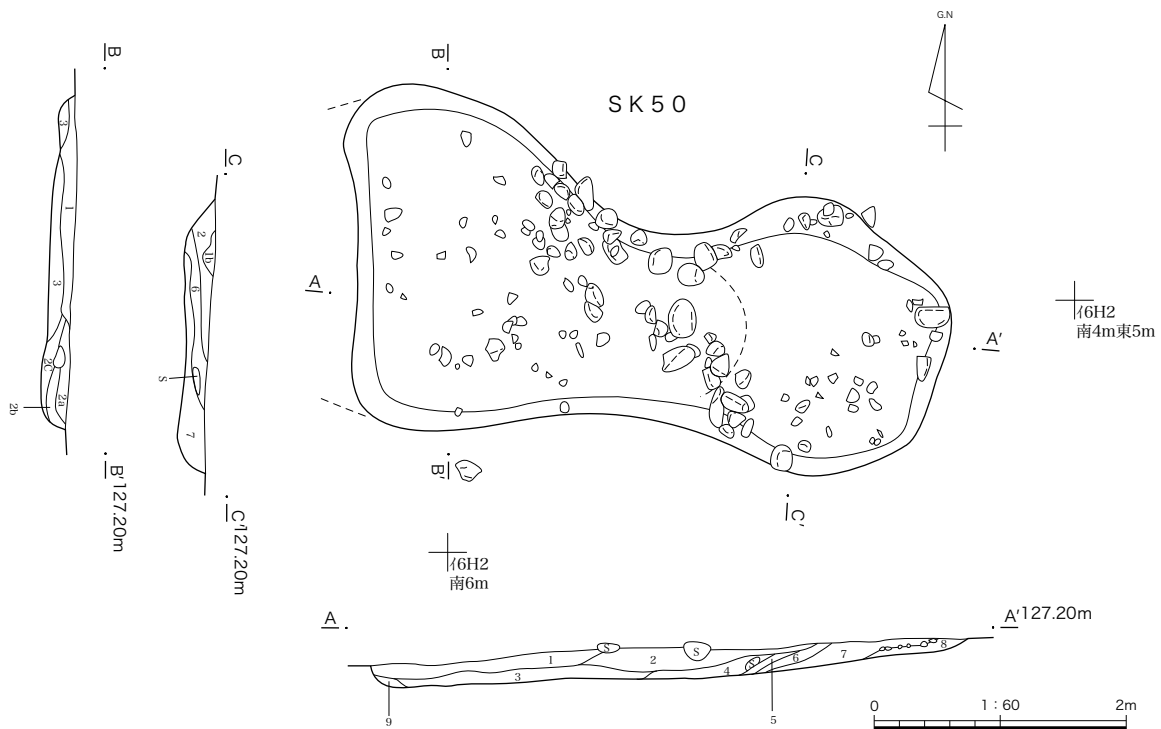
SK43は円形土坑で、浅いが掘り込みは比較的明瞭である。覆土は黒色土単一層で、底面は比較的平らである。SZ05覆土と両方が写っている写真があり、これによればSZ05→SK43が推測される。SZ05覆土と比較すると、平面での比較でもより黒味が強い。

SK44は方形周溝墓覆土と比較的似ている覆土で黒味強い。溝状で壁の傾斜はSZ05 近く of 辺より若干急角度である。底面レベルが概ね同じなど疑問な点が多い。長軸は溝とはずれている。磨石1点の出土がある。

SK45は円形土坑で、比較的掘り込み明瞭である。底面はロームで概ね平坦、覆土は単一層で黒味強い。

SK46は断面写真で見ると、地山とはかなり性質の異なる覆土で、より黒味が強い。断面は皿状で、遺構として良さそうである。

SK55はSZ05 西辺の延長上で、形態的にもほぼ同一（溝の幅・深さ・壁の傾斜など）であることから、



- SK50 土層説明
- | | |
|-----------|------------------------------|
| 1. 褐色土 | LR小、小LB微、小IPB微、焼土少、GR微、炭微 |
| 1b. 暗褐色土 | 焼土ブロック有 |
| 2. 暗赤褐色土 | 焼土少、焼土粒子状少、礫微、GR極微、粘性弱 |
| 2a. 黒褐色土 | SPB微 |
| 2b. 黒褐色土 | 2cの焼土より小粒 |
| 2c. 黒褐色土 | 焼土微、LR微、微小IPB微 |
| 3. 暗褐色土 | 小IPB微、LR少、焼土微、GR微 |
| 4. 暗褐色土 | 焼土少 |
| 5. 暗褐色土 | LR微、焼土微、炭微、粘土微 |
| 6. 暗淡赤褐色土 | 焼土やや多、砂微、LR微、微小IPB微、粘性弱、しまり強 |
| 7. 暗橙褐色土 | 焼土少、LR微、小IPB微、SPB極微、炭微しまりやや弱 |
| 8. 暗黄褐色土 | LRやや多、微小IPB微、炭極微、小IPB微 |

第 388 図 SK50

SZ05 周溝と捉えられるが、セクション写真や図面が無いことから覆土は不明であり、確定的ではない。SD03 との関係も不明だが、SK55 → SD03 との推定が妥当となろうか。

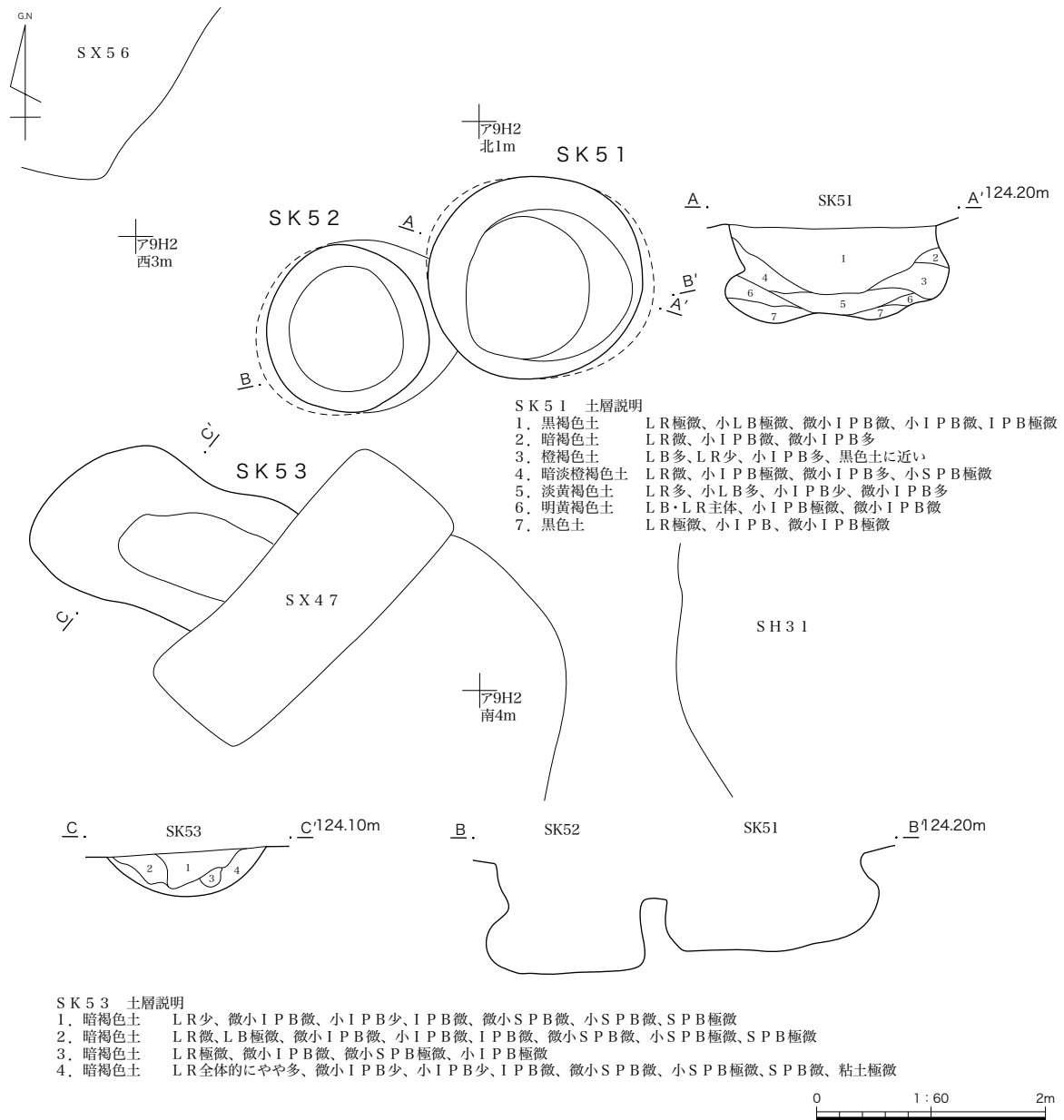
SK48・59 (遺構第 387 図)

SK48 は不整楕円形土坑で、底面は凹凸がある。セクション写真がなく、覆土は不明である。

SK59 は円形の浅い土坑である。断面写真ではより下位まで掘り下げられているが、ローム地山の掘り過ぎと判断された。黒色土部分は浅く、人為的な掘り込みとして良いかの疑問も残る。

SK50 (遺構第 388 図)

2 基重複かのような形態で、覆土上位での多数の焼けた礫が特徴的である。炭も多く「炭焼き窯」と推定されたようである。但し燃焼部・火床部、煙道部などは不明で、浅いことも含め「炭窯」と判断して良いかは疑問などところがある。南北方向の狭い方は 220 cm 程、確認面は黒色土で、底面はロームで概ね平坦なようである。但し写真で見ると土坑内の中央部分で黒色部分が確認でき、更に下位へ底面が深くなる可能性も残る。西辺の壁は黒色土で、更に拡がる可能性がある。覆土はかなり複雑な堆積が記録され、多少整理して示す。焼土層や炭化物が多い層もあるが、極めて多く純層的な程の量ではない。礫の分布も壁際で多いようにも捉えられるが、写真からはさほどの密集は窺えない。礫は 10～20 cm 程度の河原石で熱を受けているものも多い。



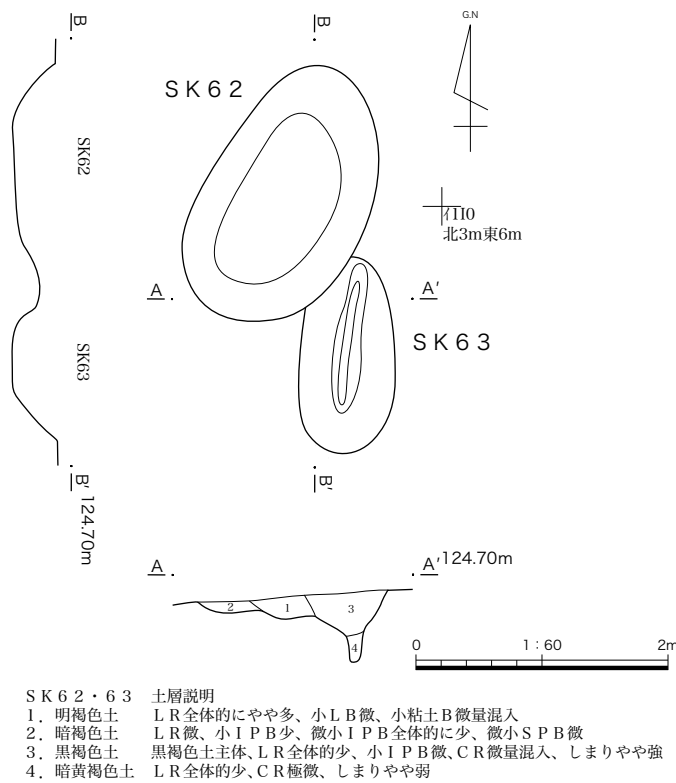
第389図 SK51～53

SK51・52・53（遺構第389図）

第2次調査区北西隅近くにある3基の土坑で、SK51・SK52は袋状土坑である。この2基は上端では重複しているが、壁中位より下位では接する部分でもそれぞれの壁が残っている。両土坑の切り合いは確認されておらず新旧関係は不明である。いずれもローム漸移層での確認で、壁から底面はロームである。

SK51は平面円形、壁の中位～下位でオーバーハングする。底面は概ね平坦で、断面ラインでは若干の凹凸がやや強調されている感がある。覆土の下位はロームブロックが入る崩落土的な様相を示すが、中～上位では厚い黒色土である。

SK52は平面上端径ややSK51より小さいが、深さはSK52の方が深い。西側壁の下方でオーバーハングが顕著である。覆土中位に炭化物の出土があったとされる。SK52 No.4は凝灰岩製石器?の一部である。



第390図 SK62・63

SK53 は不整長楕円形の土坑で、掘り込みはやや不明瞭だが覆土は比較的黒味強く、ローム粒やSP粒がやや多く入る。ロームの底面はやや凹凸がある。

SK62・63 (遺構第390図)

2基はSZ02 方形周溝墓の内側で確認された。確認面はいずれも黒色土～ローム漸移層である。両者は重複し、セクションでの1・3層間分層ラインを切り合いラインと見ればSK63の方が新しい。SK62 は不整楕円形の浅い土坑で、掘り上がり写真からすると底面は平坦となっている。SK63 は底面中央が一段狭く下がっている。但しこれは根穴攪乱の可能性があるのであるように思われる。或いはこの土坑自体攪乱かもしれない。

その他

図示しなかったSK41 は全体図での上端とセクション写真のみ確認できるものである。やや深い円形土坑と浅い楕円形土坑の重複のように掘られているが、楕円形部分はやや乱れたローム地山と見られる。黒色土部分もより外側に広がっているようにも見える。攪乱として判断された可能性もあるが、記録が無く不明である。同様に一部の記録のみで図の掲載を断念した遺構としてSK66がある。土層断面の写真はあり、ここからは黒色土にロームが多く入る覆土の様相が確認できるが、ローム面の凹凸等も含め、攪乱と判断された可能性もある。

SK58 はSZ06 に重複する土坑で、SZ06 図面にのみ掲載した(第372図)。遺構上端は調査区外に続く。写真ではかなり深いようだが、土層断面や平面下端の記録が無く、覆土の様相も含め不明でな部分が多い。周溝との関係も不明とせざるを得ない。

第4節 溝

第2次調査区で確認された溝の概要

第2次調査区では8条の溝が確認されている。調査区内ほぼ中央で大きく南北方向に走るSD14、これに直交して調査区北側で東西方向に認められるSD03、SD14と一部重なりながらクランク状に調査区南側で認められるSD02が主な「区画溝」である。SD14は第1次調査区から続く溝で、番号も同一としているが、それ以外は第2次調査区で新たに番号を発番している。つまり第2次調査区SD01やSD02は第1次調査区のSD01やSD02とは全く別の遺構である点、注意されたい。また調査区南西端のSD17も刈沼遺跡第1次

調査区に続く溝だが、番号の混乱があり、第1次調査区のSD12に繋がる溝である。第1次調査区のSD17とは近い位置ではあるが異なった遺構である点、注意が必要である。またSD09は第1次調査区のSD09と同じ溝で図面上では連続的に繋ぐ状態で示した。なお刈沼遺跡第2次調査区は刈沼向原遺跡とも隣接する位置にあるが、両者に跨って確認されている溝は無い。以下個別に遺構の概要を示す。なおSD07.08.10～13.15.16は欠番、SD04についても欠番扱いとする。

SD01（遺構第391図）

SD01は調査区西壁際で確認された溝で、第1次調査区のSD01とは全く別の溝である。場所によってはかなり上位での確認であったようで、確認面～壁の上位は黒色土、壁の下位～底面一部は漸移層部分が多いが北側では黒色土部分の底面も認められる。SD01を北側からみてゆくと、SD03の西端近くで南北方向の溝が5.2mあり、その南端から4.3m程距離を置いて、ややカーブしながら南へ延びる溝15.5m程が確認されている。北側では幅46cm、深さ10cm、方向はN-4°-W、南側の内でカーブする北側は幅58cm、深さ26cm、軸はN-32°-W、この南直線的な部分は幅30～40cm、深さ15～20cm、方向N-7°-W。13mほど距離をおいて南でも確認されているが、ここでは長さ296cm、幅70cm、深さは不明、方向はN-2°-Wである。距離からすると別遺構の可能性は残るが、形態などからは同一と見て問題無さそうである。覆土の記録は2箇所まで為されており、北側では黒色土の単一層、中央では3層に分けられている。壁は比較的急傾斜である。性格や時期については不明だが、調査区西壁際に沿っており、つまり地割りに沿って曲がっていることは、性格を考える上で参考となろう。

SD02（遺構第392～396図、遺物第400図）

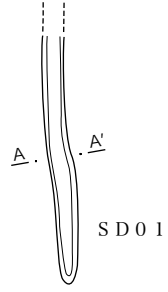
調査区内大きく2回クランク状に折れ曲がり長く続く溝で、総延長124m程となる。確認は、場所により異なるが、概ね黒色土～ローム漸移層で行われたようである。最終的な掘り上がりでは、溝外側も広くほぼローム面まで下げられている。第395図に西端の部分、その東側でSD14と交差する部分を第396図に、更にその北側を第393図、I4H6グリッド辺りでクランク状に曲折し東西方向となる部分が第392図、攪乱部分を経て東端までの確認部分が第394図である。

南側の東西方向部分は35mの長さ、軸はN-82°-Wで概ねSD09と平行する。西端は攪乱？の穴に接し、これより西側では確認されない。調査区中央・南から南北方向となる部分では南北の長さが53.3mである。軸はN-4°-Eで、SD14と近い軸方向だが、若干東に触れた角度である。I4H6グリッドで再度東方向へクランク状に折れ曲がるが、クランク部から6.6m程の確認で、その東は大きな攪乱により不明となる。攪乱を超えた東側では、東端まで39.5mの長さで確認・調査され、その方向はN-87°-Wとなる。この東西部分は北側19mの位置にあるSD03とおおよそ平行する。南北方向部分ではSD14と重複するが、6～8°程軸方向のずれがある。新旧関係はSD14→SD02である。また南西の東西方向部分では、SD09と同方向で約1mの距離をおいて併走している。

他に重複する遺構としては、SK04、SK03、SX14、SX02等がある。新旧関係はSD02→SK04のみ記録されている。幾つかの図や写真でピットの重複を確認しているが、攪乱穴や根穴が多いようで、伴うまたは重複する遺構とは捉えがたい。但し南側の東西方向部分などでピットが多いところもあり、何らかの関連を考えた方が良くかもしれない。

溝の幅や深さは場所により異なる。南側の東西方向溝部分では、幅82～153cm、深さ16～32cmだが、

79H4



A. SD01 .A'124.30m

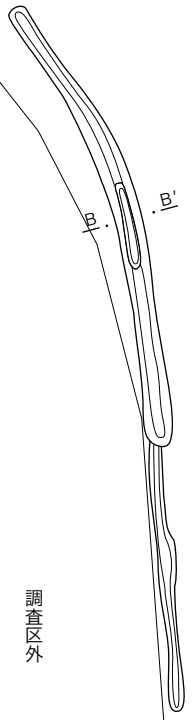


SD01 (A-A') 土層説明
 1. 黒褐色土 IPR微

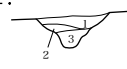
第4節 溝



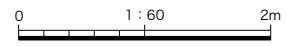
10H5



B. SD01 .B'124.10m



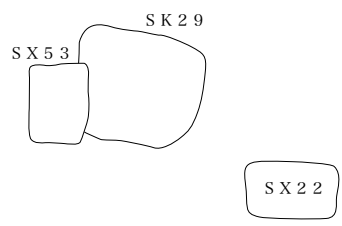
SD01 (B-B') 土層説明
 1. 黒褐色土 微小IPB微
 2. 黒褐色土 IP粒微、砂含む
 3. 暗褐色土 IP粒少



調査区外

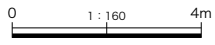
SD01

10H7



SD01

SX08



第391図 SD01

おおよそ幅 120～130 cm、深さ 25 cm 程度の部分が多い。南北方向部分では幅 95～150 cm、深さ 26～58 cm、北側の東西方向部分では幅 68～100 cm である。北側での深さは断面記録が殆ど無く不明である。覆土は上位が黒味強い土、下位が明るめでロームが多いという全体的な傾向があるようだ。比較的近い距離の土層断面同士でも、調査時には対比せず別番号で扱われており、整理時に対応を試みたものの、原則として調査時のまま扱った。但し写真も含め比較すると、上位～下位それぞれで類似・対応する性質の層のようであり、堆積の過程を窺わせている。但し K ライン（第 393 図）などでは上位の 1 層中においてロームブロックや S P 粒がやや目立っており、近辺の地山ロームとの関わりなどから差異が生じている部分がある。

底面は概ね平坦だが、凹凸が目立つところもある。壁の傾斜もやや急なところと、緩いところがある。なお遺物が数点出土している。縄紋土器以外で図示したもののうち、第 400 図 10 は砥石で特徴から中近世と推測されるものである。縄紋土器の無文・条線・縄紋等の破片が 12 点出土し、一部を示した。

S D 0 3 ・ S D 0 6（遺構 392・397～399 図、遺物第 400 図）

SD03 は調査区北側で東西方向に走る溝で、長さ 101.2 m 程確認されている。3 つの平面図に分けて示した。西側では SZ05 や SD06 と重複し、溝幅がやや狭い。中央では SD14 と直交重複し、溝幅が広い。SD14 との関係は捉えられていない。東側（第 398～399 図）では南側の SD02 と概ね併走し、東端は攪乱穴に接して終わっている。但し攪乱穴は調査区際近くまで拡がっており、調査区外に延びていた可能性も残される。SK037 と重複するが関係は不明である。

確認は概ねローム漸移層、壁の下方～底面はローム層である。底面は概ね平坦であるが、断面形皿状で、平坦面はやや狭く、凹凸も比較的目立っている。壁や底面、上端近辺で小ピットが多くあるが、溝本体との関係は不明である。穴の多くは攪乱穴の可能性が高い。

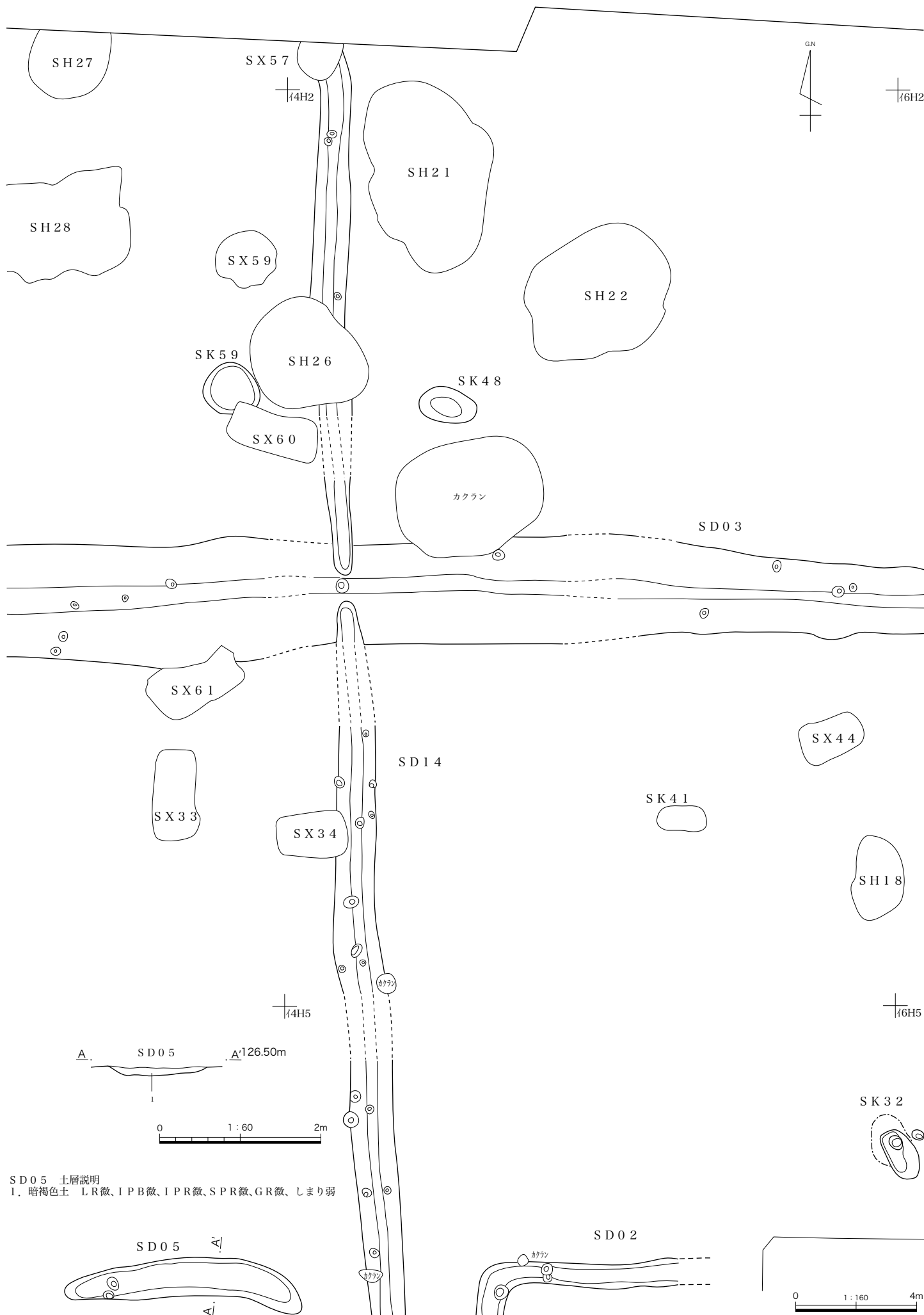
溝の方向は西側では N-84° -W、中央では N-90°、東側では N-80° -W で、全体で方向を計測すると N-84° -W となる。溝幅は西側では 220～400 cm、中央では 350 cm 程度だが、I 6H3 グリッド付近では狭くなり 140～250 cm、東側では 190～224 cm である。深さは西側では 30～40 cm 程だが中央付近ではやや厚く、D ラインでの計測で 62 cm、東側ではまた浅く 16 cm となる。

溝の覆土は、上位に黒味強い土、下位にロームや I P 粒・ブロックが多く明るい土が堆積している傾向がある。SD03 からの出土遺物で混入の縄紋土器以外では銭貨（第 400 図 16）がある。時期判断の参考として良いか判断難しいが、考慮しておいても良いかもしれない。他に中世在地産甕の口縁部破片（15）が出土している。ほかに SD03 からは土師器 13 点、縄紋土器 4 点（無文 3. 有文小片 1）が出土している。

SD06 は南北方向溝で、南は SD03 に近接する位置からはじまり、北は調査区外に続く。但し 2 m 程北に狭い幅の調査区があり、更にその北には広く面的に調査した刈沼向原遺跡があるにもかかわらず、延長方向で溝の確認は為されていない。また調査区内においても、厳密には点線で示したように、調査区より南側 2 m 範囲までしか掘られておらず、間に黒色土のプランは見えているものの、未調査または記録がとられていない範囲がある。ほぼ直線的に推移する溝で、16.7 m の確認、軸は N-3° -W である。東側にある SD14 とは 24 m 程の間隔はあるが、ほぼ平行している。断面皿状で底面～壁は凹凸がある。上端幅は 72～140 cm、深さは 14～21 cm である。S X 等攪乱穴との重複はあるが、遺構との重複は無い。

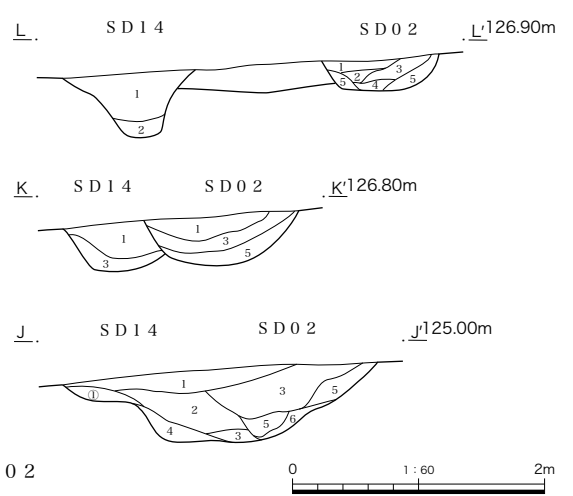
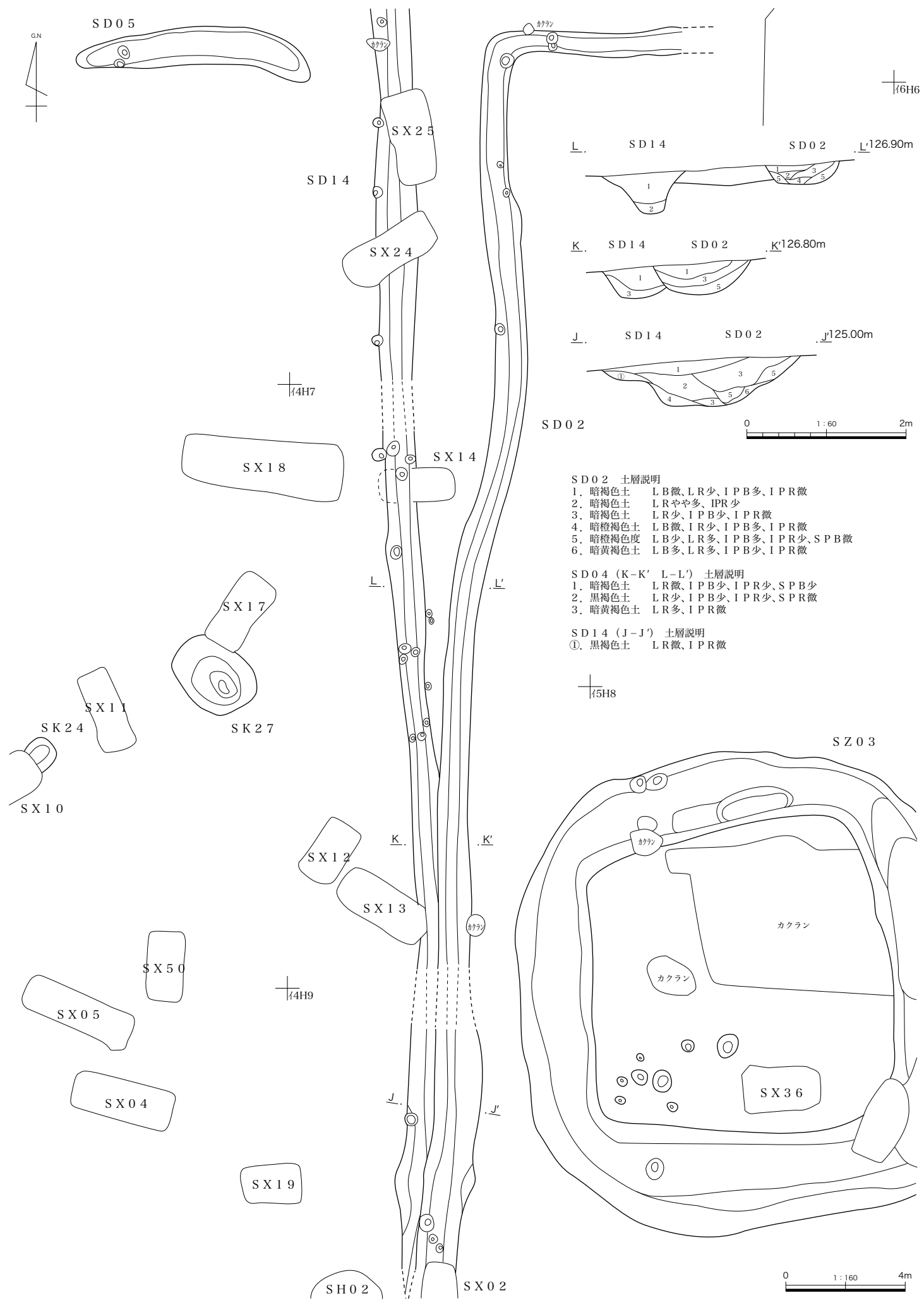
S D 0 5（第 392・393 図）

SD05 は調査区中央で確認されている東西方向溝で SD14 と直交方向、SD02 の北側東西方向部分の西側延



SD05 土層説明
 1. 暗褐色土 LR微、1PB微、1PR微、SPR微、GR微、しまり弱

第392図 SD02・03・05・14

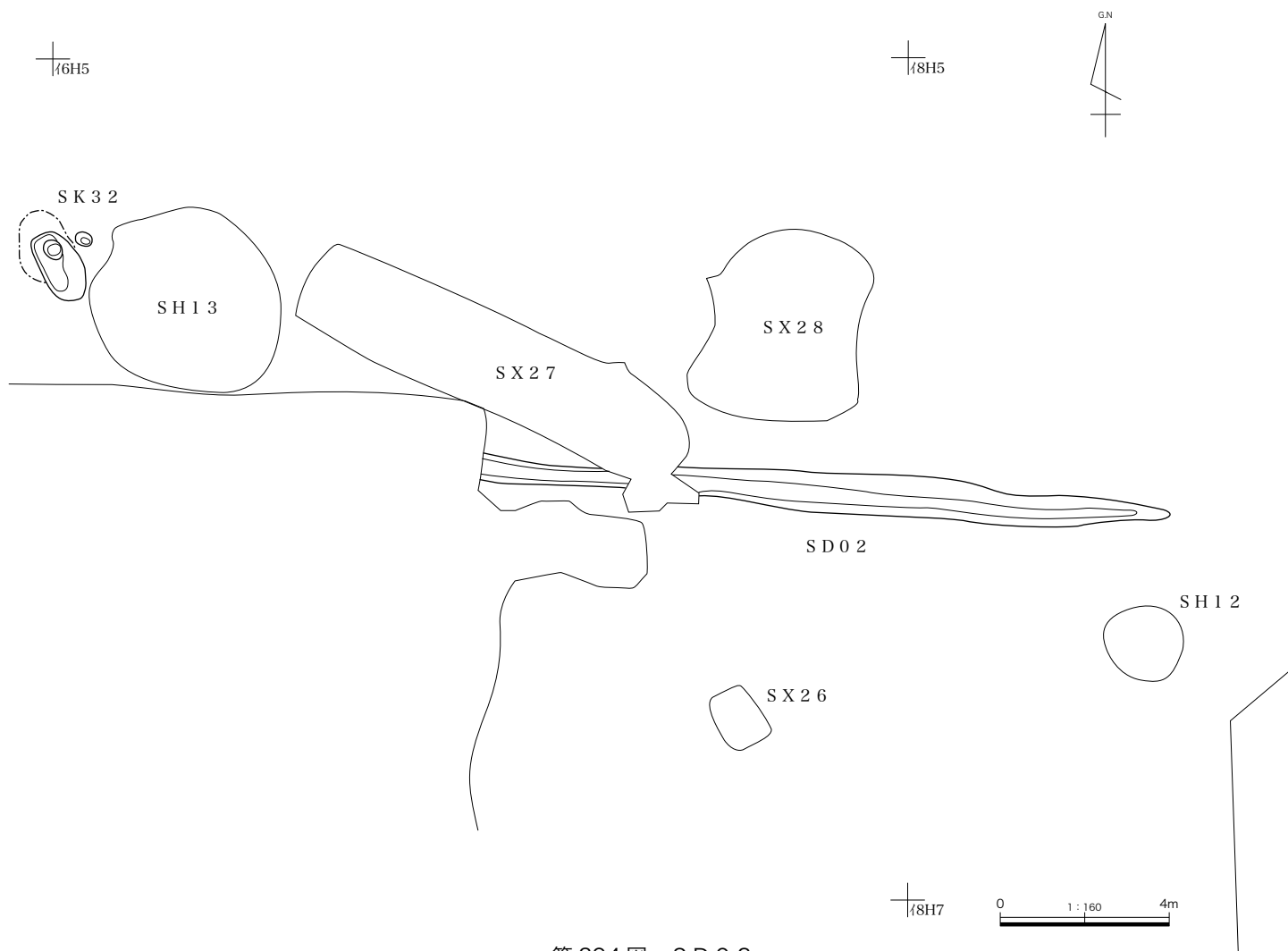


- SD02 土層説明
- 1. 暗褐色土 LB微、LR少、IPB多、IPR微
 - 2. 暗褐色土 LRやや多、IPR少
 - 3. 暗褐色土 LR少、IPB少、IPR微
 - 4. 暗橙褐色土 LB微、IR少、IPB多、IPR微
 - 5. 暗黄褐色土 LB少、LR多、IPB多、IPR少、SPB微
 - 6. 暗黄褐色土 LB多、LR多、IPB少、IPR微

- SD04 (K-K' L-L') 土層説明
- 1. 暗褐色土 LR微、IPB少、IPR少、SPB少
 - 2. 黒褐色土 LR少、IPB少、IPR少、SPR微
 - 3. 暗黄褐色土 LR多、IPR微

- SD14 (J-J') 土層説明
- ①. 黒褐色土 LR微、IPR微

第393図 SD02・05・14



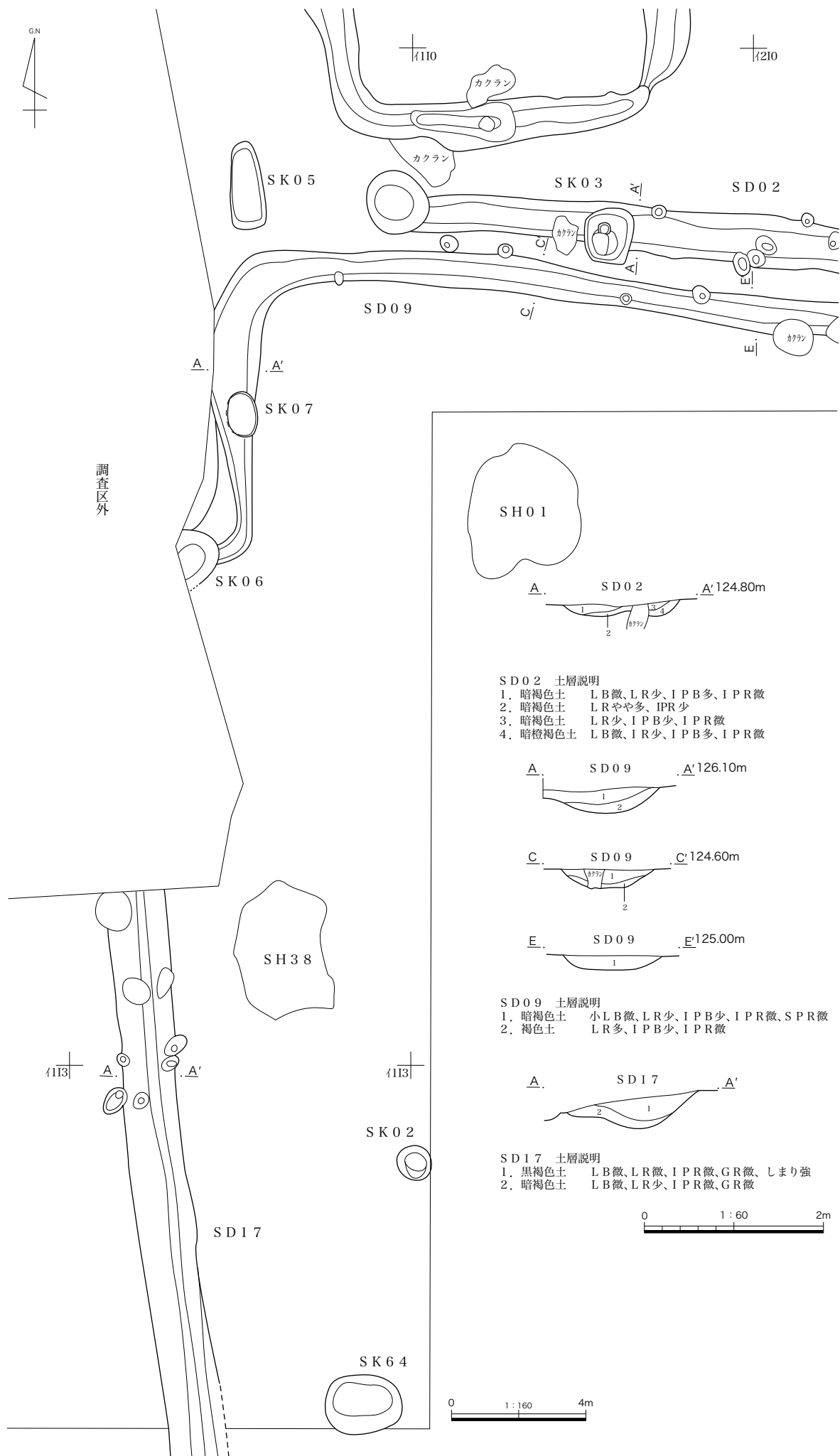
第394図 SD02

長ラインに位置している。SD02と同方向同軸で、同時期や同性格とも推定されるが、形態はかなり異なっている。長さは7.9m程の確認。上端幅は110～128cm、深さ30cmである。東側が南東方向に振れるやや弧状ともいえる方向で、計測するとN-85°-E～N-75°-Eとなる。掘り込みはやや不明瞭で、壁の傾斜はやや緩やかである。覆土は黒味の強い土、ロームの底面はやや凹凸がある。

SD09（遺構第395・396図）

第1次調査区SD09と同じ溝である。第1次調査区南東で63m程南北方向で確認され西北西方向に折れ曲がって調査区際まで45.5m程続く。第2次調査区に入っても概ね同方向で30m程進み（軸はN-84°W）、調査区西端近くで南側に折れ曲がって8.2m程続く。西端は再度クランク状に東西方向溝のような形態となるようだがSK06及び調査区外にかかり不明となる。総延長143.2mと計測された。中央の軸方向はSD02のクランクから西側部分の方向と同じで併走しており、既述のように関連を考えて良い。更にこの方向が現在の地割りとも概ね同方向である点も確認できる。

第1次調査区側では120～200cm程度の幅だが、第2次調査区側に入り一端幅が狭く、上端幅90～110cm、深さ13cmと浅くなる。西側で折れ曲がって南北方向になると、幅132×深さ27cmと、やや幅広で若干



SD02 土層説明

1. 暗褐色土 LB微、LR少、IPB多、IPR微
2. 暗褐色土 LRやや多、IPR少
3. 暗褐色土 LR少、IPB少、IPR微
4. 暗橙褐色土 LB微、IR少、IPB多、IPR微

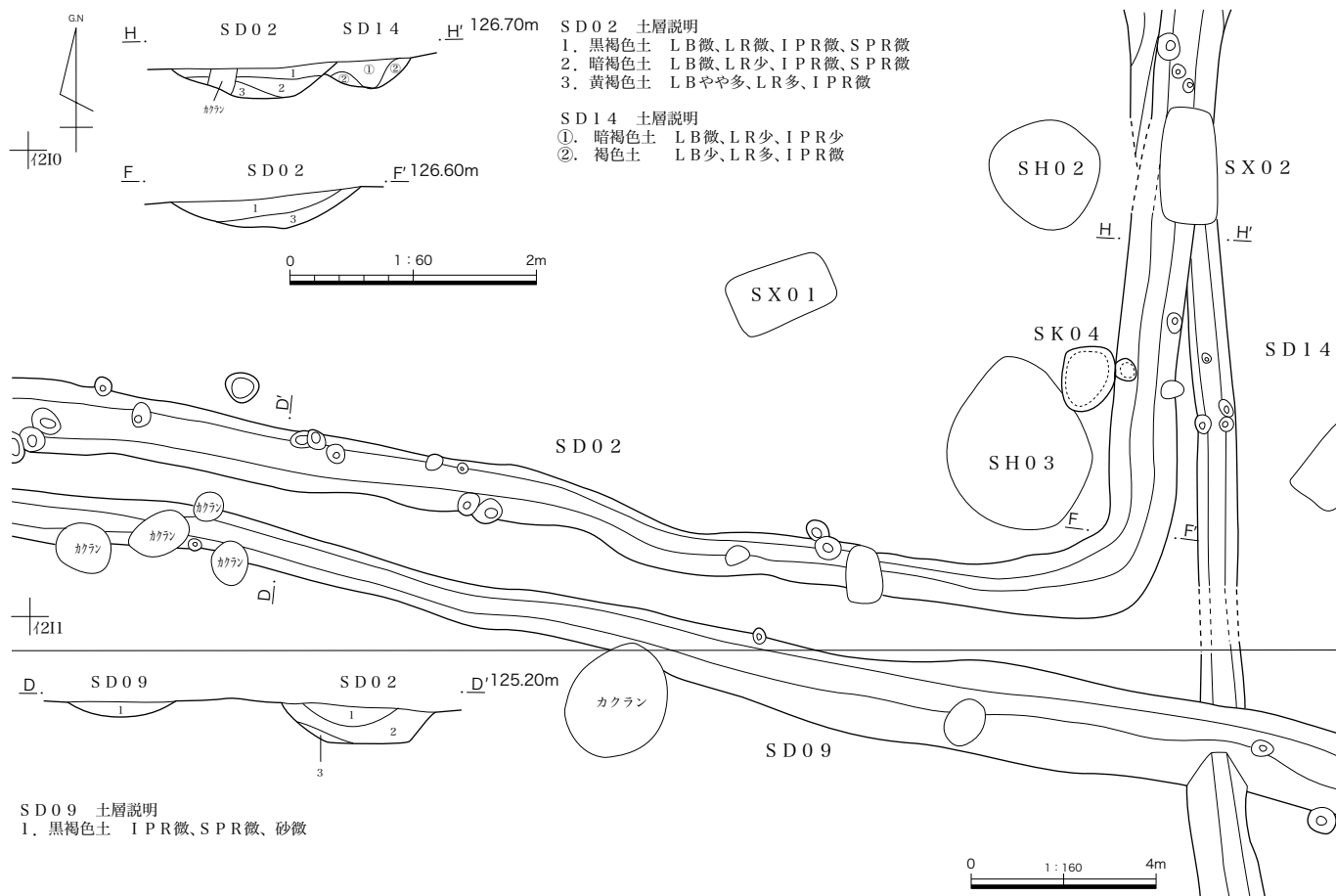
SD09 土層説明

1. 暗褐色土 小LB微、LR少、IPB少、IPR微、SPR微
2. 褐色土 LR多、IPB少、IPR微

SD17 土層説明

1. 黒褐色土 LB微、LR微、IPR微、GR微、しまり強
2. 暗褐色土 LB微、LR少、IPR微、GR微

第 395 図 SD02・09・17



第 396 図 SD02・09・14

深くなる。溝覆土は黒味の強い上位の層と明るい褐色系の下位の層からなる。上位の黒色土系ではIPやローム粒が殆ど入らない。南西側で重なるSK06・SK07との関係は不明だがいずれもSD09より深い。

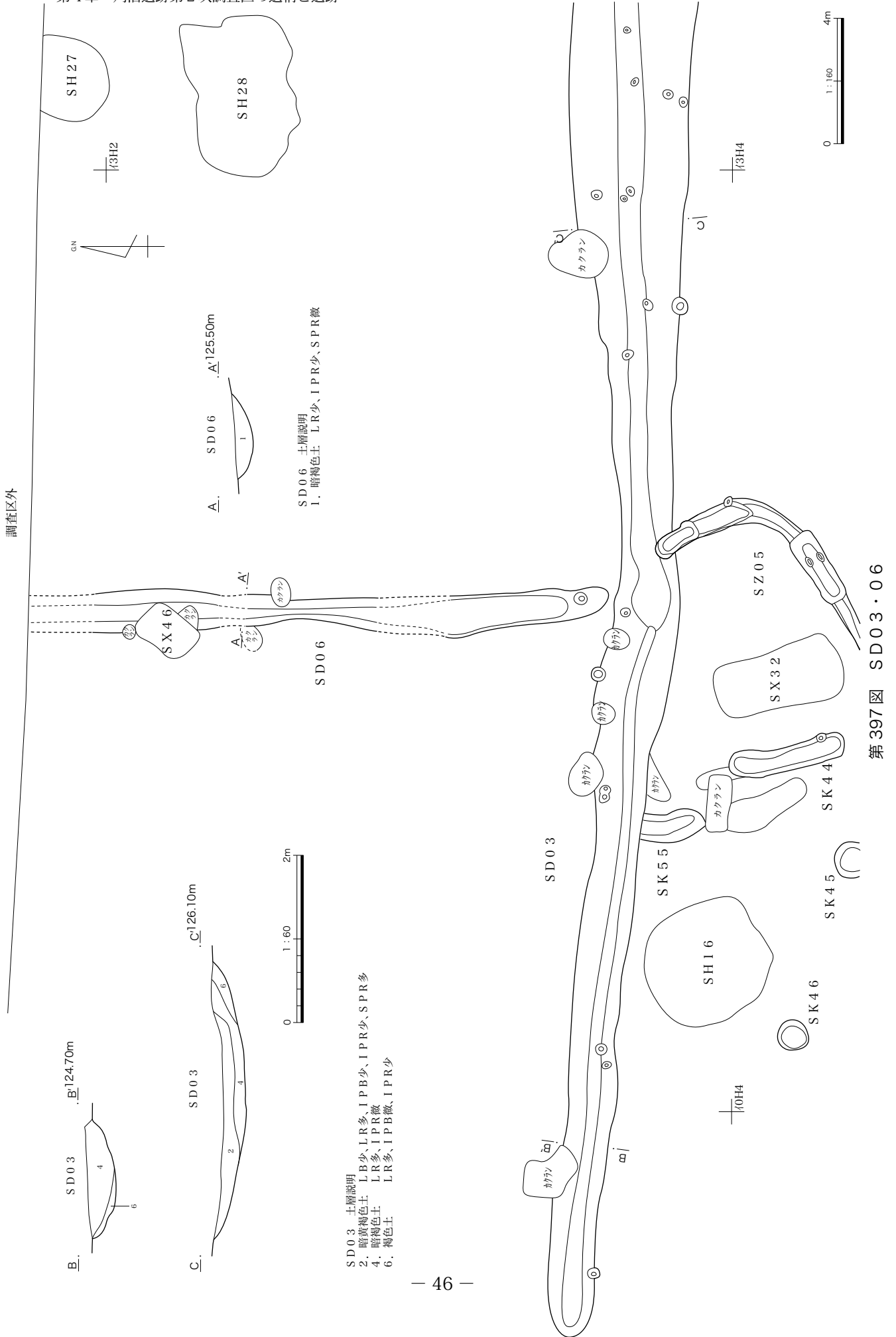
SD17 (遺構第395図)

調査区南西で確認された南北方向の溝で、既述のように南側は第1次調査区のSD12に連なる。但し若干確認面レベルの違いもあり、わずかなずれが認められる。第2次調査区範囲内では16.1mの確認で、軸方向はN-7°-Wである。第1次調査区側で確認の28mを併せると44.1mとなる。幅は150cm、深さ35cm、北側で小ピットが比較的多くかかっているが、攪乱穴と思われる。第1次調査区側の幅が210cm以上と広いのは確認面の差が影響していると考えられる。第1次調査区側では、東側に併走する第1次調査区のSD17があるが、第2次調査区側でこの延長上に溝の確認は為されていない。

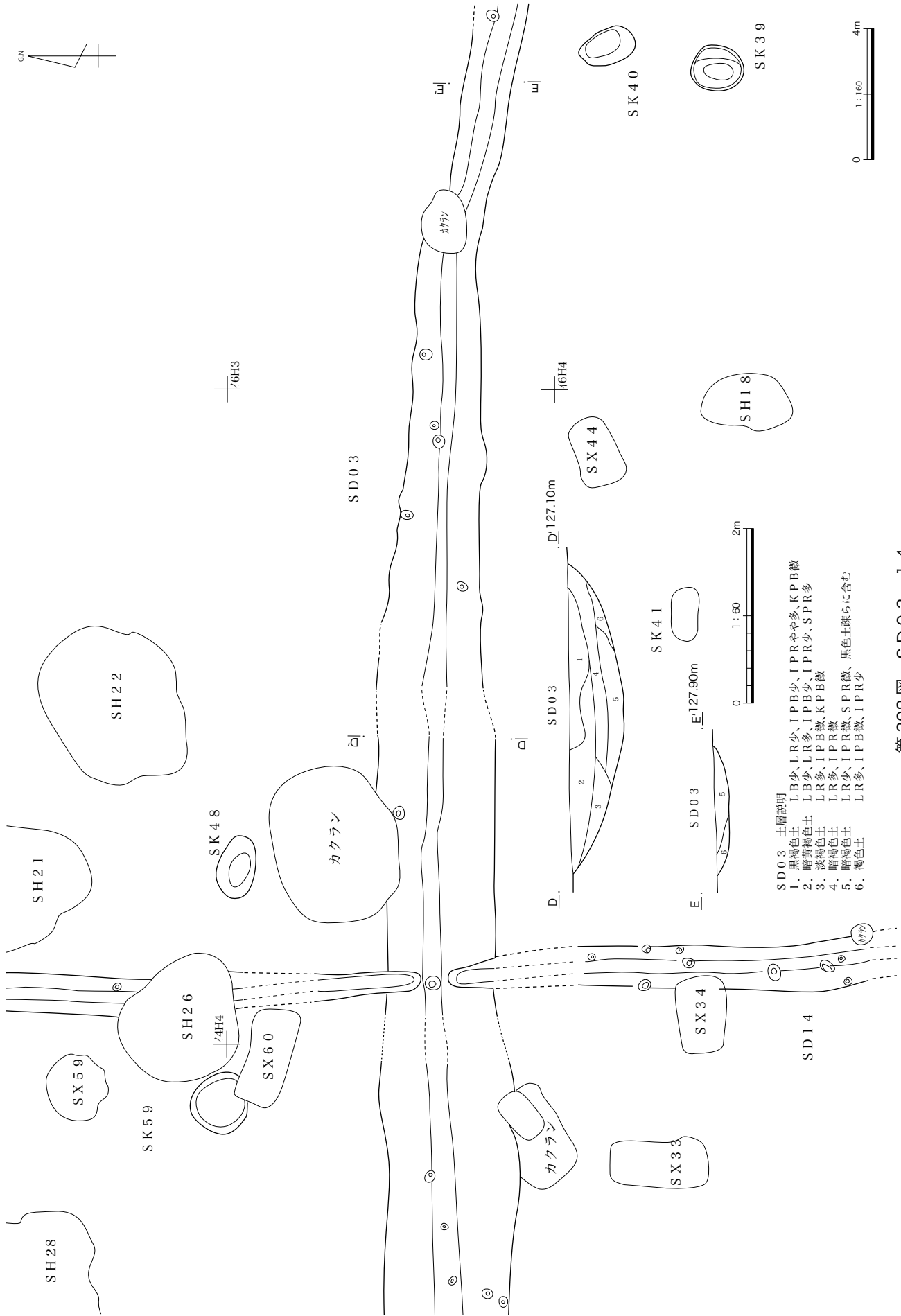
断面皿状で底面での平坦面はかなり狭い。若干の凹凸はあるが、全体的には断面カーブに沿って概ね平らであるとも言えよう。覆土の上位は黒味の強い土でロームを殆ど含まない。下位の層は灰色味を帯び、ロームをやや多く含む傾向がある。

SD14 (第392・393・398図、遺物第400図)

SD14は第1次調査区SD14と同じ溝である。第2次調査区内で91mの確認、第1次調査区での33.5mを併せると126.4mもの溝となる。軸方向はN-3°-Wで、ほぼ直線的に推移する。SD03と直交交差し、

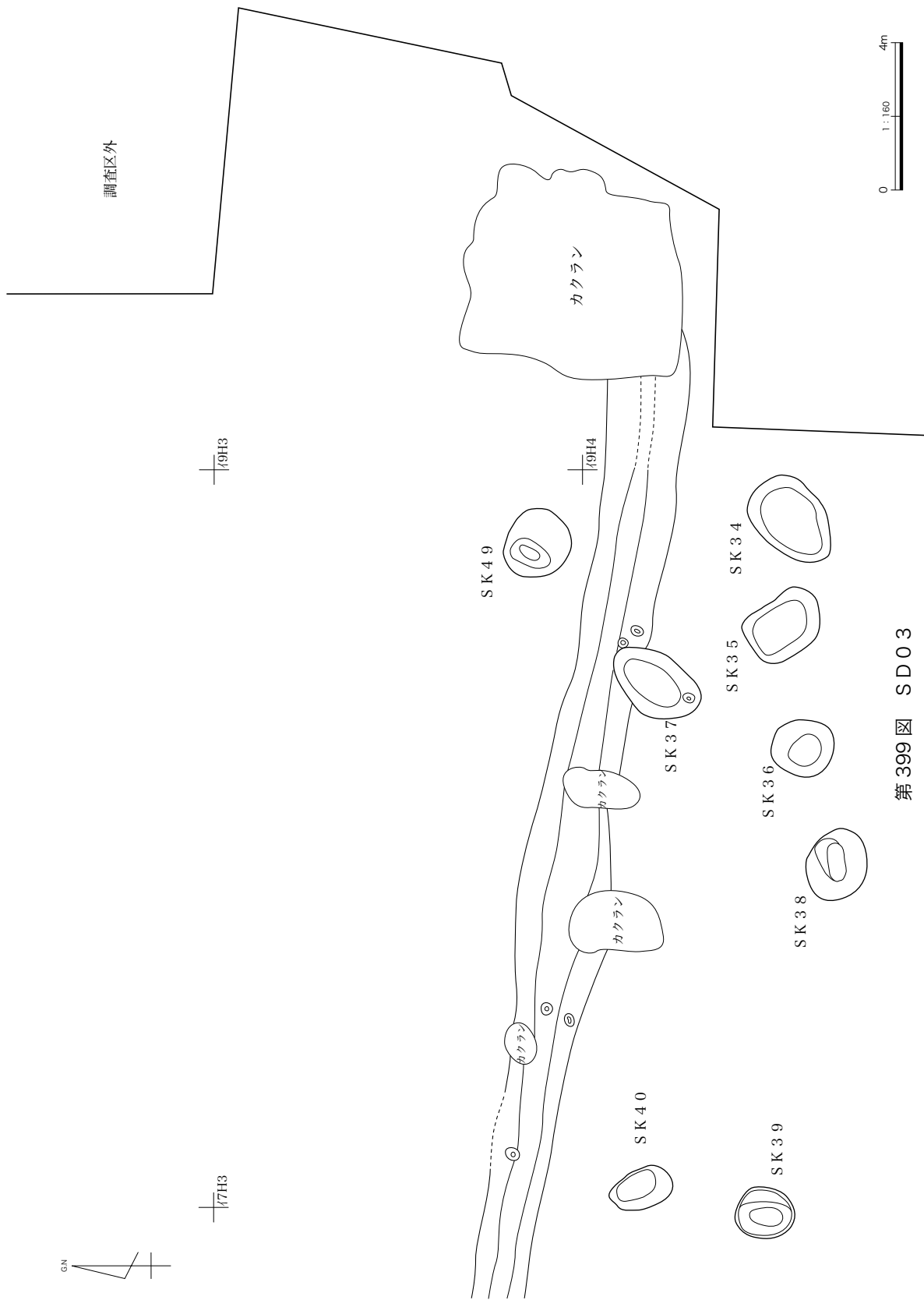


第397図 SD03・06



SD03 土層説明
 1. 黒褐色土 LB少, LR少, IPB少, IPRやや多, KPB微
 2. 暗黄褐色土 LB少, LR多, IPB少, IPR少, SPR多
 3. 淡褐色土 LR多, IPB微, KPB微
 4. 暗褐色土 LR多, IPR微
 5. 暗褐色土 LR少, IPR微, SPR微, 黒色土礫らを含む
 6. 褐色土 LR多, IPB微, IPR少

第398図 SD03・14



第399図 SD03

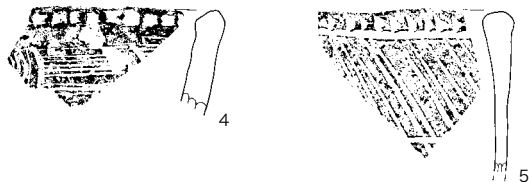
SK06



SK42



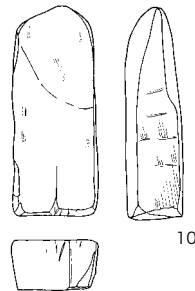
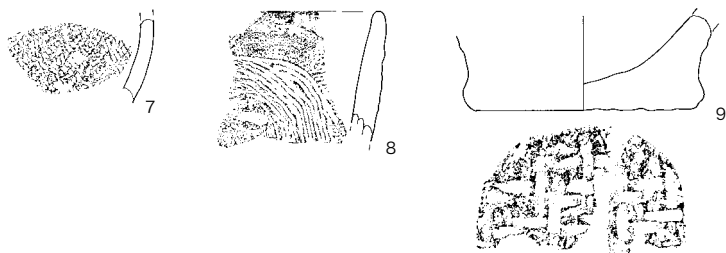
SK17



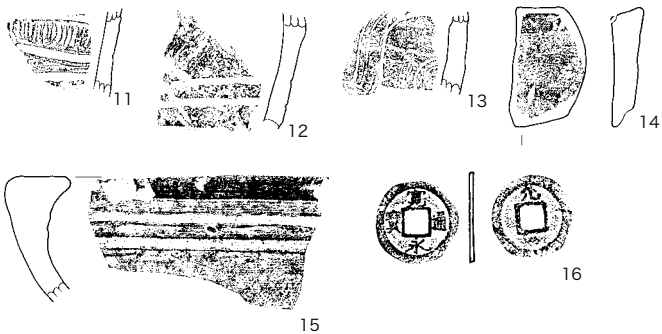
遺構外



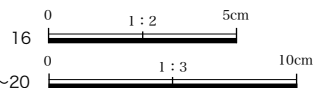
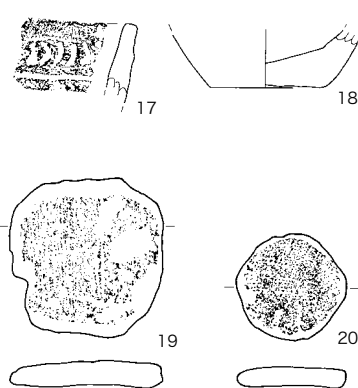
SD02



SD03



SD14



1~15.17~20

第400図 土坑・溝出土土器(縄紋~近世)

その部分で途切れたような表現となっているが、概ね同程度の深さで、より幅の狭いSD14の形態が不鮮明になっていることによる。実際の新旧関係については不明である。この交差部より北側では幅70～124cm、これより南では120～160cmとやや幅広となる。SD02と重複的な部分では計測難しいが、72～170cmで推移し、調査区南端近くでは幅86cmである。第1次調査区側でSD09と交差するが、SD09との関係も不明である。深さは24～56cm、断面逆台形状部分が多い。壁の傾斜はやや急角度のところもあり、掘り込みは比較的明瞭であったようである。底面のロームは概ね平坦だが、凹凸のあるところも認められる。覆土は上位に黒味の強い層、下位に明るくロームの多い層が堆積するパターンを基本とする。但し一部では上位でもロームの多いところが認められた。なお詳細な出土位置が不明だが、縄紋土器（第400図17）及び古墳時代前期の土師器（同図18）が出土している。方形周溝墓群との関わりかもしれない。

遺物では、土師器数点が出土しており、この中には土師器碗、ハケメ調整の高坏1点がある。他に縄紋土器1点、弥生土器1点（未図化）がある。第400図19.20は土製円盤である。

第5節 遺物（第401～406図）

第2次調査区から出土した遺物については、詳細にカウントをし得なかったものの、やや少量の遺物が認められた。遺構出土例以外では打製石斧8点、独鈷石3点、石製円盤？1点、石錘1点、磨石類18点（未掲載の磨石類14点あり）、石皿類11点を確認している。

打製石斧では概ね第1次調査区出土例と同様に、弱く挟れる括れ部を有するもの、縦長の形態例などが確認される。第401図に示した縄紋土器では、復元の粗製土器1.2が刺突など特徴的で興味深い。全体に後期後半が目立っている点は、時期毎の集落域を考える上で注意される。

第406図には弥生時代から古墳時代の遺物をまとめた。1.2.4のように弥生時代中期が少数ながら出土していることは注意される。7以降は古墳時代の土師器で、小形埴・碗が目立っている。本来方形周溝墓に伴っていた可能性もあるが、詳細な出土位置などのチェックは行っていない。

他にグリッド出土の土器で点検した限り、以下のものが確認された（特記していない例は型式不明の縄紋土器を示す）。

I0列のグリッドでは、J2グリッドで26点、I5グリッドで5点（晩期）、J3グリッドで2点、I6グリッドで20点（2～3個体の古墳前期）、I6グリッドで弥生1点、G5グリッドで1点、I7グリッドで10点である。I1列では、I5グリッドで5点（1点は縄紋中期）、J3グリッドで10点、J6グリッドで9点、I3グリッドで4点出土している。I2列ではI9グリッドから後晩期の破片が100点近く出土している。I3列ではJ0グリッドで4点、I6グリッドで3点、I3グリッドで2点、I8グリッドで3点、I3グリッドで3点、I7グリッドで1点の出土がある。

他にI6I6グリッドで7点、79I7グリッドで6点、I4I7グリッドで2点、「UTKⅡ埋土」で100点ほどが出土している。またI4I8グリッド内SD02から附加条の弥生土器6点（未実測）がある。

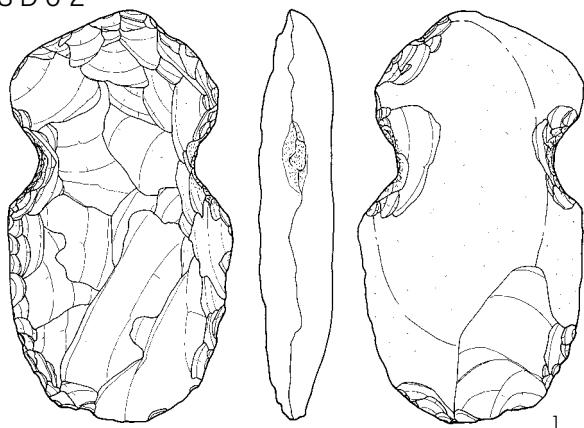
以上のグリッドの他、欠番の遺構SD13からの取り上げ遺物で土師器1点がある。

剥片石器の調査区全体集計では、石鏃1点、剥片14点、碎片5点、玉髓剥片（核）5点、使用痕のある剥片3点、やや大形の剥片5点がある。礫石器では、礫器1点、磨石18点、石皿類11点、砥石1点が認められている。他には、磨痕ある礫1点、中近世の石器破片？1点が確認された。

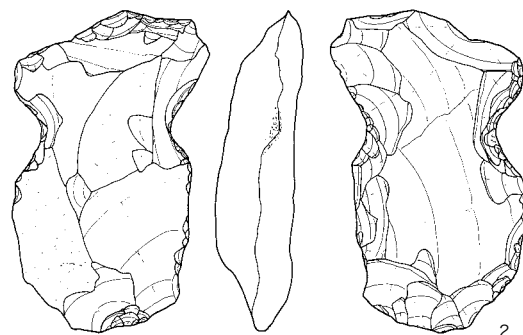


第401図 グリッド出土土器(縄紋時代)

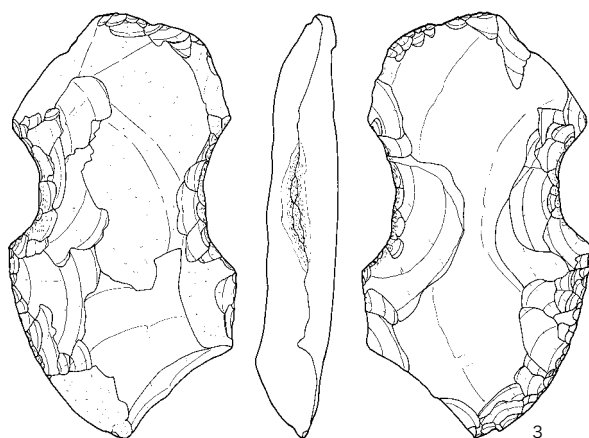
SD02



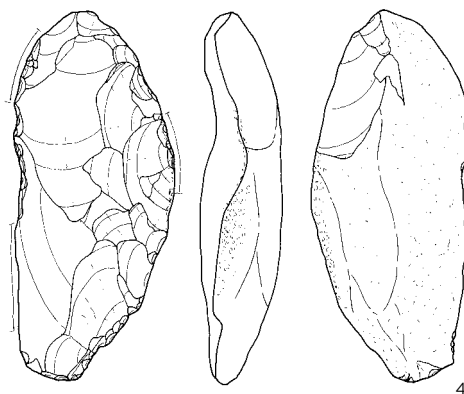
SD03



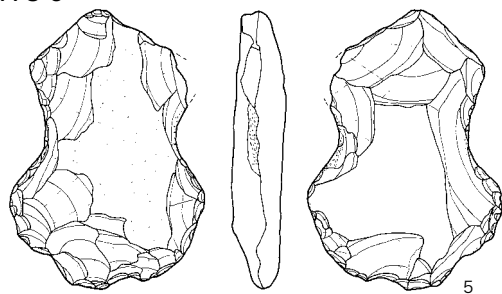
SD04



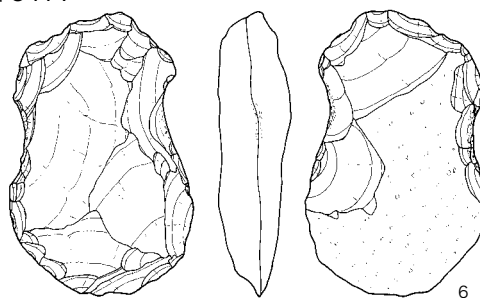
SZ06



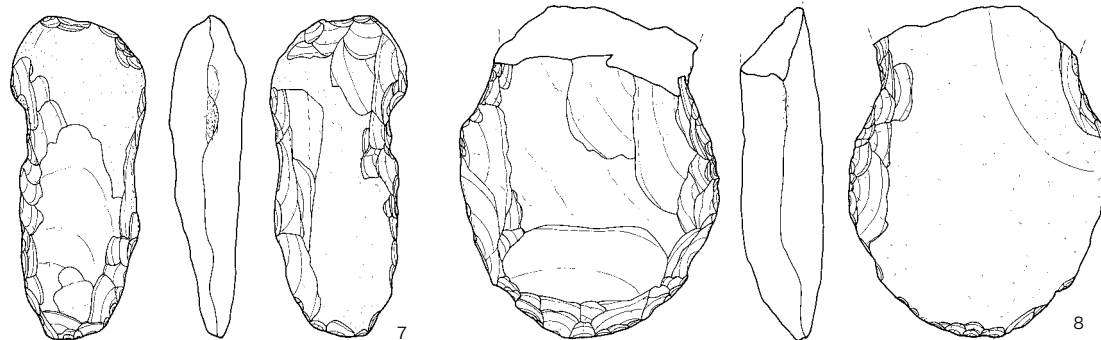
SX39



15H7

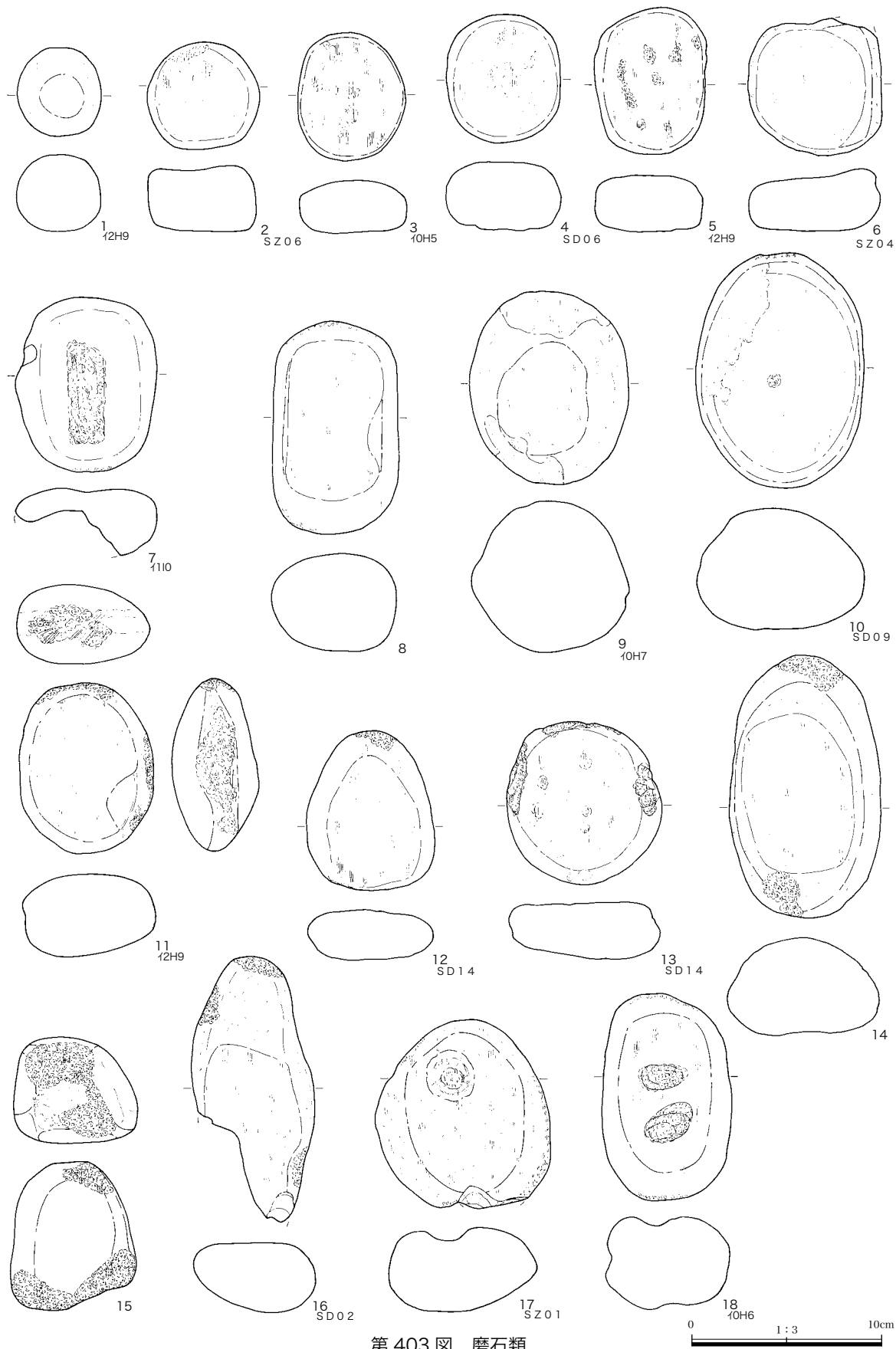


遺構外

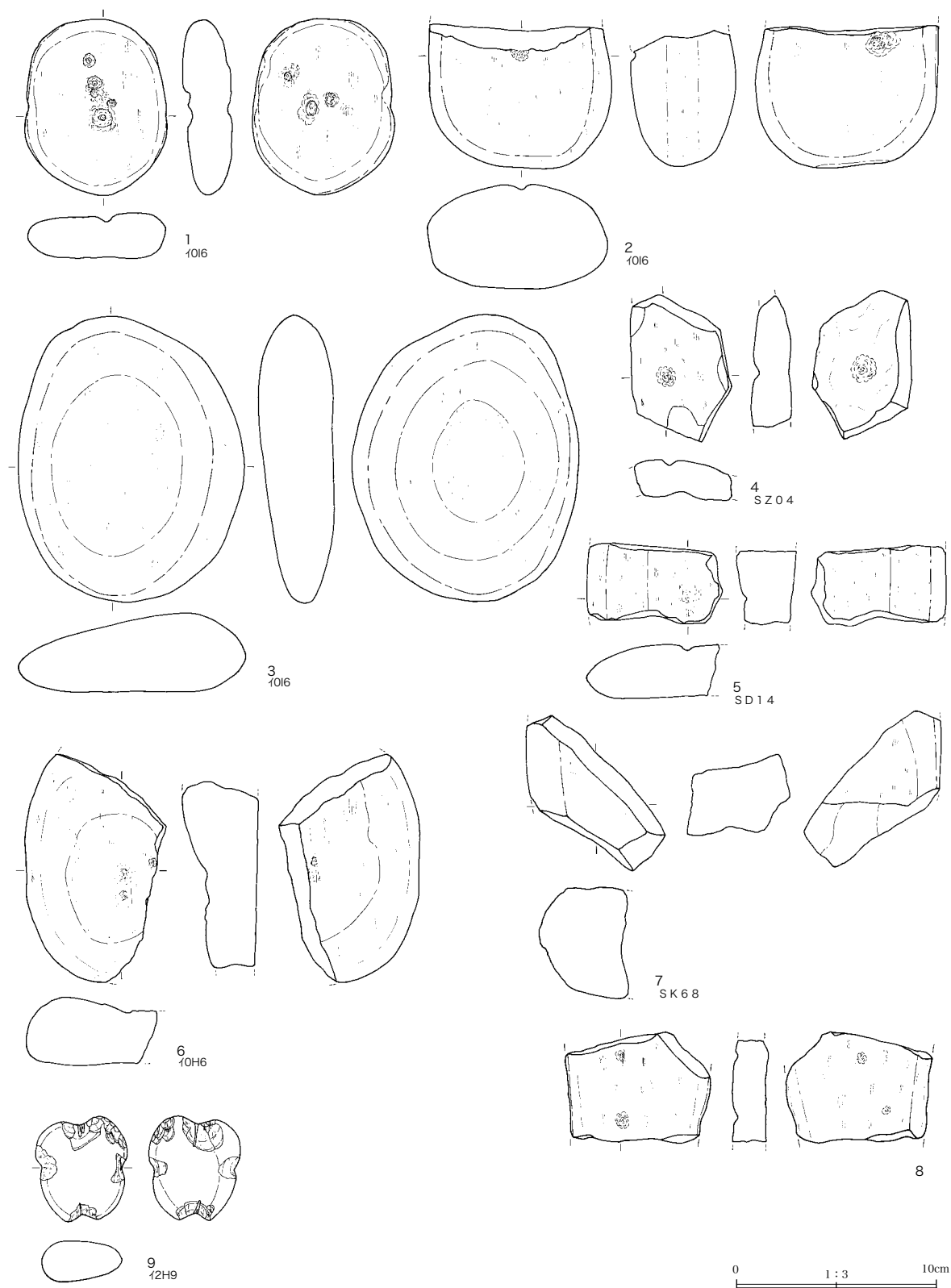


0 1:3 10cm

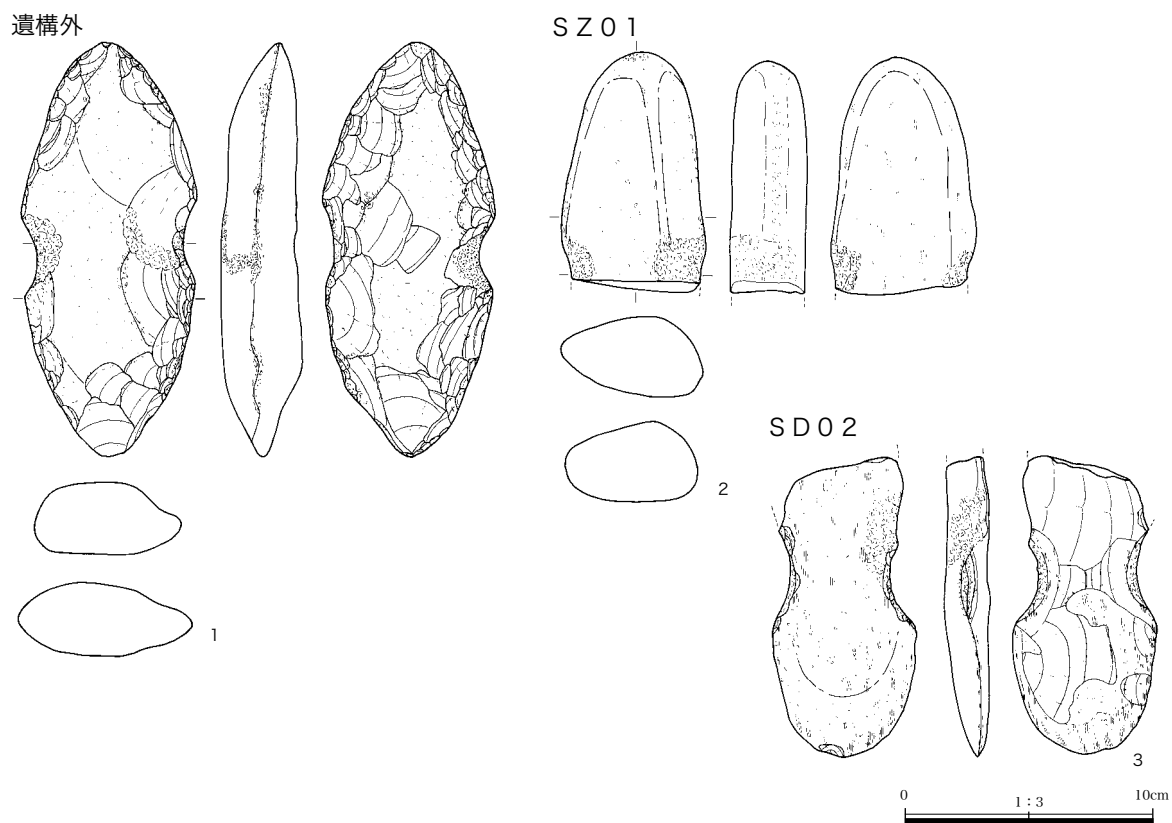
第402図 打製石斧



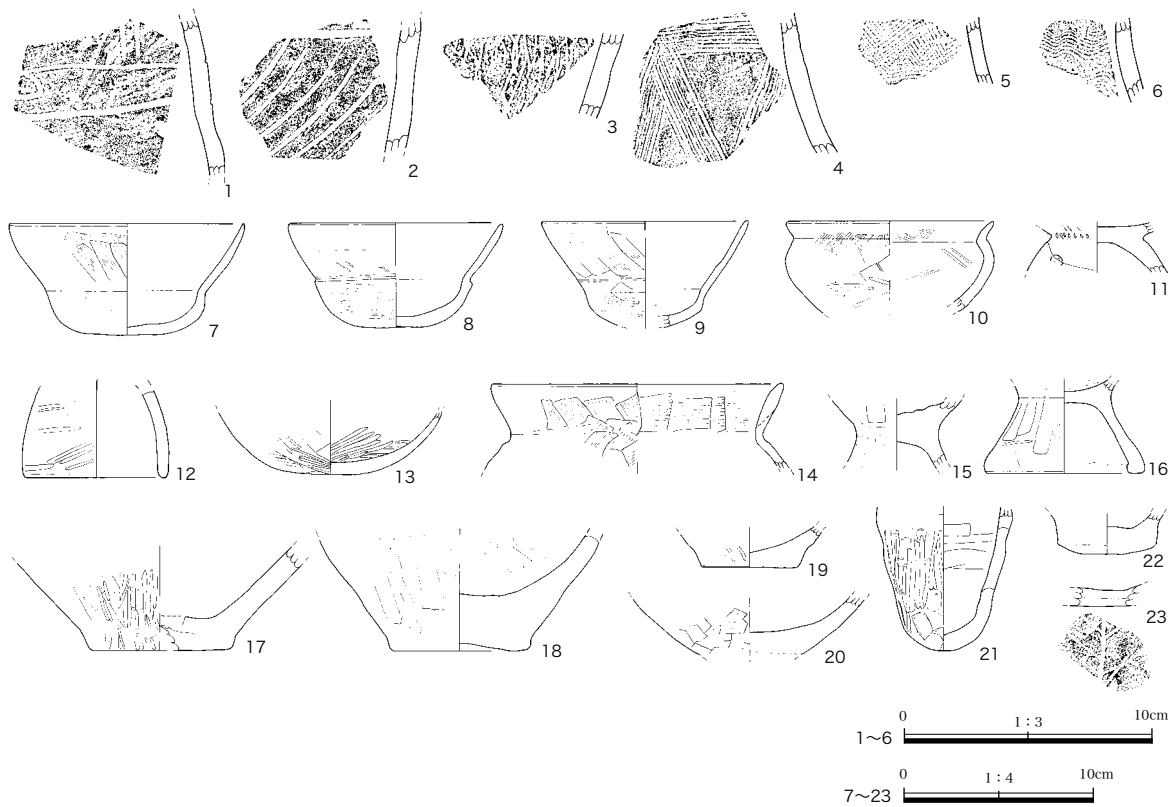
第403図 磨石類



第404図 石皿類等



第405図 独鈷石



第406図 グリッド出土土器(弥生~古墳時代)

第5章 刈沼遺跡第3次調査区の遺構と遺物

第1節 概要

調査区については第1章第4・5図に示した。開発区域内でも最も南西に位置し、県道64号宇都宮向田線の西側になる。第1次・第2次調査区が台地上にあるのに対し、この調査区は谷～低位段丘面にあり、調査前は水田であったところである。第1次調査区とは60m程の距離がある。標高は114m程で、第1次調査区とは12m程度の標高差がある。確認調査を平成19年度に行い、翌平成20年度に本調査を行った。第5図には確認調査部分のトレンチ位置も示している。このうち北端近いところで東西方向の溝が確認され、トレンチを広げるような形で本調査が行われた。

調査の結果、遺構として溝1条、土坑3基が確認されたが、むしろ成果としては刈沼遺跡第1次調査区における集落と同時期の縄紋時代遺物が一定量出土したことにあろう。この低地～低位段丘面にも一定量の遺物があることは、当該期の活動痕跡を示すものとして捉えることができる。斜面崩落など何らかの要因で遺物が流入移動した可能性も残るものの、遺構覆土等の下位の層から比較的良好な状態で出土したことは、「混入」とは考えがたく、包含層の形成や近辺での遺構・活動域の存在を予想させるものである。

第2節 遺構

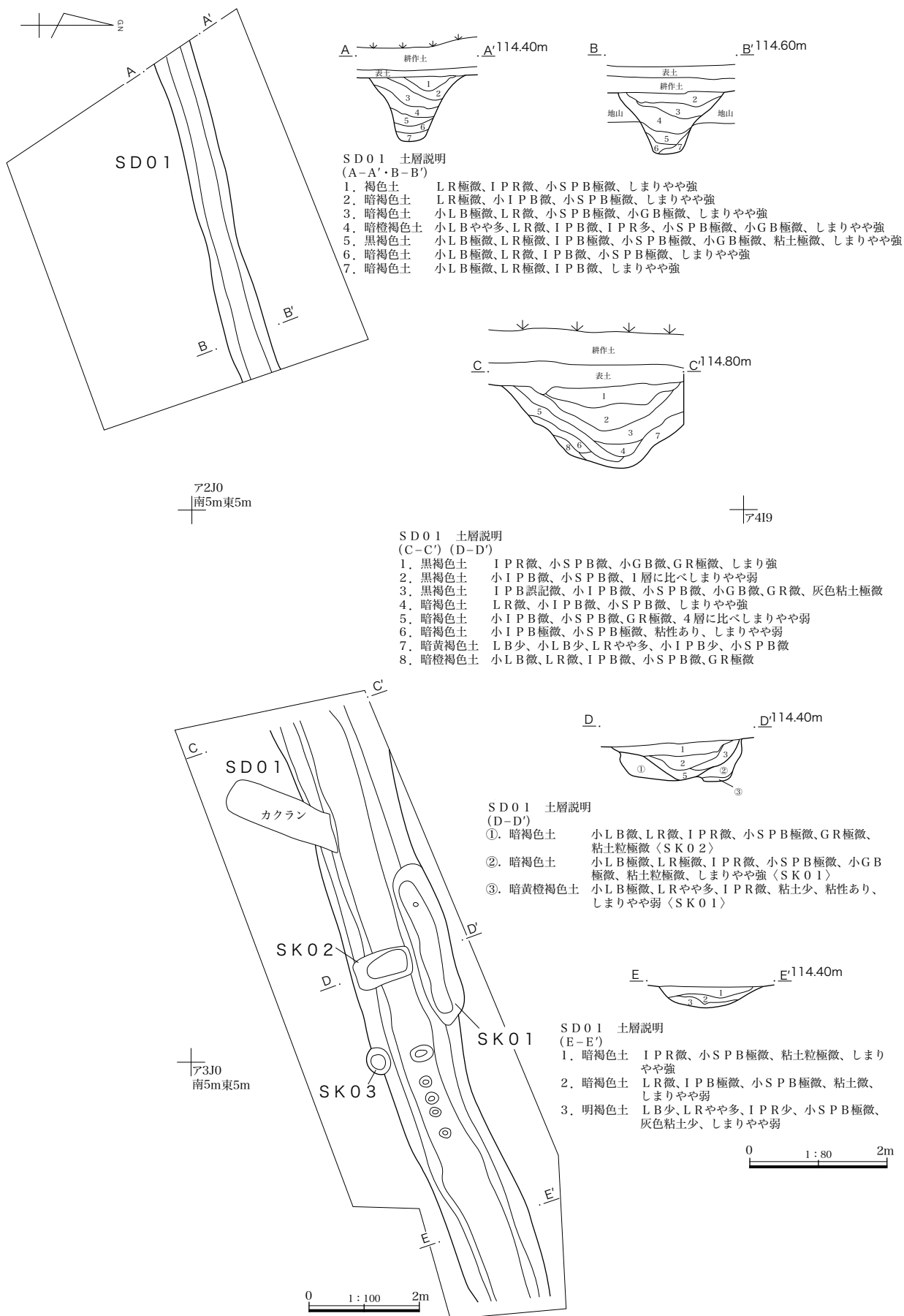
SD01は黒色土～ローム漸移層で確認された。現表土下40～80cm程度での確認である。東側の調査区で11.2m、西側の調査区で6.1mの確認である。壁中位～底面は粘土化したロームで、掘り込みは比較的明瞭である。断面逆台形状で西側へ向かうほど深くなる。壁は直線的な立ち上がりを示す。3基の土坑と重複し、SK01・SK02より新しい。SK03との関係は不明である。調査区断面での土層観察から、耕作土直下の層を掘り込んで作られていることが示される。

底面近くでも遺物の出土があるが、いずれも礫或いは縄紋土器・石器である。調査時の写真記録を見るとかなり礫が多く出土していることが分かる。各土層断面同士の対応把握は調査時整理時とも行い得ていないが、上位は黒味の強い層、下位はロームやSP等の多い、やや明るめの色調を呈する層の堆積が基本のようである。中にはKP?（土層説明ではGB凝灰岩ブロックとされる）を多量に含む層（C-C'ライン5層?）も確認される。溝の底面で5基のピットがある。遺構と判断されており、溝に伴う可能性もあるが、詳細な記録や所見が無く不明である。西側調査区では上端幅70～80cmだが、東側では140～180cm程度の幅がある。深さは西側調査区では深く示される。調査区壁など上位からの掘り込みが確認されているところもあるものの、底面レベルも40cm程度異なる。

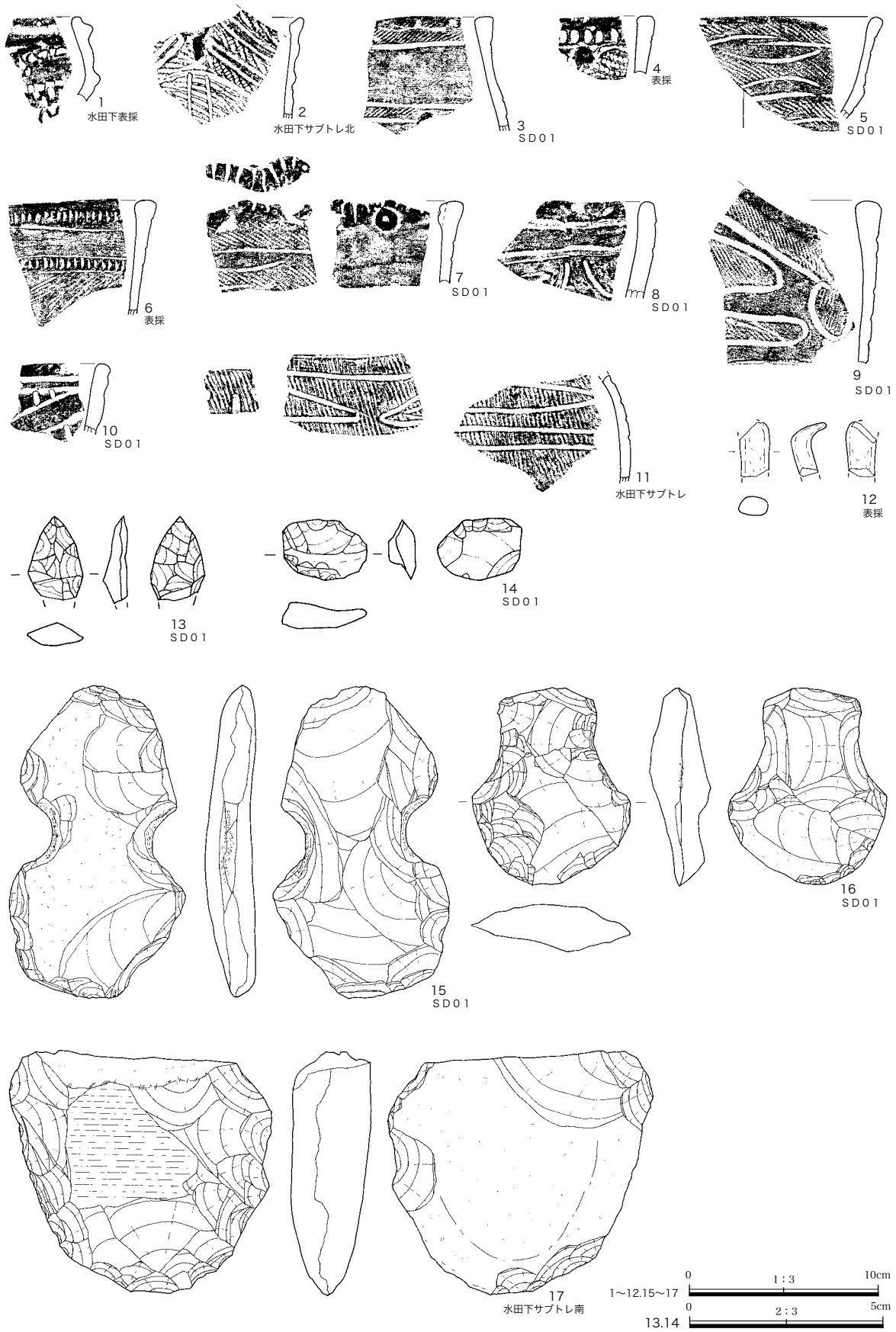
SK01は長軸長296cm×短軸長85cm×深さ35cmの楕円形土坑である。SK02は106×60×深さ44cmの隅丸長方形土坑。SK03はピット状の円形土坑で、50×40cm、深さは不明である。既述のように、SK01・SK02→SD01は認められているが、SK03については新旧関係不明である。

第3節 遺物

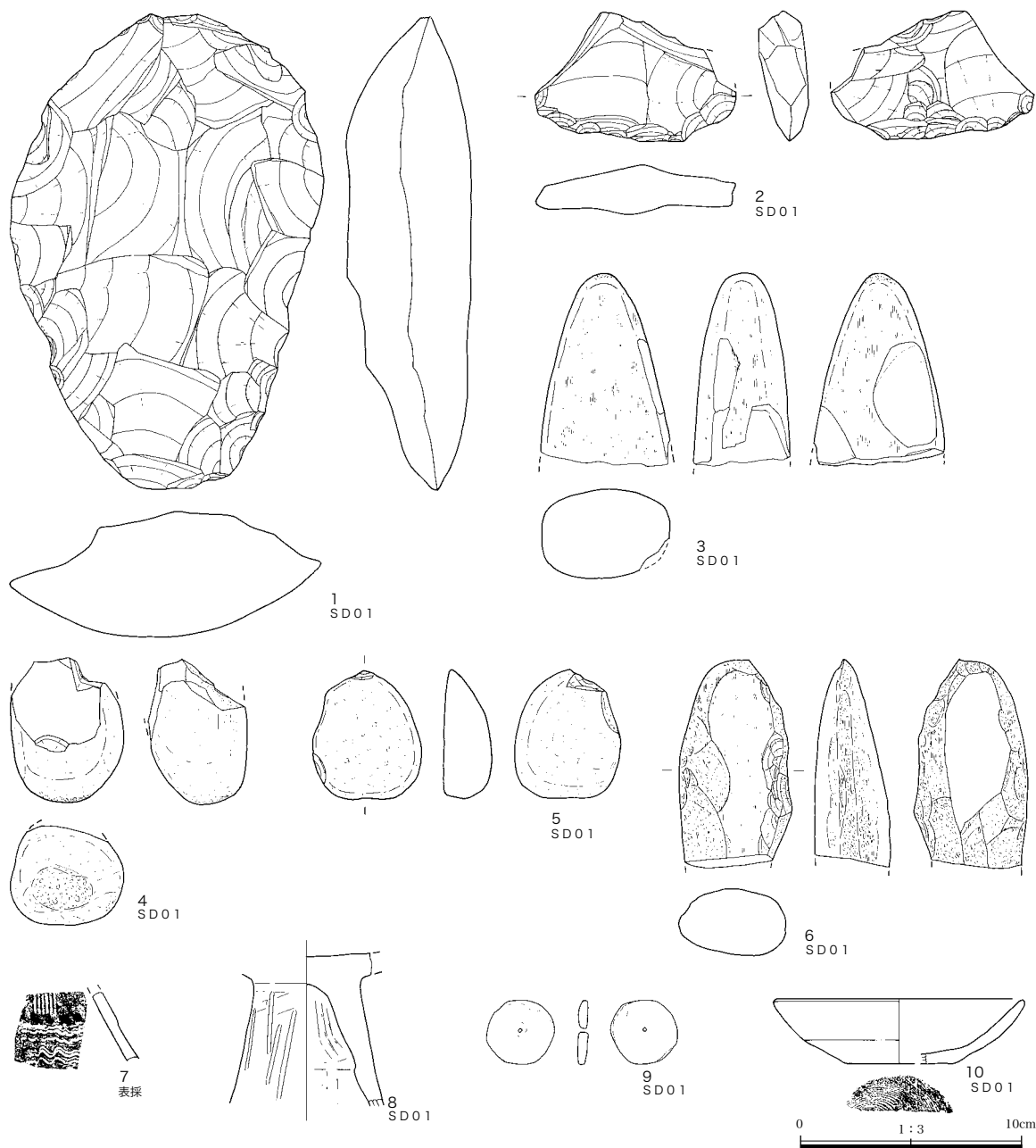
調査区内からは縄紋土器・石器が一定量出土しているほか、弥生時代以降の遺物も出土した。剥片石器では、石鏃1点、R.F.1点、スクレイパー1点、R.F.またはスクレイパー点、チャートや玉髓などの剥片類40点がある。礫石器では、打製石斧6点、磨製石斧1点、礫器1点、石英のハンマー1点、凝灰岩・砂岩系の砥石6点、特殊敲打具1点、独鈷石1点、石棒片2点、また原石類15点を確認している。



第407図 SD01、SK01・02・03



第408図 第3次調査区出土遺物(1)



第409図 第3次調査区出土遺物(2)

他に、弥生土器1点、古墳時代の土師器数点、中世以降の凝灰岩製砥石1点、石製模造品1点、鉄製釘1点、14世紀代と推定される常滑破片1点、近代磁器1点、中世陶器2点、かわらけ1点がある。

以上の内代表例を第408～409図に示した。第408図1～11は縄紋土器片の中で注目されるものを示した。1は中期、2以下が後期後半以降のもので、安行2式が比較的目立っている。10は大洞B-C式、11は晩期中葉と推定される。12は棒状土製品、石鏃の13、二次加工剥片14、打製石斧15.16、礫器17を示す。第409図には礫器(1)、打製石斧?(2)、磨製石斧(3)、敲石・ハンマー類(4)、特殊敲打具(5)、独鈷石未製品?(6)、弥生土器(7)、土師器高坏(8)、石製模造品(9)、かわらけ(10)を示した。刈沼向原遺跡集落の時期と重なる第409図8.9等も注目される。縄紋時代遺物ではハンマーや独鈷石など、刈沼遺跡集落を特徴的に示す機種の出土があることも興味深い。詳細な観察や計測は表に譲る。

第6章 刈沼向原遺跡第1次調査区の遺構と遺物

第1節 概要

刈沼向原遺跡は、開発区域内の北西に位置する。標高124～126m程度の台地上で刈沼遺跡同様、西側の谷に向かって緩く傾斜している。第1次調査区は概ね台地平坦面と言える。刈沼向原遺跡の北側には古墳時代後期を主とする集落跡が確認された刈沼東原遺跡がある。また南側は前章までに示した縄紋時代の集落跡を主とする刈沼遺跡があり、刈沼向原遺跡第1次調査区と刈沼遺跡第2次調査区はほぼ接する位置となる。

第1次調査区は遺跡内の東側で、平成11年度に面的に調査を行っている。第2次調査区はこの西側だが、確認調査で認められた遺構が存在するところを中心に調査されており、広く面的な調査は行っていない。第3次調査は第2次調査区の更に北側で、県道宇都宮向田線の近くまでが調査区となっている。第410図にはこれら第1～3次調査区の遺構全てを示したが、主に刈沼向原遺跡第2次調査区にかかる、調査区決定・協議の確認調査トレンチについては、第7章第1節の第428図に示した。トレンチ調査をそのまま広げて調査した場所についてはトレンチもそのまま示した。

なお第1次調査区のみ測量コンター図が作成されており、全体図でも遺構図と併せて示す。西側へ向かって緩く傾斜する状況がここからも窺える。第1次調査では住居跡1軒、土坑63基、溝4条が確認された。住居跡は第1次調査区の北西で、やや不整形のものである。溝は台地上を大きく区画するような溝は少なく、小規模なものが多い。土坑は数多く確認され、調査・記録されたが、整理の過程で検討したところ、土層捻転跡や攪乱穴と判断されたものも多く、それらについては全体図中でのみ示すこととした。表などでも欠番扱いとした。以下で示す土坑の中にも、攪乱穴或いは包含層部分を掘り下げているような例もあるが、「遺構の可能性が残る」ものについては、概ね調査時のまま遺構扱いとした。別途この問題は記す。以下でそれぞれの個別図を示す土坑についても、攪乱穴の疑いあるものも残っている。

提示にあたって本調査区については、全体を1/80縮尺で第412～425図に平面分割し(第411図)、それぞれの区域にある遺構について図示してゆく。従って記述及び写真については種別毎とするが、図については遺構種別毎の提示とはならない点、了解されたい。

第2節 遺構<住居跡・土坑・溝>

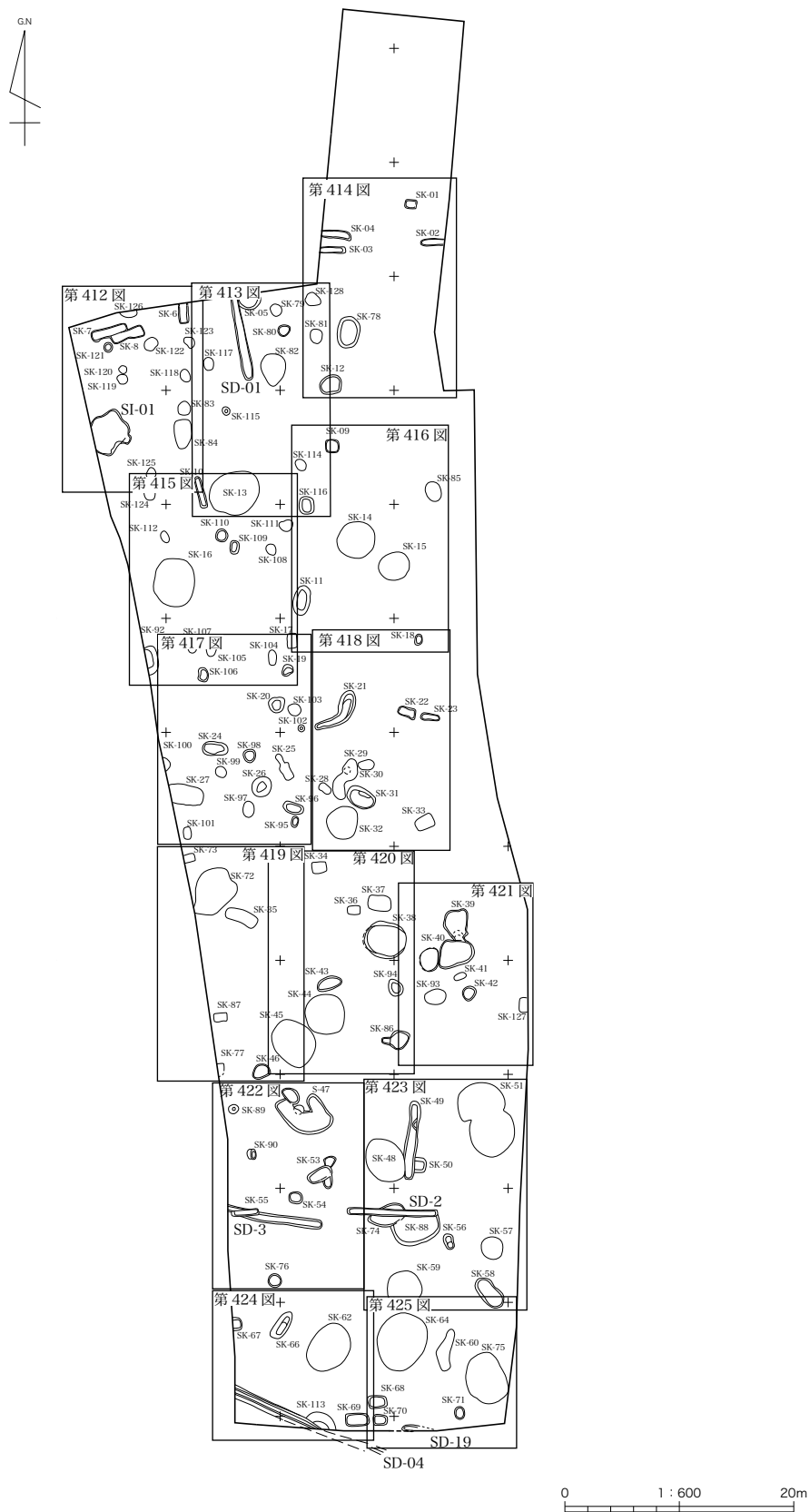
住居跡

SI01(第412図、写真図版二〇)

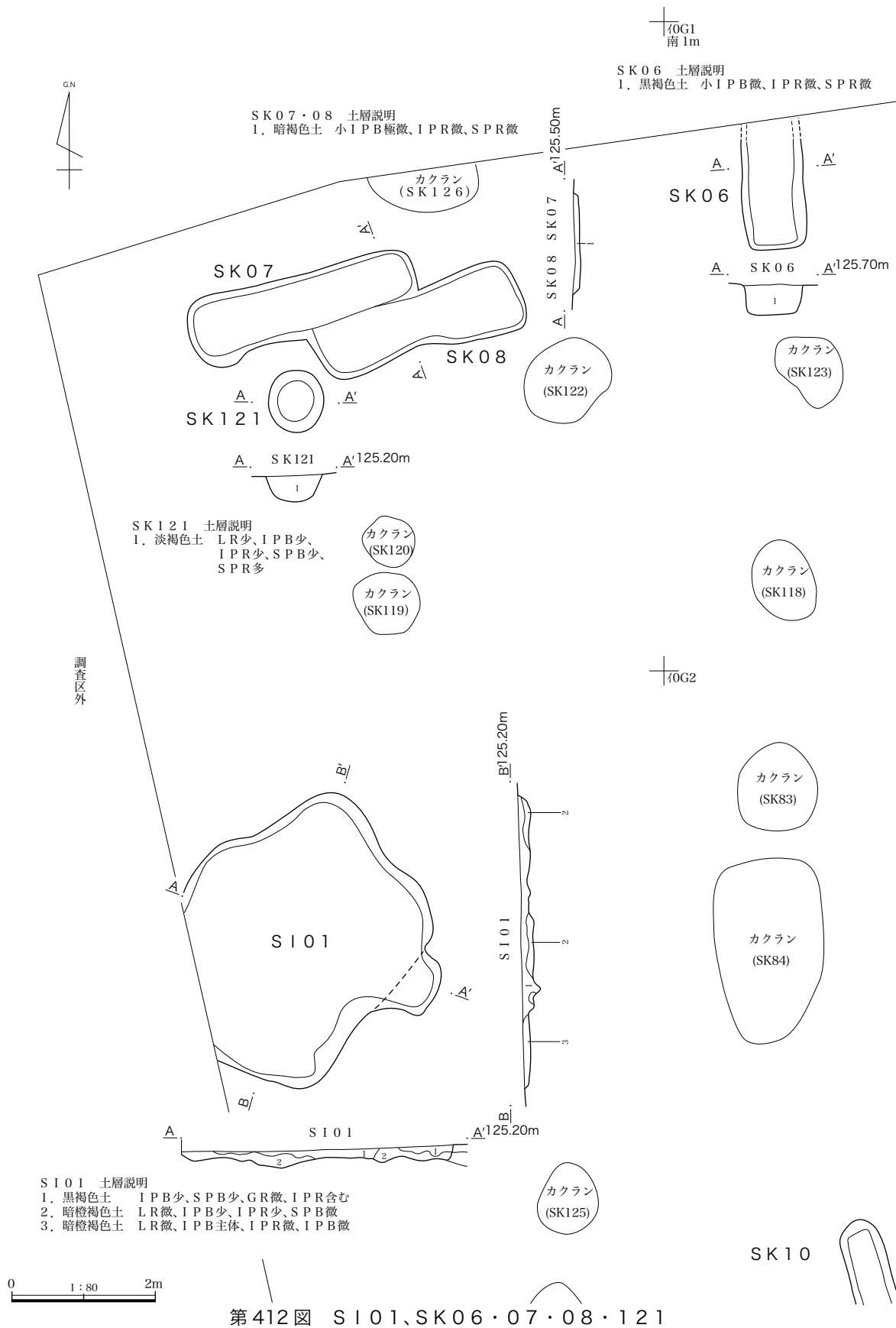
調査区北西第412図範囲内にある。刈沼遺跡のSI01や刈沼向原遺跡第3次調査区のSI01とは別の遺構である。かなり不整形形態で、掘り込みも不明瞭である。確認面はSPや黒色土を多く含むやや乱れたローム漸移層で、やや広い範囲の黒色プランに対して住居跡と想定し掘り下げたようである。ローム漸移層が壁のところでは覆土との区別もされるが、黒色土が地山などの部分では覆土との区別・遺構の掘り込みは明瞭ではない。底面はローム面だが、かなり凹凸があり、断面平面記録から平坦な床面を見ることはできない。一応調査時のまま住居跡として扱うが、かなり問題の多い点記しておく。軸を仮にN-30°-Eとし、これをもとに

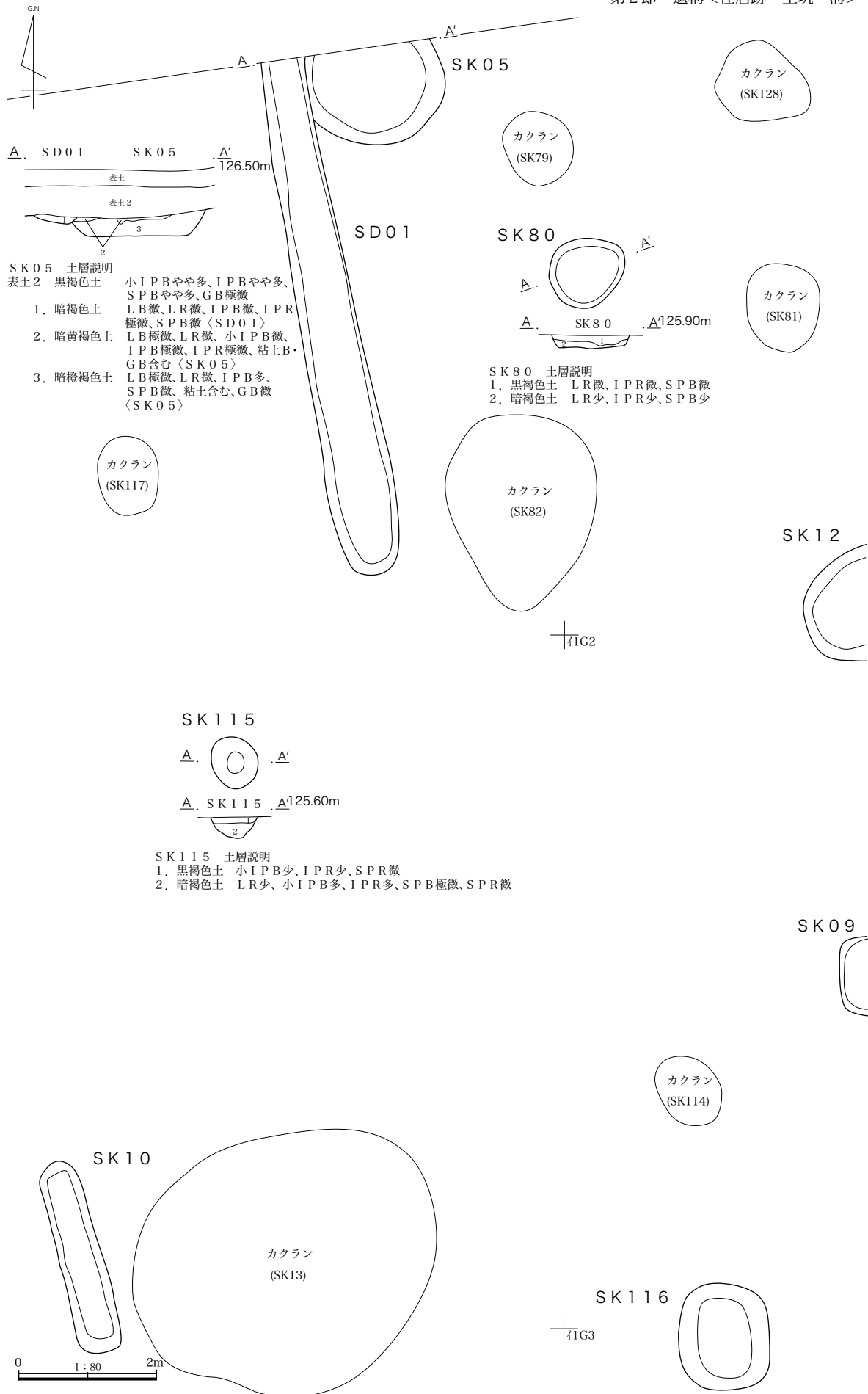


第410図 刈沼向原遺跡調査区全体図



第411図 刈沼向原遺跡第1次遺構区割り図





第413図 SD01、SK05・80・115・116

計測すると長軸長 3.90 m、短軸長 3.80 mとなる。深さは 10～24 cmである。土層断面記録からは覆土の堆積も不自然な様相を示す。上位の黒色土は問題ないものの、下位の層は写真からは比較的多くのロームブロック（SP？）を見ることができ、土層説明と整合せず、上位層との関係も判然としないところがある。また炉・カマド・柱穴等の付帯する施設は確認されていない。

土坑

すべての土坑の写真記録などを示し得ないことから、整理過程で気づいた所見などを中心に記す。規模などの計測値は表を参照されたい。なお調査時の所見は残されておらず、遺構判断の経緯や、掘り上げ後の所見、時期や性格に関する部分は示し得ない。総じてローム漸移層付近の土層が荒れて乱れているようであり、黒色土を確認面としてプラン確認を行い、土質の違いから土坑とする判断も困難が伴っていたようである。つまり、掘り込みが不明瞭であったり、覆土と地山の区別が困難であったものも多いようである。

第 412 図範囲＜ SK06.07.08.121 ＞

調査区北西にあたるここでは、長方形土坑 3 基（SK06～SK08）が認められた。SK06 はかなり明瞭な掘り込みで壁も垂直に近い。SK07・SK08 は 2 基の土坑だが同種土層の堆積であり、切り合い関係は認められていない。

第 413 図範囲＜ SK05.80.115.116 ＞

SD01 と SK05 は重複し、溝 SD01 の方が新しい。SK115 はピット状である。SK05 は覆土と壁・地山が類似しており、遺構判断に疑問が残る。SK80 も黒色土中に黒色土の覆土が観察され、掘り込みは不明瞭である。SK115 はローム漸移層面確認で黒色土覆土、掘り込みは比較的明瞭だが浅いピット状である。

第 414 図範囲＜ SK01.02.03.04.12.78 ＞

SK02～SK04 は長楕円形土坑だが、黒色土地山・黒色土覆土で掘り込みは不明瞭である。SK78 も黒色土中の確認で覆土上位は黒色土、下位はローム地山に近似していることが写真から窺え、遺構判断に疑問が残る。SK12 も黒色土～漸移層中の掘り込みだが、西側では覆土地山の区別が難しいように思われる。

第 415 図範囲＜ SK10.92.109.110 ＞

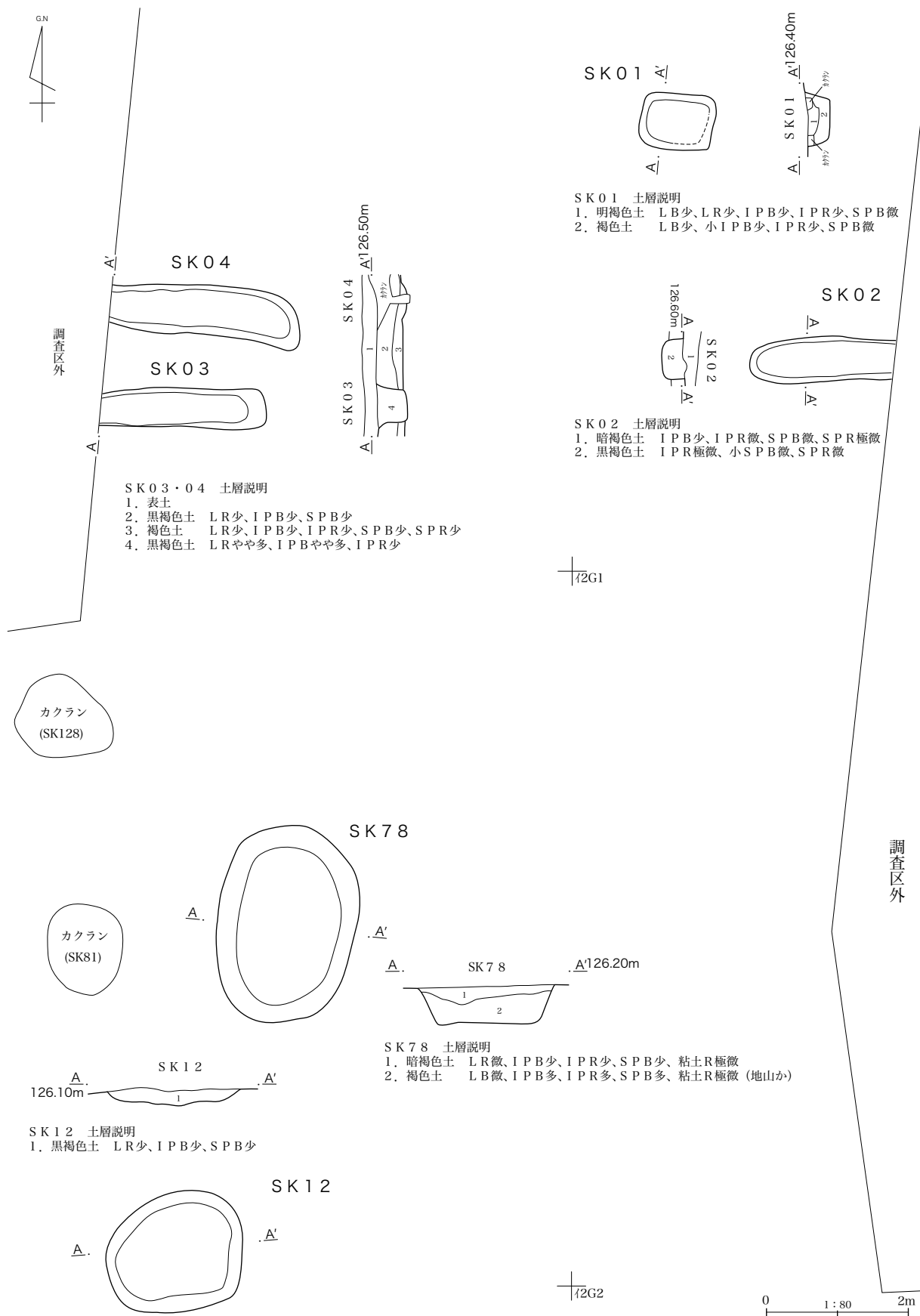
SK92 は調査区壁にかかる不整楕円形土坑。形態は不整だが掘り込みは比較的明瞭である。SK109・SK110 も断面写真からは覆土と地山の区別が難しい例である。

第 416 図範囲＜ SK09.11.18.116 ＞

SK11 は覆土と地山の区別が困難な例、SK116 は比較的掘り込みが明瞭である。壁はロームで、比較的急な角度を為している。SK09 はかなり不整で、浅い落ち込みのような形態を示しており、やはり遺構判断に疑問が残る。

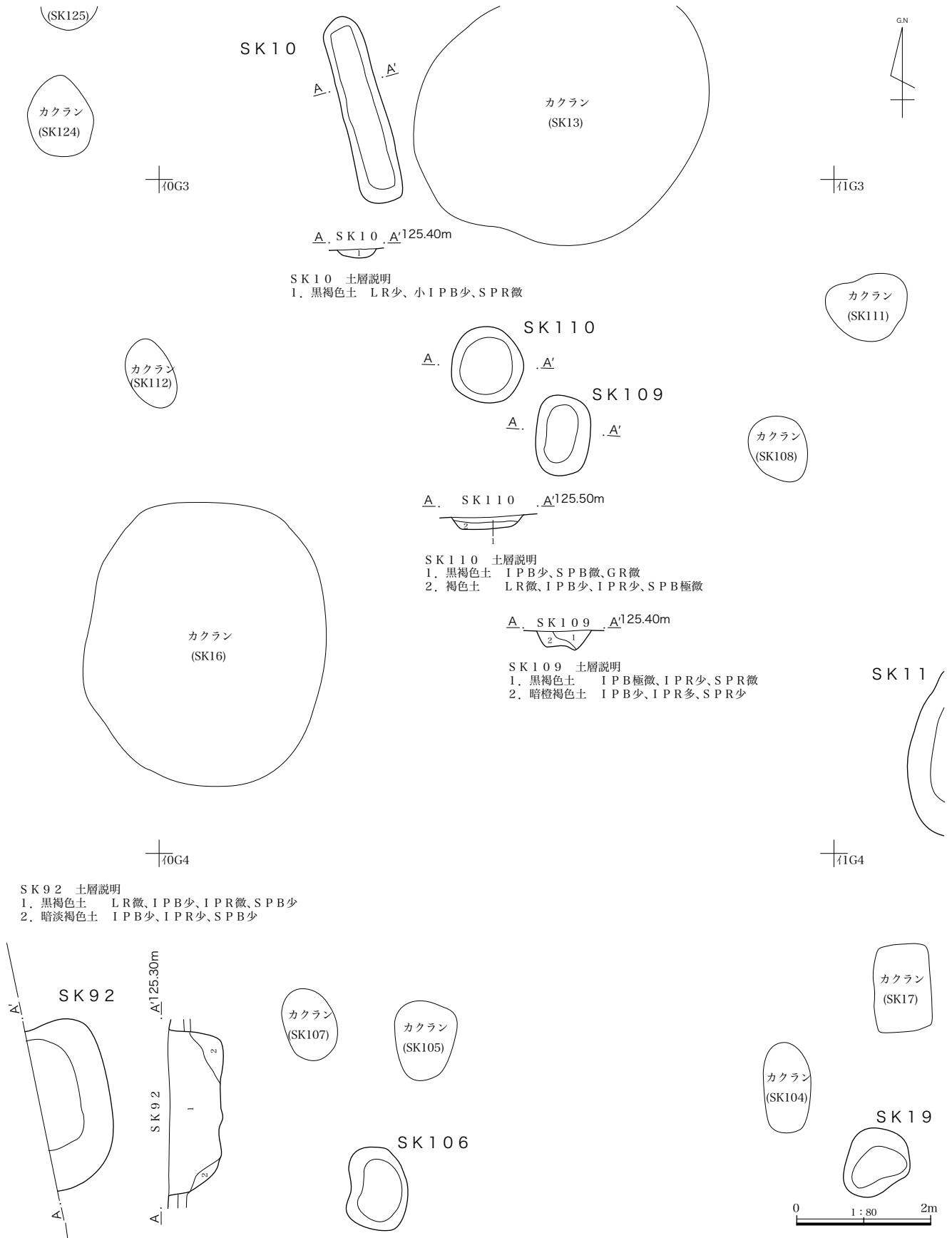
第 417 図範囲＜ SK19.20.24.26.95.96.98.102.106 ＞

SK20 は掘り上がり写真では比較的整っているが、底面の凹凸がかなりある。SK24 は浅い落ち込み状、

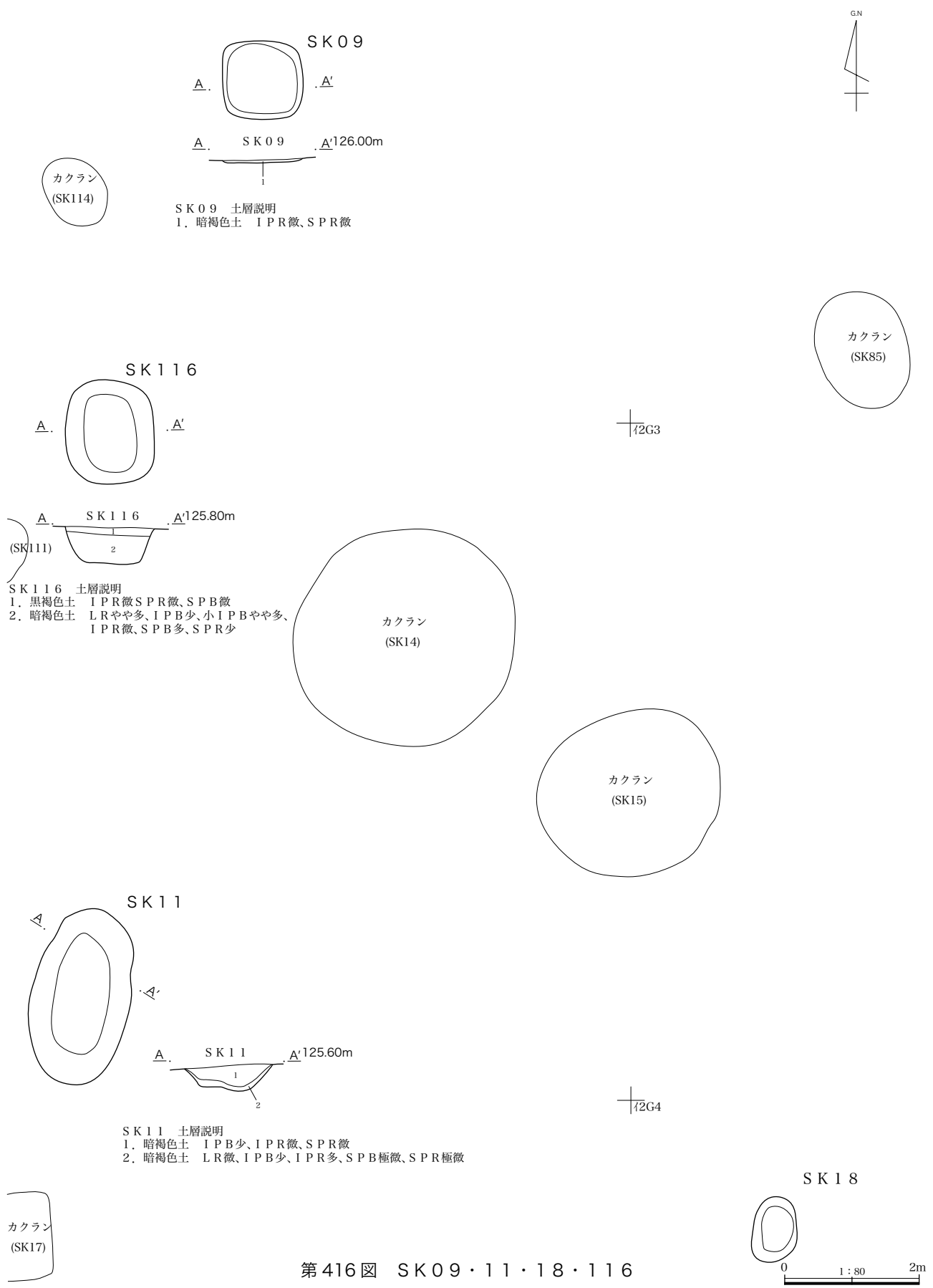


第414図 SK01~04・12・78

第6章 刈沼向原遺跡第1次調査区の遺構と遺跡

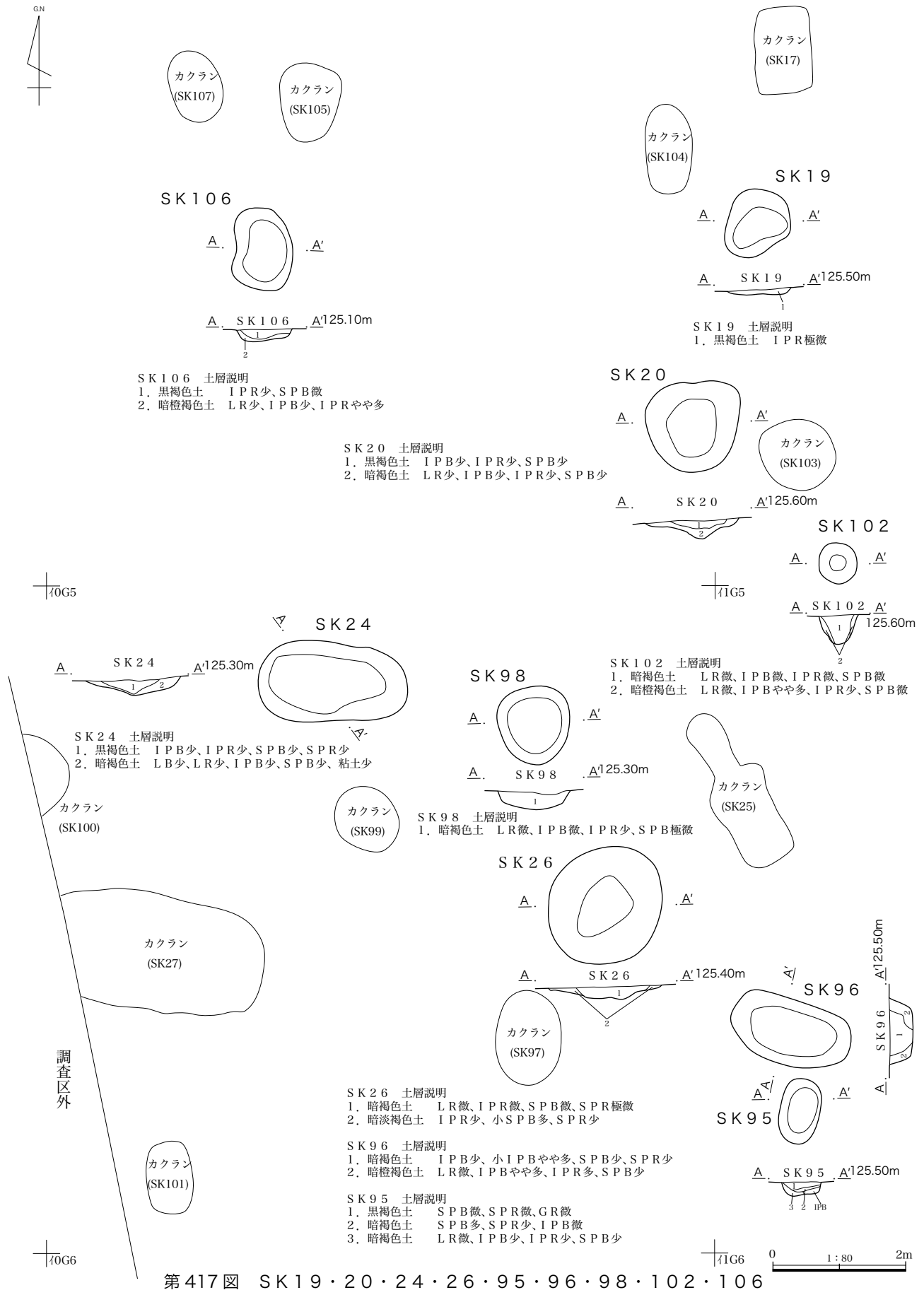


第415図 SK10・92・109・110



第416図 SK09・11・18・116

第6章 刈沼向原遺跡第1次調査区の遺構と遺跡





SK 2 1 土層説明

A-A'

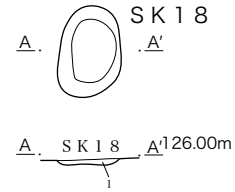
1. 暗褐色土 IPR微、小SPB極微、SPR極微

2. 暗黄褐色土 IPR少、SPBやや多、少SPBやや多、SPR多

B-B'

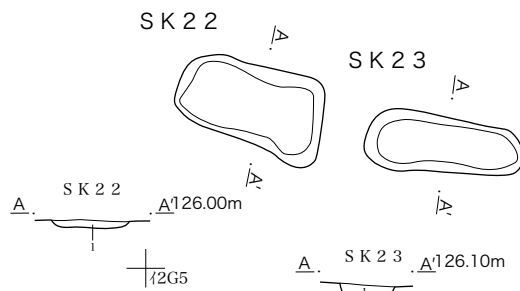
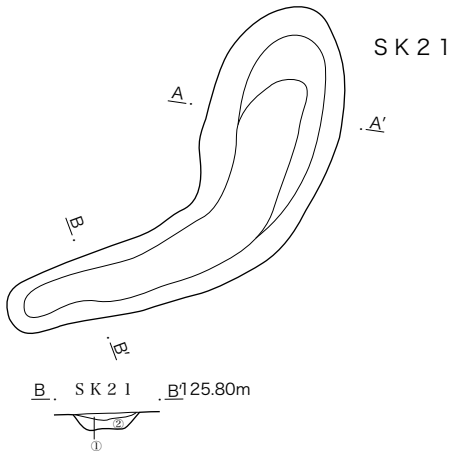
①. 暗褐色土 小IPB極微、IPR微、SPR極微

②. 暗橙褐色土 IPB少、小IPBやや多、IPR多、小SPB微、SPR微



SK 1 8 土層説明

1. 暗褐色土 IPR少、IPR微

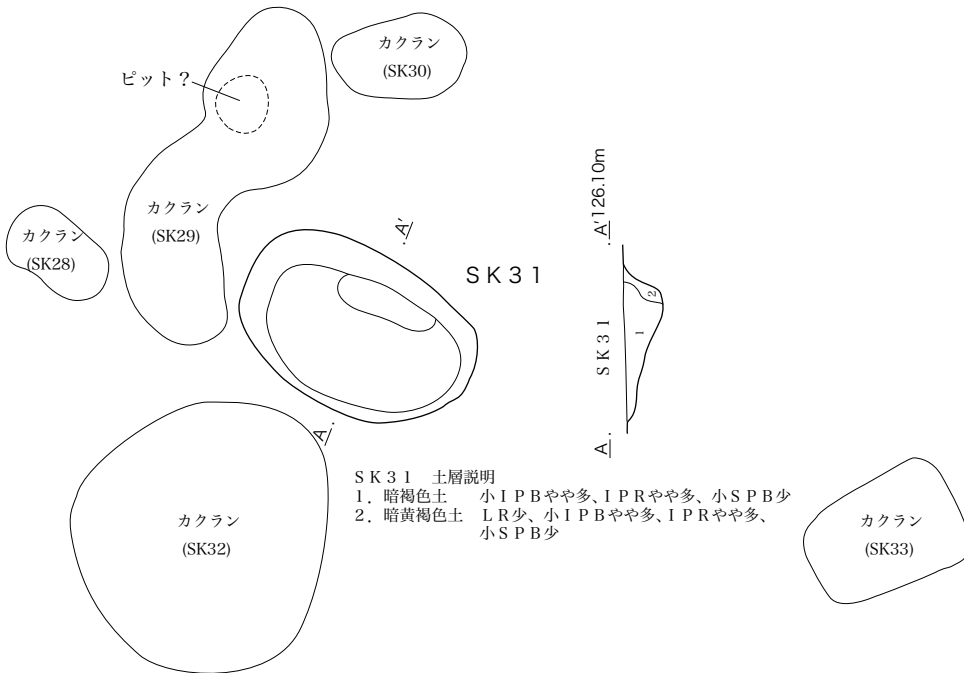


SK 2 2 土層説明

1. 暗褐色土 LR少、小IPB微、IPR少、SPR微、GB微

SK 2 3 土層説明

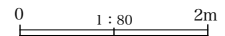
1. 暗褐色土 LR微、小IPB微、IPR極微、SPB微



SK 3 1 土層説明

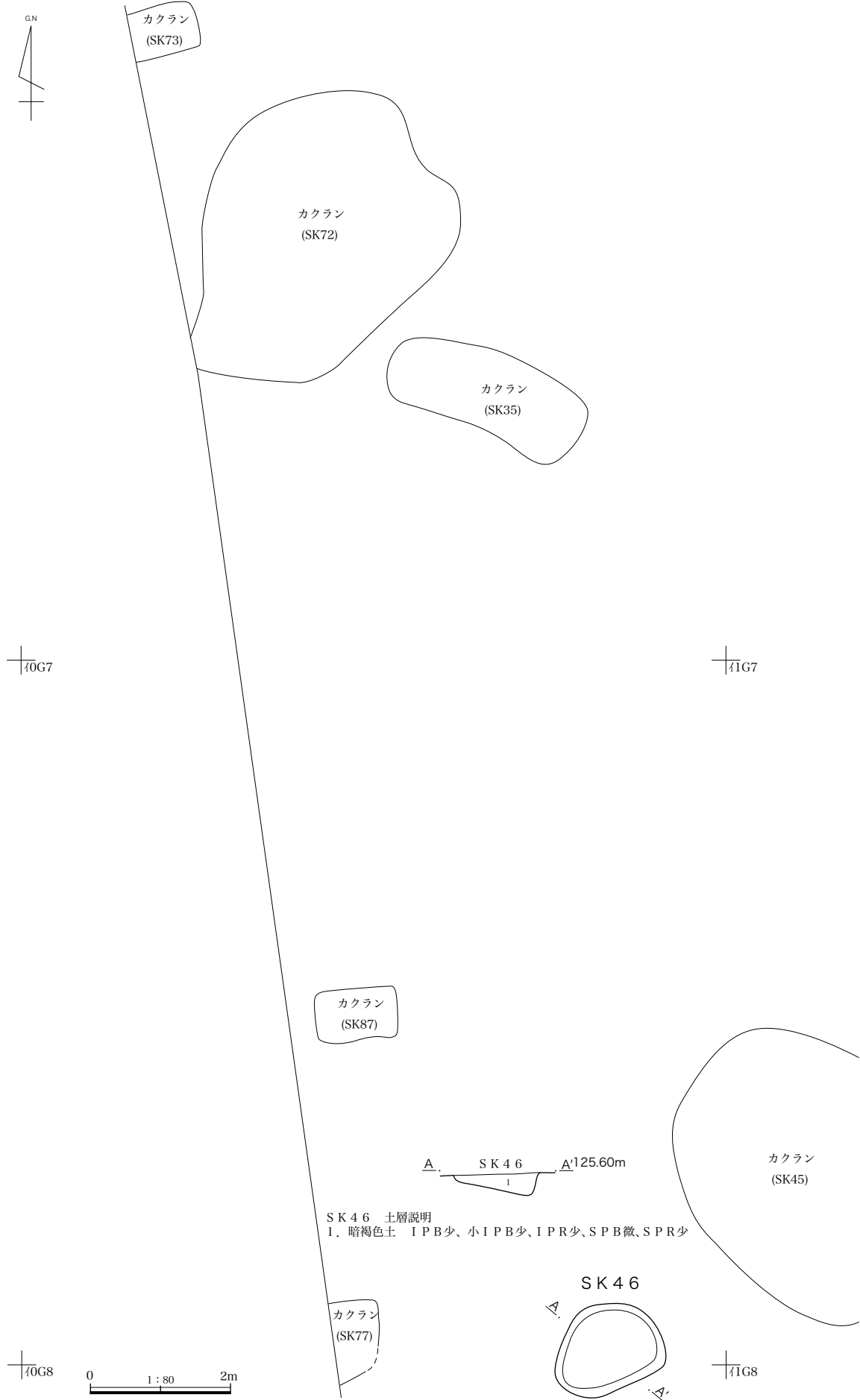
1. 暗褐色土 小IPBやや多、IPRやや多、小SPB少

2. 暗黄褐色土 LR少、小IPBやや多、IPRやや多、小SPB少

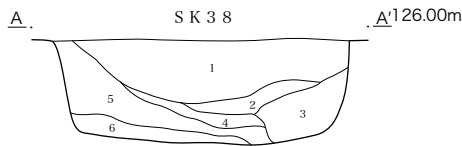
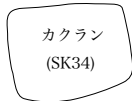


第 418 図 SK 1 8 ・ 2 1 ・ 2 2 ・ 2 3 ・ 3 1

第6章 刈沼向原遺跡第1次調査区の遺構と遺跡



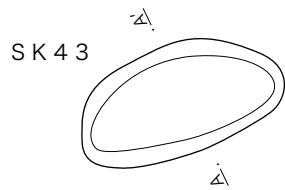
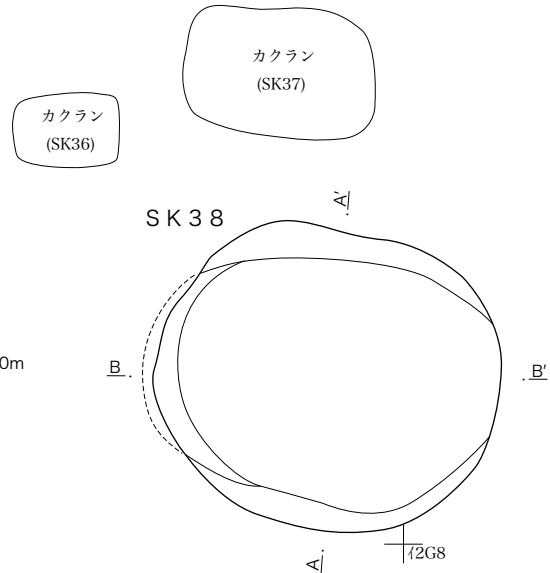
第419図 SK46



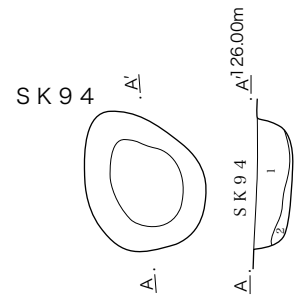
- SK38 土層説明
- 1. 黒褐色土 LR微、IPR微、SPR微、粘土B含む
 - 2. 暗褐色土 LRやや多、IPR微、SPR微
 - 3. 橙褐色土 LR少、IPR主体、IPB多、粘土B含む
 - 4. 黄褐色土 LR多、IPR微
 - 5. 暗褐色土 LR少、IPR微、SPR微
 - 6. 暗橙褐色土 LR微、IPRやや多



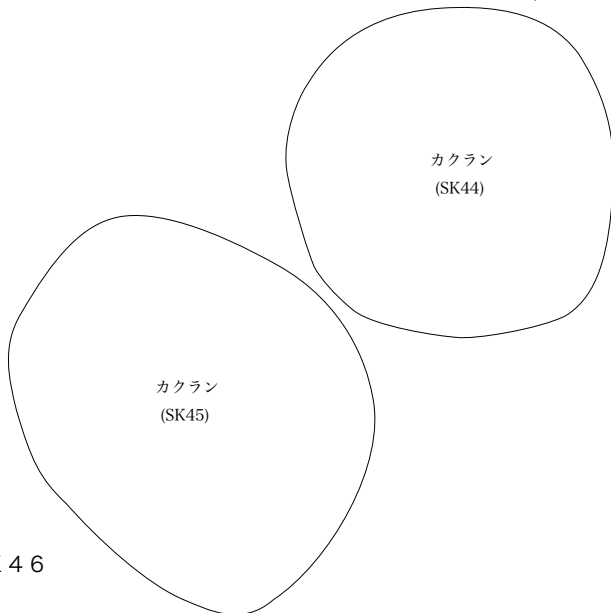
11G7



- SK43 土層説明
- 1. 暗褐色土 LR含む、IPB少、IPRやや多、SPR微



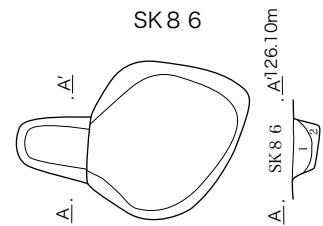
- SK94 土層説明
- 1. 暗褐色土 LB微、IPB少、IPR微、SPB少、SPR微
 - 2. 暗褐色土 LBやや多、LRやや多、IPB多



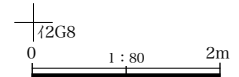
SK46



11G8



- SK86 土層説明
- 1. 黒褐色土 LR少、小IPB少、IPR極微、SPR極微
 - 2. 暗橙褐色土 IPB多、小IPB多、IPR多、SPR極微



第420図 SK38・43・86・94

SK26 も浅い落ち込み状で、黒色土地山に浅い黒色土の覆土という様相を示す。SK96 は掘り込み比較的明瞭だが、かなりロームブロックが入る覆土、SK98 の断面写真からは覆土と地山の区別が難しい。SK102 はピット状、SK106 は浅い落ち込み状である。

第 418 図範囲 < SK18.21.22.23.31 >

SK18 は浅いが比較的明瞭な掘り込みと覆土で、遺構として問題ないようである。SK21 は溝状の形態で複数遺構重複の可能性も考えたが、近い部分でのベルト設定で断面観察が行われており、覆土の違いや切り合いは認められていない。SK22.23 は黒色土地山、黒色土覆土であり掘り込みは不明瞭である。SK31 は地山とは異なる覆土であるが、底面はかなり凹凸があり、攪乱の可能性が残る。

第 419 図範囲 < SK46 >

SK46 は浅く小さめの土坑で、西側の壁はロームで問題なさそうだが、東側は黒色土の壁で平面的にも黒色土が拡がっており、形態把握に問題を残す。

第 420 図範囲 < SK38.43.86.94 >

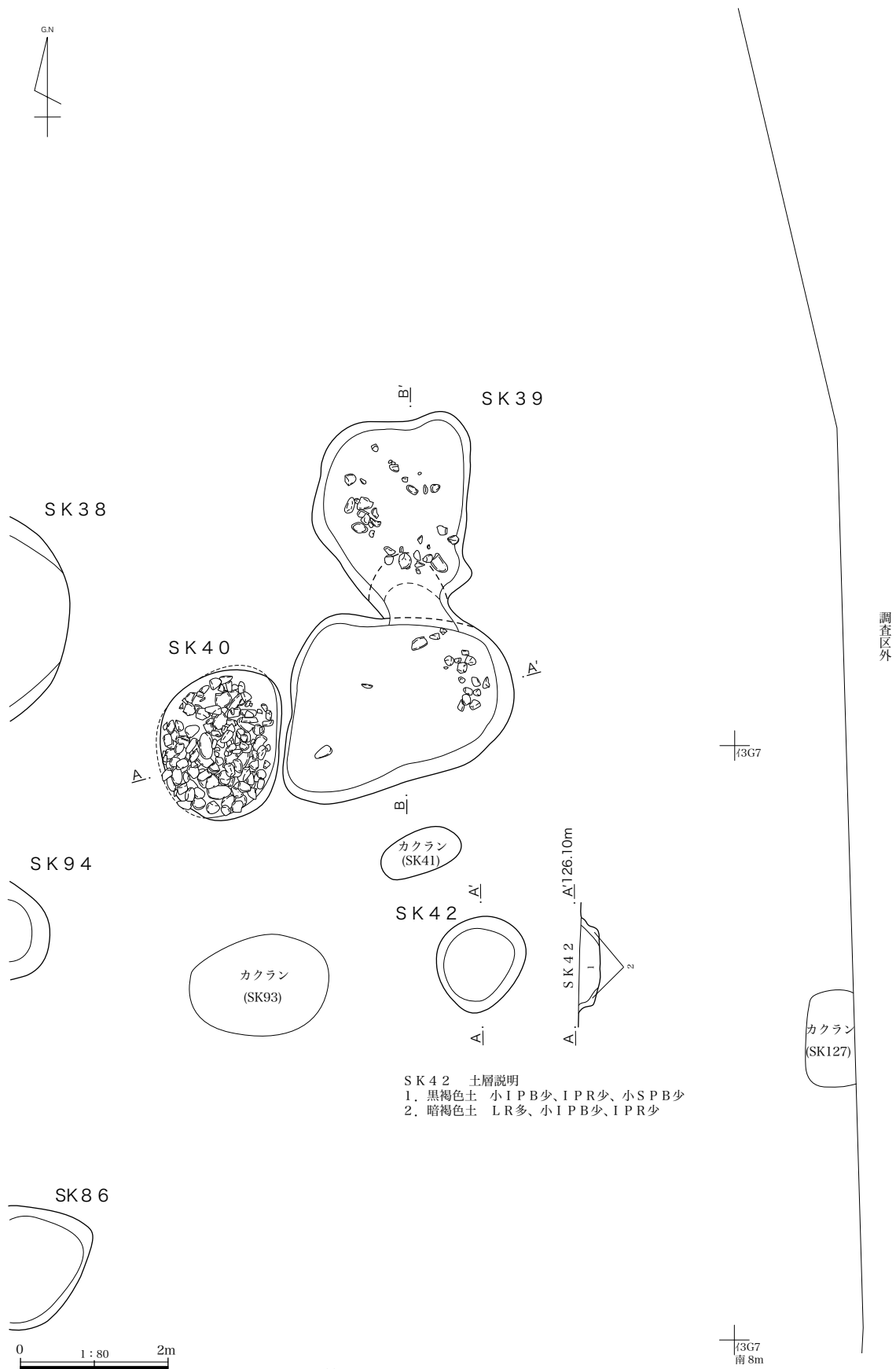
SK38 は平面円形の袋状を呈する土坑である。確認は黒色土～ローム漸移層、壁中位～底面はロームで、比較的掘り込みは明瞭である。壁の一部はオーバーハングしている。底面はやや凹凸あるものの概ね平らである。主に覆土上位で遺物の出土（礫及び土器）がある。覆土下位底面近くではロームブロックが多く入る層が堆積している。遺物は2点を示した。陶器甕の口縁部（常滑？）及び陶器播鉢の破片である。これらがこの土坑の時期を示すと考えられよう。

SK43 は不整形の土坑で覆土・地山類似の問題が残る例である。SK86 は長方形部分と不整形部分が重複しているかのような形態である。2基重複と捉えて良いだろうが、調査所見は無く新たな番号の発番や変更も為されておらず、不明な点が残る。SK94 は不整形土坑で壁・掘り込みは比較的明瞭である。

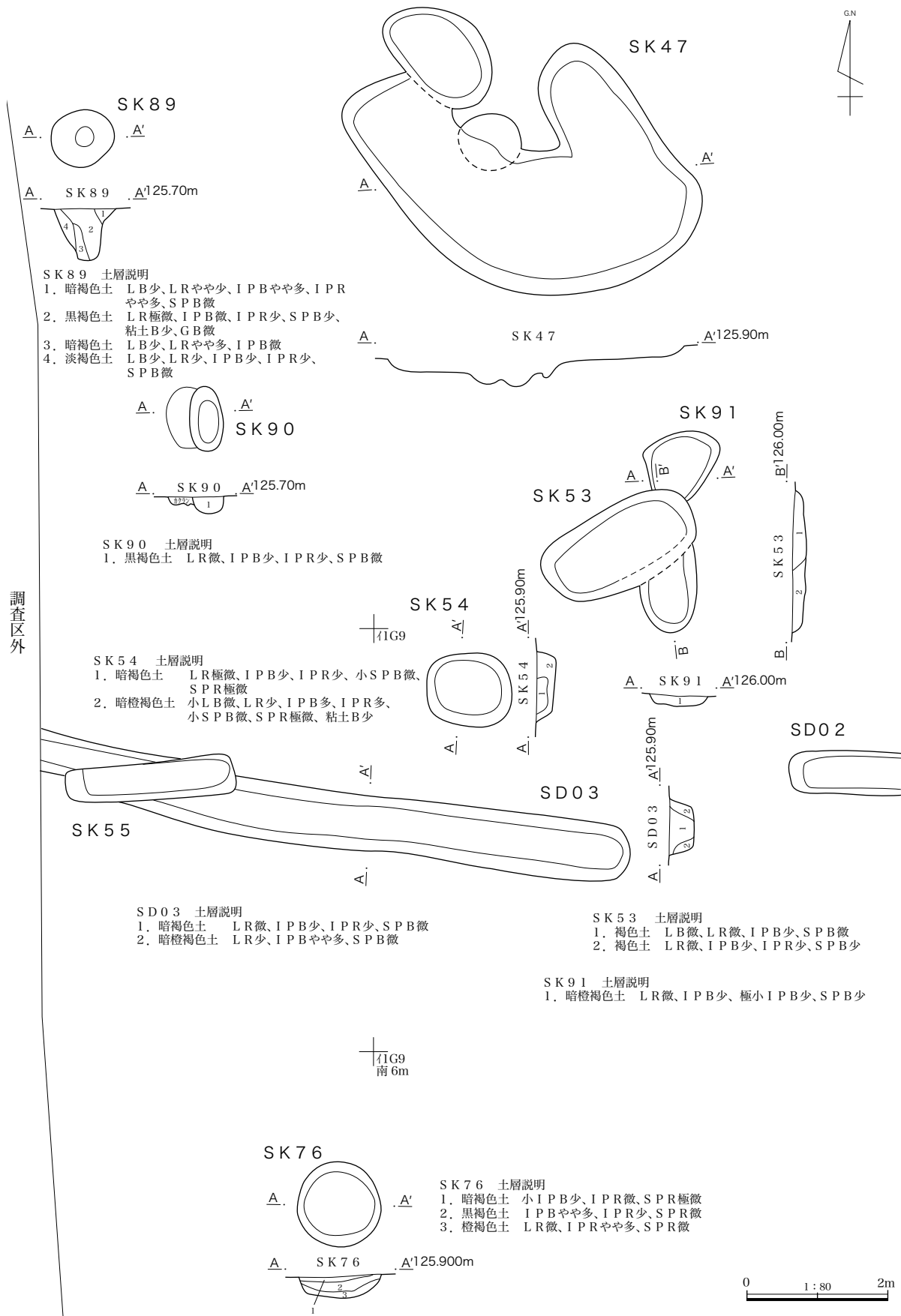
第 421 図範囲（第 426 図） < SK39.40.42 >

SK39・40 はアップ図を第 426 図に示す。形態・土層断面観察から、少なくとも SK39 で2基の重複、恐らく3基の重なりがある。黒色土～ローム漸移層が確認面で、壁も多くがこの層中のようなものである。底面は概ねローム面で若干の凹凸がある。図での記録は無いが幾つかのピットがある。攪乱との判断が為されたかもしれない。覆土は黒色土を基本とするがロームが多く入る部分もあり、これによる分層のようなものである。この分層ラインを基に考えれば（B-B'ライン）、北側の土坑を切る部分があり（⑥⑦層部分）、更にこの堆積を切るように①～③層が入ると読みとれる分層ラインがある。仮に北側から a・b・c とすれば a→b→c という関係になろう。a b と c との間は平面形態でも重なりと見て良さそうだが、a・b の差は判断が難しい。底面のレベルも概ね同じであることも気がかりな点となる。遺物として礫がかなり多く出土しているが、殆どが底面より浮いた確認面近くでの出土のようなものである。SK40 は SK39 の西側で隣接する土坑で、これもかなり礫が多く出土している。平面楕円形断面若干オーバーハングする部分が多くある。掘り込みは明瞭で底面も概ね平坦である。覆土は黒褐色土を基調とするが、底面・壁際ではロームの多く入る層が堆積している。

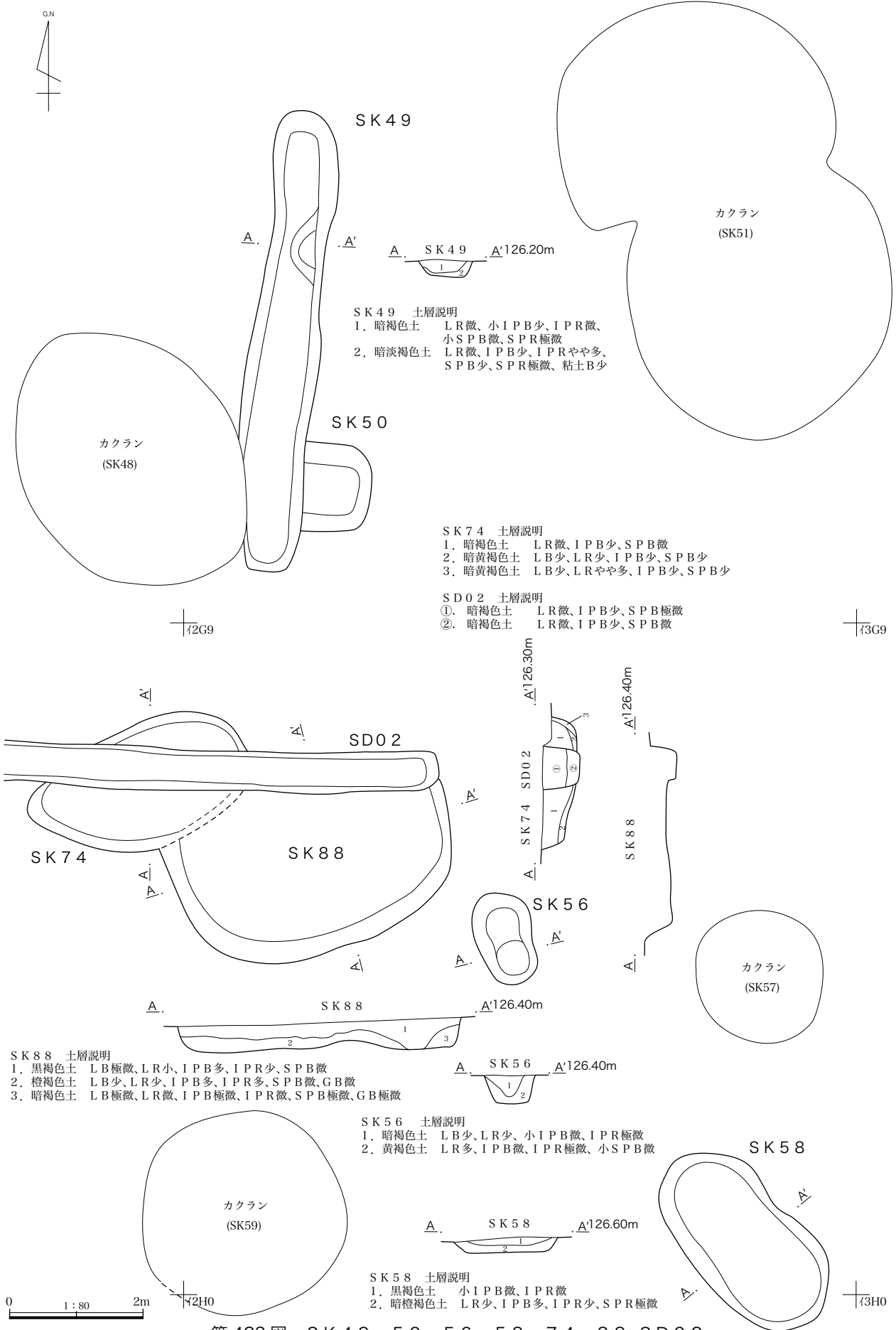
SK42 は浅い不整形土坑。掘り込みは明瞭で覆土の黒色土はローム漸移層と明瞭に区別される。



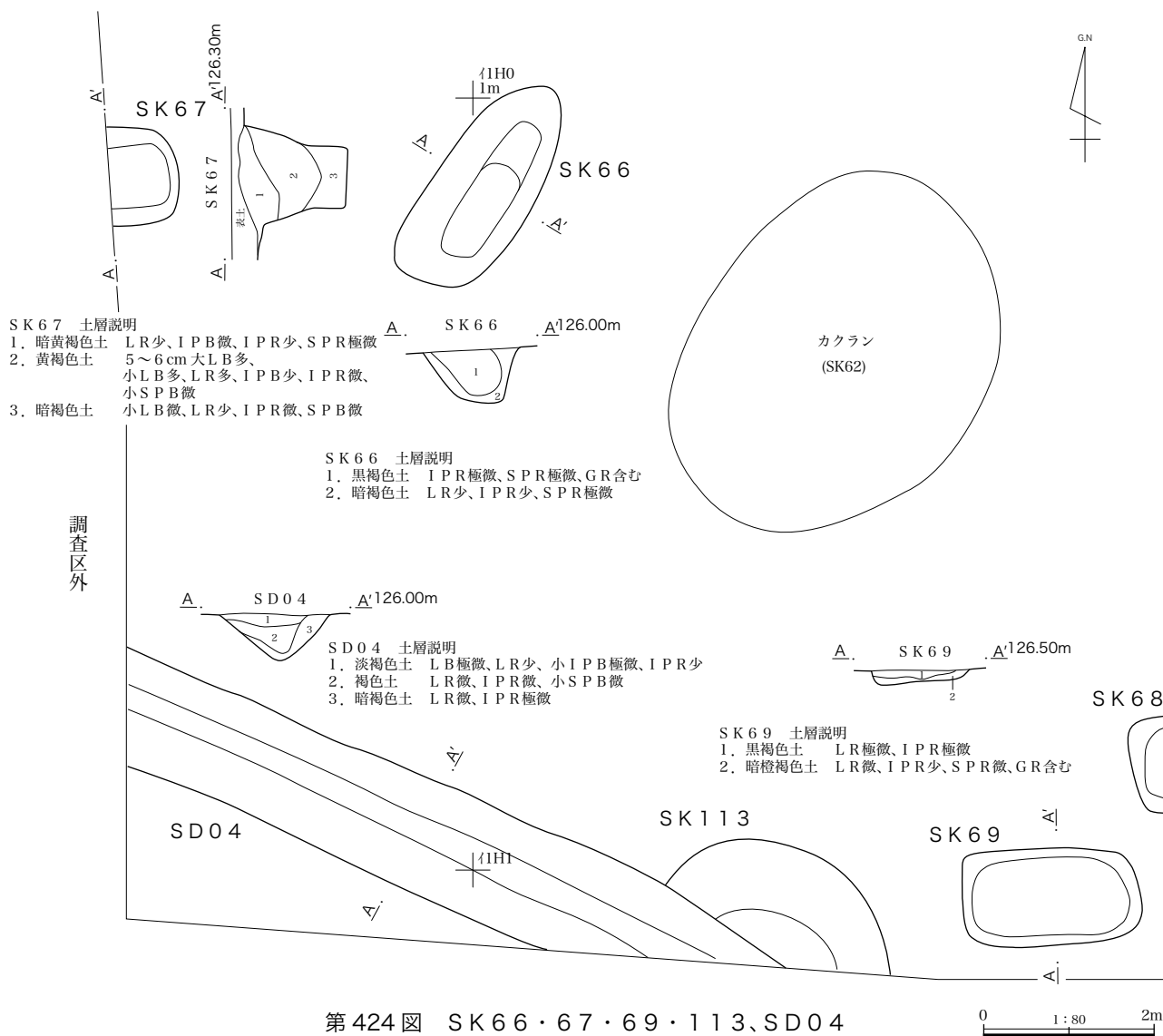
第421図 SK39・40・42



第422図 SK 47・53・54・55・76・89・90・91、SD02・03



第423図 SK49・50・56・58・74・88、SD02



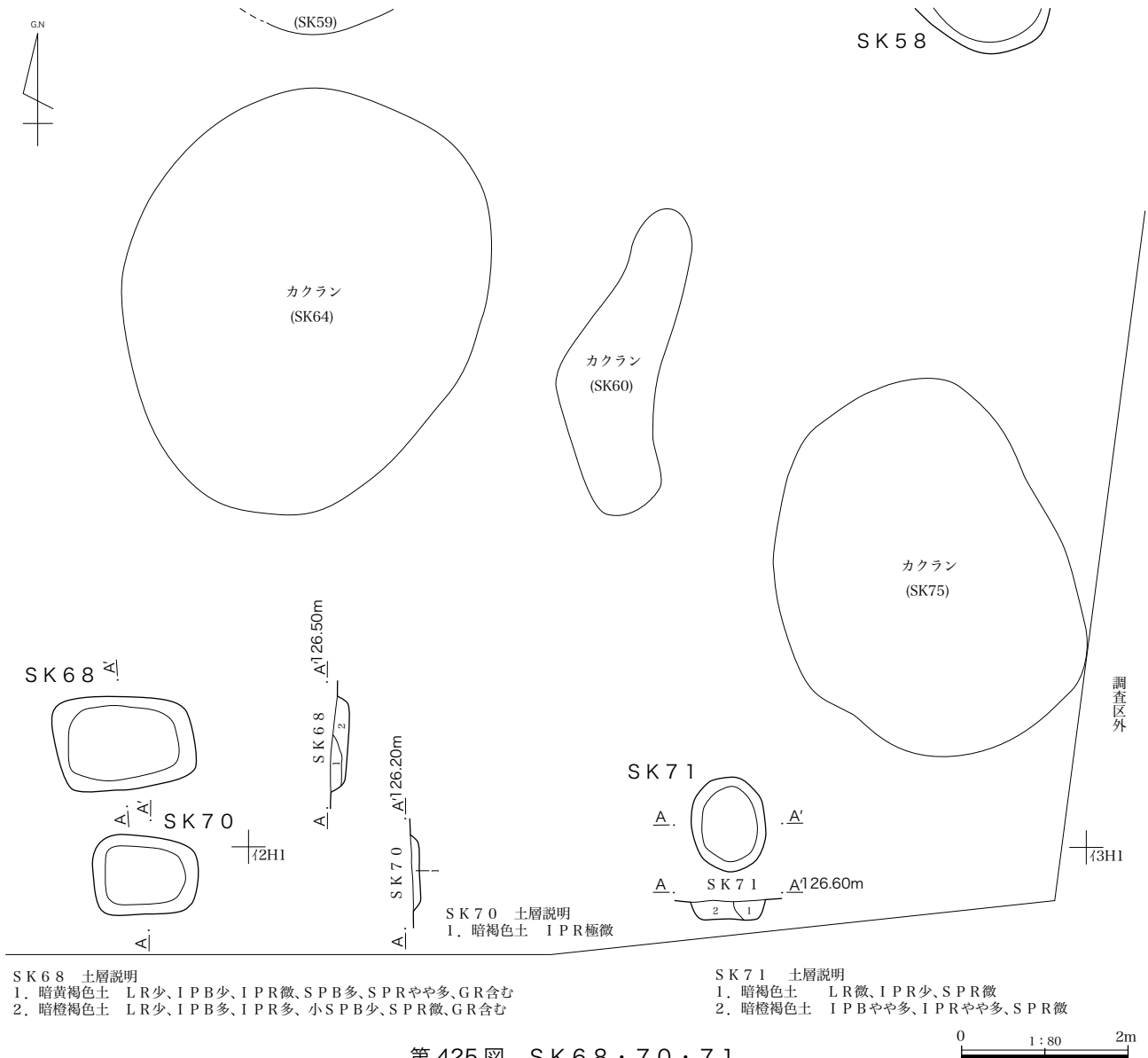
第422 図範囲< SK47.53.54.55.76.89.90.91.SD02.03 >

SK47は複数遺構が重複したような形態であるが、セクション写真・平面写真を見る限り、乱れたローム漸移層内の黒色部分（攪乱土層か）を下げているような様子であり、覆土と地山とは連続的な状況が窺える。底面の凹凸も著しい。便宜的に調査時のまま扱うが、問題が多い点記しておく。

SK53.54はかなり黒味の強い覆土であり、比較的掘り込みも明瞭である。SK55は長方形土坑でSK03との関係は不明。SK76は円形土坑だが、これも覆土と地山との区別が困難な例である。SK89.90はピット状の形態、SK91は浅い不整形で、覆土・地山が類似しており注意が必要な例である。

第423 図範囲< SK49.50.56.58.74.88、SD02 >

SK49.50は溝状形態の遺構と小さめの長方形土坑の重複で、新旧関係は不明である。SK74.88も不整形の穴で、遺構として良いか疑問であるが、セクション写真も無く判断できない。南壁は黒色土中のようにあり、土層説明を参照しても、掘り込みの遺構として良いか疑問が残る。重複するSD02については、比較的明瞭なようである。SK56も黒色土中の確認で判断難しいが、中央の1層とされた黒色部分は遺構覆土で良さそう



第 425 図 SK 68・70・71

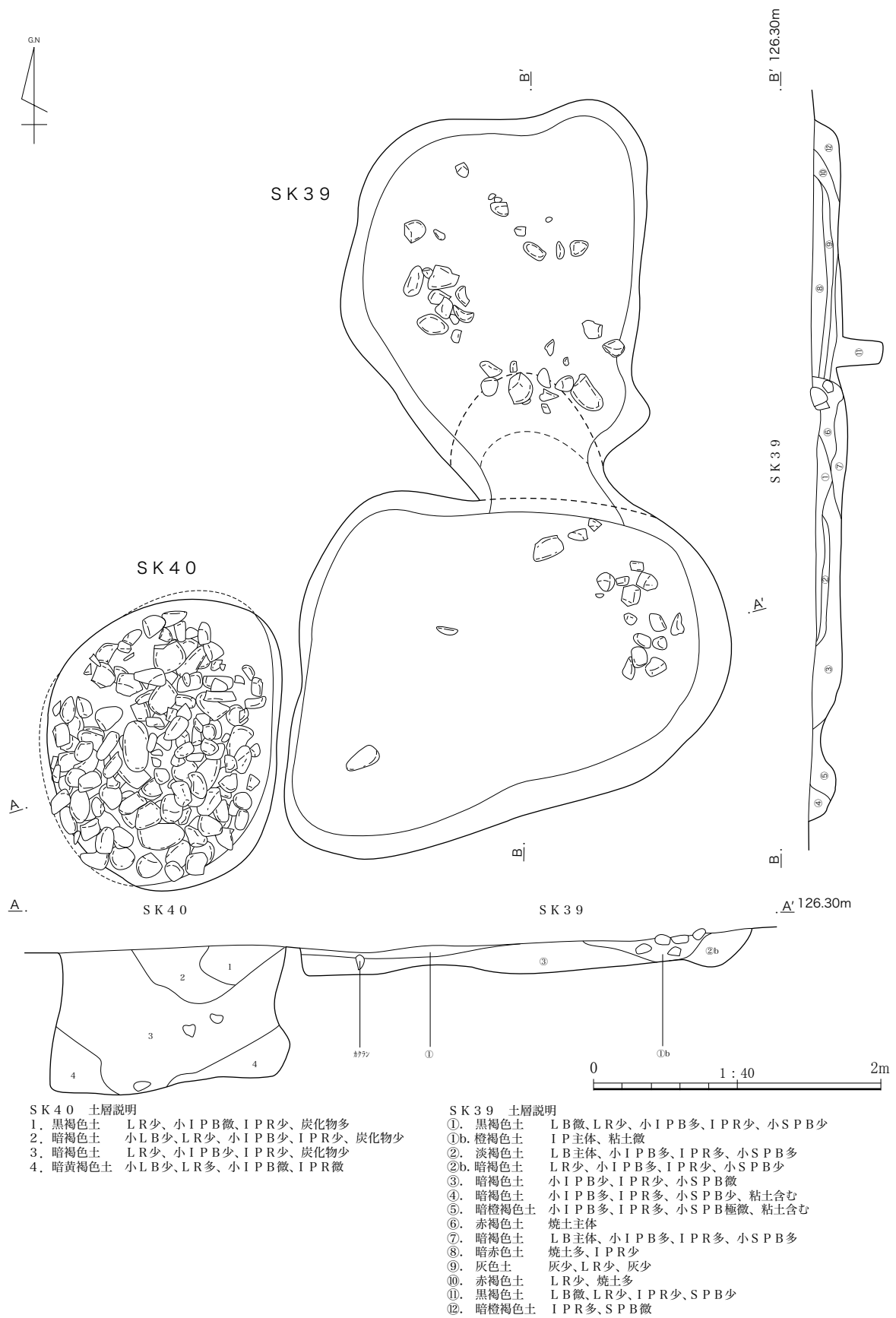
である。或いはピットかもしれない。SK58 は不整楕円形で、写真からみた 1 層は遺構覆土式的である。

第 424 図範囲< SK66.67.69.113、SD04 >

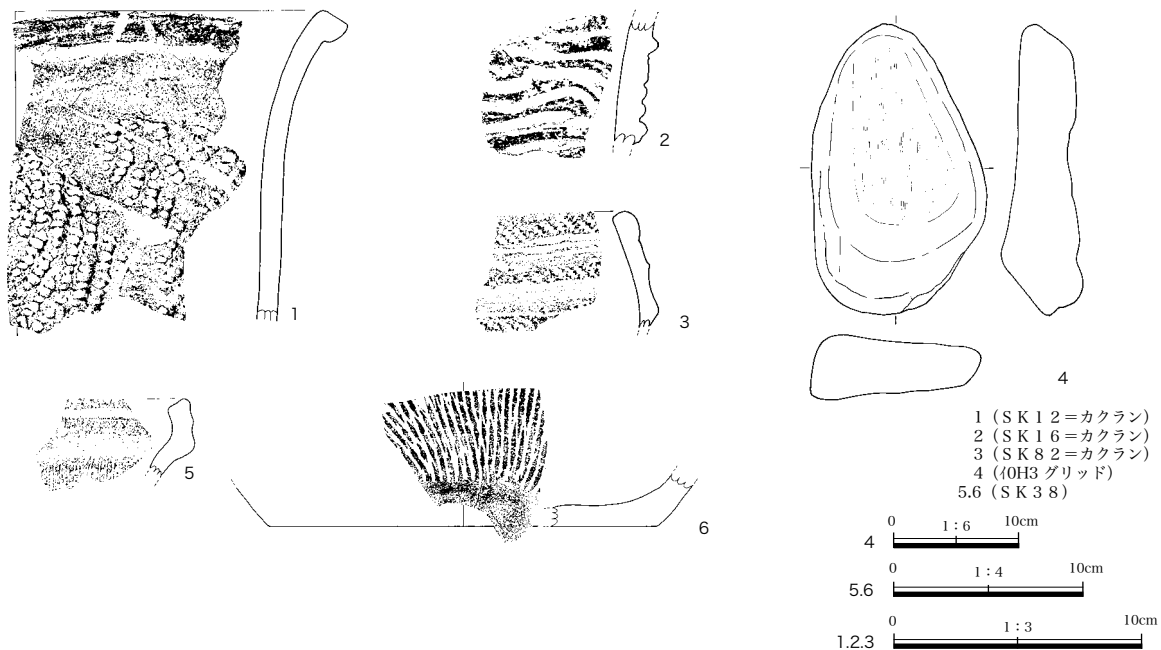
SK66 は平面不整楕円形で、断面を長軸上でみると、南側?が大きく傾斜するかなり異質な形態である。遺構名を付しておくが、非人為的な掘り込みと推定できよう。SK67 は調査区壁での断面観察から、ほぼ表土からの掘り込みが確認できる穴である。一応土坑のまま扱う。SK113 は断面記録が無いもので、重複するSD04 との関係も不明である。SK69 は黒色土中の確認で、より黒味の強いプラン確認から掘り下げられたものである。掘り込みは比較的明瞭であるが、浅く底面ロームの凹凸がある。

第 425 図範囲< SK68.70.71 >

この範囲は調査区で最も南東に位置する。SK68 は浅い方形土坑で、黒色土確認、覆土黒色土のパターンであり、掘り込みはやや不明瞭である。SK70 も概ね同様だが、覆土の黒味強く、掘り込みも比較的明瞭である。



第426図 SK39・40



第 427 図 第 1 次調査区出土遺物

SK71 は楕円形土坑だが覆土・壁いずれも写真で見ると差異がない黒色土で、遺構判断も問題が残る。

溝

溝については、他の調査区と異なり、長い区画溝のような形態例は限られる。SD01 は第 413 図にあり、長さ 7.6 m、幅 1m、深さ 32 cm の浅い溝である。

SD03 は第 422 図にあり、東西方向の溝である。SK55 と重複するが関係は不明。SD02 はその東、4.8 m 程の距離をおいて始まる東西方向溝。これも浅く規模は小さい。覆土は黒味強く、掘り込みは比較的明瞭である。一部の壁は垂直に近い。断面形は逆台形状～逆三角形状である。

SD04 はやや長く確認されている溝である。後述するが、第 2 次調査区側に続いており、上端幅もあることから、大きな区画溝と捉えられる、第 1 次調査区の面的調査区内では 9 m の確認で、4 m の未調査区を挟んで北東 - 南西方向の道路状調査部分でも延長上で溝が確認されている。更に南東方向へ続くことが推定されるが、約 10 m の距離を経て面的に調査されている刈沼遺跡第 2 次調査区では、確認されていない。

第 3 節 遺物

第 1 次調査区から出土した遺物は少なく、収納箱 1 箱である。住居跡等の居住痕跡が少なく、また刈沼遺跡縄紋集落範囲からかなり距離があることが大きく関わって来よう。主なものを第 427 図に示した。1 は浅い楕円形土坑 SK12 (第 414 図) から出土した縄紋中期の土器である。遺構に伴う可能性もあろうか。2.3 は攪乱扱いに変更した土坑から出土したもの。2 は加曽利 E I 式、3 は安行 1 式である。4 は調査区内やや北よりのグリッドから出土した石皿、5.6 は袋状に近い形態の土坑 SK38 から出土した常滑破片と擂鉢破片である。これら以外でも遺物の出土はあったようだが、抽出以前の遺物について確認できていない。

第7章 刈沼向原遺跡第2次調査区の遺構と遺物

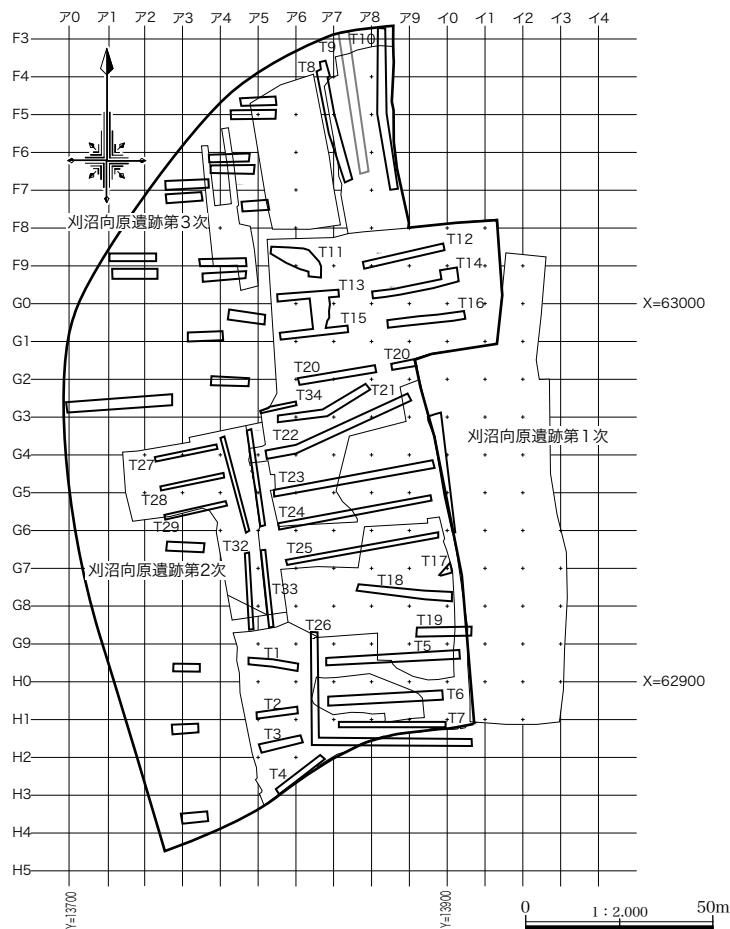
第1節 概要

全体図については第6章冒頭に示した。また確認調査時のトレンチ位置図を第428図に示す。

第6章でも触れたように、第2次調査は確認トレンチ調査の結果をもとに、本調査の範囲を設定した。調査区北側など、確認された遺構が少数に留まるところではトレンチの拡張での調査に留めている。調査区南西などでは面的に調査を行っている。SD4のような台地を大きく区画するような溝については、できる限り全体が把握できるように調査区が定められている。

第2次調査区北側は県道宇都宮向田線、刈沼東原遺跡に隣接するあたりまで対象で、一方南側については刈沼遺跡第2次調査に隣接するところまでが、東側については刈沼向原遺跡第1次調査と連続的になるように設定されている。確認された遺構は住居跡3軒、土坑31基、溝跡18条である。溝のうちSD04は第1次調査区で確認されていた溝と同じである。またSD07・SD08については、刈沼向原遺跡第3次調査区で確認された溝と同一の溝と推定されている。

検出遺構数は必ずしも多くはないが、古墳時代前期や後期の住居跡が確認されるなど、当該期の集落範囲や活動域を考える上では注意すべき成果もある。



第428図 刈沼向原遺跡 トレンチ配置図

第2節 住居跡

S I O 1（遺構第429・430 図、遺物第431 図、写真図版二三・二四）

調査区北端77F4・77F3 グリッドで確認された。刈沼東原遺跡に近い位置と言える。北辺にカマドがあり、プランも含めてみると軸はN-5°-Wとなる。この軸で計測すると6.12 m、直交軸6.18 mとなる。深さは24～32 cm、貼り床は8～12 cmの厚さがある。中央に床下土坑があり、これは1.44×1.54×0.40m（床面からの深さ）である。図の記録が残されていないが、床下の調査でP1.P4の東側に別のピットが調査されている。また東壁に直交して1～1.5 m、幅10～20 cm程度の浅い溝が3条（P2付近、東辺の中央付近、P3の若干南）認められる。間仕切り溝の可能性もあるかもしれない（写真23-5）。

掘り込みは明瞭で、確認面はローム漸移層、床面・貼り床土（9～12層）は平坦で、貼り床土はローム主体の土に若干黒色土系の土を混ぜているようにも見える。壁はローム層でほぼ垂直に立ち上がる。ピットの計測値を示すと、P1は0.26×0.26×0.32m、P2は0.32×0.28×0.56m、P3は0.28×0.30×0.58m、P4は0.28×0.26×0.40m、P5は0.38×0.31m×不明、P6は0.24×0.22×0.26m、P7は0.26×0.28×0.62mである。P6.P7は住居掘り込み範囲外であるが、P7はP2の軸延長ラインにある等、関連を窺わせる。また南西ピットのP4の西側にもピットがあるほか、住居跡南側にも幾つかのピットがある（写真図版23参照）。いずれも深さなど記録不明のため掲載しなかったが、注意される。また住居跡内南壁際でも未発番のピットがあり、入口施設に関わる可能性があるだろうか。

住居跡覆土は黒色土基調で、ロームブロックやIPブロックを不均一に含む。やや細かく分層しているが、上位の1層は厚く安定的である。貼り床より上位は基本的には自然堆積のようである。

カマドは袖の両端の長さが1.12 m、袖部分から煙道北端部まで1.30 m、袖前端に礫があり袖芯材とみられるが、詳細な位置の記録が無く不明な点が多い。袖芯はローム掘り残しが基本で、記録を見る限り粘土による構築や粘土を厚く貼るような状況は見られない。火床相当部は若干焼けているが、袖や煙道底面等も含め顕著な受熱痕跡は確認できない。また「カマド覆土」においても焼土や炭化物はさほど多く観察されていない。カマドの前面に焼けた礫がやや散らばって出土しており、カマド構築材であった可能性がある。

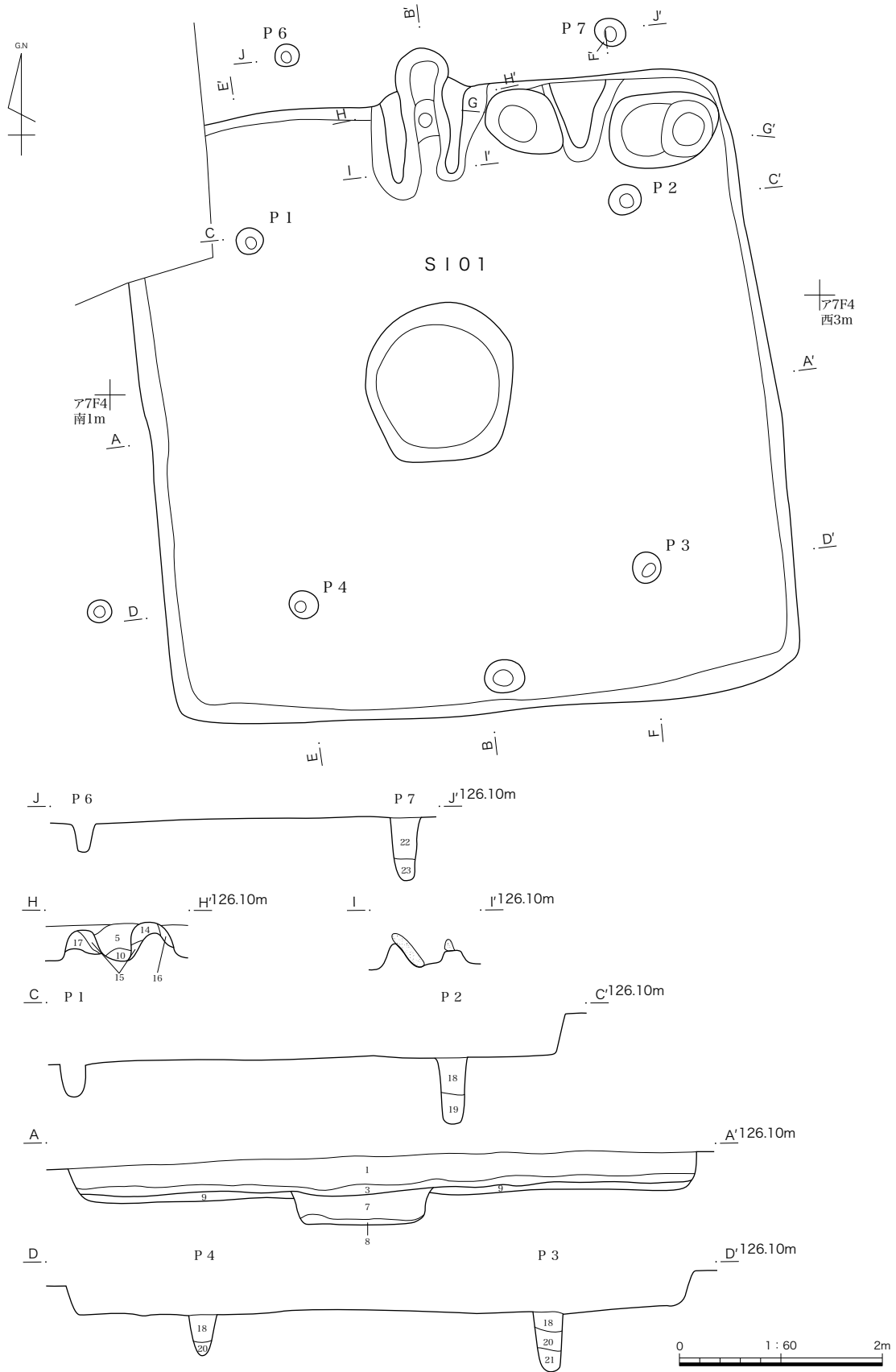
貯蔵穴は北東コーナーに2基確認された。東側の貯蔵穴は住居跡コーナー部に、西側の貯蔵穴はカマド脇にあり、両者の間は若干掘り残し？の高い部分がある。東側の貯蔵穴は1.06×0.72×0.43m、西側は0.72×0.60×0.38mである。

遺物は比較的多く出土しているが、写真記録以外確認できていない。住居跡の北半の床面より若干上位（覆土上位～中位）でややまとまるようにも見える。土師器「模倣坏」など完形で出土している例もあるが（写真図版23-8）、多くは破片での出土のようである。また第431 図13の壺下半が比較的形を保ったまま南壁際から出土している、写真図版24-1）。

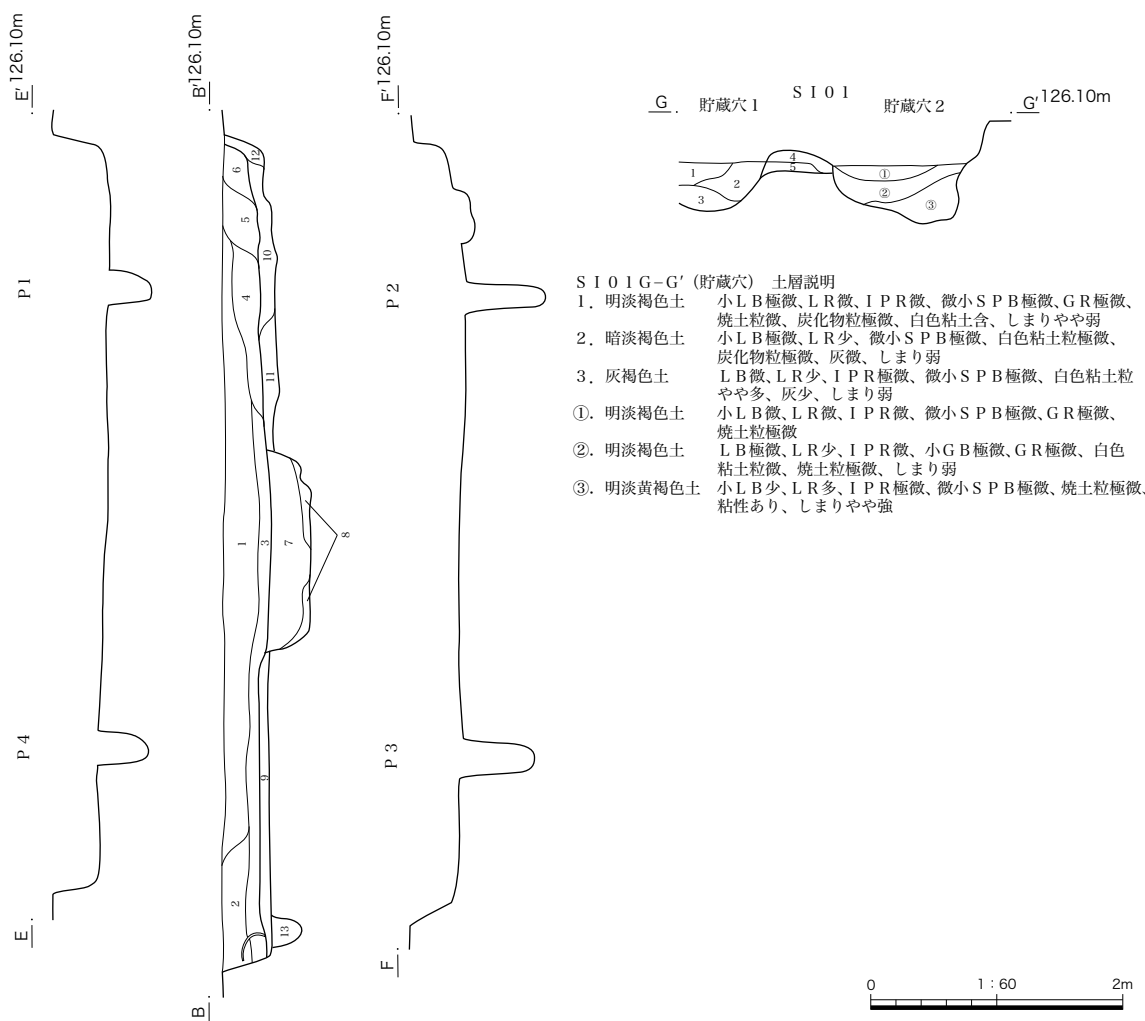
遺物は第431 図に示す。16.17は混入の縄紋土器・弥生土器の破片で、1～15が住居跡に伴う遺物と言える。坏がやや多く、壺（12.13）・甕（15）・甑（11）が確認される。

S I O 2（遺構第432 図、遺物第433 図、写真図版二四・二五）

この住居跡は第2次調査区の南西コーナーにある。住居跡の6割程度は調査されたが、残りは調査区外になっている。調査は当初北側のみ調査されたようで、この時点でカマドなどの調査も行われている。その後調査区の状況やSD13調査などとの関わりからか、概ねSD13重複部分より南側が調査された。最終的には当時の

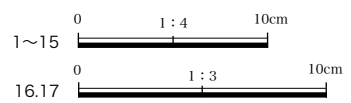
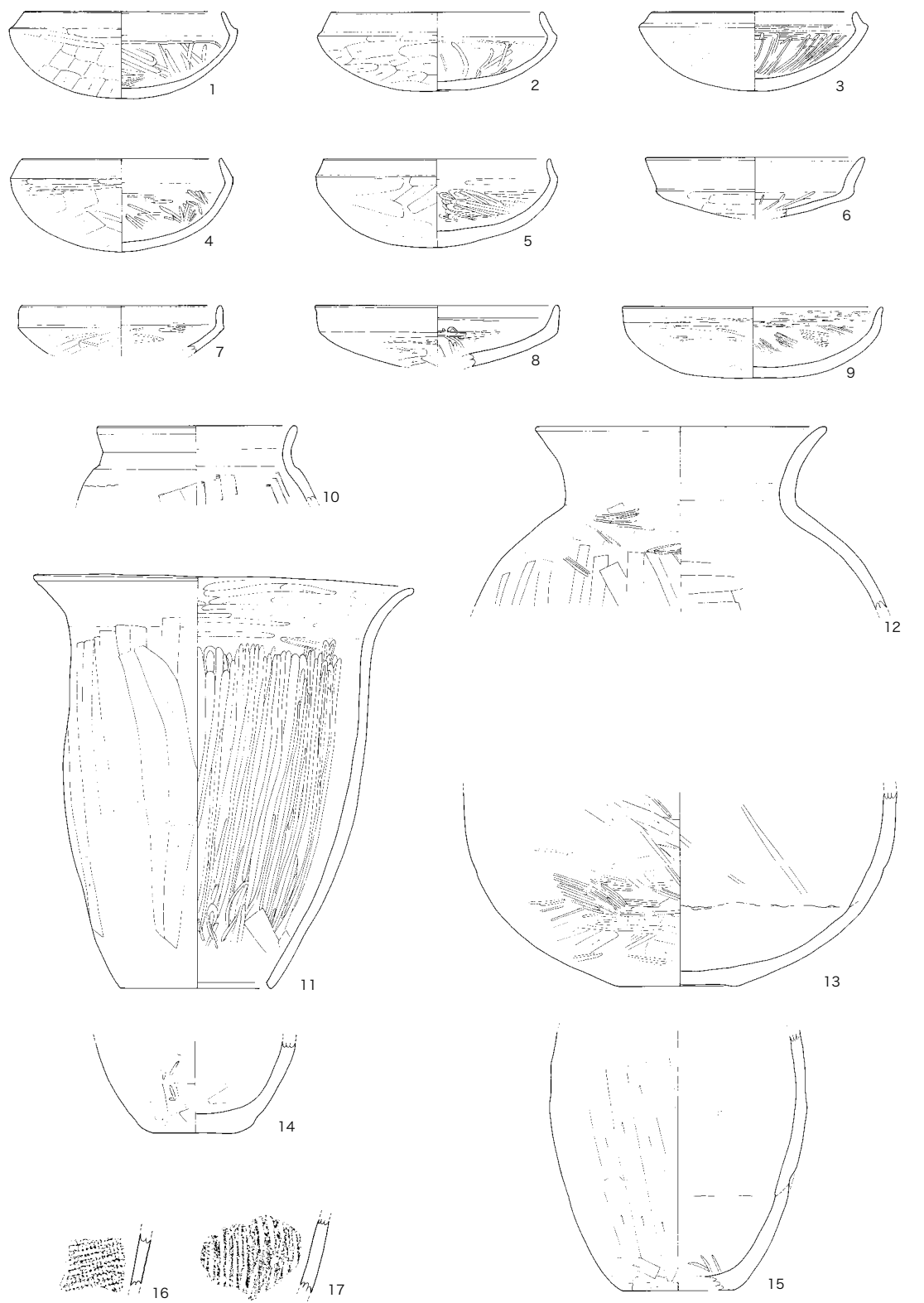


第429図 S101(1)

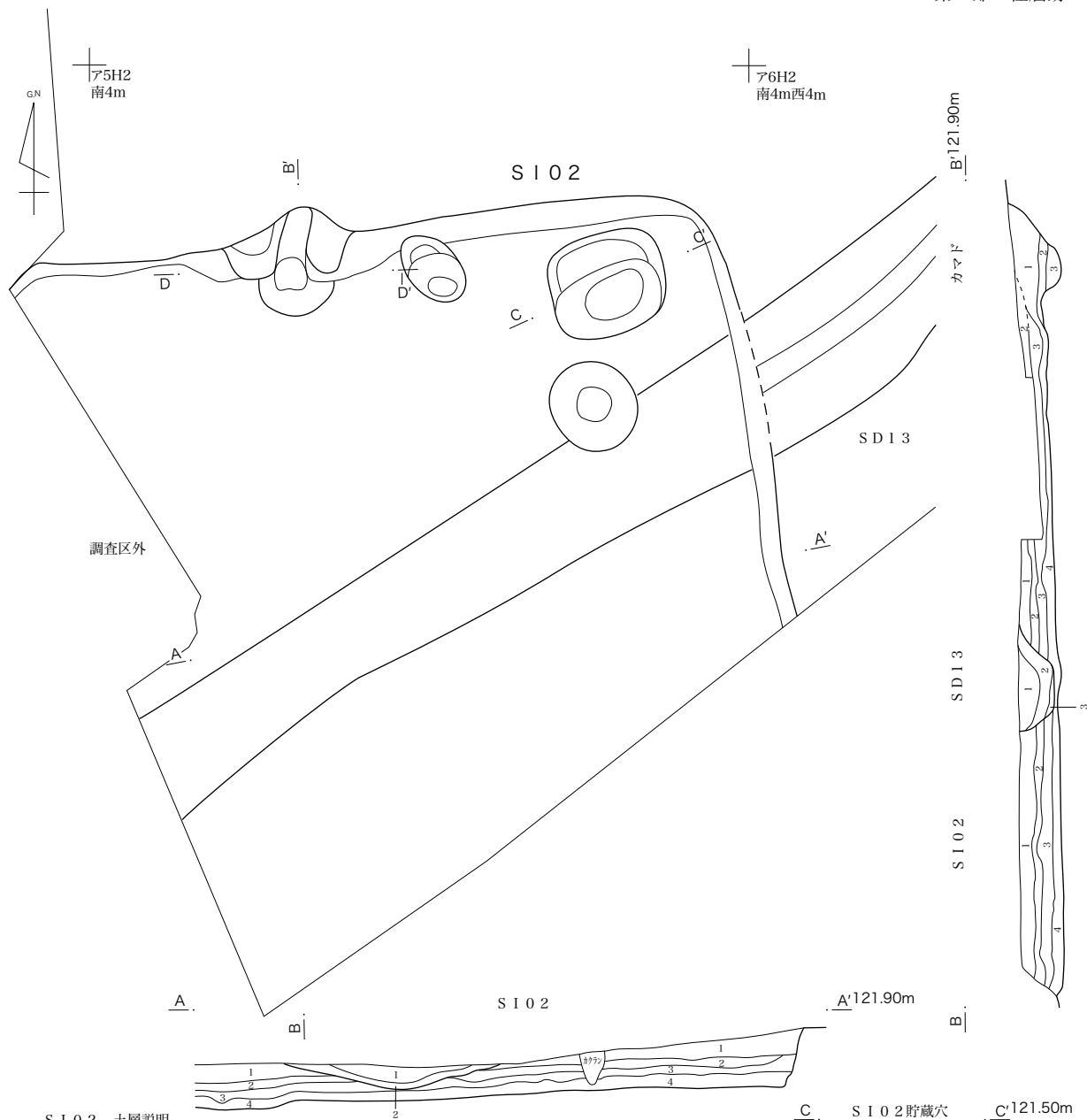


- S I O 1 土層説明
- | | |
|------------|---|
| 1. 暗褐色土 | LB極微、LR微、IPB極微、IPR微、SPB極微、SPR微、小GB極微、GR微、炭化物粒微、青色粘土粒極微、しまりやや強 |
| 2. 暗黄褐色土 | LR少、IPR極微、小SPB極微、GR微、炭化物粒極微、しまり強 |
| 3. 暗黄褐色土 | LB少、LR少、IPB極微、IPR微、小SPB極微、小GB極微、GR極微、炭化物粒微、しまりやや強 |
| 4. 暗灰褐色土 | LR微、IPR微、小SPB極微、小GB微、GR少、炭化物粒極微、しまりやや強 |
| 5. 灰褐色土 | LR少、IPR極微、小SPB極微、焼土粒微、粘土粒微、灰少、炭化物極微、しまりやや弱 |
| 6. 暗赤灰褐色土 | IPR微、焼土粒少、粘土粒極微、灰少 |
| 7. 淡褐色土 | LB微、LR多、IPB微、IPR少、小SPB極微、GR極微、緑色粘土粒極微、炭化物粒極微、しまりやや弱 |
| 8. 淡黄褐色土 | LR多、IPB極微、IPR極微、微小SPB極微、炭化物粒微、しまりやや弱 |
| 9. 黄褐色土 | ローム主体、IPR微、小GB極微、GR極微、炭化物粒極微、粘土粒極微(貼床) |
| 10. 明灰褐色土 | LRやや多、IPR微、小SPB極微、焼土粒微、粘土粒極微、灰微 |
| 11. 暗灰褐色土 | LR少、IPR極微、小SPB極微、小GB微、GR微、焼土粒極微、炭化物極微、しまり弱 |
| 12. 暗赤灰褐色土 | 6層に比べ焼土粒少、小LB極微、LR微、6層に比べしまり強 |
| 13. 黄褐色土 | ローム主体、IPR極微、小GB極微、GR極微、しまりやや弱 |
| 14. 褐色土 | LB極微、LR少、GR極微、焼土粒微、粘土粒微、灰極微、しまりやや強 |
| 15. 褐色土 | LR微、IPB微、IPR微、焼土粒少、炭化物粒微、白色粘土粒微、しまり弱 |
| 16. 淡橙褐色土 | LR微、IPB微、IPR少、GR極微、粘土粒微、炭化物粒微、しまりやや強 |
| 17. 橙褐色土 | LR微、IPB微、IPR少、焼土粒微、粘土粒微、炭化物粒微、しまりやや弱 |
| 18. 暗黄褐色土 | LB極微、LR多、IPR極微、SPR極微、焼土粒極微、しまりやや弱 |
| 19. 淡黄褐色土 | LB微、小LB少、LR多、粘性あり、しまり弱 |
| 20. 黄褐色土 | 小LB微、LR多、IPR極微 |
| 21. 黄褐色土 | 20層よりしまり弱 |
| 22. 淡褐色土 | LB微、LRやや多、IPR微、SPR極微、小GB極微、しまりやや弱 |
| 23. 暗褐色土 | 黒色土主体、小LB極微、LR微、しまり弱 |

第430図 S I O 1 (2)



第431図 S101出土土器



S102 土層説明

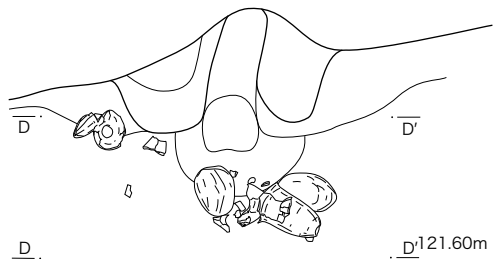
- 1. 暗褐色土 小LB極微、LR微、IPR微、小SPB極微、小GB極微、GR極微、しまりあり
- 2. 暗淡褐色土 小LB極微、LR少、IPR微、小SPB極微、小GB極微、GR極微、しまりあり
- 3. 淡褐色土 小LB極微、LRやや多、IPR極微、小SPB極微、GR微、粘土極微、しまりあり
- 4. 淡黄褐色土 LB微、LR極多、IPR微、微小SPB極微、GR微、粘土極微、黒色土含、しまりあり(貼床)

SD13 土層説明

- 1. 暗褐色土 LB少、小LB極微、LR微、IPR微、小SPB極微、小GB極微、GR極微、しまりやや強
- 2. 暗褐色土 LB微、LR少、IPR極微、小SPB極微、GR微、しまりやや弱
- 3. 淡黄褐色土 LR多、IPR極微、しまり強

S102 C-C' (貯蔵穴) 土層説明

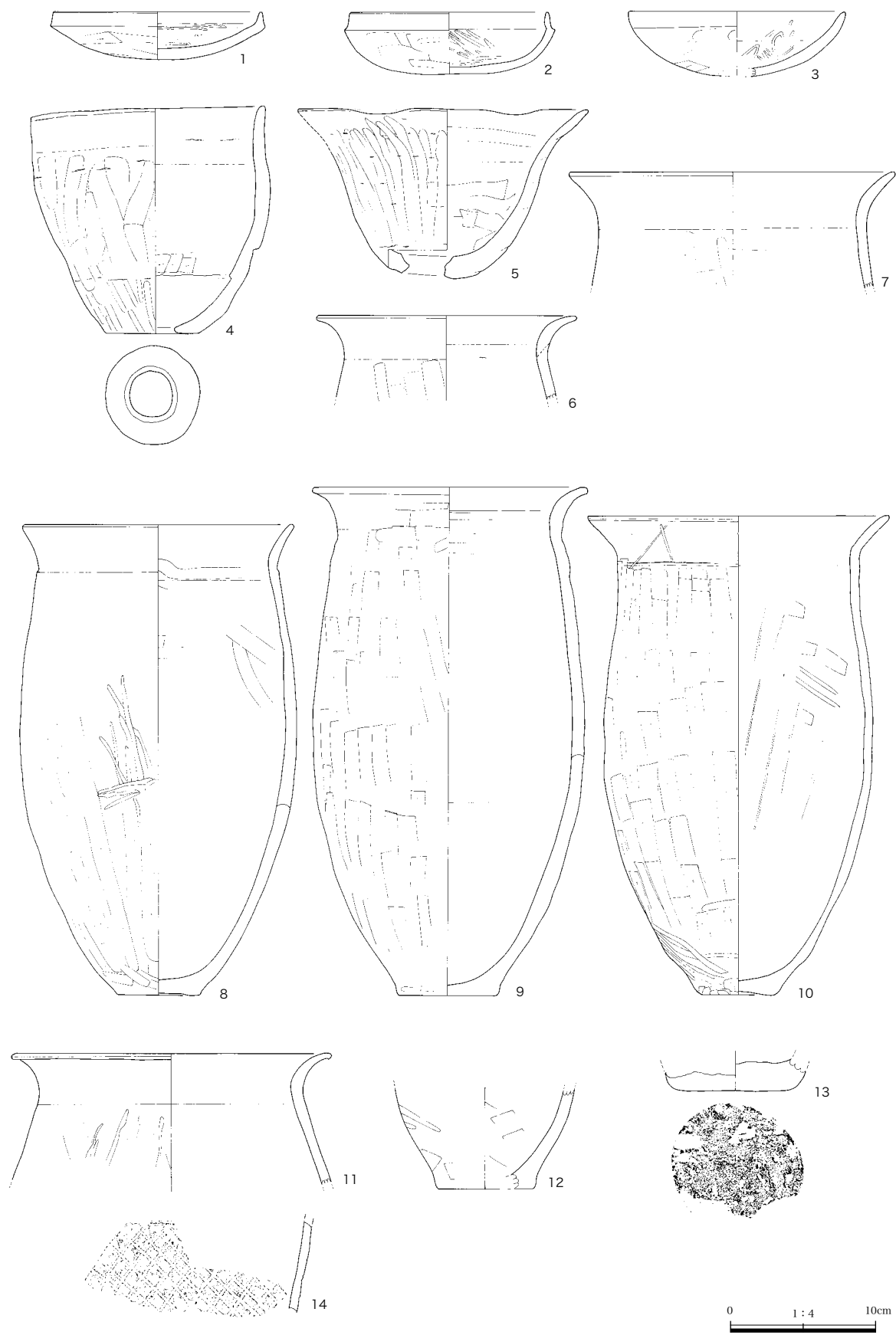
- 1. 淡褐色土 LR微、IPR極微、GR極微、黒色土極微、しまり強
- 2. 明灰褐色土 LR少、IPR微、焼土粒少、灰微、しまり弱
- 3. 暗灰褐色土 LR微、IPR極微、焼土粒微、灰微、しまり弱
- 4. 黄褐色土 ローム主体、IPR極微、黒色土極微、灰微



S102カマド 土層説明

- 1. 暗褐色土 LB極微、LR少、IPR極微、GR極微、焼土粒少、炭化物粒少、粘土粒極微、灰微、しまりやや弱
- 2. 暗黄褐色土 小LB微、LRやや多、IPR極微、小GB極微、GR極微、炭化物粒極微、灰微、焼土微、しまりやや弱
- 3. 暗黄褐色土 小LB極微、LR少、IPR極微、焼土粒極微、灰微、しまり弱
- 4. 暗褐色土 小LB極微、LR少、IPR極微、GR微、粘土粒極微、炭化物粒微、灰微、しまり強
- 5. 淡黄褐色土 LB少、小LB微、LRやや多、IPR極微、青色粘土極微、炭化物粒極微、しまりやや強
- 6. 暗褐色土 LR少、IPR極微、小SPB極微、炭化物粒極微、粘土粒極微、灰微、しまりやや弱

第432図 S102



第433図 S102出土土器

現道との境界ぎりぎりまで調査されている。こうした状況から、原記録では複数のライン上で土層断面記録がとられているが、ここでは整理した上での2ラインを示す。遺構の確認はローム漸移層で、壁下位～床面はほぼロームのようである。壁は垂直に近い角度で、床は概ね平坦である。軸はN-6°-Wで、残っているところでは軸長7.24m、直交軸長6.40mである。少し南側に続くことを想定すれば、一辺8m程度とやや大きめの住居跡となろう。深さは54cmだが、貼り床の厚さが12cmほどあるので、差し引いた42cmほどが確認できた覆土厚＝住居跡の深さとなる。西側にやや傾斜する地点に作られており、壁の高さも東側の方が高い。

溝SD13は住居跡覆土を切って作られており、SI02→SD13の関係と判断されている。

貯蔵穴は住居跡北東コーナーにあり、1.05×0.92×0.72mである。南側が一段深く下がる形態で、北側の浅いテラス状部分から土師器塚が出土している。貯蔵穴の覆土上位に遺物が多くあり、また底面上10～20cmでも遺物がある。図では貯蔵穴北西にピットがあるが、深さは不明であり、貯蔵穴やカマドとの関わりも不明である。貯蔵穴南側のピットを柱穴P1とすれば、0.78×0.84m（深さは不明）である。これに東西軸で対応するピットも調査区外にかかる位置で一部写真で見えるものの、記録不詳で示し得ない。

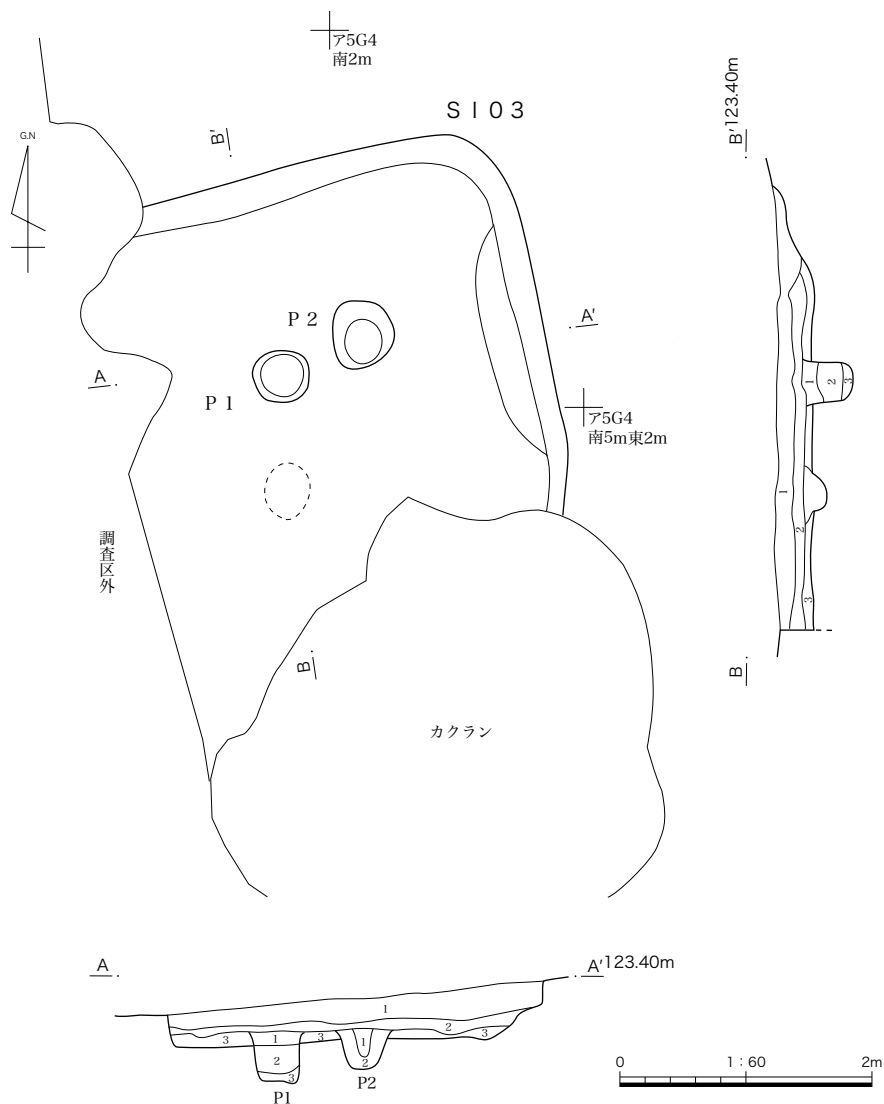
カマドは北辺に付されているが、あまり遺存状況は良くない。かなり崩れており粘土構築部分も少ないようである。火床面や焼けている面・袖も明瞭に確認されない。カマド土層断面（第432図D-D'）を見ると、袖部分はローム主体の層、火床上～煙道部で天井崩落主体と想定される層が確認されるが、粘土はわずかな量で、顕著な焼土の確認も為されていないようである。カマドを前面から見て左側には甕の逆位設置と大きめの礫が置かれており、袖の芯材となろうか。一方この東側でも礫の出土がある。更にやや前方に甕完形個体及び礫が置かれたかのような状況で確認された。天井部・かけ口にかけていた可能性がある。

掘り上がり写真ではカマド西側の壁際でピットが幾つか確認されるが、図面等の記録は無く不詳である。住居跡覆土からの遺物はさほど多くはないように写真からは窺えるが、復元個体は比較的多い。貯蔵穴からも一定量出土している。第433図1がカマド+埋土、4.8が貯蔵穴+カマドの接合個体、6.9.10がカマド、7.11が貯蔵穴、残りが覆土中出土である。詳細な記録を提示すべきだが、現段階でトータルステーションデータの読み取りができず示し得ない。なお概ね同じ古墳時代後期の住居としては北180mにSI01がある。刈沼遺跡第2次調査等でも少数の遺物出土はあるものの、主体集落域（刈沼東原遺跡）からかなり離れたところに位置する点でも、注意されよう。

SI03（遺構第434図、遺物第435図、写真図版二五）

第2次調査区中央西よりの位置で確認された住居跡である。西側については調査対象地区内ではあるが、調査時点で既に攪乱されていたようである。南側についても大きく攪乱が入る。調査の経緯については不明であるが確認面は黒色土～ローム漸移層で、住居跡部分はより黒味の強い層でプラン確認がされたようである。床面は一回黒色土中でとめられたようだが、最終的にはローム層中まで掘り下げられている。但し土層断面記録を見て明らかなように、ピットはこの最下層を掘り込んで作られており、3層を貼り床と判断するか、覆土中の柱痕跡、或いは掘り過ぎということになる。土層説明原図では3層が貼り床となっている。3層除去後の面はきれいなロームで、概ね平坦となっている。但し2層上面も概ね平坦であり、或いはこの2層も貼り床層の可能性があろうか。壁の中位～下位はロームで、壁の傾斜は急角度かつ掘り込みは明瞭であるが、場所によってはやや緩やかな角度となっている。炉などの火処は確認されていない。

住居跡覆土は黒色土基調の単一層（土層説明では暗褐色土）、ピットはやや中央から北東の部分で2基が確認された。P1は46×39×40cm、P2は49×51×32cmである。写真ではP2にかかる南側にも浅い掘



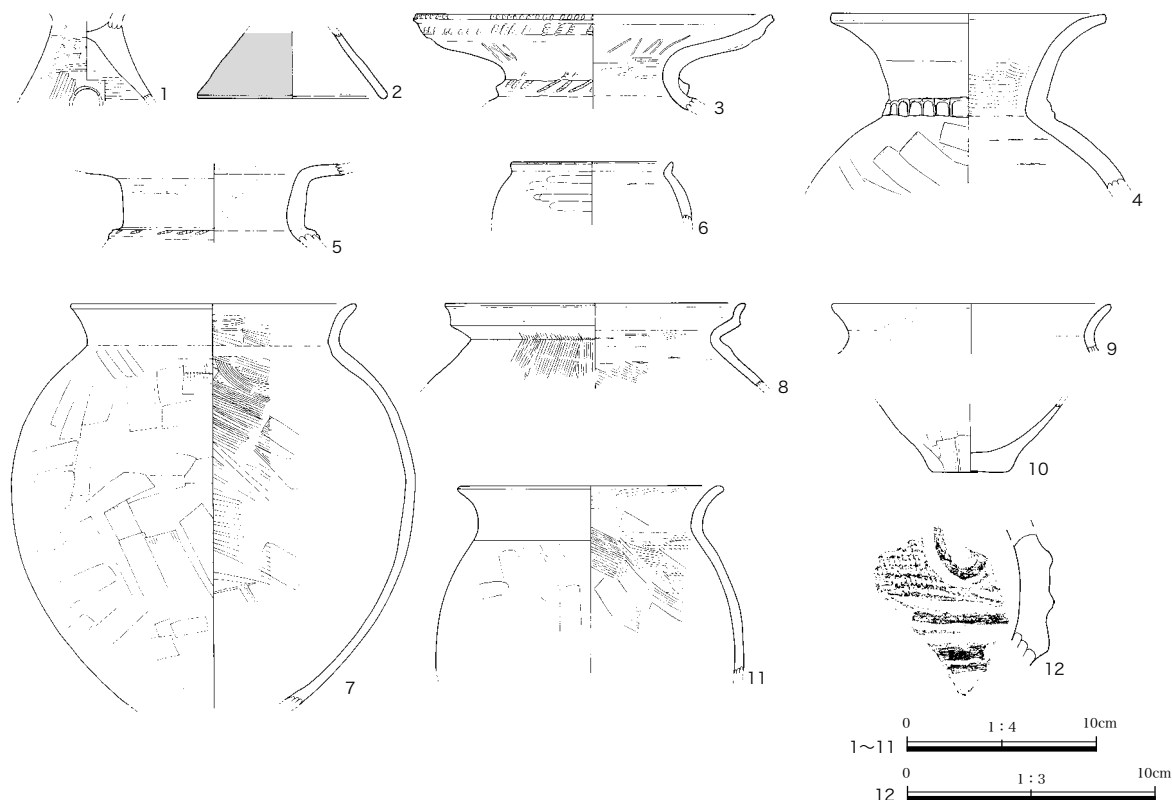
- SIO3 土層説明
- 1. 暗褐色土 L R微、I P B少、I P R少、S P B微、小S P B微、G R微、黄色粘土極微、しまり強
 - 2. 暗橙褐色土 小L B微、L Rやや多、I P B少、I P R微、小S P B微、G R微、黄色粘土極微、しまり強
 - 3. 橙褐色土 L B多、L R多、I P B微、I P R少、小S P B微、G R微、黄色粘土微、しまり強
- P1 (柱穴)
- 1. 暗橙褐色土 L B極微、L R微、I P B微、I P R少、小S P B極微、小G B極微、G R極微、炭化物粒極微、しまりやや強
 - 2. 暗橙褐色土 L R少、I P B極微、小I P R少、小S P B極微、G R極微
 - 3. 暗黄褐色土 小L B極微、L Rやや多、I P R微、しまりやや弱
- P2
- 1. 暗褐色土 小L B極微、L Rやや多、I P R微、G R極微、灰色粘土極微、砂粒微
 - 2. 暗黄褐色土 小L B少、L R多、I P R微、小S P B極微、G R極微、しまり弱

第434図 SIO3

り込みがある。またP1の南でセクションでのみ確認できるピット？の掘り込みがあり、平面では点線で示した（径43cm、深さ18cm）。

住居跡の軸はN-10°-Wで、床面が残っている部分での長さは4.53m、東西は3.5mである。推定では一辺5m以上の住居となろうか。

遺物は比較的多く出土している。第435図には11個体を示した。頸部に縄紋が付される隆帯が巡る壺・二重口縁壺やS字状口縁甕、高坏などがある。出土位置の詳細については、記録の読み取り不備により提示し得ない。写真を見る限り、3や5の個体が北東の覆土上位で出土していることが確認される。



第435図 S103出土遺物

なお古墳時代前期の遺構としては、北側 60 m に第 3 次調査の S105 があるほか、刈沼遺跡第 2 次調査区の方形周溝墓群が南東 140 m の位置にある。

第3節 土坑・溝

土坑は 31 基確認された。1 次調査区と同様、人為的な遺構として良いか疑いがあるもの、攪乱状の土坑なども多い。基本的に調査時のままの扱いとするが、判断を変更したものもある。溝と近い位置にあるものは溝平面図に併せて掲載し、単独的に位置するものは個別の平断面図を編集して掲載した。

溝については 18 条が確認された。うち SD04 は第 1 次調査区の SD04 と同じ溝である。また SD07・SD08 は第 3 次調査区の SD07・08 と同一溝と判断されたようである。調査区内を広く（長く）縦断・横断する溝が幾つか認められる一方で、短い単独的な溝もある。前者の中には概ね現在の地割りに沿うような位置のものがあることも注意される。以下溝と土坑について、掲載の図毎を基本に整理時の所見などを羅列的に記してゆく。土坑の個別の位置や計測値などは図面や表を参照されたい。

SD16～18・20、SK29・30・32（第436図）

第 436 図には調査区中央西よりの溝交差部分を中心に示す。多くの遺構の確認面はローム漸移層～ローム層、溝や土坑の壁・底面は概ねローム層である。SD17→SD16、SD17→SD18 の関係が判明している。SD20 は南北 25.3 m が確認されている溝で、第 436 図掲載の北側では N-6° - W、北端近くでは N-4° - E

の軸となる。北端は攪乱と重なり不明である。かなり離れた延長上にSD21があるが、形状もかなり異なることから、別の溝と考えられ、概ねこの場所で途切れると判断されよう。

SD20の上端幅は108～192cm、深さは32～76cmである。SD17とはほぼ併走する形で、溝の深さも概ね同じであるが、幅はSD17の方が広い。SD17の上端幅は56～224cm、軸はN-3°-Wである。覆土も極めて大きな差異は無い。SD20・SD17の断面形はいずれも概ね皿状で底面はさほど凹凸がない。東西方向のSD17はSD20に近接した位置で直角に折れ曲がり、SD20とほぼ併走する南北方向溝となる。東西方向部分ではSD16及びSD18と概ね併走する。

SD16・17・18は東西方向軸を基調とする溝である。本図の西側ではN-88°E、これより東では若干西側と角度が異なる（SD16はN-88°E、SD17はN-71°W）と共に幅が狭くなる。SD18はSD16の延長部分でSD17に併走し、SD20南北方向溝に近接する位置で若干重複しつつ北側に折れ曲がって併走する。SD16の上端幅は64～96cm、SD17の上端幅は56～224cm、深さ20～57cm、SD18の上端幅は83～104cm、深さ52cmである。SD18はSD20及びSD17より新しいことが記録されているが、位置・形状からはSD20の完全な機能停止後に新たに掘られた溝とは考えにくい。SD17とSD16・18の関係についても、写真からは覆土堆積後の切り合いというより、同時的に堆積しているようにも観察される。

第436図部分の土坑ではSK29・30・32がある。いずれも長楕円形の土坑である。SK29については2条の溝より新しいことが判明しているが、SK30については新旧関係不明である。

SD05・15・16・17、SK26・28・31（第437図）

第437図には調査区中央東よりの部分を示す。

SD16・17は第2次調査区のおぼ中央を東北東-西南西方向で横断するように作られ、調査区東端近くの南北方向溝SD15に接して終わっている。2条の溝は完全に重複併走する形で（軸N-72°E）、いずれも断面皿状を呈する。浅いSD16（深さ16～36cm）の方がSD17（深さ20cm）より新しいという状況が覆土の分層により示される。両者を併せた上端幅は104～172cmである。SD15との関係はB-B'ラインでの観察からSD15→SD17が示される。SD16の出土遺物では、混入の縄紋土器片以外で砥石3点を示す（第447図SD16-2～4）。形状からの時期判断は難しく中世～近代の範囲内としか言えない。SD17出土遺物も1の縄紋土器及び2の弥生土器は混入で、3のみ伴う可能性も若干ある。

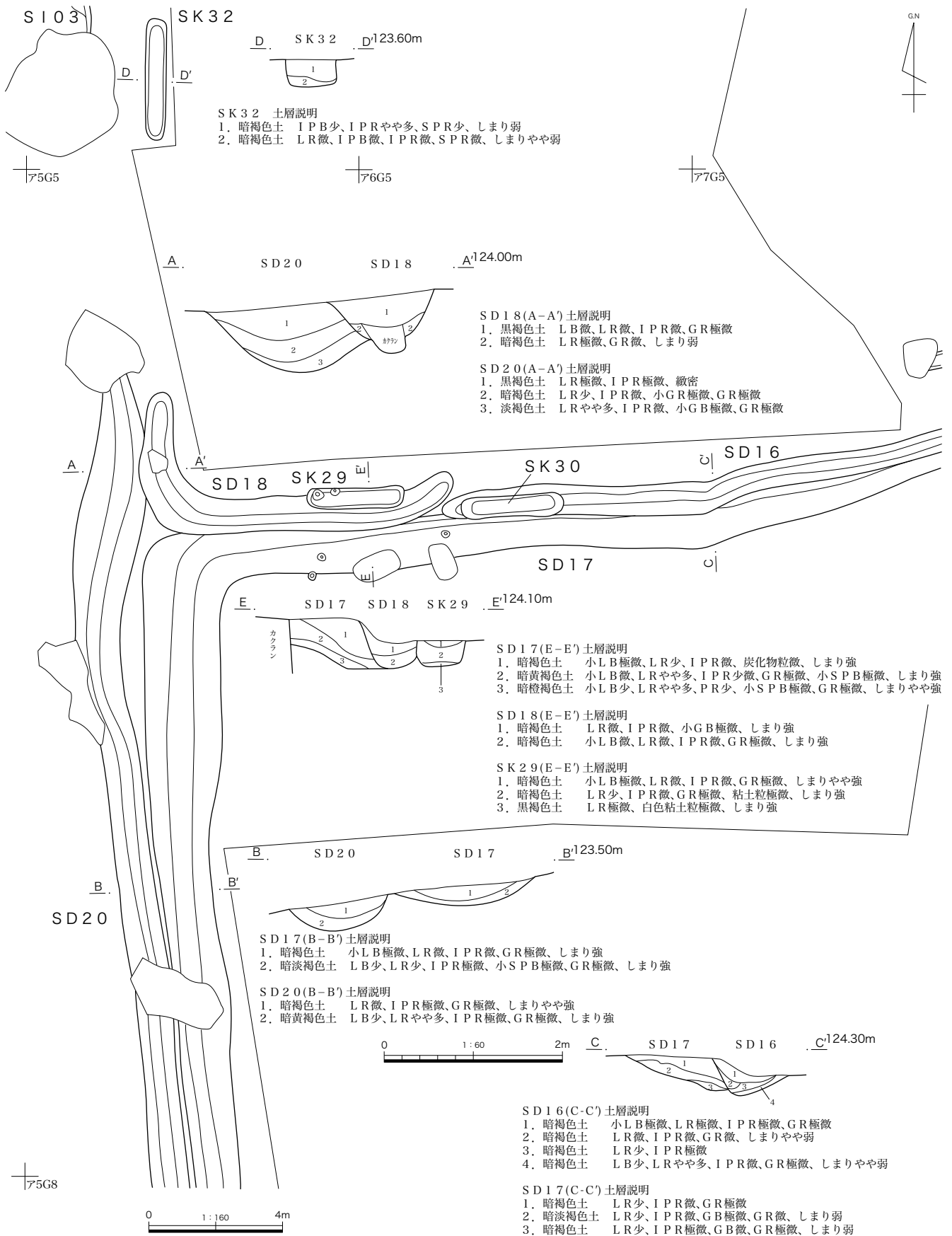
SD15はこの範囲でのみ9.3m分が確認された溝で、上端幅28～72cm、深さ9～17cmで断面は皿状である。軸はN-15°WでSD16・17とはほぼ直角をなす。

SD05の断面は逆台形状に近く、壁の傾斜は比較的急角度である。上端幅28～52cm、深さ19～47cm、軸はSD15に概ね平行しN-14°W、SD05は10G5グリッド付近が北端となり、南に向かっては東側調査区にほぼ沿うように調査区南端まで61m続く。南に向かって徐々に深く、またやや幅広くなり、断面逆台形状が明確になり、従って底面の平坦部分が広く安定した形となる。

第437図部分の土坑ではSK31、SK28、SK26がある。SK31は長方形で覆土にロームブロックを多く含む耕作穴あるいは攪乱に近い特徴がある。SK26は長楕円形土坑で、覆土の黒味は地山黒色土よりやや強いようである。SK28はSD16・17と重複する位置にある楕円形土坑だが、新旧関係は不明である。

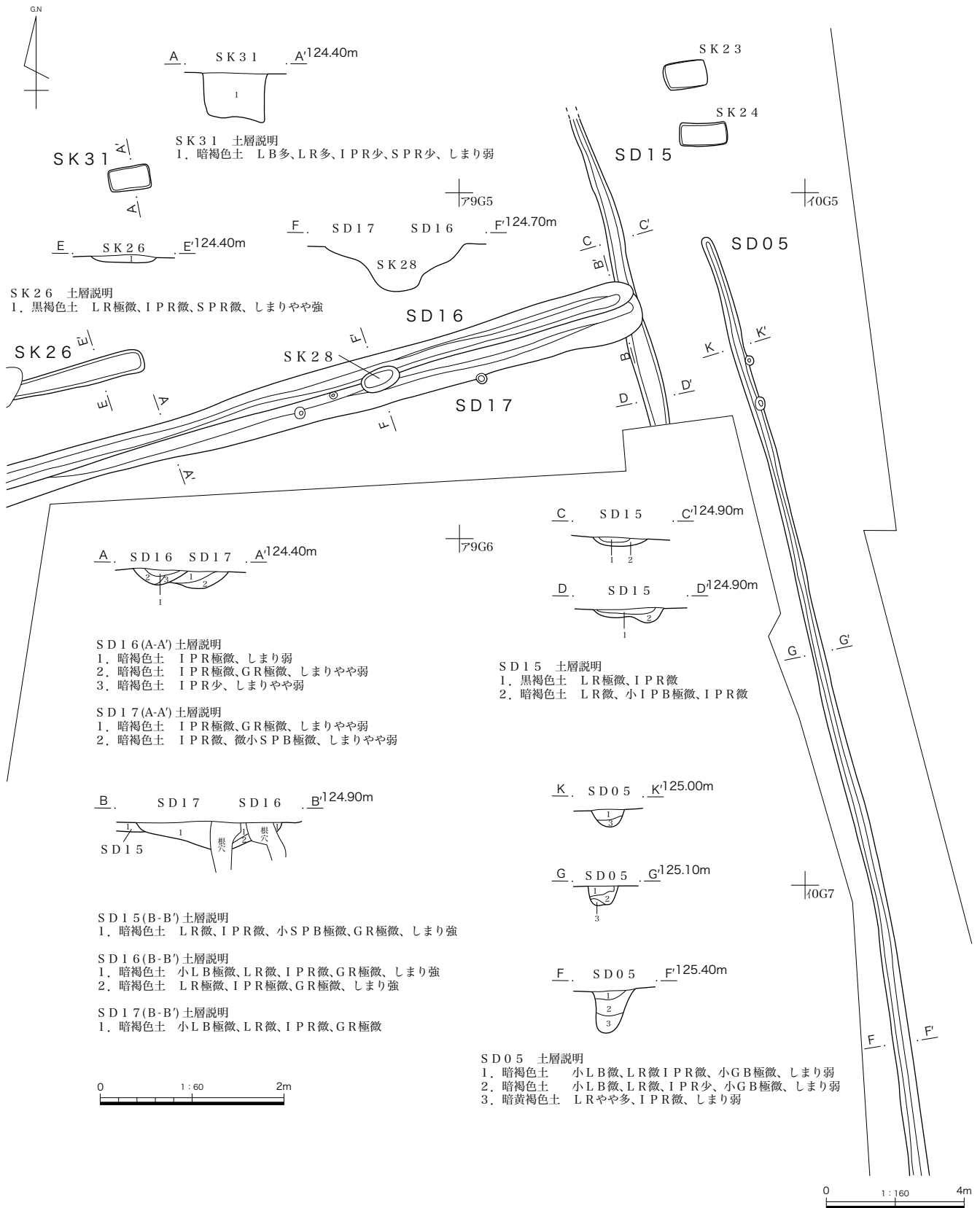
SD04・05・10・11・12・19、SK8～11・14・27（第438～440図）

第438～440図にはSD04・10～12を主に示す。第2次調査区南側で、第436図の南側、第439図の西

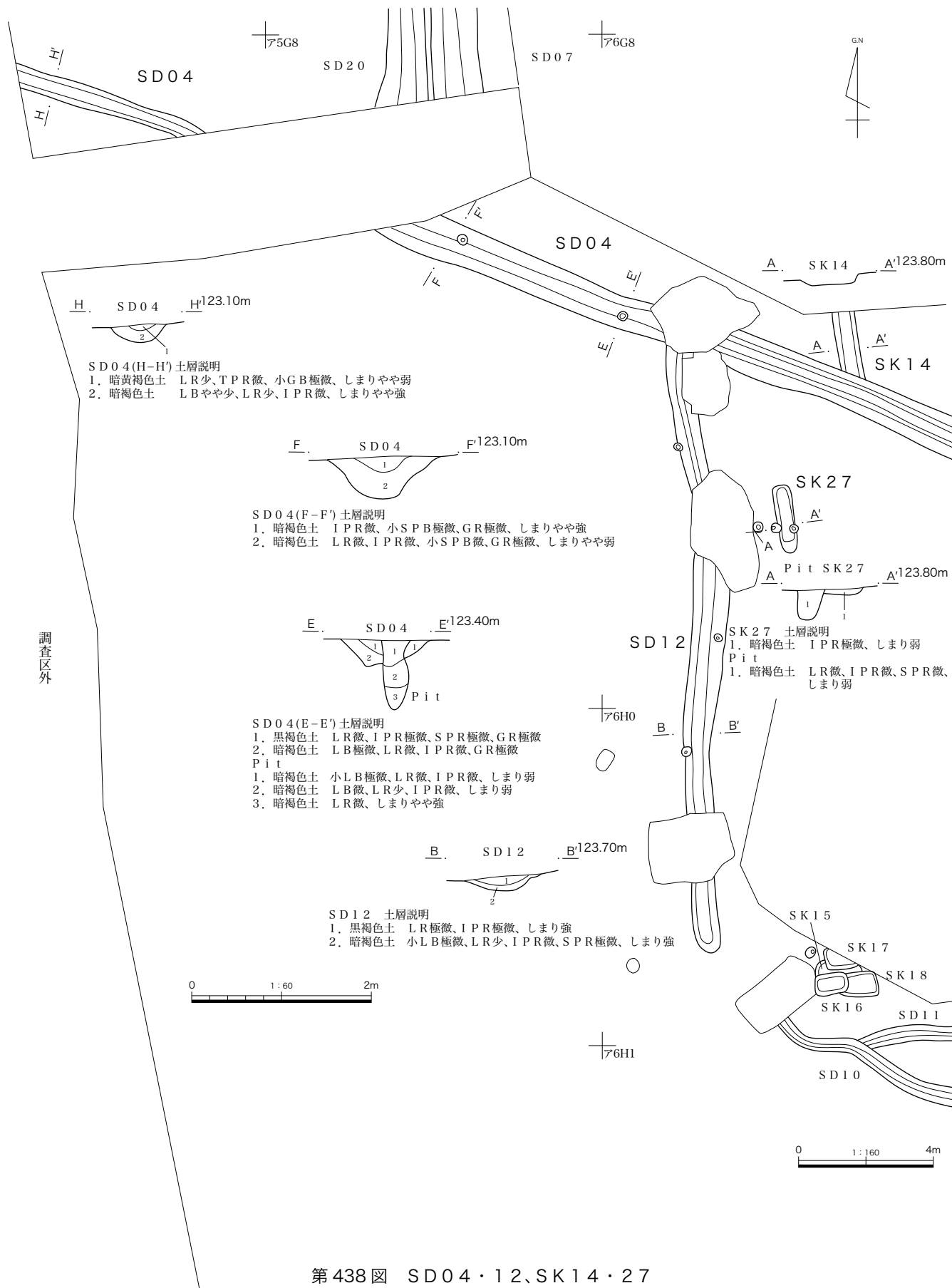


第436図 SD 16~18・20、SK 29・30・32

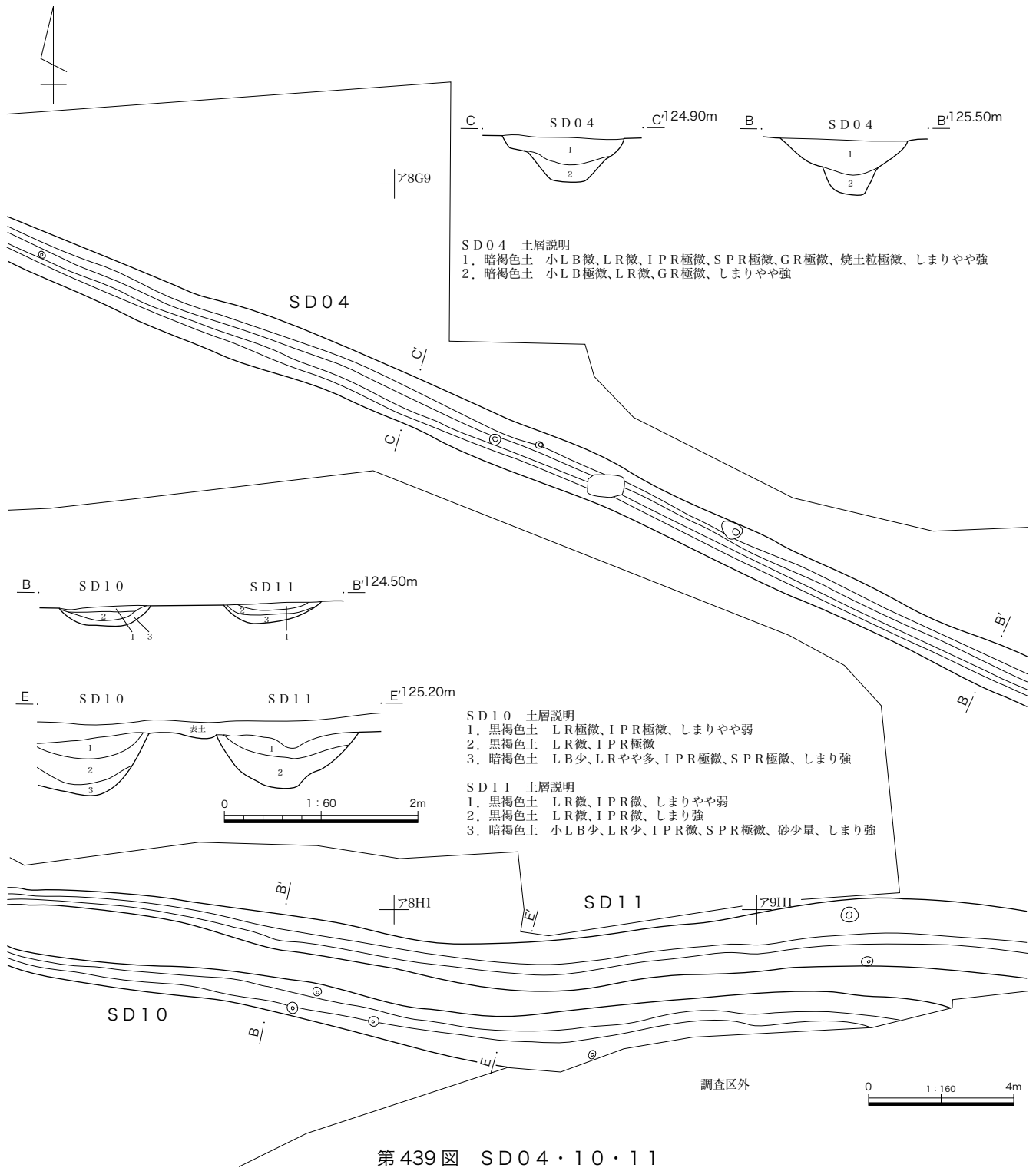
第7章 刈沼向原遺跡第2次調査区の遺構と遺跡



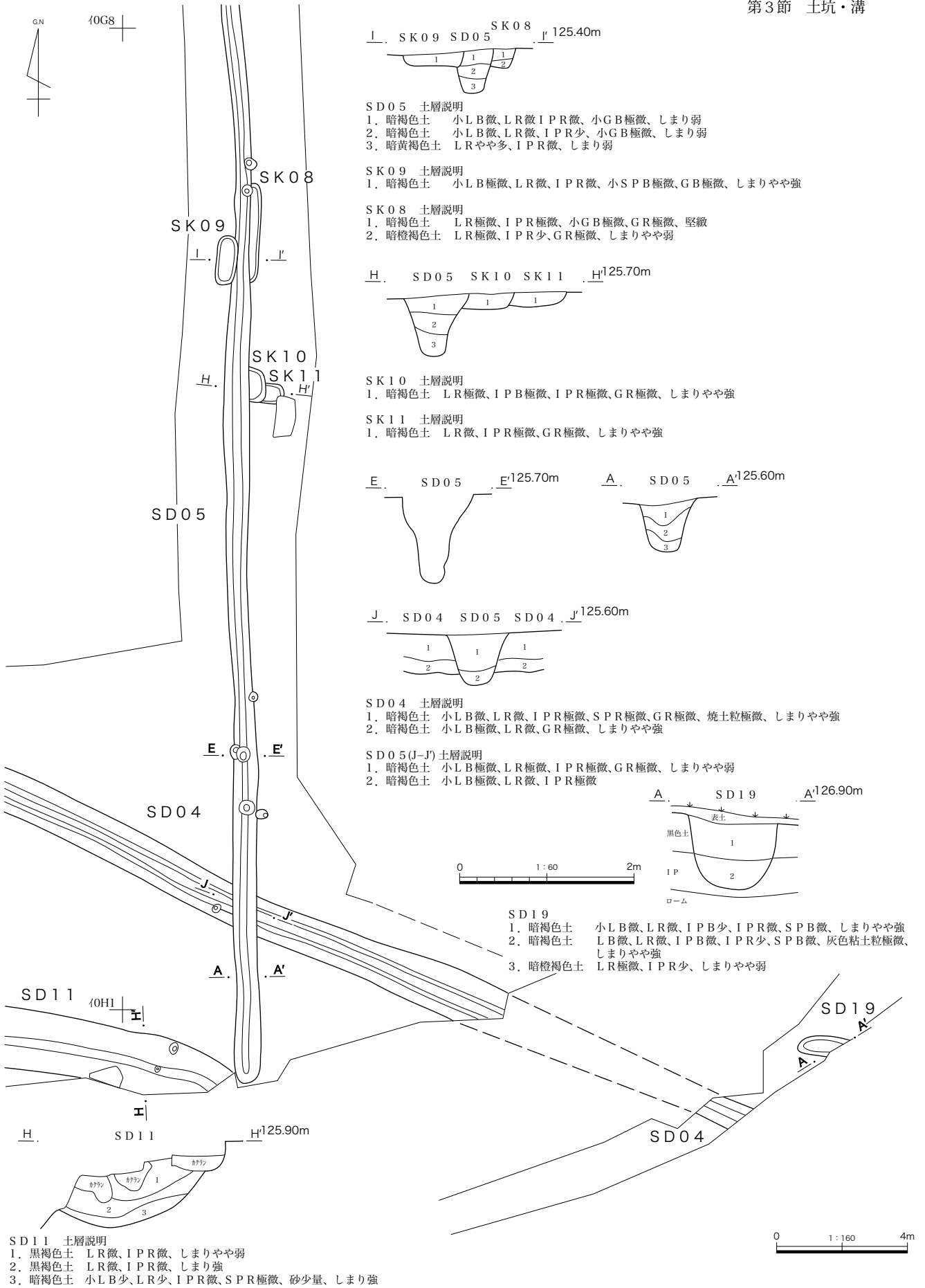
第437図 SD05・15・16・17、SK26・28・31



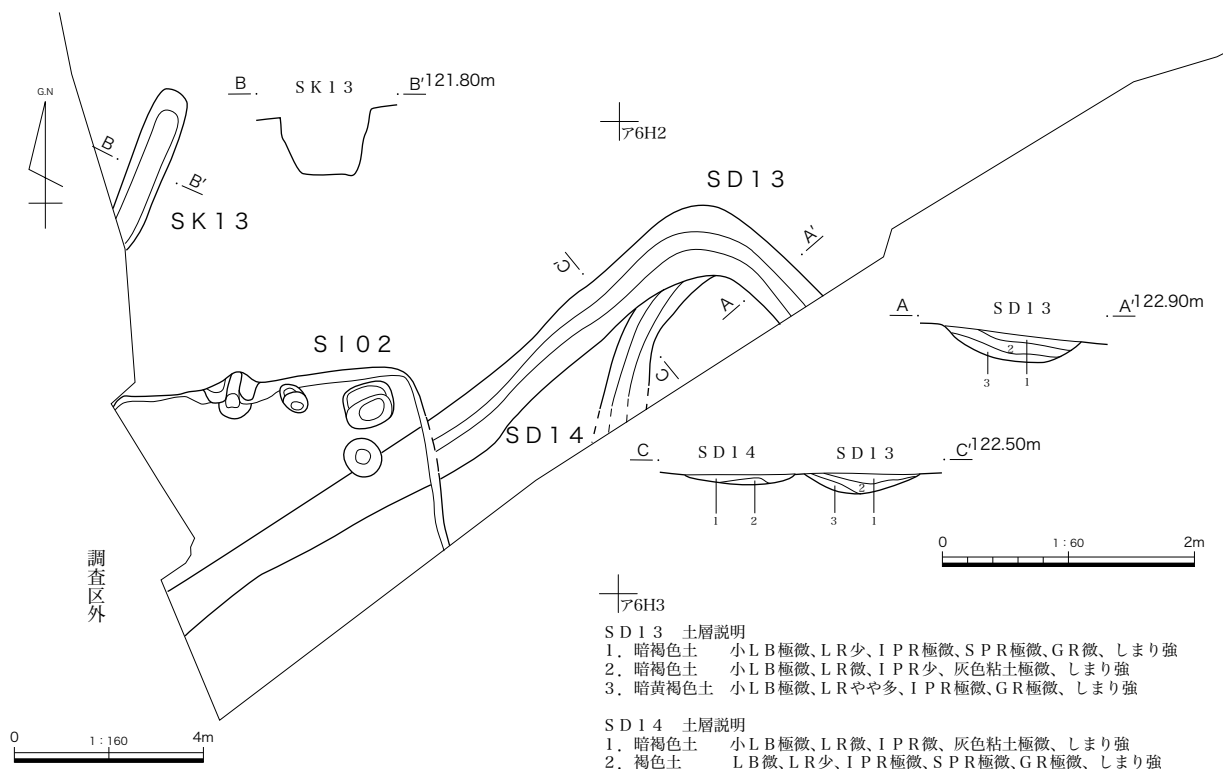
第438図 SD04・12、SK14・27



第439図 SD04・10・11



第440図 SD04・05・11・19、SK8~11



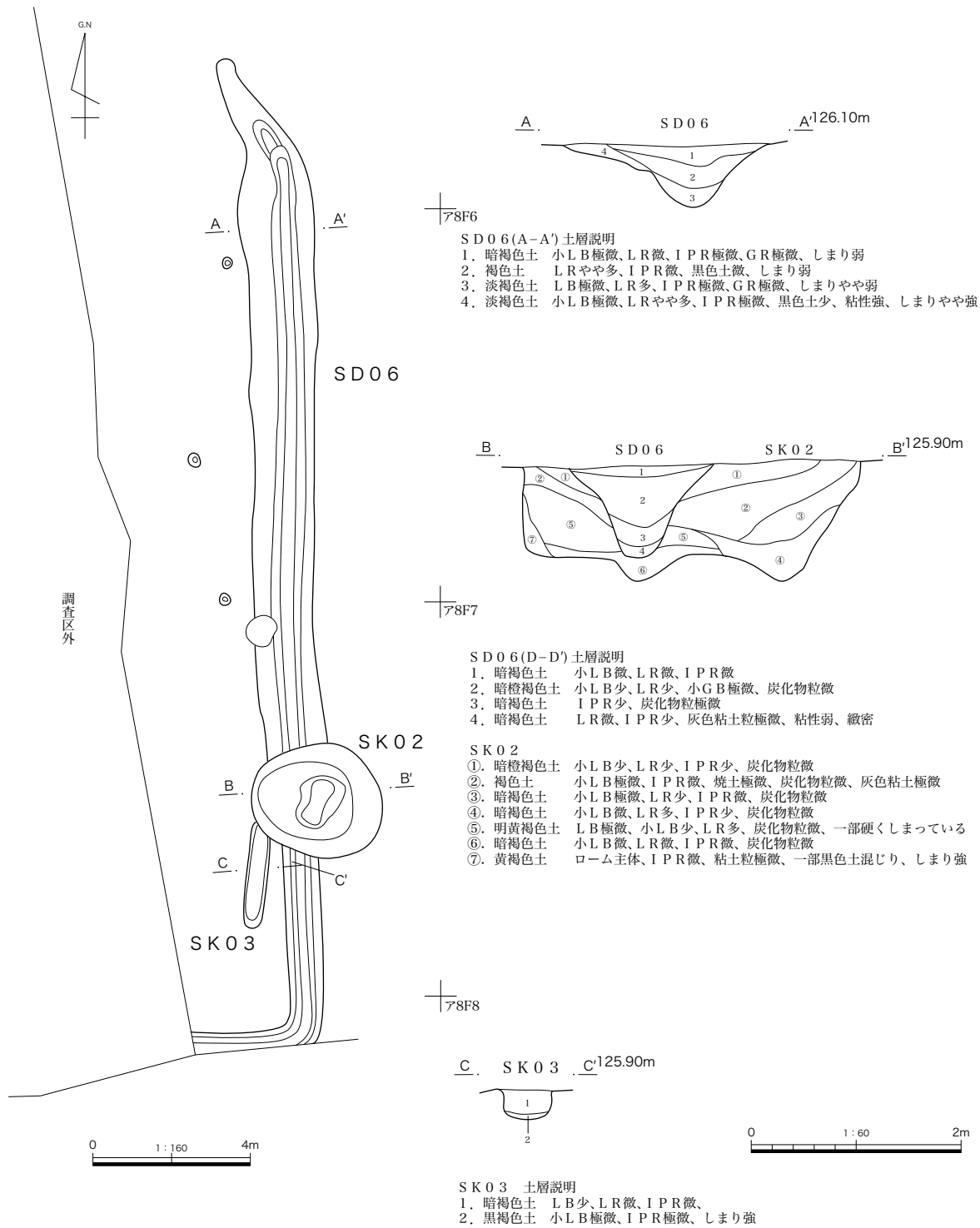
第441図 SD13・14、SK13

側にあたる位置である。

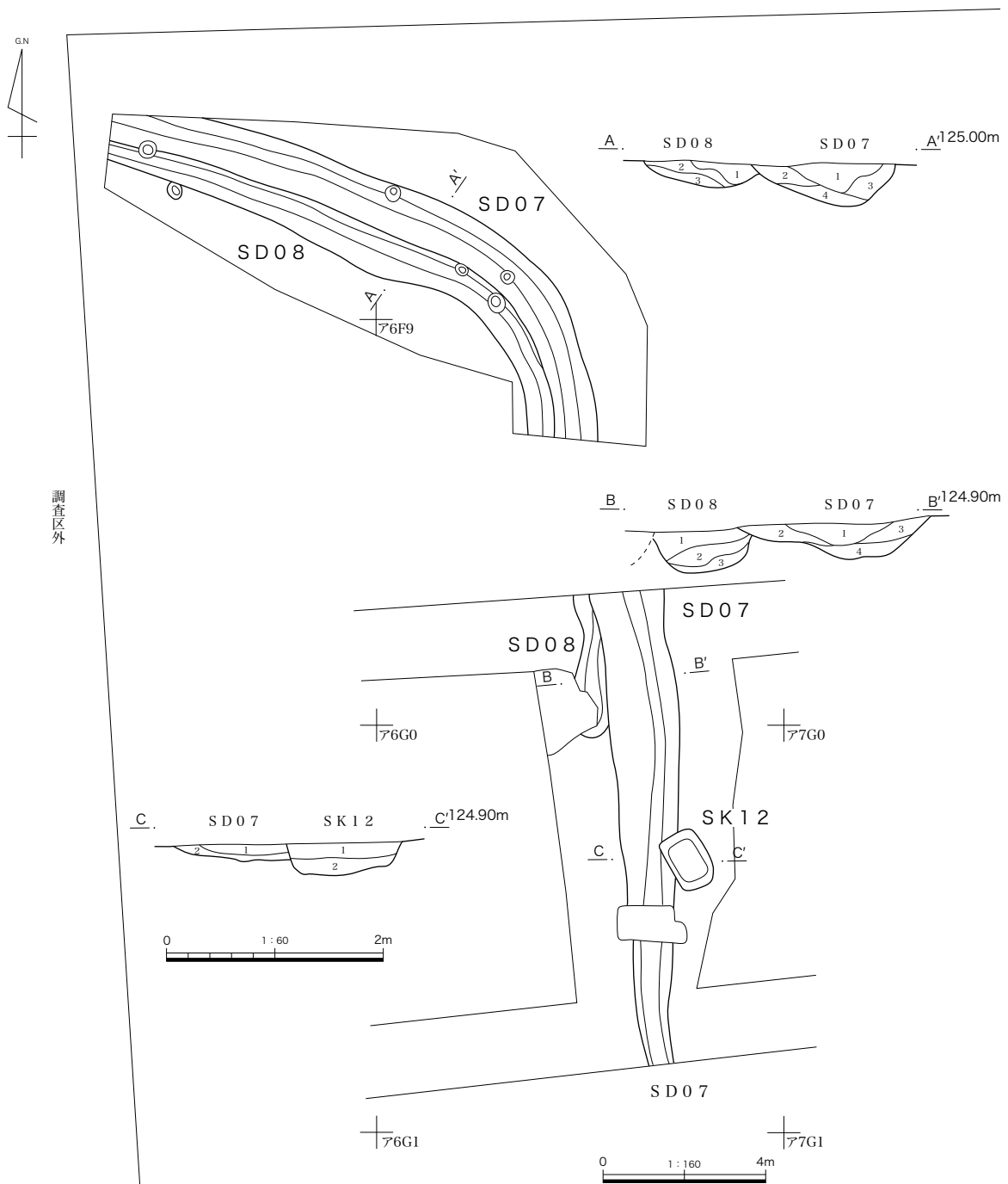
SD04は第1次調査区のSD04と同じ溝である。第2次調査区内・第1次調査区内とも未調査区があるが、その未調査区の推定部分を含め総延長83mが確認されている。西側の6m部分はやや幅狭く上端60cm程であるが、未調査部分を挟んで東側では100～130cm程度の上端幅となる。深さも西側端部付近では20cm程度であるが、中央～東側では60cm近くなる。第1次調査区南の狭い線状調査区では幅狭く深さも浅いようである。土層断面は比較的小間隔で観察・記録しているが、ここではいくつかのみを示す。SD05との交差部分で切り合いが確認され、SD04→SD05が明らかとなっている。SD04の中央部では平面・断面図で示されるように、中央が一段下がる＝テラス状の壁部分が作られる形態である。覆土はここでは大きく2層に分けられ、土層説明では暗褐色土となっているが、写真からはかなり黒味の強い色調で、ローム粒等の夾雑物も殆ど含まないよう観察される。小穴が幾つか重なっているが、溝に伴うものかは不明である。

SD05はこの北側での状況と大きくは変わらないが、幅70～80cm、深さ45～105cmと、北側より深くなる傾向がある。またこのSD05は調査区南端、SD11と接する位置でほぼ溝の端部となる。調査区際で確認が難しかった可能性もあるが、4.5m程の未調査区を挟んだ刈沼遺跡第2次調査区では認められないことから、ここが溝南端との推定ができそうである。北側同様、断面逆台形状で壁の傾斜はかなり急角度である。SD04との交差部分より北15m程の位置でSK10・11、更にその北にSK08・09がある。いずれも浅い円形・楕円形土坑である。SK11→SK10→SD05、SK08→SD05→SK09の関係が示され、溝より古い土坑と新しい土坑の両者があることが分かる。

SD10・11は調査区南西のSD12の南端近くに西の端部があり、概ね東西方向で調査区南端近くにある溝である。確認は黒色土～ローム漸移層。東側は未調査区にかかるが、延長上の調査区で確認されないことから、第2次調査区の南側程なく東端になると想定される。確認された限りで27.5mとなる。SD10東端は攪乱に



第442図 SD06、SK02・03



SD07 土層説明

1. 暗褐色土 小LB極微、LR少、小IPB極微、IPR微、砂粒微、しまりやや弱
2. 暗淡褐色土 LRやや多、IPR少、砂粒微、しまりやや弱
3. 暗黄褐色土 LB微、小LB極微、LR少、IPR極微、砂粒微、しまり弱
4. 暗淡黄褐色土 LB微、小LB微、LR少、IPR極微、砂粒微

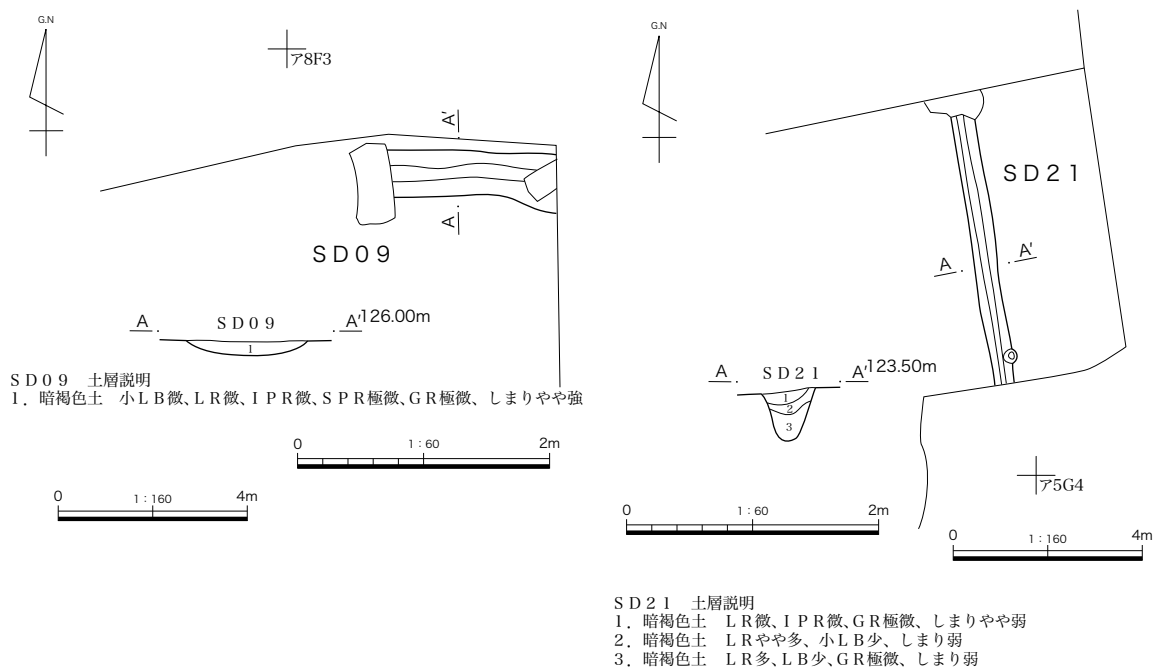
SD08 土層説明

1. 暗褐色土 LB極微、LR微、小IPB微、IPR微、微小SPB極微、砂粒微、しまりやや弱
2. 淡褐色土 小LB微、LR微、小IPB微、IPR微、微小SPB極微、GR極微、炭化物粒極微、焼土粒極微、しまりやや弱
3. 淡褐色土 小LB極微、LR微、小IPB微、IPR少、微小SPB極微、炭化物粒極微、粘土粒極微

SK12 土層説明

1. 暗褐色土 小LB極微、LR微、小IPB微、IPR極微、小SPB極微、小GB極微、GR極微、粘土粒極微
2. 暗褐色土 小LB極微、LR少、小IPB微、IPR少、小SPB極微、GR極微

第443図 SD07・08、SK12



第444図 SD09・21

かかり、厳密な端部は不明である。北西延長にSD12があり、軸は異なるものの、接続あるいは同一溝となる可能性も多少残る。

SD11はSD10東端近くで接し、これより東では80～120cmと若干の距離をおきつつ併走する。確認された限りで長さ40mとなる。東側では東西方向で(N-90°)、西側ではやや北に触れる角度(N-81°-W)となる。上端幅は東側で48～102cm、西側で184cm、深さは東側で85cm、西側で15～20cmである。若干SD11の方が深い傾向にある。覆土も若干の違いはあるようだが、顕著な違いは認められないようである。また壁や上端付近でピットがいくつか確認されているが、SD10・11との関係については不明である。また東端はSD05と接する位置となるが、関係は不明である。

SD19はSD04の東端約2.2m北の地点で確認された。表土直下の黒色土上位からの掘り込みが確認されているもので、底面はロームに達していない。SDとして発番されているが、確認されている長さは1.6mであり、土坑として扱った方が良いかもしれない。

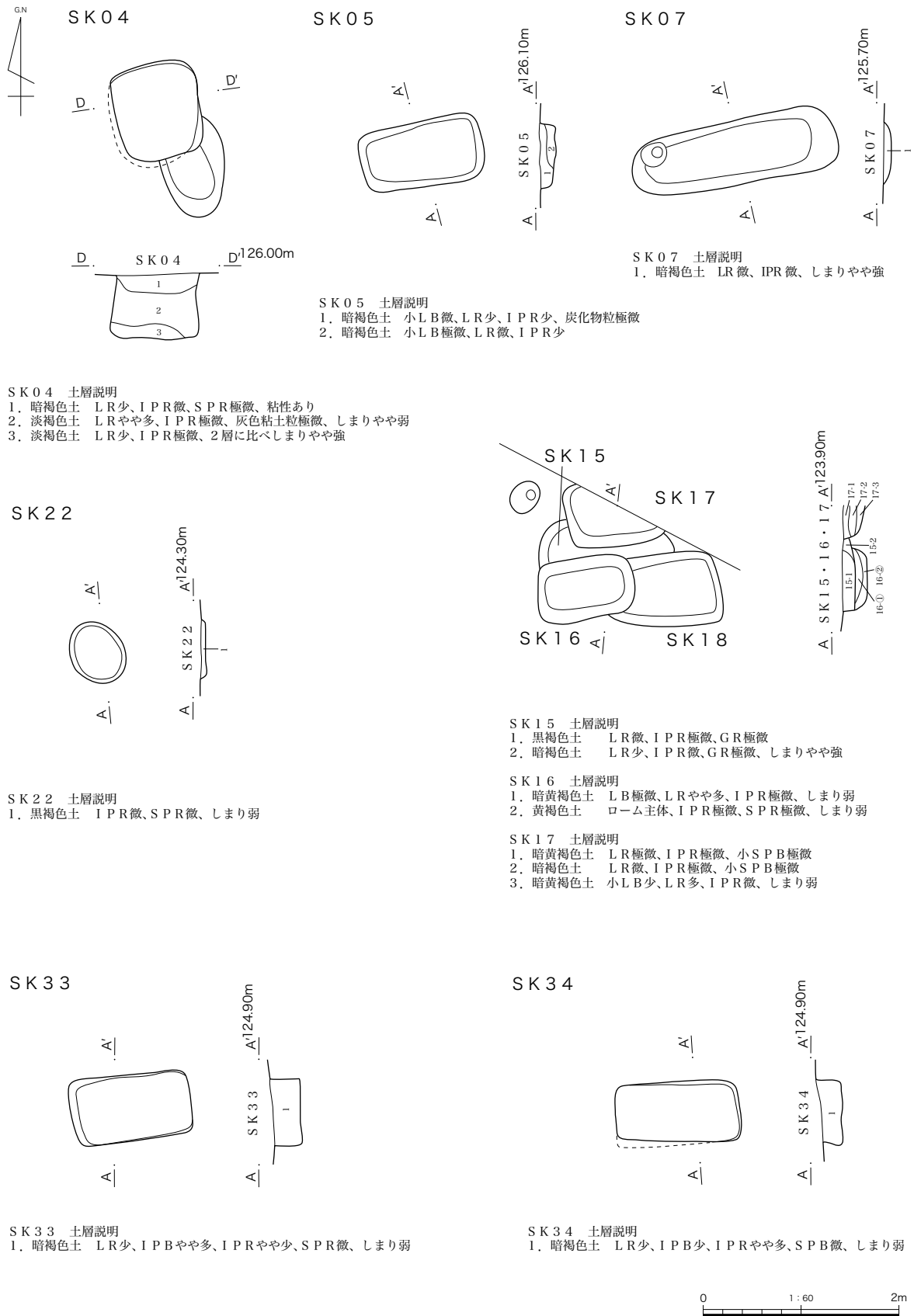
SD13・14、SK13 (第441図)

第441図には調査区南西端の遺構群を示す。住居跡SIO2があり、SD13はこれと重複する(SIO2→SD13)。北東南西方向(N-53°-W)に14.4m程あり、北東でほぼ90°角度を変えて北西-南東方向(N-48°-W)の溝となる(約1.6m)。このコーナー付近でSD14と重なる。SD13は上端幅96～124cm、深さ15～20cm、SD14は上端幅72～88cm、深さ6～30cmである。またSIO2の北側にあるSK13は断面逆台形状の長方形土坑である。覆土は黒色土だが、ローム漸移層より上位の黒色土中から掘り込まれているようである。SD13・14からの出土遺物で混入ではあろうが、縄紋時代打製石斧を示す。

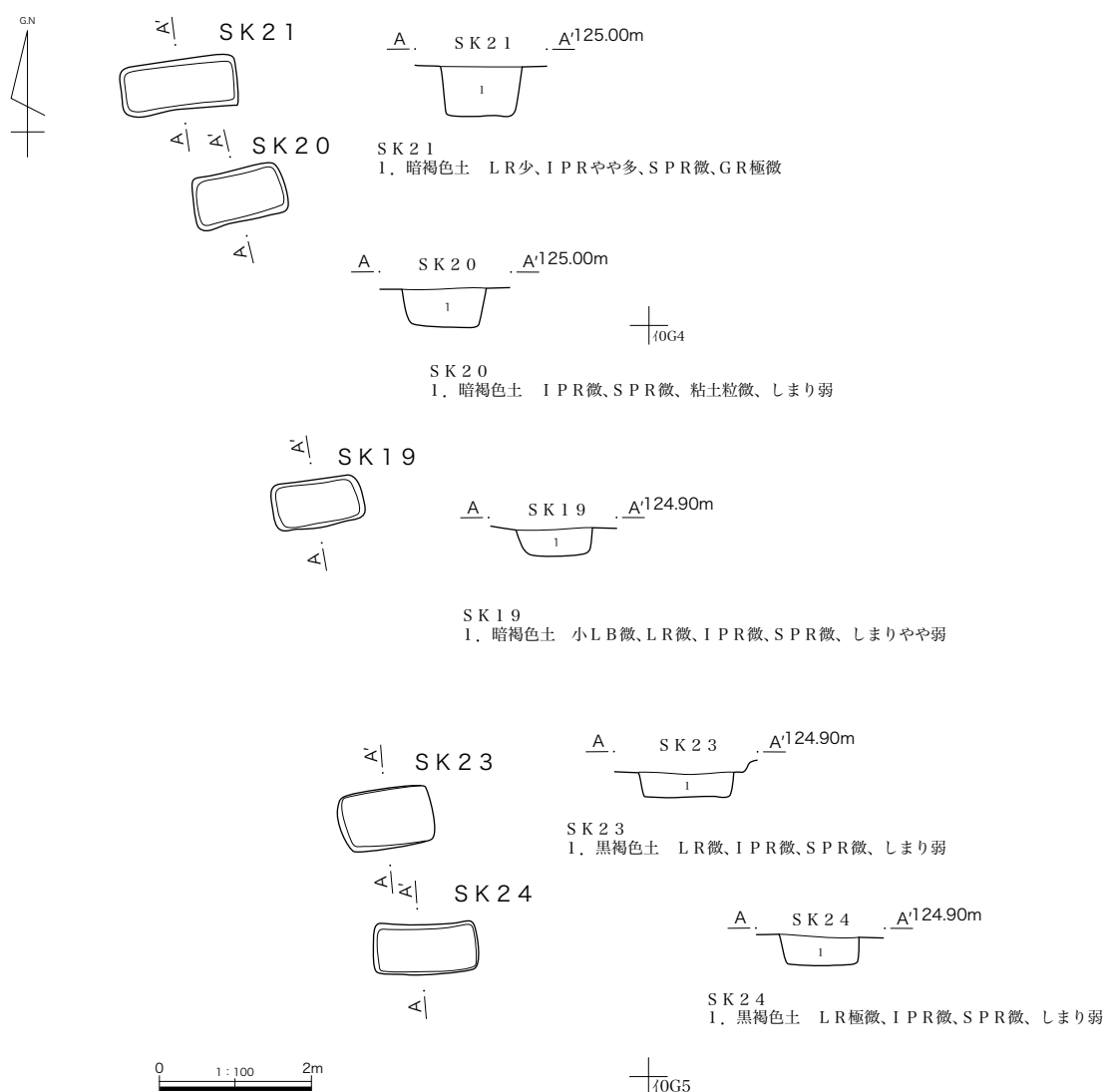
SD06、SK02・03 (第442図)

第442図は調査区北側(第3次調査区隣接の調査区)の遺構である。SIO1調査の面的調査部分南端～中央

第7章 刈沼向原遺跡第2次調査区の遺構と遺跡



第445図 SK04・05・07・15~18・22・33・34



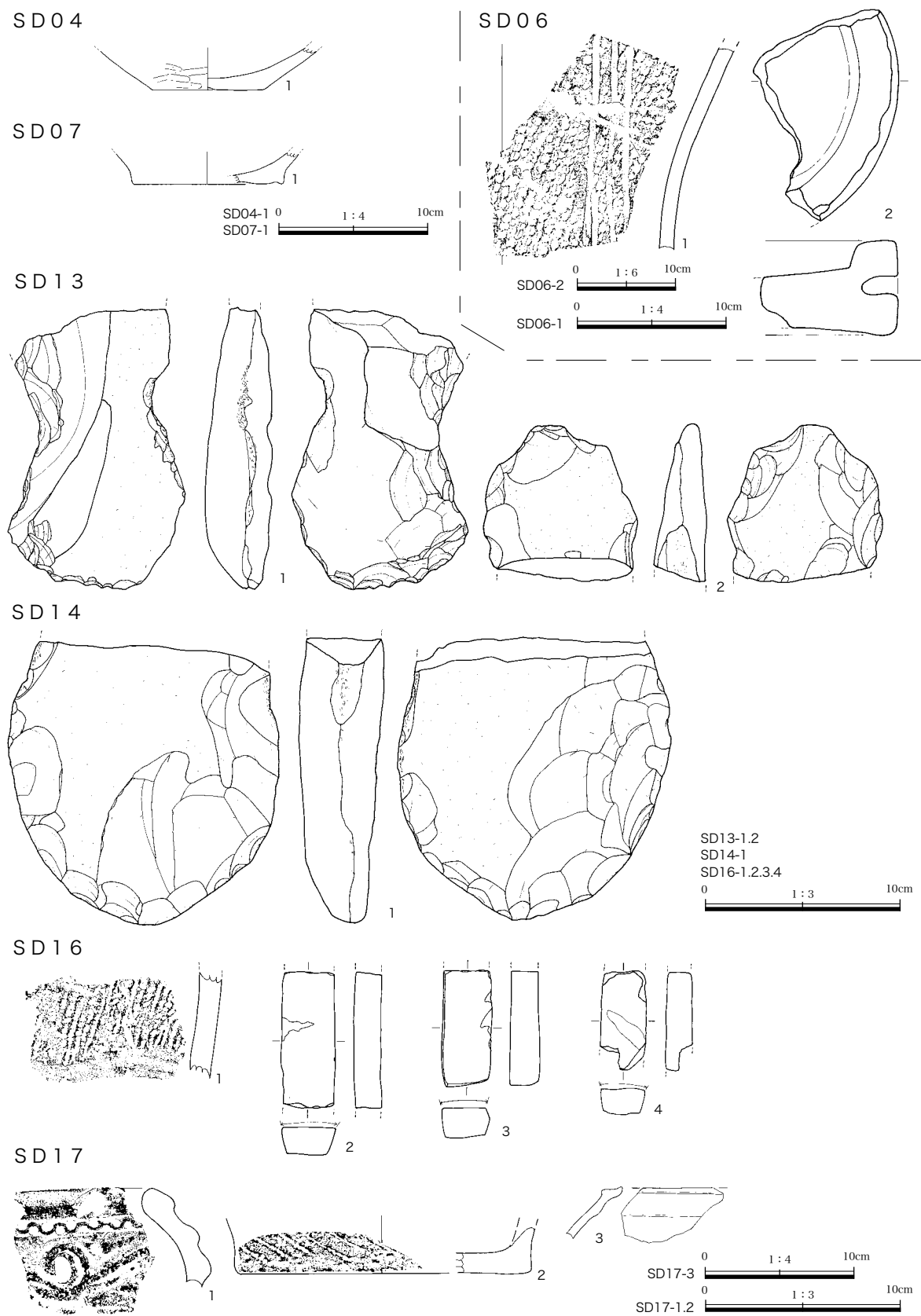
第 446 図 SK 19・20・21・23・24

にかけて南北方向の溝 SD06 がある。上端幅は広く 82 ~ 192 cm、深さは 60 ~ 90 cm。断面逆台形～逆三角形で、壁の傾斜はやや緩やかである。SK02 と重複しこれより新しい。約 25 m の南北方向部分とこれより東に折れる 3 m 程度の部分とからなる。北端は先細りとなる。形状としては第 3 次調査区の SD06 と類似しており、第 3 次調査区でもこれを考慮して確認された溝の一部にこの番号が発番されたようだが、第 2 次調査区の延長とはずれがあり、同一溝との判断は難しい。SK02 は不整楕円形の土坑で底面の凹凸、壁傾斜の角度が不定などの特徴がある。SK02 と重複する SK03 は浅い長楕円形土坑である。また SD06 西側で幾つかのピットが認められるが、溝との関係も不明である。SD06 からは縄紋中期土器片、石臼片の出土がある。

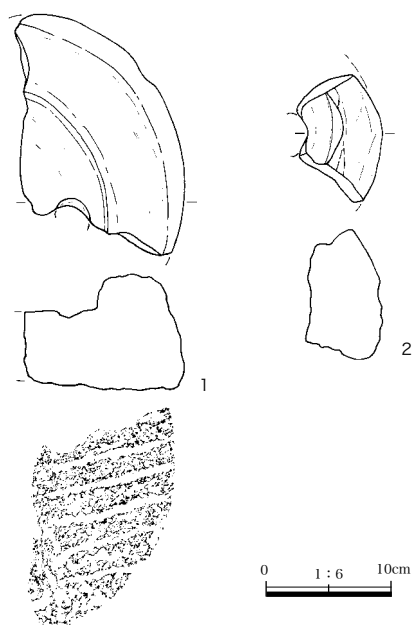
SD07・08、SK12 (第 443 図)

第 443 図には SD07・08 及び SK12 を示す。これは第 2 次調査区北西で、第 3 次調査区の南東にあたる部分である。ここはトレンチ調査及びこれを拡幅する形で、確認された遺構を調査している。

SD07 は南側で南北方向 (N-80° -W)、北側で折れ曲がり北西 - 南東方向 (N-68° -W) の軸となる溝であ



第 447 図 溝出土遺物



第 448 図 SK01 出土遺物実測図

ことが確認されている。また SD07・08 にかかるピットが幾つか認められるが、関係については不明である。

る。間に未調査区があり、若干のずれはあるものの、形状や覆土などから同一溝との判断に問題はないと考える。確認はローム漸移層～ローム層で、黒色覆土との違い・掘り込みは明瞭である。SD07の方が深く北西-南東方向部分では北壁が比較的急な傾斜を為す。SD07は上端幅64～184cm、深さ16～40cmの断面皿状を呈する溝である。重複するSD08は上端幅112cm、深さ25～40cmである。SD07とSD08とでは比較的覆土の違いがあり、SD07は黒味の強い層、SD08はやや明るい色である。両者はほぼ併走しており、掘り直しているのかもしれない。但しSD08は7G0グリッド付近で溝端部となり、より南には続かない。一方SD07は幅狭く深さも浅くなるものの、より南側まで続いている。またSD07とSK12は重複しており、土坑の方が新しい

SD09・21 (第444図)

第444図に示したSD09はSI01の北西、北側面的調査区の北東端に位置する溝である。調査区内最も北側で確認された遺構となる。一部のみの確認であり土坑や落ち込みなどの可能性も残るが、写真記録などからは断面皿状で掘り込みは比較的明瞭なように見える。西端は攪乱にかかり長さ4.06m、上端幅120cm、深さ12cmの遺構である。

SD21は調査区中央西側で単独的に確認された溝である。南4mにSI03がある。5.8mの確認で南北方向(N-10°-W)に直線的である。上端幅40cm、深さ40cmである。掘り込みは明瞭で壁は比較的急角度である。南北とも未調査区にかかり、形状としてはより長く伸びるように思われるが、4mをおいて面的な調査区がある南側でも延長上に続く溝の確認は為されていない。

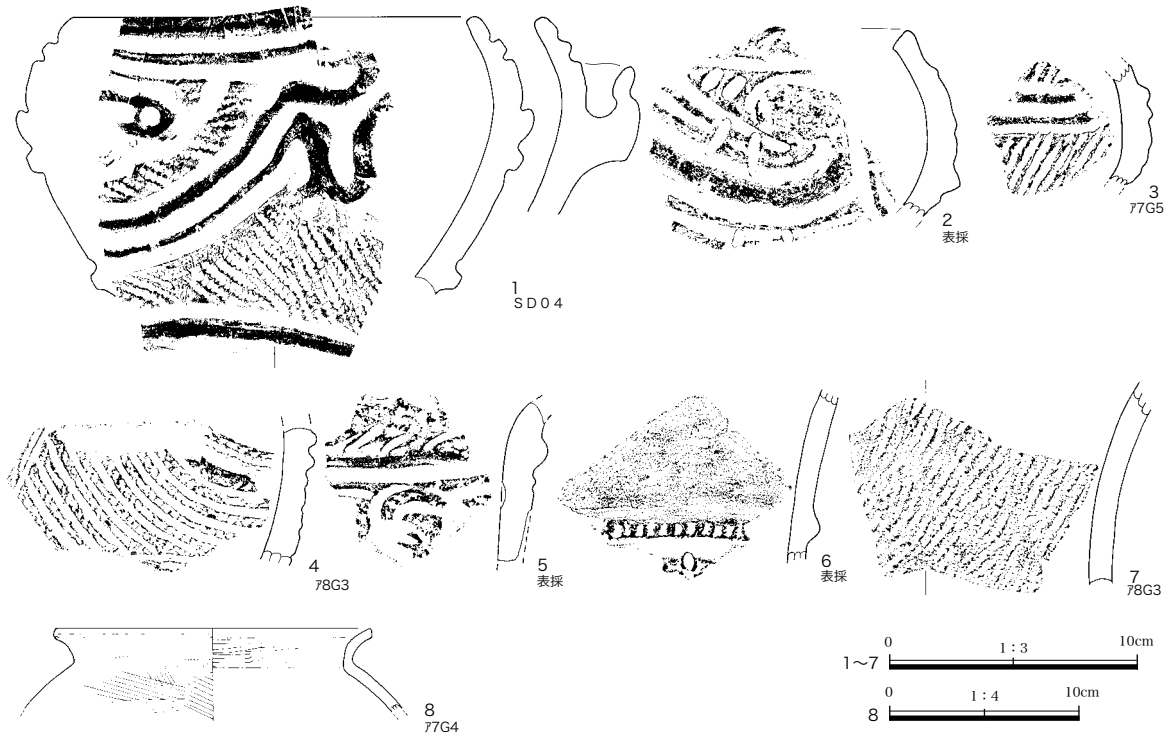
SK04・05・07・15～18・22・33・34 (第445図)

第445図は単独的に位置する土坑を編集している。次の第446図は調査区中央東寄りですとまって確認された5基の土坑を位置関係そのまま示している。

SK04・05・07は北側の調査区で確認されているもので、楕円～不整形の土坑である。SK04はやや深く一部壁ではオーバーハングする。SK22は調査区ほぼ中央で確認された浅い円形土坑。SK15～18の4基は調査区南西、SD10・11の西端～SD12の南端近くで確認された土坑群。長方形～不整形の土坑が重複し、SK16→SK15→SK17の関係が確認される。SK18と他土坑との関係は不明。SK33・34は調査区中央東より、第1次調査区に近い位置で確認された長方形土坑、形状は南側で連なって位置するSK19～21、SK23・24と類似する。この南北で連なって位置する長方形土坑については第446図に示した。この5基はSD05の延長上北側で、調査区に沿うような形で列状に並ぶ。覆土や深さ・形状なども概ね類似しており、恐らく時期や性格も同じことが推定されよう。長軸120～150cm、直交軸65～80cm、深さ30～60cmである。

第4節 遺物

溝からの出土遺物を第447図に、土坑出土遺物を第448図に、グリッドからの出土遺物を第449図に示す。但し第448図は土坑出土として組んだが、欠番扱いとしたので、グリッド出土遺物ということになる。グリッドからの出土遺物では縄紋中期加曽利E I式が目立つ。溝内混入例なども含め考えれば、一定規模の集落或いは活動痕跡があった可能性を窺わせる。全点の確認を行い得ていないが、より南側で多く見られた縄紋後晩期遺物が希少となる点は注目して良いだろう。8は古墳前期の甕破片で、SI03や第3次調査区SI05等との関わりから出土したとみることができよう。



第449図 グリッド出土遺物

第8章 刈沼向原遺跡第3次調査の遺構と遺物

第1節 概要

第3次調査は開発区全体の中で最も北西に位置する。南北に延びるトレンチ状の部分と、これを拡張した部分、この東で第2次調査区西側及び北側にあたる面的に調査した部分からなる（第6章第1節第410図）。いずれも概ね台地平坦面にあたる。後者の面的に調査した部分では攪乱が大きく入っており、遺構も土坑1基（SK163）が確認されたのみである。一方西側の調査区では古墳時代の住居跡1軒、時期不明の溝3条、土坑3基が確認された。溝跡については第2次調査区と同一の溝と推定され番号も第2次調査区でのSD番号がそのまま使われている。但し後にも触れるように2箇所確認されたSD06については、第2次調査区SD06と同一として良いか、確定的ではない。調査は平成22年度に行われ、刈沼向原遺跡ではこの調査部分をもって現地での調査は終了となっている。概要報告では「土坑の内1基の埋土中から縄紋土器が1点出土した」との記録があるが、いずれの土坑を示すのかは確認できていない。現時点で住居跡以外の遺構からの出土遺物や包含層からの出土遺物を確認できていないことから、後日の補足訂正を必要とするかもしれない。

第2節 遺構と遺物

S I O 5（遺構第450図、遺物第451図、写真図版三一）

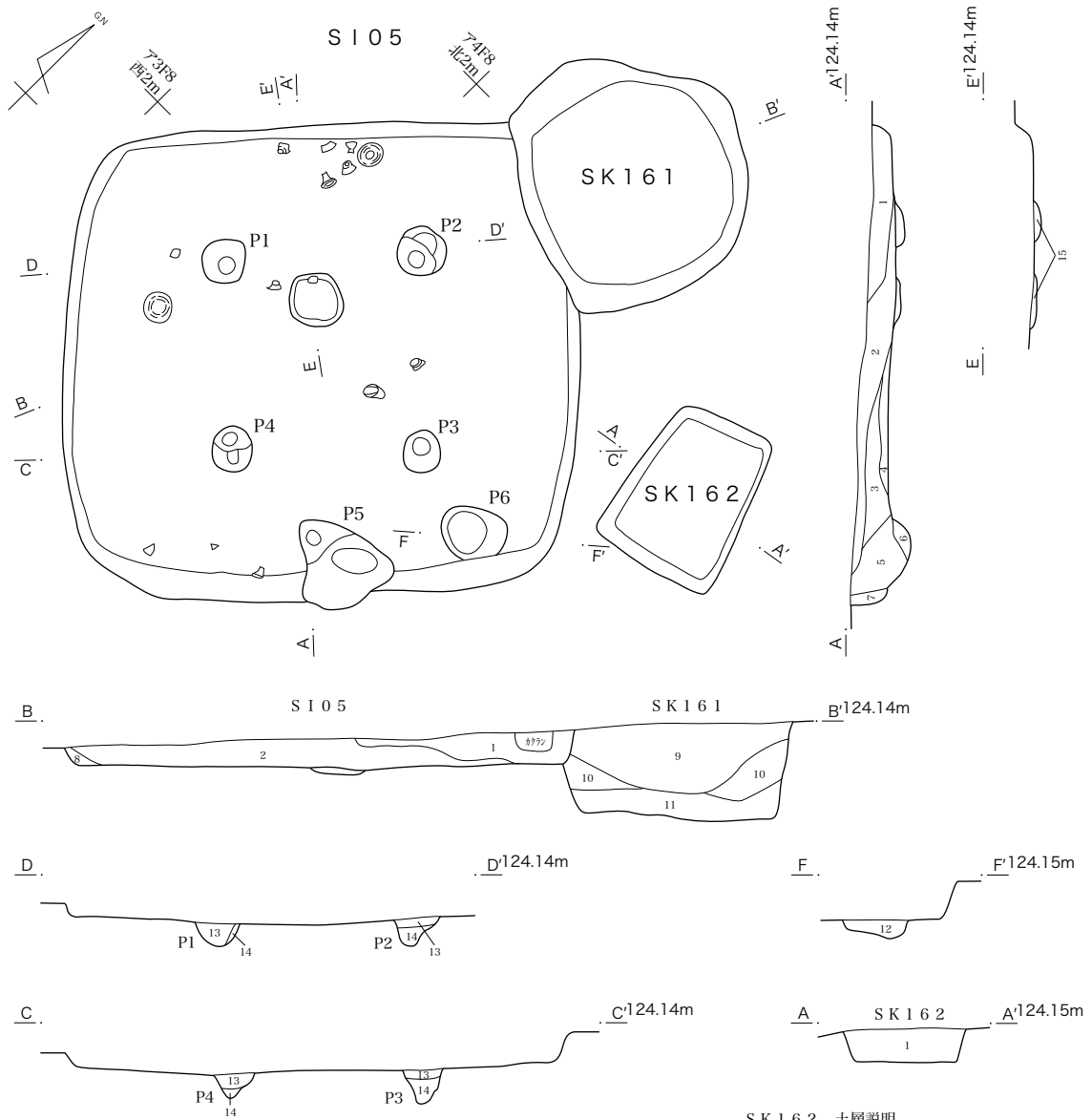
第3次調査区西区の中央～南側で確認された。軸長3.95m、直交軸長4.3mとやや横長のプランである。確認はローム漸移層～ローム面で、掘り込みは比較的明瞭である。北東で土坑SK161と重複し、これより新しい。床面はロームで概ね平坦だが、硬化部分などは確認されていない。

中央に炉跡と推定される浅い掘り込みがある。覆土では炭化物を含むものの、受熱の痕跡は明確ではない。ピットは主柱4本の他、南東壁際に2基のピットが認められた。深さはいずれも17～28cmとさほど深くない。南東のP6については貯蔵穴と判断されたようである。住居跡外の東側に方形土坑SK162がある。北側で重なるSK161はやや不整な円形土坑で掘り込みは明瞭、底面は概ね平坦である。時期は不明。

住居跡からの遺物は比較的多く出土している。個別の出土位置を示し得ないが、やや北側に多い傾向がある（写真図版31）。レベルでは5～10cm程度床面より上位からの出土が多い。第451図3.4.5.7.14等が北壁近くの比較的近い位置で出土しているが、6については住居跡中央付近での出土である。8の甕は北東から単独的に出土している。12の紡錘車、13の弥生土器片については出土位置を確認していない。

S D 0 6 ・ 0 7 ・ 0 8（遺構第452・453図、写真図版三二）

SD06の内、北側部分については第453図に示した。上端幅145cm、深さ65cm、南側では上端幅95～104cm、深さ16cmである。断面形や覆土では両者は類似しており、同一溝と判断されたようであるが、10m程度の未調査区を挟んでおり、確定的ではない。方向も南側では南北方向に近く（N-18°-W）、東西方向部分との整合性を考えるには未調査区部分での屈曲を考える必要が生じる。また第3次調査区東側の調査区南端で遺構上端ラインの記録があり、これをSD06と捉えているようである。断面形や深さなどは類似しているよう

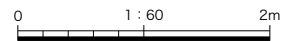


S105 土層説明

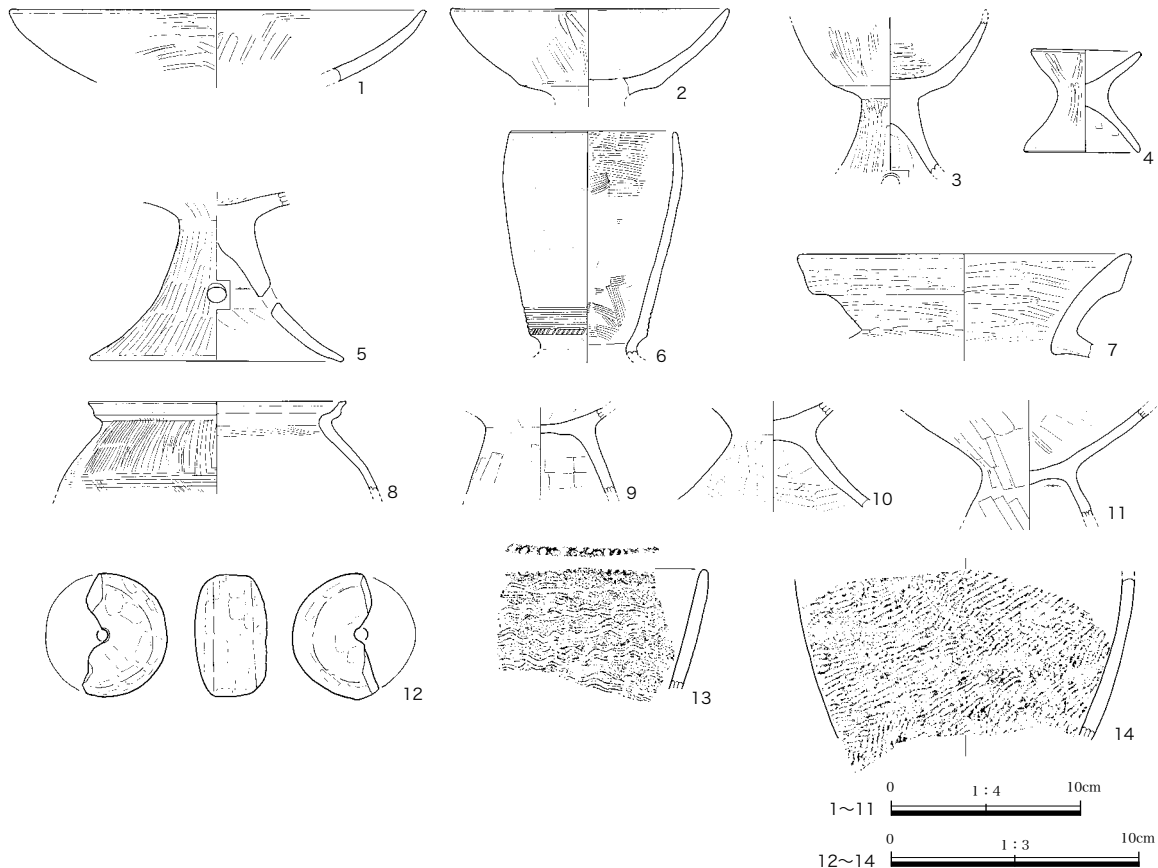
- 1. 黒褐色土 LR少、IPR少、炭化物粒微
- 2. 褐色土 LRやや多、IPR少
- 3. 暗褐色土 LR少、IPR少、炭化物粒微
- 4. 暗黄褐色土 LB少、LRやや多、IPR少
- 5. 暗褐色土 LR少、IPR少、SPR少
- 6. 褐色土 小LB少、LRやや多
- 7. 褐色土 LR少、IPR微
- 8. 明褐色土 IPR微、SPRやや多
- 9. 暗褐色土 LR少、IPR少 (SK161)
- 10. 褐色土 LRやや多、IPR少 (SK161)
- 11. 黄褐色土 LB多、LR多、IPRやや多、SPRやや多 (SK161)
- 12. 暗褐色土 LRやや多
- 13. 褐色土 LRやや多、IPR微
- 14. 暗黄褐色土 LR多、IPR微
- 15. 褐色土 LR少、炭化物粒微

SK162 土層説明

- 1. 褐色土 LB微、LR少、IPR微、SPR微



第450図 S105

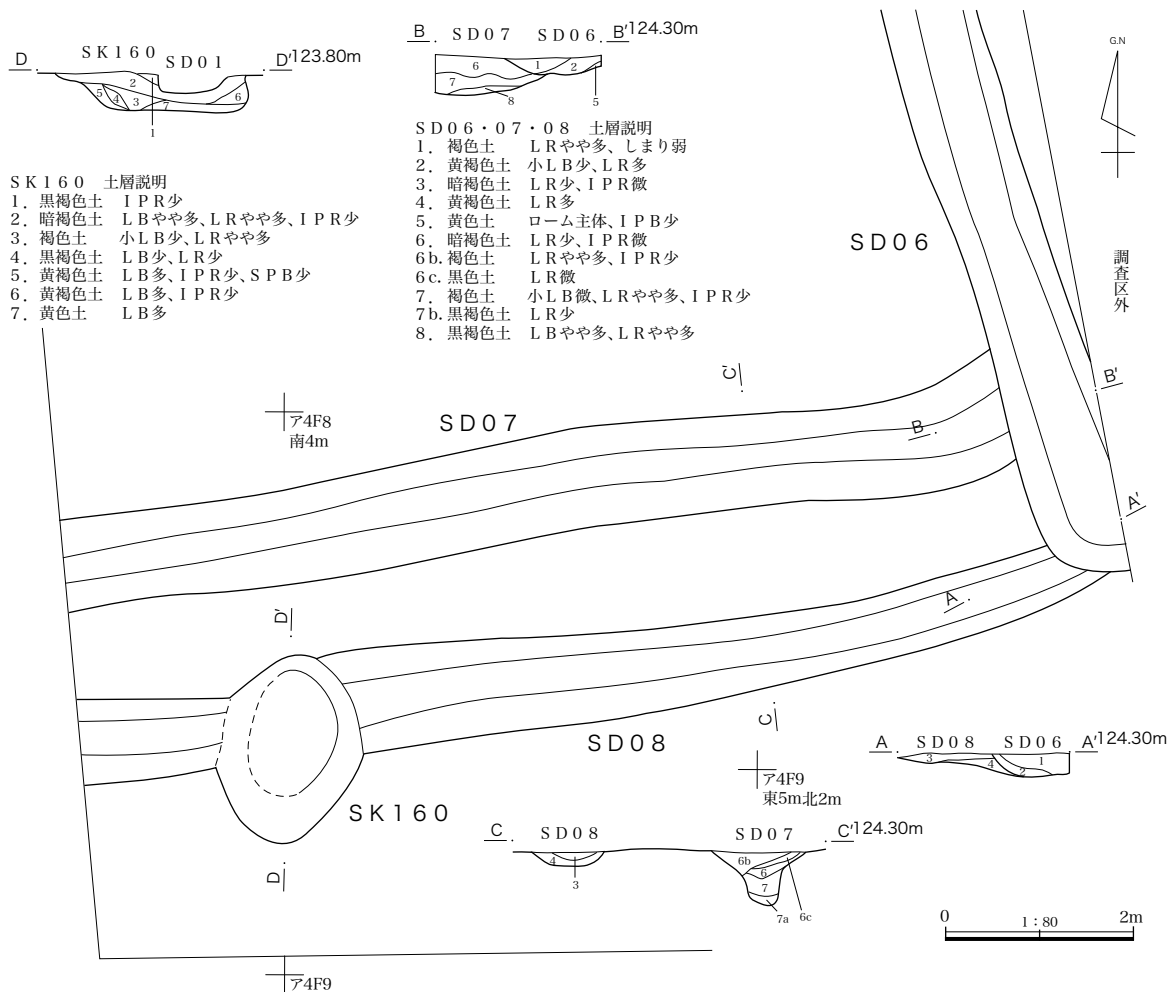


第 451 図 S105 出土遺物

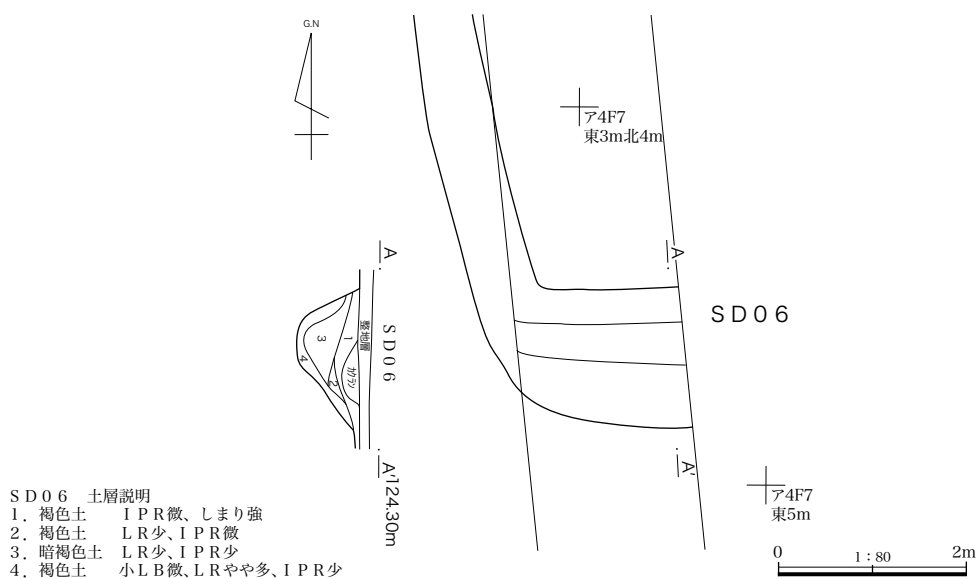
にも見えるが、ここでの溝の大部分は調査区外で記録も確認できないことから、不詳な部分が多い。第2次調査区 SD06 とは方向は近いものの、6 m 程度の未調査区・未確認部分があり、また若干の軸のずれがあることから、これも同一溝との確定的な判断は難しいように思える。更にこの第3次調査区東区南端での東西方向溝と、第3次調査区西区での2箇所の溝とは方向や軸が異なり、また断面形や深さもやや異なっており、同一溝との判断は難しい。一応調査時発番遺構のまま扱うが、注意が必要である。

SD07・08 は、調査区の南側で確認された溝で、2条は概ね東西方向で併走している (N-80° -E)。場所により異なるが SD07 の方が深く (42 ~ 58 cm)、上端幅もやや広い (100 ~ 108 cm、SD08 は 66 ~ 112 cm)。東側は SD06 と重複し、いずれも SD06 の方が新しいことが確認されている。また SD08 は SK160 とも重なるが、これより新しいようである。第2次調査区の2条の溝とは 4 m 程度の未調査部分を挟み、若干の方向の違いもあるものの、形状や覆土は概ね類似しており、同一溝と判断された。但し第2次調査区側で重複していた2条の溝がここでは完全に分離しており、方向の違いと共に注意される。SD07 全体を見れば、本調査区での東西方向部分から大きく弧を描いて南北方向溝へとつながることとなる。

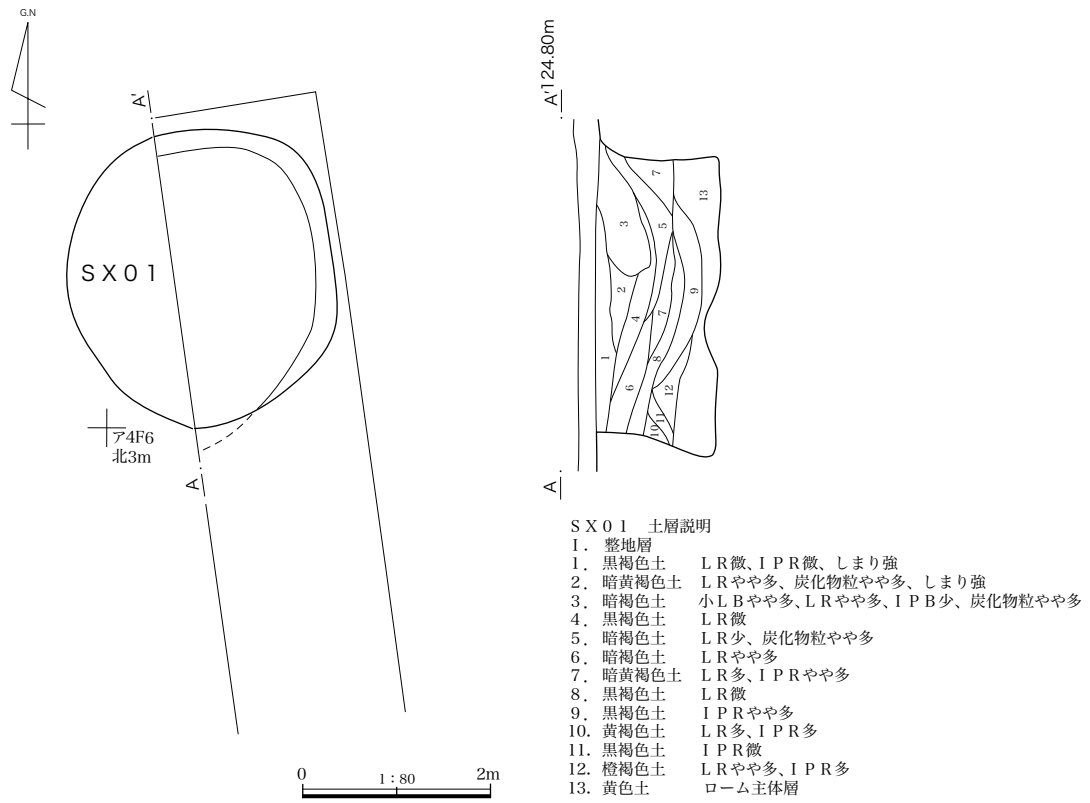
土坑は3基確認された。SX01 (第454図) はトレンチ調査区の北端で確認された土坑である。経緯は不明であるが SX 発番されている。円筒状~若干壁がオーバーハングする袋状に近い形態である。最下層はローム主体の層が短時間で堆積、その後複数の層によるレンズ状堆積を示す。総じて炭化物が多い傾向にあるが、極めて多い量ではない。炭焼窯との所見もあったようだが、この土坑に相当するのかわかり得ない。



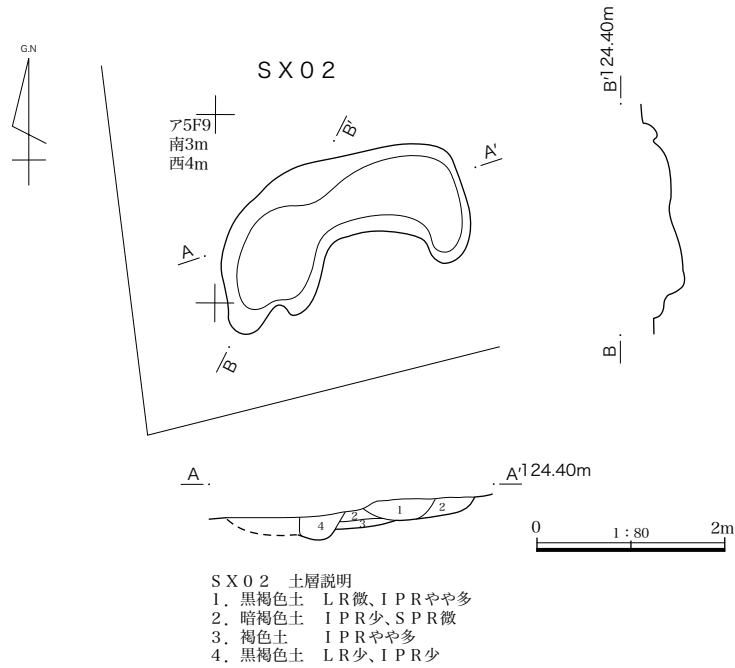
第452図 SD06・07・08、SK160



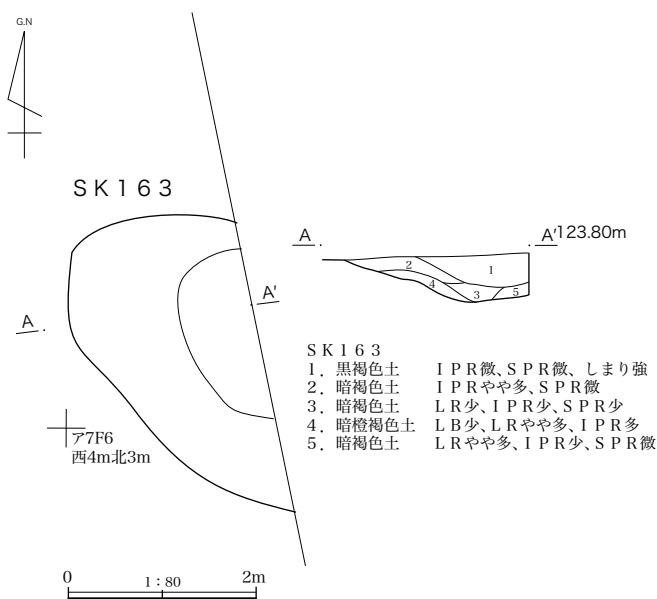
第453図 SD06



第454図 SX01



第455図 SX02



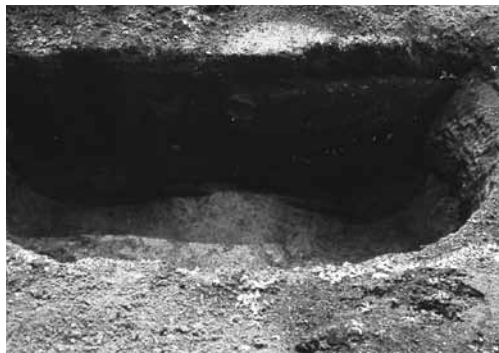
第456図 SK163

SX02（第455図）は西側調査区の南端近くで確認された不整形の土坑である。概ねローム漸移層～ローム層での確認であり、比較的掘り込みは明瞭なようである。形状や断面覆土観察から3基程度の土坑・ピットの重複と推定されるが、詳細不明であり、1遺構のまま扱っておく。

SK163（第456図）は東側調査区の調査区東壁際で確認された不整形土坑である。周囲に遺構は認められない。やや浅い皿状の土坑で壁の傾斜も緩やかだが、黒味の強い覆土と観察され、比較的掘り込みは明瞭なようである。



SX01 確認状況



SX01 土層断面

第9章 理化学分析

第1節 刈沼遺跡出土試料の14C年代測定と校正年代

小林謙一（中央大学）

1. はじめに

刈沼遺跡（略号をTGMBKとした）出土炭化材（試料番号にCを付した）及び土器付着物サンプルに対して、加速器質量分析法（AMS）による放射性炭素年代測定をおこなった。測定した試料は、写真図版に示す。栃木県埋蔵文化財センターにて小林謙一が2016年1月に試料採取をおこない、国立歴史民俗博物館年代実験室にて前処理をおこなった。

2. 試料と方法

試料情報は下記の通りである。

記号	出土区	種類	細別	部位	土器型式
TGMBK1a	イ5I3 A（包含層北側ゾーン）3層No.22	内面	焦	胴部	安行1新
TGMBK1b	イ5I3 A（包含層北側ゾーン）3層No.22	外面	煤か	口縁	安行1新
TGMBK2a	イ4J3 A（Pit群6）13層24区	内面	焦	胴部	姥山2
TGMBK2b	イ5I3 A（包含層北側ゾーン）3層No.22	外面	煤か	口縁	姥山II
TGMBK2c	イ5I3 A（包含層北側ゾーン）3層No.22	内面	焦	口縁	姥山II
TGMBK3	SI01 B1層p213,216,217,2層p30,3層61	内面	焦	胴下	大洞C2
TGMBK4	イ5I3 B（包含層北側ゾーン）3層No.25	外面	煤か	口縁	瘤付2
TGMBK5	SI02 D3層B区p2,床下3・4・6層B区p5	内面	焦	口縁	大洞C2
TGMBK6	イ4J2 D13層3区No.68ほか	内面	焦	胴下	姥山2
TGMBK7	SI05 G8層A区,9層No.172,10層p6	内面	焦	口縁	大洞C2
TGMBK8a	イ4J2 K14層No.288ほか	内面	焦	口縁	大洞C2
TGMBK8b	イ4J2 K14層No.288ほか	外面	煤か	口縁	大洞C2
TGMBK9	SI08 E1層No.9後、11後、2層C区D区	内面	焦	胴下	擬縄文
TGMBK10	イ1I6 Nべ1回目N6 981126	内面	焦	口縁	大洞B1
TGMBK11	イ0I4 5 No.39 980902	外面	煤か	口縁	大洞C1
TGMBK12	イ4J0 19 23区	外面	煤か	口縁	安行3c
TGMBK13a	イ5I9 No.106 980929	内面	焦	口縁	大洞
TGMBK13b	イ5I9 No.106 980929	外面	煤か	口縁	大洞
TGMBK14	イ6I9 8 No.4 980128	内面	焦	口縁	瘤付
TGMBK15	2区E T-2 971001	内面	焦	口縁	安行1
TGMBK16	イ6J1 Eベルト4回目No.88 980309	外面	煤か	口縁	安行2
TGMBK17	イ6J0 4 No.288 971224	内面	焦	口縁	安行2

以上のうち、TGMBK-1b,2c,3,4,7,8a,9,13,14,15については付着物が少なく、測定のための前処理は保留した。

試料の AAA による前処理は、国立歴史民俗博物館年代実験室で小林が以下の手順でおこなった。

アセトン中で 5 分間の超音波洗浄を行った後、クロロホルムとメタノールを容量 2 対 1 で混合した溶媒 (CM 混液) による 30 分間の還流を 2 回おこなった。次いで、アセトン中で 5 分間の超音波洗浄を 2 回行った。この操作で、油分や接着剤などの成分が除去されたと判断できる。

酸 - アルカリ - 酸 (AAA : Acid Alkali Acid) 処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA 処理における酸処理では、通常 $1\text{mol}/\ell$ (1M) の塩酸 (HCl) を用いる。アルカリ処理では 1M の水酸化ナトリウム (NaOH) 水溶液を用いる。以下は、AAA 処理における炭素回収率である。年代測定に適した良好な状態であった。

No.	重量	AAA 用	状態	回収重量 mg	AMS 用 mg	IRMS 用 mg
TGMBK-1-a	95	95	○	35.12	23.28	11.84
TGMBK-2-a	45	45	○	11.8	8.64	3.16
TGMBK-2-b	69	69	○	7.05	4.8	2.25
TGMBK-5	35	35	○	8.91	6.08	2.83
TGMBK-6	111	111	○	17.54	14.13	3.4
TGMBK-8-b	29	29	○	4.06	2.48	1.58
TGMBK-10	68	68	○	3.18	3.18	0
TGMBK-11	45	45	○	8.46	6.18	2.28
TGMBK-12	90	90	○	4.69	3.09	1.6
TGMBK-16	70	70	○	15.89	10.71	5.18
TGMBK-17	66	66	○	4.13	2.45	1.58

以下の作業は山形大学へ委託した。それぞれの測定試料は、元素分析計、質量分析計、ガラス真空ラインより構成されるグラファイト調整システムにてグラファイト化をおこなった。この際の EA 使用量 (処理で使用した量 (mg))、ガラスラインで回収した炭素量 (回収した CO₂ 量より計算 (mg)) を記録した。

その後、山形大学高精度加速器測定センター総合研究所 1 階に設置した加速器質量分析計 (YU-AMS : NEC 製 1.5SDH) を用いて放射性炭素年代を測定した。得られた ¹⁴C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、¹⁴C 年代、暦年代を算出した。

3. 結果

十分な炭素量が得られた試料については一部を分取して、質量分析計 (IRMS) による炭素・窒素安定同位体比、炭素量、窒素量を (株) SI サイエンス社に委託して測定した。 $\delta^{13}\text{C}$ は内外面ともに陸性の由来である可能性が高いことを示すが、C/N 比 (mol 比) ではやや差異があり、内面の 1a は動物性の由来が比較的高いことを示すのに対し、外面の 1b は燃料材のススなど植物性の由来の可能性が高いことを示唆している。

試料番号	$\delta^{13}\text{C}$	$\delta^{15}\text{N}$	窒素量	炭素量	備考	C/N 比
TGMBK-1-a	-24.9	7.07	6.55	58.1		10.34
TGMBK-2-a	-26.3	5.67	5.45	58.2		12.45
TGMBK-2-b	-26.6	7.44	0.397	9.68	**	28.43

TGMBK-5	-25.6	5.27	4.69	56.4		14.02
TGMBK-6	-26.3	8.46	6.36	54.0		9.90
TGMBK-8-b	-25.8	9.68	3.96	38.6		11.37
TGMBK-10						
TGMBK-11	-28.0	7.48	1.21	70.5	*	67.95
TGMBK-12	-27.8	6.42	0.593	30.3	*	59.59
TGMBK-16	-27.6	9.11	1.07	68.5	*	74.66
TGMBK-17	-27.3	6.47	4.24	57.3		15.76

*; δ 15N について、サンプルの窒素量が少なく、適正出力が得られなかったため、約 1‰の補正をかけているため、通常よりも誤差が大きくなっている事が予想される。

** ; δ 15N について、サンプルの窒素量が少なく、適正出力が得られなかったため、約 0.2‰の補正をかけているため、通常よりも誤差が大きくなっている事が予想される。

C/N 比は、下記の計算により、モル比で記す。

$$[\text{炭素} \cdot \text{窒素モル比}] = ([\text{炭素量}] / 12.011) / ([\text{窒素量}] / 14.0067)$$

次に、サンプルの放射性炭素年代測定及び暦年較正の結果を示す。各結果には、同位体分別効果の補正を行った暦年較正に用いた年代値、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した 14C 年代を示す。暦年較正に用いた年代値は下 1 桁を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正をおこなうため記載した。

AMS- 炭素 14 年代測定値

試料番号	測定機関番号	δ 13C(‰)	較正用 14CyrBP	14CyrBP
TGMBK-1a	YU-4537	-26.07±0.48	3231±20	3230±20
TGMBK-2a	YU-4538	-26.80±0.54	3021±21	3020±20
TGMBK-2b	YU-4570	-20.88±0.71	2967±24	2965±25
TGMBK-5	YU-4540	-23.95±0.61	2904±22	2905±20
TGMBK-6	YU-4541	-24.87±0.56	3053±21	3055±20
TGMBK-8b	YU-4568	-20.10±0.55	2605±22	2605±20
TGMBK-10	YU-4536	-17.96±0.85	3073±27	3075±25
TGMBK-11	YU-4542	-26.22±0.55	2836±21	2835±20
TGMBK-12	YU-4569	-21.48±0.69	2886±23	2885±25
TGMBK-16	YU-4543	-26.84±0.55	3015±21	3015±20
TGMBK-17	YU-4571	-24.74±0.66	3111±23	3110±25

測定機関番号は、山形大学高感度加速器質量分析センターによる測定番号である。 δ 13C は同位体分別効果補正のための AMS による安定同位体比であり、参考として掲載した。試料自体の同位体比を正しく反映していない可能性もあるため、上記の IRMS による安定同位体比を分析の際には使用する。

以下に 14C 年代を暦年代に較正した年代範囲を $s\sigma$ の有効範囲で示す。

暦年較正年代確率分布 (IntCal13, OxCal2013)

試料番号	2 σ 較正年代 cal BC		
TGMBK-1a	1597BC(2.5%)1587BC	1534BC(92.9%)	1439BC
TGMBK-2a	1385BC(15.0%)1341BC	1309BC(80.4%)	1207BC
TGMBK-2b	1266BC(95.4%)1111BC		
TGMBK-5	1193BC(12.3%)1143BC	1131BC(83.1%)	1012BC
TGMBK-6	1397BC(92.8%)1258BC	1245BC(2.6%)	1233BC
TGMBK-8b	812BC(95.4%)777BC		
TGMBK-10	1412BC(95.4%)1265BC		
TGMBK-11	1051BC(95.4%)921BC		
TGMBK-12	1190BC(1.3%)1178BC	1158BC(1.3%)1146BC	1129BC(92.8%)996BC
TGMBK-16	1380BC(10.0%)1345BC	1305BC(84.8%)1195BC	1139BC(0.6%)1135BC
TGMBK-17	1434BC(54.9%)1371BC	1359BC(40.5%)	1301BC

14C年代はAD1950年を基点にして何年前かを示した年代である。14C年代 (yrBP) の算出には、14Cの半減期として Libby の半減期 5568年を使用した。また、付記した14C年代誤差 ($\pm 1\sigma$) は、測定 of 統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の14C年代がその14C年代誤差内に入る確率が68.2%であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。暦年較正とは、大気中の14C濃度が一定で半減期が5568年として算出された14C年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の14C濃度の変動、及び半減期の違い (14Cの半減期 5730 ± 40 年) を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。14C年代の暦年較正には較正曲線データ : IntCal13¹⁾ を使用し、OxCal4.23) または OxCal4.2.4) を用いて算出した。なお、1 σ 暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された14C年代誤差に相当する68.2%信頼限界の暦年代範囲であり、同様に2 σ 暦年代範囲は95.4%信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は14C年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す (図1)。

4. 年代的考察

年代測定結果の較正年代であるが、2013年に較正曲線が水月湖の湖底堆積物などのデータにより後期旧石器時代5万年前までをカバーするIntCal13に更新された。特に1万2千年より以前の較正年代については、これまでに測定されてきた結果も含めてIntCal13を参照することが推奨されている。縄紋時代後期はIntCalのバージョンによる大きな齟齬はないが、以下ではIntCal13による較正年代を、oxcalとして公開されている計算方法²⁾を用いて2 σ の有効範囲で計算した結果による。縄紋土器型式別の年代値については、小林のこれまでの測定成果を用いる³⁾。

試料の $\delta^{13}C$ 値をみるとIRMSで測定したものは-24.9 ~ -28‰と陸性由来の炭化物である可能性が高いと考えられるが、他と比較するとTGMBK-1aは-24.9‰とやや重く、内面付着物であるため海産物の煮焦げを含んでいる可能性も比定できない。また炭素/窒素比を見ると、概ね10より大きく、総じてこれらの付着物は陸性の植物質由来の可能性が高いと考えられる。

安行1式に対比されるTGMBK-1は、1534BC(92.9%)1439BCとやや古い年代も掛かるが、較正年代の中の新しい年代に属すると考えれば、安行1式の年代として含まれる年代である。

安行2式に比定されるTGMBK-16は1305BC(84.8%)1195BC、17は1434BC(54.9%)1371BCおよび1359BC(40.5%)1301BCに含まれる年代の可能性が高い。安行2式が含まれる年代と考える。

大洞C2式と考えられるTGMBK-8bは812BC(95.4%)777BCと、晩期中葉の年代が測定されている。

大洞B1式に比定されるTGMBK-10は、1412BC(95.4%)1265BCと後期末葉から晩期最初頭の年代が含まれる較正年代であり、やや古い値を含むがこのうちの最も新しい年代に属すると捉えれば、晩期最初頭の年代と捉えることができる。なお、10については量不足のためにIRMSによる安定同位体比は測定できなかった。AMSによる炭素13同位体比を参考とすると、-17‰と重たい値を示しており、海洋リザーバー効果の影響を受けて古く出ている可能性も考えられるが、試料を再採取できるのであればIRMSによる測定をおこない検討する必要がある。

内外面の土器付着物であるTGMBK-2は、内外面で年代に5514CyrBPの差があり、外面の2bは較正年代で1266～1111BCのいずれかの可能性が高いが、内面付着物である2aは1309-1207BCの可能性が80%と最も高く、1265～1205cal BC付近の年代で両者は重なっているが、内面付着物の較正年代は外面付着物よりやや古い傾向を示す。その年代の所産である可能性がある。この年代は晩期初頭に対比される年代である。土器は姥山II式に対比され、年代としては外面付着物である2bの測定値が整合的と思われる。

同じく姥山II式に比定されるTGMBK-6は、1397BC(92.8%)1258BCの年代値を示す。後期末葉から晩期初頭の年代であり、型式の時期とは整合的ではなくやや古い年代値である。

大洞C1式に比定されるTGMBK-11は1051BC(95.4%)921BCに含まれる年代であり、これまでの測定値と併せると土器型式と整合的な年代と捉えられる。

安行3c式に比定されるTGMBK-12は、1129BC(92.8%)996BCに含まれる年代である可能性が高く、比定される型式よりもやや古い年代値である。

大洞C2式に比定されるTGMBK-5は、1131BC(83.1%)1012BCに含まれる年代である可能性が高く、比定される型式よりもやや古い年代値である。

以上のように、TGMBK-6,12については、比定される土器型式のこれまでの測定結果とは整合的ではない。比定土器型式を再検討するとともに、特に内面付着物である6については、なんらかのリザーバー効果の影響を考えるなど、検討する必要がある。今後同様の事例の蓄積を待って、改めて検討していきたい。

本稿で用いた年代測定は、日本学術振興会科学研究費助成基盤研究(B)「炭素14年代測定による縄紋文化の枠組みの再構築 - 環境変動と文化変化の実年代体系化」(課題番号25284153, 研究代表小林謙一, 平成25～29年度)によるものである。グラフィット作成からAMS測定は、山形大学高感度加速器質量分析センターに委託した。対象資料については栃木県埋蔵文化財センター江原英、炭素回収率については、山形大学、較正年代の計算については国立歴史民俗博物館坂本稔・今村峯雄の教示を得た。

1) Paula J Reimer • Edouard Bard • Alex Bayliss • J Warren Beck • Paul G Blackwell • Christopher Bronk Ramsey • Caitlin E Buck • Hai Cheng • R Lawrence Edwards • Michael Friedrich • Pieter M Grootes • Thomas P Guilderson • Hafliði Hafliðason • Irka Hajdas • Christine Hatté † • Timothy J Heaton • Dirk L Hoffmann • Alan G Hogg • Konrad A Hughen • K Felix Kaiser* • Bernd Kromer • Sturt W Manning • Mu Niu • Ron W Reimer • David A Richards • E Marian Scott † • John R Southon • Richard A Staff • Christian S M Turney



TGMBK-1a



TGMBK-1a 土器内面試料付着状態



TGMBK-2b 試料付着状態 (第 188 図 5)



TGMBK-2a 試料付着状態



TGMBK-5(第 39 図 4)



TGMBK-5 土器内面試料付着状態



TGMBK-6(第 202 図 3)



TGMBK-6 土器内面試料付着状態



TGMBK-8b(第205図1)



TGMBK-8b 土器外面試料付着状態



TGMBK-10(第205図1)



TGMBK-10 土器内面試料付着状態



TGMBK-11



TGMBK-11 土器外面試料付着状態



TGMBK-12



TGMBK-12 土器外面試料付着状態



TGMBK-16



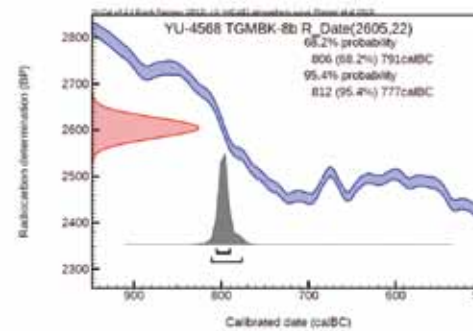
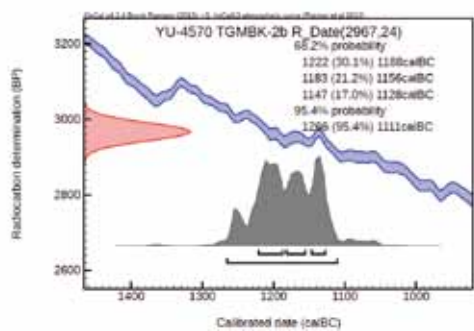
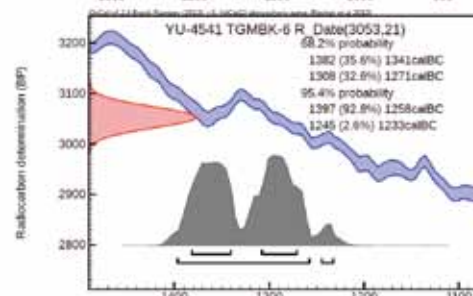
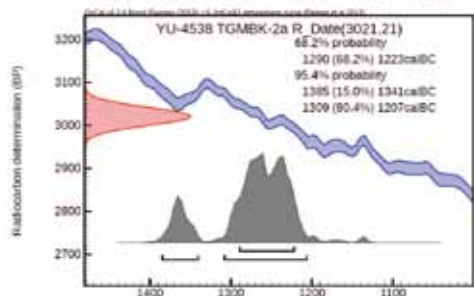
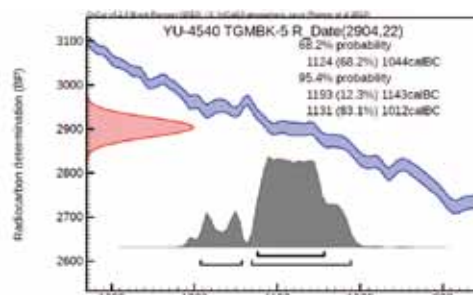
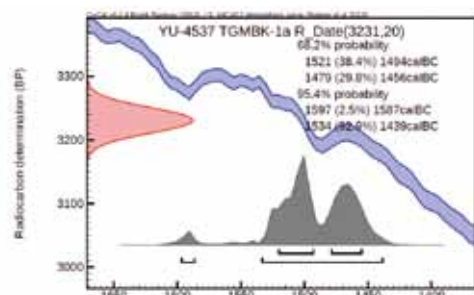
TGMBK-16 土器外面試料付着状態

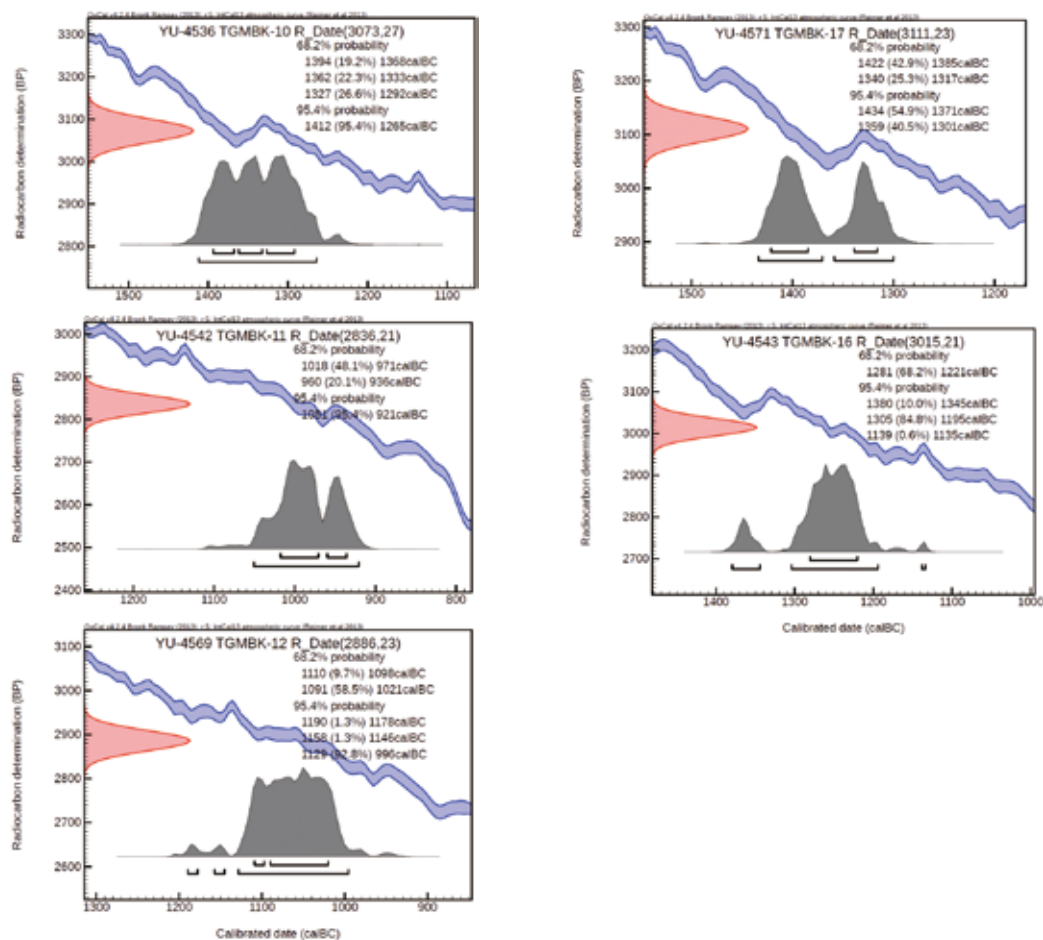


TGMBK-17



TGMBK-17 土器内面試料付着状態





• Johannes van der Plicht, 2013 INTCAL13 AND MARINE13 RADIOCARBON AGE CALIBRATION CURVES 0-50,000 YEARS CAL BP , RADIOCARBON, Vol 55, Nr 4, p 1869-1887, the Arizona Board of Regents on behalf of the University of Arizona

2) Bronk Ramsey, C. 2009. Bayesian analysis of radiocarbon dates. Radiocarbon, vol.51,Nr-1,p. 337-360.

Christopher Bronk Ramsey, Sharen Lee.2013. Recent and Planned Developments of the Program OxCal. Radiocarbon, Vol 55, No 2-3

3) 小林謙一 2008「縄文土器の年代（東日本）」『総覧縄文土器』小林達雄編 ,アムプロモーション

※ 編集者の整理上の不手際により、試料番号 10.11.12.16.17 について実測・拓本の資料化を行い得なかった。別途資料化の機会を得たいと考えている。資料化の予定で分析頂いた小林謙一氏にお詫びしたい。

第2節 刈沼遺跡出土の石鏃の押圧剥離

株式会社アルカ 角張淳一

1 方法

70点の石鏃のなかで、形態・石材などを考慮した16点の石鏃について、低倍率（10倍～20倍）の顕微鏡観察を行い、それを写真に記録した。この写真をもとに、以下に石鏃の形態と押圧剥離面についての理解を記す。

属性表には、押圧剥離の身振りをPとし、工具の種類をS'として表記した。この表記について、工具の種類の説明は以下である。

工具の種類は、「圧縮力」と「変形の有無」による組合せが妥当と思われる、4種類に整理される。

ハード工具とソフト工具は、従来はその材質によって理解されてきているが、物理的な属性として工具を考えると、対象物に当たった瞬間に変形するか、変形しないかという理解のほうが適切である。

次の属性は、高い圧縮力を生ずるか、ほとんど圧縮力をうまないかという属性である。

変形の有無や程度は、コーンに表現され、圧縮力の高さはコーンの面積やバルブの面積に対応する。圧縮力のない場合は、主に引張応力によって剥片剥離が生ずるので、ソフト工具の場合は、工具を寝かせた状態（石核を立てた状態）で剥離作業が行われないと剥片は剥がれない。したがって、圧縮力の属性は、工具の振り（もしくは石核の持ち方）に大きな影響を与える（角張 2003）。

さて、2つの属性によって、工具の種類は4種類に分類される。第一は「高い圧縮力」と「変形無」の真正ハード工具である。この材質はチャートなどの硬度のある石が該当する。技術論の表記では「H」としよう。こうした工具の場合は、石核打面に垂直に打撃しても、コーンタイプの剥離の開始部をもつ剥片は容易に剥がれる。また非常に強い垂直打撃を与えると、剥離の開始部は楔タイプとなる。剥離の開始部の状態で打撃の様相が理解できよう。

次に「低い圧縮力」と「変形有」の真正のソフト工具がある。材質は木などで、それは「S」と表記しよう。この工具の場合、工具を相当に寝かせて振り抜かないと剥片は剥がれない。主に引張応力で剥片は剥がれるので、剥離の開始部は曲げタイプである。

「高い圧縮力」をもちながら「変形有」の工具は、ソフト工具でありながらハード工具に極めて近い剥離面を産み出す工具もある。材質は鹿角などで、表記は「S'」としよう。

しばしば黒曜石に対しては、鹿角工具の直接打撃の剥離面はハード工具に近い様相である。ただし、工具接触部が変形するのでコーンが歪むのが、この工具の特徴である。最後に、「低い圧縮力」で「変形無」のハード工具がある。ハード工具でありながらソフト工具のような身振りでしか剥離面が形成できない工具で、その材質は柔らかい石などである。この工具は引張応力で剥片を剥がすが、その剥離の開始部に明瞭なコーンが形成されるのが特徴である。ペルグラン教授はソフト工具として認識しているが、物理的にはハード工具の範疇である。表記は「H'」としよう。

工具の身振りは、直接打撃（D）、間接打撃（I）、押圧剥離（P）とする。これらを工具と組合せて工具技術を表記すると、HD、S'Pなどのように技術を記述できるのである。

そして、この工具と身振りに、さらに剥離面の種類を付け加えると技術の記述ができる（角張 2003）。つまり、HD/刃潰、HD/平坦などである（角張 2007）。

2 観察所見

(ア) 図版1

第278図12：鉄石英の凹基鏃。縁辺を最終加工で鋸歯縁に形成している。鋸歯縁の押圧剥離は、工具をやや急角度にあてて、短い鋸歯状の剥離となっている。工具は、縁辺が潰れていない点ではソフト工具、また急角度の剥離形成では圧縮力のある工具である。実験研究では鹿角が該当しよう。

第278図26：玉髓の凹基鏃。裏面の押圧剥離は細長く、軸に対して斜め方向に施される。拡大写真では斜めに伸びる押圧剥離と、最終加工の短い剥離が観察できる。これは径の細い工具を考慮してn S' Pの剥離面とした。

第278図11：黒曜石の凹基鏃である。黒曜石はガラス質なので、圧縮力の高い工具では、縁辺が碎けてしまう。拡大図では圧縮力の高い工具が用いられことが、コーンが観察されること、及びやや急角度で押圧剥離が行われていることわかる。

第278図17：チャート製の石鏃未製品であるが、先端が摩耗しており、石錐に転用されたものと思われる。押圧剥離は貝殻状で、コーンとバルバスターが明瞭に残っている。圧縮力の大きな工具を使用しているが、縁辺が碎けていないのが特徴なので、変形する工具なのであろう。

(イ) 図版2

第278図11：流紋岩の凹基鏃。硬く脆い石材なので、ハード工具の利用はできない。ソフト工具で圧縮力の高い工具の使用が考えられる。押圧剥離の剥離面が非常に薄いのは、石材が硬いために、剥離面が形成されにくいことが原因であろう。剥離面はやや不規則で、正面には素材の面も大きく残されている。この点は、手のひらの中で押圧剥離を行ったことが要因であろう。器体に赤の縞が入るが、石材の色であろう。

第278図20：頁岩の凹基鏃。粘りけのある、やや柔らかい石材である。押圧剥離の開始部は曲げの剥離になっており、やや急角度に工具を押し当てながら剥離作業を行ったのであろう。背面は全面に押圧剥離がなされているが、裏面には素材の面が大きく残されている。これは裏面が凹面となって、剥離が伸びなかった理由による。

第278図39：頁岩の有茎鏃。正面・裏面ともに素材の面を大きく残している。また、裏面先端から中央にかけて黒色の付着物が観察される。押圧剥離は貝殻状の不整押圧剥離で、コーンが観察される。縁辺は碎けていない。

(ウ) 図版3

第279図3：玉髓の有茎鏃である。径の細い工具で鋸歯縁を形成している。圧縮力の高い径の細い工具で、さらに韌性（しなる性質）があるので、押圧剥離が伸びている。このような工具の場合、金属製の工具の可能性も無視できない。

第279図13：チャート製の有茎鏃。形態形成の押圧剥離と縁辺を鋸歯縁にする最終剥離がみられる。鋸歯縁の加工は径の細い工具を急角度にあててなされている。

第279図5：玉髓製の有茎鏃。径の細い工具で押圧剥離がなされている。第278図26と同じ押圧剥離である。

(エ) 図版4

第279図21：珪質頁岩の有茎鏃。押圧剥離は幅広で縁辺は曲げの剥離となっている。典型的なソフト工具の

押圧剥離である。

第 278 図 29：オパールの有茎鏃。脆い石材なので、ソフト工具の押圧剥離であろう。

第 279 図 14：玉髓の有茎鏃。拡大写真の押圧剥離は、やや不整の押圧剥離だが、この石鏃の押圧剥離は第 279 図 5 と同じである。

(オ) 図版 5

第 280 図 10、11：棒状の石錐。ソフト工具でやや急角度の押圧剥離で成形されている石錐。

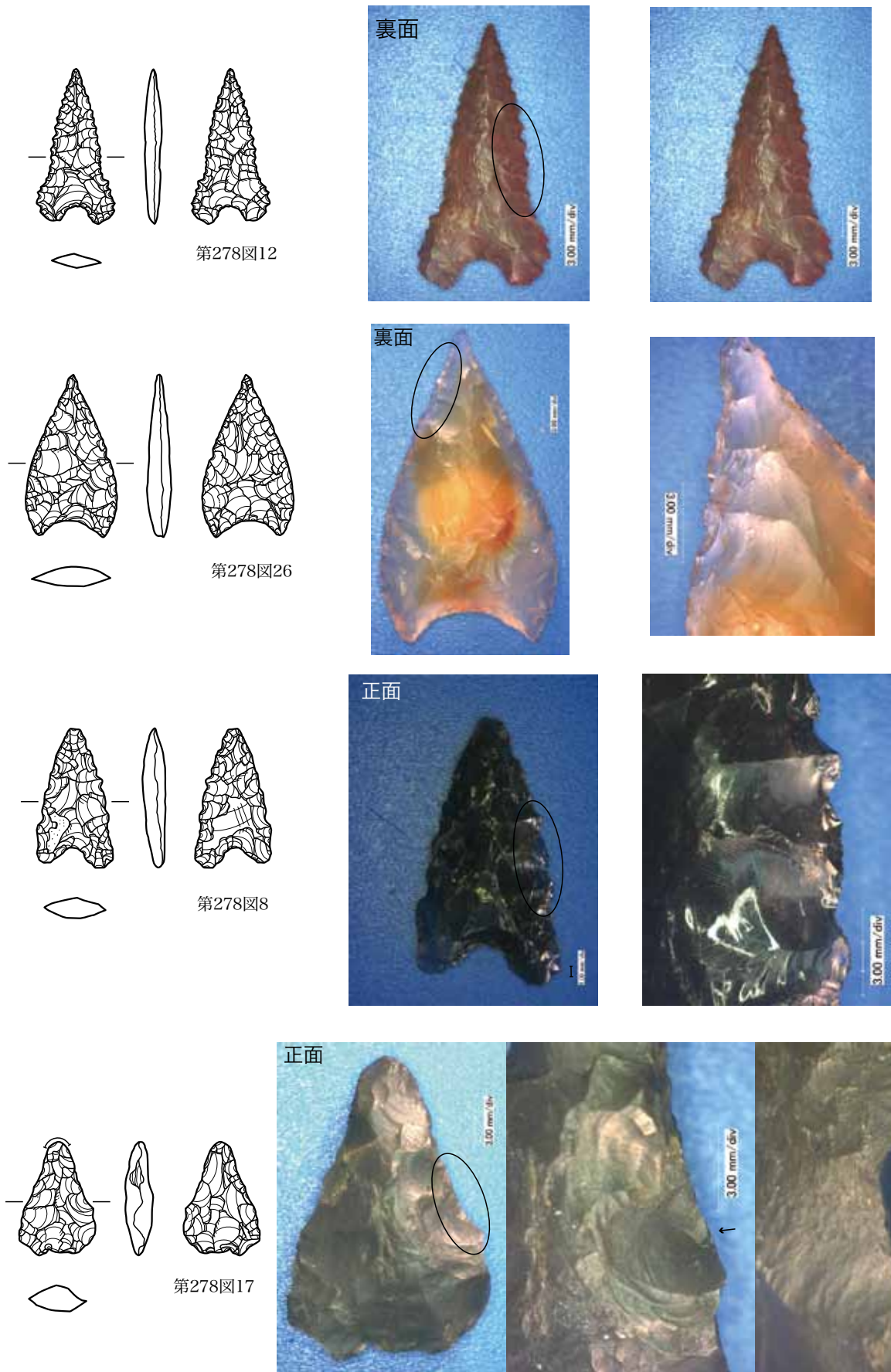
第 279 図 25：鉄石英の異形石器。径の細い工具で押圧剥離が施されている。

3 まとめ

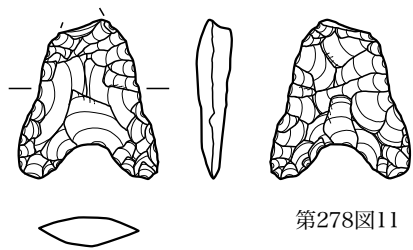
サンプルを抽出して押圧剥離の状態を観察した。その結果、径の細い工具の押圧剥離と、通常押圧剥離の 2 種類があることがわかった。径の細い押圧剥離は、鋸歯縁と平坦縁の 2 種類あることがわかった。これらは、石材によって使い分けられているのではなく、文化的な要因が考えられる。今後は、すべての石鏃について、押圧剥離の種類と石材、形態を組み合わせ、相関関係を抽出することが必要であろう。

参考文献

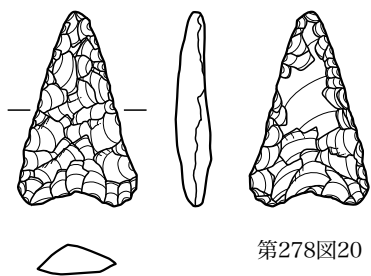
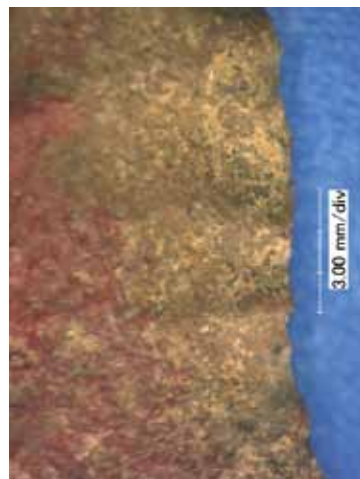
- 角張淳一 2003 「剥片剥離技術の検討及び石器実測図の評価」『平成 14 年度愛知県埋蔵文化財センター年報』 pp.78~84 愛知県埋蔵文化財センター
- 角張淳一 2007 「先土器時代石器技法論」『列島の考古学 II 渡辺誠先生古稀記念論文集』 pp.263~276 渡辺誠先生古稀記念論文集刊行会
- 高橋 哲 2008 「押圧剥離実験報告—ネガ面の研究—」『宮城考古学 10 周年記念 第 10 号』 pp.129~144 宮城県考古学会



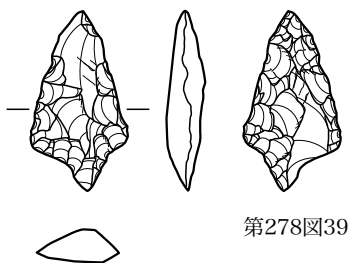
図版1. 凹基鏃



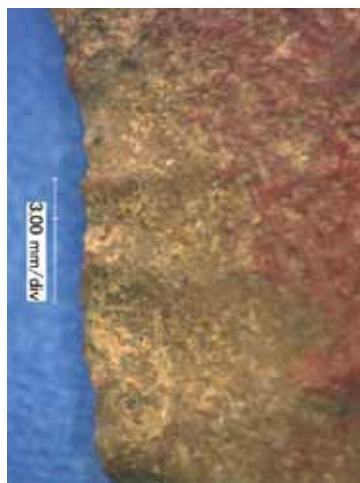
第278图11



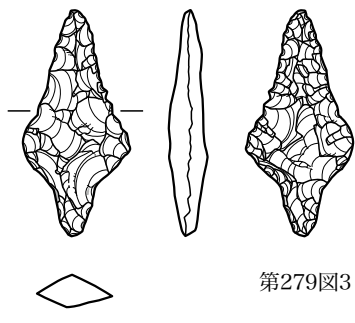
第278图20



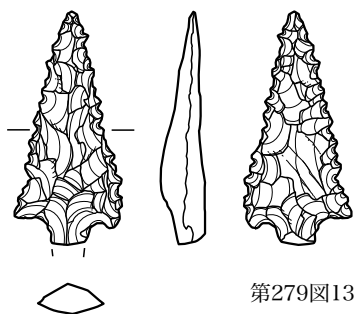
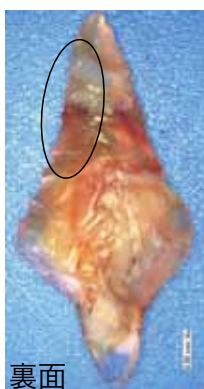
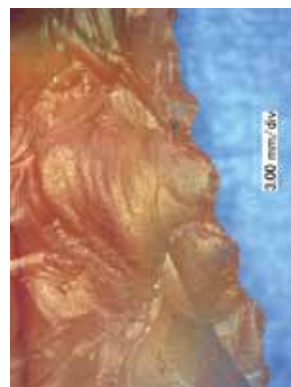
第278图39



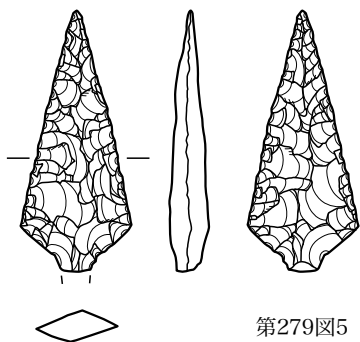
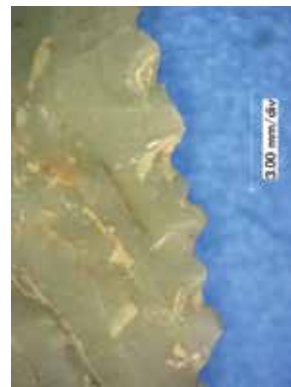
图版2. 凹基鏃·有茎鏃



第279図3



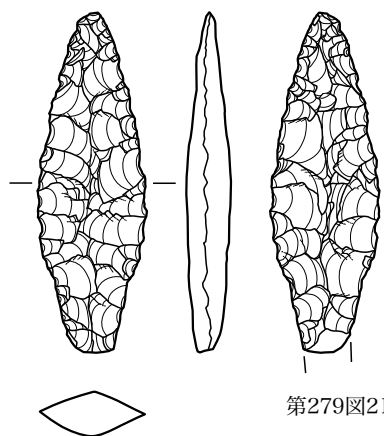
第279図13



第279図5



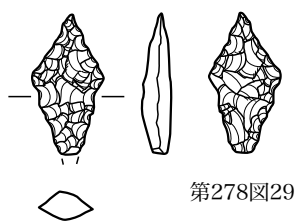
図版3. 有茎鏃



第279图21



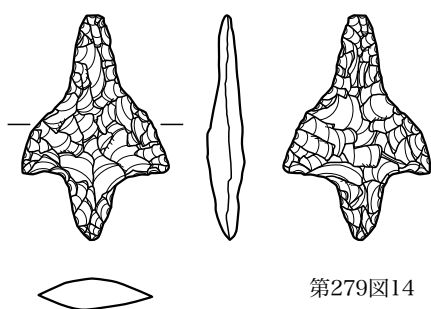
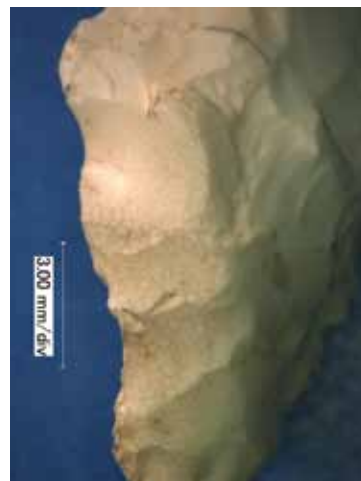
正面



第278图29



正面



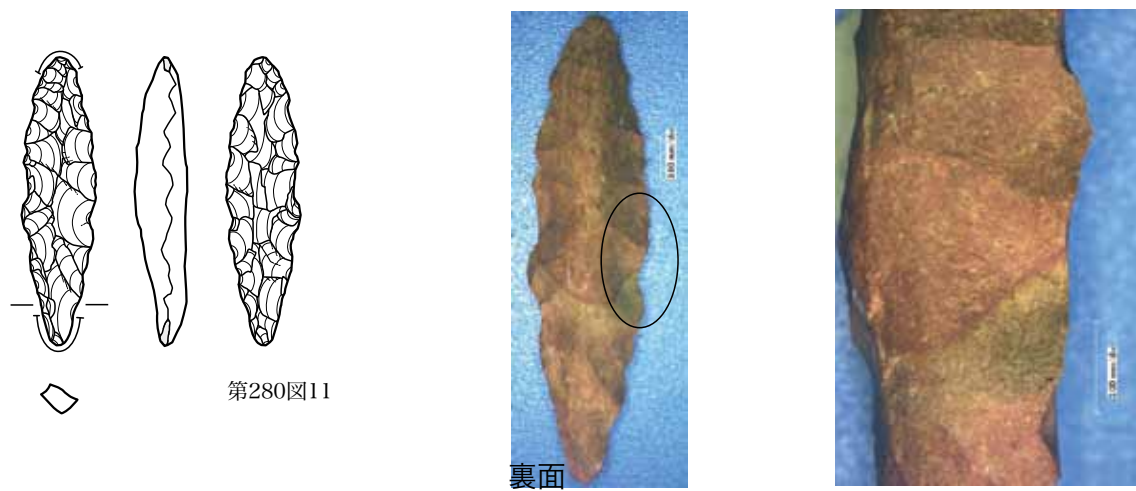
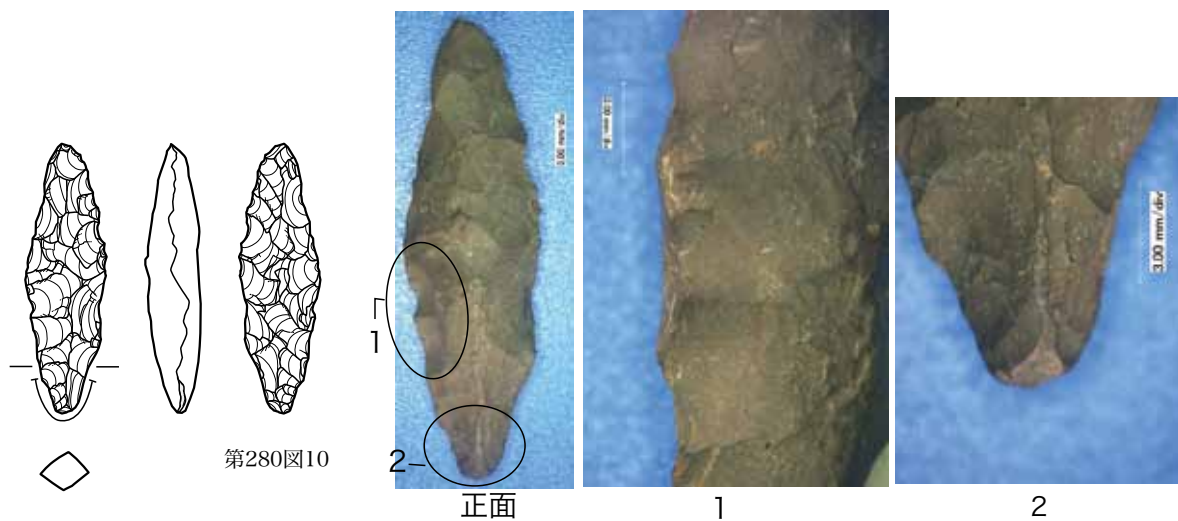
第279图14



裏面



图版4. 有茎鏃



図版5. 石錐・異形石器

第3節 刈沼遺跡出土遺物付着赤色顔料の蛍光 X 線分析

竹原弘展 (パレオ・ラボ)

1. はじめに

宇都宮市ゆいの杜に所在する刈沼遺跡より出土した縄文時代後期後半～晩期の遺物に付着する赤色顔料について蛍光 X 線分析を行い、顔料の種類を検討した。

2. 試料と方法

分析対象は、遺物 14 点に付着する赤色顔料である。分析 No.1～7、14 は土器、分析 No.8 は土偶、分析 No.9～13 は石製品に付着する赤色顔料である。遺物の時期は、縄文時代後期後半～晩期とみられている。

実体顕微鏡下で、セロハンテープに赤色部分を極少量採取して分析試料とした。試料の採取位置と採取位置の実体顕微鏡写真を図版 1～3 に示す。

分析装置はエネルギー分散型蛍光 X 線分析装置である (株) 堀場製作所製分析顕微鏡 XGT-5000Type II を使用した。装置の仕様は、X 線管が最大 50kV・1mA のロジウムターゲット、X 線ビーム径が 100 μ m または 10 μ m、検出器は高純度 Si 検出器 (Xerophy) である。検出可能元素はナトリウム～ウランであるが、ナトリウム、マグネシウムといった軽元素は蛍光 X 線分析装置の性質上、検出感度が悪い。

本分析での測定条件は、50kV、0.82～1.00mA (自動設定による)、ビーム径 100 μ m、測定時間 500s に設定した。定量分析は、標準試料を用いないファンダメンタル・パラメータ法 (FP 法) による半定量分析を装置付属ソフトで行った。

さらに、蛍光 X 線分析用に採取した試料を観察試料として、生物顕微鏡で赤色顔料の粒子形状を確認した。

3. 結果

分析により得られたスペクトルおよび FP 法による半定量分析の結果を図版 4～6 に示す。

いずれも鉄 (Fe)、ケイ素 (Si)、アルミニウム (Al) が主に検出され、他にリン (P)、硫黄 (S)、カリウム (K)、カルシウム (Ca)、チタン (Ti)、マンガン (Mn) 等が検出された。また、生物顕微鏡観察により得られた画像を図版 4～6 に示す。分析 No. 2～4、7、8、10、12、13 から、赤色パイプ状の粒子が観察された。

4. 考察

赤色顔料の代表的なものとしては、朱 (水銀朱) とベンガラが挙げられる。水銀朱は硫化水銀 (HgS) で、鉱物としては辰砂と呼ばれ、産出地はある程度限定される。ベンガラは狭義には三酸化二鉄 (Fe₂O₃、鉱物名は赤鉄鉱) を指すが、広義には鉄 (III) の発色に伴う赤色顔料全般を指し (成瀬, 2004)、広範な地域で採取可能である。また、ベンガラは直径約 1 μ m のパイプ状の粒子形状からなるものも多く報告されている。このパイプ状の粒子形状は鉄バクテリア起源であると判明しており (岡田, 1997)、含水水酸化鉄を焼いて得た赤鉄鉱がこのような形状を示す (成瀬, 1998)。鉄バクテリア起源のパイプ状粒子は、湿地などで採集できる。

今回分析した試料は、いずれもケイ素など土中成分に由来すると考えられる元素は検出されたものの、水銀は検出されなかった。いずれも鉄が多く検出されており、赤い発色は鉄によるものと推定できる。すなわち、顔料としてはベンガラにあたる。さらに分析 No.2～4、7、8、10、12、13 からは、パイプ状の粒子が検出

され、鉄バクテリアを起源とするいわゆるパイプ状ベンガラであった。表1に顔料種類の一覧を示す。

表1 分析結果一覧

分析No.	出土地点	器種	時期	採取位置	顔料種類
1	イ4K1-12 4区トレンチ	鉢	大洞 C2 式	外面	ベンガラ
2		小型壺	晩期	外面	パイプ状ベンガラ
3	S1-1 G 区下層	小型壺?	晩期	内面	パイプ状ベンガラ
4	イ6K0-7 2区	深鉢	後期後半	外面	パイプ状ベンガラ
5	イ3-J5-3 No.13	浅鉢	大洞 C1 式	外面	ベンガラ
6	イ6J7-5	壺	大洞 C2 式	内面	ベンガラ
7	イ1J7-7 P51	小型壺		内面	パイプ状ベンガラ
8	イ4K1 表採	土偶	大洞 C1 式	右胸部	パイプ状ベンガラ
9	イ4J5-3 No.57	岩板		黒褐色面	ベンガラ
10	SI-02 床下土坑 SNo.29	敲石			パイプ状ベンガラ
11	S1-01-1 No.189	磨石			ベンガラ
12	イ6J7-6 No.182	磨石			パイプ状ベンガラ
13	イ4K0-17 No.24	磨石			パイプ状ベンガラ
14	イ4K1-15 No.325	香炉形	大洞 C1 式	外面	ベンガラ

5. おわりに

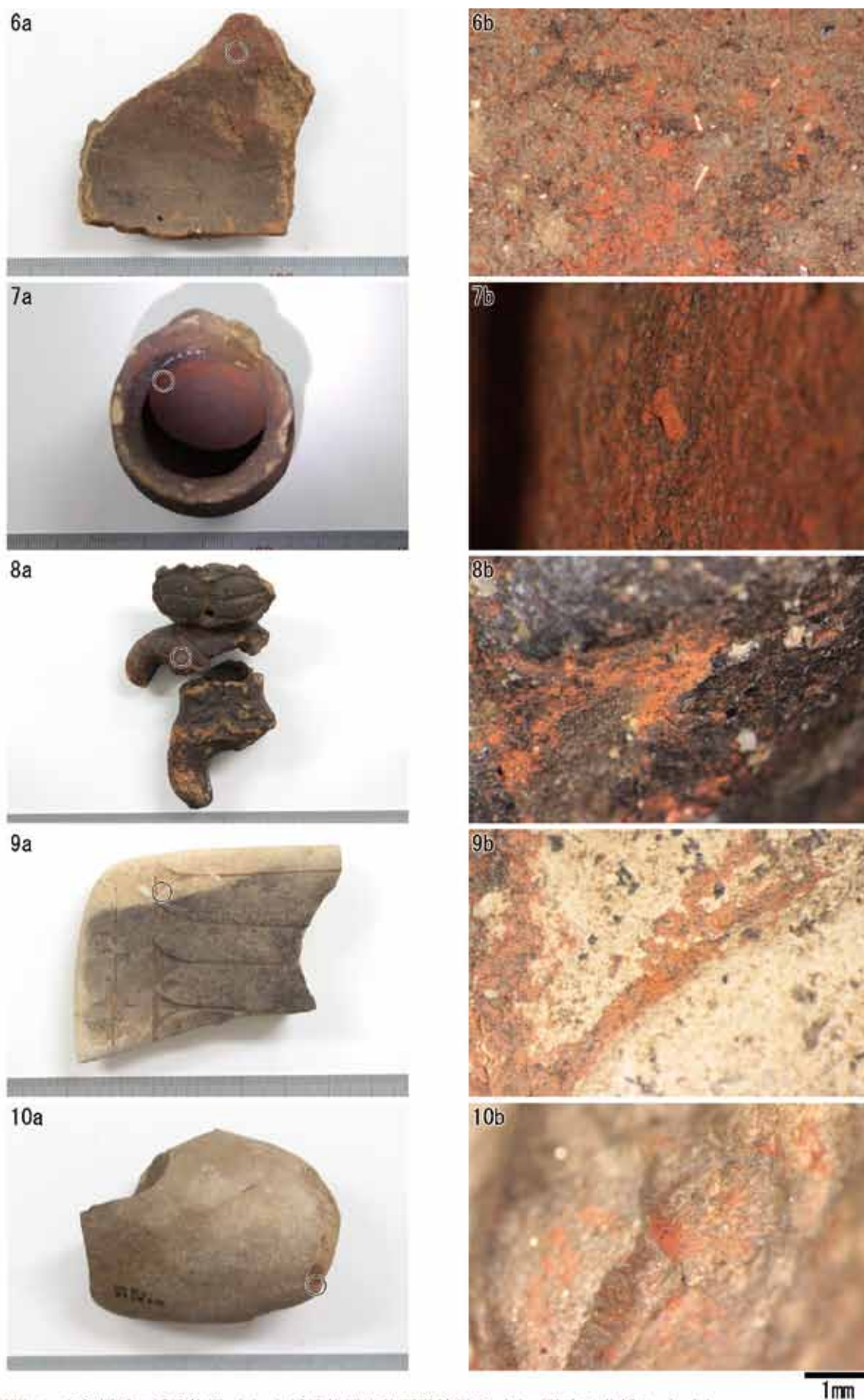
縄文時代後期後半～晩期の遺物 14 点に付着する赤色顔料について分析した結果、いずれも鉄が多く検出され、鉄(Ⅲ)による発色と推定された。顔料としてはベンガラにあたる。また、うち 8 点はパイプ状の粒子が確認され、いわゆるパイプ状ベンガラであった。

引用文献

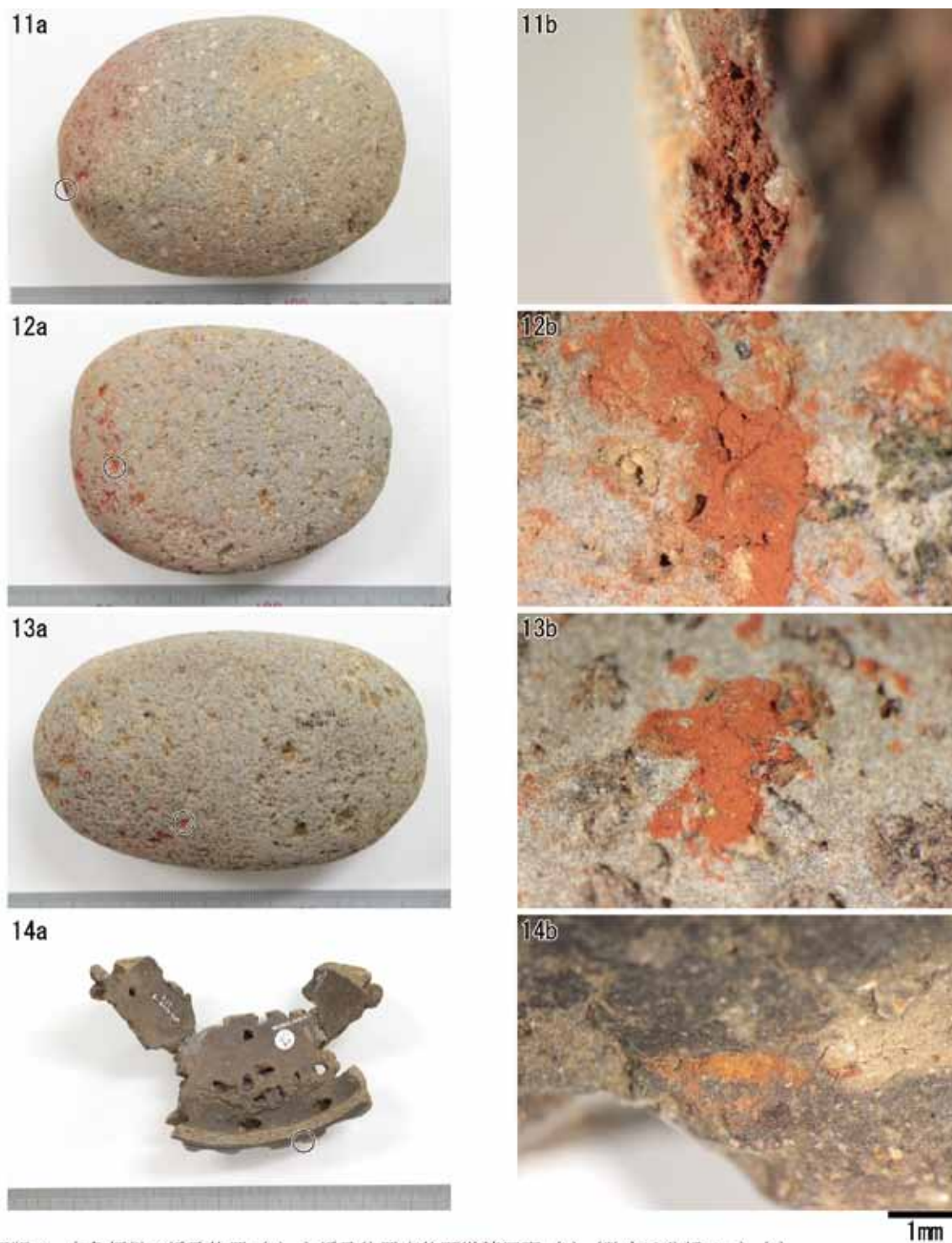
- 成瀬正和(1998) 縄文時代の赤色顔料 I—赤彩土器—. 考古学ジャーナル, 438, 10-14, ニューサイエンス社.
- 成瀬正和(2004) 正倉院宝物に用いられた無機顔料. 正倉院紀要, 26, 13-61, 宮内庁正倉院事務所.
- 岡田文男(1997) パイプ状ベンガラ粒子の復元. 日本文化財科学会第 14 回大会研究発表要旨集, 38-39.



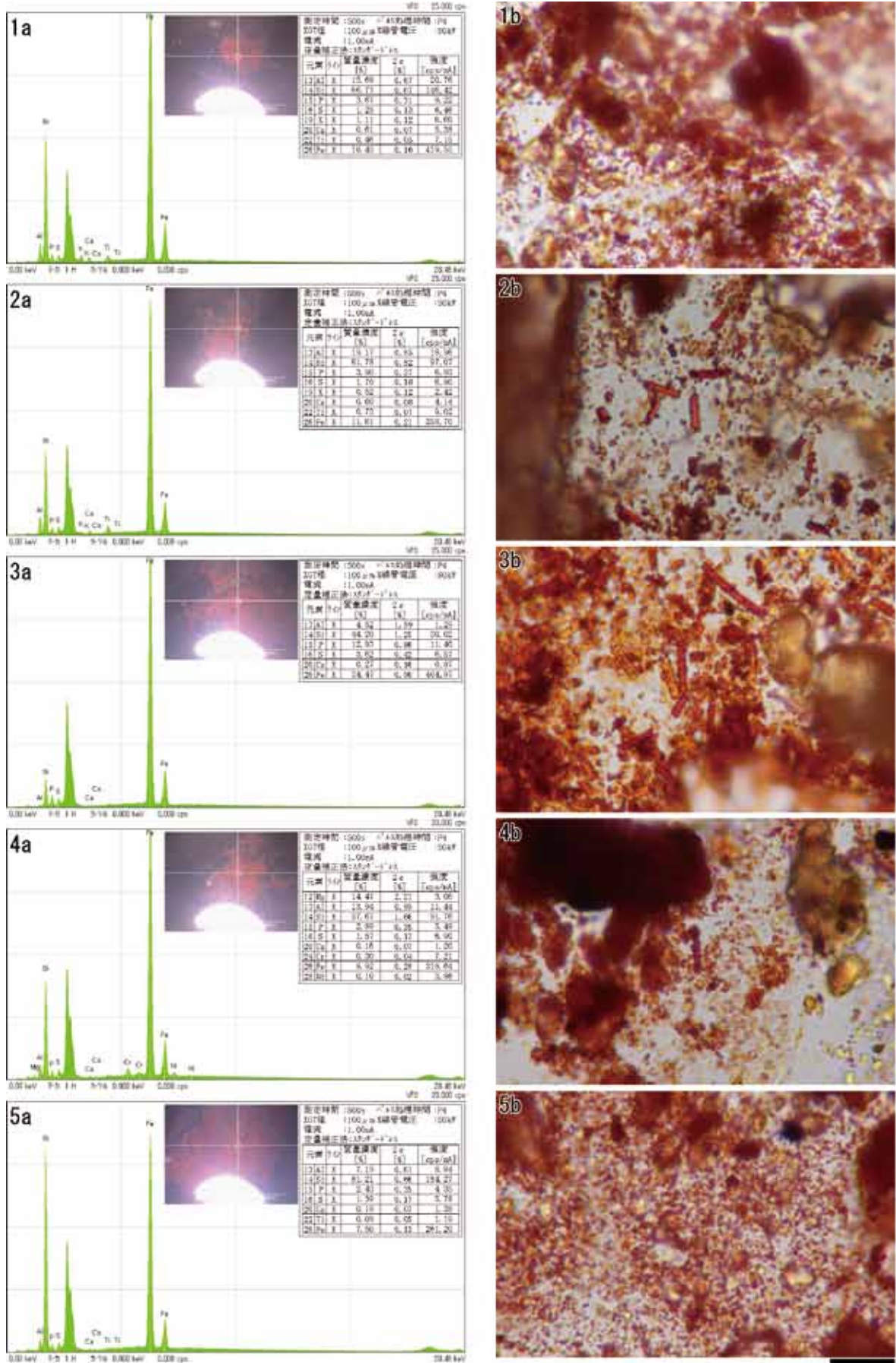
図版1 赤色顔料の採取位置 (a) と採取位置実体顕微鏡写真 (b) (数字は分析 No.) (1)



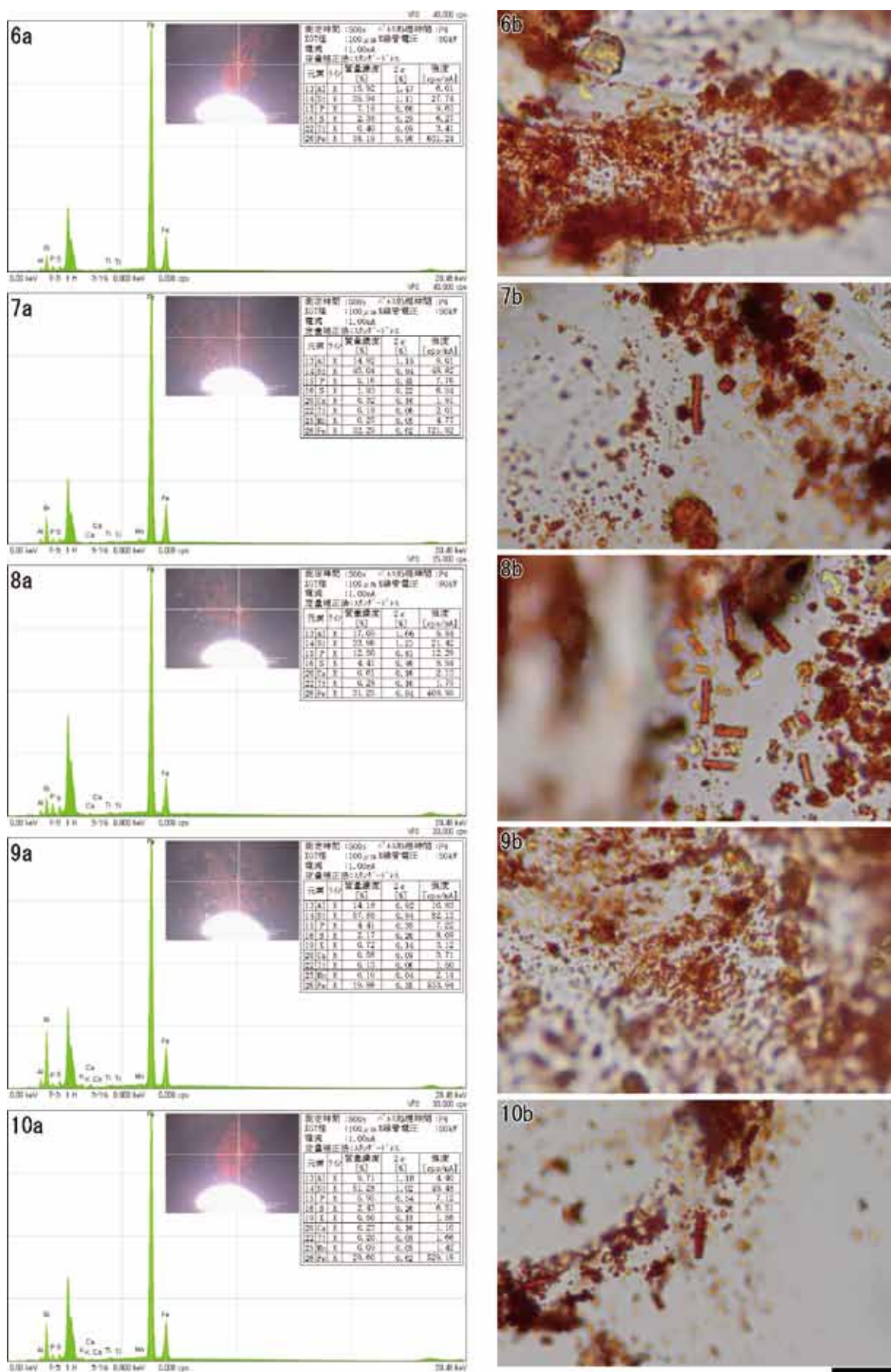
図版2 赤色顔料の採取位置 (a) と採取位置実体顕微鏡写真 (b) (数字は分析 No.) (2)



図版3 赤色顔料の採取位置 (a) と採取位置実体顕微鏡写真 (b) (数字は分析 No.) (3)

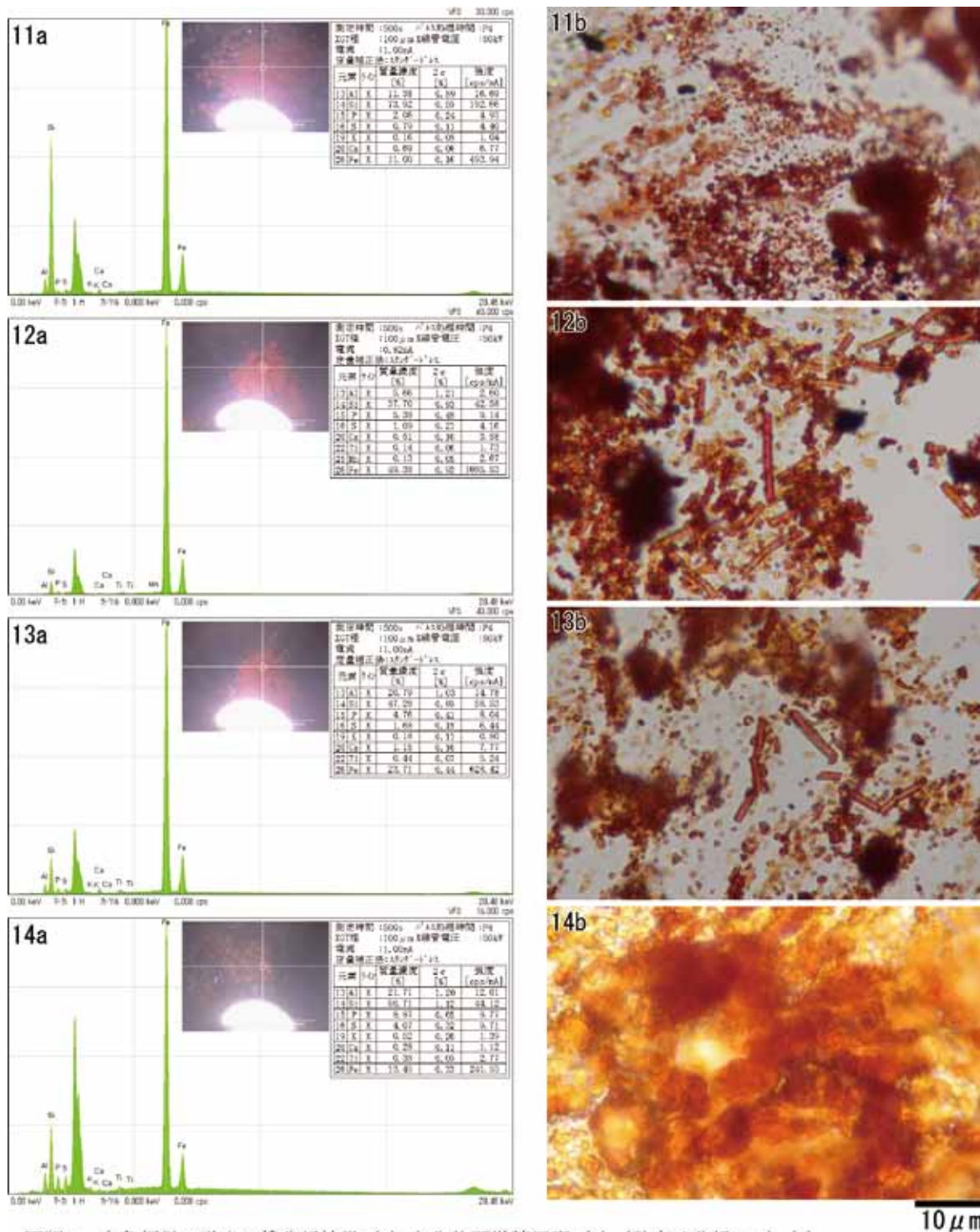


図版4 赤色顔料の蛍光X線分析結果 (a) と生物顕微鏡写真 (b) (数字は分析 No.) (1)



図版5 赤色顔料の蛍光X線分析結果(a)と生物顕微鏡写真(b)(数字は分析No.) (2)

10 μm



図版6 赤色顔料の蛍光X線分析結果 (a) と生物顕微鏡写真 (b) (数字は分析No.) (3)

第4節 刈沼遺跡出土石器等の岩石肉眼鑑定

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

宇都宮市刈沼遺跡では、縄文時代後期～晩期の住居址が検出されており、多量の石器、石製品が出土している。今回の調査では、それらの石器、石製品を中心として岩石肉眼鑑定を実施し、岩石や鉱物の産地について検討した。以下にその結果を報告する。

1. 試料

1. 試料

鑑定の対象とした試料は、石鏃 348 点、石鏃未製品～石鏃の可能性ある剥片類 230 点、打製石斧及び未製品類 357 点、磨製石斧未成品または二次加工のある剥片 1 点、縦長スクレイパー 6 点、石匙類 13 点、楔形石器類 21 点、石錐類 86 点、スクレイパー類 9 点、二次加工のある剥片類 164 点、使用痕のある剥片類 283 点、石核類 15 点、剥片類 26 点、擦切具 19 点、石錐 199 点、スタンプ形石器 1 点、特殊敲打具 11 点、磨石類 165 点、磨石・敲石 161 点、石剣・石棒 65 点、砥石類 26 点、石皿・多孔石類 40 点、石製円盤 1 点、石製品 10 点、石冠 4 点、石製装飾品 41 点、異形石器 1 点、岩版 4 点、不明石器 1 点、礫 3 点、剥離のある礫 2 点の計 2152 点である（編註 1）。

石鏃、石鏃未製品～石鏃の可能性ある剥片類（石鏃未成品）、石錐、二次加工のある剥片、使用痕のある剥片、打製石斧、打製石斧未成品、石錘、磨石・敲石類、石剣・石棒、石皿、石製装飾品などが主体となっており、それぞれ番号（仮番号）が付されている。

2. 分析方法

平成 29 年 1 月に当社技師二名が栃木県埋蔵文化財センターに赴き、岩石肉眼鑑定を実施した。岩石肉眼鑑定は、野外用ルーペを用いて行い、石材表面の鉱物や組織を観察し、五十嵐（2006）の分類基準に基づき、肉眼で鑑定できる範囲の岩石名を付した。なお、正確な岩石名の決定には、岩石薄片作成観察や、蛍光 X 線分析、X 線回折分析などを併用するが、今回は実施していないため、鑑定された岩石名は概査的な岩石名である点に留意されたい。

3. 結果

鑑定結果を計測一覧表に、器種別の石質組成を表 1 に示した。

器種の点数が 50 点以上を有する石鏃、石鏃未成品（当初分類）、剥片類、石剣・石棒、石錐、石錘、打製石斧、敲石・磨石については、石質別の組成を図 1～8 に示した。なお、剥片類は、剥片類、二次加工のある剥片類、使用痕のある剥片類、石鏃未製品～石鏃の可能性ある剥片類、スクレイパー類、石錐類、その他の機種不明な剥片石器、石核類、磨製石斧未成品または二次加工のある剥片、剥片の可能性のある機種について対象とした（編註 2）。

また、刈沼遺跡第二次調査および第三次調査で検出された遺物についても一部岩石肉眼鑑定を実施しているが、本報告では岩石の使用傾向について述べるにとどめ、表 1 の集計には含めていない。

4. 考察

(1) 刈沼遺跡

遺跡出土の石器や礫の由来としては、鬼怒川水系に分布する地質が考えられる。鬼怒川水系の地質は、20万分の1 地質図幅「宇都宮」(須藤ほか,1991) および 20万分の1 地質幅「日光」(山元ほか,2000)で概要を把握できる。

鬼怒川流域には、白亜系-古第三系、新第三系、第四紀火山などの地質が分布している。上流域では、前期白亜紀-古第三紀にかけて活動した珪長質火砕岩類が分布する。これらの活動時期は、前期白亜紀、後期白亜紀末から古第三紀前半の2つに分けられる。

前期白亜紀の珪長質火成岩類は、松木型花崗閃緑岩が栃木県足尾町に分布し、後期白亜紀末から古第三紀前半の珪長質火成岩類は、中禅寺湖周辺から南東部の栃木県塩谷町周辺に分布する奥日光流紋岩類と各地に分布する花崗岩、花崗閃緑岩、花崗斑岩および花崗閃緑斑岩などの貫入岩からなる。奥日光流紋岩類は膨大な流紋岩-デイサイト溶結火砕流堆積物からなり、流紋岩溶岩、礫岩および砂岩を伴っている。花崗岩や花崗閃緑岩の岩体としては、沢入型花崗岩が挙げられる。また、足尾山地や八溝山地には、砂岩、頁岩、チャートなどの古期堆積岩類から構成される足尾帯や八溝層群が広く分布している。

新第三系としては、下部中新統の地質が認められ、栃木県塩原町周辺から宇都宮市周辺にかけてと、群馬県沼田市周辺に分かれて分布する。この時代の地層は、大部分は珪長質の溶岩・火砕岩からなり、少量の玄武岩-安山岩火砕岩と非火山性の礫岩、砂岩および泥岩を伴っている。

第四紀火山は、鬼怒川流域に数多く分布し、女峰赤嶺火山、男体火山などの日光火山群や、高原山といった、玄武岩-安山岩-デイサイト溶岩・火砕岩を構成物とする火山が点在している。

以上の地質概略に基づき、岩石の大分類ごとに岩石や鉱物の産地について検討を行う。

閃緑岩、細粒黒雲母花崗岩、黒雲母花崗岩の深成岩類は、打製石斧、石錘、磨石・敲石に使用されている。足尾山地に分布する白亜紀の花崗岩類に由来すると考えられる。

半深成岩類は、打製石斧、打製石斧未成品、スタンプ形石器、特殊敲石、磨石・敲石などに使用されている。ドレライトは、細粒完晶質で、斜長石斑晶が寄木細工状に噛み合う岩相を示す。各所の地質に貫入して分布するため、産地の推定は困難である。閃緑斑岩は、閃緑岩に漸移する岩相を示し、閃緑岩は、足尾山地の花崗岩体に伴って分布すると考えられる。

火山岩類は、石錘、打製石斧、打製石斧未成品、磨石・敲石、石皿などに多用されており、新第三紀の岩相を示すものと、第四紀の岩相を示すものが混在している。スコリア質安山岩、スコリア質玄武岩は、やや発泡した組織を示す。第四紀火山の噴出物に由来すると考えられる。多孔質玄武岩、玄武岩、石英含有輝石安山岩、多孔質輝石安山岩、多孔質安山岩、輝石安山岩、安山岩、緻密質安山岩は、新第三紀の岩相を示し、緻密質であるものや緑色を呈するものが散見される。一方、第四紀に由来するものは、女峰赤嶺火山、男体火山などの日光火山群や、高原山に分布する地質に由来するとみられる。無斑晶質安山岩、無斑晶ガラス質安山岩、ガラス質安山岩について、同質と推定される石材は、鬼怒川流域において河床礫から検出されている(森嶋ほか,2006)。多孔質輝石デイサイト、輝石デイサイト、デイサイト、黒雲母流紋岩、流紋岩などは、新第三紀の岩相を示すものが多く、鬼怒川流域の新第三系に由来すると考えられる。ガラス質流紋岩は黒曜岩に類似した岩相を示し、黒曜岩は高原山に分布するものと類似した岩相を示す。しかし、黒曜岩の産地判定には肉眼観察のみでは困難であるため、成分分析を実施する必要がある。

火山砕屑岩類は、石鏃、打製石斧、打製石斧未成品、石錘、磨石・敲石などに使用されている。火山礫凝灰岩、

溶結凝灰岩、流紋岩質溶結凝灰岩、流紋岩質凝灰岩、デイサイト質凝灰岩は、レンズ状に潰れた軽石による溶結組織を示し、石英や長石類の鉱物片に富み、基質は脱ガラス化している岩相を示す。鬼怒川上流域の奥日光流紋岩類に由来すると考えられる。軽石凝灰岩、安山岩質凝灰岩、凝灰岩などは、鬼怒川水系の新第三紀の流紋岩-デイサイト質凝灰岩・溶岩に由来するとみられる。

堆積岩類は、石鏝、石鏝未成品、打製石斧、打製石斧未成品、石錘、二次加工のある剥片、使用痕のある剥片、石錘、砥石、石製装飾品などに多用されている。砂岩類、頁岩類、泥質チャート、チャートなどは足尾山地の古期堆積岩類に由来するものが大半であると考えられる。他方、新第三紀の岩相を示す砂岩類は、鬼怒川水系の新第三系に由来すると考えられる。一方、珪質頁岩は、東北日本の日本海側に分布する新第三紀の地質に由来すると考えられ、本遺跡には移入された可能性が指摘できる。

変質岩類は、石鏝、石鏝未成品、石錘、二次加工のある剥片、使用痕のある剥片などに使用されている。変質岩類は、赤色を呈する赤玉質な変質流紋岩が主要石材となっている。珪化岩および珪化流紋岩は、赤玉質なものが主体を示し、黄玉も僅かに混じっている。変質流紋岩、珪化岩および珪化流紋岩類は、鬼怒川上流域の新第三紀の流紋岩-デイサイトの変質部に由来すると考えられる。珪化砂岩、珪化頁岩は、源岩となる古期の砂岩や頁岩が珪化作用を被って生じた岩石であり、産地は上述の足尾山地や八溝山地に由来する可能性がある。

変成岩類は、打製石斧、打製石斧未成品、石錘、石剣・石棒などに使用されている。粘板岩類は、泥岩や頁岩の熱変成により生じている岩石で、足尾山地や八溝山地に分布する頁岩に伴って分布しており、遺跡周辺の河床礫や段丘礫から入手は可能である。ただし、宮城県石巻市雄勝地域に産する雄勝石と推定される石材も含まれており、当該地域の石材との比較検討が必要である。ホルンフェルス類は、泥質岩を源岩とし、接触変成作用により熱変成を被って生じた岩石で、足尾山地に分布する沢入花崗岩体の周縁部に分布する。緑色片岩、緑色粘板岩、雲母片岩および黒雲母片岩は、荒川上流域の埼玉県秩父郡長瀨に分布する三波川変成岩類に由来すると考えられる。角閃石片岩や角閃岩は、角閃石斑晶が定向配列を示す岩相を有しており、茨城県高貫地域に分布する日立変成岩類に由来すると考えられる。

鉱物は、石鏝、石鏝未成品、石錘、剥片、二次加工のある剥片、使用痕のある剥片などに使用されている。滑石は、石製装飾品に使用されている。滑石は、蛇紋岩が変質して生じた岩石で、蛇紋岩の産地が知られていない鬼怒川水系以遠の産地からの移入が推測される。本遺跡周辺の産地としては、埼玉県長瀨地区、茨城県常陸太田市が挙げられる。脈石英、石英、玉髄は、無色～白色を呈するものが主体となっており、同心円状構造を示すメノウ質のもの、良質なもの、被熱により、クラックが生じているものが微量含まれる。火山岩類や堆積岩類中の脈や晶洞部に生じる鉱物で、鬼怒川水系の新第三系に産地が推定される。

(2) 刈沼遺跡第二次調査

刈沼遺跡第二次調査の石器は、石錘、石皿、石皿兼多孔石、多孔石、磨石を鑑定し、比較対象とした。これら石器の石質は、輝石デイサイト、輝石安山岩、多孔質輝石安山岩、スコリア質安山岩、砂岩、変質安山岩に鑑定された。鑑定点数が多い石皿や多孔石には第四紀の岩相を示すものが多用されており、鬼怒川上流域の日光火山群や高原火山に由来する岩石が主体である。磨石や多孔石に僅かに使用されている砂岩は、古期堆積岩類の岩相を示し、足尾山地や八溝山地に分布する地質に由来する。

(3) 刈沼遺跡第三次調査

刈沼遺跡第三次調査の石鏃、打製石斧、磨製石斧、スクレイパー、礫器、二次加工のある剥片、特殊敲打具、独鈷石未成品を鑑定し、比較対象とした。閃緑岩、輝石安山岩、輝石デイサイト、泥質砂岩、珩質頁岩、粘板岩、堇青石ホルンフェルス、ホルンフェルス、脈石英、玉髓に鑑定されている。閃緑岩、輝石安山岩、輝石デイサイト、泥質砂岩、粘板岩、ホルンフェルス類、玉髓、脈石英は、鬼怒川流域の地質に由来すると考えられる。二次加工のある剥片には珩質頁岩が使用されている。珩質頁岩は、新第三紀の岩相を示し、東北日本の日本海側からの移入品とみられる。

引用文献

- 五十嵐俊雄,2006,考古資料の岩石学.パリオ・サーヴェイ株式会社,194p.
 森嶋秀一・布川嘉英・竹下欣宏,2006,栃木県域における黒色安山岩の産地に関する諸問題.栃木県立博物館研究紀要 一人文一,23,29-53.
 須藤定久・牧本 博・秦 光男・宇野沢 昭・滝沢文教・坂本 亨・駒澤正夫・広島俊男,1991,20万分の1地質図幅「宇都宮」.地質調査所.
 山元孝広・滝沢文教・高橋 浩・久保和也・駒澤正夫・広島俊男・須藤定久,2000,20万分の1地質図幅「日光」.産業総合研究所地質調査総合センター.

編註1：分析依頼時点では石器の機種分類について「石鏃または石錐未製品または二次加工ある剥片」のような機種を確定していない状態で委託分析をお願いしたため、各機種の点数、石質組成などに関わる記述及び表がかなり煩雑となった。本書編集段階で項目・機種について統合整理したものを、ここでの記述及び表として示した。

以上の状況から、当初分類を基にした記述からは、多少項目の捉え方等で整合しない部分がある。整理上の不手際の際して分析者にお詫び申し上げる。分析資料は一部機種を除き、実測図掲載資料を優先していることもあり、遺跡内における石質組成を検討するには、未掲載資料も含めた分析が望まれるが、これも課題となっている。

編註2：ここでの結果についても、原報告とは異なり、編集段階での統合した機種での記述に変更している。多少の混乱も生じており、例えば「石錐未製品または二次加工ある剥片またはスクレイパー」を「石錐類」に編集段階では統合したにも関わらず、分析者の記述では「石錐」ではない大分類としての「剥片類」に統合している。大きな傾向を見る上では問題ないとはいえ、注意が必要である。

表1. 機種別石質組成 (1)

機 種 岩石名 鉱物名など	石 鑑 類	石 鑑 未 製 品 へ 石 鑑 の 可 能 性 ある 剥 片 類	打 製 石 斧 類	磨 製 石 斧 未 製 品 ・ 二 次 加 工 の ある 剥 片	縦 長 ス ク レ イ バ ー	石 匙 類	楔 形 石 器 類	石 錐 類	ス ク レ イ バ ー 類	二 次 加 工 の ある 剥 片 類	使 用 痕 の ある 剥 片 類	石 核 類	剥 片 類	擦 切 具
深成岩類														
閃緑岩			1											
細粒黒雲母花崗岩														
黒雲母花崗岩														
半深成岩類														
ドレライト			7											
閃緑斑岩														
火山岩類														
スコリア質安山岩														
多孔質玄武岩														
スコリア質玄武岩														
玄武岩			1											
石英含有輝石安山岩														
多孔質輝石安山岩														
多孔質安山岩														
輝石安山岩	1		71							2			1	1
安山岩			4											
緻密質安山岩			2											
無斑晶質安山岩			2								1		1	
無斑晶ガラス質安山岩			2				1				2			
ガラス質安山岩											1			
多孔質輝石デイサイト														
輝石デイサイト	1		3								1			1
デイサイト	1		2			1		1			4	1	1	
黒雲母流紋岩										3				
多孔質流紋岩														
風化流紋岩										1				
流紋岩	8	12	1					7	5	13	19	2	2	1
ガラス質流紋岩											1			
黒曜岩	2	2												
火山碎屑岩類														
火山礫凝灰岩			1											
溶結凝灰岩			4											
流紋岩質溶結凝灰岩										1				
流紋岩質凝灰岩	3							1		1			1	
軽石凝灰岩														
デイサイト質凝灰岩			1								1			
安山岩質凝灰岩														
凝灰岩	1		1											
砂質凝灰岩														
堆積岩類														
凝灰質砂岩														
砂岩			15							1				5
泥質砂岩														
砂質頁岩	1		6						1		2			
シルト岩														
頁岩	41	18	36		1	5	4	15		38	66	2	5	1
泥質チャート	24	46	1			2	6	13	2	25	40	3	1	
珪質頁岩	12					1		6	1	1	3			
チャート	115	72		1			8	22		52	101	6	3	
風化チャート													1	
破碎状チャート													1	
変質岩類														
輝緑凝灰岩														
変質流紋岩	4	10					1	1		7	6		2	
変質デイサイト	1		1											1
変質安山岩														1
変質凝灰岩			1								1			
変質岩														
珪化岩	26	11					1	1		5	9		2	
珪化流紋岩	3	4								2	2			
珪化砂岩										1	1			
珪化頁岩	1									1				
変成岩類														
砂質粘板岩														
緑色粘板岩														
粘板岩			14											
砂岩ホルンフェルス			1											
蘆青石ホルンフェルス			11		2						1			
ホルンフェルス			168		3	2				1	1			8
緑色片岩														
角閃石片岩														
雲母片岩														
黒雲母片岩														
角閃岩														
鉱物														
滑石														
玉髓	103	55				2		19		9	20		3	
脈石英												1	1	
石英													1	
その他														
珪化木														
土製品														
合計	348	230	357	1	6	13	21	86	9	164	283	15	26	19

表2. 機種別石質組成(2)

機種 岩石名 鉱物名など	石錐	スタンブ形石器	特殊敲打具	磨石・敲石類	石剣・石棒	砥石類	石皿・多功石類	石製田盤	石製品	石製品・石冠	石製装飾品	異形石器	岩版	不明石器	礫	剥離のある礫	合計
深成岩類																	
閃緑岩																	1
細粒黒雲母花崗岩	2																2
黒雲母花崗岩				3													3
半深成岩類																	
ドライト			5	6													18
閃緑斑岩		1															1
火山岩類																	
スコリア質安山岩				1			3										4
多孔質玄武岩							1										1
スコリア質玄武岩				2			2										4
玄武岩				2													3
石英含有輝石安山岩	1																1
多孔質輝石安山岩					11		9										20
多孔質安山岩	1			2			1										4
輝石安山岩	39		1	88	1		20		7	1				1			234
安山岩				1													5
緻密質安山岩																	2
無斑晶質安山岩	6			1													11
無斑晶ガラス質安山岩																	5
ガラス質安山岩																	1
多孔質輝石デイサイト							1										1
輝石デイサイト	4		1	1		1				1							14
デイサイト	3			1													15
黒雲母流紋岩																1	3
多孔質流紋岩																	1
風化流紋岩																	1
流紋岩	7			2			1										80
ガラス質流紋岩																	1
黒曜岩																	4
火山砕屑岩類																	
火山礫凝灰岩			1	1													3
溶結凝灰岩				1													5
流紋岩質溶結凝灰岩	1					1											3
流紋岩質凝灰岩										2							8
軽石凝灰岩									1								1
デイサイト質凝灰岩																	2
安山岩質凝灰岩	1																1
凝灰岩										1							3
砂質凝灰岩	2																2
堆積岩類																	
凝灰質砂岩	1					5											6
砂岩	7			10		19	1	1	2				1				62
泥質砂岩	1			1													2
砂質頁岩	5			1						1		1					18
シルト岩													2				2
頁岩	76			7	9						25		1				350
泥質チャート				3						1							167
珪質頁岩																	24
チャート				2												1	383
風化チャート																	1
破砕状チャート																	1
変質岩類																	
輝緑凝灰岩					1												1
変質流紋岩				2												1	34
変質デイサイト				1											1		5
変質安山岩									1	1							3
変質凝灰岩																	2
変質岩											3						3
珪化岩				1							1				1		58
珪化流紋岩				1													12
珪化砂岩				1													3
珪化頁岩																	2
変成岩類																	
砂質粘板岩	3																3
緑色粘板岩						4											4
粘板岩	16					28				1							59
砂岩ホルンフェルス																	1
葦青石ホルンフェルス	2				2												18
ホルンフェルス	19		3	7	5						2						219
緑色片岩	1					12											13
角閃石片岩							1										1
雲母片岩						1											1
黒雲母片岩						2											2
角閃岩	1																1
鉱物											2						2
滑石																	212
玉髓				1													6
脈石英				4													1
石英																	1
その他											1						1
珪化木											1						1
土製品											1						1
合計	199	1	11	165	65	26	40	1	10	4	41	1	4	1	3	2	2152

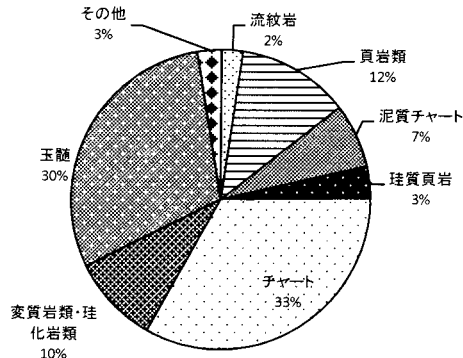


図1. 石質別組成(石鋏)

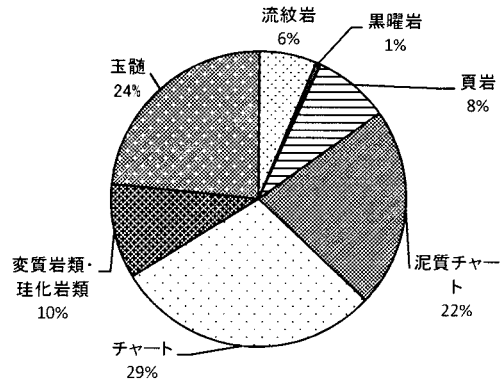


図2. 石質別組成(石鋏未成品)

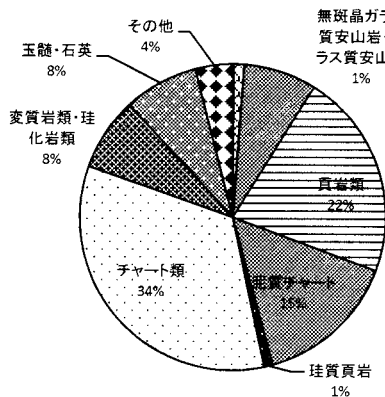


図3. 石質別組成(石剣)

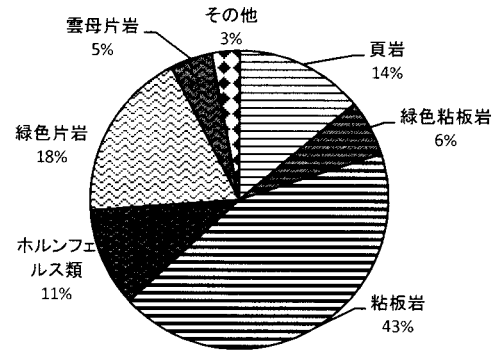


図4. 石質別組成(石剣・石棒)

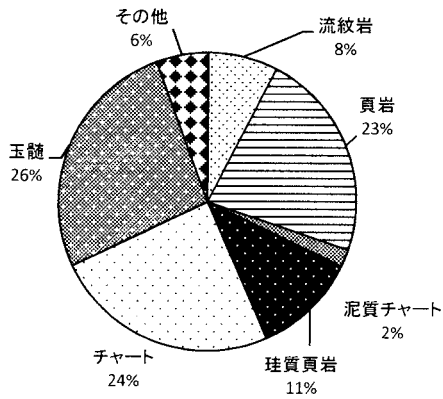


図5. 石質別組成(石錘)

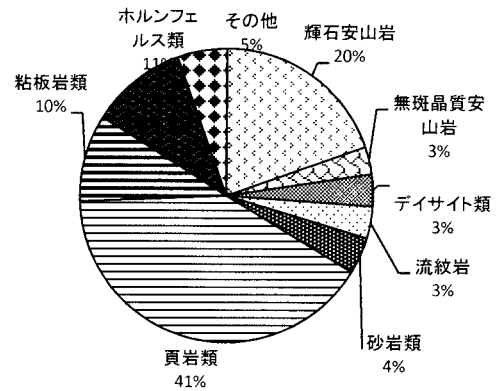


図6. 石質別組成(石錘)

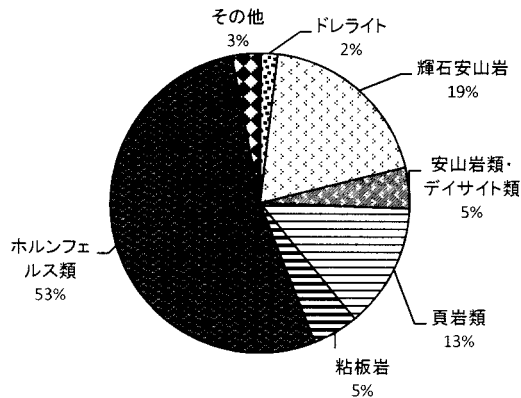


図7. 石質別組成(打製石斧)

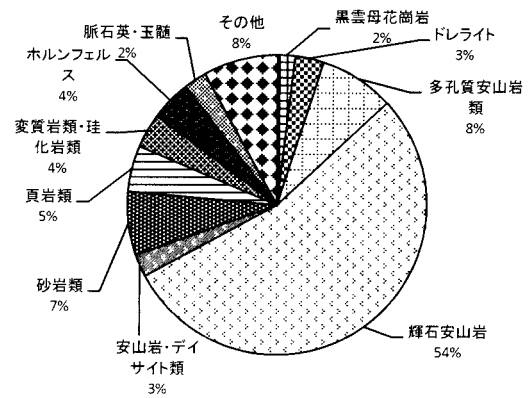


図8. 石質別組成(磨石・敲石)

図版1 岩石



1. 23-351 SI-03-6 磨石・敲石 III-3002
黒雲母花崗岩



2. 25 SD-12 イ0-J5 打製石斧 No.136 ドレライト



3. 134 イ6-J7-7 No.126 打製石斧
輝石安山岩(新第三紀)



4. 25-1155 イ6-K1-13 仮No.3077 多孔石
多孔質輝石安山岩(第四紀)



5. 606 イ2J6-1 楔形石器または二次加工のある剥片
無斑晶ガラス質安山岩



6. 70 イ4-J9-Sべ-1 No.34 打製石斧
溶結凝灰岩(奥日光)

図版2 岩石(2)



7. 26-1381 イ6-J9-2 石冠 No.3
軽石凝灰岩(新第三紀)



8. 26-1407 イ0-J6-4 砥石 No.14 砂岩(古期)



9. SI09 最下層 38 スクレイパー
珪質頁岩(新第三紀、縞状を示す)



10. イ5J9-3 228 使用痕のある剥片 429
泥質チャート



11. 26-1365 2 イ4-J5-3 No.57 岩版 シルト岩



12. 62 イ4-J8 最下層 打製石斧
堇青石ホルンフェルス

図版3 岩石(3)



13. 31 SI03-埋土 使用痕のある剥片 珪化岩(赤玉)



14. 8-17 11-J3-1 石棒74 No.70
粘板岩(雄勝石?)



15. 8-1 SI-01-1 石棒1 黒雲母片岩



16. 5-204 14-K2-6 No.329 石錘 236
角閃岩



17. 石鏃未製品 11 玉髓(被熱)



18 469 16J9-4 剥片 脈石英

第5節 刈沼遺跡出土磨製石斧及び独鈷石の石材について

荒川 竜一

はじめに

刈沼遺跡および刈沼向原遺跡から出土した石斧と独鈷石 238 資料について、主に実体顕微鏡を用いて石材の表面を観察し、岩石名を同定した（表 1）。また、実体顕微鏡で石材表面を撮影し、同定の根拠とした組織と今後検討を要する石材について図 1 に示した。岩石名については、被熱と風化による鉱物の変質や、変成鉱物同定に不確実性のある岩石名の後に？を付した。また、本報告は、磨製石斧および独鈷石の完成品と未製品の石材のみの同定結果によっている。

石材の構成

堆積岩：凝灰質砂岩（4）、緑色凝灰岩（2）、砂岩、含礫砂岩、泥岩、安山岩質凝灰岩、流紋岩質溶結凝灰岩（以上各 1）の計 11 資料で資料全体の 4.6%である。

火成岩：粗粒玄武岩（95）、玄武岩（54）、閃緑斑岩（17）、変朽安山岩（プロピライト）（8）、安山岩（5）、デイサイト（3）、閃緑岩（2）の計 184 資料で資料全体の 77.3%を占める。

変成岩：ホルンフェルス（15）、透閃石岩（11）、角閃岩（9）、緑色岩（3）、粘板岩（2）、緑簾石片麻岩？（2）、輝緑岩（1）の計 43 資料で資料全体の 18.1%である。

特徴的な石材

石材の構成をみると特に玄武岩と粗粒玄武岩とした資料は、合計 149 資料で資料全体の 62.3%を占める。玄武岩は、灰緑色から緑灰色を呈し、斑状組織で、班晶として自形から半自形の普通輝石、角閃石、斜長石および橄欖石などがみられた（図 1-1）。粗粒玄武岩は、灰緑色から緑灰色を呈し、オフィテック組織（ドレライト組織）で、班晶として普通輝石を伴うことが多い（図 1-2）。閃緑斑岩は、淡緑灰色から灰緑色を呈し、斑状組織で班晶として自形から半自形の斜長石、正長石、石英、角閃石、普通輝石を伴う（図 1-3）。これら三種の石材が火成岩石材の上位を占め、色調が灰緑色から緑灰色を呈するという共通性がある。なお、安山岩とした石材は、多孔質の普通輝石、紫蘇輝石を含む両輝石安山岩で、独鈷石とされた資料のみに使用されている。同様な石材は、遺跡西方の鬼怒川河川敷で容易に見出せる。ホルンフェルスとした 15 資料のうち 1 資料だけ他の資料と比較し変成度の高い資料があった（図 1-4）。大部分の斑状変晶は変質し溶脱しているが、やや透明な褐色を帯びた黄緑色の鉱物（灰礬柘榴石？）が見えることがある（図 1-4）。緑簾石片麻岩？（図 1-5）は、構成鉱物が異なるが角閃岩（図 1-6）と組織が類似する。褐色の鉱物は普通輝石？緑色の鉱物は緑簾石？、白色の鉱物は斜長石？、と判定したが、緑色の鉱物は内部の白色鉱物を覆うように見える。また、褐色の鉱物は角閃石である可能性もある。図 1-7 は、接合された磨製石斧である。接合部を境に著しく色調が異なり、これまでなら左側の石材はいわゆる「蛇紋岩」とされてきた。しかし、左右とも繊維状の透閃石からなり（図 1-8）、透閃石岩と同定した。左右の色調の違いは、磨製石斧破断後の被熱量の差であると推定される。

石材の産地について

刈沼遺跡は鬼怒川東岸に位置し、現河床まで約 1.2km の距離である。現河床に分布する礫で遺物を作製可能と思われる石材は、堆積岩で緑色凝灰岩、砂岩、含礫砂岩、泥岩、安山岩質凝灰岩、流紋岩質溶結凝灰岩、火成岩では、閃緑斑岩、変朽安山岩（プロピライト）、安山岩、デイサイト、閃緑岩。変成岩ではホルンフェルス（独鈷石第 351 図 2 を除く）、緑色岩、粘板岩、輝緑岩である。これまでに栃木県内から発見（報告）さ

表1. 磨製石斧・独鈷石石材分析表

試料	注記	挿図番号	仮No.	岩石名	表面の記載事項	鬼怒川原河床礫の有無	被熱	試料通し番号	画像データ
石斧	I 95	第306図01	95	透閃石岩	淡緑灰色、表面光沢あり、透閃石繊維状。	無	?	20170307006	IMG 9933
石斧	I 67	第306図02	67	透閃石岩	淡緑灰色、欠損部光沢劣化。	無	可能性あり	20170307007	IMG 9934
石斧	I 102	第306図03	102	安山岩質凝灰岩?	淡黄褐色、粒状の班晶(半透明、白、黒)、被熱後の風化著しい。	?	可能性あり	20170307010	IMG 9937
石斧	I 94	第306図04	94	粗粒玄武岩	淡黄褐色、粗粒なオフィテック組織。	?		20170307011	IMG 9938
石斧	I 45	第306図05	45	透閃石岩	側面に片状組織、火炎状のアルバイト、灰白色から淡褐色、光沢刃部で欠損。	無	可能性あり	20170307012	IMG 9939
石斧	II 118	第306図06	118	透閃石岩	接合部で色調変化、濃緑色部→蛇紋岩的部分、淡緑灰色に透明部(石英?)網目状の曹長石の内側、灰色部周辺が緑色に見える。	無	無	20170307014	IMG 9941
石斧	II 96	第306図07	96	透閃石岩	繊維状の灰緑色と淡緑灰色部の組み合わせ、刃部に茶褐色皮膜	無	可能性あり	20170307015	IMG 9942
石斧	II 2	第306図08	2	玄武岩	淡緑灰色、細粒のオフィテック組織、有色鉱物が集合して班晶状の粒をなす。	?	?	20170307018	IMG 9945
石斧	II 135	第306図09	135	透閃石岩	淡緑色～淡緑灰色、繊維状部は乳白色、全体に茶褐色の皮膜点在。	無	可能性あり	20170307021	IMG 9948
石斧	II 130	第306図10	130	角閃岩	緑灰色～黒色、片麻岩状の結晶配列、部分的に鉄錆色の皮膜、84,140と同一石材。	無	?	20170307023	IMG 9950
石斧	II 125	第306図11	125	透閃石岩	濃黒緑色～緑灰色、片面が大きく剥離し、側面にもひび、剥離面の表面は茶白色に変色&変質。	無	可能性あり	20170307026	IMG 9953
石斧	II 145	第306図12	145	粗粒玄武岩	淡緑灰色、新鮮な部分は緑灰色、捕獲岩的な部分あり、オフィテック組織+班晶、部分的に茶褐色皮膜あり。	?	可能性あり	20170307028	IMG 9955
石斧	II 106	第306図13	106	玄武岩?	緑灰色(破断面も同じ)、班晶<石英(非晶質)、石英、灰黒色半透明普通輝石	?	?	20170307030	IMG 9957
石斧	II 8	第306図14	8	緑色岩?	濃緑灰色～白色、部分的にオフィテック組織、片麻状。	可能性あり	?	20170307032	IMG 9959
石斧	II 82	第306図15	82	粗粒玄武岩	灰黒色、全体的に褐色に変色、オフィテック組織+白色、黒色班晶。	?	有	20170307034	IMG 9961
石斧	I 3	第306図16	3	ホルンフェルス(泥質)?	全体が赤褐色に変色、剥離面中茶色、シルトサイズの粒子、編状構造は葉層か?	可能性あり	有	20170307036	IMG 9963
石斧	II 109	第306図17	109	粗粒玄武岩	青灰色、部分的に茶～灰白色に変色、不定形班晶(長石)をより小さな班晶や石英が取り巻く。	?	有	20170307038	IMG 9965
石斧	II 128	第306図18	128	粗粒玄武岩	灰緑色、部分的に茶褐色に変色、オフィテック組織	?	有		
石斧	II 114	第306図19	114	透閃石岩	淡緑灰色、光沢。	無	?	20170308001	IMG 9972
石斧	II 43	第306図20	43	透閃石岩	淡乳白色、光沢に濁り。	無	有	20170308003	IMG 9974
石斧	III 83	第306図21	83	粗粒玄武岩	砂岩に似た粒子配列、赤褐色に変色、オフィテック組織	?	有	20170308006	IMG 9977
石斧	II 65	第306図22	65	粗粒玄武岩	班晶+オフィテック組織、光沢なし。	?	可能性あり	20170308008	IMG 9979
石斧	II 18	第306図23	18	粗粒玄武岩	黒緑色、光沢なし、班晶部風化粘土化、石英非晶質細粒状。	?	可能性あり	20170308010	IMG 9981
石斧	II 41	第307図01	41	安山岩(プロピライト)?	表面凹凸(片面)、茶褐色変色、短冊状の風化した班晶(緑がかった黒色)。	?	有	20170307002	IMG 9929
石斧	II 11	第307図02	11	ホルンフェルス(泥質)	泥質部黒色、シルト質部灰色、側面に部分的に鉄錆色。	可能性あり	有	20170307003	IMG 9930
石斧	II 59	第307図03	59	玄武岩	全体が赤褐色、細粒なオフィテック組織、短柱状班晶→黒、白、透明。	?	有?	20170307004	IMG 9931
石斧	II 81	第307図04	81	粗粒玄武岩	淡緑灰色、黒緑色班晶が散在。外観24に似る。やや粗粒なオフィテック組織。	?	?	20170307005	IMG 9932
石斧	III 124	第307図05	124	粗粒玄武岩	淡緑色、一部に赤褐色皮膜。針状から短冊状班晶、オフィテック組織、不定形灰褐色班晶。	?	有	20170306032	IMG 9927
石斧	III 51	第307図06	51	粗粒玄武岩	やや粗粒なオフィテック組織、表面光沢残、緑灰色から淡緑灰色。茶褐色皮膜あり。表面風化24に似る。	?	有	20170307001	IMG 9928
石斧	III 140	第307図07	140	角閃岩	緑灰色、剥離部薄い茶褐色皮膜。緑黒褐色角閃石定向配列	無	有	20170306031	IMG 9926
石斧	III 72	第307図08	72	粗粒玄武岩	表面赤褐色～灰緑色、黒色班晶の円形のくぼみ、(23, 37)142、斜長石班晶(白)	?	有	20170306029	IMG 9924
石斧	III 115	第307図09	115	粗粒玄武岩	表面赤褐色皮膜、断面灰緑褐色、拍子木状結晶→斜長石班晶。	?	有	20170306028	IMG 9923
石斧	III 141	第307図10	141	粗粒玄武岩	淡緑灰色～緑褐色、皮膜赤褐色、班晶<基質。	?	有	20170306027	IMG 9922
石斧	III 14	第307図11	14	粗粒玄武岩	光沢残、淡緑色、短冊状長石類、粒状不透明鉱物と長石類、オフィテック組織。	?	光沢一部残	20170306023	IMG 9918
石斧	III 9	第307図12	9	閃緑斑岩	淡緑色、班晶>基質、黒色→角閃石、斜長石→短冊状、淡緑色班晶あり。	可能性あり	表面褐色化	20170306024	IMG 9919
石斧	III 136	第307図13	136	粗粒玄武岩	淡緑褐色、褐色皮膜、針状黒色結晶→角閃石?灰褐色班晶	?	皮膜あり	20170306026	IMG 9921
石斧	III 105	第307図14	105	粗粒玄武岩	表面赤褐色化。凝灰岩的、オフィテック組織の残像?	?	風化著しい	20170306025	IMG 9920

第9章 理化学分析

試料	注記	挿図番号	仮No.	岩石名	表面の記載事項	鬼怒川原河床礫の有無	被熱	試料通し番号	画像データ
石斧	III 60	第308図01	60	緑簾石片麻岩	緑色点紋状の曹長石(緑泥石化)象牙色のK長石?, 薄茶色の曹長石の粒子からなる片岩, 基質部分ほとんど無し.	無	有?	20170306014	IMG 9909
石斧	III 5	第308図02	5	粗粒玄武岩	全体に赤褐色を帯びる. 微細粒状緑褐色, 砂岩に似た組織. 142に似る	?	有	20170306015	IMG 9910
石斧		第308図03	13	粗粒玄武岩	オフィテック組織+班晶(黒, 白)淡褐色, 短冊状班晶と粒状班晶(24に似る青味を帯びた班晶 but 凝灰岩的)	?	無	20170306016	IMG 9911
石斧		第308図04	71	流紋岩質溶結凝灰岩?	石英の班晶を含む. 基質が礫のように見える→溶結凝灰岩?	?	有	20170306017	IMG 9912
石斧	III 47	第308図05	47	安山岩(プロピライト)	茶褐色, 新鮮面黒褐色, 班晶<基質	可能性あり	有	20170306020	IMG 9915
石斧		第308図06	44	粗粒玄武岩	淡緑褐色, 班晶>基質	?	薄い錆色皮膜有	20170306022	IMG 9917
石斧	III 37	第309図01	37	安山岩(プロピライト)	表面赤褐色~淡緑色, 断面淡緑~緑褐色	可能性あり	有	20170306002	IMG 9896
石斧	III 84	第309図02	84	角閃岩	断面に錆色変色,	無	有?	20170306001	IMG 9895
石斧	III 144	第309図03	144	粗粒玄武岩	表面赤褐色, 断面緑灰色. オフィテック組織	?	有		
石斧	III 24	第309図04	24	粗粒玄武岩	やや粗粒なオフィテック組織, 黒色の班晶, 基質短冊状の斜長石, 表面一部変色	?	有?	20170306003	IMG 9897
石斧	未 34	第309図05	234	粗粒玄武岩	敲打痕, 石英, 長石類班晶細粒, 班晶>基質, 断面緑灰色	?	無	20170306005	IMG 9900
石斧		第309図06	133	安山岩(プロピライト)?	長石類班晶細粒, 班晶<基質, 断面緑褐色, 被熱による剥離, 変色顕著	?	有	20170306008	IMG 9903
石斧	III 90	第309図07	90	粗粒玄武岩	オフィテック組織+班晶(黒, 白)灰緑色, 細粒緻密	?	有	20170306006	IMG 9901
石斧	III 142	第309図08	142	粗粒玄武岩	細粒なオフィテック組織+班晶, 石英, 長石類班晶細粒, 短冊状微晶あり, 班晶>基質, 新鮮断面緑灰色.	?	有?	20170306010	IMG 9905
石斧	II 23	第309図09	23	安山岩(プロピライト)	斑状組織, 石英, 長石類, 角閃石, 基質>班晶, 班晶の溶脱.	可能性あり	無	20170306012	IMG 9907
石斧	III 66	第309図10	66	粗粒玄武岩	オフィテック組織+班晶(黒, 白)淡褐色, 短冊状	?	有	20170306013	IMG 9908
石斧	III 79	第310図01	79	粗粒玄武岩	淡緑灰色, 光沢なし, オフィテック組織+班晶, 班晶(角閃石, 斜長石)	?	?	20170308012	IMG 9983
石斧	III 74	第310図02	74	粗粒玄武岩	淡緑灰色, 光沢なし, 部分的に茶褐色皮膜, オフィテック組織+班晶(角閃石, 斜長石)	?	可能性あり	20170308014	IMG 9985
石斧	III 87	第310図03	87	粗粒玄武岩	淡緑灰色, 光沢なし, 全面に褐色皮膜, オフィテック組織+小班晶(角閃石, 斜長石)	?	可能性あり	20170308015	IMG 9986
石斧	III 78	第310図04	78	粗粒玄武岩	淡緑灰色, 光沢なし, オフィテック組織+小班晶(角閃石, 斜長石)	?	可能性あり	20170308016	IMG 9987
石斧	III 39	第310図05	39	粗粒玄武岩	淡緑灰色, 光沢なし, オフィテック組織+小班晶(角閃石, 斜長石)多数	?	可能性あり	20170308017	IMG 9988
石斧	III 100	第310図06	100	粗粒玄武岩	淡緑灰色, 光沢なし, 全面に褐色皮膜, オフィテック組織不明確, 小班晶(角閃石<斜長石)	?	可能性あり	20170308018	IMG 9989
石斧	III 21	第310図07	21	粗粒玄武岩	淡緑灰色, 光沢なし, 半面に赤褐色皮膜, オフィテック組織なし, 小班晶(角閃石<斜長石)	?	可能性あり	20170308019	IMG 9990
石斧	III 117	第310図08	117	粗粒玄武岩	淡緑灰色, 光沢なし, 部分的に茶褐色皮膜, オフィテック組織不明確, 小班晶(角閃石<斜長石)	?	可能性あり	20170308020	IMG 9991
石斧	III 1	第310図09	1	粗粒玄武岩	淡緑灰色, 光沢なし, 一部に茶褐色皮膜, オフィテック組織, 繊維状短柱(斜長石), 角閃石班晶.	?	可能性あり	20170308021	IMG 9992
石斧	III 97	第310図10	97	粗粒玄武岩	淡緑灰色, 光沢なし, 一部に茶褐色皮膜, オフィテック組織不明確, 班晶大小あり.	?	可能性あり	20170308022	IMG 9993
石斧	III 99	第310図11	99	粗粒玄武岩	淡緑灰色, 光沢なし, 全面に茶褐色皮膜, オフィテック組織+班晶, 小班晶(角閃石<斜長石).	?	可能性あり	20170308023	IMG 9994
石斧	III 16	第310図12	16	粗粒玄武岩	黒褐色, 光沢なし, 全面に茶褐色皮膜, 班晶+細粒班晶+石英, 長石類が多い.	?	可能性あり	20170308024	IMG 9995
石斧	未 2	第310図13	202	粗粒玄武岩	淡緑灰色, 光沢なし, 一部に茶褐色皮膜, オフィテック組織, 針状の長石班晶多い.	?	可能性あり	20170308027	IMG 9998
石斧	III 62	第310図14	62	安山岩(プロピライト)	淡緑灰色, 光沢なし, 一部に茶褐色皮膜, 斑状組織(正長石), 石基非晶質.	可能性あり	可能性あり	20170308026	IMG 9997
石斧	III 25	第310図15	25	粗粒玄武岩	淡緑灰色, 光沢なし, 一部に茶褐色皮膜, 班晶+非晶質(角閃石>斜長石)捕獲岩的班晶あり.	?	可能性あり	20170308025	IMG 9996
石斧	III 139	第311図01	139	粗粒玄武岩	緑灰色, 光沢なし, 一部に茶褐色皮膜, 破断部赤褐色に変色. 微細なオフィテック組織, 針状の角閃石班晶多い.	?	可能性あり	20170308028	IMG 9999
石斧	III 64	第311図02	64	安山岩(プロピライト)	淡灰緑色, 光沢なし, 一部に赤褐色変色, 斑状組織. 正長石(白色)の班晶多数, 石英, 角閃石の小班晶あり.	可能性あり	有	20170308030	IMG 10002

第5節 刈沼遺跡出土磨製石斧及び独鈷石の石材について

試料	注記	挿図番号	仮No.	岩石名	表面の記載事項	鬼怒川原河床礫の有無	被熱	試料通し番号	画像データ
石斧	III 80	第311 図03	80	粗粒玄武岩	淡緑灰色、部分的に茶褐色に変色。オフィテック組織、班晶橄欖石、斜長石。	?	可能性あり		
石斧	III 42	第311 図04	42	玄武岩	緑灰色、全体が茶褐色を帯びる。斑状組織、班晶は普通輝石、角閃石	?	可能性あり		
石斧	III 110	第311 図05	110	透閃石岩	淡茶褐色から黒褐色の流理様の縞がある。蛇紋岩様の部分あり。剥離部あり。	無	有	20170308031	IMG 10003
石斧	III 17	第311 図06	17	粗粒玄武岩	緑灰色、光沢なし、刃部に赤褐色皮膜。角閃石班晶稀、長石粒状連鎖+角閃石針状班晶	?	可能性あり	20170308032	IMG 10004
石斧	IV 57	第311 図07	57	緑簾石片岩?	淡緑灰色、部分的に光沢残、短冊状斜長石(白)と緑簾石?(透明緑)のオフィテック組織。	無	可能性あり	20170308033	IMG 10005
石斧	III 126	第311 図08	126	安山岩(プロピライト)?	淡緑灰~赤褐色、褐色。光沢なし、角閃石不定形班晶あり、長石班晶は溶脱か?斑状組織。	?	有	20170308034	IMG 10006
石斧	III 58	第311 図09	58	閃緑斑岩	灰緑色(粗粒)、斑状組織、石基非晶質、班晶 正長石、斜長石、角閃石。	可能性あり	?	20170313001	IMG 10019
石斧	III 38	第311 図10	38	粗粒玄武岩	淡緑灰色、光沢若干あり、正長石の班晶大、斜長石班晶小。捕獲岩様の角閃石班晶を含む(濃緑色)。オフィテック組織	?	?	20170313003	IMG 10021
石斧	III 116	第311 図11	116	粗粒玄武岩	緑灰色、片面鉄錆色皮膜あり、皮膜形成後敲打整形か? オフィテック組織、角閃石班晶>長石類	?	有	20170313009	IMG 10027
石斧	III 6	第311 図12	6	含礫砂岩	黒褐色、全体に茶褐色の皮膜、鉱物粒子が不定形(碎屑物)、基質支持の含礫砂岩?	可能性あり	可能性あり	20170313007	IMG 10025
石斧	III 26	第311 図13	26	粗粒玄武岩	淡緑灰色、光沢なし、両面に部分的に赤褐色皮膜、オフィテック組織。	?	有	20170313005	IMG 10023
石斧	未24	第312 図01	224	玄武岩	オリープ色(黄緑褐色)、オフィテック組織	?	?	20170313011	IMG 10029
石斧	未22	第312 図02	222	デイサイト?	黄灰色、有色鉱物針~短冊状班晶、無色鉱物円~楕円の班晶、石基灰色非晶質、角閃石の班晶	可能性あり	?	20170313013	IMG 10031
石斧	未30	第312 図03	230	粗粒玄武岩?	淡灰緑色、粒状結晶部+オフィテック組織、粒子状班晶→碎屑粒子?	?	無	20170313017	IMG 10035
石斧	未19+26	第312 図04	219	緑色岩?	緑灰色、部分的に鉄錆色の皮膜、	?	無	20170313015	IMG 10033
石斧	未19+26	第312 図04	226	緑色岩?	緑灰色、部分的に鉄錆色の皮膜、	?		20170313016	IMG 10034
石斧	未10	第312 図05	210	ホルンフェルス(泥質)	黒褐色、黒雲母ホルンフェルス、変成度高い?	可能性あり	?	20170313019	IMG 10037
石斧	未3	第313 図01	203	粗粒玄武岩?	緑灰色、斑状に色がこなる。緑色の鉱物は緑簾石?基本的にはオフィテック組織。緑泥石化作用?	?	?	20170313037	IMG 10055
石斧	未52	第313 図02	252	不明		?	?		
石斧	未20	第313 図03	220	玄武岩?	暗緑色、鉄錆色の部分あり(班晶の表面)、班晶は細粒・粒状で石基は微晶質。	?	?	20170313039	IMG 10057
石斧	未13	第313 図04	213	粗粒玄武岩	緑灰色、細粒のオフィテック組織?(粒状)	?	?	20170313031	IMG 10049
石斧	未12	第313 図05	212	粗粒玄武岩	淡緑灰色、角閃石、オフィテック組織、部分的に鉄錆色皮膜	?	?可能性あり	20170313033	IMG 10051
石斧	未45	第313 図06	245	粗粒玄武岩?	全体が赤褐色、粒状結晶が多く針状から短冊状結晶は目立たない。	?	有	20170313035	IMG 10053
石斧	未47	第313 図07	247	粗粒玄武岩	緑灰色、片面に茶褐色皮膜のスポット、オフィテック組織(角閃石優勢)。	?	可能性あり	20170313029	IMG 10047
石斧	未21	第313 図08	221	閃緑斑岩	灰緑色、班晶大。石英班晶。斑状組織	可能性あり	?	20170313027	IMG 10045
石斧	未53	第313 図09	253	粗粒玄武岩	灰緑色、茶褐色皮膜一部に有り、細粒のオフィテック組織。	?	可能性あり	20170313021	IMG 10039
石斧	未49	第313 図10	249	粗粒玄武岩	緑灰色、粗粒なオフィテック組織(斜長石班晶化)	?	?	20170313025	IMG 10043
石斧	未46	第313 図11	246	緑色凝灰岩	緑灰~灰緑色まだら状、部分的に茶褐色皮膜あり、K長石班晶、外来岩片(捕獲岩?)	可能性あり	可能性あり	20170313023	IMG 10041
石斧	未50	第314 図01	250	粗粒玄武岩	淡灰緑色、全体が赤褐色化。捕獲岩(斑状組織)、やや粒状のオフィテック組織。	?	有	20170314001	IMG 10065
石斧	未44	第314 図02	44	粗粒玄武岩	淡緑灰色、長径2~5mmの緑黒色班晶(岩片?劈開なし、珪質岩?), 表面薄い茶褐色変色	?	可能性あり	20170314003	IMG 10067
石斧	未5	第314 図03	205	玄武岩?	淡緑灰色、細粒のオフィテック組織か?茶褐色皮膜あり。	?	?	20170313043	IMG 10061
石斧	未1	第314 図04	201	粗粒玄武岩	淡灰緑色、オフィテック組織、鉄錆色皮膜あり。	?	可能性あり	20170313045	IMG 10063
石斧	未14	第314 図05	214	閃緑斑岩	淡緑灰色、斑状組織、班晶は角閃石(柱状)、正長石(自形・角閃石 or 斜長石を伴う)、石英(小粒)、石基は緑色非晶質。	可能性あり	?	20170313041	IMG 10059
石斧	未16	第314 図06	216	不明					
石斧	未48	第315 図01	248	粗粒玄武岩	淡灰緑色、斑状組織(石基はオフィテック組織)	?	?	20170314019	IMG 10083
石斧	未42	第315 図02	242	粗粒玄武岩	淡灰緑色、オフィテック組織中に班晶(橄欖石、長石類(自形))	?	?	20170314017	IMG 10081

第9章 理化学分析

試料	注記	挿図番号	仮No.	岩石名	表面の記載事項	鬼怒川原河床礫の有無	被熱	試料通し番号	画像データ
石斧	未41	第315図03	241	粗粒玄武岩	淡緑灰色，オフィテック組織，班晶として橄欖石	?	?	20170314015	IMG 10079
石斧	未51	第316図01	251	ホルンフェルス	茶褐色，表面に黒色スポット(重晶石)多数	可能性あり	可能性あり	20170314013	IMG 10077
石斧	未36	第316図02	236	閃緑斑岩	緑灰色，斑状組織，班晶は他形が多い。17に似る。班晶(斜長石)中に橄欖石が含まれる，一部に褐色皮膜	可能性あり	可能性あり	20170314011	IMG 10075
石斧	未35	第316図03	235	粗粒玄武岩	淡緑灰色，橄欖石班晶あり，オフィテック組織微弱，斑状組織，一部に鉄錆色皮膜	?	可能性あり	20170314009	IMG 10073
石斧	UF24	第316図04	UF24	粗粒玄武岩	淡緑灰色，橄欖石班晶あり，オフィテック組織中に小班晶を含む	?	?	20170314007	IMG 10071
独鈷石	9-16	第347図1		ホルンフェルス(泥質)	緑黒色，白色の点紋(重晶石)あり。黄鉄鉱の仮晶，剥離面あり	可能性あり	有	20170322043	IMG 10303
独鈷石	9-2	第347図2		角閃岩	緑灰色から黒色。黒褐色から茶褐色の変色部あり。角閃石<斜長石	無	有	20170322045	IMG 10305
独鈷石	9-22	第347図3		閃緑斑岩	全体が茶褐色から赤褐色に変色，剥離あり(焼成)。斑状組織，班晶(普通輝石，角閃石，斜長石)	可能性あり	有	20170322047	IMG 10307
独鈷石	9-10	第347図4		角閃岩?	灰白色(石基:斜長石)と黒色(捕獲岩?:橄欖石班晶あり，班晶:普通輝石，角閃石)他の班晶には石英，斜長石あり	無	?	20170322049	IMG 10309
独鈷石	9-25	第347図5		閃緑岩	緑灰色，一部茶褐色変色。ほぼ完晶質，等粒状組織。班晶(斜長石，正長石，石英，普通輝石，角閃石)	可能性あり	可能性あり	20170322053	IMG 10313
独鈷石	9-6	第347図6		粗粒玄武岩	灰緑色，一部茶褐色，焼成による剥離あり。オフィテック組織(粗粒)，班晶(普通輝石，角閃石)	?	有	20170322051	IMG 10311
独鈷石	9-15	第348図1		閃緑岩	緑白色，破断面に茶褐色変色部あり，等粒状組織，完晶質だが班晶は小，斜長石，普通輝石，角閃石。	可能性あり	有	20170322068	IMG 10328
独鈷石	9-3	第348図2		玄武岩	灰緑色，部分的に茶褐色に変色，剥離あり。オフィテック組織，斜長石の短柱状班晶と角閃石の粒状班晶	?	有	20170327005	IMG 10334
独鈷石	9-4	第348図3		ホルンフェルス(泥質)	全面が赤褐色に変色，表面に雲母，点紋様の黒色スポット点在	可能性あり	有	20170327001	IMG 10330
独鈷石	9-8	第348図4		ホルンフェルス(泥質)	灰褐色から黒褐色，一部赤褐色，剥離あり。泥岩，表面に黒色スポット。	可能性あり	有	20170327007	IMG 10336
独鈷石	9-17	第348図5		玄武岩	灰緑色，片面赤褐色，斑状組織，石基に光沢あり。	?	有	20170327009	IMG 10338
独鈷石	9-5	第348図6		玄武岩?	部分的に緑灰色，赤褐色に変色，灰緑色，斑状組織?橄欖石玄武岩?	?	有	20170327003	IMG 10332
独鈷石	9-27	第348図7		粗粒玄武岩	緑灰色，黒色の班晶? 一部表面が茶褐色に変色。茶褐色の斜方輝石の班晶。石基は斜長石短柱状班晶あり	?	有	20170327011	IMG 10340
独鈷石	9-11	第349図1		粗粒玄武岩	緑灰色，全体が褐色を帯びる(中央部が特に)。オフィテック組織，班晶(斜長石，橄欖石(班晶:集合体)，普通輝石(班晶と微晶)，角閃石)	?	有	20170322066	IMG 10326
独鈷石	9-12	第349図2		玄武岩	緑灰色，一部茶褐色，赤褐色変色あり。オフィテック組織(細粒)，班晶(斜長石，緑泥石)，普通輝石の半円形粒状班晶。	?	有	20170322056	IMG 10316
独鈷石	9-30	第349図3		玄武岩	灰緑色，全体的に褐色を帯びる。剥離あり。細粒なオフィテック組織。班晶斜長石，普通輝石(粒状)，角閃石	?	有	20170322064	IMG 10324
独鈷石	9-23	第349図4		粗粒玄武岩	灰緑色，オフィテック組織ないし等粒状組織，班晶(斜長石，普通輝石，角閃石)，角閃石一部緑泥石化。	?	?	20170322058	IMG 10318
独鈷石	9-3	第349図5		輝緑岩?	灰緑色，表面一部茶褐色から赤褐色に変色，斑状組織，石基一面に白色の微晶。	可能性あり	有	20170322062	IMG 10322
独鈷石	9-24	第349図6		安山岩	茶褐色，多孔質，斑状組織，斜長石班晶(max 8mm)，普通輝石。	可能性あり	?	20170322060	IMG 10320
独鈷石	9-7	第350図1		安山岩	灰色，全体が茶褐色を帯びる。斑状組織，班晶(斜長石，普通輝石，角閃石)。	可能性あり	有	20170322041	IMG 10301
独鈷石	9-13	第350図2		安山岩	黒褐色。斑状組織，班晶(斜長石，普通輝石，角閃石)。	可能性あり	可能性あり	20170322035	IMG 10295
独鈷石	9-28	第350図3		玄武岩	緑灰色，一部茶褐色。斑状組織，班晶(普通輝石(他形が多い)，斜長石)。	?	有	20170322039	IMG 10299
独鈷石	9-32	第350図4		玄武岩	灰緑色，斑状組織，班晶(斜長石，普通輝石)。部分的に茶褐色を帯びる。	?	有	20170322037	IMG 10297
独鈷石	9-21	第350図5		安山岩	灰色，斑状組織。班晶(普通，紫蘇輝石，斜長石)。	可能性あり	?	20170322033	IMG 10293
独鈷石	9-29	第350図6		粗粒玄武岩	淡灰緑色，全体的に茶褐色を帯びる。オフィテック組織	?	有	20170322031	IMG 10291
独鈷石	9-18	第350図7		粗粒玄武岩	淡灰緑色，断面とくびれ部の一部茶褐色。オフィテック組織，捕獲岩的な楕円形岩片?あり。	?	有	20170322029	IMG 10289
独鈷石		第351図1		粗粒玄武岩	灰緑色。敲打の面が茶褐色。オフィテック組織，班晶普通輝石，橄欖石。	?	有	20170327013	IMG 10342
独鈷石		第351図2		玄武岩	灰緑色，一部茶褐色，剥離あり。斑状組織，普通輝石の班晶，石基粒状から非晶質	?	有	20170327015	IMG 10344

第5節 刈沼遺跡出土磨製石斧及び独鈷石の石材について

試料	注記	挿図番号	版No.	岩石名	表面の記載事項	鬼怒川原河床礫の有無	被熱	試料通し番号	画像データ
独鈷石	9-34	第351図3		玄武岩	緑灰色、一部に茶褐色変色部、オフィテック組織(細粒)班晶普通輝石、	?	有	20170327017	IMG 10346
独鈷石	9-26	第351図4		粗粒玄武岩	表面茶褐色から赤褐色に変色、オフィテック組織(粗粒)班晶は脱落? 普通輝石、橄欖石か。	?	有	20170327019	IMG 10348
独鈷石	9-9	第351図5		粗粒玄武岩	表面茶褐色から赤褐色、オフィテック組織(やや粗粒)普通輝石のみ残存。	?	有	20170327021	IMG 10350
独鈷石	9-20	第351図6		粗粒玄武岩	灰緑色、オフィテック組織、班晶、普通輝石、橄欖石、斜長石。全体的に薄い赤褐色変色が見られる。	?			IMG 10352
独鈷石		第351図7		ホルンフェルス(砂質)	赤褐色を帯びた紫色、点紋状の班晶は茶褐色から赤褐色、灰礬柘榴石か?	?			IMG 10354
独鈷石	9-14	第352図1		安山岩	茶褐色、発泡痕多数、斑状組織、班晶(斜長石、石英、斜方&普通輝石)	可能性あり	?	20170322027	IMG 10287
独鈷石	9-33	第352図2		粗粒玄武岩	灰緑色、部分的に茶褐色。細粒班晶(斑状組織) > オフィテック組織。	?	可能性あり	20170322021	IMG 10281
独鈷石	9-1	第352図3		粗粒玄武岩	灰緑色、全体的に茶褐色を帯びる。微細なオフィテック組織、粒状班晶(普通輝石?)あり。	?	有	20170322025	IMG 10285
独鈷石		第352図4		粗粒玄武岩	淡緑灰色、破断面茶褐色部あり。オフィテック組織、斜長石短冊状班晶まれにあり。	?	有	20170322023	IMG 10283
石斧	未47		247	凝灰質砂岩?	暗灰色、碎屑粒子(長石、石英類)、グレインサポート	?	?	20170321069	IMG 10247
石斧	未17		217	閃緑斑岩	淡緑灰色、斑状組織、班晶は角閃石(柱状)、正長石(自形・角閃石 or 斜長石を伴う)、石英(小粒)、石基は緑色非晶質。	?	?	20170314005	IMG 10069
石斧	II 30		30	粗粒玄武岩?	黒褐色、茶褐色皮膜あり。短冊状長石の班晶→オフィテック組織のように見える。	無	有	20170314021	IMG 10085
石斧	III 7		7	玄武岩	淡褐色、全体が赤褐色化(3~6mm)、斑状組織、橄欖石あり。石基細粒非晶質。	?	有	20170314040	IMG 10104
石斧	III 10		10	粗粒玄武岩	表面黒褐色、断面黒緑色、数mmの班晶(橄欖石)あり、長石類短冊状から短冊状、斑状組織。	?	有	20170314042	IMG 10106
石斧	III 12		12	玄武岩	全体茶褐色、一部黒色、斑状組織、短柱~針状班晶、石基細粒から粗粒。	?	有	20170314044	IMG 10108
石斧	III 29		29	粗粒玄武岩	褐色、長石類の自形班晶、橄欖石の班晶あり。	無	有	20170314024	IMG 10088
石斧	III 28		28	玄武岩?	黒褐色、石基細粒、鉛色に変色した班晶(橄欖石?)。	?	可能性あり	20170314026	IMG 10090
石斧	III 15		15	粘板岩	黒緑色、側面に葉理、泥質。	有	?	20170314028	IMG 10092
石斧	III 19		19	ホルンフェルス(泥質)	全体的に赤褐色、表面全体にヒビ、長円形班晶(粘土化)石英粒子、雲母?(班晶中)	有	有	20170314030	IMG 10094
石斧	III 20		20	粗粒玄武岩	緑褐色、全体的に赤味を帯びる。粒状班晶。	?	有	20170314032	IMG 10096
石斧	III 22		22	玄武岩	灰緑色、部分的に赤褐色。橄欖石班晶、石基細粒一部短冊状。	?	有	20170314034	IMG 10098
石斧	III 27		27	玄武岩	淡緑褐色、全体的に赤褐色を帯びる。石基細粒一部短冊状。	?	有	20170314036	IMG 10100
石斧	III 4		4	ホルンフェルス(泥質)	黒褐色、雲母多数、泥質、一部赤褐色変色。	無	有	20170314038	IMG 10102
石斧	III 52		52	玄武岩	全体が赤褐色、一部褐色。斑状組織、班晶 橄欖石? 短柱状角閃石、石基細粒非晶質	?	有	20170314046	IMG 10110
石斧	II 50		50	玄武岩	淡緑灰色、斑状組織、班晶(橄欖石、斜長石)。石基非晶質。	?	?	20170315007	IMG 10129
石斧	III 32		32	粗粒玄武岩	茶褐色、一部黒色、破断面一部緑灰色。オフィテック組織、班晶(斜長石、角閃石)鉄錆色変色部あり。	無	有	20170315009	IMG 10131
石斧	III 33		33	緑色凝灰岩	灰緑色、大部分が赤褐色に変色。細粒の tuff か、自形班晶なし。	?	有	20170315011	IMG 10133
石斧	III 34		34	玄武岩	淡緑灰色、一部変色。斑状組織、班晶(オリビン?、角閃石、長石類)。	?	可能性あり	20170315013	IMG 10135
石斧	III 35		35	玄武岩	灰緑色、被熱による剥離部赤褐色変色。斑状組織(角閃石、オリビン、長石類)	?	有	20170315015	IMG 10137
石斧	III 40		40	玄武岩	全体が茶褐色、一部灰緑色? オフィテック組織+細粒石基、オリビン班晶	?	有	20170315017	IMG 10139
石斧	III 53		53	閃緑斑岩	全体が赤褐色、一部淡褐色~茶褐色。斑状組織、長石類、角閃石などの班晶を粒状結晶が囲み、石基は微晶質	?	有	20170314048	IMG 10112
石斧	II 54		54	泥岩(砂質)	全体が灰褐色、黒雲母(白変)粒子あり。鉱物粒子は碎屑物か?	?	有	20170314050	IMG 10114
石斧	III 55		55	玄武岩	全体が灰褐色、一部黒褐色。斑状組織?、斜長石の短柱状班晶、粒状班晶、石基細粒非晶質。	?	有	20170314053	IMG 10117
石斧	II 56		56	玄武岩	全体が淡褐色、一部灰褐色。斑状組織、斜長石(白)、橄欖石?班晶、石基細粒非晶質。	?	有	20170314055	IMG 10119
石斧	III 44		44	粗粒玄武岩	全体が赤褐色、断面中央部褐色~淡緑灰色、斑状組織、班晶橄欖石、長石類、石基非晶質。	?	有	20170314057	IMG 10121

第9章 理化学分析

試料	注記	挿図番号	版No.	岩石名	表面の記載事項	鬼怒川原河床礫の有無	被熱	試料通し番号	画像データ
石斧	III 46		46	玄武岩	灰緑色、部分的に茶褐色。角閃石柱状から短柱状班晶、橄欖石、石基非晶質。	?	有	20170315001	IMG 10123
石斧	III 48		48	粗粒玄武岩	緑灰色、オフィテック組織、班晶（橄欖石、斜長石類、角閃石）。赤褐色変色部あり	?	有	20170315003	IMG 10125
石斧	III 49		49	粗粒玄武岩	淡緑灰色、部分的に茶褐色に変色。細粒のオフィテック組織、班晶粘土化（橄欖石?）。	?	有	20170315005	IMG 10127
石斧	III 69		69	角閃岩	緑灰色、茶褐色変色部あり、光沢あり、片麻状組織（角閃石、長石類）。	?	有	20170315019	IMG 10141
石斧	III 88		88	玄武岩	淡緑灰色、部分的に茶褐色、長石班晶?（白色・他形）が多い。	?	有	20170315037	IMG 10177
石斧	III 86		86	玄武岩	一部淡灰緑色、茶褐色から赤褐色に変色。斑状組織、班晶（長石類、輝石?）。	?	有	20170315039	IMG 10159
石斧	III 85		85	閃緑斑岩	赤味を帯びた灰緑色、斑状組織、石基淡褐色非晶質、班晶（長石類、輝石?）。	?	有	20170315041	IMG 10161
石斧	III 77		77	凝灰質砂岩?	淡灰緑色、褐色、黒褐色等の皮膜あり、粒状（砂岩か?）	?	可能性あり	20170315043	IMG 10163
石斧	III 68		68	閃緑斑岩	淡緑灰色、一部黒褐色皮膜付着、斑状組織（オフィテック組織+班晶）、粒径7~8mm 石英結晶を含む。	?	可能性あり	20170315021	IMG 10143
石斧	III 63		63	角閃石片麻岩（角閃岩）	緑灰色、一部茶褐色皮膜付着、片麻状組織（角閃石、長石類）。	?	有	20170315023	IMG 10145
石斧	III 61		61	粗粒玄武岩	全体が赤褐色、やや細粒なオフィテック組織（細粒班晶をともなう。）。	?	有	20170315025	IMG 10153
石斧	III 76		76	粗粒玄武岩	緑灰色、部分的に赤褐色に変色、長石類の粒状班晶、短冊状班晶あり。	?	有	20170315027	IMG 10147
石斧	III 75		75	粗粒玄武岩	淡灰緑色、破断面に乳白色の変質部。流理に沿ったような短柱状班晶の配列、部分的にオフィテック組織優勢。	?	?	20170315029	IMG 10149
石斧	III 73		73	粗粒玄武岩	淡灰緑色、細粒のオフィテック組織、オリビン班晶（2~3mm）あり。部分的に褐色皮膜。	?	可能性あり	20170315031	IMG 10151
石斧	III 70		70	粗粒玄武岩?	全体が茶褐色、一部オフィテック組織、長石類の班晶目立つ（他形>短冊状）。	?	有	20170315033	IMG 10155
石斧	III 89		89	玄武岩	全体が茶褐色、破断面やや緑灰色、斑状組織、緑色の輝石あり。石基白色非晶質	?	有	20170315035	IMG 10157
石斧	未 54		254	緑色岩	緑灰色、部分的に茶褐色。流理あり、緑泥石化。	?	有	20170322013	IMG 10273
石斧	未 55		255	閃緑斑岩?	淡灰緑色、表面凹凸部分的に茶褐色。斑状組織、班晶（輝石、正長石、斜長石）、石基粒状鉱物（角閃石他）。	?	有	20170322011	IMG 10271
石斧	未 56		256	玄武岩	淡灰緑色。部分的に茶褐色から赤褐色。斑状組織（石基非晶質）。	?	有	20170322009	IMG 10269
石斧	未 57		257	粗粒玄武岩	緑灰色、大部分が褐色から赤褐色。オフィテック組織+オリビン班晶	?	有	20170322019	IMG 10279
石斧	未 58		258	透閃石岩?	褐色、灰褐色、黒褐色。斜長石?の班晶。	?	有	20170322017	IMG 10277
石斧	未 59		259	角閃岩	濃緑色+灰白色まだら。一部茶褐色から赤褐色。角閃石班晶が緑泥石化。石基斜長石	?	有	20170322015	IMG 10275
石斧	未 27		227	粗粒玄武岩	淡緑灰色、細粒のオフィテック組織、角閃石、輝石の班晶。一部赤褐色	?	可能性あり	20170321071	IMG 10249
石斧	未 40		240	玄武岩	淡緑灰色、斑状組織+オフィテック組織、班晶（輝石、橄欖石）。	?	可能性あり	20170322007	IMG 10267
	未 43		243	砂岩	淡褐色、部分的に茶褐色~赤褐色に変色、やや熱変成を受けている。	?	有		
石斧	未 28		228	デイサイト	全体灰褐色、変色部有り。剥離あり。斑状組織（角閃石、輝石、石英）班晶の溶脱	?	有	20170321073	IMG 10251
石斧	未 29		229	閃緑斑岩?	淡緑灰色、斑状組織 小粒状班晶（斜方輝石）、長石班晶あり。	?	?	20170321075	IMG 10253
石斧	未 31		231	粗粒玄武岩	緑灰色、赤褐色変色あり。オフィテック組織中に小班晶（輝石、長石）。	?	有	20170321077	IMG 10255
石斧	未 32		232	粗粒玄武岩	灰緑色、剥離痕、オフィテック組織、班晶は輝石?	?	可能性あり	20170321079	IMG 10257
石斧	未 33		233	ホルンフェルス（泥質）	灰褐色から黒褐色、オリーブ色の葉層あり。赤褐色変色部有り。紅柱石班晶	?	可能性あり	20170321081	IMG 10259
石斧	未 37		237	ホルンフェルス（泥質）	茶褐色、表面の一部と側面の一部黒褐色、黒雲母ホルンヘルス	?	有	20170322001	IMG 10261
石斧	未 38		238	玄武岩?	表面茶褐色から赤褐色。斑状組織。班晶（正長石、斜長石）	?	有	20170322003	IMG 10263
石斧	未 39		239	玄武岩	淡緑灰色、2/3は赤褐色（剥離面も）。部分的にオフィテック組織+斑状組織。	?	有	20170322005	IMG 10265
石斧	III 91		91	玄武岩?	淡緑灰色、斜方輝石?班晶（緑灰色やや透明、自形~他形）	?	?	20170321001	IMG 10179
石斧	II 113		113	粗粒玄武岩	全体が茶褐色、光沢あり、オフィテック組織。	可能性あり	有	20170321019	IMG 10197
石斧	III 119		119	ホルンフェルス（泥質）	黒色~灰白色。点紋あり、葉層あり。	可能性あり	有	20170321021	IMG 10199
石斧	III 120		120	閃緑斑岩	緑灰色、剥離部茶褐色。斑状組織。石基非晶質	?	有	20170321023	IMG 10201

第5節 刈沼遺跡出土磨製石斧及び独鈷石の石材について

試料	注記	挿図番号	仮No.	岩石名	表面の記載事項	鬼怒川河床礫の有無	被熱	試料通し番号	画像データ
石斧	III 121		121	ホルンフェルス(泥質)	全体が茶褐色、原岩は黒色？表面に黒色の点紋あり。	？	有	20170321025	IMG 10203
石斧	III 111		111	粗粒玄武岩	緑灰色、斑状組織、緑灰色の班晶(輝石?)、オフィテック組織。	可能性あり	？	20170321027	IMG 10205
石斧	III 112		112	粗粒玄武岩	淡緑灰色、オフィテック組織(針状長石班晶)、輝石の大型班晶。	可能性あり	有	20170321029	IMG 10207
石斧	III 123		123	粘板岩	黒褐色、表面は茶褐色。	？	有	20170321031	IMG 10209
石斧	III 92		92	粗粒玄武岩	濃黒緑色、オフィテック組織、斜長石班晶、班晶は全体的に細粒。	可能性あり	有	20170321003	IMG 10181
石斧	III 93		93	凝灰質砂岩？	淡緑灰色、石英、長石類、輝石の碎屑粒子が目立つ。	可能性あり	有	20170321005	IMG 10183
石斧	III 98		98	粗粒玄武岩	淡緑灰色？全体が茶褐色に変色、オフィテック組織。	可能性あり	有	20170321007	IMG 10185
石斧	III 101		101	粗粒玄武岩	淡緑灰色、オフィテック組織+斑状組織、班晶やや細粒。	可能性あり	可能性あり	20170321009	IMG 10187
石斧	III 103		103	粗粒玄武岩	茶褐色に変色、オフィテック組織(やや粗粒)。	可能性あり	有	20170321011	IMG 10189
石斧	III 104		104	粗粒玄武岩	全体が茶褐色に変色、オフィテック組織(やや粗粒)。	可能性あり	有	20170321013	IMG 10191
石斧	III 107		107	粗粒玄武岩	灰緑色、輝石班晶大、オフィテック組織。	可能性あり	有	20170321015	IMG 10193
石斧	II 108		108	粗粒玄武岩	一部淡緑灰色、茶褐色に変色、剥離あり。斑状~オフィテック組織。	可能性あり	有	20170321017	IMG 10195
石斧	III 127		127	閃緑斑岩？	全体が赤褐色から茶褐色に変色、剥離によるヒビ、粘土化。	？	有	20170321033	IMG 10211
石斧	III 129		129	角閃岩	斜長石？班晶、石基角閃石？茶褐色に変色。	？	有	20170321035	IMG 10213
石斧	III 131		131	凝灰質砂岩？	全体が赤褐色から茶褐色。長石類の碎屑粒子。	？	有	20170321037	IMG 10215
石斧	III 132		132	粗粒玄武岩	全体が茶褐色から褐色、剥離、ヒビあり。班晶(輝石?)細粒のオフィテック組織。	？	有	20170321039	IMG 10217
石斧	III 134		134	玄武岩	茶褐色から赤褐色、ヒビあり。橄欖石班晶あり、斑状組織か？	？	有	20170321041	IMG 10219
石斧	III 137		137	粗粒玄武岩	淡緑灰色、断面一部赤褐色。オフィテック組織。	？	有	20170321043	IMG 10225
石斧	III 138		138	粗粒玄武岩	淡緑灰色、一部茶褐色に変色。正長石、角閃石の班晶を伴うオフィテック組織。	？	有	20170321045	IMG 10221
石斧	III 143		143	デイサイト？	褐色、一部赤褐色、破断面黒色。斑状組織、斜長石班晶。	？	有	20170321047	IMG 10223
石斧	未 11		211	粗粒玄武岩	茶褐色~緑灰色。細粒なオフィテック組織、橄欖石班晶。	？	有	20170321049	IMG 10227
石斧	未 9		209	粗粒玄武岩	灰緑色、一部茶褐色、剥離あり。オフィテック組織、班晶少ない。	？	有	20170321067	IMG 10245
石斧	未 15		215	玄武岩	全体が赤褐色。斑状組織(角閃石、輝石の班晶)。	？	有	20170321051	IMG 10229
石斧	未 18		218	ホルンフェルス	全体が黒褐色、一部鉄錆色から赤褐色部あり。	？	可能性あり	20170321053	IMG 10231
石斧	未 23		223	閃緑斑岩	灰~暗灰色、斜長石、正長石、石英、角閃石、輝石等の班晶、斑状組織。	？	可能性あり	20170321055	IMG 10233
石斧	未 25		225	粗粒玄武岩	片面黒褐色から茶褐色、裏面赤褐色、長石のオフィテック組織。	？	有	20170321057	IMG 10235
石斧	未 4		204	玄武岩	緑灰色から灰緑色。輝石、橄欖石の班晶、斑状組織。	？	？	20170321059	IMG 10237
石斧	未 6		206	玄武岩？	灰緑色、一部茶褐色。細粒のオフィテック組織。	？	有	20170321061	IMG 10239
石斧	未 7		207	閃緑斑岩	淡緑灰色、一部緑灰色。斑状組織(長石類)。	？	？	20170321063	IMG 10241
石斧	未 8		208	閃緑斑岩？	緑灰色、一部赤褐色。斑状組織、班晶(輝石)。	？	有	20170321065	IMG 10243

れていない石材は、透閃石岩、角閃岩、緑簾石片麻岩？ホルンフェルス(第351図2)である。また、主要な石材である粗粒玄武岩、玄武岩と凝灰質砂岩について、色調、組織、構成鉱物や碎屑粒子で一致する礫は遺跡近傍の鬼怒川河床では今のところ確認できていない。これまでの栃木県内の河川礫調査で収集した礫との比較も含め再検討したい。透閃石岩製の磨製石斧については、新潟県糸魚川地域周辺の遺跡からの完成製品の搬入と推定される。角閃岩と緑簾石片麻岩？の産地については、広域変成岩の分布地域、具体的には、茨城県日立地域、埼玉県吉見地域などが有力と推定している。ホルンフェルス(第351図2)の石材は、県内の縄文時代の打製石斧として出土する。その産地は、地層としても礫としても確認されていないが、県内産である可能性が高い。

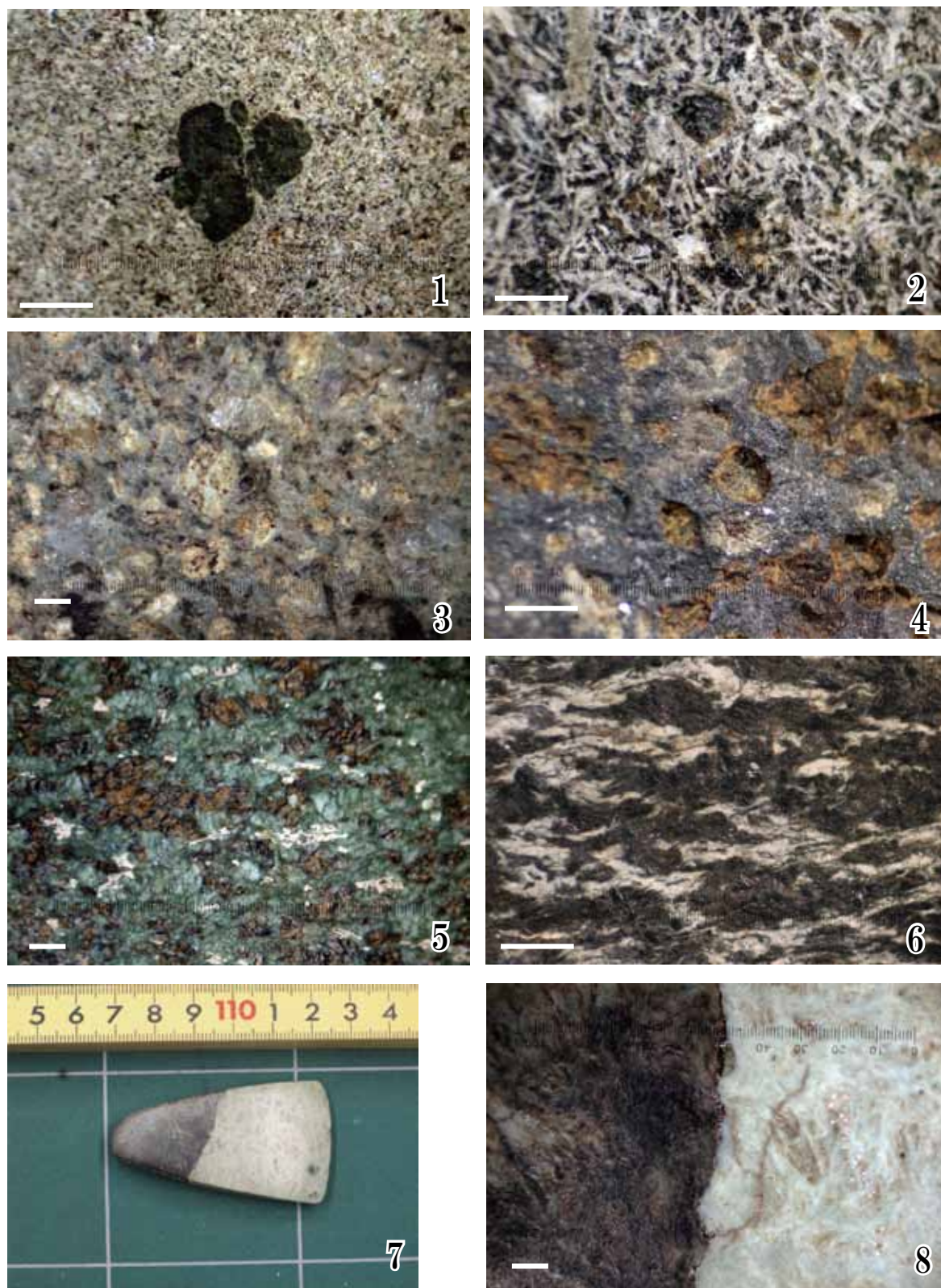


図1. 特徴的な石材. 1. 玄武岩（斑晶は普通輝石, III-6） 2. 粗粒玄武岩（III-14）
3. 閃緑斑岩（未-28） 4. ホルンフェルス（独 5-7） 5. 緑簾石片麻岩？（III-60）
6. 角閃岩（84） 7. 接合した透閃石岩磨斧（II-118） 8. 接合部の拡大 白線：スケール 1mm

第4表 刈沼遺跡第2次・第3次遺構一覧表

UTK II

遺構 No.	グリッド	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	軸	遺物の有無	備考	遺構図版	遺物土器図版	写真図版
SZ-01	11H9	11.82	11.05	0.40 ~ 0.96	N-4° -W	○	周溝幅 1.2 ~ 1.5 m	360,361	362	16
SZ-02	1150	11.84	11.83	0.42	N-5° -W	○	周溝幅 0.9 ~ 2.28 m	363,364		
SZ-03	15H6	15.82	15.56	0.24 ~ 0.76	N-3° -W	○	周溝幅 1.72 ~ 3.52 m	365,366	371	16
SZ-04	15H8, 16H8	10.02	9.35	0.24 ~ 0.40	N-0°	○	周溝幅 1.4 ~ 1.7 m	367,368	371	16
SZ-05	11H4, 12H4	9.52	(8.0)	0.15 ~ 0.38	N-59° -W		周溝幅 0.38 ~ 1.08 m	369,370	371	16.17
SZ-06	11H8	9.58	(6.7)	0.35 ~ 0.62	N-7° -W	○	周溝幅 1.58 ~ 1.90 m	372	371	17
SZ-07	11H8	7.2	(6.4)	0.12 ~ 0.26	N-2° -E	○	周溝幅 0.48 ~ 0.84 m	373		17
SK-01	11H8	1.52	1.29	0.19	N-60° -E			374		9
SK-02	10I3	1.06	0.99	0.11				374		9
SK-03	11I0	1.65	1.42	0.7	N-10° -E			374		
SK-04	14I0	1.14	0.92	0.15		○	平面図なし	374		
SK-05	10I0	2.6	1.05	0.4	N-5° -W			374		
SK-06	10I1	(1.63)	(1.18)	0.38	N-61° -E	○		374		9
SK-07	10I1	1.35	0.86	0.52	N-6° -W			374		9
SK-08	11H7	1.72	1.57	0.74	N-88° -W			375		
SK-09	15I0	2.15	1.48	0.41	N-32° -E			376		9
SK-10	15I0	(2.25)	(1.55)	0.36	N-74° -W			376		
SK-11	15I0	3.0	2.7	—			SH037 と同じ?	376		
SK-12	16I1	1.34	1.1	0.38	N-12° -E			377		
SK-13a	16I1	1.29	1.1	0.32	N-26° -E			377		
SK-13aP1	16I1	0.58	0.44	0.63				377		
SK-13b	16I1	0.97	0.62					377		
SK-14	17I1, I2	1.56	1.32	0.65	N-1° -E			377		9
SK-15	17I1, I2	1.62	1.32	0.58	N-51° -E			377		9
SK-16	17I2	1.75	1.42	0.37	N-83° -E			377		
SK-17	18I1	1.63	1.62	0.11	N-90°	○		376		9
SK-18	17I1	1.45	0.98	0.26	N-83° -E			377		
SK-19	17I1	1.52	1.23	0.35	N-32° -E			377		
SK-20a,b	12H9	1.83	1.03	0.14	N-6° -W			378		10
SK-20c	12H9	1.32	1.03		N-39° -E			378		10
SK-21	12H8	2.96	1.15	0.35	N-3° -E			378		10
SK-22	11H8	3.18	0.68	0.41	N-87° -W			379		
SK-23	12H8	1.99	1.12	0.2	N-12° -W			376		10
SK-24	13H8	1.01	0.82	0.22	N-59° -E			376		
SK-25	18H8	2.62	1.76	0.22	N-82° -W			380		10
SK-26	18H7	3.07	2.4	0.45	N-89° -E			380		
SK-27	13H7, H8	2.83	2.22	0.74	N-37° -W	○		380		10
SK-28	12H7	1.75	0.9	0.11	N-9° -W			381		10
SX020	12H7	2.54	1.27	0.62	N-66° -W		カクラン?	381		
SK-29	10H7	2.43	2.34	0.47	N-82° -W	○		380		10
SX53	10H7	1.65	1.27	0.25	N-0°			380		
SK-30	11H6	2.14	0.94	0.17	N-3° -E			375		
SK-31	11H6	1.98	1.37	0.14	N-17° -W			375		
SK-32	15H5, 16H5	1.76	0.98	0.54	N-26° -W			382		
SK-33	10H5	1.17	1.05	0.16	N-6° -E			383		
SK-34	18H4	2.64	1.77	0.36	N-44° -W			384		11
SK-35	18H4	2.15	1.54	0.44	N-34° -W			384		
SK-36	18H4	1.64	1.54	0.4	N-16° -E			384		11
SK-37	18H4	2.62	1.64	0.21	N-38° -E			384		
SK-38	17H4	1.85	1.65	0.48	N-83° -E			384		
SK-39	16H4, 17H4	1.64	1.36	0.08	N-2° -E			382		11
SK-40	17H4	1.74	1.08	0.14	N-21° -W			382		
SK-41	15H4	1.63	0.82	—	N-90°		欠番?	図無し		
SK-42	11H4, 12H4	2.34	1.9	0.18	N-18° -W	○		385		11
SK-43	11H4	1.28	1.22	0.18	N-15° -W			386		11
SK-44	11H4	3.76	0.84	0.12		○	円形	386		11
SK-45	11H4	1.18	1.16	0.18			円形	386		
SK-46	10H4	0.98	0.96	0.08	N-0°			386		
SK-47	19H3	2.14	0.88	0.17	N-3° -W			382		11
SK-48	14H2, H3	1.85	1.18	0.44	N-68° -W			387		
SK-49	18H3	1.92	1.72	0.52	N-63° -W			384		

第9章 理化学分析

SK-50	イ6H2, イ5H2	4.76	2.72	0.24	N-85° -W		複数遺構重複?	388		11,12
SK-51	ア9H2	1.88	1.76	0.84	N-90°	○		389		12
SK-52	ア8H2	1.86	1.44	0.38	N-66° -W	○		389		12
SK-53	ア8H2	(1.7)	1.54	0.98	N-72° -W			389		
SK-54	イ1H8	1.77	1.48	0.38	N-21° -W			379		
SK-55	イ1H4	(2.0)	0.96	0.22	N-7° -W			386		
SK-56	イ2H8	(0.98)	1.02	0.16	N-33° -W			378		
SK-57	イ2H8	1.23	1.06	0.23	N-87° -W			382		
SK-58	イ0H8	(0.7)	0.94		N-53° -E			372		
SK-59	イ4H2	1.86	1.68	0.12	N-0°			387		
SK-60	イ0H5	1.07	1.03	0.17	N-35° -W			383		
SH33	イ0H5	(3.2)	3.04	0.6	N-30° -W		風倒木痕か	383		
SH34	イ0H5	3.2	2.9	0.68	N-10° -E		風倒木痕か	383		
SK-61	イ2H4	1.7	1.16	0.2	N-83° -E			385		11
SK-62	イ1H9	2.16	1.23	0.28	N-30° -E			390		12
SK-63	イ1H9	1.56	0.78	0.57	N-7° -E			390		
SK-64	イ0I3, I4	2.26	1.74	0.26	N-90°			382		12
SK-65	イ1H6 ~ イ0H6	2.36	1.9	0.45		○		375		
SK-66	イ4H4	2.2	—	0.46			平面図なし	未掲載		
SK-67	イ5I0	2.52	0.66	0.25	N-73° -W		覆土不明	376		
SK-68	イ2H2	4.12	3.88	0.71	N-90°	○		382		12

SDNo.	グリッド	長さ	上幅 (m)	深さ (m)	軸	遺物の有無	備考	遺構図版	遺物土器図版	写真図版
SD-01	ア9H4 ~ H6		0.15 ~ 0.58	0.09 ~ 0.26	N-2 ~ 32° -W			391		12.13
SD-02	イ18, H5 ~ I0	124	0.82 ~ 1.53	0.16 ~ 0.58	N-82 ~ 87° -W, N-4° -E	礎石 1	35+53+39 m	392,393, 389,395	400	13
SD-03	ア9 ~ イ9, H3 ~ 4	101.2	1.44 ~ 3.58	0.16 ~ 0.62	N-80 ~ 90° -W	○		392,397, 398,399	400	13
SD-04						○	欠番			
SD-05	イ3H5	7.9	1.10 ~ 1.28	0.3	N-78 ~ 85° -E	○		393		14
SD-06	イ1H2, H3	16.7	0.72 ~ 1.40	0.14 ~ 0.21	N-3° -W			397		14
SD-09	イ0 ~ 3, I0 ~ I1	38.2	0.90 ~ 1.32	0.13 ~ 0.27	N-84° -W N-9° -E	○?	1次 63+45m	395,396		14
SD-14	イ4H2 ~ I0	91	0.70 ~ 1.70	0.37 ~ 0.57	N-3° -W		1次 33.5 m	392,393, 396,398	400	13.14 15
SD-17	イ0I2, I3	16.1	1.5	0.35	N-7° -W		UTK I SD12と同じ	395		15

UTK III

遺構 No.	グリッド	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	遺物の有無
SK-01	ア3J0	2.95	0.64	—	
SK-02	ア3J0	1.04	0.56	—	
SK-03	ア3J0	0.56	0.35	—	
SDNo.		上幅 (m)	下幅 (m)	深さ (m)	遺物の有無
SD-01		1.42 ~ 1.78	0.52 ~ 0.70	0.30 ~ 1.18	○

第5表 刈沼向原遺跡第1～3次遺構一覧表

UTKM I

遺構No.	グリッド	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	軸	出土遺物	遺構図版	遺物土器 図版	写真図版
SI01	79G2	3.9	3.8	0.24	N-30° -E		412		20
SK01	12G0	1.0	0.8	0.38	N-86° -W		414		
SK02	12G0	2.0	0.64	0.3	N-86° -E		414		
SK03	11G0	2.32	0.56	0.6	N-87° -E		414		20
SK04	11G0	2.7	0.72	0.6	N-86° -W		414		20
SK05	10G0	(1.35)	1.9	0.97			413		20
SK06	10G0	1.8	0.9	—	N-2° -W		412		20
SK07	79G1	3.28	0.9	0.08	N-73° -E		412		
SK08	79G1	3.0	1.04	0.12	N-73° -E		412		
SK09	11G2	1.2	1.16	0.04	N-90° -E		416		
SK10	10G2	2.9	0.64	0.16	N-15° -W		415		
SK11	11G3	2.6	1.44	0.4	N-18° -E		416		
SK12	11G1	2.0	1.7	—	N-61° -E	土器	414		20
SK13	10G2	4.6	3.8	1.16		土器	410	カクラン	
SK14	10G3	3.4	3.25	0.53			410	カクラン	
SK15	10G3	2.75	2.5	0.74			410	カクラン	
SK16	79G3	4.2	3.55	0.59		土器	410	カクラン	
SK17	11G4	1.3	0.8	0.4			410	カクラン	
SK18	12G4	1.0	0.64	0.08	N-18° -E		416,418		
SK19	11G4	1.04	0.96	0.12	N-65° -E		417		
SK20	10G4	1.48	1.4	0.28	N-23° -W		417		
SK21	11G4	4.8	2.84	0.16	N-18° -E		418		
SK22	12G4	1.6	0.96	0.08	N-74° -W		418		
SK23	12G4	1.64	0.64	0.16	N-84° -W		418		
SK24	10G5	2.24	1.2	0.24	N-92° -E		417		
SK25	11G5	1.88	0.4	0.39			410	カクラン	
SK26	10G5	1.88	1.64	0.2	N-41° -E		417		
SK27	10G5	(3.3)	1.75	0.35			410	カクラン	
SK28	11G5	1.15	0.67	0.05			410	カクラン	
SK29	11G5	3.75	0.9	0.28			410	カクラン	
SK30	11G5	1.5	0.7	0.25			410	カクラン	
SK31	11G5	2.58	1.72	0.24	N-63° -W		418		
SK32	11G5	2.8	2.75	0.22			410	カクラン	
SK33	12G5	1.67	1.15	0.03			410	カクラン	
SK34	11G6	0.87	1.3	0.64			410	カクラン	
SK35	10G6	2.95	1.13	0.32			410	カクラン	
SK36	11G6	1.15	0.85	0.53			410	カクラン	
SK37	11G6	2.0	1.36	0.06			410	カクラン	
SK38	11G6	3.64	3.16	1.12	N-85° -W	すり鉢	420		21
SK39ab	12G6	2.68	2.12	—	N-11° -W	○	421,426		21
SK39c	12G6	2.12	2.5	—	N-60° -E	○	421,426		21
SK40	12G6	2.04	1.6	1.0	N-3° -E	○	421,426		21
SK41	12G7	1.15	0.55	0.06			410	カクラン	
SK42	12G7	1.28	1.16	1.16	N-55° -E		421		
SK43	11G7	2.24	1.16	1.16	N-69° -E		420		
SK44	11G7	3.5	3.5	0.5			410	カクラン	
SK45	11G7	4.15	3.4	0.8			410	カクラン	
SK46	10G7	1.56	1.28	1.28	N-48° -E		419		
SK47	11G8	5.0	3.56	3.56	N-87° -E		422		21
SK48	11G8	4.2	3.2	0.62		○	410	カクラン	
SK49	12G8	6.92	1.08	1.08	N-6° -E	○	423		
SK50	12G8	1.3	1.0	1.0	N-85° -W		423		
SK51	12G8	6.7	3.0	0.7		○	410	カクラン	
SK53 東	11G8	1.28	0.8	0.2	N-60° -E		422		
SK53 西	11G8	2.24	1.16	—	N-5° -W		422		
SK54	11G9	1.2	1.0	0.24	N-90° -E		422		
SK55	10G9	2.4	0.52	—	N-83° -E		422		
SK56	12G9	1.4	0.88	0.4	N-15° -W		423		
SK57	12G9	1.95	1.87	0.5		○	410	カクラン	
SK58	12G9	3.16	1.6	0.24	N-43° -W		423		
SK59	12G9	3.1	2.7	0.39			410	カクラン	
SK60	12H0	3.7	0.7	0.12			410	カクラン	
SK62	11H0	4.4	3.35	0.44			410	カクラン	

第9章 理化学分析

SK64	イ1H0	5.1	4.2	0.75			410	カクラン	
SK66	イ0H0	1.72	1.16	0.6	N-32° -E		424		
SK67	イ0H1	1.18	0.8	1.36	N-3° -W		424		
SK68	イ1H0	1.64	1.12	0.2	N-86° -E		425		
SK69	イ1H0	2.08	1.16	0.16	N-89° -E		424		
SK70	イ1H0	1.24	0.96	0.1	N-89° -W		425		
SK71	イ2H0	1.12	0.88	0.24	N-4° -W		425		
SK72	イ0G6	4.45	3.13	0.32			410	カクラン	
SK73	イ0G6	(0.97)	0.65	0.2			410	カクラン	
SK74	イ1G9	3.2	1.84	0.48	N-67° -E		423		21
SK75	イ2H0	4.52	3.35	0.76			410	カクラン	
SK76	イ0G9	1.2	1.2	0.32	N-0°		422		
SK77	イ0G7	(0.6)	0.75	0.42			410	カクラン	
SK78	イ1G1	2.84	1.96	0.56	N-10° -E		414		21
SK79	イ0G1	1.15	1.0	0.2			410	カクラン	
SK80	イ0G1	1.16	1.0	0.2	N-80° -E		413		
SK81	イ0G1	1.2	1.0	0.24			410	カクラン	
SK82	イ0G1	3.0	2.2	0.6		土器	410	カクラン	
SK83	イ0G2	1.25	1.1	0.46			410	カクラン	
SK84	イ0G2	2.5	1.5	0.8		○	410	カクラン	
SK85	イ2G2	1.7	1.32	0.55			410	カクラン	
SK86 東	イ2G7	1.92	1.6	—	N-56° -E		420		
SK86 西	イ2G7	0.76	0.64	0.28	N-86° -W		420		
SK87	イ0G7	1.2	0.75	0.52			410	カクラン	
SK88	イ2G9	4.24	2.68	0.44	N-70° -E		423		21,22
SK89	イ0G8	0.88	0.8	0.72	N-73° -W		422		22
SK90	イ0G8	0.92	0.28	0.24	N-30° -E	○	422		
SK91	イ1G8	0.96	0.92	0.14	N-30° -W		422		
SK92	ア9G4	1.08	0.8	0.8	N-13° -W		415		
SK93	イ2G7	1.93	1.2	0.53			410	カクラン	
SK94	イ1G7	1.6	1.14	0.4	N-32° -W		420		
SK95	イ1G5	1.0	0.6	0.24	N-12° -E		417		
SK96	イ1G5	1.84	1	0.32	N-75° -W		417		
SK97	イ0G5	1.45	0.9	0.42			410	カクラン	
SK98	イ0G5	1.2	1.08	0.26	N-10° -W		417		
SK99	イ0G5	1.0	0.95	0.35			410	カクラン	
SK100	イ0G5	(0.5)	1.2	0.33			410	カクラン	
SK101	イ0G5	1.18	0.65	0.32			410	カクラン	
SK102	イ0G5	0.6	0.56	0.44	N-2° -W		417		
SK103	イ1G4	1.15	1.05	0.38			410	カクラン	
SK104	イ0G4	1.25	0.7	0.3			410	カクラン	
SK105	イ0G4	1.15	0.8	0.24			410	カクラン	
SK106	イ0G4	1.24	0.88	0.18	N-6° -E		417		
SK107	イ0G4	1.05	0.75	0.18			410	カクラン	
SK108	イ0G3	1.0	0.85	0.44			410	カクラン	
SK109	イ0G3	1.2	0.8	0.28	N-6° -E		415		22
SK110	イ0G3	1.18	1.12	0.16	N-62° -E		415		22
SK111	イ1G3	1.2	1.0	0.25			410	カクラン	
SK112	イ9G3	1.05	0.7	0.25			410	カクラン	
SK113	イ1H0	2.72	1.28	—	N-70° -W	○	424		
SK114	イ1G2	1.1	0.88	0.39			410	カクラン	
SK115	イ0G2	0.8	0.7	0.36	N-20° -W		413		
SK116	イ1G3	1.55	1.32	0.52	N-3° -W		413,416		22
SK117	イ0G1	1.56	0.9	0.19			410	カクラン	
SK118	イ0G1	1.25	0.85	0.22			410	カクラン	
SK119	ア9G1	0.95	0.9	0.3			410	カクラン	
SK120	ア9G1	0.7	0.65	0.29			410	カクラン	
SK121	ア9G1	0.95	0.7	0.37			412		
SK122	ア9G1	1.3	1.0	0.6			410	カクラン	
SK123	イ0G1	1.05	0.85	0.26			410	カクラン	
SK124	ア9G2	1.25	0.85	0.25			410	カクラン	
SK125	ア9G2	1.0	0.85	0.25			410	カクラン	
SK126	ア9G1	1.5	(0.55)	1.22			410	カクラン	
SK127	イ3G7	(0.7)	1.25	0.84			410	カクラン	
SK128	イ1G1	1.38	1.15	0.44			410	カクラン	

SDNo.	グリッド	長さ (m)	上幅 (m)	深さ (m)	軸 (m)	出土遺物	遺構図版	遺物土器 図版	写真図版
SD01	イ0G1	7.6	1.0	0.32	N-12° -W		413		22
SD02	イ1G9	8.0	0.64	0.56	N-88° -W	○	422,423		21,22
SD03	イ1G9	8.44	0.8	0.36	N-80° -W		422,423		23
SD04	イ1H0	8.6	1.3	0.52	N-65° -W	○	424		23

UTKM II

遺構 No.	グリッド	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	軸 (m)	出土遺物	遺構図版	遺物土器 図版	写真図版
SI01	77F4	6.12	6.18	0.24 ~ 0.32	N-5° -W	土師器坏、壺、 甕、甗	429,430	431	23,24
SI02	75H2	(7.24)	(6.4)	0.42	N-6° -W	土師器坏、甕、 甗	432	433	24,25
SI03	75G4	(4.53)	(3.5)	0.30 ~ 0.42	N-10° -W	土師器壺、高 坏	434	435	25
SK01	77F7	2.28	1.5	0.34		石臼	358,359	カクラン	
SK02	77F7	3.36	2.88	1.2	N-80° -W	土器	442		
SK03	77F7	2.72	0.56	0.3	N-17° -E	土器	442		
SK04 南	77F5	0.7	0.65	—	N-16° -W		445		
SK04 北	77F5	1.0	0.85	0.3	N-7° -W		445		
SK05	77F4	1.25	0.7	0.15	N-77° -E		445		
SK06	78F9	1.36	0.82	0.69			358,359		
SK07	78F8	2.1	0.7	0.1	N-80° -E		445		
SK08	イ0G8	3.04	0.48	0.2	N-2° -E		440		
SK09	イ0G8	1.44	0.64	0.15	N-3° -E		440		
SK10	イ0G9	1.04	0.56	0.15	N-0°		440		
SK11	イ0G9	0.64	0.56	0.15	N-90° -E		440		
SK12	76G0	1.44	0.96	0.3	N-28° -W		443		
SK13	75H2	3.36	0.8	1.44	N-20° -E		441		
SK14	76G8	0.7	0.25	—	N-6° -W		438		
SK15	76H0	0.65	0.6	0.13	N-8° -W		445		25
SK16	76H0	1.0	0.65	0.2	N-82° -E		445		25
SK17	76H0	0.92	(0.62)	0.1			445		25
SK18	76H0	1.2	0.75	—	N-87° -E		445		
SK19	79G4	1.2	0.64	0.75	N-80° -E		446		
SK20	79G3	1.25	0.7	0.5	N-78° -E		446		25
SK21	79G3	1.5	0.65	0.35	N-82° -E		446		25
SK22	77G4	0.65	0.55	0.05	N-34° -W	土器片	445		
SK23	79G4	1.25	0.8	0.35	N-80° -E		446		
SK24	79G4	1.4	0.7	0.4	N-88° -E		446		
SK25	77G3	欠番							
SK26	77G5	3.84	72	0.1	N-75° -E		437		
SK27	76G9	0.75	0.2	0.35	N-10° -W		438		
SK28	78G5	1.12	0.64	0.5	N-71° -E		437		
SK29	75G5	2.96	0.64	0.3	N-89° -E		436		
SK30	76G6	3.12	0.72	—	N-87° -E		436		
SK31	78G4	1.2	0.68	0.48			437		
SK32	75G4	3.68	0.64	0.3	N-2° -E		436		
SK33	79G2	1.25	0.68	0.3	N-84° -E		445		25
SK34	79G2	1.25	0.6	0.25	N-88° -E		445		
SDNo.	グリッド	長さ (m)	上幅 (m)	深さ (m)	軸 (m)	出土遺物	遺構図版	遺物土器 図版	写真図版
SD04	74 ~ 70, G8 ~ H0	83	0.60 ~ 1.86	0.28 ~ 0.60	N-67° -W	打製石斧	438,439, 440		25,26
SD05	79 ~ 70, G5 ~ H1	61	0.28 ~ 0.80	0.19 ~ 1.05	N-14° -W	土器片	437,440		26
SD06	77-F6 ~ F8	25.28	0.88 ~ 1.92	0.60 ~ 0.90	N-2° -W	土器片, 石臼	442		26
SD07	75-76, F8 ~ G0	29.76	0.64 ~ 1.84	0.16 ~ 0.40	N-8° -W N-68° -W	土器片	443		26,27
SD08	75-6, F8 ~ G0	21	1.12	0.25 ~ 0.40	N-68° -W		443		26,27
SD09	78F3	4.16	1.2	0.12	N-89° -E		444		27
SD10	76 ~ 70-H0 ~ H1	27.5	0.20 ~ 1.52	0.02 ~ 0.70	N-90° N-81° -W	土器片	439		27,29
SD11	76 ~ 70-H0 ~ H1	40	0.48 ~ 1.84	0.15 ~ 0.85	N-90° N-81° -W	打製石斧	439,440		27,29
SD12	76G9 ~ H0	17.92	0.28 ~ 0.46	0.17	N-2° -W		438		27

第9章 理化学分析

SD13	7 5.6-H2.3	16	0.96 ~ 1.24	0.15 ~ 0.20	N-48° -W N-53° -E	打製石斧	441		27
SD14	7 6H2	3.6	0.72 ~ 0.88	0.06 ~ 0.30	N-14° -E		441		27
SD15	7 6G5	9.3	0.28 ~ 0.72	0.09 ~ 0.17	N-15° -W		437		28
SD16	7 6G6 ~ 7 9G5	33	0.64 ~ 0.96	0.3	N-88° -E	土器片, 砥石	437		28
SD17	7 5 ~ 9G5 ~ 8	42.08	0.56 ~ 2.24	0.20 ~ 0.57	N-86° -E, N-5° -E	土器片	437		28,29
SD18	7 5.6G5	9.44	0.83 ~ 1.04	0.52	N-87° -E	土器片	436		
SD19	7 2H1	0.57	0.25	0.85	N-88° -W		440		
SD20	7 5G5 ~ G8	25.3	1.08 ~ 1.92	0.32 ~ 0.76	N-6° -W	土器片	436		28,29
SD21	7 4G3	5.76	0.4	0.4	N-10° -W		444		

UTKM III

遺構 No.	グリッド	長軸・長さ (m)	短軸 (m)	深さ (m)	軸 (m)	出土遺物	遺構図版	遺物土器 図版	写真図版
SI05	7 3F7	4.3	3.95	0.28	N-48° -W	壺、甕、高坏、 紡錘車	450	451	31
SK160	7 3F8	2	1.46	0.42	N-5° -E		452		
SK161	7 4F7	2.15	1.87	0.82	N-68° -W	○	450		32
SK162	7 4F7	1.42	1.39	0.29	N-17° -W		450		32
SK163	7 6F5	3.2	(1.88)	0.48	N-15° -W		456		32
SX01	7 4F5	3.16	(1.68)	1.32	N-7° -W		454		
SX02	7 4F9	2.6	1.4	0.28	N-70° -E		455		
SD06 南	7 8F8	7.2	0.96 ~ 1.00	0.16 ~ 0.20	N-18° -W		452		32
SD06 北	7 4F6	1.8	1.6	0.64	N-88° -E		453		32
SD07	7 8F8	10.06	1.04	0.4	N-80° -E	○	452		32
SD08	7 8F8	11	0.64 ~ 1.08	0.2	N-80° -E		452		32

第6表 石器機種地区別集計表

	石 鏃 (未製品含む)	石 匙	石 錐	剥片 R.F. ・U.F 類	石 錐	打 製 石 斧	磨 製 石 斧	S c (礫石器系)	礫 器	擦 切 具	磨 石 ・ 敲 石 類	石 皿 類 (石皿・ 多功石)	砥 石	線 刻 礫	特 殊 敲 打 具	垂 飾	石 劍 ・ 石 棒 類	独 鈦 石 ・ 石 冠	計	
刈沼1次 (表掲載分)	545	12	50	652	450	650	204	214	205	58	3,045	800	321	22	32	39	507	61	7,867	
刈沼2次	1			37					1		36	4	1						80	
2次表						8					18	10							3	39
刈沼3次	1			49		6	1	1	1		13		6		1		2	1	82	
刈沼向原 1~3次						3													3	
計	547	12	50	738	450	667	205	215	207	58	3,112	814	328	22	33	39	509	65	8,071	

第 10 章 総括

最後に調査及び整理作業の成果を整理・総括し、刈沼遺跡縄紋集落に関わる課題の確認を記しつつ、いくつかの問題提起を試みたい。なお弥生時代以降についても注目すべき成果はあるものの、ここでは刈沼遺跡第 1 次調査区における縄紋時代後晩期の問題に絞って記述する。

1. 遺構・包含層の土器分類と出土分布について

分類とその所見

まず始めに土器の分類と実際の分類状況について確認しつつ、分類上の問題や型式との関係及び気づいた点を補足しておこう。

水洗・注記後の整理においては、一定範囲内の出土で接合が予測・確認された個体、大形の破片、復元個体に近いものについて接合・復元を進めつつ、破片類について「有文」と「無文」、「底部」、「圧痕」「顔料付」「炭化物付着」に分けられた。この時点で復元個体 80 箱、有文土器 163 箱、無文土器約 200 箱分であった。

埋蔵文化財センターにおける破片類の整理において、まず有文土器の分類を行い、同一グリッド内の同一分類項について、復元個体も含めて接合を試みた。時間的な制約もあって必ずしも十分な接合を行い得ず、とりわけ特徴的な要素が乏しいもの、例えば擦糸紋同士の破片の接合については殆ど行っていない。この時点で、住居跡出土土器と住居跡が位置する当該グリッド出土土器相互の接合も行った。結果としてある程度グリッド一遺構間の接合例も見られたものの、接合率は必ずしも高い状況とは言えなかった。土器接合・復元と平行して、各分類のカウントを行い、遺構やグリッド毎の点数確認を行った。

無文土器については、確認・カウントを行い得なかったが、住居跡出土土器に限って無文土器と当初分類されたものについてチェック・再分類を行った。結果として少量有文土器への分類変更もあったが、概ねそのまま無文土器として扱えるものであった。この中でも口縁に突起を有するものや丁寧に磨かれた浅鉢等については「無文 B」として別の分類項目として抽出している。なお無文土器の中には一定数製塩土器が認められたことから、無文土器全点の確認を行えば、製塩土器破片数は今回報告分を大幅に上回ることが予想できる点、付記しておく。

「～加曾利 B」とした分類は、当初加曾利 B 式及び曾谷式を念頭において項目立てしたもののだが、実際には加曾利 B 式は極めて少ない状況であった。またグリッドによっては中期や堀之内式も認められ、最終的な集計上はこれらもまとめて「～加 B」とした。中期は阿玉台式終末～加曾利 E I 式の資料がやや目立ち、しか

第 7 表 出土土器位置毎集計表

遺構・グリッド	～加 B	安 1・2	瘤付	大洞系	B.3a,3b	A.沈刺	網擦	擦糸	縄紋のみ	無文	無文 B	条線	製塩	付帯	有文小片	計
住居跡合計	34	1,104	1,990	4,672	865	2,787	1,769	1,203	864	2,222	497	637	99	934	369	20,046
PG 計	72	662	1,703	3,945	472	1,388	38	36	152	103	155	41	68	191		9,026
SK 計		22	30	42	9	37	5	17	40	49	5	32		12	2	302
SD 計	5	120	141	357	108	194	190	253	174	331	30	196	26	127	57	2,309
グリッド計	105	2,380	5,412	11,793	1,510	5,908	7,667	10,977	6,592	11,868	1,600	4,098	167	4,906	1,211	76,194
トング等計	80	459	699	1,933	393	949	709	1,291	649	1,250	197	465	45	527	169	9,815
小計	296	4,747	9,975	22,742	3,357	11,263	10,378	13,777	8,471	15,823	2,484	5,469	405	6,697	1,808	117,692
無文補正	296	4,747	9,975	22,742	3,357	11,263	10,378	13,777	8,471	353,436	2,484	5,469	405	6,697	1,808	455,305

第8表 住居跡毎出土土器分類比率

遺構・ケラド	～ 加B	安1, 2	瘤付	大洞	B, 安 3a, 3b	A, 沈, 刺	計
SI01		67	78	523	48	222	938
SI01(イ5I9)		50	73	264	33	110	530
計		117	151	787	81	332	1,468
百分率 (%)		8	10	53	6	23	100
SI02	3	14	28	128	26	125	324
SI02(イ6I1)		95	165	398	80	292	1,030
計	3	109	193	526	106	417	1,354
百分率 (%)	0	8	14	39	8	31	100
SI03	2	137	138	662	111	434	1,484
SI03(イ1I6)		25	81	230	58	152	546
SI03(イ1I7)		22	46	140	28	49	285
計	2	184	265	1,032	197	635	2,315
百分率 (%)	0	8	11	45	9	27	100
SI04			3	2	6	3	14
SI04(イ0I4)		5	31	53	33	43	165
計		5	34	55	39	46	179
百分率 (%)		3	19	31	22	25	100
SI05	1	9	38	113	22	34	217
SI05(ア9I7)				36	8	11	60
SI05(イ0I7)	3	15	38	109	26	42	233
計	5	28	76	258	56	87	510
百分率 (%)	1	5	15	51	11	17	100
SI06		40	43	277	23	86	469
百分率 (%)		9	9	59	5	18	100
SI07		1	2	31	6	18	58
SI07(イ4I5)		11	53	90	19	42	215
計		12	55	121	25	60	273
百分率 (%)		4	20	45	9	22	100
SI08		21	24	6		29	80
SI08・13 (イ5I6)		13	17	10	3	26	69
計		34	41	16	3	55	149
百分率 (%)		23	28	10	2	37	100
PG4(イ4J0)	9	144	540	768	190	397	2,048
百分率 (%)	0	7	26	38	10	19	100
PG4(イ4J1)	10	191	589	1,671	163	484	3,108
百分率 (%)	3	6	18	53	5	15	100

遺構・ケラド	～ 加B	安1, 2	瘤付	大洞	B, 安 3a, 3b	A, 沈, 刺	計
SI09 (イ5I7 含)	3	15	24	48	5	25	120
SI09		3	9	10	6	14	42
SI09Pit1					2	2	4
SI09Pit6			1			1	2
SI09Pit10					1		1
SI09Pit13			1				1
SI09Pit15		1					1
SI09Pit		1	4	3	9	1	18
計	3	20	39	61	23	43	189
百分率 (%)	2	10	21	32	12	23	100
SI10(イ2I6)		10	36	52	14	31	143
SI10(イ2I7)		28	98	120	31	105	382
SI10(イ3I6)		6	13	50	8	9	86
SI10(イ3I7)		15	73	51	16	64	219
計		59	220	273	69	209	830
百分率 (%)		7	27	33	8	25	100
SI11(イ3I6)			14	23	2	19	58
SI11(イ4I6)		30	74	58	21	57	240
SI11 (イ4I7)PG1		20	60	45	24	55	204
計		50	148	126	47	131	502
百分率 (%)		10	30	25	9	26	100
SI12(イ6I7)	4	72	73	284	30	141	604
百分率 (%)	1	12	12	47	5	23	100
SI14		1	4			1	6
SI14(イ6I9)	8	119	224	218	30	162	761
SI14(イ6J0)	8	231	354	425	104	304	1,426
SI14 斜面					4		4
計	16	351	582	643	138	467	2,197
百分率 (%)	1	16	27	29	6	21	100
SI15(イ2I5)		15	39	99	14	35	202
SI15(イ3I5)	1	7	23	108	9	41	189
計	1	22	62	207	23	76	391
百分率 (%)	0	6	16	53	6	19	100

も極めて多量ではないものの比較的広範囲からの出土が確認されており、調査区内～周辺に当該期の活動居住域を推定できるかもしれない。また早期尖底部破片や前期後半浮島式などもわずかながら確認されている。

刈沼遺跡第1次調査区で安定して多く出土するようになるのは安行1式及び安行2式からである。一定量の資料数が出土したグリッドでは、概ね後期安行式の出土が確認されていると言って良い。安行2式として分類したものでは、安行3a式に含まれるものもあろうが、小片では区別が難しい。「瘤付」としたものにおいても、第2段階から第4段階が出土しており、安行式との対応の上でも概ね整合する。今回検討を加えられなかったが、安行1式と瘤付系第2段階の中間的な様相を示す土器（例えば第157図1）も比較的多く認められ、この集落・或いは本地域における両型式間の関係性や位置を考える上で注目される。加えて、これら後期後半に伴う土器群としては大きく分類A群の中に含めた紐線文系の粗製土器がある。晩期に含まれる例も少数あろう。細分類・検討は行っていないが、南関東で出土するような質感や施文技法が観察できるものもある点は注意したい。更にこの時期と推定される土器として条線文の土器がある。瘤付系に伴う「粗製」と目され、図示資料は少ないものの、表で示されるように一定量出土している点は確認しておきたい。

晩期初頭については、安行3a式と大洞B1式・B2式があり、分類上は前者をB群としたものの、大洞

式との区別が困難なものも多い。既述のように、後期末との区別にも問題を残す。分類B群には安行3b式を含むほか、姥山Ⅱ式系も含まれる。縄紋施紋のものをB群に含めることを原則としたが、細密沈線文系などはここに含めている。つまり概ね「安行3a・3b式」を念頭に項目立てした分類項であるが、実際には特に姥山Ⅱ式系では安行3c式期のもを含めている。更には前浦式直前型式も含まれている可能性がある。前浦式は比較的純粋な形で認められ、当初細分類項とする予定であったが、便宜的に大洞式の中を含めたままとなっている。出土数・比率について示せないが、姥山Ⅱ式～前浦式が一定量存在していることは確認しておくべき事象であろう。

本遺跡では典型的な安行3c式、同3d式は殆ど見られないが、対応する土器は少数ある。分類A群としたものは、当初これらの型式を念頭においたものであるが、粗製土器、粗製の土器も多く含めており、かなり幅広い分類項となっている。更に問題となるのが、広口壺状の形態で、屈曲部よりやや下位の頸部に刺突列を巡らす一群の土器で、「刈沼式」の設定が可能なほど、安定した存在状態を示している。刺突列以下に縄紋を施すものや刺突列が施される部位に舌状・瘤状の突起を擁するものなどもある。器形上でも屈曲部以下「肩」部分が強く張り出す形態例があり、刺突も鋭い工具による細長いものと丸みを持つ刺突の両者があるなど、共時的な変化と共に、恐らく時間的な傾斜に関わる型式論的な配列が可能なように思える。大洞式半精製系とも近い側面があり、成立や変化については今後の検討課題としておくが、少なくとも大洞C1式～C2式の範囲内にある在地的な土器群と推定することができ、刈沼遺跡の重要な特徴の一つとして注目しておきたい。下野考古学研究会の調査でも一定量の出土が確認される。一方この「刈沼式」とは別に、沈線によりあまり図形的ではない意匠を描き、或いはまた円形貼付文や刺突を加えていく土器群があり、「天神原式」に類する例も一部に見られる。安行3c式との異同も含め、これも検討課題である。

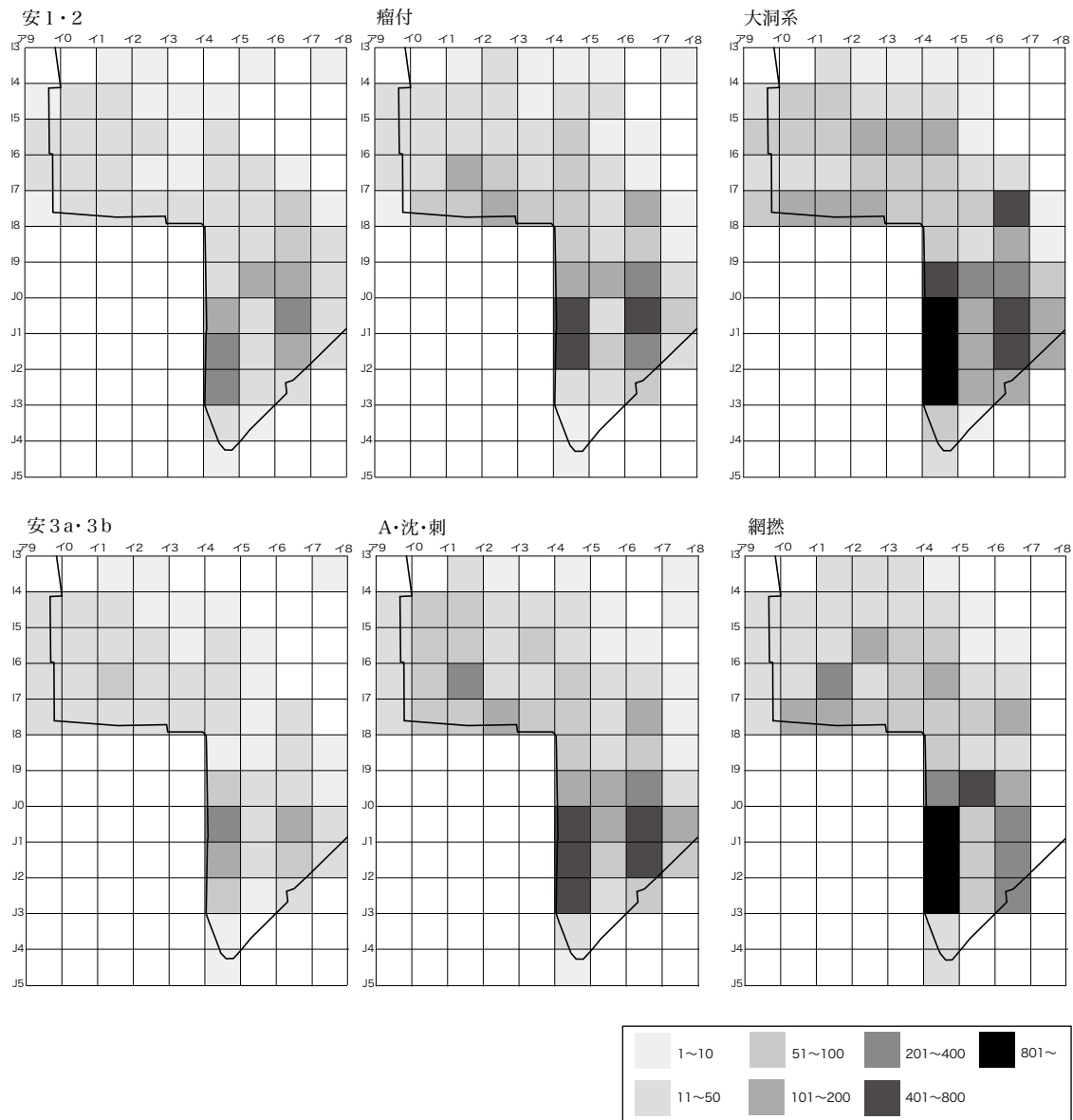
大洞式についても当初細分類を目途としていたものの、現段階では大分類のままとなっている。つまり大洞B1式からA式まで含んでおり、型式毎の数量・変化を考える上では殆ど意味を為さないカウント、数量提示となっている。但し大洞C1式とC2式の区別など、小片ではかなり分類に苦慮するものも多いことは付記しておく。整理所見からすれば、大洞B-C式まではかなり限定的で、大洞C1式から安定し、大洞C2式で膨大な出土量となる。器種も多く本来この点の分類もすべきであろう。感覚的な所見ではあるが、大洞C1式以降、鉢・皿類がかなり安定的で高率を占める様相がうかがえる。

各分類毎・遺構毎の比率

包含層の土器分類では、整理当初に遺構外の「無文土器」とされたものについては、現段階でカウントしておらず、確実な実数は不明である。確認した遺構部分の無文土器41,565点(323,968g)から1箱あたりの平均値を出し、これに未見部分の箱数を乗じて推定した数334,263点を仮定数として用いる。同様に底部についても推定した数を無文土器点数の数値に含めた。実際の遺構部分の分類確認では、有文小片も認められているものの、傾向をみる上では大きな支障はないと考える。

上記の仮定に基づいた数値ではあるが、全体土器点数は455,305点となり(第6表)、無文土器が79%と8割程度を占める。もちろん有文例の体部下半が無文となる破片も含めており、実数ではないが、概ねの傾向は示されよう。無文以外の粗製系では撚糸紋、網目状撚糸紋、縄紋、の順で続いている。これについても、口頸部に文様を有し以下網目状撚糸紋を施す土器が大洞C2式では多いことにも注意が必要であろう。

有文のみで割合を見ると、後期安行式が9%、瘤付系が19%と後期精製土器群中における瘤付系の割合の高さが確認される。両方の特徴を併せ持つような例が認められている点も注意が必要であろう。問題は分類



第 457 図 包含層出土土器分布図 (1)

で A 群とした土器で、紐線文系の粗製土器、この系統をひく副文様帯系の土器、安行 3 b 式、同 3 c 式対応の沈線施文の土器、頸部に刺突列を巡らす土器、大洞式半精製など本来分類すべき多種の土器を含んでいる。

以上を踏まえつつ、遺構毎に粗製系を除いた分類別比率を確認してゆく (第 8 表)。

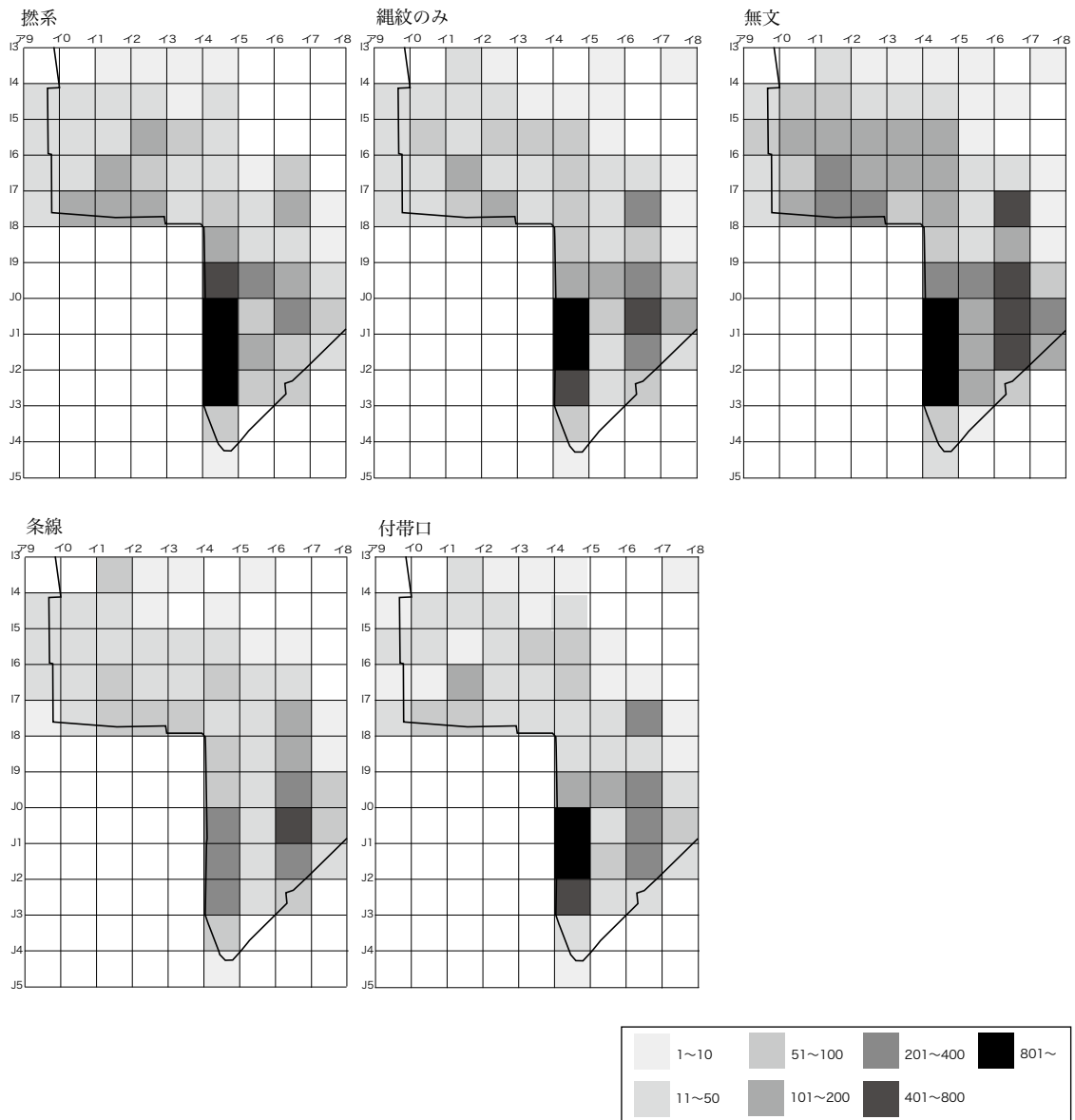
SI01 は大洞系が 53% と高率を示す。報告掲載分を見ても大洞 C 2 式がかなりの数量を示す。

SI02 は大洞系が 39% とやや低くなる。後期が一定割合を占めることは、瘤付系や安行 1 式、粗製紐線文系後期の復元個体があることから示される。A 群が 31% とやや高率であることも注意される。

SI03 は大洞系 45%、A 群が 27%、B 群が 9% となる。傾向を読みにくいだが、復元個体や掲載破片では大洞 C 2 式に次いで晩期初頭がやや目立っている。

SI04 は大洞系が 31%、A 群が 25%、B 群が 22% である。B 群の比率が最も高い遺構である。全体に土器量は少ないが、復元個体も安行 3 b 式の鉢があり、この時期の遺構と推定して良いかもしれない。

SI05 は大洞系 51% だが、後期も瘤付系が 15% と比較的高い。図示資料は大洞 C 2 式が目立っている。



第 458 図 包含層出土土器分布図 (2)

SI06 は大洞系が 59% と高率で、A 群が 22% である。復元個体は大洞 C 2 式がメインとなっている。

SI07 は大洞系が 45%、A 群が 22% となる。復元個体は大洞 C 1 式~同 C 2 式が多い。

SI08 は大洞系が 11% と低く、後期安行式及び瘤付系で 51% を占める。復元個体も瘤付第 3 段階が目立っており、住居形態も含めて後期後半の遺構と想定できよう。

SI09 も土器量は少なく、大洞系は 32% とやや低い。A 群が 23%、後期も併せて 54% とやや高い。

SI10 は大洞系 33%、A 群が 25%、後期も 34% となり、両方の時期となる可能性がある。

SI11 は大洞系 25% を上回る瘤付 30%、A 群 26% が特徴である。B 群は 9% だがやや大形の破片ではこれら安行 3 b 式あたりも比較的多い。

SI12 は大洞系 47%、A 群が 23%、後期は安行式・瘤付系併せて 24% である。復元個体では大洞 C 1 式、頸部刺突列土器群が多い。

SI14は大洞系が29%と低く、瘤付系27%、後期安行系16%、A群21%となっている。安行1式、同2式、瘤付第3・4段階の復元個体も比較的多い。大洞B-C式、同C1式、安行3b式等もあり、複数型式混在状況が顕著である。

SI15は大洞系が52%と高い比率を示す。

試みにピット群4のI4J0、J1グリッドを見ると、大洞系がJ0で68%、J1で54%、同様にA群が19%、15%、瘤付が26%、19%となっている。つまり住居跡群とあまり変わらない状況とみることができよう。復元個体では大洞C1式～C2式が圧倒的な量を占める窪地包含層であるが、意外にも破片比率では後期も24～33%とやや高い比率で含むことが分かり、出土分布図（第457,458図）からもこの点が示される。このことは20～30%程度の比率で、いずれの遺構でも或いはどの包含層・グリッドからも後期安行式や瘤付系を含んでいることを示している。

更により細かく各グリッド毎に確認・検討する必要があるが、遺構が存在する環状区域内では、地点による分類別割合の顕著な差異は見られない、ということが読みとれそうである（第8表）。この点は、後述するように、下野考古学研究会の調査報告を含め見ても概ね同様の状態を確認することができそうである。

加えて、住居跡覆土とグリッド包含層との間（いわば垂直方向での差一層位差ではない）にも顕著な差異を捉えにくいという状況が認められそうである。つまりいずれの層においても、後期後半安行1式から晩期中葉まで複数型式が混在して出土している、という様相が確認される。もちろん、詳細な型式毎の出土量比較・分布状態の検討が必要ではあるが、本遺跡包含層の概ねの傾向として確認することができたと言えよう。一方で、破片数の割合では均等的であっても、ある型式前後の復元個体がややまとまる遺構やグリッドがあることも確認でき、本来的には接合状況・破片の大きさなども考慮して検討する必要がある。

2. 既存の調査について

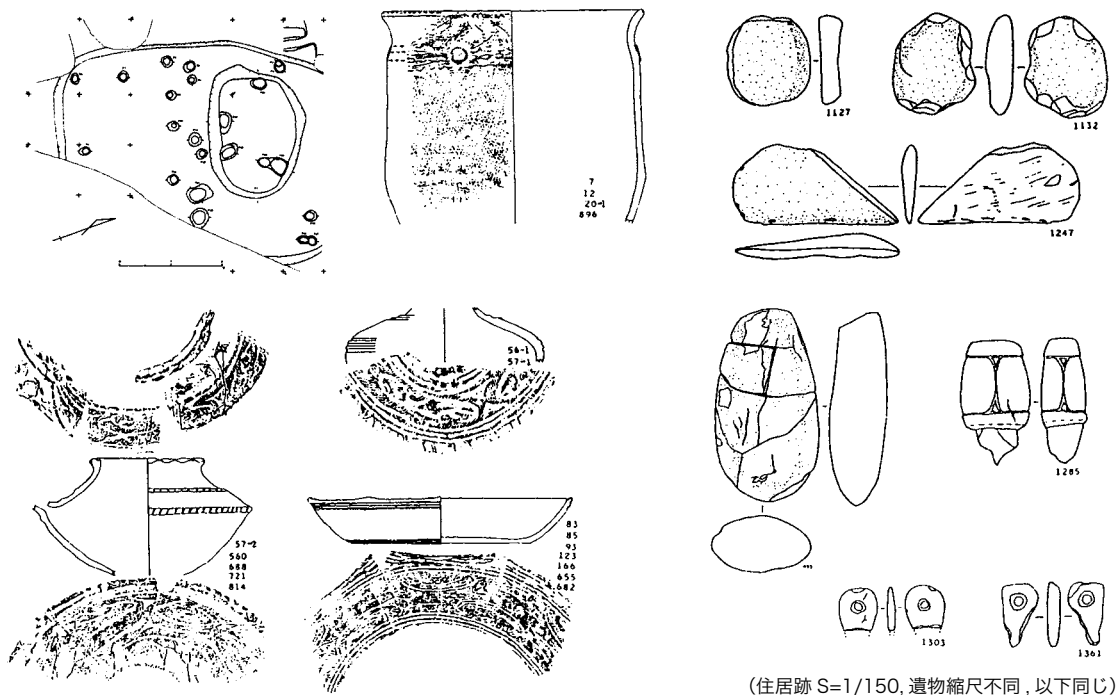
刈沼遺跡は古くから著名な縄紋時代の遺跡である。『栃木県の考古学』（大和久・埴 1972）や『宇都宮市史』（1979）などでも触れられているとおり、多くの遺物が採集され、注目されてきた遺跡と言える。とりわけ、地元の下野考古学研究会が遺跡の内容を明らかにすべく、1984年の第一次調査から今日まで継続的に学術調査を行い、多くの重要な成果を挙げている。2013年までの報告によれば、一次～四次の調査で、A～K地点の調査が行われている。トレンチ調査や狭い範囲の面的な調査が主である。雑誌『下野考古学』での報告では表採資料や寄贈資料も含め出土資料を悉皆的に図示掲載しており、出土状態の検討なども含めた考察は、遺跡の内容把握の点で、また後晩期遺物・集落の問題を考える上で、多くの貴重な成果と問題を提起している。下野考古学研究会の調査地点は、今回報告の市調査地点と重なる部分があるとともに、市調査区範囲外の部分もあり、ここで調査地点と成果の概要を確認しておく。本来的には下野考古学研究会の成果と本報告とをあわせて刈沼遺跡の内容を総合的に明らかにすべきであり、遺物の比較も含め別途詳細な検討する機会を得たいと考えている。なお、以下の記載に誤りがあれば筆者に責がある点、明記しておく。

一次調査のA地点・B地点は本報告市調査区の西側崖面部分に相当する。A地点では多数のピット、落ち込み、土坑？が確認され、土器は大洞C2式が主体となっている。B地点は狭い範囲の調査で、溝状の落ち込みとピットが確認されている。遺物は、大洞C2式を主体としている。C地点は今回報告の宇都宮市調査区と重複する。今回のグリッドではI4I8あたりの窪地にかかる部分に相当する。遺物は、大洞C2式が多い。

二次調査ではD～F地点が調査されている。D地点は昭和59年の土木工事で土取りされた部分で、B地



第 459 図 刈沼遺跡縄紋時代遺構分布図



(住居跡 S=1/150, 遺物縮尺不同, 以下同じ)

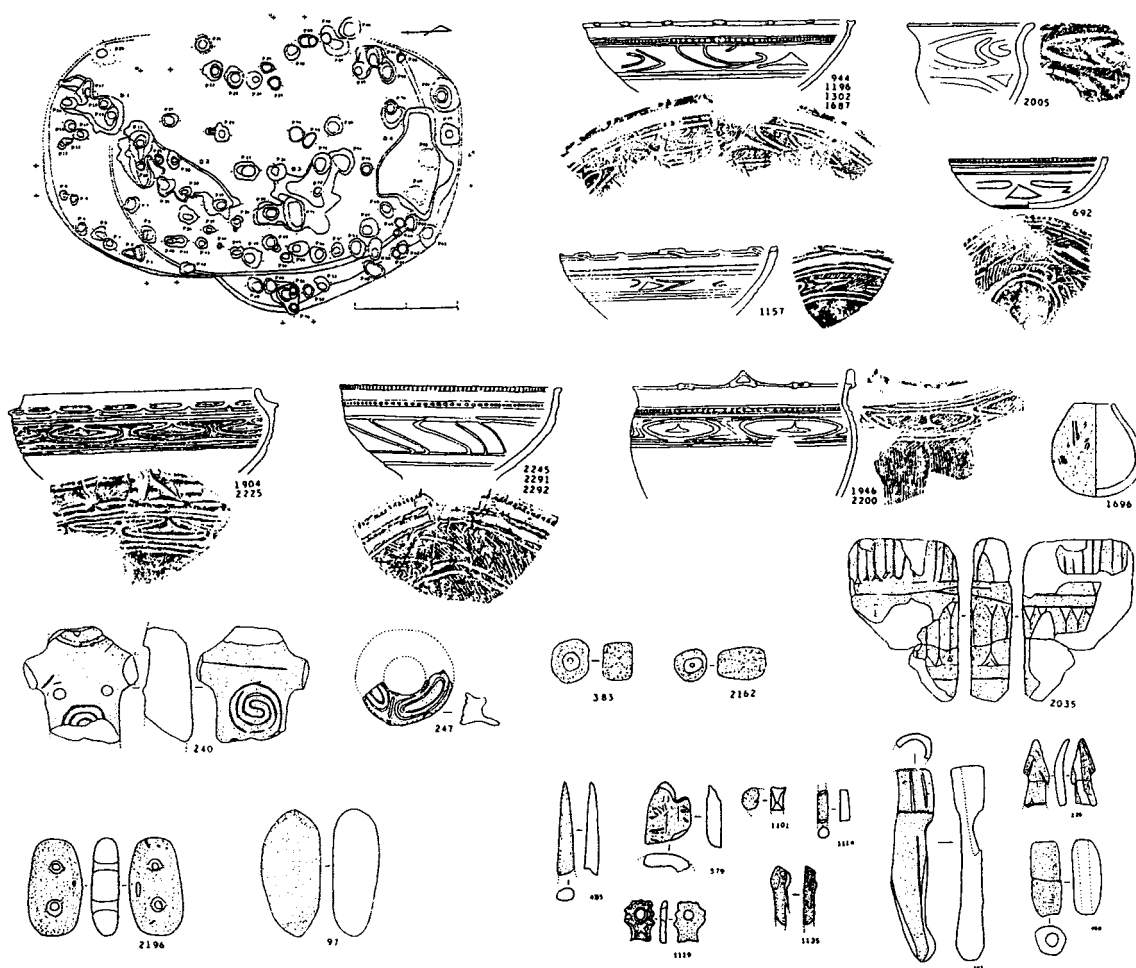
第 460 図 下野二次 E 地点

点の更に西、「中央窪地」推定部分または近い位置となる。重複する 3 軒の住居跡<1~3号住居跡>が確認・調査された。大洞 C 2 式中段階~新段階が目立つほか、大洞 A 1 式も少量出土している (第 461 図)。

F 地点は D・B 地点間で、工事により削平された面で確認した多数のピットから住居跡を判断し、4 号住居跡としている。遺物は少なく、後期安行式が目立っているようにも見える。F' 地点は F 地点近くの削平された面での調査で、土坑状の落ち込みが確認されている。E 地点は一部市調査区と重複するトレンチ及び拡張の調査区である。本報告の北区最南端と重なる位置で、楕円形の住居跡 1 軒<5号住>が確認されている。出土土器では大洞 C 2 式、特に中段階が多いようだが、複数型式が混在し、頸部刺突列土器群も目立つ。土偶や耳飾り、有孔土製円盤、石剣などがあると共に今回の報告で「擦切具」と呼称した縁辺に顕著な研磨痕跡がある石器や、磨製石斧未製品と推定されるものなども報告されている (第 460 図)。

三次調査は H,G,J,K 地点が調査されている。H 地点は市調査区範囲外だが近接する部分で、本報告での 7 918 グリッドあたりに相当する。SI05 の南西<環状遺構群区域内>とも言えよう。壁柱穴がやや疎らな 4 基の落ち込みが確認され、6~9 号住居跡としている。遺物は大洞 B-C 式~同 C 2 式が出土している (第 463 図)。報告・考察では加工のある石、自然石・剥片の分布についても記述・検討されている。

G 地点は I 116 グリッド付近に相当し、本調査区 SI03 と重なる。骨角器なども含め多量の遺物が出土している (第 462 図)。遺構として重複する 4 軒の住居跡が確認され、大洞 C 2 式期の住居跡<10~13号住居跡>とされた。合成図の作成及び検討を行い得なかったが、本報告 SI03 での炉 2 は石囲炉として調査されていることが確認される。つまり本報告第 1 分冊 P64 に示した遺物分布図もプライマリーな堆積ではないこととなる。考察では G 地点の遺物数量の合計も示されている。一部を列举すると、土器 3563 点、磨石 282 点、剥片 547 点、石鏃 44 点、石錐 8 点、石匙 6 点、打製石斧 14 点、磨製石斧 12 点、石剣 16 点、独鈷石 4 点、石錘 29 点、玉 10 点、有孔円盤 10 点、土偶 6 点等、である。概ねこの地点の特徴を表していると考えられ、参考としたい。各層ごとの接合状況の検討も行われている。また「4号遺構」では生活面と石皿間に「イネ科

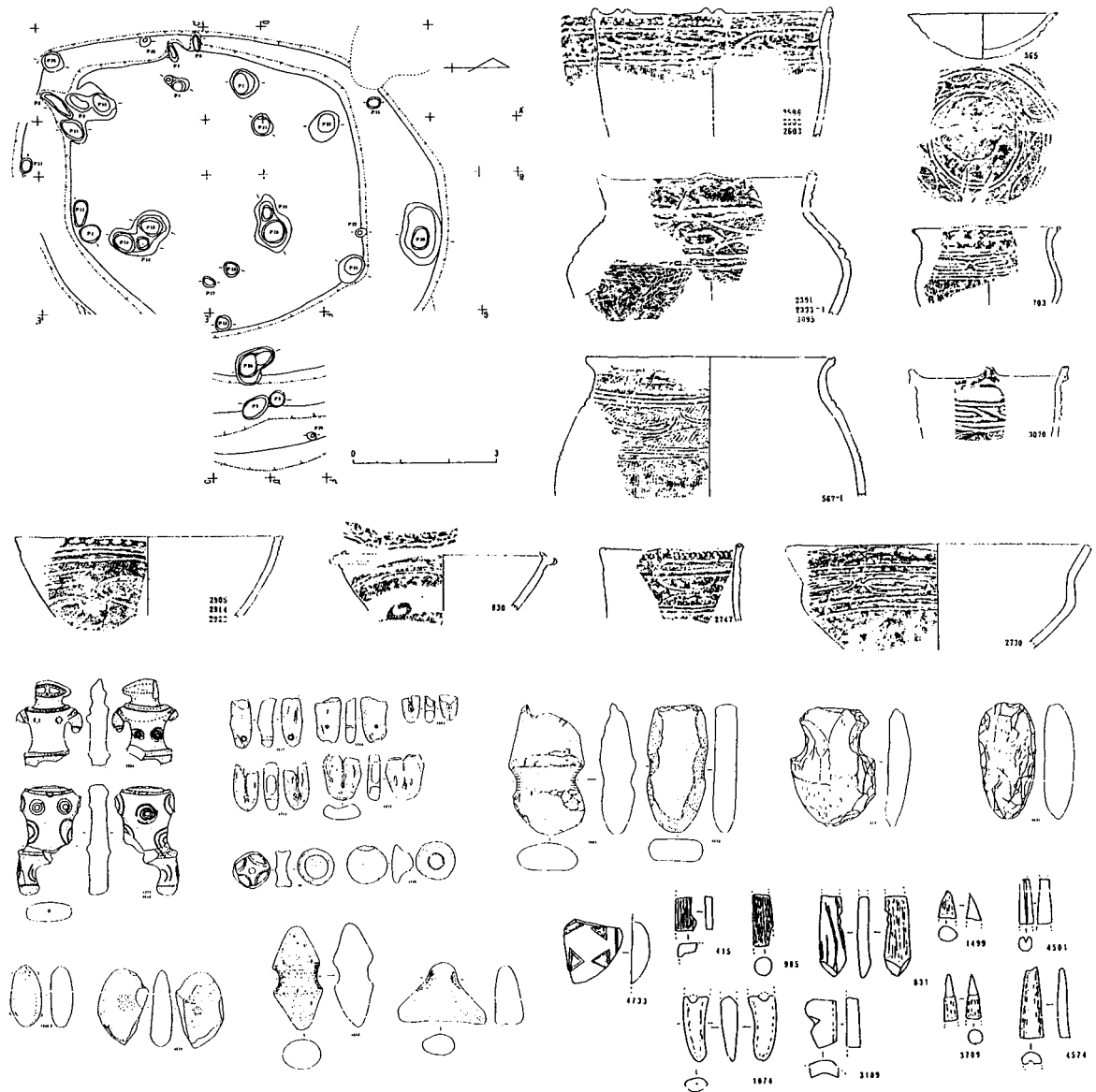


第 461 図 下野二次 D 地点

植物が網代状に炭化した状態で認められ」たようで、敷物が存在する可能性を指摘している。比較的多く出土した骨の同定も行われ（イノシシ・ニホンジカ）、穿孔例や切り込み、研磨などがある骨角製品、I 字文彩色の骨製品等貴重な資料が報告されている。また木の実圧痕付着の土器なども示されている。

四次調査では I 地点の調査が報告されている。この I 地点は下野考古学研究会調査の中では最も北東で、市調査区の SI07 及び近辺に相当する。遺構としては多数のピットを擁する楕円形プランの住居跡が確認されている。本来市調査の SI07 との異同を検討し、或いは合成すべきであるが為し得ていない。土器は後期安行式を含む複数型式が出土しているが、大洞 C 2 式がやや多い。他に土偶、打製石斧、磨製石斧、石鏃、石剣類等の出土と共に、研磨痕のある骨角器 3 点の出土が注目されよう。

以上の整理から、下野考古学研究会では計 14 軒の住居跡を調査していることが確認された。但し、G 地点の 10～13 号住居跡＝市調査区 SI03、I 地点の住居跡＝市調査区 SI07 であることから、現時点での統合した住居跡軒数は市調査区 15 軒＋下野考古学研究会調査区 9 軒＝24 軒となる。但し重複例のカウントの問題があり、少なくとも市調査区の SI03、SI11、SI14 で 2 軒分が推定されること、さらにピット群 4 で 1 軒、ピット群 5 で 2 軒、ピット群 1～3 で各 1 軒を住居跡の軒数として加えれば、総数 33 軒＋掘立柱建物跡 2 棟 (PG6,7) という数が、現段階で確認されている刈沼遺跡縄紋期居住痕跡のカウント数となろう。住居跡やピット群では更なる重複も推定され、或いは下野考古学研究会の調査で重複が判断されているものがあることから、よ

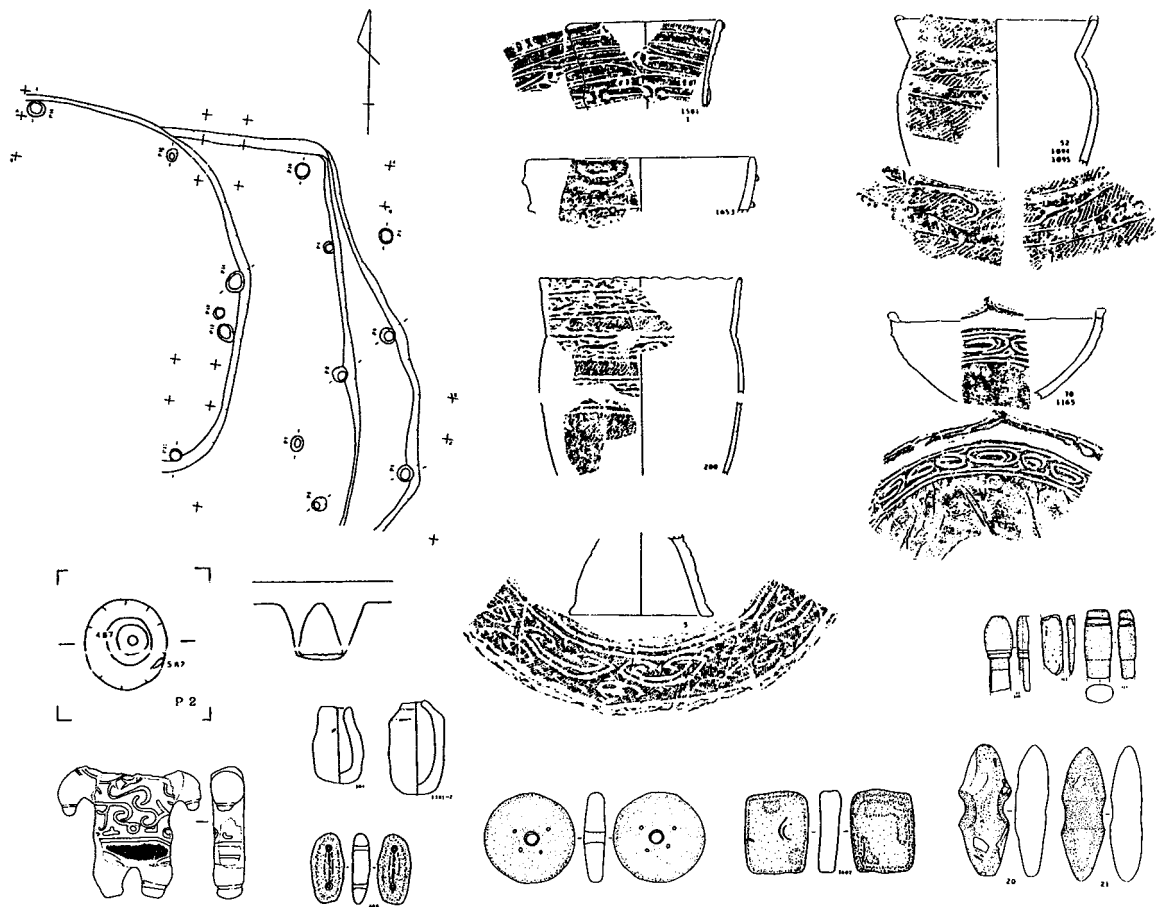


第 462 図 下野三次 G 地点

り多くの居住施設軒数を想定して良いであろう。それらの多くが大洞 C2 式期であることは、言うまでもなく当該期の拠点集落跡であることを明らかに示している。と同時に、詳細な検討を経ていないが、住居形態という点では、楕円形プラン、多数のピットという程度の共通性を示すにとどまり、南関東後晩期住居跡例のような定型性・系統性を窺うことができる形態例が殆ど認められない点は注意が必要である。

下野考古学研究会の調査報告の中で示されている遺物の種別や個別の特徴という点では、今回報告の宇都宮市調査区の調査成果と概ね対応するようであり、当然のことながら土器文様も類似度が高い点を確認しておく。下野考古学研究会の報告は悉皆的な整理・報告であることから、遺物の組成や分布状態を考える上では、下野考古学研究会報告をもとにした検討が必要であろう。本来的には土偶や石剣類なども含め、石器・土製品・石製品について統合集計し、種別比率や分類別比率などを示す必要があり、これも今後の課題としたい。

ここでは遺物について幾つか気づいた点を示しておく。土器型式の点では、市調査区範囲外でも後期後半安行 1 式から大洞 A 1 式までが出土しており、後期では瘤付系が一定数を占めること、晩期では大洞系が圧



第 463 図 下野三次 H 地点

倒的多数を占めることが確認される。頸部刺突列土器群と仮称した土器群も一定量出土している。石器では打製石斧・磨製石斧・磨石・石皿類の多量出土が同様に確認される。とりわけ打製石斧や磨製石斧未製品と推定されるものが一定量図示報告されており、本報告分で推定された遺跡内での製作をより傍証していくことができよう。また打製石斧の形態では、括れの弱い形態、縦長の形態など市調査区分と同様の特徴例を看取することができ、遺跡の特徴と認めて良いようである。砥石や小形の敲石も安定して出土しているが、形態という点でも端部が山形状になる敲石（第 462 図下段左）など、類似例が多く認められる。土製品では板状土偶や本遺跡に特徴的な両端穿孔板状土製品、有孔円盤形土製品が量的に安定して出土していること、口部が狭い壺形の小型土器などの共通性が確認される。石製品では垂飾玉類、石剣類や独鈷石の多量出土が確認されるとともに、G 地点で出土している完存の石冠なども注目されるものであろう。一方市調査区で明確に確認されなかったもので注目されるものとしては、G 地点や I 地点で出土している骨角器がある。刺突具、垂飾品、また I 字文系の彩色ある製品については、内陸の本地域においては貴重な製品であろう。市調査区分で確認されている骨（DVD 所収第 33 表）についても再検討が必要かもしれない。

以上示してきたように、下野考古学研究会の調査により、刈沼遺跡の様相が明らかにされてきたことはあらためて評価すべきことである。今回の報告も、むしろこれまでの研究会の成果を追認するもの、とさえいえる。細かいデータの提示と検討という作業は、今回の調査・報告で為し得なかったことであり、遺跡内のマイクロな分析や剥片石器類や粗製土器なども含めた悉皆的な遺物の提示は、後晩期刈沼社会の実態を解明し

てゆくうえで、下野考古学研究会の成果は十分に活用されるべき研究と言えるだろう。

3. 刈沼後晩期集落の復元に向けての現状と課題

今回報告の宇都宮市調査による遺構分布、包含層での遺物出土状況に、下野考古学研究会の調査成果を加えると、幾つかの集落論上の注意すべき点が見えてくる。まず住居群の布置という点では、環状に近い帯状部分への集約的な構成があらためて確認される(第459図)。下野考古学研究会H地点での4軒の住居跡の確認は、SI05より西側への分布の連続性を示し、一方D・E地点での確認は環状南側の区域も住居群がより西側に続いていることを示している。とりわけD地点の位置が中央窪地に近い、或いは窪地内部とも捉えられる場所であり、ここから集落全体の規模が外径100m程度であること、中央窪地の径が40～50m程度であることが推定されてくる。また下野考古学研究会のADH地点などでの出土土器の様相・型式・組成などは本報告と大きな差異は見られず、変容例を含む大洞C2式を中心とし、これに付帯口縁の土器や網目状撚糸紋施紋の粗製土器・無文土器が組成を為すという共通的な様相が確認される。本報告範囲内でもSI08が後期後半の住居跡であることを除けば、住居跡やピット群の時期は大洞C2式期であり、大洞C2式内の細別を考慮すべきとはいえ、この時期に大きく集落が展開したことは確定的と言えよう。市調査区ではやや不明瞭であった環状区域の南側について、下野考古学研究会ABDE地点の様相から、この南側～窪地縁辺にかけて居住域・包含層の形成が確認されたことは重要な点と言える。少なくとも半円周程度、後晩期の住居・包含層域が窪地を囲むように展開していることは認めて良いであろう。

一方気にかかるのが各遺構や包含層から後期後半の土器が一定量出土していることである。この点も市調査区、下野考古学研究会調査区いずれも概ね同様であり、顕著な地点差を見出しがたい。つまり、どの住居跡・包含層でも概ね2割程度の後期土器群を含んでおり、その量を考えればSI08以外にも多くの遺構があった可能性を示す。更に晩期初頭～前葉、及び大洞C1式も一定量があり、量的な多寡からの増減をも想定しつつ、大洞C2式期以外の時期においても一定程度の集落規模を想定する必要があるだろう。

併せて問題となるのが、複数土器型式が混在する状況そのものについてである。この点は調査時点の所見に加え、遺構や各グリッド毎の分類別比率、数量の提示等の整理所見からも確認される。もちろん包含層中の「ある範囲」や遺構覆土で比較的短い時間幅の遺物がまとまる部分や、ある型式が一定グリッドにまとまる傾向も一部には確認できるものの、多くの部分・範囲での型式混在状況を平面的にも層位的にも認めなければならないであろう。出土遺物の分布について細かく記録し検討されている下野考古学研究会の調査地点においても、同時期遺物の共伴よりむしろ複数型式の混在状況を読み取ることができ、この遺跡における基本的な様相・特徴であると考えられる。縄紋後晩期の拠点的な集落跡、とりわけ環状盛土遺構を擁する中央窪地型集落跡でこのような傾向が顕著であることはこれまで記してきた(江原2009)、例えば小山市寺野東遺跡では窪地周囲の高まり＝盛土部分では後期前半から晩期前半の遺物が多量かつ混在して出土している(江原1997)。但し晩期中葉については中央窪地内に集約的に分布しており、この点では刈沼遺跡と差異がある。刈沼遺跡においても縄紋時代の中で最も新しい時期の大洞A式がI4J0～J3グリッドに集中しており、最新時期のものが中央窪地内～周辺にある、という点では対応する共通事象と言えるかもしれない。一方顕著な高まりや盛土層を持たない点では寺野東遺跡をはじめとする他の環状盛土遺構例とは異なっている。但し包含層中の遺物出土については、今回提示し得なかった膨大な遺物出土記録が残されており、包含層の堆積状況も含め再度検討する必要がある。遺憾ながら、盛土遺構調査地点の記録も不明瞭な

部分があり、土取り工事前の現況確認なども含め、遺跡の景観復元が大きな課題の一つとして残されている。

なお集落内北側の SI03・SI10 から SI01 や ピット群の範囲、さらに南端近くのピット群 6 にかけての遺構群の展開について、住居跡群の連続的布置を推定してきているが、ピット群 6 で示されるような掘立柱建物跡の復元を積極的に考える案もあろう。ピット群 5 範囲内の西側やピット群 2 範囲内の中央で並ぶピット列は、等高線に沿ってまた中央窪地の「弧」のラインに平行する軸を有していると捉えることもできる。つまり、これらのピット列を埼玉県赤城遺跡や小山市乙女不動原北浦遺跡、寺野東遺跡等で確認されている窪地内～縁辺のピット群と類似・対応するものとする捉え方もできよう。或いはまた、東北方面で確認されている掘立柱建物跡群が弧状に展開する例―福島市南諏訪原遺跡等―との比較検討も必要となろう。多くのピットの深さが現段階で確認できないこともありこれ以上の検討はできないが、これまでの後晩期集落・環状盛土遺構の議論の中で注目してきた窪地縁辺のピット群の問題が、本遺跡の集落構造を考える上でも注意すべき視点となることは指摘しておきたい。

ともあれ、これまで若干ながら整理してきたように、窪地の縁辺に後晩期の住居跡群及び包含層が環状に近く分布している事象から、この部分への集約的な居住＝拠点的な集落が形成されたことは疑い得ない。後期後半～晩期前半の状況については不明な点が残るものの、この範囲外での遺構遺物が希少な点からは、やはりこの環状範囲に居住域が形成されていたことを推測するのが整合的であろう。包含層中や遺構覆土における土器の複数型式混在状況は、居住と遺物廃棄・整地行為の継続的・循環的な行為を推測させるものである。そして大洞 C 2 式の時期に「中央窪地型集落」がいわば完成した姿として生成される。盛土や削平・整地について、現段階での記録からは確定的な判断ができず、また「中央窪地」の形態や成因についても不明ではあるが、下野考古学研究会の調査成果及びこれまで示してきた宇都宮市の調査成果から、刈沼縄紋後晩期集落について「中央窪地型環状集落」という集落形態と判断して良いであろう。この意味では関東的な形態とも言えるが、これまで触れてきているように、ローム質の厚い包含層部分が認められない等異なる部分も多い。また、土器や住居形態など東北方面との共通事象も多くあることなども踏まえ、更には「刈沼式」とも言うべき「頸部刺突列土器群」の存在に代表されるような在地の動き・伝統、或いは石器製作に関わる事象なども考慮しつつ、本集落について評価し、地域の中に位置づけてゆく必要があるだろう。周辺域の動向なども検討に加え、或いは同時期の後晩期集落と比較検討しつつ、当地域における縄紋後晩期の社会・動向について、分析を進めることが今後の課題である。

本書はきわめて不十分な報告で、この総括においても散漫かつ羅列的な記述による課題の提示に留まっており、上記の問題構制を基本的視座に据えつつ、今後基本的な遺構・遺物の丁寧な観察と分析を進めることを期して総括の収束言とする。なお整理報告にあたって多くの方々からご教示を頂いた。とりわけ五十嵐利勝氏をはじめとする下野考古学研究会の方々からは多くの貴重なご教示を得た。感謝申し上げるとともに、報告に活かすことができなかつた非礼をお詫びしたい。

第 1 分冊 P12 文献補足

下野考古学 31 号「刈沼遺跡 第 12 冊 刈沼遺跡第四次調査 I 地点調査報告」下野考古学研究会 2011

下野考古学 33 号「刈沼遺跡 第 13 冊 刈沼遺跡第四次調査考察・第三次調査 J・K 地点報告」下野考古学研究会 2013

写 真 图 版



刈沼遺跡・刈沼向原遺跡全景（東から）



刈沼遺跡第一次調査区全景（南東から）



刈沼遺跡第1次調査区全景（南から）



刈沼遺跡第1次調査区南側全景（南東から）



刈沼遺跡第1次調査区全景（垂直）



刈沼遺跡第1次調査区南側全景（垂直）



刈沼遺跡第1次調査区全景（南から）



刈沼遺跡第1次調査区全景（垂直）



S101床面



S101完掘



S103完掘



S103東側遺物出土状況



S104土層断面



S104完掘



S107



S108炉



S108・13



S108・13完掘



S109



S109完掘



S111完掘



S112遺物出土状況



S112完掘



SK32遺物出土状況



SK 43



SK 48



SK 49 土層断面



SK 50



SK 51



SK 53



SK 54 土層断面



SK 55



SK 56



SK 58 土層断面



SK 59



SK 60



SK 61



SK 64 土層断面



SD 04・SD 16



SD 04(1412) 土層断面



SD04(I515)土層断面



SD04・SD16(I5J6)土層断面



SD09(I411)土層断面



SD09(I611)土層断面



I617 遺物出土状況



I617 遺物出土状況



I4J1 遺物出土状況



I5I7 遺物出土状況



I 617 遺物出土状況



I 619 遺物出土状況



I 014 土層断面



作業風景



西側斜面確認状況



西側斜面土層断面



T-7 土層断面



西側斜面作業風景



SK101完掘



SK01



SK02土層断面



SK06



SK06遺物出土状況



SK09



SK14・SK15



SK17土層断面



SK 20



SK 21・SK 56



SK 23



SK 25 土層断面



SK 27 土層断面



SK 27



SK 28



SK 29 土層断面



SK 34



SK 36



SK 39



SK 42・SK 61



SK 43 土層断面



SK 44



SK 47 土層断面



SK 50 遺物出土状況



SK 50



SK 51・SK 52 遺物出土状況



SK 51 土層断面



SK 62 土層断面



SK 64 土層断面



SK 68



SD 01B 土層断面



SD 01



SD01



SD02・SD14



SD14土層断面



SD14土層断面



SD14土層断面



SD02・SD14



SD03土層断面



SD03



SD05土層断面



SD05



SD06土層断面



SD06



SD09土層断面



SD09



SD09



SD014土層断面



SD 14



SD 14



SD 17 土層断面



SD 17



SZ 02 完掘



SZ 02 土層断面



SZ 02 土層断面



SZ 03 完掘



SZ01完掘



SZ03土層断面



SZ04完掘



SZ05完掘



SZ05土層断面



S Z 0 5 土層断面



S Z 0 5 土層断面



S Z 0 6 完掘



S Z 0 6 完掘



S Z 0 6 土層断面



S Z 0 6 土層断面



S Z 0 7 完掘



S Z 0 7 土層断面



S Z 0 7 完掘



S H 1 0 完掘



S X 3 7 土層断面



S X 5 8 完掘



調査区全景



SD01 土層断面



SD01 西部遺物出土状況



SD01 東部遺物出土状況



SD01 中央部遺物出土状況



SD01



SD01



SD01



SD01 調査状況



SK101完掘



SK101土層断面



SK03・SK04



SK05土層断面



SK06



SK12土層断面



SK38



SK38土層断面



SK 39



SK 40



SK 40 土層断面



SK 43 完掘



SK 47 土層断面



SK 74・SK 78・SD02



SK 78 土層断面



SK 88 土層断面



SK 88



SK 89 土層断面



SK 109 土層断面



SK 110 土層断面



SK 116



SK 116 土層断面



SD 01 土層断面



SD 02 土層断面



SD03土層断面



SD04



SD04土層断面



西側土層断面



SI01完掘



SI01土層断面



SI01A区遺物出土状況



SI01遺物出土状況



S101 遺物出土状況



S101 カマド土層断面



S101 調査状況



S102 土層断面



S102 土層断面



S102 土層断面



S102 カマド 遺物出土状況



S102 カマド



S102貯蔵穴遺物出土状況



S103完掘



S103完掘



S103遺物出土状況



SK15・SK16・SK17土層断面



SK20・SK21



SK33・SK43



SD04土層断面



SD04西側遺物出土状況



SD04



SD04・SD05



SD05土層断面



SD05・SD10・SD11土層断面



SD05



SD06



SD07・SD08



SD07・SD08土層断面



SD07・SD08土層断面



SD09



SD10・SD11土層断面



SD10・SD11土層断面



SD12土層断面



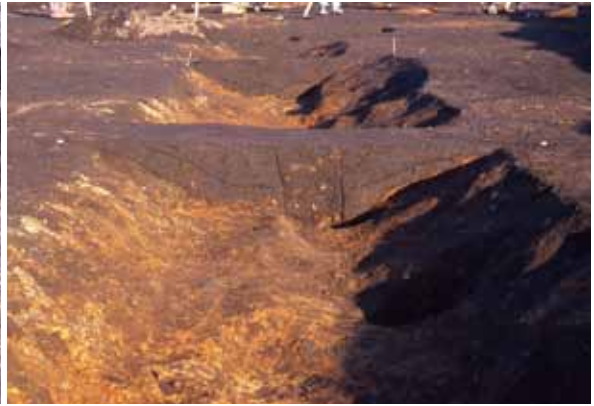
SD13・SD14土層断面



SD13・SD14土層断面



SD15土層断面



SD16・SD17土層断面



SD16・SD17土層断面



SD16・SD17西側土層断面



SD16・SD17掘削状況



SD17・SD20土層断面



SD17・SD18・SD20



SD17・SD18・SD20



SD17・SD18・SD20



SD10・SD11作業状況



T-31遺構確認状況



T-4遺構確認状況



T-1遺構確認状況



中央地区遺構確認状況



刈沼向原遺跡第2次調査区全景



重機作業状況



中央部完掘



刈沼向原遺跡第3次調査区全景



刈沼向原遺跡第3次調査区全景



刈沼向原遺跡第3次調査区全景



SX01



S105完掘



S105完掘



S105土層断面



S105 Pit1 土層断面



S105遺物出土状況



S105遺物出土状況



S105遺物出土状況



S105遺物出土状況



SK161



SK162



SK163土層断面



SD06



SD06土層断面



SD07・SD08



SD07土層断面



SD08土層断面











105-1



102-3



104-1



115-1a



115-4



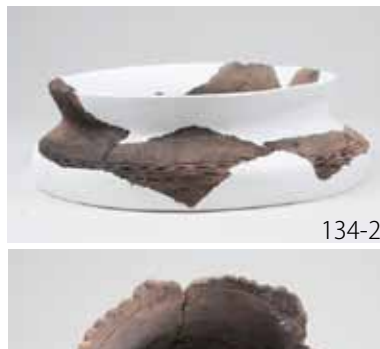
120-5



115-2



134-2



134-4



135-1



134-3



137-2



134-1



156-1



156-7



157-2



157-3



158-6



158-2



158-1



158-1



158-1



148-1



159-1



160-1



162-6



160-2



163-6





273-3



273-7



273-5



273-1



136-8



133-2



274-1



図版四二 遺物（縄紋土器）







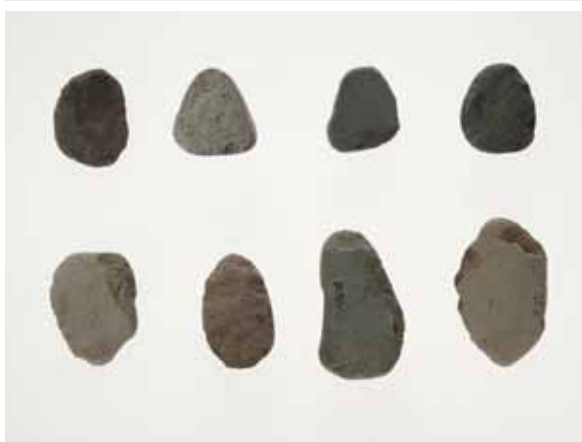






(辨別) 箭鏃 十四張圖集







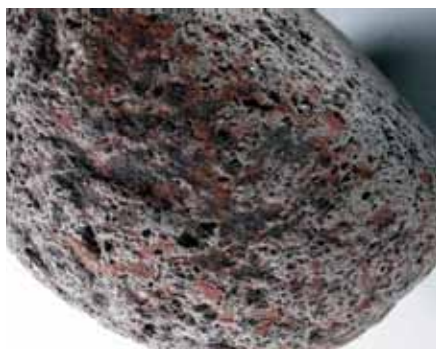
338-2



338-3



337-7









341-1, 342-6



353-4



362-1



347-1



435-3



451-6

第1表周辺の遺跡

No.	遺跡名	所在地	種別	時期(型式)	備考
1	刈沼遺跡	刈沼町482-1他	集落跡	縄文・古墳	
2	刈沼向原遺跡	刈沼町268-11他	集落跡	縄文・古墳	
3	岡本小学校遺跡	下岡本町	散布地	縄文(後期)	
4	第二公園内古墳群	下岡本町	古墳	古墳	円墳(供養塚)
5	第二公園南遺跡	下岡本町		縄文(加曾利 E)	
6	日枝神社南遺跡	下岡本町	散布地	先縄文	
7	日枝神社南古墳	下岡本町	古墳	古墳	円墳
8	第二公園古墳群	下岡本町			
9	第一公園東遺跡	下岡本町		縄文(加曾利 E)	
10	古坂峯高塚	板戸町1711他	高塚	江戸	
11	中丸遺跡	板戸町3420他	古墳	縄文	
12	板戸愛宕塚古墳群	板戸町2215他	古墳	古墳	円墳2
13	山田遺跡	板戸町3463他	集落跡	縄文・古墳	
14	不動上供養塚	板戸町3620-1	供養塚	江戸	
15	不動山古墳群	板戸町3630他	古墳	古墳	円墳2
16	日陰坂上古墳群	板戸町1839他	古墳	古墳	円墳2
17	不動遺跡	板戸町3660他	集落跡	縄文	
18	刈沼池前遺跡	野高谷・刈沼	散布地	縄文・古墳時代以降	
19	鎮守林西遺跡	刈沼町552-1他	集落跡	縄文・奈良	
20	淡路城跡	刈沼町469他	城館跡	室町	
21	向原遺跡	刈沼町298-4他	集落跡	奈良・平安	
22	野高谷薬師堂遺跡	野高谷町657他	墓地	中世・近世	
23	刈沼東原遺跡	刈沼町東沢344-1他	集落跡	古墳	
24	野高谷東原遺跡	野高谷町1066他	集落跡	古墳	
25	野高谷北台遺跡	野高谷町1135他	集落跡	縄文・古墳	
26	平出城跡	平出町1512他	城館跡	室町	
27	免の内台古墳	平出町4106他	古墳	古墳	円墳
28	上野遺跡	平出町411他	道路跡	奈良・平安	
29	大塚古墳	大塚西	古墳	古墳	
30	大塚古墳	道場宿町	集落跡	奈良	新規命名
31	山之内遺跡	竹下町字山之内885他	集落跡	奈良・平安	
32	どどづか高塚	道場宿町27他	高塚	江戸	
33	同慶寺館跡	竹下町1107他	城館跡	室町	
34	竹下浅間山古墳	竹下町1100-5他	城館跡	古墳	前方後円墳 市指定
35	飛山城跡	竹下町393-6他	城館跡	室町	
36	竹下遺跡	竹下町712他	集落跡	縄文・古墳	
37	山下台高塚群	下平出町1019-1他	高塚	江戸	円形高塚2
38	石井城跡	石井町1721他	城館跡	室町	
39	五味内古墳	氷室町五味内	古墳	古墳	
40	五味内遺跡	氷室町五味内	集落跡	奈良	
41	氷室中ノ島北遺跡	氷室町字中島973-7他	集落跡	奈良・平安	
42	千波ヶ原遺跡	竹下町1412他	集落跡	縄文・古墳	
43	氷室中ノ島遺跡	氷室町1781-1他	集落跡	縄文・奈良	
44	鑑山東原遺跡	鑑山町191-1他	集落跡	縄文・奈良	
45	草倉坂下遺跡	鑑山町草倉坂下672他	集落跡	縄文	
46	根本内遺跡	鑑山町字根本内617他	集落跡	奈良・平安	
47	白内遺跡	氷室町705-8他	集落跡	縄文・奈良	
48	免の内遺跡	氷室町1012-1他	集落跡	縄文・古墳	
49	鷺ノ谷庚申塚	宝積寺字鷺ノ谷	塚	中世・近世	
50	鷺ノ谷A遺跡	宝積寺字鷺ノ谷	散布地	中世・近世	板碑
51	鷺ノ谷弁天塚	宝積寺字鷺ノ谷	塚	中世・近世	頂部に弁天様の詞
52	鷺ノ谷B遺跡	宝積寺字鷺ノ谷	散布地	縄文・古墳・中世・近世	内耳土器
53	台の原A遺跡	上高根沢台の原	散布地	縄文	打斧・磨石 旧名：台の原遺跡
54	一斗内遺跡	石末字一斗内他	散布地	縄文(中～後)・奈良	
55	西根遺跡	上高根沢字西根・大童内他	散布地	旧石器・縄文(前～後)	西根A、十九夜坂入口遺跡を含む
56	台の原D遺跡	上高根沢台の原	散布地	縄文・中世・近世	
57	井戸山塚古墳	上高根沢台の原	古墳	古墳	滅失 平成5年確認調査
58	台の原古墳群	上高根沢台の原	古墳	古墳	8基牧場造成時に滅失
59	井戸山古墳	上高根沢台の原	古墳	古墳	開田時に滅失
60	上の原A遺跡	上高根沢上の原	散布地	縄文・中世・近世	内耳土器
61	台の原E遺跡	上高根沢台の原	散布地	縄文	
62	不動塚古墳群	下高根沢字大塚不動山	古墳	古墳	円墳3 旧名：大塚古墳群
63	大塚遺跡	下高根沢字大塚	集落跡	縄文	
64	箸塚遺跡	下高根沢字箸塚	集落跡	縄文・古墳・奈良・平安	
65	下原遺跡	下高根沢字下原	集落跡	縄文・古墳・奈良・平安	
66	後久保遺跡	東水沼字後久保・古留293	集落跡	縄文・弥生・古墳・奈良・平安	
67	梨の木原遺跡	東水沼字梨の木原	集落跡	縄文・古墳・奈良・平安	
68	後久保古墳	東水沼字後久保・古留294	古墳	古墳	前方後円墳
69	谷近台古墳群	西水沼字谷近台	古墳	古墳	円墳6 市町村番号325/谷近台遺

第1表 周辺の遺跡

第2表刈沼遺跡第1次出土土器集計表

遺種・グリッド	～加日	安1.2	竪付	大洞	安3a.3b	A.沈刺	網罟	撥糸	興紋のみ	無文	無文B	条線	製塩	付帯口	有文小片	計	その他
S101(覆土)		67	78	523	48	222	535	290	239	539	57	198	6	235	96	3,133	
S101(1519)		50	73	264	33	110	9		3	10	5			14		571	
S102	3	14	28	128	26	125	55	23	46	170	31	20	2	64	27	762	
S102(161K1)		95	165	398	80	292	12	2	15	30	43	23		30		1,185	
S103	2	137	138	662	111	434	716	416	290	832	107	174	14	279	154	4,466	内耳1
S103(11J6)		25	81	230	58	152	81		3	8	4		3	9		654	
S103(11J7)		22	46	140	28	49	31		2	4	1		1	2		326	
S104			3	2	6	3	1		4	14	2					35	
S104(10J4)		5	31	53	33	43			2	10	10	3		5		195	中世1
S105	1	9	38	113	22	34	96	133	42	80	12	17	4	35	22	658	
S105(79J7)	1	4		36	8	11			3		1					64	
S105(10J7)	3	15	38	109	26	42	4	1	2	4	6	2	6	6		264	
S106		40	43	277	23	86	187	306	59	185	25	57	3	80	52	1,423	
S107		1	2	31	6	18	6	1	7	25		4		8	4	113	
S107(14J5)		11	53	90	19	42		2	5	9	13		1	17		262	
S108		21	24	6	29	4	1	42	73	4	48	1	9	6		268	
S108-13(15J6舎)		13	17	10	3	26			5	4	1	2	2	2		85	
S108(15J7舎)	3	15	24	48	5	25			3	3	1	4		2		133	
S109		3	9	10	6	14		2	1	11	2	2		2		62	
S109Pit1					2	2	1	1	1			1				7	
S109Pit6			1			1	1	1	1	4		2				11	
S109Pit10					1											1	
S109Pit13			1													2	
S109Pit15		1														1	
S109pit		1	4	3	9	1	1	1	1	3	2					25	
S110(12J6)		10	36	52	14	31			3	3	5		4			158	
S110(12J7)		28	98	120	31	105			8	3	6		7	3		409	
S110(13J6)		6	13	50	8	9	1		3	4	1			1		96	
S110(13J7)		15	73	51	16	64				2				1		222	
S111(13J8)		14	23	2	19	2				1	1		3	1		66	
S111(14J6)		30	74	58	21	57			6	4	9			3		262	
S111(14J7)PG1		20	60	45	24	55	1	3	2	4	5			2		221	
S111								2								2	
S112(16J7)	4	72	73	284	30	141	1	1		76	58	17	10	49	8	824	
S114		1	4			1		2	2	1		2				13	
S114(16J9)	8	119	224	218	30	162	7	2	15	50	31	27	14	17		924	早期2
S114(16K0)	8	231	354	425	104	304	8	1	38	35	26	31	17	38		1,620	早期1
S114斜面				4							1			1		6	
S115(12J5)		15	39	99	14	35		1	3	2	4		1	5		218	
S115(13J5)	1	7	23	108	9	41			3	6	13			9		220	
S116Pit1			2	3	2		3	5	2	3		1		1		22	
S116Pit5			2													2	
S116Pit8			2	3	3	1	5	5	2	12	2	2		2		39	
S116Pit17		1	2		1	1	1	1	2		6			2		16	
S11計		34	1,104	1,990	4,672	865	2,787	1,769	1,203	864	2,222	497	637	99	934	369	20,046
PG2(14J8)	3	23	57	59	6	47			2	3	5		1			206	
PG3(15J8)		22	31	23	9	31					2					118	
PG3(15J8斜面)		2	5	2	1	4						1		2		17	
PG6(14K0)	9	144	540	768	190	397	6	11	33	41	61	5	27	57		2,289	
PG6(14K1)	10	191	589	1,671	163	484	12	4	46	24	50	5	21	60		3,330	土師1
PG6(pit)		2	3	11	1	7	2	4	4	9		2		2		47	
PG7(pit)		2	7	1	1	5	1	2	3	2	2	5	4	8		43	
PG7(15K1)		24	36	98	11	66		1			2		4	7		249	
PG8(14K2)	31	230	406	1,260	85	309	17	14	55	24	31	17	8	54		2,541	
PG8(P24,25)												2				2	
PG8(14K3)	19	22	29	52	5	38			9		2	4	3	1		184	
PG計		72	662	1,703	3,945	472	1,388	38	36	152	103	155	41	68	191		9,026
SK1						1										1	
SK7		1														1	
SK17				2						3						5	
SK18											2					2	
SK19						5				2	7					14	
SK25														1		1	
SK26			1	1				2	1	1	1					7	
SK27					1						2					3	
SK28								1		1						2	
SK29			1		1	1	2			2		1				8	
SK30(15K0)				2	1				2			3				6	
SK32					1						1			1		5	
SK33	8	7			6					4		2				27	
SK35	1		5		4			3	3	4		2				22	
SK36			1							1						2	
SK36B	5	7	20	3	9			8	14	11	1	3		6		87	
SK37	1	7	10	3			2		6	3		1		4		37	
SK38		1	2				1	1	10	11		1				27	
SK42		1													2	3	
SK43	1	1			3					1						8	
SK43		4			1					1		2				6	前期2
SK49	1															2	
SK57	4	2			4	1			2	3	3	3				22	
SK62										1		2				3	
SK63										1						1	
SK計		22	30	42	9	37	5	17	40	49	5	32	0	12	2	302	
SD01		33	38	93	31	61	54	100	33	91	4	57	18	40	30	683	
SD02		2	2	3				2	3	14		2	2	5	3	38	
SD03		2	2	13	7	2	7	9	6	5		3		6	2	64	
SD04	2	48	60	132	24	86	70	64	65	110	6	82	1	41	14	805	
SD05		1	6	5	2	4	2	4	5	8	13	4		4		52	
SD06		13	2	44	8	4	19	36	16	17	7	1	2	3		172	
SD07			2		4	4	1	2		3		4		1		21	
SD09	2	2		10	1	3		1	2	5		1		1		28	
SD10		1	3	8	1		2	7	3		9	8		5		47	
SD11		1		1		2								1		5	
SD12		9	7	10	16	19	7	11	20	48	2	10	4	11	4	178	
SD13		1	5	15	6		8	7	4	1					1	48	
SD14				4	1			1	1		1	3				11	
SD15A							2				2	1				5	
SD15		2	2	3	1		4	1	5	7	3	5		7		40	
SD16	1	5	12	16	8	11	12	7	8	17	3	9		3		112	
SD計		5	120	141	357	108	194	190	253	174	331	30	196	26	127	57	2,309
7BF9																	土師1
79J4		6	17	43	17	42	18	13	14	39	3	13	4	8	5	242	中近世1,不明1
79J5		13	19	55	22	42	16	21	26	80	12	33	3	19	5	366	

第2表刈沼遺跡第1次出土土器集計表

遺構・グリッド	～加日	安1.2	竈付	大洞	安3a.3b	A.沈刺	網擦	擦糸	網紋のみ	無文	無文B	条線	製埴	付帯口	有文小片	計	その他
ア9J6		13	29	43	19	19	20	20	18	40	4	21	1	9	3	259	土師1
ア9J7	2	8	5	85	15	25	25	26	15	38	6	10		13	1	274	
イ0J4		11	43	66	37	51	38	24	41	83	10	34		27	4	469	中近世1,土師1
イ0J5	6	22	40	62	19	52	39	15	58	106	9	31	2	21	7	489	
イ0J6		17	32	48	19	55	35	31	29	85	7	34		7	5	404	土師9
イ0J7	3	23	65	153	29	72	137	115	43	198	15	41	6	62	22	984	
イ1J1		3	4	11	1	8	4	3	15	8		10		11		78	
イ1J2		8		13	1	11	6	4	15	17	2	16		6		99	土師2
イ1J3		10	9	42	5	42	41	8	24	38	6	32		17		274	土師8,中近世1
イ1J4		14	22	63	25	62	49	31	41	84	4	19	1	31	14	460	土師6
イ1J5		20	34	56	14	49	23	31	47	135	7	43	1	10	20	490	土師6
イ1J6		42	108	300	66	203	306	199	122	389	38	84	4	139	67	2,067	発泡1
イ1J7		26	54	176	28	56	162	122	52	211	12	62	6	65	37	1,069	土師2
イ2J1			1		1	2	1		2	5		2		1		15	中近世1
イ2J2	2			3	2		5	3	2	5		2		3		27	
イ2J3	3	12	5	2	5	25	4	6	5	1	6			6	4	84	土師1,中近世2
イ2J4	5	15	22	4	13	11	15	13	22	5		5		12	3	140	
イ2J5	22	50	148	14	45	118	102	52	114	13	23	1	50	21	773	バレット?	
イ2J6	10	55	75	14	42	49	89	50	132	19	37	3	30	34	639	土師1	
イ2J7	38	117	194	34	138	94	121	104	229	21	86	7	49	38	1,270		
イ3J1		1						1		3						5	
イ3J2				3			3		2	1	1	2				12	
イ3J3	2		1	2			11	1		5		1		3		26	
イ3J4	1	1	2	12	2	14	12	6	5	11				9		75	土師2
イ3J5	1	8	28	132	9	59	76	51	60	152	22	22		53	13	686	
イ3J6	1	8	40	67	16	43	65	39	28	115	11	31	3	30	27	524	
イ3J7		22	99	55	27	94	66	50	41	69	7	51		29	15	625	土師1
イ3G上層		1														1	
イ4J1			1						1							2	
イ4J2										2	1	1		1		5	
イ4J3			3	1		1	1	1		2				1		10	中近世1
イ4J4		3	15	38	2	16	36	20	10	27	5	10		16	3	201	中近世2
イ4J5		11	71	107	20	47	90	30	64	163	22	26	1	62	13	727	
イ4J6		41	87	78	22	80	112	38	96	154	22	75		59	14	878	
イ4J7	2	29	78	69	24	83	66	53	77	117	15	48		26	20	707	
イ4J8	3	29	71	77	6	69	58	104	51	89	9	55	1	18	37	677	中近世1
イ4J9	4	38	175	423	51	141	266	531	175	348	37	89	5	157	63	2,503	
イ4K0	7	195	705	1,915	209	638	988	1,854	943	1,827	251	279	24	819	209	10,863	中土師5
イ4K0(Pit計)		1	4	5	1	4	5	4	5	8		4		6	1	48	
イ4K1	8	245	753	2,080	176	693	1,347	3,178	970	1,376	240	332	21	895	163	12,477	古墳～中世
イ4K1(Pit)		1	2	6		3	2	8	7	120		3		3		155	
イ4K2	19	311	579	1,648	99	581	1,037	2,379	786	1,250	122	351	3	669	130	9,964	中近世2
イ4K3		27	39	70	5	46	24	59	68	67	7	58	3	31	11	515	
イ4K4		3	10	17	2	6	12	5	8	11	4	3		5		86	
イ5J2							1	1	1	3	1	3				10	
イ5J3	2	1	3			4		1		6		7				24	
イ5J4			1				3			1	2					7	中近世2
イ5J5	1		2	6	2	3	7		3	1	1	2		5		33	
イ5J6		14	21	17	5	29	11	10	19	29	4	30		2		191	
イ5J7	3	19	28	58	7	33	51	23	29	30	2	28		13	1	325	
イ5J8		31	44	28	10	44	28	29	45	48	2	40	0	12	5	366	弥～土師3
イ5J9	1	56	117	317	33	152	430	318	126	242	52	46	11	129	19	2,049	土師1
イ5K0	3	40	50	104	18	104	71	93	68	171	4	47	4	43	18	838	
イ5K1Pit		1				1		1	2	4		2		1	2	14	中近世3
イ5K1	29	52	135	11	84	93	116	44	187	9	35	4	69	18	886		
イ5K1Pit		2	6	1	1	5	1	1	3	2		5		1	2	30	
イ5K2	27	48	127	9	46	68	85	49	139	7	43		37	15	700		
イ5K3		1		1						1						3	
イ5K5		1							1							2	
イ5K6			1								1					2	
イ5K7					2									1		3	
イ6J2									1	1		1				3	
イ6J4										1						1	
イ6J5			2			3	3					2				10	
イ6J6	1	4	9	13		12	14	15	17	17				7		123	
イ6J7	4	76	188	449	36	195	140	117	213	514	132	174	10	205	30	2,483	土師1,中近世8
イ6J8	4	70	92	117	15	73	32	45	96	120	14	114	1	32	2	827	中近世1
イ6J9	3	141	302	299	33	242	117	101	290	427	63	275	13	117	14	2,437	早期2,土師3,中近世2
イ6K0	8	287	464	543	111	418	283	213	675	770	102	509	12	295	15	4,705	早期1
イ6K1	3	130	231	514	87	404	304	86	325	469	112	335	7	203	26	3,236	中近世1,漆付き1点はバレット
イ6K2	1	20	52	153	20	72	153	92	81	83	21	58	3	43	5	857	
イ6K4				4		1	3	5	1	4		2		1		21	
イ6K5		4	3	2	4	8	11	3	9	4		4		2		50	中近世1
イ6K6			2	1	2	1	1	1		1		1		2		11	
イ6K7								2	1							4	
イ6K8									2	3		2				7	
イ6K9									1	1						2	
イ6L0						3										3	
イ7J2	3	6				7			2	2	3	3				26	前期3,土師
イ7J3	2	10		1	4				2	4				1		24	前期1
イ7J6		1				1			1	2						5	
イ7J7		3	2	5	1	5	4	4	10		4			1		39	
イ7J8	5	14	5	6	1	5	6	4	6	7		6		2	5	72	前期1
イ7J9	3	27	30	66	9	44	20	41	61	99	8	67		37	8	520	
イ7K0	2	47	70	194	22	148	198	67	156	261	75	84	1	94	6	1,425	中近世1
イ7K1		18	30	106	12	56	57	17	45	146	21	38	1	46	7	600	
イ7K4			1				3	4	1	6						15	
イ7K6						2		3		5		1				12	
イ7K7						2		1		1		1		1		5	
イ7K8	1		1		1			1		2						6	
イ7K9	1	1			2				1	1						6	
イ7L0			2													2	
イ8J5				1								1				2	
イ8J6			7	1	1	2	14	5	16	1	3		4			54	
イ8J7			1				4									5	
イ8J8		2		8	1	2	2	4	2	2		1				24	
イ8J9		4	5	2	1	6	24	17	3	13		4		4		85	中近世1
イ8K0	3	3	4	19		9	16	7	4	10				5		81	
イ8K6										1						1	
イ8K7				1	1											2	
イ8K8	1		1		2					1	1		2			6	
イ8K9					1							2				3	
イ8L0		2										1				3	
イ9J4			1					4	1							6	
イ9J5			1					1								2	
イ9J6		2	2		5	1	8	2	5		4					29	
イ9J7		1	2		1			1	3					3		11	
イ9J8	2	1	1	2	1	3	2										

第2表刈沼遺跡第1次出土土器集計表

遺構・グリッド	～加B	安1.2	溜付	大洞	安3a.3b	A.沈割	網擦	擦糸	興紋のみ	無文	無文B	条線	製塩	付帯口	有文小片	計	その他
ウ0J7				1			1	1								3	
ウ0J8	1						1									2	
ウ0K8		1	1													2	
ウ0L0			1				1									2	
ウ1J7							1	2	1				3			7	
グリッド計	105	2,380	5,412	11,793	1,510	5,908	7,667	10,977	6,592	11,868	1,600	4,098	167	4,906	1,211	76,194	
T1		35	37	146	20	64	82	126	70	146	5	37		48	24	840	中近世3
T2	6	51	93	178	23	101	110	200	76	134	16	55		64	28	1,135	
T3	3	27	60	106	18	86	62	84	51	222	13	60	4	39	29	864	中近世2
T3(土手)	2	17	4	12	2	9	4	2	2	6	1	9		1		71	
T4		14	22	35	5	40	13	51	15	71	5	18		11	9	309	弥生?1
T6	2															2	
T7				1			2									3	
T8												1				1	
T9							1		1							2	
T12												1				1	
T203				1												1	
SecT1		2	6	13	13	7	2	7	12			8			1	71	
SecT2		6	8	30	12	11	16	40	7	32				6	5	181	
SecT3		2	17	78	18	12	26	128	32	17		13	2	3	10	358	
SecT3,T4-T3		6	2	9	20	8	1	3	3		7	2	4	39	5	109	
SecT4		10	6	45	11	15	30	86	22	19	1	10			4	259	
SecT5		16	15	131	9	31	71	205	39	73	11	21	6	35	24	687	
SecT6	2	17	20	118	22	20	63	169	26	64	1	16	4	40	10	592	中近世1.かわらけ1
SecT7		7	12	90	24	19	21	34	52	67	4	16		32	15	393	土師1.古墳前期1
2区E.T1	3	32	93	216	11	96	128	62	89	173	34	66		90	4	1,097	中近世1
2区E.T2	3	16	18	22	5	42	18	6	33	55	4	25		9	1	257	
2区E.T3	11	17	23	34	3	26	10	11	39	28	3	29		14		248	土師中近世
2区E.T4			4	10	3	5	1	2	8	10		1		2	3	49	
2区E.T5				2	3	1		1	1	1						9	
窪地	4	12	33	122	30	30	2	1	5	13	8	12	5	11		288	
北ブロック	14	33	47	93	44	48	2		4	15	5	3	9	9		326	内耳1
北東ブロック	1	1	3	7	1	9						1		2		25	
東ブロック	11	59	55	117	34	86	3		13	7	6	11	8	9		419	
東ブロックイ5K0ピット		1				1			1					1		4	
北ゾーン	9	22	36	77	23	65	4	2	4	29	54	2	1	8		336	前期4.中世2.土師3
東ゾーン	9	44	42	156	29	79	2		14	13	14	9	2	24		437	
南ゾーン		3	16	6	1	9								2		37	
1区表探		1	10	9	3	3	9	15	3	21	1	9		1		85	
2区E.最終層		2	1				1	2	1							7	
2区N.表探		2	1	3		2	3	2	3	1		3		1		21	
2区.表探		1	4	7	2	4		8	2	4	2	3		1		38	中近世1
南西2区			2	7	1	2	2	10	4	9		4		5		46	
3区表探			1	3				1		1					1	7	
表探		3	8	49	3	15	23	32	18	19	2	12		15	1	200	
トレンチ等計	80	459	699	1,933	393	949	709	1,291	649	1,250	197	465	45	527	169	9,815	

小型土器・ミニチュア、土製円盤除く、顔料付きは合算
 当初分類の「付着物」や「圧痕」は有文小片と統合
 中期、後期初頭・前半は～加Bに統合

第3表刈沼遺跡第1次遺構一覧表

遺構No.	グリッド	長軸(m)	短軸 (m)	深さ (m)	軸	遺物の有無	備考	遺構図版	遺物土器図版	写真図版
SI01	15J9.J10	10.20	7.80	0.22	N-26° -W	石鏃 剥片石器 スクレーパー 石錘 打製石斧 磨製石斧 礫器 石棒 磨石 石皿 石製垂飾	SI01→SD01	16.17	18~36	3
SI02	15J0.J1, 16J0.J1	6.46	3.20	0.36	N-0°	石鏃 剥片石器 打製石斧 磨製石斧 石錘 礫器 石棒 石製垂飾 磨石 石皿	SI02→SD04	37.38	39~60	
SI03a	11I6.I7	6.45	5.9	0.48	N-25° -E	石鏃 剥片石器 スクレーパー 石錘 打製石斧 磨製石斧 礫器 石棒 石製垂飾 磨石 石皿 砥石	炉跡2基	61~63	85~80	3
SI03b	11I6.I7	9.95	8.92	0.56	N-25° -E					3
SI04	10I4.I5	(3.57)	(2.78)	0.23	N-66° -E	剥片石器 磨製石斧 磨石 石	TSなし	81	83~85	3
SI05	10I7	7.10	6.90	0.38	-	石鏃 剥片石器 スクレーパー 石錘 打製石斧 磨製石斧 礫器 石棒 磨石 石皿 砥石	SD13→SI05?	86.87	89~93	
SI06	12I5.I6、1 3J5.J6	8.21	7.42	0.25	N-36° -E	磨製石斧 石皿 石錘 磨製石斧 石鏃 石棒	ピット多数	94.95	97~105	
SI07	14I4.I5	7.94	6.36	0.16	N-39° -E	石鏃 スクレーパー 石錘 打製石斧 磨製石斧 石棒 磨石 石皿	SK36入口?	106.107	109~112	3
SI08	15I6	(4.40)	3.52	0.42	N-54° -E	打製石斧 石鏃 礫器 磨石 石皿	SI13と重複、08→13	113.114	115~117	3.4
SI09	15I7	2.78	(2.68)	0.10	N-11° -W	剥片石器 スクレーパー 打製石斧 磨製石斧 磨石 石皿		118	119~121	4
SI10	12I6.13I6	10.90	9.90	-	N-3° -W	グリッドからは打製石斧、石錘、 石剣類、磨石類など	計測値は推定第一案、 南側カクラン多数	122.123	124~126	
SI11	14I6.I7	7.83	6.65	0.42	N-16° -W	グリッドからは打製石斧、石錘、 石剣類、磨石類など	掘り込みは一部のみ	127.128	129~131	4
SI12	15I7.16I7	5.52	5.35			グリッドからは打製石斧1+4、磨製石斧4、 石錘、磨石類など	掘り込み・覆土不明	132	133~144	4
SI13	15I6	5.25	4.39	0.42	N-21° -W		SI08と重複、08→13	113.114	115~117	3.4
SI14	15J9.16I9, 15J0.I	11.18	8.20	0.42	N-2° -E	グリッドからは打製石斧1+4、磨製石斧4、 石錘、磨石類など	プランA推定を計測	145.146	147~174	
SI15	12I5.13I5	6.60	5.65		N-45° -E	グリッドからは打製石斧1+4、磨製石斧4、 石錘、磨石類など	ピット多数、深さ不明	175	100~103	
SI16						土器片・打製石斧	遺構図なし、遺物のみ、 欠番			
ピット群1	14I7.15I7	8.00	6.90		N-16° -E		第一案の計測値	176.177		
ピット群2	14I7.I8	9.10	8.90		N-27° -E		第一案の計測値	178	179	
ピット群3	14I8.I9、1 5I8.I9	11.00	7.40		N-39° -E		第一案の計測値	180	181	
ピット群4	14J0.J1、 15J0.J1	15.00	13.50		N-19° -E		第一案の計測値	182.183	184~198	
ピット群5	15J1.J2	8.00	8.00		N-6° -W			199.2	198	
ピット群6	14J2.J3	5.30	3.10		N-70° -E		掘立柱建物跡1×3間の復元案	201	202~205	
ピット群7	16J1.1 7J1	7.40	2.80		N-90°		掘立柱建物跡1×3間の復元案	206		
SK01	16J4	1.13	0.96	0.23		土器片、礫		209		
SK02	16J4	0.43	0.42	0.15				209		
SK03	16J4	0.81	0.54	0.24				209		
SK04	17J4	2.64	1.72	0.19				209		
SK05	17J4	(0.95)	0.78	0.17				209		
SK06	17J4	0.90	0.73	0.22				209		
SK07	19J8	3.72	(3.40)	0.57		土器片、礫		211		
SK08	19J8	3.21	2.31	0.38				211		
SK09	18J9	1.60	1.38	0.19				212		
SK10	17J9	1.03	0.99	0.22				212		
SK11	17J9	2.28	1.94	0.44				212		
SK12	18J6	1.50	1.30	0.28				211		
SK13a	18J6	2.06	1.62	0.21		磨石		211		
SK13b	18J6	2.63	1.76	0.34				211		
SK14	19J9	3.32	2.49	0.75				214		
SK15	17J6	2.39	2.38	0.39				215		
SK16	17J6	3.46	2.69	0.65				215		
SK17	16J6	5.32	4.90	0.38		土器片、礫		217		
SK18	19J8	3.40	3.16	0.28		土器片、礫		214	227	
SK19	18J9	2.94	2.75	0.38		土器片、礫		212	227	
SK20	16J7	1.40	1.51	0.36		石皿		217		
SK21	16J7	5.92	4.16	0.16				217		
SK22	16J6	3.65	2.11	0.54				217		
SK23	16J6	2.46	2.00	0.37				217		
SK24	15J6	3.15	1.36	0.26				218		
SK25	15J6	2.46	1.80	0.27		土器片		218	227	
SK26a	16J5	(6.67)	5.62	0.26		土器片、礫	a~c3基重複	220	227	
SK27	15J0	0.94	0.88	0.48		土器片、礫		213		
SK28	15J0	0.58	0.47	0.34		土器片、礫		213		
SK29	15J0	0.78	0.72	0.56		土器片、礫		213	227	

第3表刈沼遺跡第1次遺構一覧表

遺構No.	グリッド	長軸(m)	短軸 (m)	深さ (m)	軸	遺物の有無	備考	遺構図版	遺物土器図版	写真図版
SK30a	15J0	(0.44)	(0.30)	0.14		土器片、礫		213		
SK31		—	—	—			欠番			
SK32	15J0	2.26	2.22	0.38		磨石	遺物平面図のみ	210	227	4
SK33	16J1	1.37	0.94	0.29		磨石 石皿		214	227	
SK34	12I1	(2.84)	0.92	0.39				214		
SK35	14J1	2.18	1.26	0.56		土器片、礫		221	227	
SK35A東の土坑	14J1	0.89	(0.78)	0.38				221		
SK35B	16J4	1.88	1.86				深さ不明	209		
SK36A	14I5	1.78	1.40	0.05			セクション図なし	222	227	
SK36B	14J1	3.20	2.70	0.23		磨石		221		
SK37A	13J5	2.09	1.84	0.29		礫		222	227	
SK37B北	14J1	1.20	1.07	0.17		磨石		226		
SK37B南	14J1	1.48	(0.78)	0.10				226		
SK38	14J1	1.44	1.16	0.21		石棒		226		
SK43	17J3	(1.25)	1.21	0.31		土器片、礫		226	227	4
SK46	14I6	1.87	1.07	0.50				223		
SK47	14I6	1.02	0.78	0.21				223		
SK48	16J0	0.87	0.75	0.24		石鏃		226		4
SK49	18I8	3.18	1.84	0.35		土器片、礫		226	228	4
SK50	18I9	2.16	1.54	0.20				226		4
SK51	17I8	2.34	1.88	0.23				225		4
SK52	16I8	1.84	1.26	0.32				225		
SK53	17I9	1.63	1.46	0.24				219		4
SK54	17J0	2.53	1.47	0.34				226		4
SK55	17I9	1.68	1.20	0.38				219		4
SK56	17I9	1.32	0.99	0.32				219		4
SK57	16I8	2.11	(1.78)	0.28		礫		228	228	
SK58	17I8	1.23	(1.22)	0.20				225		4
SK59	16I9	1.46	1.44	0.39				216		4
SK60	16I9	1.86	1.64	0.23				216		4
SK61	16I8	1.10	0.82	0.57				225		4
SK62	17J1	5.37	3.03	0.74		磨石		210		
SK63	16J0	1.59	1.12	0.48				224		
SK64	16J0	1.18	0.94	0.59				224		4
SDNo.	グリッド	長さ	上幅(m)	深さ(m)	軸		備考	遺構図版	遺物土器図版	写真図版
SD01	14I9、15J0~J3	94.00	0.76~1.68	0.35~0.60	N-4° -W		43+51m	229,230,231		
SD02A	14J0	2.16	0.78	0.08	N-75° -E			232		
SD02B	18K0	14.10	0.36~1.02	0.24	N-2° -W			232		
SD03	15J2	12.40	0.40~1.44	0.16	N-59° -E			230		
SD03b	15J2	5.00	0.7~0.8	0.1	N-62° -E			230		
SD04	11~6,12~J2	146.00	0.62~1.48	0.43~0.92	N-3° -W			229,230,234,235,236		6
SD05	15I8~J0	23.50	0.38~0.55	0.17				229,235		
SD06	14J2	14.20	0.56~0.88	0.2	N-82° -E			230,237		
SD07	14J4	6.00	1.05~1.18	0.57				230,233		
SD08	14I8、15I8	15.00	0.73~1.06	0.4	N-90°			237		
SD09	13~5,11~I8	109.00	0.88~2.28	0.24~0.54	N-70° -W N-5° -W			238,239,240		6
SD11	10I4,11I4	15.50	1.02~1.84	0.25~0.54	N-89° -W			241		
SD12	10I4~I6	28.00	0.7~1.60	0.30~0.75	N-0°			241		
SD13	14I7	9.00	0.8~1.40	0.28~0.35	N-40° -W			242		
SD14	10I1~I4	43.00	0.70~1.40	0.30~0.48	N-89° -W N-3° -W			236,238		
SD15	14I4~I6	22.00	1.73~2.10	0.43~0.90	N-1° -W			235,236		
SD16	15I4~I6	14.00	0.64~1.00	0.33~0.43	N-4° -W			236		6
SD17	10H5,H6	19.60	0.52~1.20	0.10	N-1° -E			241		
SD18	11I7,12I7	24.00	0.90~1.22	0.10~0.25	N-82° -E			243		

第4表 刈沼遺跡第2・3次遺構一覧表

遺構No.	グリッド	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	軸	遺物	備考	遺構図版	遺物土器図版	写真図版
SZ01	11H9	11.82	11.05	0.40~0.96	N-4° -W	○	周溝幅1.2~1.5m	360,361	362	16
SZ02	15I0	11.84	11.83	0.42	N-5° -W	○	周溝幅0.9~2.28m	363,364		
SZ03	15H6	15.82	15.56	0.24~0.76	N-3° -W	○	周溝幅1.72~3.52m	365,366	371	16
SZ04	15H8,16H8	10.02	9.35	0.24~0.40	N-0°	○	周溝幅1.4~1.7m	367,368	371	16
SZ05	11H4,12H4	9.52	(8.00)	0.15~0.38	N-59° -W		周溝幅0.38~1.08m	369,370	371	16,17
SZ06	11H8	9.58	(6.70)	0.35~0.62	N-7° -W	○	周溝幅1.58~1.90m	372	371	17
SZ07	11H8	7.20	(6.40)	0.12~0.26	N-2° -E	○	周溝幅0.48~0.84m	373		17
SK01	11H8	1.52	1.29	0.19	N-60° -E			374		9
SK02	10I3	1.06	0.99	0.11				374		9
SK03	11I0	1.65	1.42	0.70	N-10° -E			374		
SK04	14I0	1.14	0.92	0.15		○	平面図なし	374		
SK05	10I0	2.60	1.05	0.40	N-5° -W			374		
SK06	10I1	(1.63)	(1.18)	0.38	N-61° -E	○		374		9
SK07	10I1	1.35	0.86	0.52	N-6° -W			374		9
SK08	11H7	1.72	1.57	0.74	N-88° -W			375		
SK09	15I0	2.15	1.48	0.41	N-32° -E			376		9
SK10	15I0	(2.25)	(1.55)	0.36	N-74° -W			376		
SK11	15I0	3.00	2.70	—			SH037と同じ?	376		
SK12	16I1	1.34	1.10	0.38	N-12° -E			377		
SK13a	16I1	1.29	1.10	0.32	N-26° -E			377		
SK13aP	16I1	0.58	0.44	0.63				377		
SK13b	16I1	0.97	0.62					377		
SK14	17I1,12	1.56	1.32	0.65	N-1° -E			377		9
SK15	17I1,12	1.62	1.32	0.58	N-51° -E			377		9
SK16	17I2	1.75	1.42	0.37	N-83° -E			377		
SK17	18I1	1.63	1.62	0.11	N-90°	○		376		9
SK18	17I1	1.45	0.98	0.26	N-83° -E			377		
SK19	17I1	1.52	1.23	0.35	N-32° -E			377		
SK20a,b	12H9	1.83	1.03	0.14	N-6° -W			378		10
SK20c	12H9	1.32	1.03		N-39° -E			378		10
SK21	12H8	2.96	1.15	0.35	N-3° -E			378		10
SK22	11H8	3.18	0.68	0.41	N-87° -W			379		
SK23	12H8	1.99	1.12	0.20	N-12° -W			376		10
SK24	13H8	1.01	0.82	0.22	N-59° -E			376		
SK25	18H8	2.62	1.76	0.22	N-82° -W			380		10
SK26	18H7	3.07	2.40	0.45	N-89° -E			380		
SK27	13H7,H8	2.83	2.22	0.74	N-37° -W	○		380		10
SK28	12H7	1.75	0.90	0.11	N-9° -W			381		10
SX020	12H7	2.54	1.27	0.62	N-66° -W		カクラン?	381		
SK29	10H7	2.43	2.34	0.47	N-82° -W	○		380		10
SX53	10H7	1.65	1.27	0.25	N-0°			380		
SK30	11H6	2.14	0.94	0.17	N-3° -E			375		
SK31	11H6	1.98	1.37	0.14	N-17° -W			375		
SK32	15H5,16H5	1.76	0.98	0.54	N-26° -W			382		
SK33	10H5	1.17	1.05	0.16	N-6° -E			383		
SK34	18H4	2.64	1.77	0.36	N-44° -W			384		11
SK35	18H4	2.15	1.54	0.44	N-34° -W			384		
SK36	18H4	1.64	1.54	0.40	N-16° -E			384		11
SK37	18H4	2.62	1.64	0.21	N-38° -E			384		
SK38	17H4	1.85	1.65	0.48	N-83° -E			384		
SK39	16H4,17H4	1.64	1.36	0.08	N-2° -E			382		11
SK40	17H4	1.74	1.08	0.14	N-21° -W			382		
SK41	15H4	1.63	0.82	—	N-90°		欠番?	図無し		
SK42	11H4,12H4	2.34	1.90	0.18	N-18° -W	○		385		11
SK43	11H4	1.28	1.22	0.18	N-15° -W			386		11
SK44	11H4	3.76	0.84	0.12		○	円形	386		11
SK45	11H4	1.18	1.16	0.18			円形	386		
SK46	10H4	0.98	0.96	0.08	N-0°			386		
SK47	19H3	2.14	0.88	0.17	N-3° -W			382		11
SK48	14H2,H3	1.85	1.18	0.44	N-68° -W			387		
SK49	18H3	1.92	1.72	0.52	N-63° -W			384		
SK50	16H2,15H2	4.76	2.72	0.24	N-85° -W		複数遺構重複?	388		11,12
SK51	19H2	1.88	1.76	0.84	N-90°	○		389		12
SK52	18H2	1.86	1.44	0.38	N-66° -W	○		389		12
SK53	18H2	(1.70)	1.54	0.98	N-72° -W			389		
SK54	11H8	1.77	1.48	0.38	N-21° -W			379		
SK55	11H4	(2.00)	0.96	0.22	N-7° -W			386		
SK56	12H8	(0.98)	1.02	0.16	N-33° -W			378		
SK57	12H8	1.23	1.06	0.23	N-87° -W			382		
SK58	10H8	(0.70)	0.94		N-53° -E			372		
SK59	14H2	1.86	1.68	0.12	N-0°			387		
SK60	10H5	1.07	1.03	0.17	N-35° -W			383		
SH33	10H5	(3.20)	3.04	0.60	N-30° -W		風倒木痕か	383		
SH34	10H5	3.20	2.90	0.68	N-10° -E		風倒木痕か	383		
SK61	12H4	1.70	1.16	0.20	N-83° -E			385		11
SK62	11H9	2.16	1.23	0.28	N-30° -E			390		12
SK63	11H9	1.56	0.78	0.57	N-7° -E			390		
SK64	10I3,14	2.26	1.74	0.26	N-90°			382		12
SK65	11H6~10H6	2.36	1.90	0.45		○		375		
SK66	14H4	2.20	—	0.46			平面図なし	未掲載		
SK67	15I0	2.52	0.66	0.25	N-73° -W		覆土不明	376		

第4表刈沼遺跡第2・3次遺構一覧表

遺構No.	グリッド	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	軸	遺物	備考	遺構図版	遺物土器図版	写真図版
SK68	I2H2	4.12	3.88	0.71	N-90°	○		382		12
SDNo.	グリッド	長さ	上幅(m)	深さ(m)	軸	遺物	備考	遺構図版	遺物土器図版	写真図版
SD01	F9H4~H6		0.15~0.58	0.09~0.26	N-2~32° -W			391		12.13
SD02	I1~8,H5~10	124	0.82~1.53	0.16~0.58	N-82~87° -W、N-4° -E	砥石1	35+53+39m	392,393,394,395		13
SD03	F9~I9,H3~4	101.2	1.44~3.58	0.16~0.62	N-80~90° -W	○		392,397,398,399		13
SD04						○	欠番			
SD05	I3H5	7.9	1.10~1.28	0.3	N-78~85° -E	○		393		14
SD06	I1H2,H3	16.7	0.72~1.40	0.14~0.21	N-3° -W			397		14
SD09	I0~3,I0~11	38.2m	0.90~1.32	0.13~0.27	N-84° -W N-9° -E	○?	1次63+45m			14
SD14	I4H2~10	91	0.70~1.70	0.37~0.57	N-3° -W		1次33.5m	392,393,398		13.14.15
SD17	I0I2,I3	16.1	1.5	0.35	N-7° -W		UTK I SD12と同じ	395		15

UTKⅢ

遺構No.	グリッド	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	軸	遺物	備考	遺構図版	遺物土器図版	写真図版
SD-01	F1J0~F3J0	11.2	0.70~1.80	0.32~1.20	N-75° -E		11.2+6.1m	407	408,409	19
SK-01	F2J0	2.96	0.85	0.35	N-75° -E			407		
SK-02	F2J0	1.06	0.6	0.44	N-18° -W			407		
SK-03	F2J0	0.5	0.4	—				407		

第5表刈沼向原遺跡第1次遺構一覧

遺構No.	グリッド	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	軸	出土遺物	遺構図版	遺物土器 図版	写真図版
S101	79G2	3.90	3.80	0.24	N-30° -E		412		20
SK01	72G0	1.00	0.80	0.38	N-86° -W		414		
SK02	72G0	2.00	0.64	0.30	N-86° -E		414		
SK03	71G0	2.32	0.56	0.60	N-87° -E		414		20
SK04	71G0	2.70	0.72	0.60	N-86° -W		414		20
SK05	70G0	(1.35)	1.90	0.97			413		20
SK06	70G0	1.80	0.90		N-2° -W		412		20
SK07	79G1	3.28	0.90	0.08	N-73° -E		412		
SK08	79G1	3.00	1.04	0.12	N-73° -E		412		
SK09	71G2	1.20	1.16	0.04	N-90° -E		416		
SK10	70G2	2.90	0.64	0.16	N-15° -W		415		
SK11	71G3	2.60	1.44	0.40	N-18° -E		416		
SK12	71G1	2.00	1.70		N-61° -E	土器	414		20
SK13	70G2	4.60	3.80	1.16		土器	410	カクラン	
SK14	70G3	3.40	3.25	0.53			410	カクラン	
SK15	70G3	2.75	2.50	0.74			410	カクラン	
SK16	79G3	4.20	3.55	0.59		土器	410	カクラン	
SK17	71G4	1.30	0.80	0.40			410	カクラン	
SK18	72G4	1.00	0.64	0.08	N-18° -E		416, 418		
SK19	71G4	1.04	0.96	0.12	N-65° -E		417		
SK20	70G4	1.48	1.40	0.28	N-23° -W		417		
SK21	71G4	4.80	2.84	0.16	N-18° -E		418		
SK22	72G4	1.60	0.96	0.08	N-74° -W		418		
SK23	72G4	1.64	0.64	0.16	N-84° -W		418		
SK24	70G5	2.24	1.20	0.24	N-92° -E		417		
SK25	71G5	1.88	0.40	0.39			410	カクラン	
SK26	70G5	1.88	1.64	0.20	N-41° -E		417		
SK27	70G5	(3.30)	1.75	0.35			410	カクラン	
SK28	71G5	1.15	0.67	0.05			410	カクラン	
SK29	71G5	3.75	0.90	0.28			410	カクラン	
SK30	71G5	1.50	0.70	0.25			410	カクラン	
SK31	71G5	2.58	1.72	0.24	N-63° -W		418		
SK32	71G5	2.80	2.75	0.22			410	カクラン	
SK33	72G5	1.67	1.15	0.03			410	カクラン	
SK34	71G6	0.87	1.30	0.64			410	カクラン	
SK35	70G6	2.95	1.13	0.32			410	カクラン	
SK36	71G6	1.15	0.85	0.53			410	カクラン	
SK37	71G6	2.00	1.36	0.06			410	カクラン	
SK38	71G6	3.64	3.16	1.12	N-85° -W	すり鉢	420		21
SK39ab	72G6	2.68	2.12		N-11° -W	○	421, 426		21
SK39c	72G6	2.12	2.50		N-60° -E	○	421, 426		21
SK40	72G6	2.04	1.60	1.00	N-3° E	○	421, 426		21
SK41	72G7	1.15	0.55	0.06			410	カクラン	
SK42	72G7	1.28	1.16	1.16	N-55° -E		421, 426		
SK43	71G7	2.24	1.16	1.16	N-69° -E		420		
SK44	71G7	3.50	3.50	0.50			410	カクラン	
SK45	71G7	4.15	3.40	0.80			410	カクラン	
SK46	70G7	1.56	1.28	1.28	N-48° -E		419		
SK47	71G8	5.00	3.56	3.56	N-87° -E		422		21
SK48	71G8	4.20	3.20	0.62		○	410	カクラン	
SK49	72G8	6.92	1.08	1.08	N-6° -E	○	423		
SK50	72G8	1.30	1.00	1.00	N-85° -W		423		
SK51	72G8	6.70	3.00	0.70		○	410	カクラン	
SK53東	71G8	1.28	0.80	0.20	N-60° -E		422		
SK53西	71G8	2.24	1.16		N-5° -W		422		
SK54	71G9	1.20	1.00	0.24	N-90° -E		422		
SK55	70G9	2.40	0.52		N-83° E		422		
SK56	72G9	1.40	0.88	0.40	N-15° -W		423		
SK57	72G9	1.95	1.87	0.50		○	410	カクラン	
SK58	72G9	3.16	1.60	0.24	N-43° -W		423		
SK59	72G9	3.10	2.70	0.39			410	カクラン	
SK60	72H0	3.70	0.70	0.12			410	カクラン	
SK62	71H0	4.40	3.35	0.44			410	カクラン	
SK64	71H0	5.10	4.20	0.75			410	カクラン	
SK66	70H0	1.72	1.16	0.60	N-32° -E		424		
SK67	70H1	1.18	0.80	1.36	N-3° -W		424		
SK68	71H0	1.64	1.12	0.20	N-86° -E		425		
SK69	71H0	2.08	1.16	0.16	N-89° -E		424		
SK70	71H0	1.24	0.96	0.10	N-89° -W		425		
SK71	72H0	1.12	0.88	0.24	N-4° -W		425		
SK72	70G6	4.45	3.13	0.32			410	カクラン	
SK73	70G6	(0.97)	0.65	0.20			410	カクラン	
SK74	71G9	3.20	1.84	0.48	N-67° -E		423		21
SK75	72H0	4.52	3.35	0.76			410	カクラン	
SK76	70G9	1.20	1.20	0.32	N-0°		422		
SK77	70G7	(0.60)	0.75	0.42			410	カクラン	
SK78	71G1	2.84	1.96	0.56	N-10° -E		414		21
SK79	70G1	1.15	1.00	0.20			410	カクラン	
SK80	70G1	1.16	1.00	0.20	N-80° -E		413		
SK81	70G1	1.20	1.00	0.24			410	カクラン	
SK82	70G1	3.00	2.20	0.60		土器	410	カクラン	
SK83	70G2	1.25	1.10	0.46			410	カクラン	
SK84	70G2	2.50	1.50	0.80		○	410	カクラン	
SK85	72G2	1.70	1.32	0.55			410	カクラン	
SK86東	72G7	1.92	1.60		N-56° -E		420		
SK86西	72G7	0.76	0.64	0.28	N-86° -W		420		
SK87	70G7	1.20	0.75	0.52			410	カクラン	

第5表刈沼向原遺跡第1次遺構一覧

遺構No.	グリッド	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	軸	出土遺物	遺構図版	遺物土器 図版	写真図版
SK88	42G9	4.24	2.68	0.44	N-70° -E		423		21, 22
SK89	40G8	0.88	0.80	0.72	N-73° -W		422		22
SK90	40G8	0.92	0.28	0.24	N-30° -E	○	422		
SK91	41G8	0.96	0.92	0.14	N-30° -W		422		
SK92	79G4	1.08	0.80	0.80	N-13° -W		415		
SK93	42G7	1.93	1.20	0.53			410	カクラン	
SK94	41G7	1.60	1.14	0.40	N-32° -W		420		
SK95	41G5	1.00	0.60	0.24	N-12° -E		417		
SK96	41G5	1.84	1.00	0.32	N-75° -W		417		
SK97	40G5	1.45	0.90	0.42			410	カクラン	
SK98	40G5	1.20	1.08	0.26	N-10° -W		417		
SK99	40G5	1.00	0.95	0.35			410	カクラン	
SK100	40G5	(0.50)	1.20	0.33			410	カクラン	
SK101	40G5	1.18	0.65	0.32			410	カクラン	
SK102	40G5	0.60	0.56	0.44	N-2° -W		417		
SK103	41G4	1.15	1.05	0.38			410	カクラン	
SK104	40G4	1.25	0.70	0.30			410	カクラン	
SK105	40G4	1.15	0.80	0.24			410	カクラン	
SK106	40G4	1.24	0.88	0.18	N-6° -E		417		
SK107	40G4	1.05	0.75	0.18			410	カクラン	
SK108	40G3	1.00	0.85	0.44			410	カクラン	
SK109	40G3	1.20	0.80	0.28	N-6° -E		415		22
SK110	40G3	1.18	1.12	0.16	N-62° -E		415		22
SK111	41G3	1.20	1.00	0.25			410	カクラン	
SK112	49G3	1.05	0.70	0.25			410	カクラン	
SK113	41H0	2.72	1.28	—	N-70° -W	○	424		
SK114	41G2	1.10	0.88	0.39			410	カクラン	
SK115	40G2	0.80	0.70	0.36	N-20° -W		413		
SK116	41G3	1.55	1.32	0.52	N-3° -W		413, 416		22
SK117	40G1	1.56	0.90	0.19			410	カクラン	
SK118	40G1	1.25	0.85	0.22			410	カクラン	
SK119	79G1	0.95	0.90	0.30			410	カクラン	
SK120	79G1	0.70	0.65	0.29			410	カクラン	
SK121	79G1	0.95	0.70	0.37			412		
SK122	79G1	1.30	1.00	0.60			410	カクラン	
SK123	40G1	1.05	0.85	0.26			410	カクラン	
SK124	79G2	1.25	0.85	0.25			410	カクラン	
SK125	79G2	1.00	0.85	0.25			410	カクラン	
SK126	79G1	1.50	(0.55)	1.22			410	カクラン	
SK127	43G7	(0.70)	1.25	0.84			410	カクラン	
SK128	41G1	1.38	1.15	0.44			410	カクラン	
SDNo.	グリッド	長さ (m)	上幅 (m)	深さ (m)	軸 (m)	出土遺物	遺構図版	遺物土器 図版	写真図版
SD01	40G1	7.60	1.00	0.32	N-12° -W		413		22
SD02	41G9	8.00	0.64	0.56	N-88° -W	○	422, 423		21, 22
SD03	41G9	8.44	0.80	0.36	N-80° -W		422, 423		23
SD04	41H0	8.60	1.30	0.52	N-65° -W	○	424		23

第5表 刈沼向原遺跡第2・3遺構一覧

遺構No.	グリッド	長軸(m)	短軸(m)	深さ(m)	軸(m)	出土遺物	遺構図版	遺物土器図版	写真図版
SI01	77F4	6.12	6.18	0.24~0.32	N-5° -W	土師器 坏、壺、甕、甔	429,430	431	23,24
SI02	75H2	(7.24)	(6.40)	0.42	N-6° -W	土師器 坏、壺、甕	432	433	24,25
SI03	75G4	(4.53)	(3.50)	0.30~0.42	N-10° -W	土師器 壺、高坏	434	435	25
SK01	77F7	2.28	1.50	0.34	—	石臼	358,359	カクラン	
SK02	77F7	3.36	2.88	1.20	N-80° -W	土器		442	
SK03	77F7	2.72	0.56	0.30	N-17° -E	土器		442	
SK04南	77F5	0.70	0.65	—	N-16° -W			445	
SK04北	77F5	1.00	0.85	0.30	N-7° -W			445	
SK05	77F4	1.25	0.70	0.15	N-77° -E			445	
SK06	78F9	1.36	0.82	0.69	—		358,359		
SK07	78F8	2.10	0.70	0.10	N-80° -E			445	
SK08	40G8	3.04	0.48	0.20	N-2° -E			440	
SK09	40G8	1.44	0.64	0.15	N-3° -E			440	
SK10	40G9	1.04	0.56	0.15	N-0°			440	
SK11	40G9	0.64	0.56	0.15	N-90° -E			440	
SK12	76G0	1.44	0.96	0.30	N-28° -W			443	
SK13	75H2	3.36	0.80	1.44	N-20° -E			441	
SK14	76G8	0.70	0.25	—	N-6° -W			438	
SK15	76H0	0.65	0.60	0.13	N-8° -W			445	25
SK16	76H0	1.00	0.65	0.20	N-82° -E			445	25
SK17	76H0	0.92	(0.62)	0.10	—			445	25
SK18	76H0	1.20	0.75	—	N-87° -E			445	
SK19	79G4	1.20	0.64	0.75	N-80° -E			446	
SK20	79G3	1.25	0.70	0.50	N-78° -E			446	25
SK21	79G3	1.50	0.65	0.35	N-82° -E			446	25
SK22	77G4	0.65	0.55	0.05	N-34° -W	土器片		445	
SK23	79G4	1.25	0.80	0.35	N-80° -E			446	
SK24	79G4	1.40	0.70	0.40	N-88° -E			446	
SK25	77G3	欠番							
SK26	77G5	3.84	72.00	0.10	N-75° -E			437	
SK27	76G9	0.75	0.20	0.35	N-10° -W			438	
SK28	78G5	1.12	0.64	0.50	N-71° -E			437	
SK29	75G5	2.96	0.64	0.30	N-89° -E			436	
SK30	76G6	3.12	0.72	—	N-87° -E			436	
SK31	78G4	1.20	0.68	0.48	—			437	
SK32	75G4	3.68	0.64	0.30	N-2° -E			436	
SK33	79G2	1.25	0.68	0.30	N-84° -E			445	25
SK34	79G2	1.25	0.60	0.25	N-88° -E			445	
SDNo.	グリッド	長さ(m)	上幅(m)	深さ(m)	軸(m)	出土遺物	遺構図版	遺物土器図版	写真図版
SD04	74~40,G8~H0	83.00	0.60~1.86	0.28~0.60	N-67° -W	打製石斧	438,439,440		25,26
SD05	79~40,G5~H1	61.00	0.28~0.80	0.19~1.05	N-14° -W	土器片	437,440		26
SD06	77~F6~F8	25.28	0.88~1.92	0.60~0.90	N-2° -W	土器片,石臼	442		26
SD07	75~76,F8~G0	29.76	0.64~1.84	0.16~0.40	N-8° -W	土器片	443		26,27
SD08	75~6,F8~	21.00	1.12	0.25~0.40	N-68° -W		443		26,27
SD09	78F3	4.16	1.2	0.12	N-89° -E		444		27
SD10	76~40~H0~H1	27.50	0.20~1.52	0.02~0.70	N-90° N-81° -W	土器片	439		27,29
SD11	76~40~H0~H1	40.00	0.48~1.84	0.15~0.85	N-90° N-81° -W	打製石斧	439,440		27,29
SD12	76G9~H0	17.92	0.28~0.46	0.17	N-2° -W		438		27
SD13	75.6~H2.3	16.00	0.96~1.24	0.15~0.20	N-48° -W N-53° -E	打製石斧	441		27
SD14	76H2	3.60	0.72~0.88	0.06~0.30	N-14° -E		441		27
SD15	76G5	9.30	0.28~0.72	0.09~0.17	N-15° -W		437		28
SD16	76G6~79G5	33.00	0.64~0.96	0.30	N-88° -E	土器片,砥石	437		28
SD17	75~9~G5~8	42.08	0.56~2.24	0.20~0.57	N-86° -E, N-5° -E	土器片	437		28,29
SD18	75.6G5	9.44	0.83~1.04	0.52	N-87° -E	土器片	436		
SD19	42H1	0.57	0.25	0.85	N-88° -W		440		
SD20	75G5~G8	25.30	1.08~1.92	0.32~0.76	N-6° -W	土器片	436		28,29
SD21	74G3	5.76	0.4	0.40	N-10° -W		444		
UTKM III									
遺構No.	グリッド	長軸・長さ(m)	短軸(m)	深さ(m)	軸(m)	出土遺物	遺構図版	遺物土器図版	写真図版
SI05	73F7	4.30	3.95	0.28	N-48° -W	壺、甕、高坏、紡錘車	450	451	31
SK160	73F8	2.00	1.46	0.42	N-5° -E			452	
SK161	74F7	2.15	1.87	0.82	N-68° -W	○		450	32
SK162	74F7	1.42	1.39	0.29	N-17° -W			450	32
SK163	76F5	3.20	-1.88	0.48	N-15° -W			456	32
SX01	74F5	3.16	-1.68	1.32	N-7° -W			454	
SX02	74F9	2.60	1.40	0.28	N-70° -E			455	
SD06南	78F8	7.20	0.96~1.00	0.16~0.20	N-18° -W			452	32
SD06北	74F6	1.80	1.60	0.64	N-88° -E			453	32
SD07	78F8	10.06	1.04	0.40	N-80° -E	○		452	32
SD08	78F8	11.00	0.64~1.08	0.20	N-80° -E			452	32

第6表 石器機種地区別集計表

	石鏃 (未製品含む)	石匙	石錐	R・F・U・F・類 剥片石器	石錘	打製石斧	磨製石斧	S c (礫石器系)	礫器	擦切具	磨石・敲石類	石皿類 (石皿・多孔石)	砥石	線刻礫	特殊敲打具	垂飾	石剣・石棒類	独鈷石・石冠	計
刈沼1次 (表掲載分)	545	12	50	652	450	650	204	214	205	58	3,045	800	321	22	32	39	507	61	7,867
刈沼2次	1	11	47	622	321	353	204	214	205	58	500	158	321	22	32	39	507	61	4,220
2次表				37					1		36	4							79
刈沼3次	1			49		8					18	10							3
刈沼向原1～3						6	1	1	1		13		6		1		2	1	82
計	547	12	50	738	450	667	205	215	207	58	3,112	814	327	22	33	39	509	65	8,070

第5表 出土土器位置毎集計表

遺構・クワット	～加B	安1・2	備付	大洞系	B.3a.3b	A.沈割	網罟	罫系	縹紋のみ	無文	無文B	条線	裂塩	折	有文小片	計
住居跡合計	34	1,104	1,090	4,672	865	2,787	1,769	1,203	864	2,222	497	637	99	934	369	20,046
PG計	72	662	1,703	3,945	472	1,388	38	36	152	103	155	41	68	191		9,026
SK計		22	30	42	9	37	5	17	40	49	5	32		12	2	302
SD計	5	120	141	357	108	194	190	259	174	331	30	196	26	127	57	2,309
ブリッド計	105	2,380	5,412	11,793	1,510	5,908	7,667	10,977	6,592	11,868	1,800	4,098	167	4,906	1,211	76,194
ムシ子集計	80	459	699	1,933	393	949	709	1,291	649	1,250	197	465	45	527	169	9,815
小計	296	4,747	9,975	22,742	3,357	11,263	10,378	13,777	8,471	15,823	2,484	5,469	405	6,697	1,808	117,692
無文補正	296	4,747	9,975	22,742	3,357	11,263	10,378	13,777	8,471	#REF!	2,484	5,469	405	6,697	1,808	#REF!

第8表住居毎比率

遺構・グリッド	～加B	安1.2	瘤付	大洞	安3a,3b	A.沈.刺	
SI01		67	78	523	48	222	938
SI01(15I9)		50	73	264	33	110	530
計		117	151	787	81	332	1,468
百分率(%)		8	10	54	6	23	100
SI02	3	14	28	128	26	125	324
SI02(16IK1)		95	165	398	80	292	1,030
計	3	109	193	526	106	417	1,354
百分率(%)	0	8	14	39	8	31	100
SI03	2	137	138	662	111	434	1,484
SI03(11J6)		25	81	230	58	152	546
SI03(11J7)		22	46	140	28	49	285
計	2	184	265	1,032	197	635	2,315
百分率(%)	0	8	11	45	9	27	100
SI04			3	2	6	3	14
SI04(10J4)		5	31	53	33	43	165
計		5	34	55	39	46	179
百分率(%)		3	19	31	22	26	100
SI05	1	9	38	113	22	34	217
SI05(79J7)	1	4		36	8	11	60
SI05(10J7)	3	15	38	109	26	42	233
計	5	28	76	258	56	87	510
百分率(%)	1	5	15	51	11	17	100
SI06		40	43	277	23	86	469
百分率(%)		9	9	59	5	18	100
SI07		1	2	31	6	18	58
SI07(14J5)		11	53	90	19	42	215
計		12	55	121	25	60	273
百分率(%)		4	20	44	9	22	100
SI08		21	24	6		29	80
SI08・13(15J6)		13	17	10	3	26	69
計		34	41	16	3	55	149
百分率(%)		23	28	11	2	37	100

PG6(14K0)	9	144	540	768	190	397	2,048
百分率(%)	0	7	26	38	9	19	100
PG6(14K1)	10	191	589	1,671	163	484	3,108
百分率(%)	0.322	6.145	18.95	53.76	5.245	15.57	100

遺構・グリッド	～加B	安1.2	瘤付	大洞	安3a,3b	A.沈.刺	
SI09(15J7含)	3	15	24	48	5	25	120
SI09		3	9	10	6	14	42
SI09Pit1					2	2	4
SI09Pit6			1			1	2
SI09Pit10					1		1
SI09Pit13			1				1
SI09Pit15		1					1
SI09pit		1	4	3	9	1	18
計	3	20	39	61	23	43	189
百分率(%)	2	11	21	32	12	23	100
SI10(12J6)		10	36	52	14	31	143
SI10(12J7)		28	98	120	31	105	382
SI10(13J6)		6	13	50	8	9	86
SI10(13J7)		15	73	51	16	64	219
計		59	220	273	69	209	830
百分率(%)		7	27	33	8	25	100
SI11(13J6)			14	23	2	19	58
SI11(14J6)		30	74	58	21	57	240
SI11(14J7)PG1		20	60	45	24	55	204
計		50	148	126	47	131	502
百分率(%)		10	29	25	9	26	100
SI12(16J7)	4	72	73	284	30	141	604
百分率(%)	1	12	12	47	5	23	100
SI14		1	4			1	6
SI14(16J9)	8	119	224	218	30	162	761
SI14(16K0)	8	231	354	425	104	304	1,426
SI14斜面					4		4
計	16	351	582	643	138	467	2,197
百分率(%)	1	16	26	29	6	21	100
SI15(12J5)		15	39	99	14	35	202
SI15(13J5)	1	7	23	108	9	41	189
	1	22	62	207	23	76	391
百分率(%)	0	6	16	53	6	19	100

第9-1表石鉄図掲載属性表

挿入番号	新グリッド	出土遺構・グリッド	区・ベルト・他	取上 No.	機種	パリノ鑑定		石材名	主要押圧剥離	顕微鏡観察	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	備考	分類
第278図1	SI01	SI-01		No.11	凹基鐵	チャート		チャート	SP		17.1	13.4	3.8	0.8		A1
第278図2	SI02	SI-02	A区	sNo.1 (TA)	凹基鐵	玉髓		玉髓	SP		18.6	11.3	3.3	0.6		A1
第278図3	SI03	SI-03	埋土		凹基鐵	珪化岩	赤玉石	鉄石英	SP		20	15.2	4.7	1.0		A1
第278図4	SI05	SI-05		No.101	凹基鐵	玉髓		玉髓	nSP/鋸齒		18.6	15.5	5.8	0.6		A1
第278図5	SI03	SI-03	埋土		凹基鐵	玉髓		玉髓	SP		20.6	13.7	4	1.0		A1
第278図6	SI02	SI-02	床下5	sNo.21	凹基鐵	チャート		チャート	SP		20.9	15.8	3.7	(0.9)		A1
第278図7	SI05	SI-05		No.75	凹基鐵	泥質チャート		珪質頁岩	SP		24.6	12	4	0.8		A1
第278図8	SI01	SI-01		No.138	凹基鐵	黒曜石		黒曜石	SP	有	23.9	13.1	4	0.9		A1
第278図9	SI02	SI-02	床下4	sNo.9	凹基鐵	チャート		チャート	SP		21.7	12.8	3.6	0.7		A1
第278図10	SI01	SI-01		sNo.45前	凹基鐵	頁岩	新第三紀	流紋岩	nSP/鋸齒		22.9	17.6	3.5	0.9		A1
第278図11	SI01	SI-01		No.62	凹基鐵	変質流紋岩	赤玉石様	流紋岩	SP	有	21.1	18.6	4.7	(1.4)		A1
第278図12	SI01	SI-01		sNo.1 (TA)	凹基鐵	珪化岩	赤玉石	鉄石英	nSP/鋸齒		26.6	13.4	3	0.7		A1
第278図13	SI05	SI-05		No.55	凹基鐵	流紋岩		凝灰岩	SP		28.2	17.2	4.8	1.2		A1
第278図14	SI01	SI-01		No.2	凹基鐵	チャート		黄玉	SP		27.9	16.9	5.8	1.8		A1
第278図15	45J0	45K0	最下層		凹基鐵	頁岩		珪質頁岩	SP		28.1	18.4	3	0.8		A1
第278図16	46I9	46J9	0		凹基鐵	珪化岩	赤玉石	鉄石英	SP		34.4	19.2	4.8	2.0		A1
第278図17	SI01	SI-01		No.367	凹基鐵未製品	チャート		チャート	SP	有	19.5	13.1	4.9	1.0	石鏝に転用	A2
第278図18	SI05	SI-05		No.30	凹基鐵	玉髓		玉髓	SP		19.4	10	3.6	0.5		A2
第278図19	44J2	44K2	13	No.103	凹基鐵	泥質チャート		頁岩	SP		22	17.4	4.1	1.0		A2
第278図20	44J2	44K2	10	No.311	凹基鐵	頁岩	赤色	頁岩	SP	有	25.8	15.8	4.9	1.4	被熱	A2
第278図21	40I4	40J4			凹基鐵	チャート		チャート	SP		36.8	15.9	5.4	(2.4)		A2
第278図22	44J0	44K0	6	No.57	平基鐵	チャート		珪質頁岩	SP		16	10.7	2.8	0.4		A2
第278図23	44J1	44K1	11	No.100	平基鐵	チャート		チャート	SP		23.9	12.9	6.8	1.8		A2
第278図24	SI03	SI-03		No.60	石鉄未製品			黒曜石	SP		28.8	15.7	5.6	(1.9)	加工時に破損	A2
第278図25	40I4	40J4	5	No.72	凹基鐵	頁岩	古期	チャート	SP		23.7	13.7	4.2	0.9		A3
第278図26	44I7	44J7	3	No.14	凹基鐵	玉髓		玉髓	nSP	有	27.9	15.8	4.3	1.4		A4
第278図27	44J1	44K1	Sべ-2	No.99	有菱鐵	玉髓		玉髓	SP		15.5	8.9	3.3	(0.4)		B1
第278図28	SI06	SI-06		No.25	有菱鐵	玉髓	一部被熱	オパール	SP		17.5	10.1	4.1	0.5		B1
第278図29	SI03	SI-03	埋土		有菱鐵	玉髓	被熱して網目状のクラックが入る	オパール	SP	有	18.6	9.5	4	(0.5)		B1
第278図30	44J0	44K0	19	No.148	有菱鐵	玉髓		玉髓	SP		17.1	13.9	5.2	(0.8)		B1
第278図31	45J2	45K2	3	No.87	有菱鐵	泥質チャート		チャート	nSP/鋸齒		21.6	11.8	3	(0.6)		B1
第278図32	46J0	46K0	3-19区		有菱鐵	泥質チャート		珪質頁岩	SP		23.2	11.4	4.4	0.7		B1
第278図33	SI02	SI-02	床下3	sNo.1	有菱鐵	玉髓		玉髓	SP		23.7	10.4	6	0.9		B1
第278図34	SEC T5	SEC T-5			有菱鐵	玉髓		玉髓	SP		18.7	13.1	5	(0.9)		B1
第278図35	SI05	SI-05		No.134	有菱鐵	チャート		チャート	SP		22.2	13.5	5.2	1.0		B1
第278図36	46I7	46J7	7	No.116	有菱鐵	玉髓		玉髓	SP		23.5	12.6	4.1	0.8		B1
第278図37	SI01	SI-01		sNo.1 (TA)	有菱鐵	珪化頁岩		チャート	SP		22.7	12.6	4.4	(0.8)		B1
第278図38	SEC T6	SEC T-6			有菱鐵	チャート		チャート	SP		24.6	13.1	4.4	1.0		B1
第278図39	SI01	SI-01	埋土		有菱鐵	チャート		頁岩	SP	有	23.8	12.9	5.2	1.1	被熱?	B1
第278図40	46I7	46J7	7	No.96	有菱鐵	流紋岩		頁岩	SP		24.5	14.4	6.5	(1.3)		B1
第278図41	41I7	41J7	Wべ-1	No.4	有菱鐵	チャート		珪質頁岩	SP		26.6	12.7	4.5	(1.1)		B1
第278図42	2区E T2	2区E T-2			有菱鐵	玉髓		玉髓	nSP/鋸齒	有	30	14.2	5.2	1.3	片側鋸齒	B1
第278図43	47I3	47J3	1	No.13	有菱鐵	チャート		玉髓	nSP		34.1	16.6	4.4	1.6	被熱	B1
第278図44	44J2	44K2	8	No.288	有菱鐵	玉髓		玉髓	nSP	有	34.6	14.7	5.3	(1.7)		B1
第278図45	41I4	41J4	1	No.35	有菱鐵	玉髓		頁岩	SP		30	16.8	5.3	1.4		B1
第278図46	44J1	44K1	20	No.262	有菱鐵	珪化岩	赤玉石	鉄石英	SP		22.8	10.5	3.4	0.6		B1
第278図47	46J0	46K0	Sべ-3	No.142	有菱鐵	珪化岩	赤玉石	玉髓	nSP/鋸齒		19	15	4.3	0.8		B2
第278図48	SI01	SI-01		No.61	有菱鐵	玉髓		鉄石英	nSP/鋸齒		20.5	11.5	3.3	0.4		B2
第278図49	SI01	SI-01		No.32	有菱鐵	泥質チャート		珪質頁岩	nSP/鋸齒		25.3	15.3	3.9	0.8		B2
第278図50	44I9	44J9	Sべ-4	No.23	有菱鐵	黒曜石	星ヶ塔?	頁岩	nSP/鋸齒		24.4	12.5	5.2	0.7		B3
第278図51	SI07	SI-07		No.59	有菱鐵	泥質チャート		黒曜石	SP		33.7	16.1	5.4	(1.5)	被熱?	B3
第278図52	SI01	SI-01		sNo.217	有菱鐵	チャート		チャート	nSP/鋸齒	有	31	14.4	6	(1.7)		B3
第278図53	44J2	44K2	3	No.50	有菱鐵	玉髓		玉髓	SP	有	29.8	19.5	5	1.4		B2
第278図54	44J1	44K1	Sべ-2	No.85	有菱鐵	玉髓		玉髓	SP		21.6	13.4	4.5	(0.9)		C
第278図55	SI01	SI-01		No.68	有菱鐵未製品			オパール	SP		24.5	14.8	6.4	1.4		C
第278図56	44J2	44K2	3-25区		有菱鐵	珪化流紋岩	玉髓を含む	玉髓	SP		27.1	17.1	6	2.0		C
第278図57	44J2	44K2	5	No.59	有菱鐵	チャート		チャート	SP		24.9	19	6.7	(2.2)		C
第278図58	SI01	SI-01	G区下層		有菱鐵未製品			チャート	SP		35.1	20	12.3	5.4		C
第278図59	48I9	48J9	0		有菱鐵	チャート		チャート	SP		31.1	12.6	5.7	1.6		特
第278図60	44J2	44K2	12	No.104	有菱鐵	泥質チャート		珪質頁岩	SP	有	45.1	14.6	6.1	3.1		C
第278図61	SK48	SK-48		No.2	有菱鐵未製品			チャート	SP		24.8	11.1	4	(0.8)		特
第278図62	44J2	44K2	8-12区		有菱鐵	玉髓		玉髓	SP		22.4	11.8	4.5	0.8		特
第278図63	45I7	45J7	Eべ-1	No.13	異形石器	玉髓		玉髓	SP		28.5	8.1	5.1	0.9		特
第278図64	44I7	44J7	1:2	No.9	異形石器	珪化岩	赤玉石	鉄石英	SP	有	14.7	14	3.6	(0.4)		特殊

第9-2表石織未掲載

分類	No.	新グリッド	出土遺構・グリッド	石材	石材備考	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備考	仮No.
A-1	304	44J1	44K1-20	玉髄		25	13	2	0.7		295
A-1	10	SI01	SI-01-02	玉髄		(16)	13	(3.0)	(0.6)		226
A-1	19	SI01	SI-01-04	玉髄		18	14	7	(1.3)		51
A-1	40	SI03	SI-03-08	珪質頁岩	新第三紀	(21)	4	(14.0)	(0.9)		22
A-1	43	SI03	SI-03-10	玉髄		(12)	(9)	(3.0)	(0.3)		122
A-1	46	SI03	SI-03-11	頁岩	古期	(18)	19	3.0	(0.9)		24
A-1	48	SI03	SI-03-11埋土	珪化岩	赤玉	(19)	14	5.0	(0.8)		61
A-1	66	SEC T4	SEC T-4 S	玉髄		(19)	17	6.0	(1.2)		
A-1	82	79I7	79J7-1	玉髄		(20)	17	3.0	(0.5)		3
A-1	86	40I4	40-J4-1	頁岩	古期	28	16	4.0	0.9		14
A-1	105	41I4	41J4-3	チャート		(29)	17	4.0	(1.6)		29
A-1	112	41I6	41J6-3	頁岩	古期	19	14	3.0	0.7		186
A-1	116	41I6	41J6S-1	チャート		18	14	3.0	0.6		15
A-1	148	43I6	43J6-Eベ(1回目)	珪化岩	赤玉	(23)	(14)	(4.0)	(0.8)		
A-1	153	44I4	44J4-S	玉髄		18	17	4.0	1.0		4
A-1	157	44I6	44J6-1	玉髄		17	17	4.5	0.8		33
A-1	175	44I9	44J9-1	玉髄		18	11	3.0	0.4		21
A-1	207	44J0	44K0-7	菱質流紋岩		27	21.5	8.0	3.0		186
A-1	210	44J0	44K0-7	珪質頁岩	新第三紀	29	18	3.0	1.6		242
A-1	212	44J0	44K0-7	泥質チャート		22	14	4.0	0.8		271
A-1	215	44J0	44K0-8	チャート		(22)	15	6.0	(1.3)		19
A-1	219	44J0	44K0-8	チャート		21	14	3.0	0.8		283
A-1	224	44J0	44K0-9	頁岩	古期	(31)	13	3.0	(0.9)		236
A-1	233	44J0	44K0-14	チャート		26	13	3.0	0.6		73
A-1	235	44J0	44K0-14	珪化岩	赤玉	18	13	3.0	(0.7)		96
A-1	237	44J0	44K0-14	玉髄		18	14	3.0	0.7		141
A-1	239	44J0	44K0-14	玉髄		(18)	12	3.0	(0.7)		299
A-1	253	44J0	44K0-床面	チャート	黄玉	(18)	13	4.0	(0.7)		3
A-1	255	44J0	44K0-S	チャート		(16)	15	3.0	(0.5)		291
A-1	260	44J1	44-K1表探	チャート		21	14	4.0	0.7		
A-1	262	44J1	44K1-3	チャート		26	12	3.5	0.9		152
A-1	272	44J1	44K1-12	玉髄		(13)	15	4.0	(0.7)		132
A-1	273	44J1	44K1-12	玉髄		(17)	15	(3.0)	(0.6)		175
A-1	280	44J1	44K1-14	玉髄		(23)	(10)	(4.0)	(0.6)		113
A-1	285	44J1	44K1-15	チャート		23	13	2.0	0.7		107
A-1	293	44J1	44K1-17	玉髄		(15)	14	3.0	(0.6)		193
A-1	295	44J1	44K1-18	頁岩	古期	22	(20)	3.0	(1.4)		116
A-1	303	44J1	44K1-20	玉髄		28	(11)	2.0	(0.6)		265
A-1	307	44J1	44K1-21	泥質チャート		20	16	3.0	0.7		152
A-1	311	44J1	44K1最終面(S)	玉髄		21	(10)	3.0	(0.5)		
A-1	312	44J1	44K1 Pit1	玉髄		(16)	16	3.0	(0.8)		
A-1	314	44J1	44K1-N	珪化岩	赤玉	25	14	2.0	0.8		125
A-1	332	44J2	44K2-4	チャート		28	20	4.0	1.9		43
A-1	336	44J2	44K2-5	泥質チャート		23	14	4.0	0.9		93
A-1	339	44J2	44K2-6	玉髄		(16)	13	4.0	(0.7)		290
A-1	343	44J2	44K2-8	珪化岩	赤玉	17	12	2.0	0.4		163
A-1	360	44J2	44K2-13	玉髄		(16)	14	2.0	(0.7)		11
A-1	370	44J2	44K2-15	頁岩	古期	27	16	3.0	1.0		51
A-1	372	44J2	44K2-15	珪化岩	赤玉	24	(13)	3.0	(0.8)		173
A-1	396	44J2	44-K2-N4	チャート		(26)	16	3.0	(1.1)		437
A-1	421	45J1	45K1-3	チャート		(23)	11	3.0	(0.6)		40
A-1	429	45J2	45K2-4	頁岩	古期	(29)	14	2.0	(0.9)		46
A-1	437	46I7	46J7-6	玉髄		(13)	16	2.0	(0.7)		76
A-1	438	46I7	46J7-6	頁岩	古期	19	11	3.0	0.5		90
A-1	441-A	46I7	46J7-6	玉髄		20	11	3.0	0.7		118
A-1	443	46I7	46J7-7	チャート	灰色	36	16	4.0	2.0		104
A-1	487	46J1	46K1-8	玉髄		15	12	3.0	1.0		4
A-1	496	47I8	47J8-0	チャート		25	(11)	3.0	(0.7)		
A-1	504	48I6	48J6-2	珪質頁岩	新第三紀	29	12	3.0	0.9		7
A-1	519	T2	T-2上層	チャート		(12)	11	2.0	(0.4)		
A-1	534	2区E T4	第2区E T-4	チャート		(18)	11	2.0	(0.5)		
A-1	543	SI01	SI-01-6	泥質チャート		(21)	(13)	3.0	(1.0)		13
A-1'	76	79I6	79J6-4	頁岩	古期	34	20	6.5	2.5		49
A-1'	118	41I7	41J7-1	チャート		(23)	(16.5)	3.5	(0.9)		12
A-1'	249	44J0	44K0-19	チャート	赤色チャート	(14)	(14.5)	3.0	(0.6)		115
A-1'	376	44J2	44K2-16	玉髄					(0.6)		98
A-1'	143	43I5	43J5-5	頁岩	古期	(22)	18.0	3.5	(1.2)		29
A-1'	190	44I9	44J9-10	頁岩	古期	30	(16.0)	3.5	(1.3)		10
A-1'	28	SI01	SI-1-6	玉髄		(12.5)	14.0	3.0	(0.6)		
A-2	56	SI05	SI-5-9	珪化流紋岩	赤玉石様	28.0	13.0	3.0	1	追加仮8	153
A-2	375	44J2	44K2-16	玉髄		(12)	17	(3.0)	(0.8)		99
A-2	379	44J2	44K2-16	玉髄		(12)	13	(3.0)	(0.6)		150
A-2'	174	44I9	44J9表探	珪化岩	赤玉	(24)	12	3.0	(0.9)		
A-2'	73	79I5	79J5-5	チャート		(22)	12	5.0	(1.7)		53
A-2'	74	79I5	79J5-N 2.1回用	頁岩	古期	26	15	3.0	1.6		
A-2'	544	45J0	45K0-2 14区	頁岩	古期	24	14	4.0	1.3		
A-2'	524	T3	T3上層	泥質チャート		20	11	(3.0)	(0.5)		
A-3	99	40I7	40J7-6	チャート	赤色チャート	21	14	(2.0)	(0.5)		40
A-3	106	41I4	41J4-5	チャート		18	16	4.0	0.9		4
A-3	69	SEC T6	SEC T-6(S)	玉髄		(17)	14	3.0	(0.8)		
A-3	203	44J0	44K0-5	玉髄		14	13	2.0	0.4		249
A-3	334	44J2	44K2-4	玉髄		(19)	14	4.0	(0.8)		135
A-3	177	44I9	44J9-1	チャート		(19)	20	4.0	(1.9)		124
A-3	171	44I8	44J8-3	チャート		30	13	4.0	1.5		17
A-3	93	40I5	40J5-3	チャート		(21)	15	3.0	(1.2)		107
A-3	1	SI01	SI-01-1	チャート		(17)	14	3.0	(0.8)		101
A-3	188	44I9	44J9-6 6区	チャート		(17)	16	2.0	(0.8)		
A-3	208	44J0	44K0-7	チャート		(31)	1.8	3.0	(1.6)		214
A-3	216	44J0	44K0-8	珪化岩	赤玉	(24)	16	4.0	(1.3)		36
A-3	230	44J0	44K0-13	玉髄		18	10	3.0	0.5		23
A-3	288	44J1	44K1-16	珪化岩	赤玉	(19)	13	3.0	(0.8)		40
A-3	516	T1	T-1 上層	チャート		15	13	5.0	0.7		
A-3	140	42I7	42J7カクラン	チャート		(26)	16	4.0	(1.4)		
A-4	27	SI01	SI-01-5-D区	泥質チャート		(18)	15	4.0	(1.0)	追加9	
B-1	11	SI01	SI-01-2	チャート		(19)	13	4.0	(1.0)		281
B-1	21	SI01	SI-01-4	玉髄		(20.5)	9.5	5.0	(0.9)		224
B-1	42	SI03	SI-03-10	珪質頁岩	新第三紀	(22)	(10.5)	4.0	(0.7)		24
B-1	45	SI03	SI-03-11	チャート		16	11	8	2.3		151
B-1	49A	SI03	SI-03-11 埋土	玉髄	メノウ	31	10	5	1.3		76
B-1	61	40I5	40-J5内	流紋岩		(24)	14.5	5	(1.9)		87
B-1	64	SEC T4	SEC T-4 S	チャート		(19)	9	5	(0.9)		
B-1	68	SEC T5	SEC T-5	チャート		(22)	(9.0)	6.0	(2.0)		
B-1	78	79I6	79J6	流紋岩		(24)	13.0	5.0	(1.2)		6
B-1	83	79I7	79J7-6	珪化岩	赤玉	(26)	12.0	4.0	(1.1)		38
B-1	89	40I4	40J4-2	テイスサイト		17	13.0	4.0	0.9		77
B-1	98	40I7	40J7-6	チャート		(17)	11.0	5.0	(1.0)		36
B-1	104	41I4	41J4-3	チャート		31	11.0	5.0	1.3		6
B-1	108	41I6	41J6-1	チャート		19	14.0	4.0	0.9		15
B-1	109	41I6	41J6-1	玉髄		(15)	(11.5)	4.0	(0.7)		55
B-1	110	41I6	41J6-1	チャート		(21)	12.0	7.0	(1.8)		
B-1	114	41I6	41J6-N 1.1回目	泥質チャート		18	9.0	4.0	0.4		

第9-2表石鏝未掲載

分類	No.	新グリッド	出土遺構・グリッド	石材	石材備考	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備考	仮No.
B-1	119	1117	11J7-3	チャート		34	13.0	5.0	1.5		3
B-1	133	1216	12J6-S	チャート		19	11.0	6.0	1.0		1
B-1	142	1315	13J5-1	真岩	古期	33	15.0	5.0	1.4		112
B-1	134	1216	12J6-S	チャート		(19)	12.0	3.0	(0.6)		2
B-1	145	1316	13J6-1	チャート		(17)	12.0	2.0	(0.4)		85
B-1	154	1414	14J4-S 1回目	チャート		(23)	13.0	3.0	0.9		20
B-1	159	1416	14J6-1	珪化岩	赤玉	(21)	11.0	3.0	(1.0)		57
B-1	164	1416	14J6 Wベ-1	真岩	古期	(24)	13.0	3.0	(1.0)		
B-1	165	1416	14J6-Wベルト 1回	チャート		(11)	9.0	3.0	(0.5)		
B-1	170	1418	14J8 表探	流紋岩質凝灰岩	古期	(19)	15.0	4.0	(1.1)		
B-1	176	1419	14J9-1	玉髄		(16)	7.0	2.0	(0.2)		82
B-1	184	1419	14J9-3	チャート		(27)	15.0	5.0	(1.6)		167
B-1	187	1419	14J9-5	真岩	古期	(12)	11.5	6.0	(1.6)		103
B-1	192	1419	14J9-10	流紋岩		34	16.5	6.0	2.0	アスファルト付着、追加10	52
B-1	189	1419	14J9-10	玉髄		(16)	10.0	5.0	(0.9)		6
B-1	198	14J0	14K0-3	玉髄		(19)	9.0	5.0	0.8		271
B-1	211	14J0	14K0-7	真岩	古期	(18)	9.0	2.0	(0.5)		264
B-1	223	14J0	14K0-9	砂質真岩	古期	23	11.0	4.0	0.9		222
B-1	238	14J0	14K0-14	チャート		(21)	12.5	4.0	(1.1)		148
B-1	241	14J0	14K0-14 8区	チャート		(19)	10	5.0	(1.0)		
B-1	244	14J0	14K0-19	チャート		16	8	3.0	0.3		63
B-1	259	14J1	14K1表探	真岩	古期				(1.3)		
B-1	264	14J1	14K1-8	真岩	古期	(21)	10	5.0	(0.7)		23
B-1	265	14J1	14K1-8 16区	玉髄		(26)	13	4.0	(1.1)		
B-1	315	14J1	14K1-N	泥質チャート		(27)	14	3.0	(1.3)		237
B-1	325	14J1	14K1 サブT下層	チャート		(16)	14	5.0	0.9		
B-1	266	14J1	14K1-8 19区	玉髄		(16)	13	4.0	(0.6)		
B-1	327	14J2	14K2 表探	真岩	古期	19	13	4.0	0.7		
B-1	328	14J2	14K2 表探 14区石器	玉髄		17	10	4.0	0.4		
B-1	333	14J2	14K2-4	玉髄		19	9	4.0	0.5		60
B-1	337	14J2	14K2-5 2区	真岩	新第三紀	30	12	3.0	1.1		
B-1	340	14J2	14K2-8	チャート		(24)	15	5.0	(1.7)		107
B-1	349	14J2	14K2-10	チャート		(21.5)	12	4.0	(1.2)		17
B-1	350	14J2	14K2-10	チャート		(28.5)	13	8.0	(2.0)		120
B-1	351	14J2	14K2-10	真岩	古期	(15.0)	12	3.0	(0.5)		151
B-1	380	14J2	14K2-16	チャート	赤色チャート	(20.0)	10.5	4.0	(0.7)		164
B-1	391	14J2	14K2-N	真岩	古期	(27.0)	12.5	5.0	(1.3)		147
B-1	399	14J2	14K2-N5	チャート		22.0	11.5	4.0	0.7	追加11、アスファルト付着	469
B-1	403	14J4	14K4-4	珪化岩	赤玉	(18.0)	12.0	4.0	(0.8)		2
B-1	406	1518	15J8-2	泥質チャート		(21.0)	11.0	2.0	(0.6)		30
B-1	411	15J0	15K0-2	真岩	新第三紀	(26.0)	12.0	4.0	(1.2)		7
B-1	413	15J1	15K1 表探	真岩	古期	(28.0)	13.0	6.0	(1.5)		
B-1	417	15J1	15K1 表探	チャート		(16.0)	10.0	4.0	(0.6)		
B-1	423	15J2	15K2 表探	玉髄		(14.0)	11.0	4.0	(0.5)		
B-1	424	15J2	15K2 表探	チャート		24.0	17.0	4.0	1.1		
B-1	435	1617	16J7-6	玉髄		(20.0)	14.0	4.0	(0.9)		29
B-1	440	1617	16J7-6	玉髄		(22.0)	12.0	3.0	(1.0)		100
B-1	467	16J0	16K0-0	玉髄		(19.0)	12.0	5.0	(0.8)		
B-1	485	16J1	16K1-6	チャート		17.0	11.0	3.0	0.4		160
B-1	492	16J1	16K1-Sベルト 2回	玉髄		(19.0)	13.0	3.0	(0.8)		49
B-1	501	17J0	17K0-2	チャート	赤色チャート	(25.0)	11.0	5.0	(1.2)		61
B-1	509	T1	T-1 表探	チャート		(17.0)	12.0	4.0	(0.7)		
B-1	523	T3	T-3 上層	チャート		(20.0)	10.0	3.0	(0.6)		
B-1	527	表探	表探	玉髄		16.0	10.0	3.0	0.8		
B-1	531	2区E T2	2区E T-2	チャート		(22.0)	13.5	4.0	(1.0)		
B-1	545	14J2	14K2-10	チャート		18.0	14.0	7.0	1.2		113
B-1	546	15J0	15K0 表探	真岩	古期	(18.0)	14.0	5.0	(1.9)		
B-1	456	1618	16J8-0 石器	珪質真岩	新第三紀	30	13.0	6	1.8		
B-2	357	14J2	14K2-12	輝石安山岩	第四紀	(25)	15.0	5.0	(1.7)		116
B-2	409	1519	15J9-2	玉髄		(26)	15.0	4.0	(1.0)		189
B-2	468	16J0	16K0-3	流紋岩質凝灰岩	古期	26	15.0	5.0	1.1		152
B-2	9	SI01	SI01-2	玉髄		18.0	13.0	5.0	0.8		205
B-2	24	SI01	SI-01-5	玉髄		23.0	16.0	5.0	1.0		49
B-2	526	表探	表探	玉髄		21.0	(14.0)	4.5	(0.8)		
B-2	7	SI01	SI-01-2	流紋岩質凝灰岩	古期	17.5	13.0	3.5	0.5		81
B-2	39	SI03	SI-03-4	玉髄		(18.0)	13.0	5.0	(0.9)		171
B-2	41	SI03	SI-03-8	変質流紋岩		(25.0)	15.0	5.0	(1.2)		132
B-2	113	1116	11J6-GI最下層	泥質チャート		(21.0)	13.0	5.0	(1.0)		7
B-2	126	1215	12J5-SI	チャート	赤色チャート	(29.0)	12.5	5.0	(1.3)		32
B-2	156	1416	14J6-1	玉髄		15.5	13.0	5.0	0.6		31
B-2	162	1416	14J6-3	泥質チャート		26.0	14.0	5.0	1.3		4
B-2	191	1419	14J9-10	珪化岩	黄玉	23.0	14.0	5.5	1.3		33
B-2	204	14J0	14K0-6	玉髄		(17.5)	12.5	3.5	(0.5)		13
B-2	217	14J0	14K0-8	玉髄		(16.0)	13.0	4.0	(0.7)		209
B-2	254	14J0	14K0-N	輝石デイスait		(17.0)	11.0	4.0	(0.5)		18
B-2	274	14J1	14K1-12	真岩	古期	22.0	12.0	4.0	0.7		292
B-2	282	14J1	14K1-14	真岩	古期	(23.0)	14.5	3.0	(0.8)		229
B-2	290	14J1	14K1-16	チャート		30.0	17.0	7.0	2.5		478
B-2	353	14J2	14K2-11	チャート		20.0	13.0	4.0	0.7		66
B-3	65	SEC T4	SEC T-4	変質デイスait		(18.0)	19.0	6.5	(1.5)		
B-3	125	1215	12J5-SI	チャート		(22.0)	14.0	6.0	(1.2)		20
B-3	200	14J0	14K0-5	チャート		(20.0)	17.0	5.0	(1.2)		72
B-3	221	14J0	14K0-9	泥質チャート					(0.8)		51
B-3	263	14J1	14K1-7	チャート	赤色チャート	17.0	12.0	4.0	(0.6)		13
B-3	296	14J1	14K1-18	玉髄		(18.0)	18.0	4.5	(0.9)		196
B-3	508	17016	17J16 表探	泥質チャート		40.0	21.0	7.0	2.6		
C	477	16J0	16K0-7	真岩	古期	24.0	9.5	5.0	0.8		1
C	300	14J1	14K1-19	チャート		(21.0)	12.5	4.5	(0.9)		261
C	160	1416	14J6-1	玉髄		26.0	14.0	4.5	1.2		109
C	161	1416	14J6-2	玉髄		(15.0)	12.0	5.0	(0.6)		85
C	167	1418	14J8 表探	チャート		(21.5)	15.5	6.0	(1.6)		
C	23	SI01	SI-01-5	チャート		(21.0)	10.0	5.5	(0.9)		46
C	202	14J0	14K0-5	チャート		(19.0)	(12.5)	5.0	(0.9)		195
C	515	T1	T-1 上層	チャート		(22.0)	14.0	4.0	(0.9)		
C	313	14J1	14K1-N	チャート		24.0	(10.0)	5.0	(1.0)		113
C	214	14J0	14K0-7 17区	チャート		24.0	12.0	4.5	0.8		
C	79	79J6	79J6	チャート		(17.0)	9.0	4.0	(0.6)		7
C	371	14J2	14K2-15	珪化岩	赤玉	25.5	12.0	4.0	0.8		69
C	169	1418	14J8 表探	珪化岩	赤玉	15.5	11.0	4.0	0.4		
C	146	1316	13J6-2	チャート	赤色チャート	(26.0)	(12.0)	6.0	(1.9)		91
C	542	14J0	14K0-E-1	チャート		30.0	13.0	5.0	1.1		14
C	389	14J2	14K2-Nベルト	チャート					0.8		47
C	232	14J0	14K0-14	真岩	古期	25.0	11.5	3.0	0.9		72
C	115	1116	11J16Eベルト 15区	チャート		21.0	14.0	5.0	0.9		
C	180	1419	14J9-2	チャート		(18.7)	10.0	3.5	(0.5)		227
C	480	16J0	16K0-Nベ-2	チャート		21.0	11.0	7.0	1.0		66
C	348	14J2	14K2-9	珪質真岩	新第三紀				0.9		199
C	355	14J2	14K2-11 8区	玉髄		18.0	11.0	3.0	0.4		
C	344	14J2	14K2-8	珪質真岩		22.0	12.0	3.5	0.7		187
C	227	14J0	14K0-10	珪化岩	赤玉	25.0	13.0	5.0	1.2		481

第9-2表石織未掲載

分類	No.	新グリッド	出土遺構・グリッド	石材	石材備考	最大長 (mm)	最大幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	備考	仮No.
C	124	12I3	12J3 最下層	チャート		(25.0)	15.0	5.0	(1.8)		
C	240	14J0	14K0-14	流紋岩		38.0	(16.0)	5.5	(2.3)		362
C	122	11I7	11J7-6	玉髄		28.5	15.0	5.5	1.5		24
C	250	14J0	14K0-19	チャート		19.5	12.0	4.0	0.7		144
C	408	15I9	15J9 表探	チャート		(27.0)	13.0	5.0	(1.4)		
C	472	16J0	16K0-4	珪質頁岩	新第三紀	27.0	10.0	3.5	0.7		173
C	81	79I6	79J6 Sベルト	玉髄		(25.0)	15.0	9.0	(2.8)		
C	329	14J2	14K2-2	チャート		30.0	13.0	5.0	1.4		154
C	100	10I7	10J7-6	玉髄		(27.0)	12.5	4.5	(0.9)		40
C	498	17I9	17J9	頁岩	古期	(23.0)	11.0	4.0	(0.8)		
C	321	14J1	14K1-S	チャート		(25.0)	9.0	4.0	(0.7)		270
C	149	13I6	13J6-Eベ 1回目	珪質頁岩	新第三紀	(24.0)	9.0	4.0	(0.7)		
C	507	19I8	19J8-0	泥質チャート		(28.5)	10.0	5.0	(1.2)	アスファルト?付着追加仮7	5
C	554	17J2	17K2-0	試料なし	石鏝へ	(24.0)	7.0	5.0	0.8		
C	276	14J1	14K1-13	頁岩	新第三紀	29.0	11.0	6.0	1.3		19
C	553	14J1	14K1-S	試料なし	石鏝へ	(27.0)	6.0	4.0	(0.5)		246
C	552	14J0	14K0-S	試料なし	石鏝へ	36.0	11.0	9.0	3.2		253
C	551	14I7	14J7-5	試料なし	石鏝へ	30.0	9.0	7.0	1.7		71
C	550	11I6	11J6-W	試料なし	石鏝へ	54.0	15.0	12.0	7.7		14
C	213	14J0	14K0-7 13区	頁岩	古期	(31.0)	11.0	5.5	(1.7)		
C	547	SI01	SI-01-1	試料なし	石鏝へ	65.0	11.0	7.0	4.9		197
C	548	SI06	SI06-1	試料なし	石鏝へ	34.0	6.0	5.0	0.9		19
C	549	SI06	SI-06-2 カクラン2	試料なし	石鏝へ	48.0	12.0	7.0	4.3		
D	72	79I5	79J5-5	チャート		38.0	9.5	7.0	1.9		52
D	111	11I6	11J6-3	頁岩	古期	(26.0)	10.0	4.0	(1.0)		4
D	129	12I6	12J6-1	チャート		10.0	7.0	4.0	6.6		53
D	130	12I6	12J6-1	チャート		22.0	9.0	7.0	1.0		64
D	173	14I9	14J9 表探	玉髄		21.0	7.0	4.0	0.6		
D	185	14I9	14J9-5	玉髄		21.0	7.0	3.0	0.4		90
D	229	14J0	14K0-12	頁岩	古期	(20.0)	6.0	3.0	(0.4)		295
D	231	14J0	14K0-13	玉髄		(20.0)	8.0	5.0	(0.7)		175
D	261	14J1	14K1-3	玉髄		(24.0)	11.0	6.0	(1.3)		56
D	267	14J1	14-K1-8 23区	頁岩	古期	(19.0)	8.0	3.0	(0.5)		
D	275	14J1	14K1-12	流紋岩		(39.0)	10.0	8.0	(2.9)		318
D	277	14J1	14K1-13	チャート		(31.0)	10.0	7.0	(1.6)		227
D	279	14J1	14K1-14	チャート		27.0	10.0	7.0	1.5		72
D	287	14J1	14K1-16	チャート		21.0	7.5	4.0	0.7		19
D	297	14J1	14K1-19	玉髄		(20.0)	6.0	5.0	(0.6)		182
D	318	14J1	14K1-S	玉髄		20.0	6.0	3.5	0.4		168
D	392	14J2	14K2-N	珪質頁岩	新第三紀	36.0	10.0	6.0	1.9		155
X	541	14I7	14J7-1,2						(0.4)	実物不明	9
X	540	11I7	11J7 表探			(12.0)	12.0	3.0	(0.3)	実物不明	
X	434	16I7	16J7-6	玉髄		15.0	17.0	2.0	0.7		22
X	471	16J0	16K0-4	玉髄		21.0	10.0	3.0	0.7		123
X	539	SI01	SI01-4	凝灰岩	新第三紀	43.0	15.0	8.0	3.8		46
X	341	14J2	14K2-8	チャート	黄玉				(0.8)		148
不明	529	1区表探	1区表探	玉髄		(13.0)	(13.0)	(4.0)	(0.5)		
不明	29	SI01	SI-1-6	チャート		28.0	(13.0)	4.0	(1.0)		
不明	32	SI02	SI02-1	玉髄		(16.0)	(10.0)	(5.0)	(0.6)		39
不明	38B	SI03	SI-03-4	流紋岩		(29.0)	11.0	8.0	(2.2)		127
不明	77	79I6	79J6-5	チャート		(23.0)	13.0	4.0	(0.7)		8
不明	84	79I7	79J7Eベルト(1段)	珪化岩	赤玉	(19.0)	11.0	4.0	(0.6)		10
不明	88	10I4	10J4-2	チャート		(20.0)	8.0	5.0	(0.7)		50
不明	97	10I7	10J7-1	玉髄		(21.0)	14.0	4.5	(0.9)		69
不明	102	11I4	11J4-1	チャート	赤色チャート	(18.0)	(11.0)	4.0	(0.5)		2
不明	128	12I6	12J6-1	玉髄		(12.5)	(8.0)	(4.0)	(0.3)		33
不明	132	12I6	12J6-1N	玉髄		(17.0)	(11.0)	(3.5)	(6.5)		67
不明	135	12I7	12J7-1	玉髄		14.0	11.5	3.0	0.3		4
不明	141	12I7	12J7カクラン	珪質頁岩	新第三紀	(27.0)	(16.0)	5.0	(1.6)		
不明	144	13I6	13J6 表探	チャート		(16.0)	(11.0)	(3.5)	(0.4)		
不明	147	13I6	13J6-3	珪質頁岩	新第三紀	(16.0)	(8.0)	(3.0)	(0.3)		43
不明	181	14I9	14J9-3	珪化岩	赤玉	(18.0)	13.0	4.0	(0.9)		18
不明	196	14I9	14J9-S	玉髄		(18.5)	(14.0)	(5.0)	(0.7)		6
不明	206	14J0	14K0-6	玉髄		(13.0)	(6.0)	(3.0)	(0.2)		256
不明	289	14J1	14K1-16	玉髄		(12.0)	(8.0)	(3.0)	(0.2)		327
不明	374	14J2	14K2-16	玉髄		(16.0)	(11.0)	(5.0)	(0.5)		68
不明	393	14J2	14K2-Nベルト	玉髄					(0.5)		187
不明	453	16I7	16J7-Sベルト	玉髄		(27.0)	(11.0)	4.0	(0.9)		119
不明	502	17J0	17K0-W	チャート		(16.0)	15.0	5.0	(0.8)		103

第9-3表石織未製品

仮No.	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重さ (g)	備考
1	SI01	SI01-2	76	チャート	15.7	9.2	3.6	0.38	
2	SI01	SI01-2	199	チャート	23.9	10.9	4.5	1026.00	
3	SI01	SI-1-4	232	玉髄	18.1	13.1	3.5	0.98	
4	SI02	SI02-床下2	1(S)	チャート	18.3	12.1	5.5	0.98	
5	SI02	SI02C-2C区	11	チャート	22.4	13.4	5.5	2.08	
6	SI03	SI03-10A区		チャート	34.7	16.2	10.1	4.79	
7	SI08	SI08-3	S-023	チャート	27.3	11	7.4	2.13	
8	F916	F9J6-Sベルト		チャート	27.1	17.8	11	3.73	
9	I014	I0J4-1	52	変質流紋岩	20.1	14.9	3.9	0.92	赤玉石様
10	I014	I0J4-7	11	泥質チャート	21.6	13.5	5.2	0.94	
11	I015	I0J5-2	51	玉髄	15.8	15.9	3.8	0.86	被熱して網目状のクラックが入る
12	I016	I0J6-2	57	玉髄	16.1	11.9	2.7	0.47	
13	I016	I0J6-2	59	泥質チャート	23.1	13.6	3.7	1.05	
14	I017	I0J7-6	43	チャート	32.3	13.4	9.4	2.79	
15	I116	I1J6-0		玉髄	17.8	10.2	3.8	0.56	
16	I117	I1J7-3	82	泥質チャート	20.2	9.9	5.7	0.71	
17	I117	I1J7-1	2	チャート	24.5	15	4.8	1.39	
18	I216	I2J6-表探		頁岩	12.7	15.9	4.1	0.84	古期
19	I217	I2J7内-攪乱		チャート	28	11.9	8.6	2.24	
20	I217	I2J7-1	52	泥質チャート	34.6	11.5	8	2.48	
21	I217	I2J7-1	78	玉髄	15.9	9	5.9	0.72	
22	I216	I2J6-1	126	玉髄	24.1	16.2	6.5	2.29	
23	I217	I2J7-Nベ		チャート	23.6	13.9	5.3	1.49	
24	I317	I3J7-2	21	泥質チャート	23.6	12.8	5.3	1.39	
25	I412	I4J2-1回目	8	チャート	22.1	11.9	4.9	0.98	
26	I412	I4J2-1回目	6	珪化岩	17.2	10.4	4.9	0.88	赤玉石
27	I415	I4J5-2	68	玉髄	18.7	9	5.4	0.83	白石
28	I416	I4J6-3	8	玉髄	23.5	18.7	7.1	2.33	
29	I617	I6J7-1	58	頁岩	35	23.1	7.8	4.17	古期
30	I617	I6J7-6	75	玉髄	21.1	14.1	4.3	1.01	
31	I617	I6J7-7	125	泥質チャート	18.9	17.3	8.1	1.68	赤色
32	I617	I6J7-7	141	変質流紋岩	25.7	11.1	3.8	0.98	緑色
33	I617	I6J7-7	148	玉髄	20.2	11.5	5.7	1.10	
34	I617	I6J7-10	42	変質流紋岩	19.2	14	3.2	0.70	赤玉石様
35	I617	I6J7-Sベルト1回目	25	玉髄	27.3	9.6	7.5	1.31	実物不明
36	I617	I6J7-Sベ-2	46	玉髄	24.5	6.5	4.7	0.58	
37	I617	I6J7-Sベ-5	146	チャート	22.6	12.6	4.2	0.97	
38	I617	I6J7-S5	151	チャート	21.7	10.5	3.8	0.90	
39	I418	I4J8-3	96	泥質チャート	19.9	11.8	4.9	1.03	
40	I518	I5J8-表探		玉髄	16.8	12.5	4.6	0.67	
41	I418	I4J8-表探		泥質チャート	26.3	12.5	4.1	1.26	
42	I419	I4J9-2	65	チャート	32.3	9	6.6	1.69	
43	I419	I4J9-2	63	泥質チャート	34.2	14.3	8.7	2.71	
44	I419	I4J9-3	26	流紋岩	18.8	7.7	3.2	0.46	
45	I419	I4J9-3	69	流紋岩	23.8	12.4	4.1	0.63	
46	I419	I4J9-5	95	チャート	20.9	13.2	4.1	0.83	
47	I419	I4J9-S4回目	24	珪化岩	16.4	13.5	2	0.56	赤玉石
48	I419	I4J9-Sベ-1	22	玉髄	18.6	16	5.2	1.31	
49	I419	I4J9-11	15	チャート	31	11.7	8.1	2.36	
50	I419	I4J9-13	3	泥質チャート	36.9	26	9.3	7.63	
51	I4J0	I4K0-7	220	泥質チャート	19.7	13.2	3.6	0.79	
52	I4J0	I4K0-8	1区	珪化岩	19.2	14.9	4.7	1.00	赤玉石
53	I4J0	I4K0-8	219	泥質チャート	28.4	15.5	4.6	1.58	
54	I4J0	I4K0-9	255	頁岩	33.7	12.4	6.6	2.19	赤色 古期
55	I4J0	I4K0-10	330	泥質チャート	28.7	11.7	3	0.77	
56	I4J0	I4K0-11	第11区	玉髄	17.4	12.9	4.9	0.75	
57	I4J0	I4K0-14	80	玉髄	28.1	9.5	7	1.29	
58	I4J0	I4K0-14	139	チャート	25.9	10.8	4.3	1.15	
59	I4J0	I4K0-15	第12区	泥質チャート	34.2	19.8	6.8	3.37	
60	I4J0	I4K0-16	6区	チャート	35.9	18.7	9.6	4.99	
61	I4J0	I4K0-18	80	チャート	27.8	13.6	3.5	1.16	赤色
62	I4J0	I4K0-18	36	チャート	28.5	14.6	4.3	1.47	
63	I4J0	I4K0-19	27	チャート	29.2	12.6	3.2	0.97	
64	I4J0	I4K0-19	27	玉髄	13.4	9.3	2.8	0.28	
65	I4J0	I4K0-20	112	チャート	28.1	17.5	7.2	2.79	
66	I4J1	I4K1-GL	最下層	チャート	26.9	18.1	4.2	1.93	
67	I4J1	I4K1-表探		チャート	16.5	12.6	3.9	0.72	赤色
68	I4J1	I4K1-表探		泥質チャート	25.9	12	4.8	1.29	
69	I4J1	I4K1-表探		泥質チャート	24.1	9.2	3.7	0.67	
70	I4J1	I4K1-9	156	チャート	21.5	10.1	5	0.94	
71	I4J1	I4K1-9	第18区	変質流紋岩	39.1	17	10.3	5.23	赤玉石様
72	I4J1	I4K1-14	42	チャート	19.6	12.4	7.5	1.14	
73	I4J1	I4K1-14	170	泥質チャート	22	11.2	4.8	0.95	
74	I4J1	I4K1-15	37	流紋岩	23.2	15.8	5.5	1.55	
75	I4J1	I4K1-15	37	チャート	16.4	14.9	3.4	0.66	
76	I4J1	I4K1-15	第9区	チャート	33.2	20.9	9.1	5.23	
77	I4J1	I4K1-16	487	玉髄	26.3	12.4	5.8	1.36	
78	I4J1	I4K1-18	106	頁岩	32.2	16.9	9.6	3.29	古期
79	I4J1	I4K1-19	194	チャート	18.3	11.4	5.4	0.87	
80	I4J1	I4K1-19	256	玉髄	18.9	13.3	5.7	1.06	
81	I4J1	I4K1-19	358	泥質チャート	19.6	11.4	4.9	0.75	
82	I4J1	I4K1-21	134	チャート	20	12	3.8	0.69	赤色
83	I4J1	I4K1-21	85	流紋岩	22	15.3	6.3	1.55	被熱して直線状のクラックが入る
84	I4J1	I4K1-床面 最下層	14	玉髄	26.5	15.5	7.8	2.48	
85	I4J1	I4K1-21	155	玉髄	15.2	14.3	4.6	0.82	
86	I4J1	I4K1-Sベルト-4	317	泥質チャート	34.2	14.5	7.9	3.50	
87	I4J1	I4K1-サブトレ		チャート	34.7	16.8	6.8	2.48	
88	I4J1	I4K1-サブトレ下層		チャート	27.9	18.6	8.1	2.91	ラミナイト様
89	I4J1	I4K1-サブトレ下層		泥質チャート	26.8	12.8	5.1	1.54	
90	I4J2	I4K2-17	54	泥質チャート	34.1	16.4	9.1	3.31	赤色
91	I4J2	I4K2-13	18	流紋岩	20.9	16.2	5.1	0.99	被熱して直線状のクラックが入る
92	I4J2	I4K2-13	185	頁岩	27.2	13.1	8.2	2.20	赤色 古期
93	I4J2	I4K2-8	156	頁岩	34.6	14	8.1	3.27	古期
94	I4J2	I4K2-8	197	黒曜石	25.1	14.7	4.8	1.44	高原山?
95	I4J2	I4K2-9	83	玉髄	16.8	7.6	4.2	0.49	
96	I4J2	I4K2-12	149	玉髄	18.6	12.4	4	0.63	
97	I4J2	I4K2-12	213	頁岩	20.8	11.4	3	0.36	赤色 古期
98	I4J2	I4K2-13	37	チャート	19.4	10.3	6	1.00	
99	I4J2	I4K2-13	108	変質流紋岩	24.2	16.7	8.4	2.41	緑色
100	I4J2	I4K2-13	119	頁岩	26.3	10.4	4.1	0.76	赤色
101	I4J2	I4K2-13	156	チャート	23.3	17.6	5.9	1.62	
102	I4J2	I4K2-13	210	玉髄	14.5	12.6	6.1	0.86	
103	I4J2	I4K2-14	256	玉髄	23.8	14.5	5.8	1.69	
104	I4J2	I4K2-16	18	チャート	25.7	15.9	8	2.21	
105	I4J2	I4K2-16	101	チャート	20.4	17.1	3.8	1.17	
106	I4J2	I4K2-16	128	泥質チャート	35.5	20.5	8.3	4.00	
107	I4J2	I4K2-16	197	流紋岩	18.5	16.2	3.5	45.00	
108	I4J2	I4K2-16	198	玉髄	22.6	16.4	6.8	0.93	
109	I4J2	I4K2-17	65	流紋岩	21.4	15	4.9	2.07	
110	I4J2	I4K2-18	12	珪化岩	19.4	6	4.1	1.51	赤玉石
111	I4J2	I4K2-18	66	泥質チャート	34.7	18.3	6.9	0.37	

第9-3表石織未製品

仮No.	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重さ (g)	備考
112	I4J2	I4K2-GL	最下層	泥質チャート	33.7	22.1	9.9	3.58	
113	I4J2	I4K2-Nベ-2	98	珪化岩	24.2	7.7	4.1	4.25	赤玉石
114	I4J2	I4K2-Nベ-4	353	チャート	17.8	11.1	2.5	0.71	
115	I4J2	I4K2-Nベ-4	414	チャート	21.2	12.1	5.8	0.35	
116	I4J2	I4K2-Nベ-5	457	珪化岩	26.6	14.9	5.5	1.09	赤玉石
117	I4J2	I4K2-Nベ-5	469	流紋岩	30.8	8.6	5.1	1.13	被熱
118	I4J2	I4K2-Eベルト-2	50	珪化岩	16.2	14.1	5.4	0.83	赤玉石
119	I4J3	I4K3-6	15	チャート	32	11.6	4.9	1.50	
120	I4J3	I4K3-4	26	チャート	20.3	11.2	4	0.71	
121	I5J9	I5J9-表探		泥質チャート	29.6	18.3	6	2.52	
122	I5J1	I5K1-3	120	玉髄	23	11.4	5.3	1.19	
123	I5J1	I5K1-2	45	泥質チャート	28.9	12.7	7.2	1.79	
124	I5J1	I5K1-2	39		35.7	20.6	1105	4.66	古期
125	I5J1	I5K1-表探		泥質チャート	18.4	13.7	4.7	1.12	
126	I5J1	I5K1-表探		泥質チャート	20.7	11.3	5.4	0.69	
127	I5J1	I5K1-表探		玉髄	20	9.6	3.5	0.49	
128	I5J1	I5K1-表探		流紋岩	33	14.2	9	3.45	
129	I5J2	I5K2-3	84	流紋岩	28.6	13.9	702	1.52	
130	I5J2	I5K2-3	5	チャート	14.6	11.9	4	0.57	
131	I5J2	I5K2-Nベ	3	頁岩	17.8	12.2	3.5	0.76	古期
132	I5J2	I5K2-Eベルト	81	チャート	45.1	13.9	7.6	3.33	
133	I5J2	I5K2-Eベルト	16	泥質チャート	39.8	24.4	10.8	7.77	
134	I5J2	I5K2-Eベルト	18	泥質チャート	38.6	19.5	11.6	7.07	
135	I6J8	I6J8-0		チャート	23.3	13.6	4.9	1.47	
136	I6J8	I6J8-0		玉髄	25	13.8	4.4	1.13	
137	I6J8	I6J8-0		玉髄	22.9	12.1	3.2	0.66	
138	I6J8	I6J8-0		頁岩	29.2	14.4	4.2	1.39	古期
139	I6J9	I6J9-Nベルト1回目	5	玉髄	18.9	8.7	2.9	0.49	
140	I6J9	I6J9-Sベ-1	23	泥質チャート	17.4	10.3	2.4	0.38	
141	I6J9	I6J9-Sベルト4回目	200	泥質チャート	26	12.2	6	1.60	
142	I6J9	I6J9-0		頁岩	31.5	14.4	5.6	1.66	古期
143	I6J9	I6J9-2	101	玉髄	19.7	13.9	4	0.87	
144	I6J9	I6J9-2	103	チャート	36.2	23.2	12	7.80	
145	I5J9	I5J9-3	S8	泥質チャート	31	21.3	8.4	3.41	
146	I6J0	I6K0-8	30	チャート	23.1	13.4	5.2	1.48	
147	I6J0	I6K0-Nベ-4		頁岩	25.5	20.9	6.6	2.91	古期
148	I6J0	I6K0-4	186	泥質チャート	12.4	16.5	3.2	0.57	
149	I6J0	I6K0-4	111	玉髄	16.9	12.3	3.2	0.51	
150	I6J0	I6K0-4	15区	泥質チャート	38.1	17.2	10.5	5.55	
151	I6J0	I6K0-5	90	チャート	33.4	17.8	8.1	3.36	赤色
152	I6J0	I6K0-5	109	玉髄	24.1	12.2	3.5	0.72	
153	I6J0	I6K0-5	9区	チャート	29.4	21.6	7.7	4.37	
154	I6J0	I6K0-6	15	玉髄	23	16.7	4.6	1.55	
155	I6J1	I6K1-3	100	玉髄	21.9	12.7	6.1	1.03	
156	I6J1	I6K1-5	30	玉髄	20.5	15.9	6.7	1.54	
157	I6J1	I6K1-7	81	玉髄	11.8	9.6	4.6	0.37	
158	I6J1	I6K1-10区サブベ-5	233	泥質チャート	25	18.9	8	1.76	
159	I6J1	I6K1-11	8	チャート	19	11.8	5.2	0.98	
160	I6J1	I6K1-12	18	流紋岩	20.6	11.9	3.9	0.56	
161	I6J1	I6K1-14	15	チャート	21.3	12.7	4.5	0.78	
162	I6J1	I6K1-15	52	玉髄	16.5	8.5	4	0.60	
163	I6J1	I6K1-Sベ-3	62	珪化流紋岩	25.4	13.2	7	1.25	玉髄を一部含む
164	I7J9	I7J9-Wベルト1回目	14	凝質流紋岩	31.9	25.5	9.9	6.79	赤色、第279図27
165	I7J9	I7J9-Wベルト2回目	8	泥質チャート	22.1	15.6	4.9	1.48	
166	I7J8	I7J8-0		玉髄	19.1	8.9	5.1	0.66	
167	I7J1	I7K1-Nベルト2	75	玉髄	15	10.9	3.9	0.56	
168	I9J6	I9J6-6	1	頁岩	36.8	21.9	10.6	6.72	古期
169	T1	T-1	表層	凝質流紋岩	26	20.8	8	3.55	赤色
170	T1	T-1	表層	流紋岩	24	14.8	5	1.45	被熱して直線状のクラックが入る
171	T1	T-1	上層	泥質チャート	13.4	14.2	2.1	0.56	
172	T1	T-1	上層	泥質チャート	18	12	3.5	0.60	
173	T1	T-1	上層	チャート	21.2	13.5	3.6	0.81	
174	T1	T-1	上層	泥質チャート	28.6	13.9	5.9	1.87	
175	T2	T-2	上層	チャート	22.4	10.6	6.9	1.21	
176	T2	T-2	上層	チャート	26.1	10	7.5	1.55	
177	T2	T-2	上層	チャート	18.4	11.7	4.5	0.98	
178	T3	T-3	上層	珪化岩	30.7	8.2	5.3	0.98	赤玉石
179	T3	T-3	上層	泥質チャート	30.8	15.7	6.6	2.16	
180	T3	T-3	上層	凝質流紋岩	21	12.1	3.3	0.66	赤玉石
181	T6	T-6	S	チャート	22.2	13.4	5.3	0.86	
182	2区E T1	第2区-E T-1		玉髄	20.3	14.5	6.1	1.02	被熱?
183	2区E T2	第2区-E T-2		玉髄	27.8	13.8	6.6	1.89	
184	1区表探	第1区-表探		泥質チャート	26	14.6	3.2	0.93	
185	I6J0	I6K0-8	63		35.8	23.2	7.5	4.98	第279図26

第10表石錐観察計測表

挿入番号	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	石材備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮No.
第280図1	44J1	44K1-S4	239	チャート		16.2	4.6	2.8	0.2	横断面三角形形状、丁寧な押圧剥離	委63
第280図2	SI01	SI01-2	≒28	流紋岩質凝灰	新第三紀	19.4	8.2	4	0.6	端部使用による摩滅	委61
第280図3	44J0	44K0-9	136	玉髓		24.5	8	4.6	0.8	端部摩滅顕著、丁寧な剥離	委62
第280図4	SI01	SI01-2	≒01	珪質頁岩	新第三紀	26.6	8.9	4.6	1	側縁鋸歯縁状の細かい押圧剥離	委59
第280図5	47J2	47K2-0		玉髓		2.5	0.8	0.6	0.84	端部やや摩滅、やや厚みあり	554
第280図6	SI06	SI06-1	19	頁岩	古期	3.4	0.5	0.65	0.94	細かい押圧剥離加工	548
第280図7	44I7	44J7-5	71	チャート		3	1	0.8	1.66	端部摩滅、やや厚みあり	551
第280図8	SI01	SI01-2	300	珪質頁岩	新第三紀	3.1	1	0.5	1.11	端部少し摩滅	石匙2
第280図9	44J1	44K1-14	70	玉髓		3.3	0.6	0.4	0.64	全面押圧剥離	18
第280図10	46I7	46J7-6	163	頁岩	新第三紀	35.7	10.8	7.5	2.5	側縁やや粗い鋸歯縁状	委64
第280図11	46I7	46J7-S [△] -1	36	頁岩	古期	38.2	9.9	7.1	2.1	側縁やや細かい鋸歯縁状	委65
第280図12	44J0	44K0-S5	253	チャート		3.6	1	1.2	3.21	縁辺細かい押圧剥離加工	552
第280図13	46J1	46K1-6	106	珪質頁岩	新第三紀	4.4	1.1	1	3.4	表裏交互剥離状、やや不整	ドリル
第280図14	46J1	46K1-7	107	玉髓		4.8	0.9	0.8	2.26	縁辺押圧剥離、下端一部欠損	27
第280図15	41I6	41J6-最下層		チャート		1.3	0.4	0.3	0.16	端部押圧剥離、上位欠損	10
第280図16	SI06	SI06-2 カ克蘭		チャート		4.8	0.8	1.3	4.34	側縁細かい剥離加工、端部若干摩滅か	549
第280図17	41I6	41J6-W	14	チャート		5.4	1.5	1.2	7.68	細かい押圧剥離加工	550
第280図18	SI01	SI01-1	≒197	頁岩	新第三紀	6.6	0.7	1.15	4.88	中央厚みあり、横断面三角形形状	547
第280図19	44J1	44K1-S4	246	流紋岩		2.8	0.7	0.4	0.5	上端欠損、細かい押圧剥離加工	553
第280図20	41I7	41J7-4	26	玉髓		2.1	1.1	0.4	0.63	ほぼ全面押圧剥離	11
第280図21	SI01	SI01-1	S458	玉髓		3.3	1.6	0.7	1.46	つまみ部以外全面押圧剥離、端部摩滅	2
第280図22	表探	UTK表探		玉髓		3.2	1.8	0.6	1.83	上端及び下端欠損、縁辺及びつまみ部二次加工	29
第280図23	SI01	SI01-4	219	珪質頁岩	新第三紀	4	1.5	0.5	1.41	全面押圧剥離	4
第280図24	42J0	44K2-N [△] -3	341	チャート		1.9	0.6	0.4	0.43	上方欠損、遺存部全周押圧剥離	23
第280図25	T-6	SECT-		チャート	赤色チャート	3	1.7	1.4	6.87	下方折れ欠損	8
第280図26	44J0	44K0-18	22	流紋岩		3.1	1.7	0.5	1.53	ほぼ全面押圧剥離	17
第280図27	44J0	44K0-14	184	珪化岩	赤玉	2.2	1.4	0.7	2.01	全面押圧剥離	15
第280図28	44J2	44K2-15		チャート		2.2	1.8	0.9	2.75	石錐未製品の可能性あり	その他
第281図1	44J0	44K0-表探		流紋岩		2.2	0.6	0.4	0.67	上方欠損、全面押圧剥離	14
第281図2	SI05	SI05-9	103	頁岩	新第三紀	1.6	1.6	0.7	2.4	全面押圧剥離、細かい加工	6
第281図3	44I9	44J9-12	16	珪質頁岩	新第三紀	1.8	1.8	0.6	1.9	全面押圧剥離、先端若干欠け	13
第281図4	SI01	SI01-埋土		頁岩	新第三紀	4.3	1.7	1.3	5.17	全面押圧剥離、掴み部厚みあり	5
第281図5	2区表探	2区表探		珪質頁岩	新第三紀	2.7	1.8	0.55	2.01	上端一部及び下端欠損、縁辺二次加工	30
第281図6	46I7	46J7-6	94	玉髓		2.7	1.7	0.9	2.97	ほぼ全周押圧剥離	26
第281図7	46J1	46K1-サブヘ-2	35	頁岩	新第三紀	3.4	2.2	0.7	5.11	上端及び下端欠損、縁辺及びつまみ部二次加工	28
第281図8	45J0	45K0-W-2	9	玉髓		1.8	1	0.6	0.75	ほぼ全周押圧剥離	25
第281図9	44J2	44K2-N [△] -3	233	玉髓		2.5	1.3	0.7	2	全周押圧剥離、中央は加工無く厚み残す。上端欠	22
第281図10	44J2	44K2-14-第1区		頁岩	新第三紀	2.9	1.5	0.9	2.83	2側縁二次加工・押圧剥離、目中央礫面残し	19
第281図11	44J2	44K2-18	32	チャート	赤色チャート	2.5	1.5	0.7	1.66	縁辺一部二次加工+微小剥離、面中央加工無い。	21
第281図12	43I6	43J6-1	39	チャート	赤色チャート	2.7	1.9	0.8	2.09	二次加工一部、欠損放棄未製品の可能性あり	12
第281図13	44I4	44J4-1		頁岩	新第三紀	2.55	0.9	2.55	0.16	3辺押圧剥離、裏礫面、やや厚み残し、大きめ	9
第281図14	44J2	44K2-18	27	玉髓		2.1	0.9	2.1	2.35	ほぼ全面押圧剥離	20
第281図15	44J0	44K0-17-SD-1		玉髓		1.9	0.5	0.4	0.37	上方折れ欠損	7
第281図16	44J0	44K0-14-第7区		頁岩	新第三紀	2.4	2.5	0.8	3.65	縁辺ほぼ全周押圧剥離、面中央は礫面や剥離面	16
第281図17	SI01	SI01-4	30	チャート		2.7	2.3	1.4	7.3	両面押圧剥離、下方錐部欠損、掴み部厚みあり	3
第281図18	44J3	44K3-3	28	チャート		4.4	2.8	1.6	14.08	二側縁二次加工、下端一部欠損	24
第281図19	SI01	SI01-1	≒151	頁岩	新第三紀	6.4	4	1.8	31.16	2-3縁辺二次加工、礫面剥離面残り	1

第11表石匙観察計測表

挿図番号	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	石材備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮番号
第283図1	イ5J1	イ5K1-3	169	玉髓		3.9	2.9	1.2	9.15	縦形、一部除き丁寧な両面加工	9
第283図2	SI03	SI03-4	191	頁岩	古期	4	2.7	1.1	6.73	一部両面加工	3
第283図3	イ4J0	イ4K0-N1	59	泥質チャート		4.9	3	1	10.89	縦形	8
第283図4	イ2I6	イ2J6-1	84	玉髓		5.3	3.3	1	12.63	縦形、縁辺微小剥離	7
第283図5	イ5I5	ア5J5内SD-4		頁岩	古期	5.1	3.8	1.2	14.72		6
第283図6	イ6I8	イ6J8-0		頁岩	新第三紀	4.8	6.8	1.1	24.36	横形、刃部細かい両面加工	10
第283図7	SI01	SI01 C区上層		頁岩	新第三紀	2.8	2.7	0.4	2.51	一部欠損?	1
第283図8	イ8I8	イ8J8-1	10	頁岩	新第三紀	5.2	7.2	1.5	27.35	横形	11
第283図9	SI05	SI05-5	260	デイサイト		7	5.4	1.5	36.72	横長中形石匙、一部片面加工	4
第283図10	79I5	ア9J5-8-カクラン		ホルンフェルス		8.1	4.6	1.6	62	縦形、細かい二次加工無い、片面裸面	5
未掲載	イ4J0	イ4K0-5	78	珪質頁岩	新第三紀					横形、欠損・折れ	12

第12表その他の石器観察計測表

挿図番号	新クリッド	出土遺構・クリッド	取上No.	石材	石材備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮No.
第282図1	I6J0	I6K0-4	76	流紋岩		7.5	3.6	1.3	12.66	異形石器、鋸歯縁状、縁辺二次加工顕著	
第284図1	I4J0	I4K0-16	1	砂質頁岩	新第三紀	3.4	2.1	0.9		縁辺二次加工、微小剥離痕	異形2
第284図2	SI01	SI01C区下層		頁岩	新第三紀	4.5	2.2	0.9		Sc.or石籠、縁辺2辺二次加工	1
第284図3	I5I9	I5J9-3	231	流紋岩質凝灰岩		4.7	3.7	1.5		Sc.orポイント、3縁辺細かい二次加工で鋸歯縁、下方欠損？折れ？	4
第284図4	SI09	SI09最下層	38	珪質頁岩	新第三紀、縞状組織あり	4.3	5.6	1.1		横長剥片3辺二次加工	2
第284図5	I4I6	I9J6-6	9	ホルンフェルス		7.3	3.9	1.6		2辺二次加工、一部微小剥離＝使用痕？未製品だが使用か	6
第284図6	I4J2	I4K2-6	251	ホルンフェルス		9.1	3.6	1.7		加工主に片面	2
第284図7	SI02	SI02-4 床下	8	頁岩	古期	7.7	4.8	1.4		石槍or石匙、二次加工主に片面、縁辺以外二次加工なし	1
第284図8	I4J0	I4K0-14	29	ホルンフェルス		8.3	4.3	1.7		2辺二次加工、顕著な加工無いところあり、一部縁辺摩滅	5
第284図9	I6I7	I6J7-4	S22	頁岩	新第三紀	7.3	4	1.7		左右側縁一部鋸歯縁状、先端欠損？1辺使用痕	未2
第285図1	I7J0			閃緑斑岩		14.3	8.1	4.2	559.1	スタンプ形石器	
第285図2	I4I2	I4K2-14	23			10.3	9.4	2.30	298.0	片面礫面、加工ほぼ片面円周上、円形スクレイパー	
第285図3	I6J5	I6K5	51	重晶石ホルンフェルス		13.2	5.3	1.5		二次加工2辺、主に片面一部両面、礫面節理面残り	3
第285図4	I4I5	I4J5-2	168	重晶石ホルンフェルス		15.2	8	3.2		先端二次加工丁寧、残り縁辺加工あまりない、未製品か	4
未掲載	I0I6	I0J6-3	9	頁岩	古期	6.2	3	1.2		縦長剥片、二次加工あまりない	未1
未掲載	I4J2	I4K2-15-2区				2.2	1.9	0.8		楔形石器orR.F.or石鏃破損？両極剥片、チャート	3

第13表石錐観察計測表

挿入番号	新グリッド	出土位置・グリッド	取上No.	石材	石材備考	残存率	分類	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮No.
第286図1	SI01	SI-01-1	No.449	真岩	古期	完形	A1	4.6	2.7	1.1	18.0		1
第286図2	SI01	SI-01-4	No.39	真岩	古期	9/10	A1	5.4	(4.1)	1.3	(47.4)	溝周辺研磨線状痕	8
第286図3	SI01	SI-01-2	No.100	堇青石ホルンフェル		4/5	A1	(5.1)	4.1	2.1	(66.6)	一部研磨	3
第286図4	SI01	SI-01-2	No.94	真岩	古期	2/3	A1	(5.9)	4.9	1.0	(58.9)	被熱・有溝に沿って細い線状痕あり	2
第286図5	SI01	SI-01-5-C区		真岩	古期	3/4	A3	3.2	(4.1)	0.8	(15.4)	溝内線状痕、溝外敲打+研磨	13
第286図6	SI01	SI-01-3	No.3	真岩	古期	2/3	B1	4.0	3.1	(1.2)	(20.2)	不整形、研磨線状痕あり	7
第286図7	SI01	SI-01-6	No.2	真岩	古期	4/5	B1	(5.4)	(3.2)	1.0	(21.0)	被熱、不整、切目周辺以外整形せ	14
第286図8	SI01	SI-01-5	No.78	輝石安山岩		ほぼ完形	B1	6.7	5.7	1.8	(113.3)	被熱、表裏若干磨痕	10
第286図9	SI01	SI-01 埋土		真岩	古期	ほぼ完形	B1	6.1	4.3	1.2	(56.4)	表裏面中央及び側面一部研磨整	15
第286図10	SI01	SI-01-5	No.14	真岩	古期	4/5	C1	4.4	3.5	1.5	(33.2)	剥離加工で溝部つくり、端部敲打+	9
第286図11	SI02	SI-02-A区 床下埋土		輝石安山岩		ほぼ完形	A1					被熱?溝周辺研磨著しい、側面や端部も研磨	22
第286図12	SI02	SI-02 床下-3	No.6	真岩	古期	ほぼ完形	A1	6.2	4.4	2.3	(90.3)	全体研磨、特に溝周辺研磨著	19
第286図13	SI02	SI-01-2	No.310	真岩	古期	2/5	A1					表中央剥落、割れ面、断面鋭角な三角形	5
第286図14	SI02	SI-02 床下土坑	No.4	真岩	古期	完形	B1	9.3	3.8	1.4	82.5	上下端部溝周辺研磨	17
第286図15	SI02	SI-02 床下-1	No.11	真岩	古期	1/2	A1					被熱、表面剥離、図下端欠損、表面敲打+研磨	18
第286図16	SI02	SI-02 床下-4	No.3	輝石安山岩		完形	B1	5.6	4.4	1.7	69.8	表裏及び側面研磨、上下端部研	20
第286図17	SI02	SI-02 床下-4	No.19	無斑晶質安山岩		完形	(B1)	4.9	4.5	1.3	42.4	上端にわずかな切り込みのみ、側面端部研磨	21
第286図18	SI03	SI-03-10-C区		輝石安山岩		完形	A1					溝周辺線状痕著、縁近くまで表裏研磨	26
第286図19	SI03	SI-03-6	No.116	輝石安山岩		完形	A1	5.9	3.5	1.3	41.0	表裏面一部若干の磨痕	24
第286図20	SI03	SI-03 埋土-1		輝石安山岩		完形	B1	5.9	3.7	2.1	65.5	ためて深さのある溝、周辺研磨	31
第286図21	SI03	SI-03 埋土-2		無斑晶質安山岩		完形	B1	5.6	3.3	1.3	37.2	側縁研磨?上端切目一部欠損	32
第286図22	SI03	11-J6 最下層 SI-03-11	No.9	粘板岩		9/10	A1					切目一部深い、片面途切れる溝、表裏敲打研磨で平らに整形、上端剥離+擦れ+摩滅、裏石上は節理の古い剥離	29
第286図23	SI03	SI-03-10-C区-2		砂質真岩		1/2	A1	(2.6)	2.3	0.8	(6.6)	被熱?溝近く線状痕+磨痕	27
第286図24	SI03	SI-03-6	No.41	輝石安山岩		1/2	C1	(4.7)	4.4	2.1	(59.9)	打ち欠きの剥片、切り込み部擦れ	23
第287図1	SI05	SI-05-11-B区		真岩	古期	ほぼ完形	A1	4.2	2.6	0.9	(12.0)	片面は線途切れる(B1)、端部割れ面も擦れ+摩滅	42
第287図2	SI05	SI-05-7	No.4	真岩	古期	完形	A1	4.7	2.8	0.9	17.9	溝周辺若干研磨、側縁も研磨整	36
第287図3	SI05	SI-05-5	No.6	真岩	古期	1/2	A1	4.8	(1.9)	1.2	(16.4)	表面剥落多、溝深く内部研磨著	33
第287図4	SI05	SI-05-5	No.280	凝灰質砂岩		完形	A1	5.7	3.5	1.8	44.5	全体磨り整形、溝上下端部で深い	34
第287図5	SI05	SI-05 15-J9-2		真岩	古期	ほぼ完形	A1	5.7	4.5	1.1	(44.0)	表裏研磨、敲打痕一部、溝周辺線状痕、剥離面も摩滅	60
第287図6	SI05	SI-05-10	No.69	粘板岩		9/10	A1	5.8	4.4	1.3	(50.9)	表裏面に研磨+敲打痕	40
第287図7	SI05	SI-05-10	No.74	真岩	古期	ほぼ完形	B1	6.8	3.7	(1.3)	(57.0)	若干の研磨整形	41
第287図8	SI05	SI-05-6-C区		真岩	古期	4/5	B1					欠損剥離、他の細かい剥離も目的ではない	35
第287図9	SI05	SI-05 15-J9-1		デイスait		ほぼ完形	C1	5.3	(4.2)	1.1	(37.0)	端部打ち欠き剥離、細い溝は使用痕か、表側面研磨	61
第287図10	SI06	SI-06-5	No.23	多孔質安山岩		完形	A1	3.0	2.4	0.9	9.6	被熱、溝は細く浅い線状	45
第287図11	SI06	SI-06 15-K2		真岩	古期	ほぼ完形	A1	5.0	3.4	1.7	(40.2)	左側面切目ではない、溝すぐ外側研磨	62
第287図12	SI06	SI-06-3	No.62	粘板岩		4/5	A2	5.1	2.7	0.5	(12.4)	溝断面鋭角、全体に研磨、薄手	43
第287図13	SI07	SI-07-P-9		真岩	古期	9/10	A1	5.2	4.1	1.0	(30.8)	被熱、表裏敲打+研磨、一部の剥離面も研磨で概ね平滑	47
第287図14	I216	12-J6-2	No.33	輝石安山岩		完形	A2	4.9	2.9	1.3	26.7	長軸線→短軸線→全体研磨丁寧	137
第287図15	I5J0	15-K0-2	No.20	砂岩	古期	4/5	A2	(3.7)	(2.8)	2.4	(29.2)	被熱、長軸線→短軸線、縁辺剥離+摩滅+擦れ著しい、	277
第287図16	I4J0	14-K0-7 14区		粘板岩		1/3	A2	(6.5)	(2.7)	(0.7)	(15.0)	石剣類転用、被熱、短軸線→長軸線鋭角、裏剥離	185
第287図17	I016	10-J6-1	No.12	ホルンフェルス		2/5-1/3	A2	(4.4)	(3.0)	(0.5)	(8.1)	短軸線→長軸線、面の研磨明瞭、左上剥離、裏欠損	106
第287図18	I5J1	15-K1-5		砂質粘板岩		完形	A1	4.8	2.3	1.4	26.0	石棒転用、溝互い違い、一面では途切れ、I字文消えかかっているほど研磨、段差も消えかか	285
第287図19	I014	10-J4		真岩	古期	完形	A1	3.6	3.0	0.9	15.4	表裏研磨、溝周辺の線状痕	98
第287図20	I517	SD-04 15-J7		真岩	古期	ほぼ完形	A1	3.7	3.6	0.7	(12.3)	赤色顔料付着?表裏敲打+研磨	53
第287図21	I117	11-J7 攪乱-2				ほぼ完形	A1					溝途切れるところあり、敲打整形、縁辺剥離+研磨	402
第287図22	I414	14-J4	No.2	真岩	古期	2/3	A1	(4.3)	(2.6)	0.8	(13.9)	被熱、溝脇線状痕、裏裏敲打+研	155
第287図23	I414	14-J4-Eベ	No.4	真岩	古期	完形	A1	3.4	3.7	0.7	(15.6)	被熱、溝幅広やや深め、研磨少	154
第287図24	I416	14-J6-3	No.25	粘板岩		完形	A1/B1	4.1	3.7	1.4	25.0	溝脇の線状痕、表裏研磨少	164
第287図25	I4J0	14-K0-8	No.9	砂岩	古期	完形	A1	3.6	2.6	1.6	(19.7)	溝深い、表裏加工無し	186
第287図26	I4J0	14-K0-9	No.51	真岩	古期	2/3	A1	(2.8)	1.9	0.9	(5.9)	被熱、長方形に整形、面平坦に研	188
第287図27	I4J1	14-K1-17 11区		砂岩	古期	完形	A1	2.7	2.7	0.9	8.1	被熱、溝浅くやや幅広、表裏磨痕	217
第287図28	I4J2	14-K2-3	No.39	ホルンフェルス		1/3	A1/B1	(4.2)	(3.2)	(1.0)	(12.4)	被熱、裏剥離面に溝	231
第287図29	T-1	T-1 上層-1				完形	A1	3.9	4.0	0.9	20.3	表裏面・裏剥離面とも磨痕	377
第287図30	I017	10-J7-6	No.49	真岩	古期	1/2	A1	(4.6)	(4.4)	(0.7)	(19.6)	裏面剥離→縁辺微小剥離→摩滅+擦れ、再生か	117
第287図31	T-4	T-4 上層				ほぼ完形	A1	4.0	3.7	1.3	(29.0)	縁辺敲打?面中央近く若干の磨	386
第287図32	I716	A9-J6 Sベルト		真岩	古期	完形	A1	4.3	4.1	1.0	26.2	側面一部研磨	91
第287図33	I014	10-J4-3	No.87	輝石安山岩	第四紀	ほぼ完形	A1	4.5	4.1	1.3	(31.3)	上端使用時剥離欠損、溝周囲線	95
第287図34	I116	11-J6-2	No.123	真岩	古期	完形	A1					被熱、表裏若干の敲打+磨痕、裏面剥離面も磨痕?	124
第287図35	I4J2	14-K2-7 4区		粘板岩		小片	A1?	5.0	3.5	1.3	(27.7)	片面剥離、研磨不明	238
第287図36	I4J0	14-K0-6	No.108	緑色片岩	三波川	完形	A1	(2.7)	(2.1)	(0.3)	(2.5)	石剣類転用、割れ口に整形敲打痕、製作時の敲打+研磨痕	181
第287図37	I4J2	14-K2-13	No.157	細粒黒雲母花崗岩		完形	A1	4.3	3.3	2.1	(52.6)	203と類似、溝幅広浅め	247
第287図38	I4J2	14-K2-9	No.138	細粒黒雲母花崗岩		ほぼ完形	A1	4.0	3.3	2.0	40.0	溝は擦れ状、上端敲打または若干の欠損?	239
第287図39	I4J2	14-K2-12	No.175	デイスait	第四紀	ほぼ完形	A1	4.2	3.2	1.8	(33.2)	被熱顕著、溝幅広で深め	245
第287図40	I4J0	14-K0-21 21区		真岩	古期	完形	A1	3.2	2.8	0.9	12.0	表裏研磨平滑、線状痕残る	205
第288図1	I316	13-J6-1	No.55	流紋岩		ほぼ完形	A1	4.6	3.2	1.7	(30.5)	被熱、厚みあり、有溝線状痕一部、若干の敲打+磨痕	147
第288図2	I217	12-J7 埋土		輝石安山岩	第四紀	完形	A1	(4.2)	4.0	1.5	(45.6)	溝脇線状痕、研磨線状痕あり	140

第13表石錐観察計測表

挿入番号	新グリッド	出土位置・グリッド	取上No.	石材	石材備考	残存率	分類	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮No.
第288図3	445	4-4-J5-1	No.42	真岩	古期	完形	A1	4.3	3.0	1.0	20.5	研磨線状痕や目立つ	157
第288図4	2区E T-1	2区E T-1				完形	A1	4.4	3.4	0.9	21.9	表裏敲打+研磨(光沢伴う)、溝内も研磨	394
第288図5	2区E T-1	2区E T-1				完形	A1	4.1	2.9	1.3	24.0	溝断面三角形、深めで明瞭、表裏研磨痕あり	393
第288図6	2区E T-1	2区E T-1				完形	A1	4.5	3.3	1.5	33.3	溝近く作出時の線状痕、被熱?	390
第288図7	T-3	T-3 上層				ほぼ完形	A1	5.1	3.4	1.0	(26.4)	表裏敲打+研磨、粘板岩か	383
第288図8	T-3	T-3 表探				完形	A1	4.7	2.8	1.2	22.3	表裏若干の研磨	381
第288図9	T-1	T-1 上層-2				9/10	A1	4.6	3.2	1.4	(32.2)	線細く浅め、敲打+研磨若干	376
第288図10	44J0	4-4-K0-13	No.289	粘板岩		2/3		5.2	(2.9)	1.5	(29.0)	被熱、溝明瞭、表裏敲打+研磨、板状に剥離欠損	196
第288図11	44J1	4-4-K1-2	No.10	真岩	古期	ほぼ完形	A1	5.0	2.8	1.2	(24.5)	両端部に敲打痕、裏裏面研磨	209
第288図12	44J1	4-4-K1-11	No.204	砂質頁岩	古期	完形	A1/B1	4.5	2.1	0.8	9.6	表裏研磨	212
第288図13	44J1	4-4-K1-19	No.142	粘板岩		3/5	A1	4.9	(2.5)	1.2	(22.1)	溝片面は浅く途切れかけている、表裏研磨	224
第288図14	44J1	4-4-K1-18	No.253	輝石安山岩	第四紀	3/4	A1	6.1	(2.9)	1.0	(26.3)	溝脇の線状痕多、表裏研磨、砥石	220
第288図15	44J1	4-4-K1-19	No.92	ホルンフェルス		完形	A1	5.3	3.0	1.6	(37.0)	被熱、溝線細く浅めだが鋭角	223
第288図16	SD12	SD-12-D	No.14	真岩	古期	完形	A1	6.0	3.0	0.9	29.1	溝一部途切れ	68
第288図17	44J0	4-4-K0-7	No.122	輝石安山岩	第四紀	完形	A1	4.6	3.6	1.2	30.4	溝やや深く鋭角、表裏若干研磨、表面板状に剥離	184
第288図18	44J0	4-4-K0-15	No.159	ホルンフェルス		3/4	A1	(5.8)	4.0	(1.7)	(52.4)	溝浅い、研磨若干、剥離欠損部多	201
第288図19	405	4-0-J5-2	No.58	真岩	古期	ほぼ完形	A1	4.5	3.2	1.0	(19.9)	上下端剥離加工→有溝作出、表裏一部敲打	100
第288図20	44J0	4-4-K0-5	No.200	真岩	古期	完形	A1	4.8	3.0	1.2	27.6	表裏研磨、裏面光沢あり	179
第288図21	435	4-3-J5 最下層	No.4	真岩	古期	9/10	A1	4.9	3.1	0.8	(22.4)	敲打+研磨若干	142
第288図22	SD12	SD-12-D	No.4	輝石安山岩		完形	A1	5.3	3.4	1.1	29.0	表裏若干研磨、片面切目、溝浅い	67
第288図23	2区E T-1	2区E T-1				完形	A1	4.6	3.5	1.3	30.7	煤付着、被熱、端部溝深い、表裏一部研磨	391
第288図24	2区E T-1	2区E T-1				完形	A1	4.9	3.5	1.1	29.8	溝のエッジ鋭い、溝内研磨痕明瞭、表裏研磨	392
第288図25	425	4-2-J5-Sベ-1	No.82	ホルンフェルス		完形	A1	5.7	4.4	1.4	(40.0)	溝細い一部途切れ、表裏敲打、A1に近い	134
第288図26	407	4-0-J7-Nベ		真岩	古期	1/2	A1	(5.9)	(4.3)	(1.8)	(60.4)	黒色付着物あり、整形、線状痕わずかにあり	118
第288図27	44J1	4-4-K1-15	No.326	砂岩	古期	完形	A1	4.4	3.9	1.5	36.6	被熱、溝途切れかけ、幅広い	215
第288図28	44J1	4-4-K1-18	No.177	輝石安山岩	新第三紀	完形	A1	5.5	4.6	1.8	60.0	溝幅広、深い、表裏面研磨	218
第288図29	406	4-0-J6-1	No.7	真岩	古期	完形一部欠損	A1	4.9	3.2	1.7	40.7	下端一部欠損、溝幅広で深い、側面表面若干研磨	105
第288図30	405	4-0-J5-2	No.100	真岩	古期	1/2	A1	(4.5)	3.6	(1.4)	(26.9)	被熱、表裏研磨著しい、石剣類転	102
第288図31	44J0	4-4-K0-8	No.275	粘板岩		1/3	A1	(4.7)	(2.7)	(0.7)	(12.1)	研磨の線状痕目立つ、裏欠損剥	187
第288図32	406	4-0-J6-2	No.56	砂質凝灰岩	新第三紀	ほぼ完形	A1	5.1	3.9	1.9	(48.6)	溝幅広で深い、表裏研磨明瞭	108
第288図33	44J2	4-4-K2-4	No.203	砂質粘板岩		完形	A1/B1	6.4	4.0	1.5	(54.0)	被熱、溝片面一部途切れしている	233
第288図34	表探	SEC 表探				完形	A1	6.0	3.9	1.7	62.5	被熱、表裏研磨	387
第288図35	SEC T-	SEC T-1 埋土		ホルンフェルス		ほぼ完形	A1	6.2	3.9	1.5	(48.0)	有溝途切れあるが、長く線延びる	78
第288図36	425	4-2-J5-1	No.23	真岩	古期	2/5	A1	(4.4)	(3.2)	(0.7)	(8.8)	表面敲打+研磨、被熱黒変	131
第289図1	437	4-3-J7-1	No.52	真岩	古期	完形	A1	5.6	3.9	1.2	(36.8)	溝脇の線状痕裏面で顕著、表裏	151
第289図2	436	4-3-J6 表探		流紋岩		完形	A1	4.5	3.2	0.8	17.4	被熱、敲打+研磨、有溝脇線状痕	144
第289図3	445	4-4-J5-3	No.25	真岩	古期	完形	A1	5.5	3.5	0.8	21.6	被熱、溝脇線状痕、表裏敲打+研	163
第289図4	458	SD-04 45-J8		輝石安山岩		9/10	A1	4.7	3.8	2.7	(56.4)	被熱、厚みあり、面中央は溝浅い、全体に研磨整形、裏・割れ面	55
第289図5	426	4-2-J6-Sベ		輝石安山岩		1/2	A1	(3.5)	3.2	1.1	(15.4)	裏面溝浅く途切れ、被熱、研磨?	138
第289図6	487	SD-09 48-J7-1	No.77	真岩	古期	ほぼ完形	A1	(5.8)	(3.7)	1.5	(55.4)	端部や側縁の剥離面は摩滅	64
第289図7	44J0	4-4-K0-5	No.98	真岩	古期	一部欠け	A1	6.3	(4.3)	1.7	(72.5)	厚みあり、研磨一部のみ	178
第289図8	SEC T-	SEC T-2		輝石安山岩		4/5	A1	5.8	(4.3)	1.7	(47.5)	剥離面を含め、敲打+研磨、有溝は	79
第289図9	458	SD-04 45-J8		真岩	古期	2/3	A1	(5.9)	(3.4)	1.5	(38.9)	断面鋭角、深め、側面研磨整形	56
第289図10	SD12	SD-12-D	No.46	真岩	古期	2/3	A1	(5.8)	3.5	1.2	(31.5)	表裏研磨、右上一部・下方欠損	69
第289図11	44J1	4-4-K1-18	No.203	真岩	古期	1/2	A1	(5.6)	(4.6)	(1.9)	(42.7)	全体不整、表面研磨明瞭、線状痕	219
第289図12	449	SD-01-15区 4-4-J9		輝石安山岩		ほぼ完形	A1	6.6	4.7	2.6	(88.9)	被熱著しい、全体磨り・研磨痕、裏面割れ面敲打+研磨	49
第289図13	T-2	T-2 表探				完形	A1	6.3	5.0	1.3	66.6	表裏敲打+研磨、厚み整えてい	380
第289図14	436	4-3-J6-1	No.38	真岩	古期	完形	A1	5.7	5.3	1.4	(65.4)	被熱、敲打+研磨、敲打時剥離? 一研磨	145
第289図15	436	4-3-J6-1	No.40.41	真岩	古期	ほぼ完形	A1	4.7	4.1	1.0	(28.6)	敲打+研磨、溝裏面は細く浅い	146
第289図16	445	4-4-J5-3	No.19	真岩	古期	4/5	A1	(6.1)	4.3	1.5	(42.4)	線細い、溝脇線状痕多、研磨や敲打少	162
第289図17	447	4-4-J7-Nベ1区		輝石安山岩	第四紀	ほぼ完形	A1/B1	5.2	5.1	1.7	(74.7)	溝浅くやや幅広、表裏研磨少、側面も研磨あり	170
第289図18	2区E	2区E T-1				ほぼ完形	A1	7.8	5.7	1.8	(127.9)	溝内擦れ、表裏敲打若干の研磨	395
第289図19	表探	SEC 表探		真岩	古期	ほぼ完形	A1	8.8	4.3	2.0	(120.7)	被熱・付着物顔料? 砥石や磨石の可能性あり	82
第289図20	44J2	4-4-K2-6	No.277	輝石安山岩	新第三紀	完形	A1	7.7	5.9	2.7	179.4	溝幅広やや深め、表裏研磨、一部敲打痕	235
第289図21	447	4-4-J7 最下層		粘板岩		2/3	A1?	(5.9)	(5.5)	(1.3)	(63.2)	裏剥離欠損? 表上端も欠損剥離	169
第289図22	46J1	4-6-K1-Eベ-4	No.86	真岩	古期	完形	A1/B1	7.8	5.1	3.2	183.5	裏面凸部で浅くなり線途切れる、全体大きめ不整で、研磨表面の	361
第289図23	435	4-3-J5-Sベ-1	No.7	砂質頁岩	古期	完形	A1	8.2	5.9	1.6	(125.0)	表裏側面研磨	143
第289図24	445	4-4-J5-2	No.139.1	砂質粘板岩		4/5	A1	9.7	(5.5)	2.0	(152.5)	表裏敲打+研磨、側面も研磨あり	161
第290図1	46J0	4-6-K0-1	No.24			ほぼ完形	A1	7.7	5.1	2.1	(114.2)	研磨あり	320
第290図2	2区E T-1	2区E T-1				2/3	A1	4.7	3.0	(0.8)	(16.4)	溝直交の横位線あり、石剣転用か、表の有溝途切れていない	397
第290図3	445	4-4-J5-1	No.81	ホルンフェルス	粘板岩が原岩	完形	A1/B1	5.4	2.6	1.5	35.2	粘板岩、石剣類転用、割れ面敲打+研磨整形	159
第290図4	459	4-5-J9-2	No.233	輝石デイスイト		4/5	A2	5.7	(4.5)	1.2	(41.2)	表裏若干の敲打+研磨、長軸線に斜行する溝線あるが、目的ラインか不明、数力所の剥離も製作時	266
第290図5	44J2	4-4-K2-7	No.49	粘板岩		2/5	A1	(3.3)	(3.8)	(1.2)	(23.3)	研磨不明、裏剥離	237
第290図6	459	4-5-J9-3	No.356	流紋岩		ほぼ完形	A1	4.5	3.5	1.0	(23.3)	周縁加工剥離+敲打+研磨、表裏面研磨、溝一部浅い、溝脇線状痕	273
第290図7	T-6	SEC T-6		安山岩質凝灰岩		完形	A3	2.9	5.0	2.2	50.9	真質、敲打+研磨で溝作出、エッジならだか、全体若干研磨	81
第290図8	4116	4-1-J6-Sベ-2	No.33	輝石安山岩		2/3	A1	(3.5)	3.8	1.1	(19.8)	表裏磨痕、平らに整形?	125

第13表石錐観察計測表

挿入番号	新グリッド	出土位置・グリッド	取上No.	石材	石材備考	残存率	分類	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮No.
第290図9	I217	I2-J7 攪乱-1				2/3	A1	(6.9)	(3.7)	1.4	(49.0)	被熱?表裏研磨、右下の剥離は整形~使用時か	404
第290図10	I4J1	I4-K1-Nベ-5	No.269	頁岩	古期	1/3	A1?	(4.5)	(2.6)	(1.5)	(15.4)	B1?研磨明瞭	229
第290図11	I217	I2-J7 攪乱-3				1/2	A1	(2.7)	3.3	0.8	(10.4)	薄く扁平、若干の研磨	405
第290図12	SD16	SD-16	No.25	頁岩	古期	2/3	A1	(5.9)	4.5	1.3	(50.0)	戮力所は現代の欠損剥離、表裏	73
第290図13	T-1	T-1 上層-3				完形	B1	2.7	2.3	0.7	7.3	タール付着?表裏研磨少	378
第290図14	I117	I1-J7-Nベ-2	No.24	頁岩	古期	完形	B1	3.7	2.4	0.9	14.3	整形に伴う明確な様、研磨の線状痕明瞭	127
第290図15	I117	I1-J7 攪乱-1				完形	B1	3.1	2.4	1.0	9.8	表裏整形の磨痕、切り込みシャ-	401
第290図16	I415	I4-J5 表採		砂岩	古期	完形	B1	2.9	2.5	1.3	11.1	下端明らかな有溝や切目は無いが、溝状部分変色	156
第290図17	I415	I4-J5-2	No.76	泥質砂岩	古期	完形	B1	3.4	2.6	0.9	11.6	有溝線状痕、表裏研磨(石剣類製作痕か)	160
第290図18	I217	I2-J7-1 2区		砂質凝灰岩	新第三紀	4/5	B1	3.4	(2.3)	1.0	(11.6)	表裏若干の敲打+研磨、有溝下端は浅い	139
第290図19	I017	I0-J7-1		頁岩	古期	完形	B1	4.0	3.2	1.0	19.2	下端打ち欠き剥離-研磨・溝作出、表裏面研磨	114
第290図20	I4J0	I4-K0-14	No.292	流紋岩		完形	B1	3.6	3.0	1.2	21.5	被熱、敲打+研磨若干	200
第290図21	I4J0	I4-K0-3	No.183	流紋岩		完形	B1	3.5	3.4	0.9	17.7	切り込み状、表裏中央やや凹む、	175
第290図22	7915	A9-J5-2	No.13	無斑晶質安山岩		完形	B1	3.7	3.0	0.7	12.1	被熱?直交方向一部に線状痕あり、研磨不明	85
第290図23	SD13	SD-13	No.29	頁岩	古期	4/5	B1	3.8	3.0	1.1	(16.4)	被熱?剥離面風化、溝作出が新	70
第290図24	I015	I0-J5-2	No.68	輝石安山岩		完形	B1	3.9	2.9	1.2	15.3	切目以外加工無し	101
第290図25	I419	I4-J9-1	No.115	砂質頁岩	古期	一部欠け	B1	4.1	2.9	1.2	(22.2)	被熱、表裏側面端部研磨	171
第290図26	I415	I4-J5-1	No.57	頁岩	古期	1/2	B1	3.7	2.6	(5.0)	(7.4)	A1に近い、研磨明瞭、裏剥離	158
第290図27	I113	I1-J3-6	No.8	頁岩	古期	完形	B1	4.0	3.2	1.0	19.2	端軸一箇所に切目、表裏敲打+研磨入念	119
第290図28	I4J0	I4-K0-13	No.191	輝石安山岩	第四紀	2/3	B1	5.3	(3.5)	1.2	(29.7)	被熱、面中央~縁辺磨痕、平滑	195
第290図29	I4J0	I4-K0-9	No.275	砂岩	古期	完形	B1	5.0	3.7	1.0	25.3	被熱、表裏面中央研磨	190
第290図30	I517	SD-04 I5-J7	No.8	ホルンフェルス		完形	B1	5.5	4.0	1.1	36.9	溝浅め、表裏敲打+研磨	52
第290図31	I416	I4-J6-4-16区		頁岩	古期	完形	B1	4.7	3.9	1.2	32.1	被熱、表裏側面研磨少	166
第290図32	7914	A9-J5-3	No.28	輝石安山岩		ほぼ完形	B1	5.1	4.0	1.6	(51.3)	被熱、A1にも近い、研磨不明	86
第290図33	I217	I2-J7 攪乱-6				完形	B1	5.3	2.9	1.3	(28.5)	被熱、若干有溝途切れ~互い違い状、表裏研磨	406
第290図34	I215	I2-J5-Sベ-1	No.44	頁岩	古期	完形	B1	5.2	2.7	1.3	(22.7)	表裏敲打+研磨	133
第290図35	I016	I0-J6-2	No.45	頁岩	古期	4/5	B1	(5.8)	(3.0)	1.3	(31.4)	被熱、側縁剥離は製作時?表裏敲打痕少	107
第290図36	I016	SD-12-3区 I0-		無斑晶質安山岩		完形	B1	5.6	2.8	1.3	35.4	鋭角で深い切目、表裏若干研磨	65
第290図37	I217	I2-J7 攪乱-2				2/5	B1	(4.0)	(2.9)	(0.65)	(11.5)	A1に近いが溝互い違い状、敲打+研磨痕あり	407
第290図38	7917	A9-J7-2	No.23	ホルンフェルス		ほぼ完形	B1	5.6	3.8	1.4	(42.2)	剥離加工一切目・有溝作出、表一部敲打+線状痕	92
第290図39	I216	I2-J6-1	No.124	頁岩	古期	9/10	B1	4.6	4.4	1.7	(50.6)	被熱黒変、表裏側面敲打+入念な研磨、A1に近い	136
第290図40	I014	I0-J4 攪乱	No.3	無斑晶質安山岩		完形	B1	5.0	4.3	1.7	53.9	全体若干の研磨	48
第290図41	表採	SEC 表採2		董青石ホルンフェルス		9/10	B1	5.8	4.2	1.2	(46.5)	表裏面敲打、側面敲打+研磨一部平滑	83
第290図42	I015	I0-J5-1	No.22	ホルンフェルス		2/3	B1	4.8	(3.2)	(1.2)	(21.7)	有溝繋がり?側面一部ミガキ	99
第291図1	I417	I4-J7 表採		頁岩	古期	完形	B1	5.3	4.4	1.1	45.2	表裏敲打+少研磨若干、表面上位剥離は使用痕か	150
第291図2	I315	I3-J5-1	No.1	ホルンフェルス		完形	B1	6.0	4.4	1.6	66.1	溝筋や延長上で線状痕、敲打+研磨で面平滑ツルツル	141
第291図3	I017	I0-J7-2	No.23	輝石安山岩	第四紀	完形	B1	5.1	4.3	2.1	67.3	表裏敲打+研磨	115
第291図4	SD13	SD-13-1		ホルンフェルス		ほぼ完形	B1	5.9	4.2	1.0	(39.6)	表面中央ミガキ、裏風化面で凹凸無し	72
第291図5	I4J1	I4-K1-17	No.85	輝石安山岩	第四紀	完形	B1	6.9	3.8	1.3	54.5	溝・切目細く浅い、面平坦敲打+研	216
第291図6	I4J1	I4-K1-13	No.307	石英含有輝石安山	第四紀	完形	B1	5.6	3.9	1.2	40.2	切目、浅い溝状、若干敲打+研磨	213
第291図7	I317	I3-J7-1	No.53	ホルンフェルス		完形	B2	5.9	3.0	0.8	(29.0)	短軸片側のみに有溝+敲打+研磨	152
第291図8	I017	I0-J7-1	No.64	頁岩	古期	完形	B1	6.8	4.5	1.2	57.2	表裏敲打痕多~一部研磨~有溝作出	112
第291図9	SD16	SD-16	No.41	頁岩	古期	1/2	B1	(5.0)	(3.5)	(0.6)	(18.2)	被熱、切り込み深め、表敲打+研	74
第291図10	I016	I0-J6-4	No.13	ホルンフェルス		完形	B1	6.5	4.6	1.5	64.6	溝周囲線状痕多、全体研磨少	110
第291図11	I4J1	I4-K1-18	No.283	輝石安山岩	第四紀	完形	B1	6.8	5.7	1.3	81.5	被熱、C1にも近いが溝あり、表裏敲打で平坦	221
第291図12	I4J0	I4-K0-16	No.164	ホルンフェルス		完形	B1	6.1	5.4	1.5	75.0	溝互い違い状、深め、表裏研磨	204
第291図13	I014	I0-J4-1		頁岩	古期	1/2	B1	(8.2)	(4.6)	(1.0)	(40.4)	被熱著しい、右側縁連続剥離、Scに転用?	94
第291図14	7915	A9-J5-N-1	No.3	輝石安山岩		ほぼ完形	B1~A1	6.6	4.2	1.4	(65.6)	上端及び近辺敲打痕顕著、表裏若干研磨	89
第291図15	I4J0	I4-K0-10	No.208	輝石安山岩	第四紀	完形	B1	6.3	5.2	1.8	90.7	表裏面中央研磨	191
第291図16	I4J1	I4-K1-19	No.90	輝石安山岩	第四紀	完形	B1	6.9	4.4	1.9	88.2	溝線深く細い、磨痕若干	222
第291図17	I4J2	I4-K2-13	No.2	輝石テイスサイト	第四紀	完形	B1	7.1	3.8	1.1	44.6	表裏研磨、光沢あり	246
第291図18	I4J0	I4-K0-14	No.49	粘板岩		1/2	B1	4.4	(1.6)	(1.0)	(9.7)	溝互い違い状、研磨若干	197
第291図19	西面	UTK 西面				完形	B1	4.2	2.0	0.7	12.0	磨製石斧転用?表裏研磨平滑、両端溝ふも平滑光沢あり	400
第291図20	I519	I5-J9-3	No.173	粘板岩		5/6	B2	5.5	2.7	0.6	(13.4)	石剣類転用、表裏研磨の線状痕顕著、石棒剥離面や側面・端部も良く磨いている。	269
第291図21	I4J0	I4-K0-6	No.153	頁岩	古期	完形	B1	5.3	3.0	1.3	(34.6)	A1に近い、不整形、研磨殆ど無し	182
第291図22	2区E	2区E T-1				完形	B1	6.1	2.6	0.7	17.0	割れてから使用された痕跡 石棒	396
第291図23	I6J0	SD-04 I6-K0-1		粘板岩		1/2	B1	(6.5)	(3.5)	(1.3)	(42.2)	裏面一部を除き割れ欠損面、表の剥離面は摩滅・擦れ、風化	58
第291図24	I618	I6-J8-4	No.1	頁岩	古期	ほぼ完形	(B1)?	4.6	3.4	1.4	(38.4)	切目一端のみだが筋線状痕付き。敲打+研磨	303
第291図25	I7J1	I7-K1-2	No.6	頁岩	古期	完形	B1	4.7	3.5	1.1	29.5	未成品?一部のみ切目、別端部若干敲打?	371
第291図26	I4J2	I4-K2-11 4区		ホルンフェルス		完形	(B1)	4.8	2.9	1.0	14.1	被熱、切目長軸の一つのみ、B1	244
第291図27	I4J2	I4-K2-10 7区		粘板岩		小片	B1	(2.6)	(2.9)	(0.4)	(4.4)	面研磨、裏剥離面	242
第291図28	I619	I6-J9-2	No.126	砂質頁岩	古期	完形	(B1)	5.5	4.5	1.0	40.4	未成品の可能性あり、明確な切目・溝は無い、一部擦れ、線状痕は擦れの痕跡か	312
第291図29	SD13	SD-13-2		ホルンフェルス		1/2	B1	(3.6)	3.2	1.0	(14.6)	研磨線状痕多条状、被熱著しい	71

第13表石錐観察計測表

挿入番号	新グリッド	出土位置・グリッド	取上No.	石材	石材備考	残存率	分類	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮No.
第291図30	47J0	47-K0-Wベ-1	No.3	ホルンフェルス		5/6、裏1/2剥離欠損	A1/B1	(7.1)	4.3	1.7	(79.7)	被熱、剥離欠損で不明、A1の可能性、剥離短軸側からの加撃で意図的か？黒変・タール付着	369
第291図31	79I7	79-J7-Eベ-1	No.16	真岩	古期	1/2	B1	(8.6)	(2.8)	(1.3)	(32.0)	被熱、表裏研磨、割れ面再生？	93
第292図1	44J2	44-K2-13 7区		輝石安山岩	第四紀	ほぼ完形	B1	(2.8)	2.6	1.6	(16.6)	片面切目間帯状擦れ、両端擦れによる凹み、一端は打ち欠き剥離・摩滅・擦れ	248
第292図2	44J2	44-K2-Nベ-2	No.173	輝石デイスait		完形	C1	3.7	3.0	1.8	32.5	長軸方向に敲打痕、帯状擦れ・変	252
第292図3	40I4	40-J4-Eベ-1	No.5	真岩	古期	1/2	C1	(3.9)	2.9	(0.9)	(13.9)	表研磨顕著、裏剥離面若干敲打、石刻類転用の可能性あり	97
第292図4	41I3	41-J3-Sベ-1	No.3	デイスait		完形	C1	4.5	3.8	1.4	35.5	付着物あり 使用痕あり	120
第292図5	44J0	44-K0-5	No.260	流紋岩質溶結凝灰	奥日光	5/6、下端	C1	(4.2)	3.9	1.7	(43.3)	被熱、上端打ち欠き剥離、表裏磨	180
第292図6	44I6	44-J6-4-17区		輝石安山岩	第四紀	完形	C1	3.9	3.2	1.2	23.2	両端打ち欠き剥離、端部摩滅	167
第292図7	44I9	44-J9-2	No.199	輝石安山岩	新第三紀	完形	C1	3.7	3.0	1.4	(20.1)	両端打ち欠き剥離、端部少し摩滅	173
第292図8	43I6	43-J6-Wベ-1区		流紋岩		完形	C1	3.7	3.8	0.9	(20.5)	両端打ち欠き剥離、表裏若干磨	149
第292図9	42I2	42-J2-Wベ-1	No.4	輝石安山岩		完形	C1	4.1	4.2	0.9	18.1	途切れあるが表裏に溝、敲打・剥離・若干磨痕、薄手	128
第292図10	44J0	44-K0-3	No.259	流紋岩		完形	C2	4.3	2.8	(1.2)	(17.5)	表裏長短軸打ち欠き剥離、剥離面摩滅	176
第292図11	SEC T-3	SEC T-3		輝石安山岩		完形	C1	4.3	3.2	1.3	34.0	上下端打ち欠き剥離、表裏若干敲打？	80
第292図12	40I6	40-J6-3	No.45	真岩	古期	完形	C1	4.4	3.7	1.2	28.7	切目部擦れ	109
第292図13	44J0	44-K0-6	No.297	無斑晶質安山岩		完形	C1	5.1	3.6	1.1	(31.4)	両端打ち欠き剥離	183
第292図14	44J1	44-K1-Nベ-3	No.119	輝石安山岩	新第三紀	完形	B1	5.4	4.2	1.5	(54.8)	両端打ち欠き+溝	228
第292図15	44J2	44-K2-6	No.329	角閃岩	高貴？	完形	B1	6.1	2.8	1.0	(26.2)	石刻類転用の可能性あり、打ち欠き剥離→溝状擦れ、C1Iにも近い	236
第292図16	44J2	44-K2-2	No.18	輝石安山岩	第四紀	4/5	C1	4.1	4.3	1.5	(34.8)	擦れの溝状部あり	230
第292図17	44J0	44-K0-12	No.108	砂岩	古期	完形	C1	5.1	4.9	1.8	(55.2)	被熱、表裏敲打+研磨少	192
第292図18	44J0	44-K0-9	No.258	輝石デイスait	新第三紀	完形	C1	5.0	4.6	1.8	(57.4)	両面打ち欠き剥離、中央帯状部分研磨	189
第292図19	44J1	44-K1-22	No.11	真岩	古期	4/5	B1	6.4	4.9	1.6	(73.6)	打ち欠き剥離+溝、端部摩滅	225
第292図20	42I7	42-J7 攪乱-5				完形	C1	6.7	4.6	1.4	69.5	表裏磨痕～研磨痕、剥離面摩滅	409
第292図21	42I7	42-J7 攪乱-4				完形	C1	6.4	4.1	1.9	(65.1)	右片一部は欠損剥離。側面など一部磨痕	410
第292図22	45J0	SD-04 45-K0		輝石安山岩		4/5	C1	(7.3)	4.5	1.9	(83.7)	剥離面敲打擦れ、右辺の剥離も目的的か	57
第292図23	44J0	44-K0-12	No.116	粘板岩		4/5	C1	5.0	3.6	1.4	(32.2)	下端打ち欠き剥離、上端不明、研磨不明	193
第292図24	46J0	SD-04 46-K0-2		真岩	古期	完形	B1?	7.6	4.6	1.3	74.8	切り込み溝内擦れ、表裏磨痕	59
第292図25	45I9	45-J9 表探		ホルンフェルス		完形	B1	4.9	3.1	1.0	21.5	表裏敲打+研磨少、長軸切目の延長で溝に近い線状痕あり、両端剥離・擦れ・摩滅	264
第292図26	表探	UTK表探				完形		5.0	4.0	1.0	33.0	長軸に磨面あり工具利用か	
第292図27	45I6	SD-16 45-J6		輝石安山岩		4/5	C2	(7.3)	(5.5)	1.8	(96.9)	切目の打ち欠き剥離→表裏一部敲打→一部研磨	75
	SI03	SI-03-6	No.136	真岩		1/3	B1	(4.5)	(3.1)	(0.8)	(17.4)	表面中央及び上端敲打痕	25
	44J2	44-K2-15	No.20			完形	A1	5.4	3.0	1.5	36.8	線状痕多	249
	44J2	44-K2-15	No.21			完形	A1	5.2	3.6	1.8	45.3	被熱黒変	250
	44J2	44-K2-20	No.10.14			ほぼ完形	A1	6.0	3.6	1.2	(39.7)	敲打+研磨	251
	44J2	44-K2-Nベ-5	No.474			1/2	A1	(7.0)	(3.7)	(1.2)	(43.8)	被熱少し研磨	253
	44J3	44-K3-1	No.92			完形	C1	4.0	3.6	1.4	29.3	両端打ち欠き剥離	254
	44J3	44-K3-8	No.11			完形	C1	2.8	2.4	0.4	4.2	表裏研磨	255
	45I3	45-J3-Sベ	No.1			完形	A1	6.6	5.2	1.9	90.6	研磨少	259
	45I5	45-J5-1	No.45			完形	A1	4.4	3.6	1.6	33.6	一方に溝と別の切目あり	260
	45I7	45-J7-E1	No.11			完形	A1/B1	4.9	3.5	1.6	41.6	若干敲打	261
	45I9	45-J9 表探				完形	A1	5.1	3.0	1.0	22.0	研磨線状痕多	263
	45I9	45-J9-2	No.142			ほぼ完形	A1	4.5	4.0	1.7	(44.0)	被熱	265
	45I9	45-J9-2 17区				完形	C1	3.0	2.9	0.9	11.5	両端打ち欠き剥離	267
	45I9	45-J9-2 25区				完形	B1-C1	2.4	2.3	1.0	7.7	切目に近い狭い範囲の打ち欠き	268
	45I9	45-J9-3	No.265	真岩		3/4	A1	(4.6)	3.2	1.6	(40.2)	石刻類転用の可能性あり、やや形不整で表裏非対称、表裏敲打+研磨、上端欠損？下端は摩滅？イ	271
	45I9	45-J9-3	No.323			2/5	B1	(5.6)	(3.6)	(0.6)	(15.6)	研磨少	272
	45I9	45-J9-Wベ	No.5			完形	A1	5.7	4.1	1.0	37.9	線状痕多	274
	45J0	45-K0 表探-1				1/2	B1	(3.8)	(2.5)	(0.7)	(7.4)	裏面欠損剥離	275
	45J0	45-K0 表探-2				1/2	B1	(2.8)	2.7	1.2	(15.9)	表裏研磨	276
	45J0	45-K0-3	No.116			9/10	B1	3.9	2.9	1.1	(18.6)	線状痕多、研磨明瞭	280
	45J0	45-K0-3 13区				1/2	A1	(6.2)	(4.3)	(0.5)	(30.4)	被熱、裏面欠損剥離	281
	45J1	45-K1-1 5区				1/2	B1	(5.9)	(3.3)	(1.2)	(24.1)	研磨少	282
	45J1	45-K1-3	No.118			2/3	B1	(6.0)	(3.6)	1.1	(30.7)	一端は剥離～切目作出	284
	45J2	45-K2 表探				完形	C1	3.9	3.5	1.1	17.2	被熱	287
	45J2	45-K2-0	No.56			ほぼ完形	A1/B1	5.6	4.2	1.3	(43.4)	面少し敲打	288
	45J2	45-K2-3	No.83			完形	A1	5.0	3.6	0.8	23.3	研磨明瞭	289
	45J2	45-K2-3	No.86			完形	B1	4.7	3.7	1.1	21.9	被熱、研磨少	290
	45J2	45-K2-3	No.99			3/4、一部	A1	4.7	4.1	(1.0)	(23.1)	面研磨	291
	46I7	46-J7-4	No.46			ほぼ完形	A1	4.8	2.9	0.7	(16.6)	敲打+研磨	293
	46I7	46-J7-6	No.42			2/3	B1	4.0	(2.5)	0.8	(14.2)	研磨少	294
	46I7	46-J7-6	No.89			2/3	A1/B1	(5.0)	4.1	1.6	(51.7)	周縁部一部に敲打+研磨	295
	46I7	46-J7-7	No.93			完形	A1	4.5	2.8	1.1	19.9	研磨少	296
	46I8	46-J8-0				ほぼ完形	C1	4.0	3.2	1.3	(20.3)	被熱、短軸も擦れ、敲打少	297
	46I8	46-J8-0-3				4/5	B1	(4.6)	(2.4)	(1.0)	(17.8)	研磨少	298
	46I8	46-J8-0				ほぼ完形	A2	5.7	3.4	1.4	(38.6)	切目、端近くは深い、裏一部剥離	299
	46I8	46-J8-1	No.29			完形	B1	4.4	3.7	1.3	37.0	浅めの溝	300
	46I8	46-J8-1	No.33			完形	B1	5.4	4.4	1.5	58.9	切目典型例	301
	46I8	46-J8-1 11区				ほぼ完形	C2	3.2	(2.8)	0.9	(10.7)	短軸は浅い打ち欠き剥離	302
	46I9	46-J9-1	No.77			1/2	A1	(4.3)	3.7	1.1	(22.3)	線状痕・研磨明瞭	306
	46I9	46-J9-1	No.95			9/10	A1	7.3	4.1	1.7	(76.1)	切目状、面中央は浅い、研磨あり	308
	46I9	46-J9-1				2/3	A1	(5.1)	3.7	1.5	(31.9)	被熱、溝深く明瞭、沈線状	309
	46I9	46-J9-2	No.81				C1	4.6	3.3	(0.9)	(19.6)	打ち欠き広い剥離	311

第13表石錐観察計測表

挿図番号	新グリッド	出土位置・グリッド	取上No.	石材	石材備考	残存率	分類	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮No.	
	16I9	16-J9-3 8区					C1	(3.7)	3.4	(1.4)	(15.4)	被熱、打ち欠き深め	313	
	16I9	16-J9-3 13区				ほぼ完形	C2	4.1	3.8	1.2	(20.6)	打ち欠き剥離4方向とも広め	314	
	16I9	16-J9-8	No.21			ほぼ完形	A1	5.7	3.4	1.1	(29.5)	研磨明瞭	315	
	16I9	16-J9-3-Sベ-3	No.174			ほぼ完形	B1	6.3	4.1	1.1	(51.8)	研磨少	316	
	16J0	16-K0-0				完形	C1	4.2	3.7	0.8	18.8	被熱、面中央擦れ、線状痕あり	318	
	16J0	16-K0-1	No.18			1/3	A1?	5.0	3.9	(0.6)	(16.5)	裏剥離欠損、敲打痕あり	319	
	16J0	16-K0-1	No.48			ほぼ完形	A1	5.4	4.0	1.7	(47.7)	研磨明瞭、溝深い	321	
	16J0	16-K0-2	No.6			ほぼ完形	A1	5.9	3.3	1.1	(30.0)	敲打+研磨	322	
	16J0	16-K0-2 24区				ほぼ完形	C1	7.1	5.2	1.1	(44.9)	面に敲打痕	325	
	16J0	16-K0-3	No.137			完形	B1	3.8	2.7	0.9	13.1	敲打少	326	
	16J0	16-K0-3	No.145			完形	B1	4.7	3.1	1.0	25.0	長軸一端のみ切目	327	
	16J0	16-K0-3	No.202			3/4	A1					長軸やや浅い線を覆うように短軸側に線状の黒色付着物、割れ面にも付着、二〜三重に見えるところ	328	
	16J0	16-K0-4 14区				ほぼ完形	C2	4.0	2.9	0.8	(14.5)	端部擦れ=使用痕か	330	
	16J0	16-K0-4	No.208			4/5	A1	(6.2)	4.9	1.8	(82.6)	周縁部一部及び面中央に敲打痕	331	
	16J0	16-K0-5	No.70			完形	C1	(5.3)	4.3	2.0	(57.6)	面少し擦れ	332	
	16J0	16-K0-5	No.239			ほぼ完形	A1	6.5	3.6	2.1	(75.1)	溝深く広め、表裏面平滑に研磨	334	
	16J0	16-K0-6	No.7			ほぼ完形	A1	5.1	3.7	1.2	33.7	被熱、線状痕、面研磨少	335	
	16J0	16-K0-6	No.30			完形	B1	3.8	2.3	0.9	11.9	溝浅い	336	
	16J0	16-K0-7	No.74			完形	B1	5.4	3.7	1.4	42.1	研磨少	337	
	16J0	16-K0 最下層				完形	C2	5.2	3.9	1.7	49.8	短軸は浅い剥離、磨痕もあり	339	
	16J0	16-K0-Nベ-1	No.8			完形	C1	3.2	2.8	1.3	16.3	使用痕の擦れ、線状痕あり	340	
	16J0	16-K0-Eベ-1	No.19			完形	B1	4.1	2.6	0.8	17.9	研磨少	341	
	16J0	16-K0-Eベ-2	No.45			完形	B1	5.1	3.3	1.6	(39.0)	切目深い、敲打+研磨	342	
	16J0	16-K0-Sベ-3	No.161			ほぼ完形	B1	5.3	2.7	1.1	(28.1)	溝互い違い状、少し敲打	343	
	16J0	16-K0-Sベ-3	No.176			ほぼ完形	A1	5.7	4.3	1.7	(67.8)	被熱、面平滑、研磨?	344	
	16J1	16-K1-3	No.37			ほぼ完形	A1	7.3	4.6	1.5	(68.7)	面中央敲打少	345	
	16J1	16-K1-3	No.48			完形	B1	5.0	3.2	1.0	27.3	敲打+研磨少	346	
	16J1	16-K1-3	No.71			完形	B1	(5.3)	3.9	1.4	(32.6)	一端は切目、剥離部は若干の打ち欠き、摩滅	347	
	16J1	16-K1-4	No.32			ほぼ完形	A1	5.9	5.8	1.7	(80.2)	敲打+研磨少	348	
	16J1	16-K1-4	No.77			ほぼ完形	C1					B1に近い、溝わずか、打ち欠き端部摩滅	349	
	16J1	16-K1-4	No.148			完形	A1	4.0	3.5	1.2	22.8	面磨痕?	350	
	16J1	16-K1-5	No.82			完形	A1	4.4	3.6	0.8	23.5	研磨、線状痕あり	351	
	16J1	16-K1-5	No.89			ほぼ完形	A1	5.7	4.0	1.4	(43.9)	被熱、一部研磨	352	
	16J1	16-K1-5	No.127			完形	A1	6.8	5.9	2.0	119.8	磨痕あり	353	
	16J1	16-K1-7	No.35			完形	C1	7.6	5.4	3.0	181.6	両端打ち欠き、敲き石か	355	
	16J1	16-K1-9	No.41			完形	A1/B1	4.8	3.9	1.1	33.2	表面溝途切れる、若干面敲打	358	
	16J1	16-K1-Nベ-5	No.136			完形	B1	4.5	2.7	0.8	16.4	研磨少	360	
	16J2	16-K2-5	No.24			4/5	A1	(5.6)	3.4	1.6	(45.1)	被熱、面研磨、形少し整えている	362	
	16J2	16-K2-Nベ-4	No.81			完形	A1	5.2	3.6	1.3	36.8	溝近辺線状痕多、研磨目立つ	363	
	16J5	16-K5 表採				2/3	A1	4.2	4.3	(0.9)	(30.5)	面研磨、表裏剥離欠損	364	
	17J0	17-K0-0-2				完形	B1	4.8	3.8	1.6	38.8	被熱、表裏研磨	366	
	17J0	17-K0-0-1				1/2	B1	(2.4)	3.1	0.6	(7.5)	表裏平滑研磨、側面も整形研磨	367	
	17J1	17-K1-0				2/3	B1	(4.6)	4.8	0.8	(25.6)	面若干敲打+研磨	370	
	17J1	17-K1-2	No.8			完形	B1					研磨明瞭、磁石の可能性あり、切目一端のみ、別端部も剥離?擦れ、磨滅	372	
	17J9	17-K9 表採				完形	A1	5.7	3.2	1.1	29.4	長軸線一短軸線、溝筋線状痕目立つ、全体若干研磨	373	
	18J8	18-K8	No.4			完形	B2					長軸は切目、短軸側は浅く使用痕=擦れ状の線	374	
	2区	UTK 2区				完形	A1	9.0	5.2	2.3	140.5	被熱、表裏敲打+研磨、溝浅め	389	
	15J1	15-K1-5 攪乱-				完形	B1	5.6	3.5	0.9	29.0	周縁敲打痕+研磨	413	
	16I9	16-J9-1	No.32			ほぼ完形		3.9	3.2	(1.1)	(17.0)	実物不明	未74	
	15I8	SD-04 上層 イ				完形		4.2	3.2	1.3	23.0	実物不明	未14	
	10I5	10-J5-Wベ	No.4			完形		5.1	3.3	1.3	29.7	端部擦れ・摩滅、104?	未22	
	16I9	16-J9-1	No.46			完形		4.5	3.1	1.2	24.9	実物不明	未76	
	14J2	SD06 14K2-7	10				A1							
							C1						上下及び一側縁打ち欠き剥離	76
							B1							77

第14表打製石斧観察計測表

挿入番号	新ケッ ト	出土遺構・グリッド	取上 No.	石材	石材備考	残存 率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮 No.
第293図1	I6J0	SD-04 I6-K0		頁岩	古期	5/6	7.7	6	2.1	92	刃部欠損、一面礫面	18
第293図2	SI08	SI-08-1	42	頁岩	古期	5/6	9.8	6.8	1.4	96	強い括れ部作出→敲打痕	11
第293図3	I4J0	I4-K0-12	105	輝石安山岩	第四紀、緻密質	3/5-4/5	10.3	7.6	1.5	103	刃部欠損、表面上一部礫面、表風化礫面、括れ部敲打痕	83
第293図4	I4I8	I4-J8最下層		重晶石ホルンフェルス		完存	12.1	8.1	2.2	255	表礫面裏一部も礫面、刃部少し擦れ・摩滅、上端敲打、薄手	82
第293図5	I0I5	I0-J5-3	97	ホルンフェル		完存	10.8	7.2	3.2	304	表礫面、直刃状、刃部摩滅	37
第293図6	SI02	SI-02 床下-2	8	ホルンフェル		4/5	11.1	10.4	2.8	268.42	刃部主に両面加工、鋭角、括れ部敲打少	未3
第293図7	SD13	SD-13	11	ホルンフェル		完存	10.6	8	1.9	148	表礫面少し残り、刃部加工、括れ部敲打痕若干	26
第293図8	I4I9	I4-J9-5	40	輝石安山岩	第四紀、緻密質	完存	12.7	8.2	1.7	196	表礫面、刃部若干擦れ、頂部も少し摩滅、上下逆?	65
第293図9	I4I7	I4-J7-5	4	頁岩	古期	完存	11.6	8.2	1.7	127	下方膨らむ形態、刃部少し摩滅、括れ部片側敲打	58
第293図10	I5I7	I5-J7 カクラン2		輝石安山岩	第四紀、緻密質	9/10	12	7.8	2	210	刃部鋭角に加工、若干摩滅・擦れ、括れ部敲打片側著しい	217
第293図11	表探	表探		ホルンフェルス		完存	13.3	10.2	2.9	462	表風化礫面、裏風化剥離面、刃部両面二次加工、括れ部敲打やや多	198
第294図1	I5I7	I5-J7-1-Eベ-1	12	頁岩	古期	完存	12.5	7.8	2.9	297	片面礫面、刃部片面～両面二次加工、括れ部敲打	121
第294図2	I5I4	I5-J4-1	7	ホルンフェル		完存	12.9	8.2	3	348	表礫面、刃部両刃加工、括れ部敲打、片側入念	118
第294図3	I0I7	I0-J7-6	167	重晶石ホルンフェルス		完存	10.3	6.9	1.6	115	表礫面、裏風化剥離面、刃部摩滅使用痕か、括れ部敲打	45
第294図4	I4I8	I4-J8-1		ホルンフェル		完存	10.9	6.4	2.9	225	表礫面、円刃状で鋭角、括れ部敲打痕少	60
第294図5	I4J0	I4-K0-6	223	頁岩	古期	完存	11.6	7.5	2.6	222	表礫面一部、刃部鋭角、一部擦れ、未製品の可能性あり	71
第294図6	I4J1	I4-K1-17	24	頁岩	古期	9/10	10.9	6.6	2.4	196	刃部擦れ・摩滅・微小剥離、括れ部片側敲打若干、表礫面	97
第294図7	I4J1	I4-K1-8	101	ホルンフェル		完存	9.3	6.1	2.2	123	片面礫面、刃部鋭角、微小剥離あり、括れ部敲打	93
第294図8	I6J0	I6-K0-Sベ-3	170	ホルンフェル		4/5	14	9	3	452	表風化礫面、刃部欠損、括れ部敲打片側入念片側	154
第294図9	I6I7	I6-J7-Sベ-2	45	粘板岩		完存	13.2	7.8	3.8	391	片面風化礫面、刃部片面加工、括れ部若干敲打	135
第294図10	I6J0	I6-K0-3	341	ホルンフェルス		完存	8.5	5.4	2.4	138	片面風化剥離面、刃部加工あまり無い、括れ部敲打片側やや入念	148
第295図1	I5I6	I5-J6-1	26	ホルンフェルス		完存	13.5	9.2	2.8	401	刃部V字状で鋭角、丁寧な両面二次加工、括れ部敲打片側少	119
第295図2	I4J1	I4-K1-17	140	ホルンフェルス		4/5-5/6	16.4	9.9	3	420	上端及び刃部欠損、括れ部敲打片側入念片側やや少	98
第295図3	I4J0	I4-K0-12	75	輝石安山岩	新第三紀	完存	11.9	8.5	4.3	412	裏面全体及び裏一部礫面、片刃、括れ部敲打入念、石材は磨製石斧的	95
第295図4	I4J0	I4-K0-10	274	ホルンフェル		9/10	8.7	7	2.1	131	刃部若干擦れ、括れ部敲打痕片側若干	78
第295図5	I7J0	I7-K0-1	71	ホルンフェルス		1/2	11.9	10.5	3.2	512	片面礫面、刃部両面加工、括れ部敲打少、この部分で折れ欠損	182
第295図6	I7I2	I7-J2-1	7	頁岩	古期	完存	9.7	6.4	2.8	208	表一部礫面、刃部一部若干微小剥離・擦れ、括れ部敲打入念	177
第295図7	?	SI-16 pit1		ホルンフェルス		完存	13.9	9.6	4	582	一面礫面、刃部敲打摩滅+擦れ、敲き石に近い使用か。括れ部敲打	13
第295図8	I6J1	I6-K1-10	47	輝石安山岩	緻密	完存?	9.3	7.1	1.7	123	表一部礫面、刃部やや細かい両面加工、一部片面、括れ部敲打若干	167
第295図9	I6J1	I6-K1-0		ホルンフェルス		完存	9	6.6	2.2	159	片面礫面、刃部両面二次加工、上端やや擦れ、括れ部敲打片側多	158
第295図10	I2I7	I2-J7 カクラン		粘板岩		完存	13.5	8.9	2.7	341	片面礫面、刃部微小剥離痕、上端敲打痕、括れ部片側敲打痕	203
第296図1	I6J2	I6-K2-10	2	ホルンフェルス		完存	14.2	11.1	4.4	599	裏面一部礫面、刃部細かい二次加工片面、括れ部敲打片側は入念	176
第296図2	I4I8	I4-J8 カクラン5		溶結凝灰岩	奥日光	9/10	10.4	6.6	1.9	123	片面礫面、刃部両面二次加工少、括れ部敲打少	211
第296図3	2区E	2区E T-2		ホルンフェル		完存	16.8	10.7	3.1	623	片面礫面、刃部大きめの剥離加工片面、括れ部敲	201
第296図4	I6J1	I6-K1-9	32	ホルンフェルス		4/5	14.8	12.5	4.4	1083	表礫面、裏剥離面、刃部やや粗い両面加工、若干擦れ・摩滅、括れ部敲打多	165
第296図5	I6J0	I6-K0-4	####	緻密質安山岩		完存	13.9	9.2	3.4	514	2片括れ部で接合、刃部両面加工、表一部礫面、括れ部敲打若干	149
第296図6	I7J0	I7-K0-Wベ-2	96	ホルンフェルス		9/10	13.7	7.9	2.7	326	表風化礫面、刃部二次加工片面、非対称、括れ部敲打少	187
第296図7	I4I8	I4-J8 カクラン5区		輝石安山岩	第四紀、緻密質	完存	10.8	6.3	1.7	148	表礫面、細長い形態、刃部二次加工一部両面、括れ部敲打少	209
第296図8	I4J1	I4-K1-19	67	頁岩	古期	完存	16.1	10.4	4	737	刃部若干微小剥離痕、上端礫面、括れ部敲打痕少	103
第297図1	SI05	SI-05-5	267	輝石安山岩	新第三紀	完存	13.3	7.6	3.3	418	表裏礫面、表裏面若干敲打痕、括れ部剥離→敲打	8
第297図2	I4J1	I4-K1-19	27	ホルンフェル		ほぼ	13.3	7.1	2.6	273	刃部若干擦れ・摩滅、括れ部敲打痕片側入念	102
第297図3	I5I3	I5-J3-3	1	頁岩	古期	完存	11.9	6.4	2.3	223	表礫面、上端微小剥離痕、下端欠損?括れ部敲打少、上下逆?	116
第297図4	I4J1	I4-K1-17	310	ドレライト		9/10	14.1	9.7	2.9	588	刃部欠損、括れ部敲打入念	100
第297図5	I4J0	I4-K0-13	24	輝石安山岩	第四紀、緻密質	5/6	10.7	8.1	1.9	206	刃部鋭角、括れ部敲打若干、表礫面	84
第297図6	I4I9	I4-J9-Sベ-1	34	溶結凝灰岩	奥日光	完存	21.5	11.3	5.5	1845	表裏礫面、括れ部敲打痕入念、刃部一部敲打～擦れ状摩滅	70
第297図7	I6I9	I6-J9-5		玄武岩	新第三紀	完存	13.7	9.4	4.2	753	表裏礫面、下端やや鈍角、粗い二次加工、括れ部敲打入念、直線的な左側縁刃部近くまで敲打、磨製石斧未製品の可能性あり	未81
第297図8	I5I7	I5-J7 カクラン2		輝石安山岩	第四紀、緻密質	完存	9.9	6.7	2.2	152	片面礫面、上下端部いずれも細かい二次加工、刃部不明瞭だが片側微小剥離痕・擦れ、括れ部敲打入念	214
第298図1	I0I5	I0-J5-Sベ	12	ホルンフェル		完存	11.1	11.1	2.1	293	上位に狭く礫面、裏節理風化面、刃部粗い加工	40
第298図2	I7J0	I7-K0-2	78	ホルンフェルス		完存	10.3	6.8	1.7	159	表礫面、刃部鋭角、二次加工両面一部、微小剥離・擦れ、括れ部敲打若干	184
第298図3	I6I7	I6-J7-3	36	火山礫凝灰岩	奥日光、溶結	完存	17.4	11.5	4.3	1030	表及び裏一部礫面、刃部丁寧な両面加工、括れ部敲打入念	131
第298図4	I4J0	I4-K0-11	124	無斑晶質安山岩		4/5	13.3	9.1	2.8	403	一面礫面、刃部欠損またはイキ、強い括れ部作出、敲打痕加え、磨製石斧未製品の可能性も残る	81
第298図5	I7J0	I7-K0-Wベ-2	66	ホルンフェルス		完存	11.9	7.7	2.7	240	片面礫面、刃部大きな剥離加工両面、他の縁辺も二次加工、表一部礫面残り、括れ部敲打少	185
第298図6	I5I6	I5-J6-1	36	輝石安山岩	新第三紀	完存	12.8	8.3	2.6	352	表礫面、刃部やや鋭角、若干摩滅、括れ部敲打片側著しい	120
第298図7	I4J0	I4-K0-14	439	ホルンフェルス		完存	12.6	8.7	3.8	479	刃部先端は欠損剥離?側縁にかけて広く擦れ、上端擦れ摩滅顕著、括れ部敲打	86
第298図8	I5J0	I5-K0-3	42	輝石安山岩	緻密	完存	11.1	7.7	2	180	表礫面、刃部ほぼ片面加工、擦れ・摩滅あり、括れ部敲打片側はやや多	127
第298図9	I4J0	I4-K0-16	50	粘板岩		完存	8.3	5.8	1.9	71	表礫面、鋭角な刃部作出、括れ部敲打顕著	88
第298図10	SEC T6	SEC T-6		砂岩	古期	完存	8.3	8.5	2	135	刃部擦れ・摩滅	29

第14表打製石斧観察計測表

挿入番号	新ケリット	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮No.
第299図1	表探	2区北表探		ホルンフェルス		完存					片面風化礫面、刃部やや摩滅・片面二次加工、括れ部敲打少	199
第299図2	1517	15-J7 カクラン2		輝石安山岩	第四紀	完存	12.7	10.4	3.2	391	片面礫面、刃部以外の縁辺も二次加工無し、厚み残る、刃部付近若干摩滅、括れ部敲打若干	216
第299図3	1216	12-J6 pit-17		ホルンフェルス		完存		9	6.8	2.8	表面少し残り、刃部若干摩滅、擦れ、括れ部敲打わず	51
第299図4	15J1	15-K1-3	164	ホルンフェルス		完存	13.6		9	2.5	刃部二次加工あまり無い、表上位一部礫面残り、括れ部若干敲打	128
第299図5	1617	16-J7-6	64	ホルンフェルス		完存	11.8	8.4	2.8	237	片面礫面、刃部粗い両面加工直刃状、括れ部敲打片側やや多	133
第299図6	1617	16-J7-3	68	輝石安山岩	新第三紀	完存	14.9	11.2	3.1	505	片面礫面、二次加工あまり無い、刃部鋭角、括れ部敲打少	132
第299図7	14J1	14-K1-12	141	輝石安山岩	第四紀、緻密質	完存	12.6	8.1	2.1	235	表面、一部の刃部状、欠損か、括れ部敲打入念、未製品で良いか	50
第299図8	SEC T7	SEC T-7		ホルンフェルス		1/3	14.7	11.3	4.5	656	扁平礫素材、一面風化礫面？下方折れ、バチ形に	30
第300図1	16J1	16-K1-2	20	ホルンフェルス		完存	12	10.8	2.3	335	表面、刃部粗いほぼ片面の加工、若干微小剥離痕、括れ部敲打やや少	159
第300図2	14J0	14-K0-7	146	頁岩	古期	完存	17.1	10.7	4.7	690	表面風化剥離面、刃部少し欠損は使用時欠損剥離か、括れ部敲打痕若干	72
第300図3	1518	15-J8 カクラン1		粘板岩		完存	8.7	5.8	1.5	69	表面、裏一部礫面、刃部やや鈍角、粗い両面加工、括れ部敲打片側は広く顕著、別側は狭くわず	221
第300図4	14J0	14-K0-8	139	ホルンフェルス		完存	11.1	5.9	2.8	196	表面、裏一部礫面、刃部やや鈍角、粗い両面加工、括れ部敲打片側は広く顕著、別側は狭くわず	73
第300図5	14J2	14-K2-6	316	輝石安山岩	緻密	5/6	19.7	12.2	3.5	950	表面、刃部若干擦れ・摩滅、括れ部敲打入念	112
第300図6	1819	18-J9-1	4	ホルンフェルス		完存	14	6.3	2.2	178	表面、面上少し敲打、刃部二次加工無い、若干摩	194
第300図7	1217	12-J7 カクラン		ホルンフェルス		完存	18.4	10	4.4	812	表面、刃部片二次加工・微小剥離少、括れ部敲打顕著	204
第301図1	16J1	16-K1-7	68	ホルンフェルス		完存	13.7	6.2	2.3	247	片面風化礫面、刃部V字尖刃状、両面加工、括れ部中心に側縁広い範囲敲打痕入念	164
第301図2	1014	10-J4-Sベ-1	34	輝石安山岩	新第三紀	完存	11.5	5.6	2	124	表面、細長い縦長割片素材、刃部若干欠損？括れ部敲打片側は顕著	35
第301図3	17J0	17-K0-Wベ-4	155	ホルンフェルス		完存	13.6	5.8	1.6	158	スクレイパー的、一面礫面、上端も細く鋭角、刃部先端～側縁やや摩滅	190
第301図4	1513	15-J3-3	16	ホルンフェルス		完存	10.8	9.4	1.7	212	表面、刃部鋭角両面二次加工、括れ部敲打少	117
第301図5	16J0	16-K0-E-3	142	ドレライト		2/3	15.4	5.7	2.2	267	表面、裏一部礫面、V字状刃部ほぼ両面二次加工、擦れ・摩滅、括れ部敲打、製品または敲打・使用時折れ欠損	95
第301図6	14J0	14-K0-9	82	輝石安山岩	第四紀	完存	14.2	10.5	4.4	676	細長い形態、直刃に近いがやや鈍角、括れ部敲打やや少、表面	76
第301図7	1215	12-J5-2	14	ホルンフェルス		完存	18.1	8.4	4	612	細長い形態で刃部鋭角、上端の敲打顕著、括れ部敲打痕、表面	50
第301図8	16J0	16-K0-2	308	ホルンフェルス		9/10	15.9	8.6	3.9	521	表面、裏一部礫面、刃部鋭角、微小剥離・摩滅あり、括れ部敲打顕著	147
第301図9	1117	11-J7-3	70	輝石安山岩	緻密	完存	12.3	7.9	3.1	304	刃部若干擦れ・摩滅、括れ部側縁は敲打痕顕著、片側は若干、上端敲打	48
第302図1	1417	14-J7 最下層		ホルンフェルス		4/5	15.4	10.4	3.1	424	刃部欠損、括れ部敲打入念	59
第302図2	1619	16-J9-2	118	頁岩	古期	1/2	6.3	6.1	1.7	82	片面礫面、括れ部より下位欠損、括れ部敲打少	138
第302図3	14J0	14-K0-20	39	ホルンフェルス	礫質頁岩を源岩とする	5/6-7/8	12.3	8.2	3.1	353	刃部欠損、括れ部側縁～上位入念、上端も敲打	89
第302図4	14J2	14-K2-6	317	ホルンフェルス		4/5	12.8	7.5	2.5	242	表面、刃部一部欠損、残るところ少し摩滅・擦れ、括れ部敲打やや少	113
第302図5	14J2	14-K2-5	104	ホルンフェルス		完存	6.4	7.6	1.9	130	刃部鋭角、二次加工あまり無い、上端礫面、括れ部若干敲打、Seに近い	111
第302図6	1416	14-J6-1	92	ホルンフェルス		1/2	11.4	10.6	5.5	668	大きく厚手、裏裏それぞれ部分的に礫面残り、括れ部敲打痕、この部分で折れ欠損→未製品か？	57
第302図7	16J0	16-K0-9	30	輝石安山岩	第四紀	2/3-4/5	10.8	7.1	2	136	表面、上端または刃部若干の二次加工、括れ部敲打少、製品か未製品不明	94
第302図8	17J0	17-K0-1	45	ドレライト		完存	14.7	8.7	2.6	440	表面、裏一部礫面、刃部片二次加工、若干擦れ・摩滅、一部剥離は使用時欠損か、括れ部敲打入念	107
第302図9	1214	12-J4-1	20	溶結凝灰岩	奥日光	9/10	13.1	8.2	4.2	462	表面、側縁の敲打括れ部から下端刃部に連続的、刃部端の敲打・磨痕顕著、敲击石に転用か、打製石斧刃部は上位部分か	49
第303図1	1417	14-J7 カクラン1		ホルンフェルス		完存	13.9	9.8	3.1	440	片面礫面、刃部片二次加工、若干擦れ、括れ部敲打片側顕著	208
第303図2	1419	14-J9-4	83	ホルンフェルス		4/5	8.5	5.5	1.9	115	表面、裏一部礫面、刃部欠損、括れ部敲打痕やや少、製品か未製品不明	43
第303図3	SD09	SD-09	28	輝石安山岩	第四紀、緻密質	4/5	10	7	3	190	刃部欠損、使用時折れか、括れ部敲打痕	20
第303図4	SD09	SD-09 T-7		輝石安山岩	第四紀	5/6?	10.2	6.5	2.1	153	表面、裏一部礫面、刃部片二次加工若干、括れ部敲打少	143
第303図5	1617	16-J7-3	35	ホルンフェルス		4/5	9.2	6.8	2.9	155.37	刃部剥離加工わず、括れ部敲打痕	19
第303図6	14J2	14-K2-20	43	輝石安山岩	新第三紀	完存	13.3	8.4	2.2	264	表面、刃部若干の二次加工、括れ部敲打片側は顕著	130
第303図7	15J0	SD-04 15-K0		輝石安山岩	新第三紀	9/10	11.2	6.8	1.8	119	表面、刃部加工不明瞭、括れ部敲打少	114
第303図8	16J1	16-K1-4	34	輝石安山岩	第四紀	完存?	14.3	7.4	3.4	451	製品か、表面礫面、刃部V字状、摩滅・擦れ少、二次加工は無い、括れ部敲打入念	16
第304図1	1617	16-J7-3	21	ドレライト		完存	22.5	19.9	5.1	2197.81	特大の大きさ、表面礫面、刃部欠損？括れ部～やや下位以外加工殆ど無い、括れ部敲打入念、刃部近くや上端も若干の敲打痕	162
第304図2	1713	SD-09 17-J3	4	輝石安山岩	新第三紀	完存	16	7.3	2.9	267	細長い形態、刃部整っておらず二次加工わず、微小剥離痕？括れ部敲打少	71
第304図3	SEC T5	SEC T-5		ホルンフェルス		完存	14.9	8.9	4	588	表面礫面少し残り、敲打痕側面一部、磨製石斧未製品の可能性あり	21
第304図4	SI05	SI-05-9	117	ホルンフェルス		1/2	16.2	10.7	2.3	469	表面風化礫面、下端細かい加工無し、側縁加工、括れ部若干敲打	28
第304図5	16J2	SD-04 16-K2		ホルンフェルス		3/5-1/1	21.8	10.7	3.7	933.89	表面、一端部擦れ・摩滅著しい、敲打不明、製作初期段階の未製品か	未
第304図6	1014	10-J4-2	98	ホルンフェルス		完存	16.1	16.5	3.6	694.72	下端折れ？またはイキか、一部の面礫面、側縁一部細かい剥離加工、使用痕？上端一部敲打、放棄の未製品またはスクレイパーとして転用	未
第305図1	SI05	SI-05-5	47	砂岩	古期	完存	10.9	9.7	2.6	311	バチ形未製品またはスクレイパー、縁辺一部片面二次加工、他でも一部二次加工、鈍角な縁辺多く、未製品か	未
第305図2	16J0	16-K0-Nベ-2	34	砂岩	古期	完存	14.1	7.9	4.6	472.83	V字状、裏一部・側面一部～裏面礫面、縁辺や面上の敲打痕は剥離目的か、礫器の可能性あり	未
							13.3	7.2	3	291.7	先端尖る二等片三角形状、裏一部礫面、側縁片面二次加工、一部両面、使用痕？またはR.F.やU.F.の可能性あり	103

第14表打製石斧観察計測表

挿図番号	新ケリ ド	出土遺構・グリッド	取上 No.	石材	石材備考	残存 率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮 No.
第305図3	14J1	14-K1-13	67	ホルンフェルス		完存	16.3	9	3.7	503.45	表礫面、尖刃V字状、二次加工片面、若干擦れ・微小剥離で使用か、未製品で良いか	未51
第305図4	12I7	12-J7カクラン		ホルンフェルス		9/10	9.7	5.3	1.5	212	刃部二辺うち一辺は片面二次加工、一部使用痕か括れ部敲打少、Se1に近い	未117
第305図5	16J0	16-K0-7	86	ホルンフェルス		完存	12.7	13.3	4.3	826.19	表裏礫面、刃部二次加工+使用痕(擦れ・摩滅)、括れ部敲打片面少、礫面の可能性もあり、図13-5に近い	未93
第305図6	14I8	14-J8-10区カクラン		ホルンフェルス		3/5-4/5	13.9	6.2	2.5	226.17	表礫面、上位? 折れ欠損、細長く尖る刃部、一辺は片面加工、一辺は両面の二次加工、括れ部敲打片側は多、打製石斧未製品ではないようだが機種不刃部微小剥離痕、折れは使用時または製作時か、表礫面	未120
	SI01	SI-01-1	348	ホルンフェルス		1/2	8.2	8.8	2.6	184.39		1
	SI01	SI-01-1	394	ホルンフェル		1/2	8	7.4	2.2	166.73	側面敲打痕、この部分で折れ欠損	2
	SI01	SI-01-2	252	ホルンフェル		1/3	18.4	5.3	4.7	413.01	刃部作出、剥離、側面及び上部敲打	3
	SI01	SI-01-2-3 B区	2	ホルンフェル		1/2	12.7	4.8	3.1	208.74	側面敲打痕、縦方向に折れ、使用時欠損か	4
	SI02	SI-02 床土坑		輝石安山岩	第四紀	1/4	6.5	5.9	2.1	73.74	刃部摩滅、一面礫面	5
	SI03	SI-03	37	頁岩	古期	1/6	5.8	5.8	1.9	76.6	括れ部敲打痕	6
	SI03	SI-03 埋土		ホルンフェル		4/5	10.5	6.6	1.9	133.18	刃部欠損、括れ部敲打痕	7
	SI05	SI-05-5	282	ホルンフェル		1/2?	6.8	5.5	1.8	99.19	一面礫面、括れ部一側縁敲打痕	9
	SI06	SI-06-1	3	重晶石ホルンフェルス		4/5	14.8	9.6	2.8	361.71	刃部折れ欠損、片面礫面、括れ部敲打痕	10
	SI08	SI-08-2	13	重晶石ホルンフェルス		5/6	11.2	8.2	1.9	155.17	使用時または製作時折れ欠損、側面括れ部敲打痕	12
	SD01	SD-01 15-K-2		ホルンフェル		1/2	9.4	9.1	3.5	296.2	一面礫面少し残り、中位で折れ	14
	15J2	SD-01 15-K2-12		ホルンフェル		1/4	8	4.5	1	38.68	刃部・上下不明、括れ部若干敲打	15
	15J5	SD-01 15-K5	35	ホルンフェル		1/3-	11.4	2.8	3.2	105.8	刃部不明、括れ部敲打痕、縦方向に折れ	16
	SD04	SD-04		無斑島ガラス質安山岩		1/4?	13.3	7.1	3.2	323.52	上端部擦れ、面一部研磨、磨製石斧未製品の可能伊勢あり、折れて放棄か	17
	17I4	SD-09 17-J4 埋土		輝石安山岩	第四紀	1/3-1/4	5.4	7.4	2.4	108.51	表裏礫面、刃部摩滅・擦れ	22
	10I4	SD-12 10-J4	20	ホルンフェル		完存	13.6	6.7	2.6	268.53	一面礫面、全体摩滅擦れ、刃部も摩滅、括れ部敲打痕	23
	10I5	SD-12 10-J5	46	輝石安山岩	第四紀	5/6	11.5	7.6	2.2	199.4	表裏礫面、刃部若干摩滅・擦れ	24
	10I5	SD-12 10-J5	136	ドレライト		完存	8.8	6.1	1.6	95.49	一面礫面、別面は剥離面、剥片または破砕歴か	25
	SD04	SD-16	55	砂岩	古期	1/2-	9.5	2	10.8	2.3	表礫面少し残り、括れ部敲打痕	27
	SEC T7	SEC T-7		粘板岩		1/2	10.4	7.5	3.7	352.53	表礫面、括れ部敲打痕著しい、厚め。被熱	31
	79I5	A9-J5-8	6	重晶石ホルンフェルス		1/2	9.8	9.2	4.7	488.29	表裏礫面残り、刃部若干擦れ、摩滅、微小剥離、括れ部敲打痕顕著	32
	10I4	10-J4-3		輝石安山岩	新第三紀、緻密質	1/2	7.1	7.2	1.4	69.79	刃部若干の加工、上下不明、薄手	33
	10I4	10-J4-3		輝石安山岩	第四紀	3/5	10	8.7	3.2	285.48	刃部若干摩滅、表裏風化礫面、敲打なし	34
	10I5	10-J5-2	26	ホルンフェル		完存	9.8	6	2.5	133.9	直刃状、若干微小剥離痕、表裏風化礫面、裏礫面	36
	10I5	10-J5-5	12	頁岩	古期	完存	11.2	8.3	2.2	250.08	表礫面、刃部やや粗い加工、敲打無し	38
	10I5	10-J5-Nベ-2	35	頁岩	古期	完存	11.2	5.5	2.2	157.28	細長い形態、表面風化剥離面または礫面、下端若干擦れ・摩滅、括れ部左側のみ若干敲打	39
	10I5	10-J5-Wベ 21区		頁岩	古期	完存	7.8	4.8	1.8	72.82	表礫面、刃部摩滅・再生? 敲击石状、裏面磨痕少、括れ部敲打痕	41
	10I6	10-J6-1		頁岩	古期	1/10	4.7	4.4	2.7	46.23	括れ部敲打痕	42
	10I7	10-J7-2	6	砂質頁岩	古期	3/5	9.3	8.2	2.2	208.57	表礫面、刃部一部以外欠損、鋭角、括れ部敲打痕	43
	10I7	10-J7-2	148	輝石安山岩	第四紀、緻密質	2/5	7.8	10.2	1.8	201.61	刃部鋭角、一部欠損、上位も欠尖、一面礫面。括れ部敲打痕	44
	11I1	11-J1-3, 11-J1-2, 11-J1-2	8, 36.3	重晶石ホルンフェルス		完存	23.3	12.5	2.3	810.58	3片接合、括れ部片側一部のみ若干敲打、刃部作出、表礫面	46
	11I6	11-J6-3	105	輝石安山岩	新第三紀	1/10	4.7	5.8	2.3	64.3	剥片または磨製石斧未製品?	47
	12I7	12-J7		輝石安山岩	新第三紀	完存	8.5	5.9	1.3	75.94	表礫面、刃部加工は一部、括れ部敲打若干、SoまたはR.F.とすべきか	52
	12I7	12-J7		頁岩	古期	1/3	10.8	3.7	1.5	66.05	縦方向に折れ、刃部両面加工	53
	12I7	12-J7		輝石安山岩	第四紀	1/5	9.5	5.1	2.1	67.76	縦~斜め方向に折れ欠損、括れ部近くから刃部加工、括れ部敲打痕	54
	13I4	13-J4-Nベルト	3	ホルンフェルス		1/8-1/10	7.1	7	3.8	240.23	括れ部敲打痕、表面にも敲打痕、磨製石斧未製品の可能性もあり	55
	13I7	13-J7-3-6区		ホルンフェル		9/10	8.8	5.6	1.3	82.65	括れ部敲打痕わずか、面にも若干敲打、薄手	56
	14I8	14-J8-1		ホルンフェルス		1/2	8.8	8.2	3.3	256.82	括れ部~側縁敲打痕、磨製石斧未製品の可能性あり	61
	14I8	14-J8 pit9		ホルンフェルス		1/10?	5.4	8.5	2.1	133.55	刃部鋭角、側縁刃部近くや面も敲打、磨製石斧未製品か	63
	14I8	14-J8 pit17		輝石安山岩	第四紀、緻密質	1/5	10.6	7.8	2.5	213.8	刃部片面加工、少し擦れ、表裏礫面一部残り	64
	14I9	14-J9-7	1	ホルンフェルス		1/6-1/8	7.4	4.3	3	97.36	厚手、括れ部敲打少、未製品か?	66
	14I9	14-J9-8	20	輝石安山岩	新第三紀 緑色	完存	9.7	5.5	1.5	106.2	側縁やや上位~括れ部敲打、細かい剥離加工無し、磨製石斧未製品か	67
	14I9	14-J9-9	60	輝石安山岩	第四紀、緻密質	完存	11.7	6.8	2.2	159.17	表礫面、刃部薄手、括れ部敲打比較的入念	68
	14I9	14-J9-13	4	ホルンフェルス		完存	12.3	7	2.3	198.25	表上端近く一部礫面、括れ部敲打痕片側顕著、下端直刃状、左側縁も刃部状に加工、Soとすべきか	69
	14J0	14-K0-8	243	ホルンフェルス		1/6-1/8	7	7.8	3.9	215.12	一面礫面、側縁敲打痕入念	74
	14J0	14-K0-8	247	重晶石ホルンフェルス		3/5	11.7	7.8	3.3	316.03	刃部欠損、括れ部敲打若干	75
	14J0	14-K0-9 13区		頁岩	古期	1/20	5.7	1.9	1.4	10.57	刃部円刃状で鋭角、微小剥離・摩滅、磨製石斧の可能性あり	77
	14J0	14-K0-11	62	ホルンフェルス		完存	9.6	5.5	1.4	89.7	薄手の作り、刃部少し欠損? 括れ部敲打若干	79
	14J0	14-K0-11	116	ホルンフェルス		3/5	0.8	7.8	2.2	191.66	括れ部及び上端敲打痕、中位で折れ欠損は製作時か	80
	14J0	14-K0-12	62	ホルンフェルス		1/3	5.5	6.8	3	122.71	表礫面、刃部擦れ・摩滅、一部敲打痕でハンマー的使用か	82
	14J0	14-K0-13	295	頁岩	古期	1/2	6.3	7.6	2.7	179.36	礫面一部残り、括れ部及び上端一部敲打痕	85
	14J0	14-K0-15	78	ホルンフェルス		1/4-1/5	6	5.7	2.5	94.18	側縁~上端及び面一部敲打・磨痕、一部研磨痕、側縁やや広く敲打痕、磨製石斧未製品	87

第14表打製石斧観察計測表

挿入番号	新グッド	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮No.
14J0		14-K0-Sベ-3	128	ホルンフェルス		完存	8.7	8.8	1.4	100.4	薄手刃部鋭角、使用痕の微小剥離若干	90
14J1		14-K1-5	42	ホルンフェルス		1/2-1/3	5.5	8.5	1.8	97.74	刃部やや鈍角、微小剥離及び一部の剥離欠損は使用痕か、表礫面、裏風化剥離面、括れ部敲打痕、敲打部分で折れ欠損	91
14J1		14-K1-8	85	ホルンフェルス		1/5-1/6	6	8.5	2.1	100.91	刃部若干擦れ、表礫面	92
14J1		14-K1-9	98	ホルンフェルス		1/4-1/5	6.5	6.5	1	50.7	刃部微小剥離・若干擦れ	94
14J0		14-K0-15	341	頁岩	古期	1/2-3/5	12.3	9.6	4.1	523.84	上端刃部可能性？括れ部敲打入念、上端近くも一部敲打、敲打時欠損の可能性もあり	96
14J1		14-K1-17	309	粘板岩		1/6-1/8	6.5	6.8	2.2	81.58	側縁一部敲打少、刃部鋭角	99
14J1		14-K1-18	209	ホルンフェルス		完存	11.1	6.5	2.6	191.26	刃部若干擦れ、表風化礫面？側縁上位敲打若干、磨製石斧未製品の可能性あり	101
14J1		14-K1-19	70	輝石安山岩	第四紀	1/2	10.3	9.3	2.8	312.5	刃部摩滅・擦れ著しい、表礫面、上下不明	104
14J1		14-K1-19	14	頁岩	古期	1/2-3/5	6.8	5.6	1.8	737	表礫面、刃部擦れ・摩滅、敲打？	105
14J1		14-K1床面		ホルンフェルス		1/2-1/3	12	8	3.7	384.13	表礫面、面上若干敲打？刃部微小剥離痕、擦れ・摩滅、括れ部敲打少、磨製石斧の可能性あり	106
14J1		14-K1-Nベ-3	132	ホルンフェルス		3/5-4/5	8.3	5.8	1.4	74.5	刃部欠損、一部残るところでは鋭角、括れ部若干の敲打	107
14J1		14-K1-Nベ-5	201	ホルンフェルス		1/8-1/10	4.7	8.2	1.7	55.34	刃部やや擦れ・摩滅	108
14J1		14-K1-Sベ-5	346	砂質頁岩	古期	1/3-2/5	5	5.2	1.3	30.48	刃部やや擦れ・摩滅、側面敲打、面上敲打？	109
14J1		14-K1-サブトレ下層		重晶石ホルンフェルス		1/2-2/5	5.2	7.3	2.9	134.72	敲打・剥離不明、上下不明	110
14J4		14-K4-Nベ-1 No.11		ホルンフェルス		完存	15.4	8.2	2.8	440.96	表礫面、裏節理面、刃部鈍角、縁辺粗い加工、未製品または礫器か	115
1518		15-J8-2	16	ホルンフェルス		7/10	11.2	6.8	2.8	215.05	縦～斜めに折れ欠損、刃部？片面礫面残り、若干の括れ部作出	122
1518		15-J8-2-7区		ホルンフェルス		1/2	10.2	8.8	4.1	362.5	表礫面、刃部ほぼ両面加工、括れ部敲打少、かなり厚く未製品の可能性あり	123
1518		15-J8斜面		ホルンフェルス		1/2	6.5	8.1	2.2	163.29	二次加工あまり無い、括れ部若干敲打、敲打時欠損か	124
1519		15-J9-2	184	頁岩	古期	1/2	5.2	5.3	2	64.17	二次加工無い、括れ部で欠損	125
1519		15-J9-3	216	頁岩	古期	1/3-1/4	5.5	6.6	2.3	79.07	括れ部片側若干の敲打、片側はやや多	126
1616		16-J6-Wベ-1	26	ホルンフェルス		1/2	7.3	6.7	2.4	128.39	表礫面、刃部やや粗い二次加工ほぼ片面、括れ部で折れ欠損	129
1617		16-J7-7	126	輝石安山岩	第四紀	1/2	8.5	6.8	3.2	205.7	刃部両面加工、若干擦れ、上端割れ再生？側縁敲打	134
1618		16-J8-Nベ-2	25	輝石安山岩		4/5	11.6	7	2	132	表礫面、刃部不明	136
1619		16-J9表探		ホルンフェルス		1/2	10.7	10.9	4.1	585.91	表礫面裏一部礫面、刃部V字状、括れ部敲打やや	137
1619		16-J9-2	125	輝石安山岩	第四紀、緻密	完存	12.4	8.7	2.3	283.17	表礫面、円刃状で鋭角、括れ部敲打片側入念	139
1619		16-J9-3	30	ホルンフェルス		1/3	11	7	3.5	314.34	V字状、括れ部及び側面一部敲打、独鈷石未製品の可能性あり	140
1619		16-J9-3	44	頁岩	古期	2/3	10.5	8.4	3.7	311.67	表一部礫面、刃部欠損、括れ部敲打若干	141
1619		16-J9-12	8	ホルンフェルス		1/2-1/3	9.8	6.1	3	172.88	表礫面、刃部片面加工、若干摩滅・擦れ	142
1619		16-J9-Sベ-5	217	輝石安山岩	新第三紀	2/3	10.8	8.7	4.5	529.03	表裏礫面、括れ部敲打やや入念、刃部側欠損、敲打時欠損か？	144
16J0		16-K0-0		粘板岩		2/3	10.6	8.3	2.4	223.96	片面一部礫面、刃部両面加工鋭角、括れ部若干敲打	145
16J0		16-K0-2	140	ホルンフェルス		1/2	6.6	5.3	1.7	88.59	表礫面、裏剥離面、側縁加工若干、括れ部敲打若干	146
16J0		16-K0-4	129	輝石安山岩	第四紀、緻密	完存	9.5	9.9	2.2	306	表一部礫面、裏礫面、刃部片面～両面加工、一部擦れ・摩滅、括れ部片側敲打少	150
16J0		16-K0-5	125	ホルンフェルス		1/2	12.9	7.1	3.7	406.39	表礫面、刃部～側縁擦れ・摩滅、括れ部敲打入念、上端や表面も一部敲打	151
16J0		16-K0-10	22	ホルンフェルス		完存	9.1	6.5	1.2	76	表礫面、刃部片面あらい加工、括れ部若干敲打	152
16J0		16-K0-Eベ-2	109	頁岩	古期	1/2	8.3	8.3	2.6	147.09	表礫面、刃部鋭角片面加工・微小剥離、括れ部敲打	153
16J0		16-K0 斜面		ホルンフェルス		完存	14.1	6.4	3.7	305.52	表礫面、刃部擦れ・摩滅少、括れ部敲打入念	155
16J1		16-K1		ホルンフェルス		1/2	12	9.7	3.2	445.23	表礫面、裏風化剥離面、刃部側欠損、括れ部敲打	156
16J1		16-K1表探		輝石安山岩	第四紀	4/5	12.1	8.4	2.5	252.77	表礫面、上下欠損、括れ部敲打片側顕著、片側は	157
16J1		16-K1-3	5	ホルンフェルス		完存	10.3	6.7	1.8	90	表礫面、刃部加工殆ど無い、括れ部僅かな敲打痕	160
16J1		16-K1-3	65	ホルンフェルス		完存？	9.1	6.4	2.5	169.93	細長い形態、刃部両面加工、敲打片側入念、敲打時欠損の可能性あり	161
16J1		16-K1-4	104	ホルンフェルス		完存	10.5	4.6	1.7	80.46	刃部片面若干の加工、欠損？括れ部若干敲打、未製品？	163
16J1		16-K1-9	42	粘板岩		完存？	9	6.8	1.9	136.87	表礫面、刃部欠損だが割れ面敲打？再生か、細かい二次加工無し、括れ部敲打若干	166
16J1		16-K1-Nベ-4	91	ホルンフェルス		9/10	11.6	8	2.8	223.94	表礫面、刃部主に片面二次加工、擦れ・摩滅少、括れ部敲打多～やや多	168
16J1		16-K1-Eベ-2	22	ホルンフェルス		1/2	6.9	7.4	2.1	101.39	表一部礫面、両面加工の縁辺刃部か、若干の敲打もあり	169
16J1		16-K1-Sベ-1	15	ホルンフェルス		完存	10.5	7.2	1.7	128.71	表一部節理面、刃部二次加工無し、括れ部敲打若干、未製品？	170
16J1		16-K1-サブベ-51～10区	246	ドレライト		完存	15.4	9.2	4.8	729.39	片面一部礫面残り、刃部擦れ・摩滅、括れ部敲打多、厚み残り、未製品の可能性あり	171
16J1		16-K1 斜面		安山岩	第四紀	9/10	11.2	7	1.9	197.76	表礫面、刃部加工若干、括れ部敲打少、上位一部	172
16J1		16-K1 斜面		頁岩	古期	1/3-2/5	10.7	4	3.9	139.69	礫面一部残り、縦方向に折れ欠損、刃部細かい二次加工、括れ部敲打やや多	173
16J2		16-K2表探		閃緑岩	変質	1/3	9.5	11.8	5.4	669.05	表裏面剥離・敲打、刃部敲打で摩滅、側面も敲打、磨製石斧未製品、敲打時折れ欠損で放棄か	174
16J2		16-K2-8	8	ホルンフェルス		1/2	13.6	7.1	4	295.44	表礫面、刃部～側縁やや細かい二次加工片面、括れ部敲打やや多	175
1713		17-J3-1	12	無斑晶質安山岩		完存	12.7	7.8	3.3	401.22	表礫面、刃部鋭角、やや細かい二次加工片面、やや擦れ・摩滅、括れ部敲打著しい	178
1713		17-J3-Nベ-1	16	ドレライト		完存	11.9	6.5	2	170.44	表礫面、刃部鋭角、細かい二次加工無し、括れ部	179
17J0		17-K0-0		ホルンフェルス		3/5	11.3	7.2	2.3	194.84	表礫面、刃部一部欠損、微小剥離・擦れ、括れ部敲打顕著	180

第14表打製石斧観察計測表

挿入番号	新ケリ トド	出土遺構・グリッド	取上 No.	石材	石材備考	残存 率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮 No.
17J0	17-K0-1	50	ホルンフェルス		完存		11.5	5.5	2.2	133.61	刃部・上端とも鋭角、刃部摩滅、再生？、括れ部敲打やや入念	181
17J0	17-K0-2	24	頁岩	古期	2/5		8.6	8	2.8	244.49	表裏面・側面剥離→敲打で明らかになり磨製石斧未製品、形状も定角式で問題ない、折れ欠損で放棄か	183
17J0	17-K0-Wベ-2	67	ホルンフェルス		1/10		7.8	4.4	2.2	75.58	表礫面、刃部鋭角、両面二次加工、やや擦れ・摩滅・敲打痕状	186
17J0	17-K0-Wベ-2	107	粘板岩		1/2		8.5	6	1.6	81.79	表礫面、刃部鋭角二次加工片面、括れ部若干の敲打	188
17J0	17-K0-Wベ-3	118	輝石安山岩	第四紀、緻密質	1/3-2/5		10.6	6.8	2.2	181.09	表裏剥離面、縦長、刃部主に片面二次加工、微小剥離・擦れ	189
17J1	17-K1-サブベ-1.1 ~10区		ホルンフェルス		1/2		10.6	8.2	2.9	353	表裏剥離面、刃部擦れ・摩滅・微小剥離、括れ部～側縁下方まで敲打	191
1816	18-J6-1	37	ホルンフェルス		完存		18.1	9.9	4.9	907.77	表及び裏一部礫面、縦長で厚みあり、刃部主に片面二次加工、鋭角、括れ部敲打入念広範囲	192
1818	18-J8-1		ホルンフェルス		2/5-1/2		7.3	7.1	2.3	151	表風化礫面、刃部または頭部、鋭角両面二次加工、微小剥離？	193
1918	19-J8-0		粘板岩		4/5		9.4	6.2	2.5	162.17	刃部二次加工、若干摩滅・擦れ、上位折れ欠損、括れ部敲打若干	195
1919	19-J9-2		安山岩	第四紀、緻密質	3/5		12.6	10.3	2.5	394.41	上下不明、括れ部敲打少	196
T12	T-12 No.1		ホルンフェルス		4/5		13.7	8.3	4.2	461	表及び裏一部礫面、刃部二次加工両面、括れ部敲打入念	197
2区E T2	2区E T-2		粘板岩		完存		10.3	6	1.3	81.11	表礫面、刃部二次加工無し、括れ部敲打若干、磨製石斧未製品の可能性あり	200
西面	西面		ホルンフェルス		1/15		3.2	7.8	1.2	32.71	表礫面、刃部片面二次加工若干	202
1217	12-J7 カクラン		ホルンフェルス		1/2-2/3		8.3	8.2	2.2	155.15	片面風化礫面(節理面?)、刃部欠損、頂部敲打+摩滅、括れ部敲打入念	205
1217	12-J7 カクラン		ホルンフェルス		1/2		5.2	5.6	1.5	61.39	表礫面、裏風化剥離面、端部微小剥離痕、刃部？括れ部敲打少	206
1417	14-J7 カクラン1		頁岩	古期	完存		8.4	6	2.1	122.4	表一部礫面残り、刃部鋭角微小剥離痕若干、二次加工殆ど無い、括れ部僅かに敲打	207
1418	14-J8 カクラン5 区		輝石安山岩	第四紀	9/10		14	7.6	2.7	326	刃部及び上位一部欠損、刃部両面加工、擦れ・摩滅、括れ部敲打やや少	210
1418	14-J8 カクラン5 区		ホルンフェルス		3/5		8.5	7	1.7	138.13	表一部礫面残り、刃部若干擦れ・摩滅、括れ部敲打わずか	212
1418	14-J8 カクラン		ホルンフェルス		完存		12.1	7.5	3.6	415.6	刃部鈍角、加工一部、括れ部敲打若干、未製品か	213
1517	15-J7 カクラン2		ホルンフェルス		完存		9.5	6.2	1	69.73	表礫面、刃部以外も含め二次加工殆ど無い、括れ部近く敲打わずか	215
1517	15-J7 カクラン2		安山岩	第四紀、緻密質	4/5		10.5	8	1.6	157	縁辺大きな剥離のみ、刃部欠損、表礫面、括れ部敲打片側多	218
1517	15-J7 カクラン2		緻密質安山岩	第四紀	1/3		6.6	6.7	1.6	79.35	刃部？縁辺摩滅、裏側剥離欠損、括れ部敲打やや少	219
1517	15-J7 カクラン3		デイサイト	新第三紀	1/2		11.7	10.3	3.4	623.33	表裏礫面、上下不明、一部摩滅少→刃部か、括れ部敲打少	220
1518	15-J8 カクラン2		輝石安山岩	第四紀、緻密質	2/3		11	8.7	4.5	431.9	上下欠損、括れ部敲打入念で片側は広い、厚みあり、フランクか	222
1518	15-J8 カクラン		ホルンフェルス		1/3		5.5	5.4	2.2	59.93	直刃状、鋭角、概ね両面二次加工、わずかに擦れ	223
SI01	SI-01-2 119区		輝石安山岩	新第三紀	1/10		6.9	6.2	1.7	53.2	括れ部敲打少、裏面の礫面も若干敲打？磨製石斧未製品の可能性あり	未1
SI01	SI-01-4	23	ホルンフェルス		2/5		10.3	7.8	3	265.33	V字状の刃部、片面加工、側縁若干摩滅、折れ欠損で放棄か	未2
SI05	SI-05-9	53	粘板岩		1/10		8.8	5	1.4	71.09	上下欠損、側縁剥離→敲打、石剣類未製品か	未5
SI05	SI-05-9	93	輝石安山岩	第四紀	1/2		6.3	6	1.4	63.43	表礫面、縁辺摩滅→刃部か、括れ部敲打若干	未6
SI05	SI-05-9	109	ホルンフェルス		1/2		7.5	7.5	2.5	203	表礫面、擦れ・摩滅の縁辺→刃部か、括れ部片側敲打入念	未7
SI05	SI-05-9	135	輝石安山岩	新第三紀、変質、無斑晶質	1/2-2/3		10.2	9	3.3	450	表礫面、下位折れ欠損？上端面一部敲打、括れ部敲打	未9
SI09	SI-09 最下層		輝石安山岩	第四紀	1/4-1/3		13.8	15.9	5.7	1614.32	表裏礫面、括れ部敲打、刃部は欠損で不明、敲打時欠損の可能性あり	未10
15J2	15-K2 SD-1	1	ホルンフェルス		7/10-4/5		13.2	10.4	5.4	954.02	上下欠損、表一部礫面、一部片面加工刃部？	未11
15J2	SD-01 15-K2-6区		頁岩	古期	1/10?		11.4	4	3.5	122.76	縁辺すべて割れ部分か、加工不明	未12
1515	SD-04 15-J5	9	ホルンフェルス		1/10?		5.9	9.2	3.2	157.05	一面礫面、別面は風化礫面、加工不明	未13
1517	SD-04 15-J7		変質凝灰岩	緑色、新第三紀	2/5-3/5		9.7	7.2	2.4	133.51	刃部不明、括れ部敲打やや少	未14
1518	SD-04 15-J8上層		頁岩	古期	1/2?		10.7	9.5	6	541.02	表上位～裏面上位礫面、下位二次加工なし、初期段階の放棄か	未15
16J0	SD-04 16-K0		ホルンフェルス		1/5?		6.7	6.5	2.6	77.51	表節理面、裏剥離面、括れ部敲打少、斜めに折れ欠損	未17
16J1	SD-04 16-K1		頁岩	古期	1/4?		5.7	9	3.4	112.94	表一部礫面、括れ部敲打少、敲打時折れ欠損で放棄か	未18
14J4	SD-07 14-K4		砂岩	古期	完存?		14.7	7.9	3	348.72	表一部風化礫面、裏風化剥離面、刃部～各縁辺鈍角、未製品	未20
1817	SD-09 18-J7-1	25	砂岩	古期	4/5		10.6	10.6	5.6	959.58	表礫面、刃部鈍角、両面二次加工、括れ部敲打入念、一部も敲打？製品、磨製石斧未製品の可能性も残る	未21
1817	SD-09 18-J7-1	79	ホルンフェルス		完存		10.4	6.2	3	281.41	表礫面、刃部粗い剥離段階、側面一部敲打入念(剥離目的の打点?)、磨製石斧未製品の可能性あり	未22
1514	SD-16 15-J4		輝石安山岩	緻密	2/5		6.5	7.2	2.9	139.88	裏面一部礫面、粗い剥離のみ、刃部不明	未23
SD16	SD-16 埋土		ホルンフェルス		1/3-2/5		8.2	4.5	3	101.26	縦に折れ欠損、片面礫面、刃部片面二次加工、若干微小剥離痕、括れ部敲打やや少、製品か？	未24
SEC	SEC T-2		凝灰岩	新第三紀	完存		9.5	6.5	2.2	147.22	直刃状、二次加工片面少、側縁一部若干敲打	未25
1014	10-J4-2		輝石安山岩	第四紀	1/2		7	6.3	1.6	97.3	縁辺片面加工、一部敲打、整形塗上？成品の可能性もあり	未26
SEC T5	SEC T-5		粘板岩		1/5-1/3		7	5.5	1.3	46.49	括れ部敲打少、表礫面、成品または塗上で割れたもの	未27
SEC T7	SEC T-7		ホルンフェルス		不明		10.3	7.2	3.5	269.39	刃部？別縁辺で敲打痕、二次加工不明、厚みかなり残り、初期段階で放棄か	未28
7916	A9-J6-4	42	ホルンフェルス		完存?		21.5	13.2	3.9	1522.13	表裏側面礫面、片側側縁中央のみ括れ部敲打、端部若干敲打は使用痕か、面も若干敲打、成品？	未29
7917	A9-J7-4	2	砂岩	古期	完存		7.1	9.5	4.5	281.1	表礫面縁辺粗い剥離加工、刃部作出前に折れて放棄か	未30
1014	10-J4-3	91	ホルンフェルス		完存		13.3	8.5	2.7	379.78	刃部不明瞭、表上端礫面、未製品か	未31

第14表打製石斧観察計測表

挿入番号	新ケリト	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮No.
	I0I4	I0-J4-Sベ-1	17	ホルンフェルス		不明	11.6	7.4	2.5	263.83	表礫面、刃部不明、側縁一部敲打(剥離目的の打点か)、剥離でずり放棄か	未33
	I0I5	I0-J5-Nベ-3	71	輝石安山岩	新第三紀	1/6-1/8	8.1	10.1	4.3	415.44	表礫面、刃部不明、上端敲打、括れ部敲打少、敲打時欠損放棄か	未34
	I0I6	I0-J6-2	33	ホルンフェルス		2/3?					表礫面、刃部鋭角だが加工無し、括れ部・側縁敲打入念、括れ部左右でずれ大きい、厚み著しく残る、未製品で良いか不明	未35
	I0I7	I0-J7-6	125	重晶石ホルンフェルス		完存	16.7	9.7	5.3	865.84	刃部先端V字状、側縁まで二次加工両面で広い刃部状、Soとして使用か、打製石斧未製品か判断不能	未36
	I1I1	I1-J1Sベ	4	ホルンフェルス		1/2	17.6	8.6	3.8	566.71	表一部・裏一部礫面、下方欠損、側面敲打少、刃部不明、厚みとりまたは剥離の痕跡多、折れて放棄か	未37
	I1I4	I1-J4-Wベ-1	30	輝石安山岩	新第三紀	2/5	9.4	9.5	3.9	374.93	表裏礫面、片面剥離の縁部部か、括れ部敲打入念、若干下位で折れ欠損、未製品で良いか	未38
	I1I7	I1-J7-1	84	砂岩	古期	4/5	8.5	5.8	2.2	91.25	表礫面、刃部折れ欠損?二次加工無し、括れ部敲打わずか、折れまたは刃部作前に放棄か	未39
	I2I7	I2-J7		ホルンフェルス		不明	16.2	9	3.5	613.24	片面礫面、先端V字状の一縁辺鋭角、二次加工は片面少、折れで放棄?上下逆で磨製石斧未製品の可能性あり	未40
	I2I7	I2-J7		輝石安山岩	第四紀、緻密質	1/10?	6.3	6.6	5.3	194.35	括れ部の小片、片面礫面、括れ部敲打多、かなり厚め	未41
	I4I4	I4-J4-Sベ-1	3	輝石安山岩	第四紀	1/5	9.5	13.7	3.3	600.31	頂部破片のようなが、刃部の可能性も残る、表裏礫面、剥離時敲打・摩滅	未42
	I4J0	I4-K0-10	182	ホルンフェルス		1/12	3.7	6.2	2	39.41	円刃状、二次加工両面、成品か	未43
	I4J0	I4-K0-11	261	輝石安山岩	第四紀	4/5	16.8	17.3	6	1837.54	刃部欠損、括れ部敲打著しい、成品の可能性あり	未44
	I4J0	I4-K0-18	203	粘板岩		9/10	11.4	7	1.3	125.62	V字状の辺二次加工、一辺使用痕、RFまたはSc	未45
	I4J0	I4-K0-Sベ-5	268	ホルンフェルス		1/5	7.7	7.8	2.8	179.33	一部礫面、V字状、二次加工少ない、片面の縁辺加工、打製石斧未製品か?	未47
	I4J1	I4-K1-7	139	ホルンフェルス		1/8	9.5	3.9	4.1	89.8	括れ部敲打入念、未製品か不明	未46
	I4J1	I4-K1-11	132	頁岩	古期	完存	10.9	5.8	2.7	176.68	表半分礫面、厚み残る、刃部加工無し、括れ部敲打少、未製品で良いか	未49
	I4J1	I4-K1-16	31	ホルンフェルス		1/10	5	6.6	2.3	61.79	刃部微小剥離	未48
	I4J1	I4-K1-16	42	砂質頁岩	古期	1/3	6.7	6	1	48.22	表礫面、刃部加工あまりない、均一な薄さ、使用痕あり、成品か	未53
	I4J1	I4-K1-18	79	ホルンフェルス		4/5	10.5	6.8	3.2	195.92	V字状、細かい二次加工側縁広く、一部微小剥離痕、一部礫面、厚みあり、未製品またはスクレイパー	未54
	I4J1	I4-K1-19	297	ホルンフェルス		1/2	7.7	5.4	3.4	157.45	表礫面、上下欠損、括れ部敲打入念、敲打時欠損	未51
	I4J1	I4-K1-20	71	重晶石ホルンフェルス		完存	12.9	9.2	3.1	353.57	表下方礫面、刃部付近敲打、刃部加工なしだが微小剥離痕あり、括れ部敲打痕若干	未56
	I4J1	I4-K1-Nベ-2	79	頁岩	古期	1/5-1/4	5.7	9.8	2.1	90.39	表上端礫面、括れ部剥離、細かい二次加工、未製品か?	未57
	I4J1	I4-K1-Eベ-2	48	輝石安山岩	第四紀	4/5	12	10	3.5	422	表裏の一部礫面、刃部欠損、使用時剥離欠損か、括れ部敲打痕少、上位欠損、成品の可能性あり	未58
	I4J1	I4-K1-Sベ-1	4	輝石安山岩	新第三紀、緻密質	1/5	5.4	9.4	3.7	172.49	上下欠損、括れ部片でやや細かい加工あり	未59
	I4J1	I4-K1-Sベ-3	83	輝石安山岩	第四紀	1/5-1/4	9.7	6.6	2.5	148.81	縦及び上横方向に折れ欠損、刃部細かい両面二次加工、括れ部敲打少、製品か	未60
	I4J1	I4-K1-Sベ-3	210	ホルンフェルス		2/3	8.8	6.7	2.6	156.6	縁辺二次加工ほぼ片面、敲打無し、上位折れ、やや厚く刃部鈍角	未61
	I4J2	I4-K2-2	64	ホルンフェルス		1/3	10.8	3.7	1.2	54.02	縦方向に折れ欠損、刃部細かい二次加工無いが、直線的で整っている、一部摩滅・微小剥離、括れ部敲打若干	未62
	I4J2	I4-K2-15	153	ホルンフェルス		1/5-1/8	9.7	5.5	3.4	183.8	片面一部礫面、厚み残り形の不整、括れ部若干敲打	未63
	I4J2	I4-K2-19	1	砂質頁岩	古期	1/10	3.6	7.5	2.1	39.59	刃部か、やや粗い加工だが直線的で整っている、成品か	未64
	I4J2	I4-K2-19	22	ホルンフェルス		1/10?	3.7	7.8	1.7	52.14	表礫面、刃部直線的、若干擦れ・摩滅、製品か	未65
	I4J4	I4-K4-5	9	ホルンフェルス		2/5-1/2	5.5	6.7	2.6	111.71	礫面一部残り、平坦縁辺頂部か、括れ部若干敲打	未66
	I5I5	I5-J5-1	48	砂岩	古期	不明	7.9	9.1	3.3	242.4	括れ部?角度向きなど不明	未67
	I5I8	I5-J8-2	16	頁岩	古期	2/5-1/2	7.9	8.8	3.9	277.98	粗い二次加工あるが、刃部になっていない、厚みも残り、とらうとして折れ欠損の未製品か	未68
	I5I9	I5-J9-3	70	重晶石ホルンフェルス		2/5	12.2	6.2	3.1	223.97	縦方向に折れ欠損、片面礫面、括れ部敲打入念、刃部加工あまり無いが、円刃状	未69
	I6I5	I6-J5-6	16	ホルンフェルス		完存?	9.7	5.5	2.6	113.93	礫面上位に一部残り、括れ部剥離作途中か、厚みかなり残る、製作初期での放棄か	未70
	I6I7	I6-J7-4	5	砂岩ホルンフェルス		1/5-1/4	6	9	3.8	268.56	表礫面一部、括れ部敲打入念、敲打時欠損?、未製品で良いか	未72
	I6I7	I6-J7-10		ホルンフェルス		2/5	4.7	4.9	2.3	56.02	表裏節理面残り、一辺刃部の可能性あり、側縁敲打やや多	未73
	I6I8	I6-J8-0		ホルンフェルス		2/5-1/2	12.8	6.8	4	349.91	縦方向及び斜めに折れ欠損、刃部作出不明瞭、括れ部敲打少	未74
	I6I8	I6-J8-2	17	ホルンフェルス		1/2	7.1	8.6	1.8	139.61	表礫面、刃部主に片面加工、一部微小剥離痕、鋭角、製品か敲打時欠損未製品か不明	未75
	I6I8	I6-J8-6	8	砂岩	古期	9/10	10.4	6.7	2	120.07	表礫面、刃部二次加工少、微小剥離痕わずか、括れ部敲打多、成品か	未76
	I6I9	I6-J9-1	6	ホルンフェルス		1/2	12.5	10.8	1.7	221.78	表礫面、刃部不明、二次加工全体に殆ど無い、括れ部敲打少	未77
	I6I9	I6-J9-1	80	輝石安山岩	第四紀、緻密質	1/2	5.9	12.5	5	1344.8	表裏礫面、頂部~括れ部か、括れ部敲打少、敲打時欠損?未製品か	未78
	I6I9	I6-J9-1	81	砂岩	古期	2/3	7.6	5.7	1.8	99.54	表礫面、刃部加工無し、括れ部敲打少、未製品か	未79
	I6I9	I6-J9-3	65	輝石安山岩	第四紀	完存	8.3	4.6	0.8	37.21	表礫面、二次加工無し、括れ部相当部敲打若干、作らうとして放棄の未製品か	未80
	I6J0	I6-K0-0		輝石デイスイト	第四紀	1/3-2/5	9.5	6.5	3.3	229.25	片面礫面、括れ部敲打少、刃部等欠損	未82
	I6J0	I6-K0-2	9	砂岩	古期	完存	19.5	11.7	4.8	869.79	表礫面、V字状の尖刃片側縁辺二次加工片面、上端二次加工少、括れ部数回の剥離・敲打、比較的早い段階で放棄の未製品か	未83
	I6J0	I6-K0-2	157	ホルンフェルス		1/2	10.9	8.1	3.4	249.96	上位欠損、刃部近辺粗い二次加工片面、括れ部敲打、敲打時欠損か	未84
	I6J0	I6-K0-2	177	ホルンフェルス		1/10	5.9	2.8	2.7	55.74	刃部及び上位欠損、括れ部敲打多、未製品か成品か不明	未85

第14表打製石斧観察計測表

挿図番号	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮No.
	16J0	16-K0-3	220	ホルンフェルス		1/2					表礫面、上位破片か刃部側か不明、括れ部敲打少	未86
	16J0	16-K0-3	276	デイサイト質凝灰岩	奥日光	完存	7.6	8.6	2.8	220.2	表礫面、裏節理面、縁辺剥離一部両面、括れ部無く、磨製石斧未製品か	未87
	16J0	16-K0-3	286	輝石安山岩	第四紀	1/5-1/3	6.5	7	3.5	133.31	縁辺剥離→若干敲打、刃部一部摩滅・擦れ、磨製石斧未製品で良いか	未88
	16J0	16-K0-3	396	ホルンフェルス		完存	11.3	7.7	2.2	134.55	裏面一部礫面、表一部節理面、刃部二次加工無し、括れ部無し、スクレイパーまたはUFか	未89
	16J0	16-K0-4	117	輝石安山岩	第四紀	2/5-1/2	6.9	8.8	2.8	245.48	表裏礫面残り、刃部側欠損、括れ部敲打顕著、上端も敲打、敲打時欠損の可能性あり	未90
	16J0	16-K0-6	143	ホルンフェルス		1/3-2/5	8	6.2	2.2	102.55	片面礫面、刃部二次加工若干、括れ部敲打入念、上下逆の可能性あり、未製品で良いか	未91
	16J0	16-K0-5	211	輝石安山岩	緻密質	完存	11.2	10.1	2.6	365.8	表礫面、刃部折れ欠損または二次加工なしの未製品、成品の可能性もあり	未92
	16J0	16-K0-pit1		溶結凝灰岩	奥日光	1/10-3/10	5.6	7.5	2.9	103.43	縁辺二次加工、若干擦れで刃部近く、敲打無し	未96
	16J1	16-K1表探		砂岩	古期	1/5-1/3	7.8	9.4	3	280.43	表礫面、刃部やや鈍角、擦れ・摩滅、括れ部若干の敲打・擦れ、製品か	未97
	16J1	16-K1-4	129	輝石安山岩	緻密質	1/10	5	8.8	2	94.57	裏一部礫面、刃部両面二次加工、若干擦れ・摩滅	未98
	16J1	16-K1-5	146	ホルンフェルス		1/10-1/5	5.6	8.1	1.8	77.01	刃部～側縁の破片、両面二次加工+擦れ・摩滅、製品か	未99
	16J1	16-K1-6	124	ホルンフェルス		3/4-4/5	11.9	7.3	2.2	200.45	細長い形態、先端V字状、刃部～側縁二次加工片面～両面、括れ部敲打	未100
	16J1	16-K1-7	79	ホルンフェルス		1/10	5.3	5.2	2	55.53	片面礫面、括れ部破片、敲打痕やや多、製品または未製品不明	未101
	16J1	16-K1-8	42	ホルンフェルス		不明	4.2	5.3	1.6	45.63	表礫面、括れ部破片、括れ部若干敲打痕、敲打時欠損の未製品か	未102
	16J2	16-K2-2～3	1	輝石安山岩	変質、緑色、新第三紀	7/10-4/5	11	8.5	4.1	44.3	表1/2・裏一部礫面、刃部両面二次加工、一部擦れ・摩滅、括れ部敲打片側多	未104
	16J2	16-K2-Nベ-2	25	ホルンフェルス		2/5	7.2	8.4	1.9	95.35	表礫面、上下欠損、括れ部敲打少、敲打時欠損の未製品か	未105
	17I6	17-J6最下層		輝石安山岩	新第三紀、緑色、捕獲岩含	3/5	13.9	11.8	3.8	838.22	表裏礫面、縁辺両面二次加工、括れ部敲打入念、製品もしくは敲打時欠損の未製品	未106
	17J1	17-K1-0		安山岩	緻密質	不明小片	8.7	7.7	2.1	126.02	括れ部破片、敲打痕少、製品か未製品か不明	未108
	17J8	17-K8	17	輝石安山岩	緻密質	1/5?	6.7	4.4	1.3	39.59	表礫面、頂部～括れ部破片、括れ部敲打少、未製品か不明	未109
	18I8	18-J8-1	3	ホルンフェルス		1/5	8.7	7.6	2	190.11	表礫面、括れ部敲打少、刃部不明、未製品か不明	未110
	19I9	19-J9-Eベ		ホルンフェルス		3/4-4/5	9.4	6.9	1.8	141	表礫面裏剥離面、刃部欠損、括れ部敲打少	未111
	16I9	16-J9-Eベ		輝石安山岩	第四紀	1/3	9.8	5.8	2	116.05	表礫面、刃部不明、未製品～放棄の製作時剥片か	未112
	表探	UTK 表探		頁岩	古期	完存?	9.6	7.1	1.9	181.37	表礫面、面上も少し敲打、一縁辺擦れ・摩滅、Scまたは磨製石斧未製品か	未113
	2区E表探	2区E 表探		ホルンフェルス		3/5-1-1	11.2	7.5	0.4	159.04	表礫面、一辺二次加工及び使用痕、未製品若しくは打製石斧未製品	未114
	2区E T2	2区E T-2		砂質頁岩	古期	3/4-4/5	10.3	8.4	2.4	212	表一部礫面、刃部粗い加工、括れ部片側敲打少、敲打時欠損未製品か	未115
	2区E T4	2区E T-4		ホルンフェルス		完存	15.8	6.3	1.7	127.1	細長い剥片素材、一辺二次加工及び使用痕、Scか	未116
	14I7	14-J7カクラン		砂岩	古期	2/5-1/2	9	8.4	2.5	194.03	上下不鮮明、頂部または刃部だが加工少なく使用痕もないため不明、括れ部敲打、敲打時欠損か	未118
	14I8	14-J8-10区カクラン		無斑晶ガラス質安山岩		1/3-2/5	5.8	7.1	2.7	100.33	括れ部～刃部の破片、一部二次加工、敲打時欠損か	未119
	14I8	14-J8-10区カクラン		デイサイト	新第三紀、緑色	7/10-4/5	17	12.2	5.8	1537.7	表裏礫面残り、刃部粗い二次加工(頂部?)、括れ部敲打入念	未121
	14I8	14-J8カクラン		頁岩	古期	2/5-1/2	6.5	8	2.6	171.32	表礫面、刃部両面に近い二次加工、微小剥離痕、製品か	未122
	15I8	15-J8カクラン2		ホルンフェルス		1/2	8.5	6.8	2.2	134.26	細長い形態、表礫面、刃部二次加工片面+微小剥離痕、製品か	未123
	15I8	15-J8カクラン1		砂質頁岩	古期	完存	10.6	5.1	2.3	93.86	表一部礫面、刃部片面二次加工やや細かい、括れ部敲打少、製品か	未124
	15I8	15-J8カクラン1		輝石安山岩	第四紀	1/5-1/3	14	8.8	3.2	443.86	片面礫面、括れ部敲打少、上下逆か?二次加工なし	未125
	15I8	15-J8カクラン2		輝石デイサイト	新第三紀、緑色	1/3-2/5	13.4	15.7	5.2	1380.36	表裏礫面、括れ部敲打入念、上下逆の可能性あり	未126
	15I8	15-J8カクラン2		ホルンフェルス		3/5-4/5	11.6	7.4	3.5	336.74	表1/2節理面、刃部やや鈍角、縁辺粗い二次加工一部両面、括れ部敲打、ここで折れ欠損なので、敲打時欠損の可能性あり	未127
	15I8	15-J8カクラン2		ホルンフェルス		2/5	5.3	7.7	1.6	74.66	片面一部礫面、刃部二次加工ほぼ片面、若干擦れ・摩滅、括れ部敲打やや多、敲打時欠損の可能性もあるが、刃部は製品状	未128
	15I8	15-J8カクラン		ホルンフェルス		完存	18.3	10	4	740.73	表礫面、細長い形態、側縁～刃部片面二次加工、厚み残り放棄の未製品か	未129
	15I8	15-J8カクラン		ホルンフェルス		1/5-1/3	8.3	7.8	3.3	213.89	表礫面、括れ部にかけて二次加工片面、縦・横に折れ欠損、上下逆の可能性もあり、厚み残り	未130

第15表磨製石斧観察計測表

挿図番号	新グリップ ・クリット	出土遺構 ・クリット	取上 No.	石材	分類	遺存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考	仮No.
第306図1	44J4	44K4-1	26	透閃石岩	I	完存	3.2	1.7	0.7	6.1	研磨入念で平滑・光沢あり、研磨線状痕あり。鋭角な刃部微小剥離痕が上下端部にあり。		95
第306図2	44J0	44K0-10-18区		透閃石岩	I 小形薄手	1/2	2.6	1.8	0.7	6.3	敲打痕残らない入念な研磨、研磨線状痕残る。光沢あり、上端一部剥離は使用時か、		67
第306図3	45J0	45K0-表探		安山岩質凝灰岩?	I 薄手扁平	基部欠損、全体2/3程度か	2.9	1.8	0.7	5.9	研磨入念、敲打痕少し残り。刃部微小剥離及び剥離欠損		102
第306図4	44J2	44K2-14	75	粗粒玄武岩	II 定角(薄く板状)	1/4程度か	2.4	1.8	1.1	7.8	研磨入念平滑ツルツル、敲打痕若干残る。断面表面は平ら、表面やや丸みある。		94
第306図5	41I6	41J6-1		透閃石岩	I 扁平薄手	ほぼ完形、基部少し欠損	3.6	2.7	0.8	13	研磨入念で光沢あり、研磨線状痕あり、刃部僅かな欠損剥離及び微小剥離痕＝使用痕。長さ短く再生の可能性あり?		45
第306図6	46J0	46K0-4	71	透閃石岩	II 定角	完存	5.8	3.2	1.2	31.6	ほぼ全面入念な研磨平滑で光沢あり、敲打痕側面一部で残すのみ。刃部微小剥離＋線状		118
第306図7	44J4	44K4-5	6	透閃石岩	II 定角(薄く板状)	ほぼ完存	5.7	3	0.9	25.6	研磨平滑ツルツル光沢あり、研磨及ばない凹部に敲打痕少し残る。刃部近くの線状痕は使用痕か?基部端部若干欠損。刃部白色変		96
第306図8	SI01	SI01-1	203	玄武岩	II	ほぼ完形	6.7	3.4	1.4	45.5	表裏側面入念な研磨、刃部使用痕の剥離か?		2
第306図9	42I7	42J7-攪乱2		透閃石岩	II 定角	刃部一部欠損	5.4	3.5	1.4	38.3	研磨入念平滑ツルツルだが凹部に敲打痕少し残る。刃部微小剥離多。表裏と側面との境界明瞭な稜。基部端部も研磨明瞭。		135
第306図10	T-1	T-1上層		角閃岩	II 定角	完存	7.8	3.7	1.4	79	研磨入念平滑だが凹部及ばない。刃部周辺は研磨より入念。基部の剥離は使用時剥離か?刃部微小剥離＋摩滅		130
第306図11	47I2	47J2		透閃石岩	II 定角	2/3?	8.3	4.1	1.6	78.1	研磨入念平滑ツルツル。左側縁大きめの欠損剥離部も縁及び内部敲打・研磨で再生している。刃部細かい線状痕、基部の狭い段歩も研	ひび割れあり	125
第306図12	45I8	45J8-攪乱2		粗粒玄武岩	III 定角 基部細め	2/3~3/4	7.2	4.1	1.8	70.9	表裏刃部近辺は研磨入念で平滑ツルツルだが、これより上位では比較的敲打痕残る。側面は研磨入念。刃部微小剥離・擦れ。		145
第306図13	46I7	46J7-1	123	玄武岩?	II 定角	完存	8.8	3.3	1.7	64.2	研磨入念平滑ツルツル、敲打痕なし。刃部微小剥離、線状痕目立つところもある。基部上端微小剥離及び擦れ。		106
第306図14	SI02	SI02-床下4	7	緑色岩?	II	完形	7	2.6	1.1	31.1	やや不整、薄手、研磨入念光沢あり、刃部使用痕不明		8
第306図15	44J1	44K1-20	203	粗粒玄武岩	III 定角、やや乳棒にも近い	基部側1-2cm欠損	7.7	4.3	1.9	79.5	研磨入念で平滑ツルツル、特に刃部近辺入念。表面一部若干敲打痕残る。側面縁があるが面形成されず、断面レンズ状、上位では楕円。左側面やや鋭角な稜、刃部刃こぼれあり	若干被熱	82
第306図16	SI01	SI01-2	33	ホルンフェルス(泥質)?	I	完形	6.9	1.5	0.7	11.1			3
第306図17	46I7	46J7-3	66	粗粒玄武岩	II 定角?薄手扁平	3/4~4/5、基部欠け	5.5	3.3	1.3	29.7	成型時剥離縁辺で少し痕跡あり、研磨全体に入念丁寧だが、凹部・表面中央で敲打痕残る。研磨線状痕も少し残り。刃部微小剥離・ヒビ。側面平坦面なく、典型定角ではない。敲打痕多く残り、研磨部分的、刃部近く研磨目立つ。刃部微小剥離(研磨後)＋擦れ。	被熱少	109
第306図18	47J1	47K1-W ⁻ -2	40	粗粒玄武岩	II、幅狭い	2/3~3/4	5.5	3.5	1.9	52.2	研磨入念平滑ツルツル、光沢あり、敲打痕残らない。刃部微小剥離目立つ		128
第306図19	46J0	46K0-1-9区		透閃石岩	II 定角、若干左右非対	1/2	3.9	3	1.2	21.5	研磨入念平滑ツルツル、光沢あり、敲打痕残らない。刃部微小剥離目立つ		114
第306図20	41I2	41J2-N ⁺	3	透閃石岩	II 定角	2/3程度?	4.7	2.7	1.5	29.4	研磨入念で光沢あり、研磨線状痕あり、刃部僅かな欠損剥離及び微小剥離痕＝使用痕。		43
第306図21	44J1	44K1-21-22区		粗粒玄武岩	II 定角	刃部の4/5?、全体1/4~	2.2	3	1.9	125	研磨入念平滑、側面やや多く敲打痕残り。刃部微小剥離若干・摩滅・擦れ目立つ。	被熱?	83
第306図22	44J0	44K0-7	140	粗粒玄武岩	II 定角	1/2	4.9	3.6	2.4	64.6	研磨入念だが、表裏面の一部や右側面で敲打痕やや残る粗い研磨、刃部微小剥離痕やや		65
第306図23	SI05	SI05-11-D区		粗粒玄武岩	II	下1/2	4.8	4.6	1.5	37.3	全体入念な研磨だが、敲打痕を残すところあり、刃部刃こぼれ部分も研磨メンテナンス、刃部周囲若干の線状痕。		18
第307図1	40I7	40J7-6	154	安山岩(プロピライト)?	II 定角に近い	完形	6.7	3.3	1.8	62.9	比較的入念な研磨だが一部敲打痕残る、基部は研磨なく敲打痕残る。刃部使用痕の微小剥離痕＋敲打痕。表裏左右非対称。	カーボン?付着	41
第307図2	SI03	SI03-11	1	ホルンフェルス(泥質)	II	完形	8.3	2.7	1.2	47.6	下半入念な研磨、上半敲打痕少し残る。上端剥離は使用痕か		11
第307図3	44I5	44J5-2	72	玄武岩	II 細長	1/8程度か	11.2	3	1.8	77.6	全体に研磨、下方がより入念、敲打痕表面左辺近くやや多く残り。刃部欠損は使用時か。	被熱顕著、全体に赤変、刃部欠損割れ口	59
第307図4	44J1	44K1-19	13	粗粒玄武岩	III 定角、やや乳棒にも近い	基部のみ、1/2~1/3	3.2	2.1	1.6	12.8	研磨入念で敲打痕残らない。右側面のみ研磨若干粗い。側面との境明瞭な稜無く、断面楕円に近い。基部の小剥離は製作時か。		81
第307図5	46J1	46K1-3	61	粗粒玄武岩	III 定角、若干左右非対	完存	12.1	4.5	2.8	201	研磨やや粗く、敲打痕残る部分多。刃部の剥離部摩滅、基部頂部敲打痕	被熱赤変	124
第307図6	42I7	42J7-N ⁺		粗粒玄武岩	III 定角	完形	11.3	4.9	2.9	229	下半1/3程度は研磨入念でツルツル、上位は平滑だが若干ざらつく。裏面右辺近くでやや多く敲打痕残る。刃部微小剥離痕、基部使用時の敲打・剥離及び擦れ	被熱赤変及びひび割れ	51
第307図7	44I8	44J8-攪乱-5区1		角閃岩	III 定角	完存	12.8	4.5	2.8	266	研磨入念平滑ツルツルで敲打痕殆ど残らない。刃部剥離の面に敲打＋研磨、再生または製作時剥離?明らかな使用時剥離部でも線摩滅・表面平坦でやや粗い。表裏形状に近	被熱顕著	140
第307図8	44J0	44K0-15	314	粗粒玄武岩	III 大形定角	完存	11.6	5.4	3.4	335.7	研磨入念で平滑ツルツル。基部上端敲打痕多し擦れ、刃部使用時剥離＋顕著な敲打痕で丸み帯び平らになっている。敲打再生というより磨き石転用の可能性	被熱	72
第307図9	46J0	46K0-1-12区	222	粗粒玄武岩	III 定角	基部のみ、2/3~4/5	8.7	4.3	2.5	142.1	研磨入念平滑ツルツル、凹部に敲打痕わずかにあり。一部研磨線状痕。基部上端欠損剥離部に敲打痕、再生か		115
第307図10	44I8	44J8-攪乱-5区3		粗粒玄武岩	III 定角	4/5~5/6、本来の刃部まで数cm欠損か	9.3	4.2	2.2	161.2	研磨入念平滑ツルツルだが敲打痕少し残る。刃部欠損だが、割れ口不明瞭ながら摩滅しており、再生または転用の可能性がある。基部端部擦れ・敲打		141
第307図11	SI04	SI04-1		粗粒玄武岩	III	完形	13.2	5.4	2.6	324	全体やや不整、部分的に敲打痕残るが成品。研磨入念、刃部剥離は使用痕か。		14
第307図12	SI02	SI02-床下6	5	閃緑斑岩	III	基部欠損	11.7	4.9	2.9	268	左右非対称、研磨研ね入念だが下半1/3程度はやや粗い研磨、刃部若干の微小剥離、中位階位帯状に研磨部分? (装着時の痕跡か?)		9
第307図13	42I7	42J7-攪乱1		粗粒玄武岩	III 定角やや薄い	1/2~1/3	6.8	4.6	2.5	125.5	研磨入念丁寧で敲打痕残さない。表面多くある線状痕は傷。基部端部擦れ・敲打		136
第307図14	45J1	45K1-3	170	粗粒玄武岩	III 定角	基部のみ、1/3~2/5	5.1	3.8	1.8	48.4	左右で厚み異なる。表裏入念な研磨だが側面はやや粗く敲打痕残る。基部上端も研磨入念。		105
第308図1	44I5	44J5-2	77	緑簾石片麻岩	III 定角	ほぼ完存	13.3	5.4	3.3	395.3	研磨入念だが敲打痕若干残る。裏面の割れ欠損面では顕著な敲打痕＋磨り痕で製作時剥離または再生。表面刃部は使用時剥離だが敲打痕や摩滅があり剥離後も使用。上端も敲打痕＋磨り痕あり。転用磨き石との判断不可		60
第308図2	SI01	SI01-2	345	粗粒玄武岩	III	上端一部欠け	12.2	5.2	2.8	231	乳棒状、全体研磨入念だが若干敲打痕残り。刃部微小剥離＋摩滅	被熱	5
第308図3	SI04	SI04-2		粗粒玄武岩	III	完形	16.8	7.1	4	649	表裏側面上位2/3敲打痕残すが成品。刃部刃こぼれあり。		13

第15表磨製石斧観察計測表

挿図番号	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	分類	遺存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考	仮No.
第308図4	44J0	44K0-15	167	流紋岩質溶結凝灰岩?	Ⅲ直角	4/5~5/6	18.4	8.1	4.4	858	全体に研磨入念で平滑だが凹部に敲打痕少し残る。左側面~刃部の欠損は使用時の欠損折れか、刃部微小剥離痕多。	被熱顕著	71
第308図5	42I3	42J3-6	10	安山岩(プロピライト)	Ⅲ直角	刃部欠損、4/5~5/6?	15.3	6.2	3	423	研磨入念、表面丁寧、側面やや丁寧、裏面やや粗い研磨。一部敲打時の剥離残。下端の剥離・欠損は使用時で、再生使用無しか、基部も使用時の剥離欠損あり。	被熱顕著、赤変及び黒変orタール付着	47
第308図6	SEC T-6	SECT-6-2		粗粒玄武岩	Ⅲ	3/4~4/5、基部欠け	14.6	7.8	4.3	746	敲打痕少し残すが概ね入念な研磨、刃部の剥離は使用痕か。		31
第309図1	44J1+79I6	44K1-17+ア9J6	124	安山岩(プロピライト)	Ⅲ直角	刃部欠損、4/5~5/6	12.1	4.8	2.8	244	2点接合、側面も含め、表側1/2が研磨入念でツルツル、残りがかなり敲打痕残す。側面の半分で明確に分かれる。裏面の凹みは内部に敲打痕ある。	被熱顕著 2点間の距離は70-100m	37
第309図2	44J1	44K1-N^	77	角閃岩	Ⅲ定角厚みあり	基部のみ、1/3~1/4	11.4	3.6	3.6	244	研磨総じて入念丁寧、表面中央~右側やや敲打痕残る。推定完存20cm近い大形か。	被熱赤変	84
第309図3	45I8	45J8-攪乱1		粗粒玄武岩	Ⅲ定角厚手	1/3~1/4	6.7	4.3	3.4	99.4	研磨入念多くが平滑ツルツルだが若干敲打痕残る。基部端部敲打痕。断面表側では丸み弱く、裏側では丸みを帯びている。	被熱顕著	144
第309図4	45I8	SD04、45J8-25区-45J8-10区		粗粒玄武岩	Ⅲ	ほぼ完成 2点の接合	15.7	5.1	3.5	441	研磨入念でツルツルだが、裏下方1/3では敲打痕残す。基部研磨後の敲打・磨れあり、使用痕か、刃部微小剥離、剥離のリング敲打で不規則になっておる。		24
第309図5	44J1	44K1-19	156	粗粒玄武岩	Ⅲ直角	4/5~5/6	10.6	6.9	3.2	318	成品。敲打痕若干残るが概ね全面研磨。刃部付近や表面一部などでは敲打痕残らない研磨。刃部微小剥離+細かい線状痕=使用痕。上端欠損にかかる縁部分細かい剥離があり欠損も敲打つておる。裏面は平らな面となっており再生		未34
第309図6	79I5	ア9J5-攪乱		安山岩(プロピライト)?	Ⅲ直角	1/2~2/3	12.8	6.6	3.2	392	研磨入念平滑ツルツルだが凹部に敲打痕残る。表面の剥離群は使用時剥離?刃部微小剥離・摩滅潰れor敲打、やや大きな剥離もある。あまり再生せず使用継続か。	被熱顕著、赤変	133
第309図7	44J2	44K2-7	125	粗粒玄武岩	Ⅲ直角	1/2~1/3	12.1	4.9	3.4	191.1	研磨入念だが上位やや粗い研磨で、敲打痕少し残る。刃部側縁やや上まで鋭角な刃、微小	被熱	90
第309図8	44I8	44J8-攪乱-5区2		粗粒玄武岩	Ⅲ直角	1/2~2/3	7.3	5	2.5	153	研磨入念だが表の方がより丁寧で裏面では線状痕目立つ。刃部欠損だが割れ口滑らかで、磨り痕不明瞭ながら再生の可能性あるか。		142
第309図9	45I7	SD04、45J7		安山岩(プロピライト)	Ⅱ	下1/2	6.1	4.3	2.1	98.4	入念な研磨、若干の刃こぼれ、上端の割れ部分も平滑で敲打・研磨による再生の可能性		23
第309図10	44J0	44K0-8	85	粗粒玄武岩	Ⅲ直角	1/3	3.2	4.9	2.2	48.0	研磨入念だが、一部敲打痕若干残る。刃部微小剥離痕あり。		66
第310図1	44J1	44K1-17	351	粗粒玄武岩	Ⅲ定角やや薄い	基部のみ、1/3~2/5	7	5	2.7	130.1	研磨平滑入念で線状痕残る。敲打痕も凹部に若干残り。上端鋭角、反手に敲打痕+擦れ。		79
第310図2	44J1	44K1-4	10	粗粒玄武岩	Ⅲ定角厚みあり	基部のみ、1/3~1/4	7.1	4	3	116.01	全体に入念な研磨、凹部に敲打痕残り、基部上端も敲打痕。		74
第310図3	44J2	44K2-2	105	粗粒玄武岩	Ⅲ直角	基部のみ、1/2~1/3	5.4	3.7	2.9	78.7	表面は研磨入念だが側面~裏面はやや粗く、敲打痕やや残り。研磨線状痕も残り、凹凸ざらつき残る。裏面の僅、上端基部使用の敲打・擦り研磨入念平滑だが裏面辺近く等で敲打痕やや残る。		87
第310図4	44J1	44K1-17	189	粗粒玄武岩	Ⅲ直角	基部のみ、1/2~2/3	5.9	4.6	3.5	135.4	研磨入念平滑だが裏面辺近く等で敲打痕やや残る。		78
第310図5	40I5	40J5-1	23	粗粒玄武岩	Ⅲ直角	1/3~2/5、刃部欠損	6	4.4	2.9	109.8	研磨概ね入念だが、敲打痕やや残る。基部近くは入念。		39
第310図6	45I9	45J9-2	223	粗粒玄武岩	Ⅲ定角厚みあり	基部のみ、1/3~1/4	5.7	4.1	2.8	85.1	研磨丁寧、入念ツルツル、敲打痕表面左側でやや残り、端部若干の擦れ、敲打痕・微小剥離	被熱黒変	100
第310図7	45I7	SI09-攪乱3、45J7		粗粒玄武岩	Ⅲ	上1/2	6.7	4.8	3.2	147.9	敲打痕残り、研磨やや粗い、側面はやや丁寧	被熱	21
第310図8	46J0	46K0-2	101	粗粒玄武岩	Ⅲ定角厚手	1/3~1/4	4	3.9	3.2	83.5	研磨入念平滑だが敲打痕少し残る。基部端部も研磨。		117
第310図9	SI01	SI01-1	100	粗粒玄武岩	Ⅲ	1/2	7.7	4	2.9	132.4	側面敲打痕のみ、表裏面研磨入念だが、敲打痕も残る		1
第310図10	45I7	45J7-1		粗粒玄武岩	Ⅲ定角厚みあり、かなり	1/2~1/3	8.4	5.9	4.5	305	表裏で若干幅異なる。研磨概ね入念だが上位等一部では敲打痕残りやや平滑さ弱い。	少し被熱	97
第310図11	45I9	45J9-1	47	粗粒玄武岩	Ⅲ直角	基部のみ、1/3~1/4	4.9	3.6	2.8	70	研磨概ね丁寧、入念ツルツル、敲打痕若干残り、側面がより入念な傾向有り、端部若干の擦	被熱赤変	99
第310図12	SI05	SI05-5	247	粗粒玄武岩	Ⅲ	上位1/3~1/4	4.7	4.5	2.9	80.5	割れ面敲打痕、再生または敲き石転用。他欠損時?剥離面		16
第310図13	SI01	SI01-2	339	粗粒玄武岩	Ⅲ直角	1/3~1/4	5.8	4.5	3.2	104.4	研磨は若干(側面は目立つ)で敲打痕多く残す。基部端部も敲打痕残る。形は整っており成品の可能性あり。		未2
第310図14	44I5	44J5-3	28	安山岩(プロピライト)	Ⅲ定角、厚みあり	1/3~2/5	5.7	4.6	3.8	117.8	研磨入念丁寧だが一部縁辺近くなどで敲打痕残る。		62
第310図15	45I9	SD04、45J9-20区		粗粒玄武岩	Ⅲ	上1/3	5.2	4.3	3.2	99.1	敲打痕少し残るが概ね入念な研磨		25
第311図1	44I8	44J8-18区攪乱		粗粒玄武岩	Ⅲ定角厚手	1/2~1/3	6.2	4.3	3.9	123.2	研磨入念だが、敲打痕やや多く残り、他と比してやや粗い研磨。	被熱一部赤変	139
第311図2	44I9	44J9-5	16	安山岩(プロピライト)	Ⅲ直角	1/3~2/5	6.2	4.4	3.1	155.6	研磨、面の中央良く磨かれ、辺近くはやや敲打痕残る。断面で表面側湾曲だが裏面は平坦に近い。裏面下端近くの剥離は割れ欠損時の剥離か、上端敲打土磨り直は使用痕か。	被熱	64
第311図3	44J1	44K1-18	41	粗粒玄武岩	Ⅲ定角やや厚みあり	基部のみ、1/4~1/6	3.1	3.4	2.7	46.1	研磨平滑入念、敲打痕一部残り。		80
第311図4	41I2	41J2-1	8	玄武岩	Ⅲ定角、厚みあり	1/2~1/3	8.8	6.7	2.9	322	研磨入念だが敲打痕残るところも多い。側面、刃部及び辺は研磨入念でツルツル。刃部微	被熱?黒変	42
第311図5	46I7	46J7-7	136	透閃石岩	Ⅲ直角	3/4~4/5?	9.7	6.3	3.1	309.8	研磨裏面は丁寧平滑でツルツル、側面はざらつく。側面上位で剥離後敲打、括れ部で入念な敲打、他側面で敲打痕目立つ。刃部一部使用時欠損。基部上端主に欠損?→剥離後縁辺敲打で縁を滑し、折れ欠損を再生か。		110
第311図6	SI05	SI05-10	24	粗粒玄武岩	Ⅲ	1/2~1/3	7.7	5.2	3.3	202	刃部周辺剥離?→敲打・摩滅、成品として使用で良いか、表裏入念な研磨		17
第311図7	43I7	43J7-2	37	緑簾石片岩?	Ⅲ直角	1/2~2/3	8.6	5.5	3	232.6	全体凹凸あり、凹部敲打痕残り、研磨部分は入念でツルツル平滑。面の中央や下方より入念。上端欠損面再生目的敲打痕のようにも見えるが不明瞭。刃部微小剥離は使用痕か。		57
第311図8	46J0	46K0-0		安山岩(プロピライト)?	Ⅲ直角?	1/3~1/2	4.6	4.1	2.9	66.7	断面横円状が整っている。刃部微小剥離、研磨入念平滑ツルツル、石剥離の可能性あり?		126
第311図9	44I4	44J4-S^e-1		閃緑斑岩	Ⅲ断面レンズ状	1/3~1/4	6.6	6.5	3.1	152.9	研磨入念だが敲打痕残る。裏の欠損剥離面、使用時欠損の可能性も残るが、面に敲打痕や磨れ痕あり、そのまま使用または再生使用、刃部微小剥離	带状の黒変被熱か	58
第311図10	40I4	40J4-4	26	粗粒玄武岩	Ⅲ直角	1/2~2/5、基部欠損	6.4	5	3.1	166.2	入念な研磨で敲打痕殆ど無い。刃部若干の刃こぼれ、厚みあり		38
第311図11	46J0	46K0-2	83	粗粒玄武岩	Ⅲ直角	基部若干欠損	9	5	2.8	210	表面や側面・裏面の一部で研磨入念平滑、裏面の多くは研磨粗く敲打痕残る。側面縁部の敲打細かく、整形ほぼ完成研磨後の再生状。上端敲打も再生の敲打か。転用砕石の可能性		116

第15表磨製石斧観察計測表

挿入番号	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	分類	遺存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考	仮No.
第311図12	SI01	SI01-4		含礫砂岩	Ⅲやや小	0.5?					刃部丸み帯び敲打+摩滅著しい、一部剥離は使用痕か。上端も敲打+摩滅著しい。表裏面は入念な研磨、欠損により再生転用で用いた使用か		6
第311図13	15J1	SD04,15K1		粗粒玄武岩	Ⅲ	1/2~2/3	6.2	4.8	2.7	117	側面やや敲打痕残るが概ね入念な研磨、刃部若干の刃こぼれ、表裏特に表面中央が緩やかに凹む一砥石転用?または厚みを減じる等の再生目的か。上端割れ口破壊後の敲打+研磨		26
第312図1	14J0	14K0-9	174	玄武岩	Ⅲ定角大形	完存					剥離残るがリングは潰され不明、敲打入念、研磨刃津近くなど若干一部。一部礫面のままか。上位やや大きく剥離された面も敲打。側面平坦となっていない。使用の可能性もあるが、敲打段階未製品か		未24
第312図2	14J0	14K0-6	40	デイスait?	Ⅲ定角	1/2~3/5	24.2	10.6	6.2	1874	剥離痕かなり残す。側面は入念な敲打、剥離の縁すような敲打。左右は対象だが表裏で非対称。側面狭い面		未22
第312図3	14J1	14K1-15	333	粗粒玄武岩?	Ⅲ定角?	完存	9.1	5.7	3.4	236	剥離痕残り一敲打で縁潰し、刃部面状に敲打入念、鈍角なまま。面中央近くはほぼ礫面残り、若干敲打研磨。形整っておらず敲打段階未製品で良いか		未30
第312図4	14I5	14J5-2	80	緑色岩?	Ⅲ定角?断面レンズ状、かなり大きな石釜	19は基部側	15.8	9.1	4.5	900	剥離は不明(リングの縁敲打で潰れ)、敲打は入念だが及んでいないところあり、研磨は部分的なのみ。刃部と側面整っておらず、敲打段階未製品で折れて放棄か	26と接合	未19
第312図5	SEC T-7	SEC T-7		ホルンフェルス(泥質)	Ⅲ定角	基部欠損、3/4~4/5	19.6	4.5+	664.0+	884.97	敲打段階の未製品。全面敲打のままで研磨なし。刃部若干磨り痕、上位折れ欠損。		未10
第313図1	14I9	14J9-8	45	粗粒玄武岩?	Ⅲ定角厚手	1/2~1/3	6.5	4.52.8	100	100.43	敲打ほぼ全面、研磨一部のみ、形は整っている。基部も整形の敲打痕、折れ欠損で放棄か。		未20
第313図2	17J0	17K0-1	10	不明	Ⅲ定角	1/2~1/3	9.5	4.2	2.5	127	石割類未製品か。基部近辺敲打による整形。研磨は若干?側面や裏面ではほぼ礫面のままのところあり。	実物不明	未52
第313図3	SI03	SI03-6	20	玄武岩?	Ⅱ定角	2/5~1/3	3.8	3.9	1.6	39.6	刃部近辺及び表の下方等研磨比較的に入念平滑、その周囲等は敲打痕残り。一部剥離痕も		未3
第313図4	11I3	11J3-2	19	粗粒玄武岩	Ⅱ定角	2/3~3/4	7.2	4.9	2.9	147.8	敲打+一部研磨・磨り痕、形は整っている。上位欠損で放棄?刃部付近擦れており使用の可能性あり。		未13
第313図5	10I5	10J5-3	25	粗粒玄武岩	Ⅱ薄手だがこの類としてはやや厚め	2/3~1/2	5.1	3.8	1.4	49.9	上位ツルツルだが礫面しかしている。下位は(剥離)一細かめの敲打+研磨若干。刃部丸みもつ。		未12
第313図6	16J0	16K0-1	33	粗粒玄武岩?	Ⅱ?	基部一部欠損	8.9	5.2	2.5	153.7	敲打+研磨で、側縁~刃部では入念な敲打+研磨。刃部はまだ丸み有す。研磨段階未製品	被熱?	未45
第313図7	16J0	16K0-6	24	粗粒玄武岩	Ⅲ定角?	1/2~1/3	8.9	9.2	3.4	569	敲打段階未製品か。礫面・剥離残り、剥離面等に敲打、研磨線状痕一部のみ。基部折れて放		未47
第313図8	14J0	14K0-6	19	閃緑斑岩	Ⅲ定角	1/2~1/3	9.6	6.3	3.8	287.52	敲打ほぼ全面、研磨刃部一部など、極一部。刃部微小剥離・擦れあり、使用の可能性。刃部鋭角にかなり研磨している。		未21
第313図9	17J0	17K0-1	65	粗粒玄武岩	Ⅲ定角	完存	18.7	9.9	4.9	1385	敲打段階未製品または成品。剥離一敲打、敲打入念。剥離ない礫面にも敲打+研磨若干の部分ある。刃部縁線上敲打、微小剥離+擦れ。側面平坦面できているが、左右ともやや表面側へ鈍角になっている		未53
第313図10	16J1	16K1-6	149	粗粒玄武岩	Ⅲ定角	1/2~2/3	8.2	5.1	3.5	222	研磨段階未製品または成品。敲打入念、研磨部分的だが平滑ツルツルなところあり。表の方がより平滑。基部使用による剥離欠損か。形状シンプルで整っている		未49
第313図11	16J0	16K0-3	198	緑色凝灰岩	Ⅲ定角	2/3~3/4	8.3	5.9	3	193.2	研磨初期段階未製品または成品。剥離一部残り、敲打ほぼ全面、剥離面も敲打、研磨刃部付近の一部のみ。刃部磨滅・あれて敲打または使用の擦れ	被熱	未50
第314図1	16J2	16K2-6	32	粗粒玄武岩	Ⅲ定角	2/3~3/4	11.7	5.9	2.7	262	研磨段階未製品または成品。非対称でやや整っていない。扁平礫素材で表面中央など加工なし。他の礫面では敲打+研磨若干。縁近くは剥離一敲打+研磨若干		未44
第314図2	16J0	16K0-1	5	粗粒玄武岩	Ⅲ	基部一部欠損	14.6	7.1	5.5	797	研磨段階未製品または成品。面剥離+敲打+若干研磨。上端は敲打時欠損または使用時欠損。刃部は鈍角なまま。形は敲打によりかなり整えられている		未5
第314図3	16J1	SD04,16K1		玄武岩?	Ⅲ定角?	完存	11.7	6.3	3.2	370	左右表裏非対称で刃部は丸み目立つ。表裏の面中央は研磨やや入念、外側も若干の研磨あるが敲打痕も多し残る。基部端部研磨。成品の可能性あり		未1
第314図4	SI01	SI01-1	59	粗粒玄武岩	Ⅲ定角厚手、かなり大型か?	1/2~2/5	10.4	7.7	4.7	523	表面中央付近は研磨入念平滑ツルツル、残りは敲打痕+若干の研磨、刃部付近はやや研磨多。断面の上下非対称。明瞭な使用痕なく、未製品で良いか		未14
第314図5	11I7	11J7-5	1	閃緑斑岩	Ⅲ定角	基部欠損、3/4~4/5	14.4	7.7	3.7	571	剥離一敲打+若干研磨。刃部非対称で形整っていない。上位割れ面も敲打+研磨?完成に近い未製品か		未16
第314図6	13I5	13J5-3	9	不明	Ⅱ?	1or3/4	8.2	2.9	1.2	1.2	石割類、またはその転用の可能性もあり、表裏面敲打、刃部状に鋭角で不明瞭だが研磨?摩滅?ある。上端は折れ欠損か?	実物不明	未48
第315図1	16J0	16K0-14	12	粗粒玄武岩	Ⅲ	完存	21.6	8.5	4.8	4.8	剥離~敲打段階未製品、礫面多く残るが、若干敲打加えられる部分もある。剥離部分・側縁等も敲打の有無部分による。表面の形状は	実物不明	未42
第315図2	16I7	16J7-9	85	粗粒玄武岩	Ⅲ	完存	18.4	11	6.7	6.7	表は礫面でも若干の敲打+研磨、裏面は数力所の大きな剥離の面で面上の敲打はあまりない。側面の敲打は一部入念。厚みとりの整形でまず放棄か?	被熱	未41
第315図3	16I7	16J7-7	72	粗粒玄武岩	Ⅲ定角?	完存	18	8.3	3.5	3.5	剥離一敲打、裏全体に剥離面。側面など一部は入念な敲打、また研磨が加えられているところもある。ほぼ礫面のままの部分もあり。形は整っておらず左右非対称	実物不明	未51
第316図1	17J0	17K0-0		ホルンフェルス	Ⅲ	1/2~2/3	15.7	9.1	4.3	4.3	剥離敲打初期段階の好例か。左右側縁稜形成で面となっていない。剥離一敲打+若干の研磨。剥離や敲打不完全で、ほぼ礫面のままのところもあり。欠損で放棄?礫盤やSeの可能性あり	実物不明	未36
第316図2	14J1	14K1-20	145	閃緑斑岩	Ⅲ定角?	完存	15.6	9.5	3.8	3.8	剥離一剥離面や縁への敲打、右下側大きめの剥離で厚さ薄くなっており、これで放棄の可能性もあり。橋田扁平礫素材。刃部~側縁鋭角で敲打痕と無	剥離敲打初期段階での放棄か	未35
第316図3	14J1	14K1-19	248	粗粒玄武岩	Ⅲ定角	完存	17.4	9.8	4	4	剥離一剥離面や刃部付近敲打側面や刃部面状に入念な敲打。敲打前半段階の好例か。断面でみて表裏非対称	実物不明	未24
第316図4	SI06	SI06-3	66	粗粒玄武岩	Ⅲ定角	完存	13.1	9.9	2.9	2.9	1辺二次加工+微小剥離、1辺微小剥離	R.F.orSe	4
	SI01	SI01-2	309	ホルンフェルス(泥質)	Ⅲ定角		4.5	5.3	3.1	94.49	表面入念な研磨、側面若干敲打痕残り。裏割れ面、定角式。		7
	SI02	SI02-2-C区	es39	玄武岩	Ⅲ定角		3.5	3.9	3.2		定角の中心部分、入念な研磨、被熱著しい	2片、注記は2片同じだが袋ではIK1KW	10
	SI03	SI03-4-C区		粗粒玄武岩	Ⅲ?定角		3.9	3.4	1.3	16.33	表研磨入念、裏割れ面、刃部と推定したがかなり鈍角で異なる部位の可能性あり		

第15表磨製石斧観察計測表

挿図番号	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	分類	遺存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考	仮No.
	SI03	SI03-イ1J6-4	50	玄武岩	Ⅲ定角	1/5~1/6					刃部~下半一部。表裏側面入念な研磨でツルツル。	被熱	12
	SI05	SI05-5	55	粘板岩	Ⅲ定角		4.6	3	2.7	34.23	若干敲打痕残るが、全面入念な研磨、刃部刃こぼれ状剥離、裏剥離面、再生使用の可能性		15
	SI06	SI06-3-B区		ホルンフェルス(泥質)	Ⅱ定角	側縁部破片、全体の1/2~1/3	4.4	3.7	2.1	23.23	表面研磨入念、一縁辺刃部状態で刃こぼれ使用痕、Sc等に転用の可能性あり。		19
	SI07	SI07-1-A区		粗粒玄武岩	Ⅲ定角	側縁部破片、全体の1/5~1/6	6.3	4.8	2	21.85	研磨入念だが敲打痕残る。縁近くはツルツル。		20
	イ5I7	SD04.イ5J7		玄武岩	Ⅲ定角		7.1	5	2.6	99.51	研磨入念、敲打痕残らず、割れ欠損面多、刃部近くの剥離は使用痕か		22
	イ5J1	SD04.イ5K1		玄武岩	Ⅲ	基部近く1/2程度か	7.1	4	2.9	96.38	敲打痕残りざらつきやや粗い研磨、整った定角ではない。石棒類の可能性あり。	被熱著しい	27
	イ4I6	SD15.イ4J6		玄武岩?	Ⅲ定角	1/4~1/5、上下欠損	3.2	3.9	3.2	67.32	研磨一部入念だが多くの部分で敲打痕残す。厚みあり。		28
	イ5I5	SD16.イ5J5		粗粒玄武岩	Ⅲ定角	1/5~1/6、上下欠損	2.7	4	1.8	25.15	一側面イキで刃部近くか、概ね入念な研磨。		29
	SEC T-5	SECT-5		粗粒玄武岩?	Ⅱ定角	基部片、1/2~1/3	3	2.3	0.7	7.55	上端基部イキ、概ね入念な研磨		30
	SEC T-6	SECT-6		粗粒玄武岩	Ⅲ?定角	基部片、1/5~1/10	3	3.1	2.4	25.66	研磨入念だが敲打痕残る。かなり厚みあり。		32
	79I4	ア9J4-6-9区		緑色凝灰岩	Ⅲ?定角	中位の破片、1/5 x 1/3	4.2	4.8	1.7	18.44	研磨入念だが敲打痕残る。断面稜(鈍角)あり。	被熱	33
	79I4	ア9J4-7	3	玄武岩	Ⅲ定角	小片	3.4	4.2	1.7	21.62	研磨入念だが敲打痕やや残る。断面稜(鈍角)あり。かなり厚手。		34
	79I5	ア9J5-E^	8	玄武岩	Ⅲ定角	刃部~側面イキの破片、1/5 x 1/3?	7.8	4.8	2.6	61.15	表裏とも線状痕残る研磨及び敲打痕も残る。側面の研磨は入念。刃部微小剥離あり。	被熱	35
	79I6	ア9J6-E^~1-25区			I?	1/3?	3.8	1.6	1.4	8.0	入念な研磨、長さ及び厚みある。石剣の可能性あり。断面レンズ状		36
	イ0I5	イ0J5-6	13	玄武岩	Ⅲ定角	1/20程度か	1.8	3.3	2.9	14.59	厚みある大形。敲打痕少し残るが概ね入念な研磨。	被熱	40
	イ1I4	イ1J4-1	24	玄武岩	Ⅲ定角	1/2~1/3	6.3	5.2	3	121.97	やや大形、厚みあり。研磨入念だが敲打痕一部残る。	被熱顕著	44
	イ1I7	イ1J7-3	76	玄武岩	Ⅲ定角	刃部~側面イキの破片、1/6~	4.8	5.3	2.7	59.22	研磨入念、刃部剥離後研磨で製作時剥離か?微小剥離もわずかにあり、かなり大形となるか	被熱	46
	イ2I5	イ2J5-2	3	粗粒玄武岩	Ⅲ定角	刃部の一部	3.6	2.3	1.9	18	研磨入念でツルツル。刃部若干の摩滅及び刃こぼれ。使用時欠損か。		48
	イ2I5	イ2J5-3	42	粗粒玄武岩	Ⅲ定角?	大形の中位部分か	3.2	7.6	2.5	40.64	側面の幅短め、大形か。研磨入念だが一部敲打痕残る。		49
	イ2I6	イ2J6-1	7	玄武岩	Ⅱ定角(薄く板状)	1/4				12.84	研磨入念、表裏にある剥離凹みは欠損時か。		50
	イ2I7	イ2J7-Pr2		玄武岩	Ⅲ定角	1/3~2/5	5.7	4.7	2.5	68.42	全体研磨だが、基部近くで敲打痕やや多く残り、他も少し残るところあり。		52
	イ2I7	イ2J7		閃緑斑岩	Ⅲ定角	刃部のみ	6.9	8	2.7	132.95	大形か、研磨入念でツルツルに近いが、部分的に敲打痕残る。刃部微小剥離痕あり。	被熱顕著	53
	イ3I5	イ3J5表層		泥岩(砂質)	Ⅱ(薄く板状)	1/6	3.7	3	0.8	7.89	全体に入念な研磨、研磨線状痕一部残り。	被熱少	54
	イ3I5	イ3J5-1	23	玄武岩	Ⅲ乳棒状	1/3~1/4	4.7	4	3.3	75.75	断面で定角のような様ない。敲打+研磨	被熱黒変、カーボン付着	55
	イ3I6	イ3J6-1	76	玄武岩	Ⅲ定角、厚みあり	1/10~1/15	6.1	2	2.2	24.58	表面、裏面より入念な研磨で線状痕残る。側面研磨やや粗い。全体敲打痕も少し残り。	被熱?	56
	イ4I5	イ4J5-3	20	粗粒玄武岩	Ⅲ定角?	刃部~側面の一部	4.1	5.8	2.5	19.53	研磨入念でツルツルだが敲打痕若干残り。刃部微小剥離痕あり。	被熱	61
	イ4I7	イ4J7最下層		角閃岩	Ⅲ定角	1/3	5	4.9	2.8	86.5	研磨入念で平滑ツルツルだが、敲打痕全体に少し残る。上端割れ面やや擦れている。		63
	イ4J0	イ4K0-11	22	閃緑斑岩	Ⅲ定角	基部のみ、1/3~1/4	4.5	4.2	2.8	66	研磨入念だが若干敲打痕残る。面中央は平滑ツルツル、上端硬弾痕は使用時か		68
	イ4J0	イ4K0-11	214	角閃岩	Ⅲ定角	基部のみ、1/2~2/5	7.3	5.5	3.3	66.25	研磨入念だが、剥離・敲打痕若干残る。側面や上端の割れ面も敲打痕や擦れ痕あり再生の可能性あり		69
	イ4J0	イ4K0-14	105	粗粒玄武岩?	Ⅲ定角	基部のみ、1/3~1/4	3.8	3.4	2.8	180.86	全体に研磨入念だが部分的に敲打痕残る。	被熱顕著	70
	イ4J0	イ4K0-18	41	粗粒玄武岩	Ⅲ大形定角厚みあり	基部のみ、1/3~1/4	4.8	3.9	3.9	87.71	研磨概ね入念だが、敲打痕やや残る。断面の角は接られているが、全体丸み帯び乳棒状にも近い。		73
	イ4J1	イ4K1-8	228	粗粒玄武岩	Ⅲ定角	1/2	8.1	8	3.7	271.43	研磨入念だが、敲打痕やや多く残っている。刃部使用時剥離、剥離後の敲打あり、刃部円刃状で長く、側面の平坦面短いか。		75
	イ4J1	イ4K1-9	52	粗粒玄武岩	Ⅲ大形定角		1.8	8.1	3.3	46.85	研磨入念平滑だが敲打痕やや残る。刃部割れ欠損面に敲打痕?擦れ痕あり、再生または転		76
	イ4J1	イ4K1-16	206	凝灰質砂岩?	Ⅲ定角	基部のみ、1/2~2/3	11.7	5.6	4.1	336.59	研磨入念平滑だが敲打痕少し残る。		77
	イ4J2	イ4K2-1-12区		閃緑斑岩	Ⅲ定角	刃部一部	2.2	2.5	1.9	8.18	研磨入念丁寧で平滑ツルツル、敲打痕一部に残る。使用痕不明。	被熱?	85
	イ4J2	イ4K2-1-23区		玄武岩	Ⅲ定角?	1/3 x 1/3	2.9	3	1.3	8.81	敲打痕残らず研磨入念平滑ツルツル、刃部若干の摩滅・擦れ、使用痕不明瞭。	被熱	86
	イ4J2	イ4K2-3	109	粗粒玄武岩	Ⅲ定角	刃部一部~側面、全体では1/8	11.8	3.9	3.5	116.42	研磨全体に入念平滑でツルツル、敲打痕若干残り。刃部微小剥離痕及び潰れ。	被熱顕著、赤変及びびひ割れ	88
	イ4J2	イ4K2-7	35	玄武岩	Ⅲ定角厚みあり	基部近いところの破片、全体の1/10~1/15	2.7	3.5	2.7	29.19	断面厚み有り隅丸長方形形状、幅と厚みの差少なく方形に近い。研磨平滑ツルツル、正面右側から側面剥離もしくは未研磨。	被熱	89
	イ4J2	イ4K2-8	203	玄武岩?	Ⅲ定角?		3.9	6.1	1.9	51.31	研磨入念平滑だが敲打痕少し残る。裏割れ面で磨製石斧以外の可能性も残るか	被熱?	91
	イ4J2	イ4K2-9	116	粗粒玄武岩	Ⅲ定角上位厚みあり	やや下方か、上下欠損	5	5.1	2.6	125.01	研磨入念平滑だが敲打痕少し残る。裏研磨面薄く剥離、右側面割れ面だが面滑らかで敲打再生の可能性ある。	黒変部あり被熱か	92
	イ4J2	イ4K2-14	1	凝灰質砂岩?	Ⅲ定角上位厚みあり、側面との境界	中位の側面部破片、1/5 x 1/3	3.9	3.9	2.4	63.28	研磨やや丁寧、敲打痕表裏で少し残り		93
	イ6J1	イ6K1-12	19		Ⅲ定角ではないか?		3.9	3.1	3.3	8.0	断面楕円、研磨入念線状痕あり、敲打痕わずかに残り、石剣類か	95の重複タブりまたは石剣のNo.?	95b
	イ5I9	イ5J9-1	27	粗粒玄武岩	Ⅲ定角	側面のみ破片、全体1/10程度	8.4	1.5	1.2	16.84	やや細長い形態?研磨入念平滑だが敲打痕若干残る。	被熱	98
	イ5I9	イ5J9-2-6区		粗粒玄武岩	分類不可	刃部一部	3.4	3	1.5	14.4	研磨入念平滑、裏面剥離		101

第15表磨製石斧観察計測表

挿図番号	新グリップ ・クリッド	出土遺構 ・クリッド	取上 No.	石材	分類	遺存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考	仮No.	
	15J0	15K0-3		粗粒玄武岩	Ⅲ?定角	刃部、1/4					研磨入念平滑ツルツルだが、敲打痕も比較的 多く残る。刃部微小剥離及び欠損剥離、刃部 ～側面にかけての欠損割れ面でも敲打痕あ	被熱?	103	
	15J0	15K0-最下層		粗粒玄武岩	Ⅲ?定角	表面～側 面、やや下 方部分か 基部のみ	4.6	5.9	2.9	78.13	研磨入念平滑ツルツルだが側面はやや粗い。	被熱?不明瞭	104	
	16I7	16J7-2	4	粗粒玄武岩	Ⅲ定角、稜 明瞭		3.3	2.8	2.5	34.33	研磨全体にやや粗いが平滑な部分もある。形 は整っているが、断面方形に近い。		107	
	16I7	16J7-2	124	粗粒玄武岩	Ⅱ定角薄手 扁平	4/5～5/6、 剥落欠損 部多	4.7	2.9	0.9	14.32	研磨入念平滑ツルツル、敲打痕裏面一部に残 る、刃部の欠損は使用時欠損か		108	
	16I8	16J8-NA ⁻ 1	S2	粗粒玄武岩	Ⅲ定角		4.9	4.7	2	46.25	研磨入念平滑、敲打痕若干残り、側面や刃部 付近より研磨入念、刃部欠損は使用時か		111	
	16I9	16J9-4	28	粗粒玄武岩	Ⅲ定角?	1/6～1/8	7.3	3.7	3	89.74	研磨入念平滑ツルツル、敲打痕殆ど無し、刃 部一部の凹みの縁磨かれており、欠損剥離を		112	
	16I9	16J9-SA ⁻ 1	14	粗粒玄武岩	Ⅲ定角	1/10～ 1/15	2.9	3.2	2.4	17.98	研磨入念平滑ツルツル、敲打痕殆ど残らな い。		113	
	16J1	16K1-2	46	ホルンフェル ス(泥質)	Ⅲ定角?	1/8～1/10	6.9	4	3.2	83.67	研磨入念平滑ツルツルだが上位では敲打痕や や多く残す。刃部近く使用時?線状痕。使用時 剥離の線研磨再生	被熱	119	
	16J1	16K1-2	51	閃緑斑岩	Ⅲ定角	1/3～1/4	11.2	6.2	2.6	171.4	研磨一部は入念平滑だが敲打痕多く残り研磨 不十分などところも多い。裏割れ面。未製品の可 能性も残るが、上下の折れは使用時の欠損	被熱	120	
	16J1	16K1-11	43	ホルンフェル ス(泥質)	Ⅲ定角	刃部～側 面の一部	6.1	4.9	2.4	36.31	研磨入念、敲打痕一部若干残る。刃部一部以 外欠損剥離。割れ面一部も摩擦・擦れ。再生	被熱?	121	
													122	
	16J1	16K1-14	44	粘板岩	Ⅲ定角	基部近く? の小片	6.1	2.2	1.5	14.68	研磨入念平滑ツルツルで敲打痕殆ど残さず。		123	
	17J0	17K0-1	1	閃緑斑岩?	Ⅲ定角	1/3～1/4	5	5.2	2.1	51.23	研磨入念平滑ツルツル、表面側面等で若干研 磨粗く敲打痕残る。刃部微小剥離・ひび割れ。	被熱顕著、内 部含め赤変	127	
	17J1	17K1-サブヘ ー 表採6-10区		角閃岩	Ⅲ定角	中位の破 片、1/5×	4.5	3.4	2.3	58.68	研磨入念平滑だが敲打痕少し残る。		129	
	T-3	T-3上層		凝灰質砂 岩?	Ⅲ定角	1/5～1/6、 基部近くか	2.4	3.7	2.7	36.89	研磨入念平滑ツルツルで敲打痕少し残る。	被熱顕著	131	
	2区E T-1	2区E.T-1		粗粒玄武岩	Ⅲ定角	1/3～1/4	4.9	5.9	2.7	100.02	研磨刃部周辺等入念平滑ツルツルだが敲打 痕少し残る。刃部近くのやや大きめの剥離及 び左側の大きな欠損部を敲打+研磨で再生。 刃部微小剥離土磨減		132	
	11I7	11J7-攪乱		玄武岩	Ⅲ定角?	1/6、基部	4.9	4.2	4.2	79.26	研磨入念丁寧だが、部分的に敲打痕多残 る。やや不整で、側面もやや平坦さ欠ける。	被熱顕著	134	
	12I7	12J7-攪乱		粗粒玄武岩	Ⅲ定角厚手	1/3～1/5	4.7	3.5	2.8	60.85	研磨入念丁寧だが、側面等一部で敲打痕残 る。厚手だが整った形。		137	
	14I8	14J8-攪乱		粗粒玄武岩	Ⅲ定角	1/5～1/6、 中位か	4.2	5.8	4.1	175.14	研磨入念丁寧だが、側面等一部で敲打痕残 る。側面平坦明瞭。	被熱	138	
	15I7	15J7-攪乱2		デイサイト?	Ⅲ定角?	刃部一部 のみ、1/8 ～1/10か	5.2	2.8	2.3	20	研磨入念だが敲打痕少し残る。刃部擦れ・摩 減。		143	
	15I7	SD04.15J7	37	玄武岩	不明		6	8.7	2.8	177.68	ほぼ剥離段階の未製品。上位折れで放棄?厚 み残る。裏面はほぼ礫面のままで若干敲打 痕ある。刃部等縁辺一部磨り痕。		未4	
	10I6	SD12.10J6-3 区		玄武岩?	Ⅲ定角?	1/3～1/4	5.1	4.2	2.2	49.39	敲打～研磨段階の未製品。研磨部分的または 入念さ粗密あり。折れに伴う剥離部分でも敲打 痕土磨り痕あり。		未6	
	SEC T- 3	SEC T-3		閃緑斑岩	Ⅲ定角?	1/3～1/4	4.8	3.7	2.6	48.95	製品または研磨段階未製品。整った形態。敲 打+若干の研磨で一部は平滑ツルツル。		未7	
	SEC T- 5	SEC T-5		閃緑斑岩?	Ⅲ定角?	1/6～1/10	2.8	6.1	2.6	53.16	刃部・裏面とも敲打+若干の研磨・磨り痕。 刃部鋭角な様ではなく面状。敲打途中で側縁 ～刃部を研磨か?		未8	
	SEC T- 6	SEC T-6		粗粒玄武岩	Ⅲ定角?	1/2～2/3	8.6	5.9	2.7	185.43	敲打+磨り痕だが、礫面のままの部分も多。裏 面剥離のまま、形整える段階で折れ等で放棄		未9	
	10I4	10J4-SA ⁻ 1	10	粗粒玄武岩	Ⅲ定角	1/5～1/6	5.8	9.7	3.8	257.85	剥離～敲打はじめ段階で折れて放棄か、側面 敲打密。刃部も若干敲打、厚みのある左上 部分剥離敲打で薄くしようとしている。	被熱一部黒変	未11	
	12I7	12J7		玄武岩	Ⅲ定角?	2/3～3/4	13.1	6.2	2.8	272.09	剥離～敲打だが面中央は礫面のまま残る部分 も多。刃部近くや側面では敲打痕密なところ もある。刃部面状で若干の研磨。表面側大きく剥 離、剥離面も敲打があるが縁辺鋭角なままで、完 成さず放棄か	被熱?	未15	
	13I6	13J6-1	144	閃緑斑岩	Ⅲ定角、乳 棒状にも近	2/3～1/2	13.6	6.1	4.3	266.38	物不明		未17	
	14I3	14J3-2	1	ホルンフェル ス(砂質?)	Ⅲ定角	基部欠損、 5/6程度か	12.3	5.3	2.2	266.38	剥離～敲打+研磨で剥離も残る。敲打は厚め のところ、側面入念、研磨は刃部付近等一部 のみ。ほぼ礫面のままのところもあり、刃部微小 剥離あり使用の可能性。敲打段階未製品とす るが、打製石斧とも類似		未18	
	14J0	14K0-8	318	閃緑斑岩	Ⅲ?	完存	9.1	5.7	2.1	122.56	ほぼ全周剥離、敲打無し。礫面も残す。片刃状 で一面からの加工主。刃部微小剥離痕あり、 Scや礫器の可能性あり。		未23	
	14J0	14K0-16	94	粗粒玄武岩	Ⅲ定角	中位か、 1/4～1/6	4.8	7.7	3.6	204.76	敲打+研磨(やや裏面丁寧)、完成品の可能 性もあり。	被熱顕著	未25	
													19と接合	未26
	14J0	14K0-最下層	4	粗粒玄武岩	Ⅲ定角	刃部～側 面一部、 1/6～1/8	4.4	3.7	2.8	38.76	敲打入念、敲打段階未製品。刃部小さめの剥 離は、整形時敲打または使用痕、刃部側から の加撃で欠損。		未27	
	14J1	14K1-7	9	デイサイト	Ⅲ定角	1/2～2/3	10.3	8	3.8	471.54	剥離+敲打、一部若干研磨、側縁近くの厚み ある剥離部分など敲打入念。礫面も残る。折 れて放棄?		未28	
	14J1	14K1-12	28	閃緑斑岩?	I～II	1/2程度か	3.3	2.3	1.3	14.3	剥離?～敲打細かめ一研磨一部、石棒類の 可能性あり。		未29	
	14J1	14K1-16	144	粗粒玄武岩	II	基部近く?	3.6	4.5	1.5	34.73	敲打+一部研磨、石棒の可能性もあり		未31	
	14J1	14K1-18	73	粗粒玄武岩	Ⅲ定角?厚 手	1/2～2/3	8.5	5.7	3.1	195.2	敲打ほぼ全面だがほぼ礫面のままに近いと ころもある。裏面の方が敲打顕著。研磨は一部 のみ。断面の厚さ不均等で、厚めの部分で研 Fiまたは残核、側縁に若干の敲打痕あり、階段 状剥離、		未32	
	14J1	14K1-18	346	ホルンフェル ス(泥質)	刃部側欠損	1/2～1/3	6.4	7.7	3.1	189.46	敲打+研磨だがさほど平滑ではない。礫面の ままの部分も多。形整っておらず敲打途中段		未33	
	14J1	14K1-22-12区		ホルンフェル ス(泥質)	II	完存	8.1	3.9	2.1	85.98	研磨やや粗く敲打痕やや多く残る。研磨初期 段階または成品の可能性もある。側面平坦面 無く丸みある。	被熱	未37	
	14J2	14K2-16	167	玄武岩?	Ⅲ定角?	1/2～1/3	4.4	3.9	2.2	48.17		被熱	未38	

第15表磨製石斧観察計測表

挿図番号	新グリッド・ 出土遺構・ グリッド	出土遺構 ・グリッド	取上 No.	石材	分類	遺存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考	仮No.
	44J3	イ4K3-2	19	玄武岩	Ⅲ?	完存					敲打側縁で入念、剥離の痕跡も残る。礫面残るところも多いが、若干の敲打・研磨され、帯状の平滑部もある。上下端部とも敲打。刃部作出状ではなくハンマー・敲き石の可能性もある。	被熱顕著赤変	未39
	44J3	イ4K3-8	4	玄武岩	Ⅱ～Ⅲ	1/2～1/3	未計測!			103.79	敲打残るが研磨も部分的には丁寧で成品の可能性もある。下端割れ面も滑らかに敲き石転用の可能性もある。		未40
	イ6I9	イ6J9-1	58	砂岩	Ⅲ	完存				63.45	厚みのある楕円礫素材で、礫面のままの部分多。端部剥離→敲打で刃部作出目指されている(敲打段階未製品)。若しくは使用による敲打か(ハンマー・敲き石)。		未43
	イ9I9	イ9J9-2		緑色岩	Ⅲ定角?	1/2～2/3	13.1	8.3	5.8	998.87	敲打段階の未製品。面中央ほぼ礫面だが若干敲打+研磨か。表裏とも多い剥離欠損は敲打		未54
	T-3	T-3土手		閃緑斑岩?	Ⅲ定角厚手	1/2～2/3	13.1	6.8	5.1	581.46	敲打段階未製品。敲打入念、研磨も若干。側面左右で若干広さ異なる。		未55
	2区E T-1	2区E T-1		玄武岩	Ⅲ定角?	1/2～1/3	5.3	4	2.5	80.74	中央付近礫面若干敲打・磨り。剥離の縁など敲打されているが凹凸残り。折れ欠損で放棄	被熱	未56
	イ5I7	イ5J7-カクラン 2		粗粒玄武岩	Ⅲ	1/5～1/6	8.3	10.7	4	460.29	剥離段階未製品か。敲打殆ど見えず。石材は磨製石斧で多いもの。敲打は一部若干のみ。折れ欠損で放棄か。	被熱赤変	未57
	イ5I7	イ5J7-カクラン 3		透閃石岩?	Ⅲ定角?	1/3～1/4	3.8	5.2	2.8	88.45	敲打～研磨段階の未製品。部分的には入念な敲打。裏面中央など研磨で平滑ツルツルな部分もあり。		未58
	イ5I8	イ5J8-カクラン		角閃岩	Ⅲ定角	1/4～1/6	4.6	4.8	3	109.88	敲打→研磨だが裏面ではやや平滑、表面や側面ではややざらつく。左右非対称。		未59

第16表磨石・敲石観察計測表

挿入番号	新ゲリッド	出土遺構・ゲリッド	取上No.	石材	石材備考	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	残存率	特徴	通No.	磨石・敲石No.	
第320図12	F016	S D-12 イ0-J6	No.10	変質デイサイト		(6.1)	6.3	2.5	(127.0)		表割れ面敲打+磨痕、裏面磨痕、左側面割離敲打	24-442	II A-9002	
第320図	F518	イ5-J8 27区		輝石安山岩	第四紀	7.6	5.4	1.8	104.0	完存	表裏側面磨痕	19-129	II B-8061	
第320図	SK33	S K-33	No.7	輝石安山岩	第四紀	8.1	7.5	2.7	228.0	完存	表裏側面全周磨痕	24-430	II B-3021	
第320図	F517	S D-04 イ5-J7	No.57	多孔質安山岩	第四紀		10.3	7.0	3.0	275.0		左右の対応側面に割離敲打による凹み 作出、表裏側面全周磨痕	24-448	II B-5014
第320図	F6J0	イ6-K0-3	No.120	輝石安山岩	第四紀	11.7	9.2	2.3	367.0	完存	表裏側面磨痕	19-137	II B-9006	
第320図	F7J0	イ7-K0-1	No.33	多孔質輝石安山岩	第四紀	11.7	9.4	2.6	449.0	完存	板状やや大、表裏側面磨痕	19-92	II B-5153	
第320図	F6J0	イ6-K0 最下層		輝石安山岩	第四紀	12.8	9.3	2.8	418.0	完存	板状やや大、表裏側面磨痕	19-132	II B-8094	
第320図	F4J0	イ4-K0-16	No.151	輝石安山岩	第四紀	7.6	6.7	2.7	230.0	完存	周縁凹凸著しい、敲打及び使用痕か。	19-99	II B-6146	
第320図	F218	イ2-J6 P-4		頁岩	古期	6.0	5.6	4.5	216.0	完存	全体磨痕、上下端敲打	19-143	II C-57	
第320図	F218	イ2-J6 P-8		輝石安山岩	第四紀	5.9	4.6	4.2	166.0	完存	磨痕やや多、上下端+側面一部敲打	19-144	II C-58	
第320図	F6J1	イ6-K1-15	No.11	流紋岩		8.7	6.5	2.5	178.0	完存	被熱、表裏+4側面磨痕、下端敲打痕	18-20	II A-8014	
第320図	F015	イ0-J5-6	No.11	輝石安山岩	第四紀	8.2	5.9	3.0	222.0	完存	下端強い磨痕	19-145	II C-65	
第320図	F4J0	イ4-K0-5	No.209	輝石安山岩	緻密質	17.7	8.7	6.4	1577.0	完存	表裏側面磨痕、上下端敲打	18-52	II B-1412	
第320図	F6J0	イ6-K0-9	No.49	溶結凝灰岩	産地不明	18.8	9.6	6.9	1729.0	完存	表裏強い磨痕、上下端敲打	18-56	II B-1443	
第321図1	F519	S D-04 イ5-J9 10区下層部		輝石安山岩	第四紀	10.0	6.3	3.6	337.0		表裏側面全周磨痕、凹み2 : 3、左右側面 対向部に凹み各1	24-455	V-1004	
第321図2	F4J0	イ4-K0-17	No.24	輝石安山岩	第四紀	11.2	6.8	4.6	528.0	完存	実物不明	18-46	II B-1380	
第321図3	SD16	S D-16	No.48	輝石安山岩	第四紀	9.9	7.2	6.9	690.0	完存	表裏側面磨痕、2~3箇所敲打	19-142	II C-52	
第321図4	SD13	S D-13	No.4	輝石安山岩	第四紀	9.4	8.1	5.8	675.0	完存	表裏側面磨痕、上下端敲打痕、凹み表1	24-472	II B-5176	
第321図5	F414	イ4-J4 最下層		黒雲母花崗岩		14.0	7.8	5.2	885.0	完存	被熱、図の凹みは自然、表裏磨痕、上 下端敲打	18-30	II B-1156	
第321図6	F4J1	イ4-K1-サブトレ 上層		輝石安山岩		6.3	6.1	3.7	243.0	完存	凹部表1・裏1 中央の凹部も磨痕、側 面磨痕、定製状	21-231	V 6027	
第321図7	F6J1	イ6-K1-12	No.11	輝石安山岩	第四紀	8.6	6.0	3.2	211.0	完存	凹部表1・裏1・側面+1、表裏側面磨痕	21-226	V 5018	
第321図8	F4J1	イ4-K1-15	No.401	スコリア質玄武岩	赤色	5.5	5.1	5.0	104.0	完存	円柱形、凹部表1・裏1、側面磨痕	21-230	V 6026	
第321図9	F016	S D-12 イ0-J6	No.20	珪化岩	白色	6.3	6.1	3.7	192.0	完存	表裏側面敲打+磨痕、凹み1+1	24-471	V-6006	
第321図	F117	イ1-J7-1	No.78	多孔質輝石安山岩	第四紀	8.7	7.1	4.1	368.0	完存	凹部表1・裏1・側面1、表裏磨痕	21-224	V 5006	
第321図	SEC T6	S E C T-6		多孔質輝石安山岩	第四紀	6.2	5.7	5.6	248.0	完存	整形の立方体で、6面に凹み、図上端の 1箇所は浅い凹みだが残りは円錐状で深 く、内部一部に磨痕	24-498	V-7014 (角)	
第321図	SEC T6	S E C T-6		輝石安山岩	第四紀	8.1	6.6	4.8	243.0	完存	表裏側面やや弱い磨痕、凹部1 : 2、側 面2 : 1、上~右側面2つの凹み、凹み表 裏では円錐状、一部敲打痕状	24-496	V-1009	
第321図	F4J2	イ4-K2-Nベ3	No.280	砂岩	古期	(8.9)	8.2	5.7	(535.0)	一部 欠損	凹部表1・裏1・側面2 : 1、上端も敲打+ 凹1、表裏磨痕	21-223	V 5003	
第321図	F6J1	イ6-K1-3	No.83	輝石安山岩	緻密質	(8.8)	5.25	3.1	(197.0)	一部 欠損	上端敲打痕+若干磨痕	20-155	III 1125	
第321図	F4J1	イ4-K1-Sベ4	No.282	ホルンフェルス		10.0	6.1	1.8	193.0	一部 欠損	表裏磨痕、上端刺離欠損、下端剥離+刺 離にかかると縁部分に敲打、磨製石斧未 製品の可能性あり	20-199	III 3044	
第321図	F6J0	イ6-K0-2	5-16	特殊敲石	ドレ イト	No.187	(9.2)	(7.2)	2.8		側縁一部剥離+敲打、上端一部敲打、 ハンマーまたは磨製石斧未製品	26- 1354	III-4020	
第321図	F015	イ0-J5-Nベ2	No.31	輝石安山岩	第四紀	(9.2)	6.4	5.6	(469.0)	一部 欠損	上端敲打痕顕著+若干磨痕、下端も若 干敲打	20-195	III 3022	
第321図	F619	イ6-J9-2	5-18	特殊敲石	ホルン フェル ス	No.177	18.0	8.1	3.0		側縁一部敲打痕目立つ、表裏上下端部 も敲打+磨痕、磨製石斧未製品の可能 性もあり	26- 1352	III-4018	
第321図	F111	イ1-J1-2	5-19	特殊敲石	火山礫 凝灰岩	No.32	18.0	7.1	4.1		側縁一部剥離+敲打、表裏上下端部も 若干敲打、ハンマーまたは磨製石斧未 製品	26- 1353	III-4019	
第321図	F6J0	イ6-K0-9	5-20	特殊敲石	ドレ イト	No.25	21.2	8.7	2.9		表裏面磨痕、側縁一部敲打、磨製石斧 未製品の可能性も少しあり?	26- 1351	III-4017	
第322図1	F6J0	イ6-K0-Eベ2	No.107	砂質頁岩	古期	4.4	4.0	1.2	34.0		側面全周近く敲打+磨痕	20-192	III 2105	
第322図2	F6J0	イ6-K0-8	No.41	輝石安山岩	緻密質	5.2	4.5	1.8	63.0	完存	側面一部敲打+磨痕、下端敲打若干	20-185	III 2079(豆)	
第322図3	F6J2	S D-04 イ6-K2		頁岩	古期	5.0	4.1	1.3	37.0	完存	側面一部敲打+磨痕、下端敲打若干	24-454	III-2102 (豆)	
第322図4	F4J0	イ4-K0-20	No.79	輝石安山岩	第四紀	4.2	3.5	2.1	40.0		表裏磨痕、側面ほぼ全周敲打	20-186	III 2085	
第322図5	F517	S D-04 イ5-J7		輝石安山岩	緻密質	5.2	4.0	3.1	82.0	完存	表裏磨痕、側面~上下端部敲打+磨痕	24-458	III-2005	
第322図6	F4J2	イ4-K2-14	No.224	輝石安山岩	緻密質	3.7	4.3	1.4	39.0	完存	三角形のコーナー部剥離敲打+若干の磨 痕	20-177	III 2049	
第322図7	F4J0	イ4-K0-12	No.300	泥質チャート		5.0	3.5	2.0	48.0		一端部敲打、側縁敲打	20-176	III 2040(豆)	
第322図8	F216	イ2-J6-1	No.110	砂岩	古期	4.4	2.2	1.6	25.0		上下端部敲打+磨痕	20-173	III 2026	
第322図9	F015	イ0-J5-2	No.15	輝石安山岩	緻密質	4.8	2.6	1.5	30.0		表裏側面磨痕、一端部敲打痕	20-170	III 2019	
第322図	F016	イ0-J6-Sベ2		輝石安山岩	古期	4.4	3.3	2.7	55.0	完存	上下端部敲打+磨痕	20-172	III 2021	
第322図	F016	イ0-J6-Eベ	No.2	砂岩	古期	(4.7)	3.1	2.0	(40.0)	一部 欠損	被熱黒変、上下端部敲打+磨痕、一部剥 離	20-171	III 2020	
第322図	F717	F7-J7-6	No.14	玉髓		5.1	3.3	2.9	65.0	完存	一端部敲打、ハンマー	20-179	III 2065 (豆)	
第322図	F217	イ2-J7-Nベ		砂岩	古期	(5.3)	2.8	2.0	(4.8)		面一部敲打+磨痕	20-148	III 1046	
第322図	F6J1	S D-04 イ6-K1		輝石安山岩	緻密質	7.2	3.5	1.5	65.0		表裏磨痕一部砥石状、上端敲打	24-453	III-1016	
第322図	F015	イ0-J5-Nベ3	No.83	輝石安山岩	第四紀	6.3	3.9	2.2	66.0		石鏝か? 下端部浅い剥離+敲打	20-158	III 1140 (棒)	
第322図	F016	S D-12 イ0-J6	No.2			5.9	(3.7)	2.5	(86.0)	一部 欠損	上下端著しい敲打+磨痕、表裏面若干敲 打+磨痕、小ハンマー	24-469	III-1017	
第322図	F618	イ6-J8-0	No.47	砂岩	古期	6.15	3.5	2.8	101.0	完存	上下端敲打+磨痕著しく滑らか	20-160	III 1165	
第322図	F618	イ6-J8-1		輝石安山岩	新第三 紀	5.2	3.9	1.5	52.0		手持ち砥石か? 表裏帯状の磨痕、上下 端部敲打+磨痕	20-182	III 2072 (豆)	
第322図	F517	イ5-J7-1		輝石安山岩	新第三 紀	7.4	4.4	3.5	178.0	完存	上下端部+表面一部敲打+磨痕	20-207	III 3086(そ の他)	
第322図	F4J0	イ4-K0-12	No.87	珪化流紋岩	赤玉石 様	6.8	4.9	2.6	121.0	完存	下端割れ口に敲打痕	20-212	III 3113	
第322図	F217	イ2-J7		デイサイト	新第三 紀	(3.8)	(3.5)	(2.2)	(42.0)		面一部敲打+磨痕	20-149	III 1047	
第322図	F016	イ0-J6-Sベ2		砂岩	古期	(4.4)	2.2	1.6	(2.6)		敲打+研磨痕、石剣類未製品の可能性あ り	20-146	III 1038	
第322図	F4J0	イ4-K0-12	No.37	火山礫凝灰岩	新第三 紀	5.5	3.0	2.0	47.0		上下端部敲打+磨痕	20-175	III 2038	
第322図	2区E T1	T-1 2区E		安山岩	緻密質	6.2	2.5	1.9	36.0	完存	両端若干の敲打+磨痕	20-166	III 1205	
第322図	SEC T7	S E C T-7		ホルンフェルス		5.4	2.8	2.1	44.0	完存	上下端に敲打+剥離、狭い面だが一部磨 れ	24-500	III-2067	
第322図	SEC T6	S E C T-6		輝石安山岩	緻密質	6.3	3.1	1.5	43.0	完存	上端敲打+磨痕、表裏面も若干の敲打+ 磨痕	24-490	III-1139	
第322図	F4J1	イ4-K1-3	No.1	輝石安山岩	新第三 紀	7.2	2.3	1.8	50.0	完存	両端敲打+磨痕で平坦面。表裏も一部 敲打+磨痕	20-162	III 1175	
第322図	F4J1	イ4-K1-3	No.170	頁岩	古期	(6.2)	3.0	2.0	(5.8)		上下端敲打による剥離、割れ面に敲打	20-152	III 1081	
第322図	F6J0	イ6-K0 斜面		砂岩	古期	7.5	2.8	1.7	41.0		両端若干の敲打+磨痕	20-165	III 1199	
第322図	F416	イ4-J6-Sベ		頁岩	古期	8.1	2.4	1.3	45.0		上下端若干の敲打+磨痕	20-163	III 1191	
第322図	F436	イ3-J6-1	No.51	輝石安山岩	第四紀	6.5	3.0	1.6	(53.0)	一部 欠損	表裏面一部磨痕、上下端一部敲打	20-150	III 1053	
第322図	F4J0	イ4-K0-20	No.77	泥質チャート		7.7	3.0	1.5	49.0	完存	上下端部+表裏面敲打+研磨	20-169	III 1208 (棒)	
第322図	F6J0	イ6-K0-1	No.30	輝石安山岩	第四紀	7.6	2.8	1.9	59.0	完存	図上端敲打+磨痕	20-154	III 1122	
第322図	F415	イ4-J5-3	No.59	輝石安山岩	第四紀	8.1	3.1	2.0	80.0	完存	被熱、表裏面一部磨痕、上下端敲打	20-151	III 1057	
第322図	F418	イ4-J8 10区攪 乱		輝石安山岩	新第三 紀、緻 密	8.6	3.1	1.0	45.0	完存	表裏+端部敲打+研磨。砥石にも近い。	20-168	III 1207 (棒)	
第322図	F116	イ1-J6-2	No.25	頁岩	古期	9.1	3.6	1.2	70.0	完存	両端強い磨痕、表裏側面磨痕で滑ら か、光沢生じる研磨状で砥石に近い。	20-167	III 1206	

第16表磨石・敲石観察計測表

挿入番号	新ゲリッド	出土遺構・ゲリッド	取上No.	石材	石材備考	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	残存率	特徴	通No.	磨石・敲石No.
第322図37	49J8	イ9-K8	No.54	頁岩	古期	11.5	3.9	1.9	140.0	完存	棒状一端は敲打+磨痕、別の端部は若干の敲打痕、表裏磨痕~研磨痕	20-157	Ⅲ1130 (棒)
第322図38	46J1	イ6-K1-Sベ3	No.79	ホルンフェルス		12.9	4.0	2.6	229.0		棒状、上下端敲打痕+若干磨痕	20-156	Ⅲ1126 (棒)
第322図39	SEC T4	SEC T-4		砂岩	古期	(6.1)	(3.2)	2.7	(83.0)		端部敲打+若干の磨痕	20-161	Ⅲ1172
第322図40	SD13	SD-13	No.13	輝石安山岩	緻密質	(6.8)	(3.2)	(2.3)	(81.0)		上端~表裏面に於いて敲打密、面も敲打+磨痕若干	24-474	Ⅲ-1021
第322図41	46J1	イ6-K1-15	6-41	特殊敲石	ドレライト	No.63	11.1	5.4	5.2		一側縁敲打著しい。上下端部も若干敲打、ハンマー?	26-1349	Ⅲ-4015
第322図42	46J1	イ6-K1-7	6-42	特殊敲石	ドレライト	No.115	9.9	3.9	(5.1)		上端敲打+著しい磨痕、側面剥離+敲打+磨痕	26-1343	Ⅲ-4009
第323図1	44I3	イ4-J3-2	No.3	輝石安山岩	第四紀	4.0	3.9	3.4			全体に敲打+若干の磨痕、ハンマーか	20-174	Ⅲ2027 (豆)
第323図2	46J0	イ6-K0-1	No.26	脈石英		7.8	7.2	3.8	308.0	完存	側面全周敲打、一部磨面状	20-202	Ⅲ3060(その他)
第323図3	40I6	SD-12 イ0-J6	No.44	砂岩	古期	7.2	5.8	5.0	248.0		側面数カ所敲打、ハンマー	24-470	Ⅲ-3017(その他)
第323図4	45I7	イ5-J7 攪乱-3	7-05	特殊敲石	ホルンフェルス	8.4	7.4	5.6	517.0		上端+側面数カ所敲打痕	20-201	Ⅲ3059
第323図5	SI03	S1-03-10	7-05	特殊敲石	ホルンフェルス	No.12	8.2	7.5	3.8		上端~一側縁剥離→敲打、礫器や打製石斧転用の可能性あり	26-1347	Ⅲ-4013
第323図6	42I7	イ2-J7		ドレライト		(7.3)	6.1	2.2	(154.0)		上~右側面敲打、下端割れ面に若干の敲打痕	20-211	Ⅲ3112
第323図7	44J0	イ4-K0-19	7-07	特殊敲石	輝石デイスサイト	No.74	8.2	6.3	2.5		上端~側縁敲打+磨痕、磨製石斧または独石未製品?	26-1348	Ⅲ-4014
第323図8	SI05	S1-05-5	7-08	特殊敲石	輝石安山岩	No.245	(7.7)	5.8	2.6		上端敲打剥離、側縁敲打、ハンマーか	26-1335	Ⅲ-4001
第323図9	44I9	イ4-J9-6	No.104	珪化砂岩		8.2	6.0	4.3	290.0		上下端縁部分一部に敲打	20-209	Ⅲ3093
第323図10	43I4	イ3-J4-Nベ	No.2	輝石安山岩	緻密質、第四紀	11.0	7.6	5.9	639.0		不定形 長軸両端に敲打痕顕著、一部磨痕	20-196	Ⅲ3026 (その他)
第323図11	45I7	イ5-J7 攪乱-1	7-11	特殊敲石	ホルンフェルス	9.0	6.7		4.3		上下端及び側面著しい磨痕、表裏敲打痕、表裏平滑でツルツル	26-1340	Ⅲ-4006
第323図12	40I7	イ0-J7-6	No.20	ドレライト		10.3	7.3	4.6	498.0	完存	側面ほぼ全周及び裏面1/2敲打	20-205	Ⅲ3063
第323図13	44I4	SD-15A イ4-J4	7-13	磨石	脈石英	No.4	10.0	5.5	5.0		稜の一部及び上下端部敲打、ハンマー	26-1334	Ⅲ-3057
第324図1	44J0	イ4-K0-7	8-01	特殊敲石	変質流紋岩	No.226	5.8	3.9	2.8		上下端部及び一側縁敲打著しい。左右側縁剥離→敲打、若干擦れ?	26-1356	Ⅲ-4023
第324図2	44J0	イ4-K0-15	8-02	特殊敲石	泥質砂岩	No.138	9.0	6.3	2.9		上下端敲打+著しい磨痕、側面敲打、ハンマーか	26-1339	Ⅲ-4005
第324図3	46J0	SD-04 下層 イ6-K0 21区	8-03	特殊敲石	ホルンフェルス		9.7	8.1	3.0		上下端著しい磨痕、表裏面も敲打、ハンマーか	26-1336	Ⅲ-4002
第324図4	46J0	イ6-K0-5	8-04	特殊敲石	泥質チャート	No.73	7.8	6.0	3.4		側面~下端剥離→敲打、	26-1344	Ⅲ-4010
第324図5	44I9	イ4-J9 最下層	8-05	特殊敲石	ホルンフェルス		(8.1)	9.7	(3.2)		縁辺一部敲打、打製石斧か	26-1337	Ⅲ-4003
第324図6	46J0	イ6-K0 斜面	8-06	特殊敲石	無斑晶質安山岩		(7.2)	5.7	3.4		上端~側縁敲打+磨痕、磨製石斧未製品? 転用?	26-1342	Ⅲ-4008
第324図7	44J1	イ4-K1-Nベ4	8-07	特殊敲石	変質流紋岩	No.198	4.6	4.6	2.5		上下端剥離→敲打、ハンマーか	26-1357	Ⅲ-4024
第324図8	46J1	イ6-K1-0	8-08	特殊敲石	輝石安山岩		11.0	6.6	2.5		下端・側縁剥離+敲打、ハンマーか	26-1346	Ⅲ-4012
第324図9	44J0	イ4-K0-7	8-09	特殊敲石	頁岩	No.114	7.9	3.8	2.4		上端・側面一部・稜部分敲打、ハンマーか	26-1338	Ⅲ-4004
第324図10	45J3	イ5-K3 埋土	8-10	特殊敲石	ドレライト		(8.4)	(8.9)	(2.4)		上端・側面敲打、磨製石斧未製品か	26-1341	Ⅲ-4007
第324図11	44J0	イ4-K0-Wベ	8-11	特殊敲石	ドレライト		12.5	7.9	3.8		側縁剥離→敲打、ハンマーまたは磨製石斧未製品、礫器転用の可能性もあり?	26-1355	Ⅲ-4021
第324図12	40I7	イ0-J7-6	8-12	特殊敲石	輝石安山岩	No.4	9.8	5.6	3.7		一側縁剥離→敲打、下端敲打、ハンマーまたは磨製石斧未製品	26-1350	Ⅲ-4016
第324図13	44J0	イ4-K0-Sベ3	8-13	特殊敲石	ホルンフェルス	No.91	8.7	5.7	4.1		下方折れ欠損、剥離→敲打、磨製石斧未製品か	26-1345	Ⅲ-4011
	44I6	イ4-J6-3	No.20	輝石安山岩	第四紀	18.8	8.4	7.4	1773.0	完存	ほぼ全面に強い磨痕	18-02	I-13
	44J0	イ4-K0-14	No.24			11.5	8.1	4.8	674.0	完存	表裏・面中央磨痕顕著	18-03	I-17
	44J2	イ4-K2 最下層				7.8	6.8	5.8	439.0	完存	ほぼ全面に磨痕、両面中央顕著 ほぼ全面に赤色顔料付着	18-04	I-92
	46J0	イ6-K0-4	No.12			11.1	8.5	6.7	919.0	完存	表裏面磨痕、両面中央顕著	18-05	I-100
	79I5	ア9-J5-8	No.12			10.0	8.4	5.9	798.0	完存	表裏面磨痕、上端・側面敲打痕	18-06	ⅡA-1003
	40I5	イ0-J5-Sベ	No.15			14.6	7.1	5.6	868.0	完存	片面顕著な磨痕、上端一部敲打	18-07	ⅡA-1007
	44I7	イ4-J7 最下層				10.8	8.5	5.5	744.0	完存	表裏面磨痕、周縁一部敲打	18-08	ⅡA-1013
	46I7	イ6-J7-8	No.46			15.6	8.6	4.5	789.0	完存	被熱黒変 両面に強い磨痕、表面一部敲打	18-09	ⅡA-1027
	41I3	イ1-J3-2	No.55			13.6	8.2	6.3	1164.0	完存	両面に強い磨痕、上端敲打	18-10	ⅡA-1044
	44J1	イ4-K1 最下層				7.5	7.3	4.3	352.0	完存	表裏面磨痕、周縁一部敲打痕	18-12	ⅡA-3011
	46J1	イ6-K1-14	No.39			9.8	9.2	5.0	670.0	完存	被熱 表裏面に強い磨痕、側面敲打	18-13	ⅡA-3016
	46I8	イ6-J8-Sベ3	No.37			7.0	6.5	4.9	304.0	完存	表裏磨痕、敲打明瞭、被熱	18-15	ⅡA-4004
	42I3	イ2-J3 最下層				7.3	6.0	2.6	178.0	完存	表裏+4側面磨痕、敲打不明	18-16	ⅡA-5003
	43I5	イ3-J5-2	No.36	輝石安山岩	第四紀	6.8	5.8	5.2	322.0	完存	全面磨痕+一部敲打	18-19	ⅡA-7011
	48J0	イ8-K0-1	No.5			8.3	7.5	2.2	211.0	完存	表裏側面磨痕、敲打不明	18-21	ⅡB-9003 (その)
	79I6	ア9-J6-Eベ	No.20			10.3	8.2	5.5	654.0	完存	表裏側面磨痕、下端敲打痕、被熱	18-22	ⅡB-1092
	41I5	イ1-J5-1				12.1	7.4	5.0	666.0	完存	表裏側面磨痕、上端敲打痕	18-23	ⅡB-1121
	41I6	イ1-J6-1	No.5			11.0	8.2	5.0	682.0	完存	被熱 片面に強い磨痕、下端若干敲打	18-24	ⅡB-1125
	41I6	イ1-J6-1	No.54			(12.3)	8.2	5.7	(890.0)	完存	一部欠損 表裏面中央に浅い凹み、上下端敲打、上端敲打欠損	18-25	ⅡB-1126
	42I7	イ2-J7-Nベ	No.3			11.0	8.0	5.4	649.0	完存	片面にやや強い磨痕	18-26	ⅡB-1139
	42I7	イ2-J7				14.3	7.1	5.0	775.0	完存	敲きあり	18-28	ⅡB-1142
	43I5	イ3-J5-Sベ1	No.2			16.3	7.5	5.5	1086.0	完存	表裏磨痕、上下端若干敲打	18-29	ⅡB-1151
	44I8	イ4-J8-1				15.1	7.9	5.0	801.0	完存	表裏側面磨痕、上端敲打痕	18-31	ⅡB-1163
	44J0	イ4-K0-10	No.297			10.7	8.7	6.8	895.0	完存	表裏側面磨痕、凹みは自然	18-33	ⅡB-1198
	44J1	イ4-K1-8	No.84			11.8	9.8	6.1	992.0	完存	被熱 表裏面中央強い磨痕、下端敲打	18-34	ⅡB-1218
	44J1	イ4-K1-13	No.110			11.5	9.6	5.2	759.0	完存	表裏面強い磨痕	18-35	ⅡB-1225
	44J1	イ4-K1-14	No.81			11.3	9.3	5.6	893.0	完存	被熱、表裏+側面1箇所磨痕	18-36	ⅡB-1227
	44J1	イ4-K1-17	No.171			8.5	7.0	4.5	404.0	完存	表裏面磨痕、側面一部敲打	18-37	ⅡB-1230
	44J1	イ4-K1-Sベ5	No.326			12.1	8.7	6.1	907.0	完存	表裏側面磨痕、側面一部敲打、被熱	18-38	ⅡB-1240
	44J2	イ4-K2-12	No.76			13.7	9.3	5.5	1104.0	完存	表裏面磨痕、敲打不明瞭、被熱	18-39	ⅡB-1247
	46I7	イ6-J7-5	No.49			9.6	8.5	5.8	677.0	完存	片面に強い磨痕、敲打一部	18-40	ⅡB-1260
	46J1	イ6-K1 斜面				11.3	9.0	5.2	723.0	完存	両面強い磨痕、側面部分的に敲打	18-41	ⅡB-1293
	46J1	イ6-K1-5	No.165			13.8	9.8	5.6	1201.0	完存	表裏側面磨痕、上下端敲打	18-42	ⅡB-1295
	46J1	イ6-K1-5	No.190			13.3	9.6	5.8	1016.0	完存	被熱 両面にやや強い磨りあり	18-43	ⅡB-1297
	47J1	イ7-K1-Nベ2	No.9			10.2	6.2	2.5	251.0	完存	剥離→敲打一磨痕、凹部作出、石錘	18-44	ⅡB-1331
	42I4	イ2-J4-2	No.5			7.7	5.8	3.3	218.0	完存	表裏面磨痕	18-45	ⅡB-1352
	46J0	イ6-K0-Nベ3	No.189			11.4	8.2	5.7	807.0	完存	表裏側面磨痕+側面敲打	18-47	ⅡB-1385

第16表磨石・敲石観察計測表

挿入番号	新'グリッド'	出土遺構・'グリッド'	取上 No.	石材	石材備考	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	残存率	特徴	通No.	磨石・敲石No.
I6J0	I6-K0-5	No.130				11.0	7.2	4.3	443.0	0	実物不明	18-48	II B-1392
I2I7	I2-J7					14.6	8.7	6.4	1257.0	0	表裏面磨痕、下端・側面敲打	18-49	II B-1404
I3I5	I3-J5-1	No.52								0	表裏面磨痕、上下端敲打、面の凹みは自然	18-50	II B-1406
I4I5	I4-J5-1	No.157				12.6	7.0	5.3	718.0	0	表裏側面磨痕、面上顕著な敲打	18-51	II B-1407
I4J1	I4-K1-10	No.131				13.7	7.9	5.7	914.0	0	表裏側面磨痕、上端一部敲打	18-53	II B-1413
I4J2	I4-K2-10	No.302				8.4	7.3	5.5	527.0	0	表裏側面磨痕、周縁敲打、面の凹みは自然	18-54	II B-1415
I5I8	I5-J8-2	No.16				11.0	7.6	5.6	700.0	0	表裏面磨痕、面の凹みは敲打か	18-55	II B-1433
I6J1	I6-K1-8	No.22				10.1	6.2	3.4	277.0	0	実物不明	18-57	II B-1469
I0I7	I0-J7-6	No.182				6.9	5.9	4.1	201.0	0	赤色顔料付着、実物不明	18-58	II B-1492
I1I1	I1-J1-3	No.14				9.3	7.2	3.3	325.0	0	赤色顔料付着、表裏面磨痕、上下端敲打	18-59	II B-2011
I8I7	I8-J6-1	I3-J7-Eベ	No.5			9.5	7.2	6.3	567.0	0	表裏側面磨痕、端部敲打、被熱、2片の色の違う破片が接合。意図的な分割？	18-60	II B-2018
I4J1	I4-K1-14	No.179				20.9	7.3	6.5	1691.0	0	一部欠損 被熱、表裏側面磨痕、上下端敲打、上端剥離~割れ	18-61	II B-2022
I6I7	I6-J7-Sベ5	No.153				16.7	7.8	6.1	1267.0	0	表裏側面磨痕、上下端敲打	18-62	II B-2024
I7J1	I7-K1-Wベ4	No.69				15.0	8.2	6.4	1244.0	0	被熱、全面強い磨痕、上下端部及び側面一部敲打	18-63	II B-2032
I0I4	I0-J4-6	23区				12.2	6.1	5.5	583.0	0	表裏面磨痕、凹み一部は敲打か	18-64	II B-3037
I0I6	I0-J6-4	No.22				7.8	7.6	4.7	387.0	0	表裏側面磨痕、側面一部敲打	18-66	II B-3048
I3I7	I3-J7-3	10区				9.2	8.8	4.7	547.0	0	表裏面磨痕、周縁一部敲打	18-67	II B-3068
I4I5	I4-J5-1	No.2				11.8	10.8	3.9	554.0	0	赤色顔料付着、敲打+磨痕	18-68	II B-3069
I4I5	I4-J5-1	No.139				10.4	9.3	5.9	809.0	0	被熱、表裏面磨痕	18-69	II B-3070
I4I5	I4-J5-2	No.30				7.5	7.1	3.4	274.0	0	表裏面+周縁一部磨痕	18-70	II B-3071
I4I9	I4-J9-12	No.23				8.2	7.3	3.0	278.0	0	赤色顔料付着、表裏側面磨痕、側面一部敲打	18-71	II B-3084
I4J0	I4-K0-11	No.74				9.8	8.5	5.5	633.0	0	表裏側面磨痕、	18-72	II B-3091
I4J2	I4-K2-10	No.30				8.0	7.2	3.2	256.0	0	表裏面磨痕、側面一部敲打	18-73	II B-3117
I4J3	I4-K3 P8	No.3				7.7	7.6	4.8	423.0	0	被熱黒変、表裏磨痕、側面敲打数力所	18-74	II B-3122
I4J0	I4-K0-15	No.224				9.3	9.0	4.6	576.0	0	表裏面磨痕、下端敲打痕	18-76	II B-3169
I4I9	I4-J9 最下層					8.6	7.9	4.9	485.0	0	表裏側面磨痕、側面一部敲打、面中央の凹みは自然か	18-77	II B-3195
I4J1	I4-K1-Sベ3	No.158				10.4	9.3	5.9	810.0	0	表裏側面磨痕+一部敲打、面中央の凹みは自然か	19-78	II B-4005
I1I4	I1-J4-5	No.2				8.4	6.7	5.3	416.0	0	表裏側面磨痕、下端敲打	19-79	II B-5034
I4J1	I4-K1-6	No.29				8.8	6.7	4.8	481.0	0	表裏側面磨痕	19-82	II B-5086
I4J2	I4-K2-13	No.74				10.4	7.4	2.5	316.0	0	表裏側面磨痕	19-83	II B-5096
I5I8	I5-J8-2	7区				8.1	6.7	2.3	220.0	0	表裏側面磨痕	19-85	I B-5109
I5I8	I5-J8-2	8区				9.6	5.9	2.0	168.0	0	立方体状、表裏側面磨痕	19-86	II B-5110
I6I7	I6-J7-3	No.12				7.5	5.9	5.0	387.0	0	立方体状、表裏側面磨痕	19-87	II B-5116
I6I9	I6-J9-Sベ3	No.138				6.2	5.1	3.8	153.0	0	一部欠損 板状、表裏側面磨痕	19-88	II B-5125
I6J1	I6-K1-4	No.93				7.0	4.7	2.8	120.0	0	欠損 板状、表裏側面磨痕	19-90	II B-5138
I6J1	I6-K1-6	No.76				8.1	6.7	2.4	212.0	0	表裏面磨痕	19-91	II B-5140
I4I9	I4-J9-8	No.42				9.2	7.1	2.8	285.0	0	表裏側面磨痕、多感一部敲打	19-94	II B-6111
I4I9	I4-J9-10	No.37				5.4	5.1	3.6	134.0	0	表裏側面磨痕、面中央は敲打による凹み	19-95	II B-6112
I4J0	I4-K0-11	No.157				6.3	6.3	2.7	161.0	0	表裏側面磨痕、面中央は敲打による凹み	19-97	II B-6129
I4J0	I4-K0-12	No.270				5.9	5.6	3.9	166.0	0	板状、赤色顔料付着、表裏側面磨痕	19-98	II B-6135
I4J0	I4-K0-18	No.119				7.5	7.0	1.8	144.0	0	表裏側面磨痕、面中央に若干の敲打痕か	19-101	II B-6153
I5I6	I5-J6-1	No.1				7.9	7.6	3.3	292.0	0	表裏側面磨痕	19-103	II B-6198
I6J0	I6-K0-0					5.8	5.5	3.0	144.0	0	片面緩やかに凹む、表裏側面磨痕	19-105	II B-6225
I6J0	I6-K0-3	No.414				6.6	6.5	2.3	149.0	0	板状でやや大、表裏側面磨痕	19-106	II B-6230
I6J0	I6-K0-5	No.99				11.5	10.6	2.4	492.0	0	表裏側面磨痕	19-107	II B-6233
I6J2	I6-K2-Nベ3	No.57				5.8	5.6	3.1	130.0	0	表裏側面磨痕	19-108	II B-6259
I5I6	I5-J8-1	No.17				7.7	7.3	2.6	218.0	0	被熱、表裏側面磨痕	19-109	II B-6266
I6J0	I6-K0-0					5.7	5.7	3.7	154.0	0	赤色顔料付着、表裏側面磨痕	19-110	II B-6334
I0I6	I0-J6-2	No.30				6.9	6.8	3.4	208.0	0	被熱、表裏側面磨痕、面中央敲打の凹み	19-112	II B-7035
I0I7	I0-J7-2	No.159				7.2	6.6	2.5	164.0	0	表裏側面磨痕	19-113	II B-7037
I4J1	I4-K1-15	No.263				6.0	5.9	2.3	119.0	0	被熱、表裏側面磨痕	19-115	II B-7103
I4J1	I4-K1-17	No.123				6.9	6.2	2.6	188.0	0	表裏側面磨痕	19-116	II B-7104
I4J1	I4-K1-21	No.167				6.3	6.2	3.1	184.0	0	表裏側面磨痕	19-117	II B-7106
I4J2	I4-K2-8	No.240				6.8	6.6	2.8	212.0	0	赤色顔料付着、面中央敲打による凹みあり、表裏側面磨痕	19-118	II B-7110
I6J1	I6-K1-サブベ4 1~10区	No.196				6.5	6.1	4.0	203.0	0	表裏側面磨痕、被熱	19-119	II B-7154
I6J1	I6-K1 斜面					5.9	5.9	2.7	152.0	0	縦断面凸レンズ状、表裏側面磨痕	19-120	II B-7156
I6J2	I6-K2-8	No.15				6.2	5.6	3.0	167.0	0	表裏側面磨痕	19-121	II B-7158
I7J0	I7-K0-1	No.136				7.7	6.6	3.1	241.0	0	表裏側面磨痕、黒変	19-122	II B-7164
I7J0	I7-K0-Wベ2	No.80				6.2	5.7	2.4	140.0	0	表裏側面磨痕	19-123	II B-7166
I5I6	I5-J6-1	No.38				7.0	6.3	2.0	143.0	0	表裏側面磨痕	19-124	II B-7210
I1I5	I1-J5-Wベ	No.4				7.0	6.6	3.1	187.0	0	表裏側面磨痕、面中央凹み1	19-125	II B-8024
I4I9	I4-J9-15	No.2				11.8	6.3	3.0	310.0	0	表裏側面磨痕、面中央緩やかに凹む	19-126	II B-8037
I4J1	I4-K1-18	No.82				7.0	5.9	1.5	89.0	0	表裏側面磨痕、下端敲打、敲打剥離	19-127	II B-8052
I4J2	I4-K2-11	No.72				9.3	6.3	2.7	211.0	0	表裏側面磨痕、面中央凹み1	19-128	II B-8057
I6I9	I6-J9-10	No.1				8.1	5.9	3.2	201.0	0	表裏側面磨痕	19-130	II B-8079
I6I9	I6-J9-Sベ3	No.126				8.3	6.4	2.0	157.0	0	表裏側面磨痕	19-131	II B-8082
I7I9	I7-J9-0					7.2	6.0	2.1	139.0	0	表裏側面磨痕	19-133	II B-8114
I4I7	I4-J7-1	No.38				6.2	5.4	3.0	136.0	0	表裏側面磨痕、周縁一部敲打	19-134	II B-8154
I6I9	I6-J9-10	No.3				7.3	6.4	1.9	124.0	0	表裏側面磨痕	19-136	II B-8161
I0I5	I0-J5-Nベ3	No.89				12.8	9.8	7.0	1387.0	0	表裏側面磨痕、上下端敲打	19-139	II B-9040
I0I6	I0-J6-2	No.35				11.0	6.4	4.9	451.0	0	表裏側面磨痕、不定形	19-140	II C-13
I6J2	I6-K2-4	No.13				8.6	7.8	7.2	659.0	0	全体に磨痕	19-141	II C-39
I1I7	I1-J7-Wベ1	No.2				(3.5)	2.7	2.5	(33.0)	0	分析⑬、顔料上端~表裏の上位に付着、表裏側面磨痕、下端敲打の敲石	20-147	III 1044 (棟)
I4J2	I4-K2-3	No.101				(5.7)	3.6	2.4	(81.0)	0	下端割れ、上端敲打+磨痕	20-153	III 1098
I4J2	I4-K2-Nベ4	No.396				(5.4)	3.5	2.3	86.0	0	端部敲打+磨痕	20-159	III 1159
I6I9	I6-J9-Nベ2	No.20				5.0	2.0	1.1	15.0	0	端部若干の磨痕、表裏も若干の磨痕	20-164	III 1196 (棟)
I6J1	I6-K1-Nベ4	No.118				5.0	2.8	1.0	23.0	0	一端若干の敲打+磨痕	20-178	III 2058
I7J0	I7-K0-1	No.46				(5.3)	(3.0)	1.7	(34.0)	0	一端部敲打、磨痕なし	20-180	III 2069
I4J1	I4-K1-10	No.9				6.1	3.5	1.5	48.0	0	二箇所敲打剥離、表裏敲打	20-181	III 2071
I4J0	I4-K0-15	No.109				4.6	3.4	1.3	36.0	0	上下端部敲打+磨痕	20-183	III 2074
I4I5	I4-J5-3	No.68								0	一部欠損 上端敲打顕著、下端打ち欠き剥離	20-184	III 2078
I4J0	I4-K0-14	No.84				5.0	3.4	1.7	(38.0)	0	上下端敲打、剥離は敲打に伴う	20-187	III 2092
I1I4	I1-J4-2	No.10				6.3	3.9	2.6	97.0	0	上下端敲打による剥離	20-188	III 2094
I4J2	I4-K2-6	No.320				(6.1)	3.1	3.4	(79.0)	0	長軸一部		
I4J0	I4-K0-Eベ1					5.7	4.3	1.5	55.0	0	側面磨痕全周	20-189	III 2101
I6I9	I6-J9 表探					4.3	3.6	0.8	20.0	0	側面、二辺磨痕	20-190	III 2103
I6J1	I6-K1-14	No.43				6.1	4.7	1.3	59.0	0	側面若干の敲打+磨痕	20-191	III 2104
I7I9	I7-J9-Sベ1	No.5				5.8	3.9	1.3	45.0	0	表裏側面全周敲打+磨痕	20-193	III 2106
I3I7	I3-J7-3	No.10				4.3	2.6	0.9	14.0	0	側面1/2+2箇所磨痕で平滑面	20-194	III 2107
I4J1	I4-K1-15	No.306				8.0	6.4	4.0	(283.0)	0	一部欠損 上下端敲打、要理若干の磨痕	20-197	III 3029
I4J0	I4-K0-14	No.84				10.7	8.1	4.4	462.0	0	下部やや狭い範囲に敲打痕	20-198	III 3039

第16表磨石・敲石観察計測表

挿入番号	新'グリッド'	出土遺構・'グリッド'	取上 No.	石材	石材備 考	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	残存 率	特徴	通No.	磨石・敲 石No.
	I211	I2-J1-4	No.1			6.4	5.2	2.5	133.0		上端~左側の一部及び下端の狭い範囲 弱い敲打痕	20-200	III3058
	I6J2	I6-K2-6	No.19			(5.6)	3.6	2.8	(88.0)		上下端敲打による剥離欠損	20-203	III3061
	I9I8	I9-J8 表探	No.26			(7.2)	(5.0)	(2.5)	(100.0)		裏剥離面、上端やや広い範囲敲打痕	20-204	III3062(そ の他)
	I1I6	I1-J6-Nベ-1	No.7			7.7	5.4	3.3	166.0		被熱、側面一部敲打痕	20-206	III3076
	I0I5	I0-J5-5	No.22			(5.0)	4.1	3.7	(105.0)		上下端欠損、欠損かかる部分に敲打痕 多。	20-208	III3091
	I4J1	I4-K1-11	No.15			7.8	5.4	3.7	216.0	完存	上下端一部敲打痕	20-210	III3098(そ の他)
	I0I7	I0-J7 最下層				10.3	7.3	4.6	447.0	完存	凹部表2・裏3、表面一部磨痕	21-214	V1017
	I4J0	I4-K0-11	No.339			9.5	8.6	4.0	475.0	完存	表裏面に磨痕+凹部両面2カ所、側面敲 打+磨痕	21-216	V1035
	表探	UTK表探				10.1	8.4	5.4	677.0	完存	ほぼ全面磨痕、凹部表1	21-217	V1060
	I6J1	I6-K1-2	No.35			10.0	6.9	5.0	488.0	完存	被熱、凹部表2・裏1、表裏側面磨痕	21-218	V1062
	I3I7	I3-J7-Eベ	No.4			10.8	7.8	5.8	665.0	完存	凹部表1、表裏磨痕	21-219	V2001
	I4J0	I4-K0-Sベ-3	No.147			8.8	8.2	4.3	344.0	完存	表裏面磨痕+敲打痕+凹部1:1) 表面細 かい凹み多	21-220	V3007
	I5I5	I5-J5-1	No.31			8.8	8.3	5.6	591.0	完存	凹部表2・裏2、表裏磨痕、下端敲打痕	21-221	V3010
	I4J2	I4-K2-15	No.81			9.0	8.4	6.2	634.0	完存	凹部表2・裏1、表裏磨痕	21-222	V4004
	I4J1	I4-K1-Sベ-4	No.241			8.8	7.0	5.0	300.0	完存	凹部表1・裏1、左右側面1+1	21-225	V5013
	I4J1	I4-K1-12	No.49			8.8	7.3	4.1	333.0	完存	凹部表2・裏2・側面1+1、表裏側面磨痕	21-227	V5023
	I4J1	I4-K1-Sベ-4	No.311			9.6	8.8	6.3	548.0	完存	凹部表1・裏1・側面2+1、表裏磨痕	21-228	V6018
	I6J1	I6-K1-6	No.118			5.8	5.7	2.9	120.0	完存	赤色顔料微量付着、凹部表1・裏1、表 裏側面磨痕、凹部に側面を整形	21-229	V6023
	I2I6	I2-J6-3	No.10			7.4	6.4	3.8	289.0	完存	凹部表1・裏1、被熱、方形に整形、側 面磨痕顯著	21-232	V7006
	I4J2	I4-K2-5	No.78			7.9	7.0	3.0	237.0	完存	凹部表1・裏1、側面二箇所敲打	21-233	V8004
	I4J2	I4-K2-12	No.178			12.4	9.2	7.7	1323.0	完存	凹部表1・裏2、表裏側面磨痕	21-235	V8006
	I4J0	I4-K0-14	No.394			7.6	7.1	3.6	241.0	完存	凹部表2、表裏側面磨痕	21-236	V9002
	SI01	S1-01-Nベ-2	No.8			8.4	8.0	2.9	326.0	完存	被熱、表裏側面磨痕、側面一部敲打	22-239	II A-3001
	SI01	S1-01-1	No.90			8.0	4.5	2.0	112.0	完存	表裏側面磨痕	22-240	II A-5001
	SI01	S1-01-1	No.29			6.6	6.4	3.5	200.0	完存		22-241	II A-6018
	SI01	S1-01-1	No.393			6.8	6.1	3.4	220.0	完存	被熱、赤色顔料付着、表裏側面磨痕	22-242	II A-7001
	SI01	S1-01-1	No.440							完存	表裏側面一部磨痕	22-244	II A- 9001(その 他)
	SI01	S1-01-1	No.30			6.8	6.3	2.3	124.0			22-245	II B-1001
	SI01	S1-01-1	No.168			7.7	6.3	2.9	207.0	完存	被熱表裏側面磨痕+敲打、側面全周磨痕	22-245	II B-1001
	SI01	S1-01-1	No.249			8.9	7.3	3.0	287.0	完存	表裏側面一部磨痕	22-246	II B-1002
	SI01	S1-01-1	No.194			9.3	7.4	4.2	427.0	完存	表裏側面磨痕、表小凹み穴多、側面+上 端敲打	22-247	II B-1003
	SI01	S1-01-4 埋土	No.9			7.6	6.5	4.2	251.0	完存	赤色顔料付着、表裏側面一部磨痕	22-248	II B-1008
	SI01	S1-01-6	No.9			7.7	6.4	3.4	206.0	完存	赤色顔料付着、表裏側面一部磨痕	22-250	II B-1011
	SI01	S1-01-Nベ-2	No.238			7.3	6.2	3.7	219.0	完存	被熱黒変、タール付着、表裏側面磨痕	22-251	II B-1012
	SI01	S1-01-1	No.114			7.5	5.8	3.5	196.0	完存	表裏側面磨痕	22-252	II B-1349
	SI01	S1-01-1	No.189			10.1	7.3	4.7	507.0	完存	表裏磨痕、上下端部若干の敲打	22-253	II B-1356
	SI01	S1-01-1	No.346			11.2	8.4	6.1	835.0	完存	赤色顔料多量付着<分析資料>、表裏 側面磨痕+敲打痕	22-254	II B-1384
	SI01	S1-01-2	No.48			10.8	7.0	5.7	593.0	完存	被熱	22-255	II B-1393
	SI01	S1-01-4	No.343			8.0	6.7	4.6	337.0	完存	表裏側面+上端磨痕	22-256	II B-1473
	SI01	S1-01-2	No.95			12.0	7.2	5.9	717.0	完存	被熱黒変、表裏側面磨痕	22-258	II B-2002
	SI01	S1-01-1	No.381			7.9	7.3	4.5	349.0	完存	表裏磨痕、側面敲打整形	22-259	II B-3001
	SI01	S1-01-1	No.446			5.9	5.7	3.8	152.0	完存	表裏側面磨痕	22-260	II B-3002
	SI01	S1-01-2	No.282			8.4	7.3	3.8	335.0	完存	被熱、表裏+側面磨痕。一部側面敲打 痕	22-261	II B-3003
	SI01	S1-01-3	No.2			10.0	9.0	2.7	357.0	完存	被熱、表裏側面磨痕	22-262	II B-3005
	SI01	S1-01-5	No.20			9.5	9.4	5.6	652.0	完存	表裏側面磨痕やや弱	22-263	II B-3006
	SI01	S1-01-5	No.48			6.3	6.0	2.7	141.0	完存	表裏側面全周磨痕	22-264	II B-3007
	SI01	S1-01-1	No.468			6.8	6.4	3.2	187.0	完存	表裏側面全周磨痕	22-265	II B-3008
	SI01	S1-01-6	No.1			7.5	6.3	3.7	259.0	完存	表裏側面端部磨痕	22-267	II B-5002
	SI01	S1-01-1	No.435			8.1	7.4	4.0	321.0	完存	表裏側面端部磨痕	22-268	II B-5003
	SI01	S1-01-6	No.32			8.4	7.0	3.6	320.0	完存	帯状凹部全周、表裏側面磨痕、側面+下 端敲打痕	22-270	II B-5195
	SI01	S1-01-1	No.63			7.0	6.1	3.4	199.0	完存	表裏側面磨痕、小凹あり	22-271	II B-5196
	SI01	S1-01-3	No.1			7.0	6.3	3.7	233.0	完存	表裏側面全周磨痕	22-272	II B-6001
	SI01	S1-01-4	No.129			7.1	6.6	2.8	189.0	完存	表裏側面全周磨痕、側面一部線状凹部	22-274	II B-6003
	SI01	S1-01-4	No.184			6.2	6.1	4.0	196.0	完存	表裏側面全周磨痕、平面整った円形に 整形	22-275	II B-6004
	SI01	S1-01-埋土	No.65			8.0	7.3	3.2	276.0	完存	面中央浅い小凹多、表裏側面全周磨痕	22-276	II B-6005
	SI01	S1-01-1	No.287			6.1	5.7	3.6	158.0	完存	表裏側面全周磨痕	22-278	II B-6007
	SI01	S1-01-1	No.401			7.1	6.5	3.6	164.0	完存	表裏側面全周磨痕、片面やや凹む、被 熱	22-279	II B-7001
	SI01	S1-01-2	No.337			6.9	6.1	2.9	162.0	完存	表裏側面+端部磨痕、左右側面敲打	22-280	II B-7002
	SI01	S1-01-2	No.98			6.7	5.6	3.5	214.0	完存	表裏側面+端部磨痕	22-281	II B-7003
	SI01	S1-01-2	No.168			7.3	6.2	2.3	137.0	完存	被熱、表裏側面全周磨痕	22-282	II B-8140
	SI01	S1-01-5	No.69			10.4	7.9	6.1	563.0	完存	表裏側面全周磨痕	22-285	II C-48
	SI01	S1-01-Nベ-2	No.4			7.3	6.0	4.5	294.0	完存	赤色顔料付着、表裏側面全周+上下端部 磨痕	22-286	II C-49
	SI01	S1-01-3	No.10			(6.1)	(5.3)	3.0	(121.0)	2/3	被熱、割れ、左上端部敲打痕多	22-288	III-1002
	SI01	S1-01-1	No.478			8.7	4.1	3.2	199.0		赤色顔料付着、表裏若干の磨痕、両端 若干の敲打痕	22-289	III- 1003(棒)
	SI01	S1-01-3	No.370			(4.5)	3.9	1.7	(44.0)		左上端若干の敲打+磨痕	22-290	III-1186
	SI01	S1-01-1	No.21			6.2	2.7	1.4	40.0	完存	狭い上端一部に敲打痕若干	22-291	III-1189
	SI01	S1-01-3	No.25			8.2	7.7	4.6	367.0	完存	凹部表1、表裏側面一部磨痕	22-295	V-3001
	SI05	S1-05-5	No.21			5.6	5.6	3.4	154.0	完存	凹部表1、表裏側面全周磨痕	22-297	V-6001
	SI02	SI-02 床下-2	No.23			7.5	7.2	4.3	305.0	完存	凹部表1・裏1、表裏側面全周磨痕	22-298	V-6002
	SI02	SI-02-2-C区	No.34			5.6	5.2	3.9	159.0	完存	被熱、全体磨痕	22-299	I-1
	SI02	SI-02 床下-2	No.32			6.9	5.4	4.7	236.0	完存	実物不明	22-300	I-5b
	SI02	SI-02 床下-1	No.18			6.3	5.5	3.3	163.0	完存	赤色顔料付着、灰色に灰色、表面強い 磨痕	22-302	II A-3032
	SI02	SI-02-2-B区	No.3			10.1	8.6	5.9	765.0	完存	不明	22-303	II A-3033
	SI02	SI-02 床下-3	No.4			7.3	7.0	2.6	211.0	完存	表裏側面全周磨痕	22-304	II A-7002
	SI02	SI-02-1	No.5			6.8	6.6	3.1	199.0	完存	表裏側面全周磨痕	22-306	II A-7004
	SI02	SI-02 床下-1	No.10			10.6	7.7	2.7	304.0	完存	表裏側面一部磨痕	22-307	II B-1013
	SI02	SI-02 床下-1	No.5			8.3	7.2	5.2	465.0	完存	表裏側面ほぼ全周磨痕	22-308	II B-1014
	SI02	SI-02 床下-7	No.6			7.8	5.5	2.8		完存	表裏側面全周磨痕	22-309	II B-1016
	SI02	SI-02 床下-土坑	No.40			10.8	7.2	5.2	530.0	完存	被熱、表裏側面磨痕	22-311	II B-1018
	SI02	SI-02 床下-6-C区	No.22			9.6	6.6	4.6		完存	表裏側面磨痕、上下端若干敲打	22-312	II B-1020
	SI02	SI-02 床下-1	No.12			10.8	7.3	5.3	655.0	完存	表裏側面上下端磨痕	22-313	II B-1394
	SI02	SI-02 床下-6-C区	No.2			7.9	7.1	3.2	223.0	完存	表裏側面一部磨痕	22-316	II B-3009
	SI02	SI-02 床下-5 E C	No.12			8.8	8.1	5.3	539.0	完存	表裏側面1/2磨痕、側面3-4箇所敲打	22-317	II B-3010
	SI02	SI-02 床下-1	No.6			10.3	8.3	3.9	476.0	完存	石血的扁平な受け部分あり、表裏側面 全周磨痕	22-319	II B-5177
	SI02	SI-02 床下-1	No.6			10.3	8.3	3.9	476.0	完存	表裏側面磨痕、上端一部敲打	22-320	II B-5197
	SI02	SI-02 床下-5	No.1			6.5	6.3	3.5		完存	表裏側面全周磨痕、上端一部敲打	22-321	II B-6008
	SI02	SI-02 床下-2	No.31										

第16表磨石・敲石観察計測表

挿図番号	新ゲリッド	出土遺構・ゲリッド	取上No.	石材	石材備考	最大長(cm)	最大幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	残存率	特徴	通No.	磨石・敲石No.
	SI02	SI-02 床下-2-B・C区				(5.1)	(2.8)	(1.5)	(29.0)	2/3	端部敲打顕著、面の磨痕は不明	22-327	Ⅲ-1005
	SI02	SI-02 床下土坑	No.30			8.2	3.3	2.6	102.0	完存	下端一部に敲打痕	22-329	Ⅲ-1007
	SI02	SI-02 床下土坑	No.27			(7.5)	(5.7)	(3.9)	(239.0)	完存		22-330	Ⅲ-3067
	SI02	SI-02 床下-3-C1区				(2.8)	(2.8)	(1.9)	(20.0)		端部剥離+敲打	22-331	Ⅲ-3089
	SI03	SI-03-8	No.40			7.1	5.9	3.1	206.0	完存	表裏+上下端部磨痕顕著、整形	23-332	ⅡA-5002
	SI03	SI-03-6	No.103			8.7	6.4	4.8	379.0	完存	表裏側面+上下端部磨痕、凹みは自然か	23-334	ⅡB-1022
	SI03	SI-03-11 イ1-J6最下層	No.8			9.3	7.2	2.3	214.0	完存	表裏側面全周磨痕	23-335	ⅡB-1127
	SI03	SI-03-11 イ1-J6最下層	No.19			16.6	8.8	5.7	1233.0	完存	表裏側面+端部磨痕+敲打、片面強い磨痕、被熱	23-336	ⅡB-1128
	SI03	S1-03-6	No.44			7.6	6.8	4.3	299.0	完存	凹部表1、表裏側面磨痕、下端敲打痕若干	23-337	ⅢB-3011
	SI03	S1-03-10	No.58			6.7	5.5	4.6	146.0	完存	実物未確認	23-338	ⅢB-4001
	SI03	S1-03-10	No.20			7.2	6.8	3.3	226.0	完存	赤色顔料若干付着、表裏側面全周磨痕	23-339	ⅢB-6013
	SI03	S1-03 イ1-J6最下層	No.40			7.6	7.4	3.0	250.0	完存	表裏側面全周磨痕	23-341	ⅢB-6015
	SI03	S1-03 イ1-J6最下層	No.44			7.2	6.5	2.8	196.0	完存	表裏側面全周磨痕、やや不整	23-342	ⅢB-7006
	SI03	S1-03 イ1-J6最下層	No.31			6.7	60.5	2.8	173.0	完存	表裏側面全周磨痕、一部入念	23-343	ⅢB-7007
	SI03	S1-03 埋土	No.53			10.1	7.7	27.7		完存	表裏側面全周磨痕	23-344	ⅢB-8001
	SI03	S1-03-11 イ1-J6最下層	No.34			11.1	9.0	9.3	1289.0		粗い磨痕全体、下端敲打痕	23-345	ⅡC-67
	SI03	S1-03-6	No.173			(4.0)	(2.3)	(1.8)	(27.0)		下方割れ、一端部に磨痕+敲打痕	23-346	Ⅲ-1008(樺)
	SI03	S1-03 ベルト				5.2	3.5	2.5	54.0		上下端部若干の敲打、表一部磨痕	23-349	Ⅲ-2003
	SI03	S1-03 イ1-J6最下層	No.46			7.4	4.6	3.1	140.0	完存	上端一部若干の敲打痕、表裏やや弱い磨痕	23-352	Ⅲ-3083
	SI04	S1-04-2	No.11			10.7	7.2	3.8	395.0	完存	表裏側面ほぼ全周磨痕	23-353	ⅡB-1023
	SI05	S1-05-5	No.192			6.8	5.2	4.0	195.0	完存	表裏磨痕、側面若干の磨痕、上下端若干の敲打	23-356	ⅡB-1024
	SI05	S1-05-5	No.265			7.6	6.3	4.0	256.0	完存	表裏側面全周磨痕	23-357	ⅡB-1025
	SI05	S1-05-7	No.104			8.6	6.6	3.8	303.0	完存	表裏側面全周磨痕、下端若干の敲打、被熱	23-358	ⅡB-1026
	SI05	S1-05-9	No.1			8.5	7.3	2.8	229.0	完存	被熱、表裏側面全周磨痕、扁平	23-359	ⅡB-1027
	SI05	S1-05-9	No.78			8.5	6.7	3.9	398.0	完存	表裏側面磨痕、上端一部敲打痕	23-360	ⅡB-1028
	SI05	S1-05-9	No.79			12.9	9.2	5.9	939.0	完存	表裏側面全周磨痕、表裏強い磨痕	23-361	ⅡB-1029
	SI05	S1-05-10	No.11			8.7	7.0	5.0	393.0	完存	表裏側面一部磨痕、表浅い凹み1、上端敲打痕	23-362	ⅡB-1031
	SI05	S1-05-10	No.16			9.1	7.5	3.4	370.0	完存	表裏側面全周磨痕、上端一部敲打痕、表浅い凹み1	23-363	ⅡB-1032
	SI05	S1-05-Aベ	No.5			13.4	8.0	5.8	955.0	完存	表裏側面磨痕、上下端部敲打若干、タール付着	23-364	ⅡB-1033
	SI05	S1-05-7	No.23			9.3	7.0	4.5	428.0	完存	表裏側面磨痕、上下端部若干の敲打痕	23-365	ⅡB-1357
	SI05	S1-05-7	No.90			12.8	9.4	3.8	547.0	完存	表裏中央強い磨痕、側面一部磨痕	23-366	ⅡB-1387
	SI05	S1-05-5	No.238			9.4	8.7	5.2	592.0	完存	被熱、表裏側面一部磨痕、上~右側面~下端敲打痕	23-369	ⅡB-3014
	SI05	S1-05-7	No.89			7.1	6.4	4.5	270.0	完存	表裏側面全体磨痕、表浅い凹み1	23-370	ⅡB-3015
	SI05	S1-05-9	No.76			7.5	6.7	3.3	210.0	完存	表裏側面1/2磨痕、被熱	23-371	ⅡB-3016
	SI05	S1-05-9	No.86			8.0	7.0	4.8	345.0	完存	表裏側面磨痕、側面一部敲打	23-372	ⅡB-3017
	SI05	S1-05-10	No.2			9.8	9.2	5.5	700.0	完存	被熱・剥離あり、表裏側面磨痕、側面1/2+1/4の二箇所敲打痕、表裏にやや強い磨痕	23-373	ⅡB-3018
	SI05	S1-05 Aベルト	No.4			8.5	8.2	4.5	441.0	完存	表裏側面磨痕	23-374	ⅡB-3019
	SI05	S1-05-5	No.251			7.3	6.0	2.9	177.0	完存	表裏側面磨痕	23-375	ⅡB-5004
	SI05	S1-05-5	No.271			8.5	6.6	2.9	241.0	完存	一部欠損	23-376	ⅡB-5005
	SI05	S1-05-10	No.8			10.7	7.6	4.4	528.0	完存	2箇所敲打剥離	23-378	ⅡB-5008
	SI05	S1-05-7	No.86			7.5	6.6	4.6	319.0	完存	表裏側面全周磨痕、表裏中央+側面一部敲打痕	23-379	ⅡB-5186
	SI05	S1-05-9	No.107			8.4	6.5	2.9	(230.0)	一部欠損	表裏側面全周磨痕	23-380	ⅡB-5198
	SI05	S1-05-9	No.68			5.9	5.8	2.6	136.0	完存	表裏側面全周磨痕、側面敲打一部	23-383	ⅡB-6017
	SI05	S1-05-Bベ	No.2			7.8	7.2	3.1	258.0	完存	表裏側面全周磨痕、側面敲打一部	23-384	ⅡB-6020
	SI05	S1-05-5	No.243			7.3	7.2	3.0	240.0	完存		23-385	ⅡB-6335
	SI05	S1-05-9	No.88			6.7	6.2	3.1	178.0	完存	表裏側面全周磨痕	23-386	ⅡB-6343
	SI05	S1-05-5	No.76			6.6	6.0	2.9	168.0	完存	表裏側面全周磨痕、表凹1	23-387	ⅡB-7008
	SI05	S1-05-5	No.92			6.4	5.8	2.0	119.0	完存	表裏側面全周磨痕弱、扁平	23-388	ⅡB-7009
	SI05	S1-05-10	No.32			7.4	6.5	3.2	208.0	完存	表裏側面全周磨痕、裏面一部強い磨痕、凹みは自然か?	23-389	ⅡB-7012
	SI05	S1-05-10	No.25			9.2	8.3	2.7	(322.0)	一部欠損	表裏側面全周磨痕、右上端の剥離は敲打によるものか	23-390	ⅡB-9019(その)
	SI05	S1-05-5	No.237			8.4	7.3	2.6	245.0	完存	被熱黒変、表裏側面全周磨痕、側面一部強い磨痕	23-391	ⅡB-9030(その)
	SI05	S1-05-5	No.235			7.9	6.0	3.6	270.0	完存	ほぼ表裏側面磨痕、右側面広い範囲敲打	23-393	ⅡC-47
	SI05	S1-05-9	No.59			9.5	6.4	4.8	471.0	完存	被熱、表中央浅い凹み、表裏側面磨痕、側面一部敲打	23-394	ⅡC-50
	SI05	S1-05 ベルト				12.0	7.2	6.2	732.0	完存	表裏側面磨痕、一部強い磨痕、上下端敲打	23-395	ⅡC-51
	SI05	S1-05-7	No.83			12.9	8.2	5.4	830.0	完存	表裏側面磨痕、下端敲打、上端一部敲打	23-396	ⅡC-62
	SI05	S1-05-5				6.8	2.5	2.4	55.0	完存	不明	23-397	Ⅲ(樺)
	SI05	S1-05-9	No.81			(7.0)	3.1	1.8	(59.0)		表一部敲打、上端数方向の敲打で面作られる、下端は敲打剥離か	23-399	Ⅲ-1136(樺)
	SI05	S1-05-10	No.92			8.8	6.3	2.2	167.0		表裏敲打+磨痕、側面全周磨痕、側面1/2敲打+磨痕	23-401	Ⅲ-3007(その)
	SI05	S1-05-10	No.68			8.4	7.0	4.6	334.0	完存	凹部片面1、被熱、片面磨痕、側面全周弱い磨痕	23-403	V-1001
	SI05	S1-05-10	No.53			7.8	7.2	5.1	366.0	完存	凹部表1、裏1、被熱、表裏側面弱い磨痕	23-404	V-3002
	SI05	S1-05-5	No.54			9.9	7.8	4.0	428.0	完存	凹部表1、表裏側面全周磨痕	23-406	V-8001
	SI05	S1-05-10	No.34			9.7	7.3	4.5	453.0	完存	凹部表3、裏2、表裏側面全周磨痕、側面一部敲打	23-407	V-8002
	SI06	S1-06-5	No.14			8.3	6.2	2.3	168.0	完存	表裏側面全周磨痕、扁平	23-409	ⅡA-8002
	SI06	S1-06-3	No.57			7.9	6.1	2.2	150.0	完存	表裏側面全周磨痕	23-410	ⅡB-5205
	SI06	S1-06-3	No.115			5.8	5.4	3.9	155.0	完存	表裏側面全周磨痕	23-411	ⅡB-6022
	SI06	S1-06-1	No.36			9.3	8.4	3.4	376.0	完存	表裏側面全周磨痕	23-412	ⅡB-7208
	SI06	S1-06-1	No.5			8.4	7.4	2.9	297.0	完存	表裏側面全周磨痕	23-413	ⅡB-8004
	SI06	S1-06-5	No.17			9.1	7.8	2.9	285.0	完存	表裏側面全周磨痕、側面一部強い磨痕	23-414	ⅡB-8141
	SI06	S1-06-5	No.8			6.5	5.6	3.5	192.0	一部欠損	表裏側面全周磨痕、側面3箇所敲打、敲打による剥離あり	23-415	ⅡB-8152
	SI07	S1-07-3	No.13			9.2	6.1	3.0	260.0	完存	赤色顔料付着、表裏側面全周磨痕、上端若干敲打、表面一部強い磨痕	24-418	ⅡB-1377
	SI07	S1-07-4	No.2			6.1	6.0	3.1	176.0	完存	赤色顔料付着、表裏側面全周磨痕	24-419	ⅡB-6024
	SI07	S1-07-3	No.41			6.4	6.3	4.8	257.0	完存	被熱、全体的に磨痕、一部平滑ツルツル	24-420	ⅡC-45
	SI08	S1-08 風倒木				8.0	7.8	5.6	504.0	完存	表裏側面全周磨痕、下端一部敲打痕	24-421	ⅡA-4001

第16表磨石・敲石観察計測表

挿図番号	新'グ'リット	出土遺構・'グ'リット	取上 No.	石材	石材備 考	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	残存 率	特徴	通No.	磨石・敲 石No.
	SI08	S I-08-3	No.5			9.3	6.8	2.2	254.0	完存	表裏側面全周磨痕、全体に強い磨痕、平滑的	24-422	II A-8001
	SI08	S I-08-3	No.9			8.7	6.5	2.5	220.0	完存	表裏側面全周磨痕	24-423	II B-1035
	SI08	S I-08 風倒木				7.9	6.9	3.8	291.0	完存	表裏側面全周磨痕、側面一部敲打	24-424	II B-1036
	SI08	S I-08 風倒木				7.9	7.4	4.3	342.0	完存	表裏側面一部磨痕+若干の敲打、被熱	24-425	II B-3020
	SI09	S I-09 最下層	No.21			11.0	8.3	5.0	633.0	完存	表裏側面全周磨痕、表一部強い磨痕	24-426	II B-1382
	SK13	S K-13	No.11			10.3	7.2	4.7	490.0	完存	表裏側面全周磨痕、上下端+側面一部敲打著しい	24-428	II B-1037
	SK32	S K-32	No.5			7.4	6.3	3.7	234.0	完存	表裏側面全周磨痕	24-429	II B-1038
	SK36B	S K-36B	No.1			19.8	9.1	6.6	1936.0	完存	表裏側面全周磨痕、上下端敲打+磨痕、一部強い磨痕	24-431	I-96
	SK37B	S K-37B 14-K1				6.7	3.9	3.3	109.0	完存	表裏敲打+一部磨痕、下端(図上端)敲打+若干の磨痕、小ハンマー	24-432	III-1014 (棒)
	SK62	S K-62	No.1			6.3	6.1	2.2	141.0	完存	表裏側面全周磨痕、上下端及び右側面敲打痕目立つ、表面凹2	24-433	II B-6025
	SK63	S K-63 攪乱	No.1			10.8	6.8	3.2	285.0	完存	被熱、表裏側面全周磨痕	24-434	V-5004
	I014	I0-J4				7.8	3.5	2.4	79.0		上下端敲打+磨痕、上端やや敲打目立つ、表裏磨痕	24-435	III-1135
	I5J2	S D-01 15-K2 1区				9.7	7.2	2.9	284.0		表裏側面全周磨痕、表一部皿状に凹む	24-436	II B-1041
	I4J2	S D-03 14-K2 18区				6.9	6.5	3.5	223.0		実物不明	24-437	II A-3037
	I014	S D-12 10-J4	No.13			7.4	6.3	5.4	341.0		卵状、全体磨痕、一部強い磨痕	24-438	II A-4002
	I6J0	S D-04 16-K0				5.9	5.6	1.9	92.0		表裏側面全周磨痕	24-440	II B-6003
	I5J2	S D-10 15-K2				6.0	6.0	2.7	131.0		赤色顔料側面一部でやや多く付着、表裏側面全周磨痕	24-441	II A-7006
	I6J0	S D-04 16-K0				9.6	5.5	2.7	211.0		赤色顔料付着一部、表裏+側面一部磨痕	24-443	II B-1050
	I6J0	S D-04 16-K0				8.5	6.9	3.4	287.0		一部赤色顔料付着、表裏側面全周磨痕	24-444	II B-1053
	I5I7	S D-04 15-J7	No.1			8.3	4.7	3.5	188.0		図裏面2面強い磨痕、側面一部磨痕、上端+側面一部敲打痕	24-445	II B-1380
	I5I6	S D-01 15-J6				6.3	6.1	3.6	203.0		表裏側面全周磨痕	24-446	II B-3022
	I5J1	S D-01 15-K1 16区				8.6	6.3	2.1	170.0		表裏側面全周磨痕、面一部強い磨痕	24-447	II B-5191
	I5I7	S D-04 15-J7	No.58			6.8	6.7	2.7	169.0		表裏側面全周磨痕	24-449	II B-6028
	I5I7	S D-04 15-J7	No.80			6.0	5.8	2.7	130.0		表裏側面全周磨痕	24-450	II B-6029
	I6J1	S D-04 16-K1				7.2	6.8	2.4	174.0		表裏側面全周磨痕	24-451	II B-6036
	I5I7	S D-04 15-J7 埋土				9.2	7.8	4.2	432.0		表裏磨痕、中央浅い凹み表1・裏1、側面全体敲打+磨痕	24-452	II B-8007
	I6J0	S D-04 16-K0				15.5	8.3	6.0	1153.0		被熱、ほぼ全面に強い磨痕、平滑ツルツル、側面はやや粗い磨痕	24-456	I-3
	I6J0	S D-04 16-K0				7.2	5.3	3.1	190.0		表裏側面全周磨痕、上下端敲打+磨痕、凹み2・2	24-457	V-5005
	I9I7	S D-09 19-J7	No.27			8.1	6.8	3.2	250.0		表裏側面全周磨痕	24-459	II B-8010
	I8I7	S D-09 18-J7	No.30			13.8	7.5	4.8	727.0		表裏側面全周磨痕、側面一部数力所敲打痕、面一部強い磨痕	24-460	II A-1061
	SD09	S D-09	No.15			14.9	9.4	6.4	1249.0		表裏側面全周磨痕、面一部強い磨痕	24-461	II B-1062
	I8I7	S D-09 18-J7	No.75			11.6	7.4	2.3	313.0		表裏側面全周磨痕	24-462	II B-8011
	I8I7	S D-09 18-J7	No.62			11.3	6.9	5.2	542.0		表裏側面全周磨痕、図上端若干敲打、赤色顔料わずかに付着	24-463	III-3014
	I014	S D-12 10-J4	No.16			11.1	9.6	6.1	921.0		表裏磨痕、片面強い磨痕、側面若干磨痕	24-464	II B-1064
	I015	S D-12 10-J5	No.23			10.5	8.8	6.4	914.0		表裏側面全周磨痕、下端(図上端)敲打	24-465	II B-1066
	I016	S D-12 10-J6	No.18			14.1	9.0	7.0	1290.0		被熱、表裏側面全周磨痕、上下端若干敲打、被熱	24-466	II B-2008
	I016	S D-12 10-J6	No.31			11.1	9.1	7.7	1169.0		表裏側面磨痕、一部強い磨痕面状、上下端敲打	24-467	II B-5192
	I015	S D-12 10-J5	No.25			7.3	6.8	3.2	242.0		表裏側面全周磨痕、扁平	24-468	II B-6041
	SD13	S D-13	No.18			6.8	6.3	2.5	165.0		表裏側面全周磨痕	24-473	II B-7024
	SD14	S D-14	No.4			7.9	6.9	2.6	222.0		表裏+側面1/2磨痕	24-475	II B-7023
	SD14	S D-14	No.2			9.2	8.1	5.4	541.0		表裏側面全周磨痕、表凹み1	24-476	V-3003
	I014	S D-15A 14-J4	No.12			7.5	7.5	2.8	225.0		表裏側面全周磨痕	24-477	II B-3026
	I014	S D-15A 14-J4	No.10			8.6	8.3	3.1	332.0		表裏側面全周磨痕、表裏面の小凹み幾つかは敲打痕か	24-478	II B-6047
	I5I5	S D-16 15-J5				8.2	7.1	3.4	308.0		被熱、表裏側面全周磨痕、下端一部敲打	24-479	II B-1074
	SD16	S D-16	No.52			10.7	9.0	6.9	864.0		表裏側面磨痕	24-480	II B-4002
	SD16	S D-16	No.63			8.1	7.2	3.0	275.0		表裏側面全周磨痕、方形に整形、扁平	24-481	II B-7026 (角)
	SD16	S D-16	No.60			7.0	7.3	3.7	314.0		被熱、凹部両面1:1、表裏側面磨痕一部、側面敲打一部で多	24-482	V-7001
	SEC T3	S E C T-3				8.7	7.8	2.6	267.0	完存	表裏側面全周磨痕、表面の凹み人為か不明	24-483	II B-3027
	SEC T3	S E C T-3				4.5	3.2	2.3	45.0		表裏若干磨痕、上下端敲打著しい、山形状に2面作られる。	24-484	III-2010 (豆)
	SEC T5	S E C T-5				7.3	6.4	1.8	129.0		表裏側面全周磨痕、被熱	24-485	II B-7027
	SEC T5	S E C T-5				9.5	8.1	6.7	763.0	完存	表裏側面全周磨痕、一部強い磨り、面の一部敲打	24-486	II B-4004
	SEC T5	S E C T-5				7.0	6.5	5.0	219.0	完存	全面磨痕、凹部表1、やや平らな面の中央に凹み	24-487	V-4001
	SEC T6	S E C T-6				10.3	8.7	5.7	787.0		表裏側面全周磨痕、下端一部敲打	24-488	II B-1081
	SEC T6	S E C T-6				6.9	6.2	5.3	217.0	完存	全体に磨痕、浅めの凹み内磨痕目立つ	24-489	V-4006
	SEC T6	S E C T-6				5.8	5.6	4.2	136.0		表裏側面全周磨痕、下端敲打による凹み1	24-491	II B-6050
	SEC T6	S E C T-6				8.5	7.2	3.6	322.0	完存	表面に溝状の凹部、表裏側面全周磨痕、上下端敲打	24-492	II B-5201
	SEC T6	S E C T-6				8.8	7.5	2.6	252.0		表裏側面全周磨痕、側面一部敲打	24-493	II B-9020
	SEC T6	S E C T-6				8.5	7.6	2.2	211.0	完存	表裏側面全周磨痕、側面一部直線的になるほどの強い磨痕	24-494	II B-9013
	SEC T6	S E C T-6				7.6	6.6	3.9	290.0		赤色顔料付着、被熱、表裏側面全周磨痕、表中央若干凹む	24-495	II B-8013
	SEC T6	S E C T-6				7.6	7.1	5.4	333.0	完存	凹部1+2、表裏側面全周磨痕	24-497	V-6008
	SEC T7	S E C T-7				7.8	6.2	4.3	318.0		被熱、表裏側面全周磨痕、表一部は強い磨痕	24-499	II A-1002

第17表石皿・多功石観察計測表

挿入番号	新ゲリット	出土遺構・ゲリット	取上No.	石材	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	通No.	仮No.
第325図1	I04	イ0-J4-1	No.10	スコリア質安山岩	第四紀	一部欠損	6.5	(5.3)	3.4		小形、表石皿面+磨痕、側面及び裏平らに整形の磨痕	25-1086	1002
第325図2	SEC T6	SEC T-6		スコリア質玄武岩	第四紀	完存	7.4	6.5	4.6	139.0	凹み石で光波深く漏斗状、裏平坦面、側面含め整形	25-1080	SEC~006
第325図3	I113	イ1-J3-1	No.25	流紋岩		完存	12.0	11.1	5.0	803.0	石皿面磨り痕、側面~裏面磨り面、縁近く整形の磨痕	25-1088	1010
第325図4	SEC T6	SEC T-6		スコリア質安山岩	第四紀	破片	(9.8)	(8.0)	(7.9)	(474.0)	石皿兼多孔石、上・左側面・割れ面も転移させて石皿として使用、各面磨痕顕著	25-1083	SEC~010
第325図5	I4J2	イ4-K2-14	No.97	輝石安山岩	緻密	完存	10.8	7.8	3.0	317.0	赤色顔料付着、表磨痕顕著、裏面若干の磨痕	25-1115	1223
第325図6	I4J0	イ4-K0-11	No.126	輝石安山岩	緻密	完存	11.7	9.1	1.9	302.0	赤色顔料表広範囲に付着、表裏側面磨痕、薄手扁平	25-1113	1215
第325図7	I5I7	SD-04 イ5-J7	No.10	輝石安山岩	第四紀	完存	16.8	13.8	4.5	1288.0	表裏孔1:1+磨痕	25-1051	SD~010
第325図8	SI05	SI-05-5	No.253	輝石安山岩	第四紀	完存	11.0	10.8	2.6	485.0	表全体に赤色顔料付着、小形扁平、表裏磨痕著しい	25-1046	SI~095
第325図9	SI12	SI-22 床下6	No.7	輝石安山岩	第四紀	完存	18.0	13.3	3.3	1024.0	被熱、表裏磨痕、側面整形	25-1012	SI~022
第325図10	I116	イ1-J6-2・4	No.7・9・10	輝石安山岩		完存	18.8	14.6	3.6	1276.0	表裏磨痕、側面整形の磨痕	25-1091	1023
第325図11	SEC T6	SEC T-6		スコリア質玄武岩	第四紀	1/4	(9.5)	(9.0)	(5.2)	(388.0)	表裏石皿面、片面は+多孔面、側面整形	25-1081	SEC~007
第326図1	I5J0	SD-04 イ5-K0		輝石安山岩		ほぼ完存	16.7	12.0	3.7	(1076.0)	表中央敲打の凹2(台石打痕状)、側面一部敲打、表裏磨痕	25-1055	SD~018
第326図2	I116	イ1-J6-1	No.30	角閃石片岩		完存	14.1	10.3	2.9	705.0	赤色顔料付着、表裏側面磨痕	25-1117	1227
第326図3	SI05	SI-05-10	No.21	輝石安山岩	第四紀	完存	25.7	12.5	3.5	1707.0	被熱、扁平、側面整形磨痕、表裏磨痕明瞭	25-1029	SI~055
第326図4	I5I6	SD-04 イ5-J6		輝石安山岩	第四紀	完存	22.0	9.7	4.8		両端敲打+磨痕、表裏磨痕+敲打痕、表面小凹2	25-1050	SD~009
第326図5	SI05	SI-05-5	No.279	輝石安山岩		完存	9.5	10.5	3.8	611.0	小形、表裏磨痕、側面敲打+磨痕	25-1025	SI~046
第326図6	SI09	SI-09 最下層	No.11	輝石安山岩	第四紀		(14.1)	(8.6)	(3.4)	(646.0)	赤色顔料表面中央に付着、被熱、表裏敲打+磨痕、側面敲打+磨痕整形	25-1038	SI~074
第326図7	I6I9	イ6-J9-0		輝石安山岩	第四紀	破片	(9.1)	(10.9)	(4.7)	(591.0)	表石皿面、縁途切れ片口状、裏面石皿面+磨痕、側面磨痕	25-1141	2125
第327図1	SI01	SI-01-1	No.477	輝石安山岩	第四紀		18.7	16.2	5.5	2210.0	側面加工、表裏磨痕	25-1002	SI~007
第327図2	I6J1	イ6-K1-5	No.118	多孔質輝石安山岩		完存	18.0	13.2	7.0	1712.0	凹み小孔4:2、石皿面やや狭い範囲、側面整形の磨痕	25-1154	3076
第327図3	SI02	SI-02 床下1	No.14	輝石安山岩	緻密	完存	18.3	15.8	6.6	2560.0	表裏磨痕、側面も部分的に磨痕、表面中央凹み内平滑	25-1010	SI~019
第327図4	SI03	SI-03-11 イ1-J6 最下層	No.11	輝石安山岩	第四紀	完存	22.3	12.4	5.8	2270.0	被熱、表裏磨痕、側面一部磨痕	25-1019	SI~034
第327図5	I7J0	イ7-K0-1	No.20	輝石安山岩	第四紀	1/2	(10.0)	(10.3)	(4.1)	(581.0)	表敲打で平坦面形成、側面裏面磨痕	25-1111	1190
第327図6	I4J0	イ4-K0-12	No.63	多孔質輝石安山岩	第四紀		(14.5)	(10.8)	(5.2)	(586.0)	表裏側面磨痕、縁明瞭に整形、表面顔料付着	25-1098	1066
第328図1	SD16	SD-16	No.7	多孔質安山岩	第四紀	2/3	(23.0)	(20.1)	4.0	(2210.0)	表裏磨痕+小孔2、側面整形の磨痕	25-1070	SD~052
第328図2	SI03	SI-03-11 イ1-J6 最下層	No.37	輝石安山岩	第四紀	破片	(23.4)	(21.6)	4.1	(3450.0)	被熱、赤色顔料付着、表の中央で目立つ、表裏側面磨痕	25-1021	SI~037
第328図3	I6I7	イ6-J7-4	No.33	多孔質輝石安山岩	第四紀	完存	36.5	30.3	9.1		表帯状・円状の磨面が表裏に数力所、磨痕顕著、小孔10程度、側面磨痕、裏面多孔面	25-1152	3064
第329図1	SI03	SI-03-4	No.99	輝石安山岩	第四紀	完存	21.3	15.5	4.3	2100.0	有縁明瞭、側面含め整形、表の凹み内中央磨痕著しい	25-1013	SI~023
第329図2	SI01	SI-01-3	No.47	多孔質輝石安山岩	第四紀	完存	16.4	11.8	3.7	1059.0	表皿状に凹む、裏・側面整形、整った楕円に整形	25-1005	SI~012
第329図3	I4J1	イ4-K1-19	No.222	輝石安山岩	第四紀	完存	21.5	18.5	4.9	2790.0	表平坦な石皿面、裏面石皿面+多孔面、狭い範囲皿状に凹み、側面磨痕+小孔	25-1128	2030
第329図4	I6J0	イ6-K0-E-2	No.76	輝石安山岩	第四紀	完存	18.4	14.8	3.7	1558.0	表石皿面敲打+磨痕、裏磨痕、側面整形磨痕で有縁	25-1107	1160
第330図1	I6J1	イ6-K1-13	No.17	多孔質輝石安山岩	第四紀	1/2	(30.8)	(15.4)	(4.5)	(1773.0)	両面石皿面、表小孔4:10、縁明瞭、側面整形の磨痕+敲打の小孔	25-1155	3077
第330図2	I6I7	イ6-J7-4	No.38	多孔質輝石安山岩	第四紀	完存	52.5	23.8	6.6	9740.0	縁明瞭に整形、表帯状に著しい磨痕、裏面も磨面	25-1102	1102
第331図1	I4I9	イ4-J9-15	No.7	多孔質輝石安山岩	第四紀	1/4	26.3	25.4	15.0	9290.0	表凹み部磨痕顕著、縁多孔面+磨痕、裏面敲打+磨痕、側面磨痕	25-1142	2130
第331図2	SK33	SK-33	No.2	多孔質玄武岩	第四紀	1/4	(21.2)	(20.7)	7.6	3520.0	縁明瞭、側面整形、表石皿面+多孔面で磨痕明瞭、裏多孔面+若干の磨痕	25-1076	SK~002
第331図3	I0I6	SD-12 イ0-J6	No.21	砂岩	古期	破片	(12.0)	(14.6)	(10.5)	(2690.0)	被熱、両面小孔1:1、両面磨面、片面は平滑、割れ面も磨痕あり	25-1061	SD~038
第331図4	SK20	SK-20	No.1	多孔質輝石安山岩	第四紀	破片	(15.1)	(7.2)	(6.9)	(740.0)	表裏石皿面、磨痕明瞭、割れた面も多孔+磨痕	25-1075	SK~001
第332図1	I4I9	イ4-J9-6	No.68	輝石安山岩	第四紀		15.8	17.8	7.80	2300	C字状に中央から一端部に向けて貫通、表裏側面整形の磨痕、表凹む傾斜面整形及び使用の磨有縁、側面磨り整形、表裏面多孔	26-1384	2
第332図2	I0I5	SD-12 イ0-J5	No.16	スコリア質安山岩	第四紀	破片	(11.5)	(13.7)	(5.7)	(594.0)		25-1059	SD~033
第332図3	SI03	SI-03-10	No.32	多孔質輝石安山岩	第四紀	破片	(17.0)	(11.6)	(7.4)	(1197.0)	被熱、石皿片転用再利用、広めの石皿面は本来の側面か、直線的な線状痕あり	25-1015	SI~025
第332図4	I6I7	イ6-J7-6	No.59	多孔質輝石安山岩	第四紀	破片	(22.7)	(13.8)	(7.0)	(2450.0)	表多孔面+磨痕、裏面石皿面+磨痕、側面の割れ面も磨痕(転用または再利用)	25-1129	2044
	SI01	SI-01-1	No.162			破片	(12.8)	(11.7)	(6.6)	(813.0)	被熱、側面加工、表裏磨痕+多孔	25-1001	SI~003
	SI01	SI-01-2	No.198			破片	(11.9)	(9.4)	(3.1)	(509.0)	側面加工、表裏磨痕、一面は著しい	25-1003	SI~010
	SI01	SI-01-3	No.37				(9.3)	(13.7)	(2.7)	(667.0)	表裏磨痕+敲打、一面若干凹む	25-1004	SI~011
	SI01	SI-01-4	No.168				(14.3)	(18.5)	9.4	(1906.0)	被熱、表裏磨痕+敲打	25-1006	SI~014
	SI01	SI-01-5	No.33			完存	163.0	147.0	43.0	1603.0	表裏磨痕+敲打、台石状	25-1007	SI~015
	SI02	SI-02 床下1	No.1			破片	(12.1)	(11.5)	(4.8)	(702.0)	被熱、表裏磨痕、表の小凹みは敲打痕多か、裏凹み数力所	25-1008	SI~016
	SI02	SI-02 床下1	No.3			破片	19.4	(13.8)	4.9	(2000.0)	被熱、両面磨痕、側面整形	25-1009	SI~017
	SI02	SI-02 床下4	No.6			破片	(19.3)	(11.9)	(6.1)	(1787.0)	被熱、表裏磨痕、側面磨痕?	25-1011	SI~021
	SI03	SI-03-8・10	No.58・66			ほぼ完存	41.3	22.4	9.7	(11670.0)	台石状、表裏磨痕、整形は不明	25-1014	SI~027

第17表石皿・多功石観察計測表

挿図番号	新ゲリット	出土遺構・ゲリット	取上No.	石材	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	通No.	仮No.
	SI03	S I-03-10・11	No. 72・74			ほぼ完存	29.7	19.8	7.1	(6138.0)	被熱、表裏磨痕だが、凹む表面側著しい。側面敲打+整形磨痕	25-1016	S I ~ 031
	SI03	S I-03-10	No. 77・78			ほぼ完存	36.2	22.1	10.0	(11300.0)	被熱、表裏側面磨痕	25-1017	S I ~ 032
	SI03	S I-03-11 イ1-J6 最下層	No. 6			破片	(17.5)	(11.0)	(6.2)	(1448.0)	石棒状に敲打+磨整形、凹みは表裏面にあるが自然凹みも多	25-1018	S I ~ 033
	SI03	S I-03-11 イ1-J6 最下層	No. 32			破片	(24.9)	(19.5)	5.2	(2870.0)	両面石皿面、やや薄手扁平	25-1020	S I ~ 036
	SI04	S I-04-2	No. 1			破片	(10.4)	(8.3)	(8.5)	(582.0)	被熱、表裏側面に多孔	25-1022	S I ~ 039
	SI05	S I-05-5	No. 209			破片	(6.3)	(8.3)	(3.0)	(206.0)	表裏磨痕、磨石か	25-1023	S I ~ 042
	SI05	S I-05-5	No. 223			破片	(28.6)	(14.9)	(3.8)	(2250.0)	被熱著しい。数片に割れ、表裏磨痕、平滑面形成	25-1024	S I ~ 043
	SI05	S I-05-5	No. 281			完存	16.1	11.1	2.6	709.0	被熱、表裏磨痕、孔は自然か	25-1026	S I ~ 047
	SI05	S I-05-7	No. 40			破片	(8.9)	(5.9)	(4.4)	(253.0)	被熱、縁わずかに厚め、表裏側面磨痕	25-1027	S I ~ 048
	SI05	S I-05-7	No. 50				(17.6)	(10.0)	(9.5)	1589.0	被熱、側面整形、表かなり凹み、有縁状、小凹	25-1028	S I ~ 049
	SI06	S I-06-1・3	No. 37・136			ほぼ完存	(26.4)	(8.9)	(7.6)	(3126.0)	被熱、断面三角形、三面とも磨痕、特に一面は平滑で砥石状	25-1030	S I ~ 061
	SI06	S I-06-3	No. 111			破片	16.4	7.7	6.5	829.0	表裏側面磨痕、剥離は敲打痕?	25-1031	S I ~ 062
	SI06	S I-06-3	No. 132			完存	12.5	29.0	5.5	2940.0	表裏磨痕、側面磨痕は整形か	25-1032	S I ~ 063
	SI07	S I-07-3	No. 14・15				(11.6)	(14.4)	(5.6)	(1665.0)	表裏側面磨痕	25-1033	S I ~ 064
	SI07	S I-07-4	No. 57				(13.1)	(6.8)	(3.6)	(540.0)	被熱、表裏側面磨痕、表裏の中央は平滑でツルツル	25-1034	S I ~ 069
	SI08	S I-08-2	No. 9			ほぼ完存	27.9	17.6	8.1	(4540.0)	表裏磨痕若干+敲打	25-1035	S I ~ 071
	SI08	S I-08 風倒木				破片	(8.6)	(8.7)	(1.5)	(189.0)	表縁状痕、砥石状	25-1036	S I ~ 072
	SI09	S I-09 最下層	No. 1			完存	16.3	13.1	3.7	1392.0	表裏側面敲打+磨痕	25-1037	S I ~ 073
	SI09	S I-09 最下層	No. 16			ほぼ完存	16.0	13.6	3.4	(1186.0)	表裏敲打+磨痕、側面若干磨痕	25-1039	S I ~ 076
	SI09	S I-09 最下層	No. 17			破片	(11.3)	(17.1)	(6.3)	(1719.0)	被熱、表裏側面敲打+磨痕	25-1040	S I ~ 077
	SI02	S I-02 床下-7	No. 10				14.4	8.5	3.0	553.0	被熱、小形、表裏側面磨痕、表中央かなり平滑	25-1041	S I ~ 079
	SI01	S I-01-2	No. 362			一部欠損	23.4	(18.6)	5.5	(3070.0)	被熱、表裏側面磨痕、表磨痕著しく全体凹む	25-1042	S I ~ 083
	SI01	S I-01-3	No. 48				(21.5)	(11.2)	(6.8)	(2740.0)	表裏側面敲打+磨痕、側面一部敲打による剥離	25-1043	S I ~ 084
	SI03	S I-03-10	No. 85			一部欠損	21.6	(11.4)	(4.6)	(1869.0)	被熱、顔料及びタール?付着、表裏側面磨痕	25-1044	S I ~ 090
	SI01	S I-01-2	No. 208				(10.8)	(6.9)	(3.8)	(298.0)	赤色顔料付着は表面帯状部分、表裏磨痕	25-1045	S I ~ 094
	I4J2	S D-01 イ4-K 2 12区				破片	(6.6)	(9.4)	(7.0)	(363.0)	表多孔面、裏石皿面、裏面磨痕若干、全形不明	25-1047	S D ~ 002
	I5J0	S D-01 イ5-K 0 16区				破片	(11.1)	(4.4)	(5.0)	(268.0)	縁整形、表石皿面の磨痕、裏整形の磨痕か	25-1048	S D ~ 003
	I5I6	S D-04 イ5-J 6				1/3	(11.5)	(11.2)	(5.2)	(551.0)	縁部整形?石皿面浅いが磨痕明瞭	25-1049	S D ~ 008
	I5I7	S D-04 イ5-J 7	No. 39			破片	(13.8)	(5.7)	(3.7)	(340.0)	被熱、片面に孔1、両面敲打+磨り	25-1052	S D ~ 011
	I5I8	S D-04 下層 イ5-J 8 5区				破片	(7.8)	(7.1)	(4.1)	(190.0)	表面孔3、表裏磨面	25-1053	S D ~ 014
	I5I9	S D-04 下層 イ5-J 9 25区				破片	(14.7)	(7.5)	(5.9)	(557.0)	被熱、縁明瞭、側面整形、表裏側面磨痕	25-1054	S D ~ 016
	I6J0	S D-04 イ6-K 0				破片	(12.9)	(9.5)	(6.4)	509.0	表裏側面多孔+磨痕、割れ面にも多孔、孔深い	25-1056	S D ~ 019
	SD09	S D-09	No. 26			破片	(18.7)	(17.7)	(6.0)	(2620.0)	被熱、表裏側面磨痕	25-1057	S D ~ 025
	I7I4	S D-09 イ7-J 4 埋土				破片	(13.0)	(9.8)	(4.8)	(500.0)	側面整形の敲打+磨(明瞭)、表裏磨痕、表小孔3、裏大きめで深い凹状の孔1	25-1058	S D ~ 026
	I0I5	S D-12 イ0-J 5	No. 95			破片	(10.3)	(6.4)	(2.3)	270.0	片面敲打+若干の磨痕、別面及び側面磨痕	25-1060	S D ~ 034
	I0I6	S D-12 イ0-J 6	No. 50			破片	(9.3)	(6.6)	(5.4)	(287.0)	片面多孔面+若干磨痕、片面石皿面+磨痕	25-1062	S D ~ 041
	I4I4	S D-14 B イ4-J 4	No. 12			破片	(13.5)	(14.4)	(8.6)	(1762.0)	片面欠損、表磨面、敲打による浅い凹11	25-1063	S D ~ 043
	I4I4	S D-14 B イ4-J 4	No. 14			破片	(10.0)	(9.7)	(4.2)	(473.0)	表裏側面磨痕	25-1064	S D ~ 044
	SD14	S D-14	No. 7			1/3	(13.7)	(12.5)	(4.6)	(1505.0)	表裏側面磨痕	25-1065	S D ~ 045
	SD14	S D-14	No. 12			破片	(10.2)	(4.7)	(5.1)	(383.0)	表裏側面敲打+磨痕、やや小形	25-1066	S D ~ 046
	SD14	S D-14 埋土				破片	(7.9)	(7.9)	(6.0)	(294.0)	表裏多孔面、表は磨り加わる。	25-1067	S D ~ 048
	SD15	S D-15 イ4-J 5	No. 1			1/2	(18.0)	(13.0)	(4.9)	1540.0	両面磨り面、側面敲打+磨痕	25-1068	S D ~ 050
	SD15	S D-15 イ4-J 5				破片	(10.6)	(11.6)	(5.0)	(525.0)	表裏磨痕、片面は敲打+磨痕	25-1069	S D ~ 051
	SD16	S D-16	No. 19			1/2	(16.1)	(20.7)	(9.1)	(3330.0)	被熱、表裏磨痕、孔一部は敲打痕か	25-1071	S D ~ 054
	SD16	S D-16	No. 47			破片	(15.6)	(9.6)	(5.0)	(775.0)	表裏石皿磨面、側面整形磨痕、裏~側面小凹孔数カ所	25-1072	S D ~ 056
	SD16	S D-16 埋土				1/2	(11.3)	(5.1)	2.5	(214.0)	小形、片面凹み縁明瞭、表裏側面磨痕	25-1073	S D ~ 058
	SD16	S D-16 埋土				破片	(7.0)	(4.9)	(5.7)	(128.0)	表磨面+多孔+小凹孔多、側面整形の磨痕	25-1074	S D ~ 061
	SEC T4	S E C T-4				1/2	(14.4)	(23.2)	(8.3)	(2500.0)	表裏石皿+多孔面+磨痕、側面整形の磨痕、孔やや小さめだが深い	25-1077	S E C ~ 002
	SEC T4	S E C T-4				1/2	(26.3)	(21.4)	9.6	6800.0	表石皿面、平滑な磨り面、側面・裏面若干の磨痕+敲打	25-1078	S E C ~ 003
	SEC T5	S E C T-5				2/3	10.7	9.6	2.5	421.0	表裏側面磨痕、石皿面は表一面	25-1079	S E C ~ 004
	SEC T6	S E C T-6				破片	(9.1)	(6.3)	(5.1)	(262.0)	両面多孔+磨り面、側面整形で縁明瞭	25-1082	S E C ~ 009
	SEC T7	S E C T-7				破片	(9.8)	(6.2)	(10.2)	(463.0)	表裏石皿磨面、一面は+多孔面、割れ面も使用か	25-1084	S E C ~ 011
	SEC T4	S E C T-4				破片	(9.1)	(8.6)	(4.9)	30.0	表裏石皿面、側面~裏面磨痕	25-1085	S E C ~ 014
	I0I4	イ0-J4-Sベ-3	No.90			破片	(15.4)	(10.9)	(5.5)	(1423.0)	被熱、片面に摩面、裏欠損、側面整形の磨痕	25-1087	S I ~ 1005
	I1I3	イ1-J3-1	No.37			破片	(13.8)	(13.4)	(4.0)	(598.0)	表裏側面磨痕	25-1089	1011
	I1I6	イ1-J6-1・2	No.25・17			一部欠損	(19.1)	(11.4)	(3.2)	(1169.0)	被熱、煤付着、表裏敲打+磨痕、平滑面	25-1090	1019
	I2I5	イ2-J5-4	No.4			完存	19.7	12.4	8.9	2390.0	表裏側面磨痕	25-1092	1028
	I2I6	イ2-J6 P-10	No.1			完存	22.0	19.2	4.0	2110.0	表裏側面磨痕、両面中央磨痕顕著	25-1093	1030

第17表石皿・多功石観察計測表

挿図番号	新ゲリット	出土遺構・ゲリット	取上No.	石材	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	通No.	仮No.
	I4I7	イ4-J7-1	No.45			破片	(14.5)	(13.6)	(6.3)	(1302.0)	被熱、表裏側面磨痕、縁整形	25-1094	1045
	I4I7	イ4-J7-4 23区				完存	21.9	17.0	5.3	3180.0	表裏側面1/2敲打+磨痕、表帯状凹部	25-1095	1046
	I4J0	イ4-K0-2	No.141			完存	14.4	14.5	3.4	968.0	表裏磨痕、縁近くまで磨り	25-1096	1060
	I4J0	イ4-K0-8	No.130			1/2	(13.4)	(20.0)	(5.3)	(1858.0)	表裏側面磨痕	25-1097	1064
	I4J0	イ4-K0-16	No.172			完存	12.2	9.5	2.1	336.0	被熱、表裏磨痕	25-1099	1073
	I4J1	イ4-K1-9	No.232			破片	(15.0)	(10.6)	(4.2)	(1217.0)	表裏敲打+磨痕	25-1100	1084
	I4J3	イ4-K3-6	No.18			ほぼ完存	18.1	23.9	5.3	2510.0	黒変、表面7-8mm凹の石皿面磨痕、裏面磨痕	25-1101	1101
	I6I9	イ6-J9-2	No.133			ほぼ完存	13.0	13.6	4.4	(1079.0)	小形、表石皿面磨り面、裏磨り面、側面敲打+一部磨痕	25-1103	1139
	I6J0	イ6-K0-5	No.191			1/3	(12.8)	(24.0)	(6.6)	(1764.0)	縁低く途切れる部分あり、表裏側面磨痕	25-1104	1150
	I6J0	イ6-K0-15	No.1				(18.4)	(14.9)	(7.9)	(1403.0)	被熱、表裏側面磨痕、表裏中央に向かってかなり凹み	25-1105	1152
	I6J0	イ6-K0-Nベ-2	No.83			完存	25.0	19.5	5.1	3930.0	表裏側面磨痕、表石皿面磨痕顕著で凹む	25-1106	1159
	I6J1	イ6-K1-2・5	No.52・42				(16.5)	(11.6)	(5.4)	(930.0)	表裏側面磨痕、側面整形の磨痕	25-1108	1165
	I6I9	イ6-J9 斜面				破片	(13.8)	(14.2)	(6.6)	(1804.0)	表敲打+磨痕、裏側面磨痕	25-1109	1172
	I6J1	イ6-K1-サブベ-41 10区	No.199			完存	26.8	17.1	6.5	3500.0	表裏側面一部磨痕	25-1110	1182
	表探	2区表探				完存	10.5	9.4	7.7	797.0	凹み石、径大きめの凹1、全体磨痕	25-1112	1197
	I4J1	イ4-K1-9	No.65			一部欠損	(31.7)	19.0	9.5	(8650.0)	表裏磨痕顕著、側面一部磨痕	25-1114	1220
	F9I4	A9-J4 攪乱-2				ほぼ完存	20.3	10.5	4.3	(1556.0)	表裏磨痕、側面一部磨痕	25-1116	1226
	I4I5	イ4-J5-3	No.14				29.6	24.1	10.6	11800.0	表裏側面磨痕、表中央はツルツルな平滑面形成	25-1118	1229
	I4I8	イ4-J8 5区攪乱				完存	14.2	12.4	6.6	1439.0	表石皿面、側面一部磨痕	25-1119	1280
	I6J1	イ6-K1-14	No.27			完存	35.9	20.2	7.3	7470.0	表裏側面一部若干の磨痕、台石状	25-1120	1298
	I4J0	イ4-K0-8	No.300			破片	(15.0)	(9.5)	(6.5)	(686.0)	片面欠損、表石皿面磨痕、側面整形の磨痕、縁整っている	25-1121	1304
	I6J2	イ6-K2-7	No.48			破片	(11.7)	(3.6)	(5.4)	(178.0)	裏面欠損、表石皿面磨痕、側面整形の磨痕で縁明瞭	25-1122	1353
	I0I5	イ0-J5-2・3	No.11・6			1/3	(27.5)	(14.8)	(9.0)	4920.0	(実物不明)	25-1123	2001
	I1I6	イ1-J6-3	No.17			完存	12.1	11.3	5.5	842.0	(実物不明)	25-1124	2006
	I4J1	イ4-K1-11	No.264			ほぼ完存	19.9	13.3	8.9	(1909.0)	(実物不明)	25-1125	2025
	I4J1	イ4-K1-17	No.97			一部欠損	21.5	(15.8)	6.4	(3390.0)	(実物不明)	25-1126	2026
	I4J1	イ4-K1-19	No.210			1/3	(9.1)	(14.9)	(4.2)	(647.0)	(実物不明)	25-1127	2029
	I6I7	イ6-J7-9	No.67			破片	(34.8)	(27.8)	(11.2)	(10850.0)	表裏側面+割れ面磨痕、裏面凸面に多孔(孔10)	25-1130	2045
	I6J0	イ6-K0-3	No.415				(17.5)	(17.4)	(6.2)	(2600.0)	(実物不明)	25-1131	2050
	I6J1	イ6-K1-4	No.50			完存	20.6	16.3	4.0	1735.0	(実物不明)	25-1132	2056
	I6I7	イ6-J7-1	No.61			破片	(16.7)	(17.3)	(4.4)	(1540.0)	(実物不明)	25-1133	2058
	I6J1	イ6-K1-11	No.56			破片	(24.5)	(20.9)	(6.1)	(3870.0)	(実物不明)	25-1134	2059
	I6J2	イ6-K2 斜面				破片	(14.7)	(17.6)	(7.0)	(2740.0)	(実物不明)	25-1135	2063
	I7J0	イ7-K0-2	No.83			破片	(15.0)	(22.8)	(6.4)	(1908.0)	表石皿面+磨痕、裏多孔面、側面整形の磨痕	25-1136	2067
	I6I7	イ6-J7-6	No.72			1/4	(15.3)	(17.3)	(6.6)	(1273.0)	表裏石皿面、表小孔5、側面整形の磨痕	25-1137	2083
	I2I7	イ2-J7 攪乱				破片	(8.8)	(6.6)	(2.7)	(121.0)	表石皿面磨り弱、敲打目立つ、裏面磨痕、側面磨痕、縁明瞭	25-1138	2097
	I6I9	イ6-J9-5	No.7			1/4	(13.2)	(7.7)	(2.5)	(324.0)	裏欠損剥離面、表敲打+磨痕、小孔1、側面磨痕	25-1139	2116
	I6J1	イ6-K1-サブベ-5	No.245			1/3	(12.5)	(21.9)	(7.0)	(2470.0)	表石皿面表裏側面磨痕、整形の磨痕含む、小孔全て自然か	25-1140	2118
	I4I8	イ4-J8-1				破片	12.3	11.8	6.8	912.0	表石皿面磨痕、裏面多孔面、孔は2、側面整形の磨痕、比熱	25-1143	3020
	I4I5	イ4-J5-3	No.40			1/4	(21.4)	(17.2)	(9.4)	(2930.0)	表石皿面磨痕顕著、孔数個、裏面多孔面+磨痕、側面整形の磨痕	25-1144	3013
	I4I6	イ4-J6-3・2	No.3			1/2	(14.9)	(19.5)	(11.1)	(3300.0)	表裏石皿面の磨痕、表中央小孔群、縁及び側面整形の磨痕	25-1145	3016
	I4I8	イ4-J8 10区攪乱				破片	(10.3)	(10.5)	(8.2)	(701.0)	表石皿面+孔1、裏多孔面+磨痕、側面磨痕+孔1	25-1146	3024
	I4I9	イ4-J9-7	No.10			1/2	(13.5)	(19.2)	(7.0)	(1952.0)	表裏石皿面+小孔2・3、側面磨痕	25-1147	3028
	I4I8	イ4-J8 P-1	No.1			完存	24.1	17.6	9.2	4720.0	表石皿面、中央小孔群内及び周囲磨痕、裏側面磨痕	25-1148	3025
	I4I9	イ4-J9-11	No.2			完存	13.0	11.2	7.1	1160.0	小形、表広範囲凹む磨痕、側面裏面若干の磨痕	25-1149	3031
	I4J3	イ4-K3-6・7	No.9・1			破片	(24.7)	(23.8)	(8.8)	(5210.0)	被熱、表石皿面+磨痕顕著、裏側面磨痕、縁明瞭	25-1150	3055
	I5I8	イ5-J8 攪乱				破片	(11.4)	(11.6)	(4.9)	(482.0)	表裏石皿面+多孔面で磨痕+小孔多、側面敲打+磨痕、孔は大きめのものもあり	25-1151	3060
	I6J0	イ6-K0-2	No.100			1/2	(23.7)	(16.2)	(7.0)	(3400.0)	表多孔面+若干の磨痕、裏面やや平坦な石皿面、側面整形、孔は自然か	25-1153	3073
	I6J1	イ6-K1-10	No.65				(11.7)	(9.5)	(5.9)	(476.0)	表裏石皿面+小孔4・10、側面磨痕+大きめの凹み2	25-1156	3080
	I6J2	イ6-K2-2・3	No.14			破片	(18.8)	(17.7)	(7.5)	(3450.0)	両面多孔面、孔周囲磨痕顕著、表面側面整形で平滑にしている。孔10・12で一定範囲に集中、	25-1157	3083

第18表砥石観察計測表

挿入番号	新グリップ	出土遺構・グリップ	取上No.	分類	石材	石材備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	特徴	備考	仮No.
第333図1	イ016	イ0J6-4	14	B2	黒雲母流		10.5	6.6	2	213.31	表裏2面砥面、側面整形?の磨り痕		38
第333図2	イ4J2	イ4K2-13	89	B2	砂岩	新第三紀	9.3	7.8	2.7	294.9	敲打痕側面の磨り痕は成形痕か、表裏平滑な磨り		2
第333図3	SI05	SI05-9		A1	砂岩	新第三紀	7.5	6.7	1.8	71.43	面砥石、線状研磨痕、裏磨り面あり		29
第333図4	イ4J0	イ4K0-13	88	B1	砂岩	新第三紀	10.3	6.6	1.5	88.47	表裏平滑な磨り面、裏には細めの溝状凹部も加わ		14
第333図5	イ014	イ0J4-6-22区		B2	砂岩	新第三紀	6.7	5.4	2.8	171.01	表裏磨り痕顕著平滑、割れ口赤変部-被熱?		3
第333図6	SI05	SI05-10	64	C	砂岩	新第三紀	11.8	9.2	3.8	401.25	面砥石左右欠損、表裏磨り~砥面、裏面凹みあり		13
第333図7	イ014	イ0J4-1	23	B2	砂岩	新第三紀	10.7	9.6	5.5	747.51	表面磨り痕顕著、裏面若干の磨り痕・敲打痕、敲きに伴う剥離		30
第333図8	イ4J0	イ4K0-13	135	A2	凝灰質砂	新第三紀	13.3	15.2	4.2	1211.05	表溝状凹部2条、裏面磨り面		66
第333図9	イ7I7	イ7J7-S^`最下層25区		B2	砂岩	古期	13.3	8	6.2	1219.88	表裏磨り面、裏面平滑でツルツル、4辺欠損で全形不明	被熱	20
第334図1	イ116	イ1J6-W^`	5	A1	凝灰質砂	新第三紀	19.5	17.5	6.7	3066.13	表面筋痕、裏面平滑磨り面、特に中央良く磨られている。下方欠損		54
第334図2	イ6J0	イ6K0-2	141	A1	砂岩	新第三紀	7.3	6.3	3.2	145.54	表3条の溝、裏やや平滑な磨り面、右側面1左側面2条の溝は表面とは直交方向		28
第334図3	イ7J0	イ7K0-1	22	B1	砂岩	古期	12.2	9.1	5.1	343.42	表裏磨り面、広く凹む	被熱	40
第334図4	イ4J0	イ4K0-13	17	A1	砂岩	古期、細	7.5	5.8	2.5	128.73	表溝状凹部2条、裏面細く窪む磨り面	被熱	67
第334図5	イ4J3	イ4K3-Pit8	1	B1	砂岩	古期	11.2	8.2	4.1	486.12	磨り面1、平滑幅広溝状		61
第334図6	イ6J1	イ6K1-13	8	B1	凝灰質砂	新第三紀	27.5	14.5	6.7	2377.23	表面6×14cm範囲幅広溝状で顕著な溝砥、裏面孔2、下端敲打?		47
第335図1	イ6I8	イ6J8-1	36	C	凝灰質砂	新第三紀	7.8	5.6	4	126.72	磨り面1、溝状括れ部全周で上位突起状。手持ち砥、骨角器用	被熱	58
第335図2	イ6J1	イ6K1-5	47	C	凝灰質砂	新第三紀	11.3	4.1	2	114.96	断面長方形状で全体棒状、表裏磨り面、側面中~上位磨り痕、頂部下溝状凹部全周、上端敲打痕		1
第335図3	SI03	SI03^`ルト		C	砂岩	古期	3.2	3	1.4	17.32	表裏筋状研磨痕		17
第335図4	イ5J2	イ5K2-3-8区		C	砂岩		5.3	2.9	1.85	26.36	上下欠損、溝状凹部5条、手持ちで骨角器用と推定		46
第335図5	イ014	イ0J4-S^`-3		C	砂岩	古期	6.1	3.1	2.6	61.03	4~5条の溝状凹部=筋砥的だがやや幅広で丸み帯びる凹部、表から裏にかけての凹部		15
第335図6	イ6J2	イ6K2-7-4区		C	砂岩	古期	6	3.8	1.1	33.47	表面磨り面、手持ち砥石典型、側面との境界明瞭な稜で平坦な下端部も含め全体に形整えられる		63
第335図7	2区E T1	2区E T-1		C	砂岩	古期	4.1	3.6	1.1	23.14	表裏+上面磨り痕、断面レンズ状で側縁の稜が使用の研磨により形成される、手持ち?		74
第335図8	イ5J2	イ5K2-2	49	C	砂岩	古期	8.8	5.5	1.1	89.24	手持ち砥石、全周磨り面、別機種の可能性あり、磨製石弁?下端剥離目的的不明		45
第335図9	イ014	イ0-J4-1	No.21		輝石安山	緻密	7.70	5.00	1.30	84.90	線刻あり		3
第335図	イ015	イ0-J5 18区			輝石安山	緻密	5.90	6.10	1.35	64.50	線刻あり		6
第335図	イ2I7	イ2-J7 攪乱			砂岩	新第三紀	5.00	5.30	1.60	4.00	線刻あり		19
第335図	イ0J0	イ0-K0-S^`-6	No.303		輝石安山	緻密	(7.40)	(7.90)	(1.80)	(165.00)	線刻あり		13
第335図	イ016	イ0-J6-3	No.7		輝石安山	緻密	6.00	4.70	2.50	99.20	線刻あり		7
第335図	2区E	2区E T-3			砂岩	古期	(2.45)	(3.15)	(0.80)	(6.20)	線刻あり		17
第336図1	イ5I8	イ5-J8 攪乱-2			輝石安山		(9.80)	6.80	3.30	(420.00)	線刻あり		21
第336図2	SI05	SI-05-9	No.152		砂岩	古期	(6.40)	(5.10)	(2.30)	(93.60)			1
第336図3	イ4I7	イ4-J7 攪乱-1			輝石安山	第四紀	14.90	10.80	3.20	764.00	表裏両面に線状痕あり		20
	イ5I7	SD04、イ5J7		B2			12.7	7.2	2.3	204.96	面砥石、表砥面、側面も磨り痕、表筋状の砥面		4
	イ5J2	SD06、イ5K2	2	C			8.9	4.5	1.7	122.47	表裏側面計4面磨り痕、上面~右側面より磨られ平		5
	イ015	SD12、イ0J5	26	B2			11.7	13.5	6.3	943.76	表面砥面、裏面も若干磨り痕、各辺欠損で形状不		6
	イ015	SD12、イ0J5-6	79	B2			8.3	6.5	1.5	102.18	表全面・裏一部磨り痕、下方欠損、左右辺イキ、表	被熱	7
	イ015	SD12、イ0J5		C			11	6.5	3.9	245.53	表裏磨り痕、裏摩滅・磨れ顕著、一部面敲打痕		8
	イ016	SD12、イ0J6	37	A2			6.9	11.7	3.8	309.42	表面砥面、段差明瞭で鉄製品用か?、上面若干磨	非縄文?	9
	SD16	SD16	29	A1			10.5	13.1	2.3	349.33	表面やや弱い磨り痕、側面一部磨り痕、表面傷または線刻		10
	SEC T4	SEC T-4		B1			4.2	4.8	2.8	49.63	表面明瞭な磨り痕、左辺以外欠損?裏面欠損面		11
	SEC T6	SEC T-6		C			9.8	6.9	3.4	222.44	表裏面磨り痕、下端及び表面中央敲打痕、C磨石兼敲き石		12
	イ015	イ0J5-3	3	A1			11.3	11.3	4.2	436.13	筋砥石4条、浅い凹部だが、内部磨り痕顕著、側面裏面も磨り痕		16
	イ0I7	イ0J7-2	13	B1			7.3	4.4	3.3	77.17	表裏2面砥面、一部線状痕、上位欠損	非縄文?	18
	イ0I7	イ0J7-2	72	B2			4.8	5.2	1.7	52.72	表裏2面砥面、表面磨りによる緩やかな凹み		19
	イ4I7	イ4J7最下層		B2			6.2	5.1	4.8	165.22	砥面1面のみ、大形品の一部か		21
	イ4I8	イ4J8表探		B2			3.6	5.5	1.8	46.74	表裏磨り面、裏面は若干。		22
	イ4I9	イ4J9-4	69	B1			21.2	13.5	6.2	1678.06	表磨り面、縁は成形の磨り痕か		23
	イ4I9	イ4J9-W^`		B1			8.9	5.7	4.9	184.16	表磨り面、片面は浅い溝状凹部及びこの周囲の磨		24
	イ4J0	イ4K0-8-10区		B2			7.1	6.2	1.6	77.59	表裏磨り面、側面の磨り痕は成形痕か		25
	イ4J0	イ4K0-10-6区		B1			4.5	3.4	1.4	20.55	表磨り面、全周欠損部		26
	イ4J0	イ4K0-12	274	A2			12.8	14.2	5	849.65	表裏及び側面磨り痕、表面幅広帯状凹部の磨り痕		27
	イ4J0	イ4K0-16-16区		C			6.3	5	1.6	70.12	表浅く窪む溝状凹部、内ミガキ		31
	イ4J1	イ4K1-14	11	C			8.6	4.1	1.3	51.67	表裏磨り面、表25mm幅帯状部良く磨られている。裏の磨りは一		32
	イ4J1	イ4K1-15	311	C			7.6	5.7	1.9	91.17	表面磨り痕、側面も一部磨り?		33
	イ4J1	イ4K1-17	60	A1			7.3	7.9	6.3	521.89	表裏磨り面、表2帯状溝部=筋砥		34
	イ4J1	イ4K1-N^`-3	144	B2			6.8	4.8	2.2	48.06	磨り面1、平滑	被熱	35
	イ4J2	イ4K2-7	141	B1			5.3	5	2.9	78.72	表裏及び側面2面磨り面、表は平滑	被熱	36
	イ4J2	イ4K2-7	233	B2			8.2	8.5	4.3	418.72	表裏磨り面、平滑でツルツル	安山岩系?	37
	イ4J2	イ4K2-17	15	B1			5.7	4.6	2.2	51.54	左右辺イキ?磨り面1平滑		39
	イ5I7	イ5J7-1	87	B2			9.3	7.5	3.5	255.43	表裏磨り面、裏面は若干だがやや凹む		42
	イ5I9	イ5J9-2-18区		B2			5.6	5.2	2.2	72.03	表裏磨り面、表面若干の磨り痕		43
	イ5J0	イ5K0-3		B2			7.9	6.8	2	146.95	表裏磨り面、一部平滑		44
	イ6I8	イ6J8斜面		C			11.8	6.1	1.5	165.64	棒状に近い、表裏2面は若干の磨り痕、2側面は平滑な磨り面、縁も摩滅で研磨などで使用?		48
	イ6I9	イ6J9-2	43	A2			7.3	7.6	2.4	120.06	表面磨り面+やや幅広溝状の凹部=浅く凹む		49
	イ6I9	イ6J9-2	16	C			7.5	5	4.2	133.71	47と同形態で上位突起状、3面磨り面はやや凹凸残し、突起下の溝状凹部全周		50
	イ6I9	イ6J9-2-23区		B2			7	5.1	1.8	48.73	磨り面1、やや凹む		51
	イ6I7	イ6J7-8	8	B1			8.1	9.3	4.2	363.34	磨り面2、平滑でやや凹む面砥	被熱	52

第18表磁石観察計測表

挿図番号	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上No.	分類	石材	石材備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	特徴	備考	仮No.
	16J0	16K0-0		B1			10.1	11.4	5.5	437.61	表裏磨り面、側面少し敲打、磨り痕は20-30mm幅の直線状方向		53
	16J0	16K0-N ⁺ -2	100	B1			8	12.6	4.6	517.24	大型品の一部？石皿に近い、表面磨り面、平滑		55
	16J1	16K1表探		B1			5.6	11.8	2.8	121.17	磨り面1、弧状内側範囲顕著でやや凹む		56
	16J1	16K1表探		B1			21.5	19	4.5	1811.96	表裏+2側面磨り痕、側面は成形か、表面溝状凹部2条、裏面も溝状範囲で特に平滑、台石状		57
	16J1	16K1-5	77	B1			6	5.9	3.1	92.3	表裏磨り面、側面も磨り痕、表面溝状範囲顕著な直線的磨り痕、裏面凹形範囲内弧状磨り痕	安山岩？	59
	16J1	16K1-5	121	A2			9	9.5	5.6	379.2	表面側面磨り面、表面溝状範囲平滑で凹む		60
	16J1	16K1-10区-サブ ⁺ -3	38	B1			20.6	27	4.2	1681.66	表裏磨り面、表の20×10cm帯状範囲内線状痕もある顕著な磨り痕、表面の剥離は欠損剥離か		62
	16J2	16K2斜面		A1			6.3	5.5	5.1	181.05	表面及び側面やや幅広い溝状範囲内顕著な磨り痕、溝の外側も若干の面的な磨り痕		64
	15I7	15J7-S ⁺ -1	2	A1			5.3	5.8	1.8	72.77	表裏に溝、裏面は溝に接する狭い帯状部磨り痕、4辺欠損で全形不明	被熱	65
	17J0	17K0-1	44	B1			8.3	8.5	4.7	346.53	表2箇所、裏1面の磨り痕、表は平滑ツルツルで、一箇所は大きく凹む		68
	17J0	17K0-W ⁺ -1	5	A2			12.3	6.2	2.3	207.98	表面帯状の磨り痕		69
	T2	T-2表探		B2			9.2	4.7	2.4	113.46	手持ち磁石、表裏面+側面若干の磨り痕		70
	表探	UTK表探		A1			8.7	6.9	4.5	248.55	表裏磨り面、表2条、裏1条の溝状凹部、凹部内磨り痕でややツルツル、溝外側も若干磨り痕		71
	表探	UTK表探		B1			7.2	4.7	4.7	146.13	表裏磨り面、表面は全体に凹み、裏面は面的に平滑	砂岩？	72
	表探	UTK表探		B2			5	7.8	3.4	147.48	磨り面1、平滑、周縁割れて全形不明		73
	14I8	14J8-5区カクラン		B1			18.2	18.5	6.5	2601.24	表帯状~円状に凹む磨り痕、恨めん若干の磨り痕+敲打痕、浅い孔、側面一部磨り痕		75
	15I7	15J7-カクラン		A1→A2			9.7	7	4	306.4	表幅広浅めの溝2条、裏浅く部分的な磨り痕		76
	15I7	15J7-カクラン		B2			8.2	6.5	2.7	155.53	表全体に磨り面、2条の線状痕		77
	15I7	15J7-カクラン2		B2			6.2	12.9	4.3	364.46	表若干凹む磨り面、裏若干の磨り痕、両側面にも若干の磨り痕		78
	15I7	15J7-カクラン		B2			3.6	10.9	3.9	180.99	表全体に磨り面、1条の線状痕		79
	11I3	11J3-4<1016>	36	B1			14.8	15.4	7.6	1955.32	表大きく凹む磨り面ツルツル、側面1.8cm×10cmの凹み溝、裏面やや浅く凹む磨り面		80
	14J0	14K0-S3	149	B1/C			21.8	3.7	2.7	222.81	細長い形態？表裏磨り面、側面削磨かれている。		81
	SI08	SI08-3	S020	B2			22.3	15.8	4.5	1233.24	表磨り面部分的、裏8cm四方範囲平滑な磨り面一部敲打痕		82
	16J0	16K0-表探		B1			25.3	23	7.4	4200	表10×20cm範囲磨り面で凹む、裏全体に若干の磨り痕、石皿中-VII-BIにも分類可	被熱	83
	14J1	14K1-20	85	B1						467.62	表やや大きく凹む磨り面、痕跡は均一的、裏面一部敲打？		84
	16J2	16K2-9	2	B2/D			12.9	22.3	9	2238.15	表裏部分的な磨り痕一部平滑、側面平滑だが磨り面か不明。		85
	15I9	SD04.15J9内25区下層		A2			11.4	11.6	4.1	443.03	表裏磨り面、表7×3cm範囲ツルツル、裏4×2cmツルツル、裏全体に若干の敲打痕		86
	10I4	10J4-S2	76	B1/D			7.4	4	3.9	119.71	表磨り痕4×2cm範囲若干凹む平滑面、多数ある線状痕は傷か		87
	15J2.16I7	15K2-2 15K2-3 15K2最下層 16J7-9	39 25,24 72,39 98				10.7 9.6 2.3	8 5.7 4.5	2.2 2 2	544.09	同一or接合数片、大きく3片、磨り痕一部、K2-2-39は別個体の可能性あり	硬砂岩？	88 89 90 91
	15I9	15J9-3	301	B2			9.8	10.3	2.8	374.1	表全体に平滑な磨り面、裏面か？周縁すべて欠損		92
	SI03	SI03-ヘルト		B2			6.3	9.5	2.5	162.24	表やや粗い磨り痕幅cm程		93
	79I7	79J7-6	49				9.3	4.1	0.9	48.87	磨り面無く非石器？石材は磁石で見られるもの、板状剥離素材	被熱	94
	10I7	10J7-6	86	B2			9.3	5.5	2.6	108.12	表裏割れ面、側面少し磨り痕	被熱	95
	14J1	14K1-13-23区		B2/C			3.9	2.9	0.7	14.95	表裏・側面磨り痕、表平滑磨り面		96
	14J1	14K1-13	300	B2			5.5	9	2.2	117.75	表裏・側面磨り痕、部分的でやや滑らか~ザラザラ		97
	15J0	15K0-WI-11					4.8	5.3	1.8	63.64	表若干の磨り痕、狭い部敲打+磨り痕あり打製石斧		98
	14J1	14K1-8区		B2			4.3	5.9	1.5	30.93	表磨り痕、線状痕は傷か		99
	15J1	15K1-1-8区		B2/C			6.4	3.3	1.1	41.58	表裏磨り痕、表の側面にかかる線部分良く磨られツルツル、側面も若干磨り痕		100
	16J0	16K0-1	25	D			10.1	4.4	1.7	98.67	表裏と側面の境界線部分やや摩滅、明瞭な磨り痕は無し、黒色付着物(カーボン?)あり	被熱 磁石用石材、未製	101
	17J0	17K0-2	25	B2			7.1	7.7	2.6	172.14	表若干の磨り痕+凹み、裏面、側面も磨り痕で平滑、石皿に近い		102
	SD09	SD09	s008	B2			8.9	6.5	1.8	136.36	表磨り面良く磨かれている	被熱	103
	11I1	11J1-1	24	B1/D			6.3	6	3.3	120	表裏側面磨り面、下端割れ面も平滑~少し凹むほど磨られている、磨石転用か		104
	12I5	12J5-E ⁺ -25		B2/D			4.5	3.9	0.7	17.26	表若干の磨り痕、上端磨り痕		105
	13I5	13J5-S ⁺ -22		B2/D			3.9	3.2	1.5	22.94	表若干の磨り痕、裏中央付近平滑ツルツル		106
	14J0	14K0-14	175	A2			7.5	4	1.3	55.98	表磨り痕2×4cm範囲顕著、裏若干の磨り痕		107
	15I7	15J7-カクラン		B1			7.9	6.5	1.7	133.37	表裏磨り面、裏線状痕あり		108
	15I8	SD00.15J8		D			7.7	5.9	2	122.22	表裏若干の磨り痕、剥離割れ面も少し擦り痕あり		109
	16I7	16J7-6-17区		D			4.7	1.4	1	9.28	1面に溝状凹部4×3cm、溝断面やや角張りやや深		110
	16I8	16J8-0		A2/D			4.6	3.3	0.9	19.4	表裏磨り面やや平滑、割れ口も磨り痕平滑		111
	16I7+16J0	16J7-3+16K0-3	1E+05	B2/D			9.8	4.5	2.1	119.12	2片接合でJ7-3No.108が上位。表裏若干の磨り痕、側面全体均一に平滑ツルツルの磨り痕		112
	表探	UTK表探		C			5	3.9	1	33.39	表裏磨り痕若干、左右側面良く磨られ平滑、35のNo		113
	14I8	14J8-カクラン		A2/B2			11.8	10	4.2	516.68	左右側面平滑な磨り面、上端割れ面状のやや粗い面に溝1条2-3mm×4-8cm、裏面の浅い凹みは敲打		114
	SI03	SI03-3-A区		A2			2.8	3.4	1.3	9.66	線状痕に近い溝1-2mm×2-3cm		115
	SI03	SI03-8	165s	A2			4.5	5.6	2.4	60.36	表裏~側面磨り痕、裏面若干、表上位溝状の凹部8-10mm×3cm		116
	SI03	SI03-4	97	A2			8.6	13.8	5.9	817.93	表磨り面、右縁に沿って顕著な磨り痕で凹む、石皿にも近い		117
	SI03	SI03-10	6	B2			9.2	14.1	7.9	1603.36	表及び側面平滑ツルツルな磨り痕、裏若干の磨り		118
	16J0	16K0-S ⁺ -2	121	B2			9.3	7.3	3.7	378.93	表裏磨り面、表の磨り痕は線状痕多で顕著、磨石Iにも分類可		119
	SEC T7	SEC T-7		B1			7.8	7.2	7.1	487.98	表磨り痕凹み、裏面一部磨り痕、石皿片の可能性		120

第18表砥石観察計測表

挿図番号	新グリップ	出土遺構・グリップ	取上No.	分類	石材	石材備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	特徴	備考	仮No.
	SEC T6	SEC T-6		B1			7.3	4.3	2.4	656.04	表裏磨り面、表2×5cm平滑でツルツル、裏面一部		121
	SI06	SI06-5	57	B2			14.3	10.6	9.4	1005.72	表帯状範囲磨り面平滑でツルツル、側面一部磨り		122
	f6J2	f6K2-5	3	B1			13.7	8.8	6	581.76	表裏とも大きく石血状に凹凸、磨り面、平滑でツルツル、f7K0-1No.119.K0-2-17区等小片7点同一		123
	f0I7	f0J7-6	156	C			7.6	5.3	1	45.27	側面磨り面、表裏磨り面不明瞭		124
	f4J0	f4K0-11	45	B2			7.2	6.4	0.9	57.35	表1.5×4cm範囲磨り面、扁平礫素材		125
	f4I7	f4J7最下層		B2			11.7	3.8	3.7	295.49	断面方形の細長い礫素材、平坦な2面と接する面の縁部分磨り面		126
	f4I7	f4J7最下層		B2			6.8	6.8	1.7	131.52	表面若干の磨り面		127
	f4I8	f4J8-1		B1			5.7	9.4	2.1	160.99	表面凹凸部分磨り面顕著平滑でツルツル、接する平坦部も若干の磨り面		128
	f4J0	f4K0-11-23区		B2			5.6	5.2	2	85.58	面境界の縁部分摩擦顕著一擦り切り具扱いの方が良いか、	被熱	129
	f4J1	f4K1-17-11区		A2			6.5	1.2	0.4	11.42	細長い小片、溝状凹部か、同じ程度の大きさの片及び他1片あり		130 A
	f4J2	f4K2-9-3区		A2			6.1	3.5	0.7	20.8	表傷状線状痕+溝状凹部3.7×0.7cm範囲、		130
	f6J0	f6K0-3	244	B1			7.4	8.5	2.7	140.47	表凹凸+周囲の磨り面、側面溝状奥部、裏敲打+若干の磨り面、石血や磨石凹み石にも近い		130 C
	SI04	SI04-2	19.23	B2			27.3	21.4	1.4	458.62	表磨り面		130
	SI04	SI04-2	8.S9.1				23.5	18.2	1.7	282.71	磨り面不明瞭		130
	SI04	SI04-2	S7.28				20.6	6.7	0.9	67.5	磨り面不明瞭		131
	SI04	SI04-2	9-7.D				7.5	8.8	1.6	99.13	磨り面不明瞭		132
	SI04	SI04-2	f8.4-2S4							164.52	接合しない破片7片、若干の磨り面、磨り面不明瞭の5片もあり		133
	f4J0	SD02-f4K0-17		B1			6.8	4.8	5.3	119.02	表磨り面+凹凸、裏面若干の磨り面+摩擦、線状痕は傷か		134
	f79I5	f79J5-5-15区		B1			5.1	4.1	1.8	32.26	表凹凸部分磨り面平滑ツルツル		135
	f1I1	f1J1-2	8	B2			8.9	11.3	2.5	210.08	表敲打+磨り面、裏一部磨り面	被熱	136
	f1I5	f1J5-1		B2			3.9	4.6	2.9	50.02	2面磨り面顕著、		137
	f1I6	f1J6-S [△] -1-		B2			3.9	6	1.5	33.86	表裏若干の磨り面、側面一部磨り面		138
	f4J0	f4K0-8	260	B1			7.6	8.2	3.8	218.8	表裏磨り面、いずれも凹凸み作られ平滑ツルツル、側面一部敲打+若干の磨り面		139
	f4J1	f4K1-15	134	B1			8.3	6.8	3.5	231.51	表溝状凹部7×4cm、平滑顕著な磨り面、裏面や側面でも若干の敲打痕磨り面、磨石兼用?		140
	f4J2	f4K2-7-8区		B2			7.2	4	2.1	55.24	表磨り面わずか	被熱	141
	f6I7	f6J7-9	S079	B2			10.8	9.2	1.9	176.66	表一部磨り面少		142
	f6J0	f6K0-0		B2			8.5	4.1	2.6	136.08	表若干の磨り面、側面不明瞭		143
	f6J0	f6K0-3	324	B2			13.7	7.1	4.5	430.73	ほぼ表のみ磨り面、若干の敲打痕、石血VIIA3にも分類可		144
	f2I7	f2J7		B2			9.7	11	5.6	678.87	表磨り面、周縁すべて割れ、石血不A1にも分類可		145
	f4J1	f4K1-17	94	B2			8.4	7.6	3.2	197.23	表裏磨り面、石血不B1にも分類可		146
	2区E T1	2区E.T-1		B2			9.8	10.9	4.5	603	表裏磨り面、裏は若干の磨り面+敲打痕、石血不B2にも分類可		147
	f2I7	f2J7		B2			12.4	32.6	6.4	525.0	表裏+側面一部平滑な磨り面、表は顔料付明瞭、石血中不B1にも分類可		148
	f2I5	f2J5-3	2	B2			20.5	18.5	4.4	1128.84	表裏若干磨り面、擦れている、カーボン付着、石血中不B1にも分類可		149
			5	B2			13.1	16.8	3.8	894.84	表磨り面、石血不A不にも分類可	被熱	150
	f6J1	f6K1-4-1~10	198	B2			17.8	20.7	4.6	1846.31	表一部若干の敲打+磨り面、石血中不A1にも分類可	被熱	151
	f6J0	f4K0-S3	129	B2			13.2	10.7	3.9	387.14	表少し凹凸部分に磨り面、周縁に敲打痕・カーボン付着、石血不A1にも分類可	被熱	152
	f4J1	f4K1-E [△] -1		B2			15.4	11.5	12.7	2353.74	2面磨り面、1面はやや平滑、石血大不1-11にも分類可		153
	f5J0	SD04-f5K0内		B2			13.7	7.7	8.2	1089.28	2面磨り面、1面では若干凹凸、石血小不A1にも分類可		154
	f6I7	f6J7-2	83S	B1			11.3	12.6	9.7	1148.84	2面磨り面、やや凹凸	被熱	155
	f4J0	f4K0-16	172①	B1			11	15.8	7.6	848.09	表やや溝状の11×5cm範囲磨り面、ぼろぼろで小片多、石血小不A2にも分類可		156
	f6I8	f6J8最下層		B1			11.2	15.5	7.4	1423.42	磨り面1、やや平滑、若干敲打、石血不A2にも分類可		157
	f6J1	f6K1-S [△] -1		B1			3.6	4	1.8	27.79	表裏磨り面、表はやや凹凸		158
	f4J1	f4K1-7	68	B2			4.6	5.1	1.7	43.69	表裏磨り面		159
	f4J1	f4K1-19-23区		B2			4.5	4.7	2.8	35.31	磨り面1		160
	f4J1	f4K1-10-19区		D			4.8	6.1	1.3	51.76	表裏磨り面、稜できる磨り面		161
	f0I7	f0J7-6	174	B2			3.7	4	1.5	32.87	磨り面1、周縁割れ		162
	f4J2	f4K2-7	80	A2			1.2	3.1	1.8	2.58	表溝状凹部1磨り面、周囲も磨り面少		163
	f0I7	f0J7-5-11区		B2			5.4	4.2	1.5	27.45	表裏磨り面、やや平滑		164
	f0I7	f0J7-2	115	A2			6.4	4.2	1.6	33.6	表溝状凹部内磨り面、裏面磨り面一部	被熱	165
	f0I9	f4J9-S [△] -1		A2/D			4.7	4	1.7	41.23	表溝状凹部内及び側面磨り面、裏面若干の磨り		166
	f0I5	f0J5-6	9	B2			4.3	5	1.6	41.95	表磨り面やや平滑		167
	f4I8	f4J8-E [△]		B2			5.4	4.8	1.6	38.72	表磨り面	被熱	168
	f0I5	f0J5-3	103	B2			3.7	7.9	3.3	111.67	磨り面2、表敲打+磨り、裏面平滑でツルツル		169
	f6I7	f5J7-カクランZ		A2			5.1	7.1	2.4	84.03	表帯状範囲2方向で直交重複の8mm幅溝状凹部内磨り面、裏面若干磨れ		170
	f4J0	f4K0-14-2区		A2			5.7	2.8	1.9	22.76	磨り面2、表溝状凹部42×6mm		171
	f4J0	f4K0-10	167	B2			8.2	6.6	2.7	130.84	磨り面1、表面+側面にかかる縁若干の磨り面		172
	f79I5	f79J5-N2	11	B1			6.6	5.6	2.6	75.77	表溝状凹部2条、溝内平滑ツルツルな磨り面		173
	f0I5	f0J5-5-9区		A2			5.7	3.5	1.7	25.93	表溝状凹部1条、溝内磨り面		174
	f7J0	f7K0-W2	38	B2			4.1	8.5	2.7	76.49	磨り面1、周縁割れ		175
	f4I8	f4J8-3	43	B1			4.7	6.8	2.1	84.95	表+左右下側面磨り面		176
	f4J0	f4K0-S1	16	B2			6.8	5.4	3.3	130.12	表裏磨り面、断面三角形で、鋭角な一縁辺摩擦・磨り面。さほど顕著ではないが擦り切り具の可能性	ホルンフェル	177
	f3I4	f3J4-2	8	B1			6.6	8.1	1.9	88.34	表裏磨り面		178
	f1I3	f1J3-2	28	B2			8.6	5.2	1.9	104.23	表裏磨り面		179
	f0I6	f0J6-3	105	A2			9.8	4.1	3.5	107.95	棒状の先端近く等に斜め周回の磨り面で平滑ツルツル、回転させる使用で、手持ち骨角器用か		180
	f0I5	f0J5-3-10区		B2			3.7	4	1.6	18.82	磨り面1、裏割れ面		181
	f3I7	f3J7-3-10区		B2			7.8	9.7	2.2	114.19	表若干の敲打痕+面的な磨り面		182

第18表砥石観察計測表

挿図番号	新グリップ	出土遺構・グリップ	取上No.	分類	石材	石材備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	特徴	備考	仮No.
	44J2	44K2-12	89	B2			10.3	6.3	1.6	123	表裏やや滑らかな磨り痕・若干の敲打痕		183
	45I7	45J7-カクラン		A2			10.4	5	2.8	131.74	表裏磨り痕、表溝状凹部40×8mm		
	43I7	43J7-3-10区		B1			8.2	7.5	2.3	163.36	表裏磨り痕、表弧状に窪む部分の縁顕著な磨り痕		184
	44J0	44K0-18	15+112	D/B2			11.5	7.1	1.6	94.96	2片接合、表・裏の左縁近く・側面一部に磨り痕、側面稜形成され、擦り切り具にも近い砥石?となっていたもの、通しNo.振り未		185
	44J1	44K1-S2	100	U.F.へ									186
	44J1	44K1-21	23	B2			4.7	7.6	2.2	62	表裏磨り痕、裏部分的		187
	44J1	44K1-11	245	B2			5.1	4.5	3.7	79.41	表一部磨り痕平滑		188
	44J1	44K1-15	240	B2			2.4	3.9	2.2	25.23	表磨り痕	泥岩?	189
	40I7	40J7-5-7区		B1			5.9	4.2	3	44.15	表裏大きく凹む磨り痕		190
	40I5	40J5-3	35	B2			8.8	10.1	2.1	192.1	表磨り痕		191
	44I5	44J5-3	66	B2			6.5	7.6	2.5	149.09	表磨り痕	ホルンフェル	192
	41I7	41J7最下層		B2			8.5	5.6	3.4	103.18	表2条の帯状範囲磨り痕、1条は側面にかかるところで平滑		193
	44J0	44K0-10	96	B1			4.9	9.8	1.7	90.89	表やや幅広の帯状範囲平滑ツルツルでやや凹む		
	44J1	44K1-16	332	A1			9.1	4.6	2.6	67.23	表2条の溝状凹部・左7×1.4cm,右5.5×1cmで浅い		194
	45I7	45J7-1	89	分類外			3	4.8	3	31.31	磨り痕不明、石材は問題ないが、砥石として良い		195
	43I6	43J6-1	90	擦り切り							2縁辺摩滅		196
	44I8	44J8-1		B2			6	8.2	2.9	155.15	表平滑な磨り痕、表溝状凹部1条磨り痕若干+他部分的に磨り痕		197
	46I9	46J9-1	96	B2			9	76.74	2.3	150.54	表裏磨り痕、表はやや粗く、裏はツルツル		198
	45I7	45J7-カクラン2		B2			7.5	6.5	2.6	146.24	表裏磨り痕、裏若干敲打痕、磨石II型B丸にも分類可、扁平		199
	40I7	40J7-3-11区		D/B2			7.2	5.4	1.5	51.45	表一部、裏一部磨り痕、側面やや滑らかな磨り痕		200
	45J2	45K2表探		B2			6.9	6.2	3.9	154.61	表磨り痕		201
	SI01	SI01-1	347	B2			6.6	2.7	2.2	65.97	表及び側面磨り痕平滑ツルツル		202
	47J0	47K0-1	24	B2			5.4	6.7	2.1	81.62	表磨り痕		203
	44I9	44J9-5	6	B1			7.7	8.5	3.3	149.3	表裏円形凹状に凹む磨り痕、表平滑でツルツル、側面も一部若干の磨り痕		204
	44I4	44J4最下層		A2/B1			7.5	5.1	4.1	128.19	棒状の先端近くに斜め周囲の溝状凹部内磨り痕で平滑ツルツル、回転させる使用で、手持ち骨角器用か、側面に一部敲打痕や磨り痕もあり、50に近い型		205
	46J0	46K0-E2	118	B2			7	6.2	1.9	100.12	表裏+左右側面磨り痕、裏は平滑ツルツル、表縁状痕or傷		206
	SI01	SI01-1	≦131	分類外			8.7	3.8	1.7	76.74	磨り痕・砥面なし、石材はOKか		207
	44J1	44K1-N4	177	B2			6.2	6.5	1.4	59.94	表磨り痕入念ツルツル、裏若干の磨り痕		208
	46J0	46K0-3-24区		B2			5.3	4.3	1.8	34.79	磨り面1、若干の敲打痕		209
	47J0	47K0-W4	157	B2			13	9.2	1.7	217.1	磨り面1、石皿中IV-2にも分類可	被熱	210
	46J0	46K0-1-10区		B2			6.7	7.3	2.9	117.01	磨り面1		211
	40I3	40J3		B2			8.4	7.8	2.2	182.68	磨り面2、表やや平滑敲打痕あり、裏部分的平滑な		212
	44J0	44K0-2	140	A2			9	6.5	1.5	96.59	磨り面1、表溝状凹部2条、溝外も若干磨り痕、裏面の凹みは目的的不明		213
	42I7	42J7-カクラン		B2			6.6	5.2	1.5	52.64	磨り面1、溝状範囲平滑	被熱	214
	46J0	46K0-4		A2/B2			6.5	5.5	2.6	89.2	表縁から側面に掛けて幅広浅い凹部、隣接一部にも平滑面、手持ち骨角器用か	ホルンフェル	215
	46I7	46J7-3	14	B1			8.2	5.2	3.7	103.59	磨り面2、磨り痕3箇所、断面三角形でその二面がかなり凹み平滑、側面横～斜め方向の弧状を呈しツルツル、手持ち骨角器用か		216
	46J0	46K0-E2	81	B2			11.4	7.9	1.7	125.21	表裏磨り面		217
	46I7	46J7-N ^へ -1		A2			4.7	2.8	2	26.57	磨り面1、裏～側面に掛けて横～斜め方向に溝状		218
	45I8	45J8斜面		B2			16.2	6.6	0.6	92.73	磨り面1、平滑、2片に割れ、若干敲打痕	被熱	219
	47I9	47J9-1	4	B2			5.9	3.7	2	49.24	磨り面1、やや平滑		220
	40I4	40J4-4	27	A2			4.7	3.2	1.3	17.79	磨り面2、表溝状凹部1条、側面直交方向溝1条	被熱	221
	45I7	45J7-カクラン		B1			4.7	3.4	2.8	38	磨り面1、やや凹む		222
	42I7	42J7-カクラン		B2			5.7	4.7	2.3	実物不明	表細めの線状痕・敲打痕、石剣類の可能性あり	被熱	223
	40I6	40J6-2	32	B2			7	5.3	1.8	48.42	磨り面1、打製石斧の可能性あり		224
	44J0	44K0-20	37	B2			6.2	7.3	2	102.29	磨り面1、面的に若干の磨り痕		225
	46I7	46J7-7	S149	B2			7	4.2	4.2	84.37	磨り面1、一部若干の磨り痕	被熱	226
	47J0	47K0-3-16区		B2			8.3	5.2	2	54.59	磨り面1、一部若干の磨り痕		227
	44J0	44K0-18	177	B2			5.5	4.1	1.9	37.11	磨り面2、磨りで側面稜形成		228
	44I7	44J7-最下層		B2			6.5	7.1	5	211.64	磨り面2、裏線状痕あり	被熱	229
	44I9	44J9-2	140	A2			6.3	4.5	2.2	35.52	表溝状凹部1条、溝内磨り痕明瞭	被熱	230
	46I9	46J9-1		B2			5.5	4.5	0.8	19	磨り面2、磨りで側面稜形成		231
	47I5	47J5-2-14区		B2			3.6	3.4	0.8	13.72	磨り面1、凹凸残る若干の磨り痕		232
	40I6	40J6-4	9	B1			8.7	8.5	1.8	132.37	磨り面1、磨り痕でやや凹む	被熱	233
	46I7	46J7-2	104S	B2			9.2	8	1.9	146.41	磨り面2、表凹凸残る磨り痕、裏面は若干の磨り痕		234
	44J2	44K2-7	208	B1			8.2	11.4	2.5	180.6	磨り面2、表溝状にやや磨り痕目立つ	被熱	235
	40I4	40J4-3	11	B2			6.6	6.6	3.2	162.86	磨り面2表+側面、磨石に近い形態、側面の磨り痕		236
	46J0	46K0-8	11	B1			7.9	8.6	2.7	193.58	磨り面2、表帯状部分平滑、裏敲打+若干の磨り痕		237
	46I9	46J9-2-17区		A2			6.3	4.2	1.1	27.78	磨り面1、溝状凹部磨り痕	被熱	238
	45I8	45J8-カクラン		B1			7.3	6.2	3.4	158.82	磨り面1、表平滑ツルツルな磨り痕		239
	45I7	45J7-カクラン2		B2			9.6	7.1	3	218.8	磨り面表裏+2側面、側面平滑ツルツル、裏帯状部磨り痕、磨石Iにも分類可		240
	45J2	45K2-0	23s	B2			7.6	4.7	1.1	43.4	磨り面3、裏一部+側面2箇所、いずれも若干の磨り痕		241
	43I5	43J5-2	51	B1			8.1	8	3.2	178.95	磨り面3、表裏は磨り痕顕著でかなり凹む、石皿に近い形態		242
	46J2	46K2-N ^へ -2	37	B2			9.7	9	1.8	215.48	磨り面1、表のみ		243
	44I9	44J9-11	22	B2			8.6	6.8	2.5	211.92	磨り面2、表+側面近く		244
	45I7	45J7-カクラン2		A2			9.8	7.6	2.3	204.95	磨り面表裏+側面全周、側面一部面状、表は部分的帯状浅く凹む、裏面は若干の磨り痕	被熱	245
	45J2	45K2-最下層		B2			7.5	7.5	2.2	148.23	磨り面2、表+側面1、裏面若干敲打痕		246
	46J1	46K1-サブ-5、1		B2			7.3	6.1	1.4	59.1	磨り面2、縁近くが磨り痕顕著、手持ちか		247
	46I7	46J7-6	165	A2			8.8	5.4	2.2	77	磨り面1、表溝状凹部1条、溝内顕著な磨り痕		248
	44J1	44K1-15	174	B2			6.2	3.4	4.3	118.93	磨り面2	被熱	249

第18表 磁石観察計測表

挿図番号	新グリップ	出土遺構・グリップ	取上No.	分類	石材	石材備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	特徴	備考	仮No.
	107	107-1	89	B2			5.9	5.5	3.9	127.26	磨り面2、表は帯状の磨り痕、縁凹む		250
	169	169-S [^] -2		B2			7.5	2.8	2.4	40.3	磨り面1		251
	14J1	14K1-20	77	B2			9.7	5.4	3.4	153.07	磨り面3、表裏+1側面		252
	17J0	17K0-W [^] -1		B2			6.7	4.7	1.7	35.88	磨り面1		253
	SI06	SI06-ACヘルト		B2			3.8	5	1.5	24.81	磨り面2、表広い帯状、表裏平滑ツルツル、手持ち		254
	16J1	16K1-13	9	B2			9.8	7.5	2.2	139.99	磨り面2、表皿状に凹む、裏若干の敲打+磨り痕		255
	167	16J7-1	s1	B2			7.9	4.7	1.9	66.57	磨り面2、表+側面一部	安山岩?	
	147	14J7-4-10区		B1			8.2	6.5	2.7	166.15	磨り面2、表若干凹む、裏部分的だが平滑ツルツル		256
	16J2	16K2-5-3区		B2			5.3	3.8	3	50.85	同一の2点、いずれも磨り面1	被熱	257
							4.5	3.6	2.2	32.02			258
	797	79J7-N [^]		A2			7.9	2.1	3	32.47	磨り面1、凹む、カーボン付?	被熱	259
	16J1	16K1-7	46	B2			7.8	5.3	1.4	48.8	磨り面1、平滑		260
	177	17J7-0		A2			5	5.4	2.6	52.42	磨り面1、帯状磨り痕2内1条は溝状凹部		261
	177	17J7-0		礫			2.4	1.9	0.8	4.54	加工不明		
	17J1	17K1-0		B2			6.8	3.9	3.2	69.97	磨り面1、やや平ら	被熱	262
	16J1	16K1-E [^] -2	23	B1			15.8	5	5.6	415.31	磨り面2、表部分的、裏やや平滑、同一小片1、石皿にも分類可	被熱	
							2.2	1.3	0.9		同一小片		263
	16J1	16K1-11	4	B2			10.3	6.2	3.1	210.98	磨り面2、表やや平滑、裏やや凹む、同一小片1	被熱	264
							2.2	1.2	0.8	1.71	同一小片		265
	113	11J3-6	22	B2			9.9	7.7	2.3	185.28	磨り面2、表中央付近敲打+磨り痕、縁近く磨り痕顕著→手持ち磁石、磨裂石斧にも近い		266
	14J1	14K1-20	130	B2			7	9.7	4.3	257.22	磨り面1、表一部やや平滑		267
	SI01	SI01-2	s035	B2			9.4	7.7	3.3	243.11	磨り面1		268
	14J0	14K0-16	124	A2			7	7.7	4.5	202.72	磨り面3、表裏+1側面、表面溝状凹部2条、溝内磨り痕顕著	被熱	269
	148	14J8-最下層		B2			6.5	6.6	3.4	155.72	磨り面1		270
	148	14J8-最下層		A2			3.6	3.6	2	22.39	表溝状凹部? 溝内外磨り痕、裏一部若干の磨り痕	被熱	271
	16J1	16K1-15-2区		B2			4.8	4.3	2.2	41.01	表平滑ツルツル、裏一部磨り痕、側面~縁平滑ツルツル、縁縁減で擦り切り具状	被熱	272
	16J1	16K1-15-2区		B2			2.4	2.5	1.2	3.67	磨り面1		
	14J0	14K0-13	257	B2			13.4	12	2.1	4109.32	表部分的帯状の平滑磨り痕、わずかに凹む、石皿にも分類可だが板状で緻密な石材→置き磁石	被熱 安山岩?	273
	16J2	16K2-11	3				11.1	11.2	5	848.8	磨り面2、表は広い帯状で少し凹む、	雲母片岩	274
							7.9	5.3	4		同一の小片、表裏磨り痕		275
	186	18J6-1	24	B2			17.1	11.4	3.2	711.06	磨り面2、表裏敲打+磨り痕		276
	14J0	14K0-14	442	B1			9.2	7.1	4.8	246.84	磨り面2、表は皿状に凹む	被熱	277
	16J2	16K2-6	13	B1			5.3	9.4	4.3	332.9	磨り面2、表やや凹む、裏磨り痕平滑	被熱	278
	115	11J5-W [^]	1	B2			9.8	9.5	2.9	269.24	磨り面2		279
	14J2	14K2-6	323	B2			6.7	10.1	3.7	316.26	磨り面1、		280
	168	16J8-0		B2			7.7	12.5	5.6	389.87	磨り面1、		281
	169	16J9-3	58	B2			12.7	6.7	4.2	435.36	磨り面2、表は部分的、裏面は比較的光滑で一部ツ		282
	14J0	14K0-15	66	B2			17.4	7.6	5.2	891.51	磨り面3、表帯状やや平滑、側面若干の磨り痕	被熱顕著	283
	148	14J8-10区攪		B2			11	10.7	4.8	624.06	磨り面3、側面の割れ面磨り痕	被熱	284
	148	14J8-10区攪		B2			11.3	10.5	3	378.38	磨り面2、表裏若干で側面近くも少し磨り痕。	被熱	285
	148	14J8-10区攪		B1			6.2	7.3	3.7	153.68	磨り面1、表磨り痕で若干凹む	被熱	286
	105	10J5-N [^] -1	21	B1			13.5	9.3	2.4	414.95	磨り面2、表弧状範囲内凹む、裏部分的でやや平滑	被熱 泥岩?	41
	16J2	16K2-N [^] -3	58	B2			19.2	7.2	3.5	395.71	磨り面1、側面のみだが平滑ツルツル、手持ちか		287
	135	13J5-3	3	B1			12.1	8.9	6.9	887.87	280と同一? 磨り面1、表敲打+磨り痕で若干凹む。	被熱顕著	
	157	15J7-1	82	C	砂岩	古期	8.5	4.7	1.8	110.42	表面左側面磨り面、表面では一部線状痕		2
	147	14J7-最下層		A2/B1			14.3	12.5	6.4	1218.25	磨り面3、表溝状凹部3条、溝内顕著だが外も若干磨り痕、裏やや凹凸残す若干の磨り痕、側面は平		4
													5
	796	79J6-3	17								線刻2条、一部磨り痕	被熱	8
	104	10J4-2	71								1面に線刻2条、一部磨り痕		9
	105	10J5-3	12区				5.7	3.3	2.7		2面に線状痕=クランク状文様、一部磨り痕	被熱	10
	106	10J6-3	36				6.5	4.3	3.4		2面に2~4条の線状痕、1面に磨り痕		11
	106	10J6-4	5								研磨面上に細かい多条の線状痕、縁縁剥離加工	砂岩? 粘板岩?	12
	123	12J3-1	1区				4.8	4.6	1.8		隆起部+1本線、裏も斜線・弧線?		14
	127	12J7-1	38								割れ口と連続的な横位線	赤色 チャー	15
	136	13J6-2	88								浅く細めな線、鋸歯状		16
	T2	T-2					11.6	6.9	4.4		若干の磨り面+1条の線	安山岩	18
	T4	T-4表探					5.3	4.2	1.8		表面5条、裏面2条、2面磨り面	被熱 安山岩or 凝灰岩	22
		表探									1字文+横位線、研磨面、裏傷状線状痕		
	794	79J4-カクラン2					5.8	5.7	1.5		研磨面上に3~4本線、裏面も研磨~磨り面	安山岩or 凝灰岩	
	137	13J7-E	18				7.7	5.5	4.3		線状痕は傷か、表裏磨り面、側面も一部磨り痕、敲打痕一部		
	T4	T-4表探					3.7	2.5	0.9		2条? 線		

第19表擦切具観察計測表

挿図番号	新ゲリット	出土遺構・ゲリット	取上No.	石材	石材備考	摩滅辺数	口径・最大長	器高・最大幅	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮No.
第337図1	SD04	S D-04 イ6-K		頁岩	古期	3辺	5.1	10.4	2.00	129.2	擦切具 摩耗3カ所	3
第337図2	45J0	イ5-K0-2 19区		ホルンフェルス		1辺	6.0	7.3	1.60	70.7	擦切具	37
第337図3	44J2	イ4-K2-12	No.74	ホルンフェルス		2辺	9.2	5.0	3.80	161.4	擦切具 摩耗2カ所	35
第337図4	S103	S 1-03 埋土		変質デイスайト	緑色	1辺	4.0	7.0	7.00	18.3	擦切具	2
第337図5	45I7	イ5-J7 攪乱-3		ホルンフェルス		2辺	5.3	9.5	2.40	140.9	擦切具 凹状	57
第337図6	44J1	イ4-K1-17	No.187	砂岩	古期	1辺	6.0	7.5	1.60	72.2	擦切具	27
第337図7	44I5	イ4-J4-5		ホルンフェルス		2辺	5.1	12.6	2.30	122.2	擦切具 凹状	13
第337図8	SEC T7	S E C T-7		砂岩	古期	2辺	2.9	5.1	1.60	35.0	擦切具	5
第337図9	46I7	イ6-J7-4	No.15	ホルンフェルス		3辺	4.9	6.9	1.50	53.2	擦切具 使用部3カ所	40
第337図9	44J1	イ4-K1-21	No.125	ホルンフェルス		1辺	3.5	11.9	2.90	358.0	擦切具	31
第337図9	44I4	イ4-J4-Sベ-1		輝石安山岩	第四紀	3辺	8.5	4.8	1.90	72.9	擦切具 摩耗3カ所	12
第337図9	46I6	イ6-J6-Wベ-2	No.70	流紋岩		1辺	7.5	13.5	2.80	271.0	擦切具	38
第337図9	S101	S 1-01-1	No.437	輝石デイスайト	新第三	2辺	5.5	12.5	3.80	334.0	擦切具	1
第338図1	42I7	イ2-J7		砂岩	古期	2辺	14.6	4.2	4.4	270.89	2辺磨り・摩滅、1辺はわずか、被熱	10
第338図2	46J0	イ6K0-3	239	砂岩	古期	3辺	17.5	6.5	5	529	1辺磨り・摩滅顕著、他2辺若干の磨れ、礫面	45
第338図3	44J0	イ4K0-15	249	ホルンフェルス		2辺	8.3	10.6	2.7	186.81	2辺磨り・摩滅、辺に接する面研磨状、面の摩滅、敲打痕もあり?	19
第338図4	40I7	イ0J7-2	172	変質安山岩	緑色	2辺	6.8	7.8	2.7	146.86	2辺磨り・摩滅、裏礫面、裏表面に研磨痕	9
	40I5	SD12.イ0J5	75			2辺	10.8	7.7	1.9	185.72	2辺一部二次加工+磨り・摩滅、縦長剥片素材、R.F.orSc状	4
	79I6	ア9J6-3	1			1辺	7.9	4.7	2.3	79.84	1辺磨り・摩滅	6
	40I4	イ0J4-1	37			1辺	11.4	4.7	2.3		1辺磨り・摩滅、表面二次加工剥離+敲打、磨製石斧未製品か?	7
	40I5	イ0J5-3	77	ホルンフェル		1辺	8.5	4.2	3	109.48	1辺磨り・摩滅	8
	43I7	イ3J7-2	19			1辺	9.2	5.7	1.7	104.15	1辺一部二次加工(+磨り?)、裏礫面、S e.orR.F.	11
	44I5	イ4J5-4				1辺	7.6	4.7	1.3	43.35	1辺磨り・摩滅、他辺も使用痕?横長剥片	14
	44I9	イ4J9-9	64			2辺	7.1	3.4	1.3	26.29	1辺磨り・摩滅、他1辺は一部のみ、裏剥離面、全体に磨れ・摩滅	15
	44I9	イ4J9-14	21			2辺	8.1	5.5	3	117.48	2辺磨り・摩滅、辺に接する面研磨状	16
	44J0	イ4K0-4	38			3辺	6.3	5.6	1.5	43.01	3辺磨り・摩滅、辺に接する面磨り痕、表節理面残し	17
	44J0	イ4K0-10	151			1辺	7.5	5.3	3.1	106.98	1辺磨り・摩滅、他1辺微小剥離、表面線状痕	18
	44J0	イ4K0-16	9	チャート?		1辺	8.7	4.3	2.2	50.32	1辺磨り・摩滅	20
	44J0	イ4K0-16	32			1辺	9.2	7.2	3	177.89	1辺磨り・摩滅、他辺二次加工、他辺一部若干磨り?S c.orR.F.	21
	44J0	イ4K0-S^'-3	112			1辺	8.5	3.9	1	42.07	1辺磨り・摩滅、顕著、裏礫面	22
	44J1	イ4K1-16	376			2辺	8.4	3.4	1.7	46.07	1辺磨り・摩滅、他1辺は摩滅少、裏面研磨面状	23
	44J1	イ4K1-16	505			2辺	6.8	4.8	1.7	54.1	1辺磨り・摩滅、他1辺微小剥離、裏礫面	24
	44J1	イ4K1-17	41			1辺	5.7	4.6	2.6	63.67	1辺磨り・摩滅、他1辺微小剥離、裏1/3礫面	25
	44J1	イ4K1-17	81			1辺	12.3	6.3	2.2	167.09	1辺磨り・摩滅、接する面研磨面状、他辺二次加工、微小剥離あり	26
	44J1	イ4K1-18	143			2辺	7.7	5.7	2.9	133.4	1辺磨り・摩滅、他1辺は若干磨り、裏礫面	28
	44J1	イ4K1-18	281			2辺	6.9	6	1.7	78.79	2辺磨り・摩滅、1辺顕著、裏礫面	29
	44J1	イ4K1-19	157			2辺	8.3	3.5	2.4	91.11	1辺磨り・摩滅、他1辺は若干磨り、他1辺微小剥離、別辺敲打痕、裏礫面	30
	44J1	イ4K1-22	26			1辺	6.6	4.4	1.2	30.56	裏剥離面	32
	44J2	イ4K2-8	50			2辺	8.8	4.5	2.7	80.48	2辺磨り・摩滅、接する面磨り痕、他1辺は+微小剥離、メインの辺二次加工後磨り	33
	44J2	イ4K2-8	193			1辺	7.4	4.6	2.7	72.69	1辺磨り・摩滅顕著、他1辺二次加工、別1辺微小剥離、裏礫面	34
	44J2	イ4K2-14	141			1辺	2.9	1.8	1.7	4.69	右側欠損、1辺磨り・摩滅、他1辺加工なし	36
	46I7	イ6J7-3	39			3辺	7.5	5.1	2	84.42	3辺磨り・摩滅顕著、接する面やメインに平行の辺も磨り痕、裏礫面	39
	46I7	イ6J7-10				3辺	7.3	2.9	0.8	24.62	3辺磨り・摩滅顕著、他1辺二次加工で刃部状、裏剥離面	41
	46I9	イ6J9表探				3辺	9.8	5.2	3	194.35	1辺磨り・摩滅顕著、他2辺若干の磨れ	42
	46I9	イ6J9-1	5			2辺	9.3	5.6	1.3	92.75	1辺磨り・摩滅顕著、他1辺若干の磨れ、他2辺微小剥離	43
	46I9	イ6J9-2	17			1辺	10.1	7.2	3.5	224.88	1辺磨り・摩滅顕著、他1辺二次加工	44
	46J0	イ6K0-3	290			1辺	9.3	4.7	3.9	177.68	1辺磨り・摩滅顕著、他2辺微小剥離、礫面残	46
	46J0	イ6K0-3	326			2辺	7.1	3.2	1.4	36.31	2辺磨り・摩滅顕著、他2辺二次加工(+)微小剥離、両極剥片	47
	46J1	イ6K1-3	9			2辺	9.3	4.5	2.5	94.22	2辺磨り・摩滅、他2辺微小剥離	48
	46J1	イ6K1-S^'-2	52			1辺	5.4	4.5	2.2	37.02	1辺磨り・摩滅、他1辺加工なし	49
	46J1	イ6K1-S^'-1-1~10区	17			2辺	5.3	3.5	1.8	21.13	2辺磨り・摩滅、他1辺二次加工+微小剥離	50
	46J1	イ6K1-サブベ-5				2辺	7.8	3.7	1.7	51.32	2辺磨り・摩滅、他2辺微小剥離、裏礫面、	51
	46J2	イ6K2-2~3.4区				2辺	6	4.4	0.8	19	2辺磨り・摩滅、他ほぼ全周微小剥離、一部二次加工、Sc?	52
	46J2	イ6K2-N^'-2	33			2辺	10.5	7.4	2.5	182.82	1辺磨り・摩滅、他1辺若干の磨り、他1辺微小剥離、裏礫面	53
	47J0	イ7K0-2	46			3辺	10.5	5.8	2.6	127.68	3辺磨り・摩滅、他2辺二次加工+微小剥離、1辺切断状・折損?	54
	47J0	イ7K0-N^'-2				2辺	11.8	6.4	3.2	268.14	2辺磨り・摩滅、1辺は弱い、他加工なし	55
	47J1	イ7K1-0				2辺	8.3	6.4	0.8	58.39	2辺磨り・摩滅、1辺は顕著、他1-2辺二次加工+微小剥離、Sc?	56
	44I7	イ4-J8		ホルンフェルス							スクレイパー仮99から移動第338図5?	

第20表小型敲石・その他石製品観察計測表

挿図番号	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	石材備考	磨減辺数	口径・最大長 (cm)	器高・最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮No.
第339図1	I4J0	I4-K0-11	151	砂岩	古期		3.9	2.8	1.40	18.0	3縁辺敲打顕著	13
第339図2	I4I9	I4-J9-11	20	砂岩	古期		4.4	4.0	1.40	32.4	3辺敲打、2辺顕著、一部微小剥離	10
第339図3	I4J0	I4-K0-6	238	砂岩	古期		4.8	4.1	10.50	38.0	左右側縁敲打顕著	11
第339図4	SI01	SI-01-2	286	輝石安山岩	第四紀		4.7	4.4	2.00	50.7	側縁+面敲打	1
第339図5	I4J1	I4-K1-17	165	砂岩	古期		5.7	3.2	1.80	34.9	左右側縁~面敲打顕著、敲石状	16
第339図6	I5I6	I5-J6-Eベ-1	19	砂岩	古期		8.0	4.5	2.30	98.0	1縁辺敲打顕著、一部擦り痕	18
第339図7	I6I9	I6-J9-5	38	輝石安山岩	緻密質		8.1	5.0	1.70	72.8	縁辺敲打+剥離	19
第339図8	SI05	SI-05-5	87	輝石安山岩	第四紀	1辺	6.2	3.8	1.40	41.8	縁辺+平坦面敲打	3
第339図9	SI05	SI-05-9	98	砂岩	古期		5.5	4.1	1.30	(38.7)	下辺敲打顕著	4
第339図10	I4J0	I4-K0-7	3	砂岩	古期		6.0	2.6	1.20	23.2	側縁・上下端部敲打顕著	12
第339図11	I4J1	I4-K1-13	287	砂岩	古期		4.4	4.2	1.0	30.1	石製円盤か、周縁研磨摩滅	
第339図12	I5I7	I5-J7 攪乱-2		ドレライト			(6.0)	(5.8)	(1.60)		顔料付着? 側縁・下縁敲打顕著	3
第339図13	I6J1	I6-K1-5	14	変質安山岩	緑色	一部欠損	8.5	(6.4)	4.00	(269.0)	加工痕、一端部突起状部分敲打顕著	5
第339図14	I6J1	I6-K1-5・7	179・128				16.8	17.8	3.00	592.2	被熱 酸化鉄付着 有孔(0.5~1.9)	6
	SI03	SI3-6	74			1辺+1面	8.6	4.6	2.4	141.17	下端面状+剥離面全体敲打+研磨	74
	79I7	A9J7-Eベ-1	8			2辺	4	2.8	1.2	15.69	左~下の2辺剥離+若干の敲打	8
	I6J0	I6K0-4	11			3辺+1面	6.7	3.8	1.2	43.02	3辺剥離+敲打、一部磨り、1面敲打+磨り面	11
	I6I9	I6J9-8	25			1辺	5.7	3.8	1.9	57.53	下端数回の剥離+敲打、左辺若干の敲打	25
	I6J0	I6K0-6	29			全周+1	6.6	3.8	1.7	49.13	全周敲打(+伴う剥離)、裏礫面	29
	I6J1	I6K1-12	33			2辺	4.2	3.4	1.1	16.61	2辺微小剥離、使用痕か、顕著な敲打痕ではない、面も敲打?	33
	I4J0	I4K0-14	39			全周	5.1	4.3	1	28.02	全周剥離+敲打、一部磨れ	39
	I5I9	I5J9-2	39			1辺	5	4	2.2	50.58	1辺剥離+敲打若干、1面研磨? 磨り面状	39
	I4J0	I4K0-16	60			2辺	5.9	4.4	2.1	67.54	剥離は敲打時?	60
	I0I7	I0J7-6	69			全周+2	5.1	3.8	1.1	30.63	全周敲打、敲打時?の微小剥離、裏裏礫面も敲打	69
	I6J1	I6K1-6	69			3辺	5.2	4.1	1.3	38.47	敲打による剥離+敲打、一部磨り、扁平礫	69
	I4I9	I4J9-5	110			3辺	3.2	3.3	0.9	12.47	左辺剥離+敲打、他2辺敲打	110
	I4J1	I4K1-Sベ-5	354			4辺	5.4	4.7	2.6	72.46	1辺剥離+敲打若干、1辺は1回の敲打以外剥離	354
	I4J2	I4K2-7	8区			1辺	3.8	2.5	0.9	10.31	1辺微小剥離のみ、U.F.?	8区
	I6J1	I6K1-6	13区			1辺+1面	3.6	4	1.1	19.12	1辺敲打(+伴う剥離)	13区
	I4J1	I4K1.SK-36B				2辺	6.1	4.7	1.4	53.22	2辺二次加工で刃部状、一部に敲打、R.F.orSo	
	SEC T3	SECT-3				全周+1	4.7	3.8	2.2	44.09	縁辺ほぼ全周敲打、剥離面も敲打	
	I6J0	I6K0-0				全周+1	4.8	4.6	0.7	22.34	剥離+敲打(一部入念)	

第21 図石製垂飾品

挿図番号	新クリッド	出土遺構・クリッド	取上 No.	石材名	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	孔径 (cm)	備考	仮 No.
第340図1	I015	I0-J5-Eベ		菱質岩			2.3	1.7	0.9	7.0	0.27	片面穿孔	8
第340図2	I519	I5-J9-3	28	泥質チャート			2.5	1.4	0.5	2.7	0.37		28
第340図3	I617	I6-J7-Sベ-4	115	菱質岩	含緑泥石	完形	1.2	1.2	0.8	1.4	0.18	小玉	32
第340図4	I4J0	I4-K0-15	243	珪化木			(4.2)	1.6	1.6	(16.2)	-		24
第340図5	I4J2	I4-K2-11	173	滑石		完形	1.1	1.0	0.7	1.7	0.31	小玉	27
第340図6	表探	2区N 表探		菱質岩	含緑泥石		1.1	1.1	1.0	1.5	大0.5 小0.27		37
第340図7	I5J1	I5-K1-2	11	滑石			1.0	0.9	0.5	0.6	0.33		29
第340図8	I117	I1-J7-5	51	珪化岩	碧玉	ほぼ完形	0.7		0.4	0.2	0.21	小玉	14
第340図9	I415	I4-J5-2	2	頁岩	古期	一部欠損	2.8	2.3	0.3	2.3	0.44		18
第340図10	SI01	SI-01-5-A区完		ホルンフェルス			(3.4)	1.9	0.45	4.5	0.25		3
第340図11	I5J2	I5-K2-3	85	頁岩	新第三紀	一部欠損	3.4	1.7	0.6	3.6	0.24	線刻 片面一部に加工痕	30
第340図12	SI01	SI-01-1	447	頁岩	古期		2.3	2.1	0.2	0.9	0.2		1
第340図13	I116	I1-J6-2-18区		頁岩	古期	一部欠損	3.1	(3.8)	0.5	(7.8)	0.3	被熱	12
第340図14	I215	I2-J5-Sベ-1	8	頁岩	古期		3.3	1.7	0.6	3.7	0.22		15
第340図15	SI03	SI-03-8	52	頁岩	古期	完形	2.3	1.1	0.4	1.0	0.2	赤色顔料付着?	5
第340図16	I4J0	I4-K0-8	74	頁岩	古期		2.6	1.3	0.5	1.9	0.25	刻み一辺	23
第340図17	I216	I2-J6-Nベ-1	42	砂質頁岩	古期		1.7	1.7	0.4	1.3	0.32		16
第340図18	I4J0	I4-K0-6-1区		頁岩	古期		(1.6)	1.4	0.35	(0.9)	0.31		22
第340図19	I617	I6-J7-1-Wベ-1	11	頁岩	古期		(2.7)	(1.4)	0.45	(2.0)	-		33
第340図20	I419	I4-J9-S-2	29	凝灰岩	新第三紀		3.4	3.3	0.85	11.1	0.42		20
第340図21	I4J0	I4-K0-1	4	頁岩	古期	一部欠損	3.6	2.2	0.7	7.3	0.3	両面穿孔	21
第340図22	I617	I6-J7-7	175	流紋岩質凝灰 岩	新第三紀		3.8	2.9	1.2	9.3	0.42	両面穿孔	31
第340図23	I6J1	I6-K1-12-7区		頁岩	新第三紀	一部欠損	(2.0)	1.6	0.3	(1.4)	0.21	勾玉形	34
第340図24	SEC T5	SEC T-5		頁岩	古期		(1.9)	1.6	0.3	(1.7)	0.15		7
第340図25	I117	I1-J7-5	51	頁岩	古期		(1.3)	3.0	0.3	(1.8)	左0.33 右0.15	二カ所穿孔	13
第340図26	I116	I1-J6-1	10	頁岩	古期	完形	2.2	1.3	0.3	1.3	0.28	被熱 両面穿孔	10
第340図27	I416	I4-J6-Wベ-1		頁岩	古期	一部欠損	3.4	1.6	0.6	4.2	0.23	両面穿孔	19
第340図28	SI03	SI-03-8-C区		頁岩	古期		2.4	1.9	0.4	2.2	0.2		6
第340図29	I4J1	I4-K1-サブトレ		頁岩	新第三紀		2.8	1.9	0.5	3.3	0.21	赤色顔料付着?	26
第340図30	T1	T-1 上層		頁岩	古期		(2.4)	2.0	0.3	2.4	0.26		35
第340図31	I116	I1-J6-1	11	頁岩	古期	完形	2.3	1.4	0.2	1.2	0.24		11
第340図32	I4J1	I4-K1-16-2区		頁岩	古期		(2.1)	1.45		0.3	1.3	0.2	25
第340図33	I316	I3-J6-2	46	頁岩	古期		(2.0)	1.4	(0.2)	(0.5)	(0.23)		17
第340図34	SI02	SI-02-C区	27	ホルンフェルス		完形	1.9	2.0	(0.15)	2.0	0.24		4
第340図35	表探	表探1		頁岩			1.8	2.3	0.3	1.2	0.38	剥離あり	36
第340図36	SI01	SI-01-5	44	頁岩	古期		1.4	2.2	0.3	0.8	0.2		2
第340図37	SI13	SI-13-10-C区		頁岩	古期		(3.0)	(1.7)	(0.5)	(3.7)	-	未成品? 穿孔途中?	未1
第340図38	I617	I6-J7-6-17区		流紋岩質凝灰 岩			1.6	1.4	0.9	2.3	-	未成品?	2
第340図39	I417	I4J7-1		粘板岩			2.8	0.6	0.4			ほぼ全面研磨	仮1

第22図石剣・石棒観察測定表

挿入番号	新グリップ	出土遺構・グリップ	取上No.	石材	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考	石剣石棒
第341図1	46J1	46-K1-1	89	緑色片岩	三波川	胸部下半部欠損	(26.5)	3.1	1.6	(249.0)	成形時敲打痕 文様あり 破損部に加工あり		252
第341図2	SEC T7	SEC T-7		緑色片岩	三波川		(10.7)	4.2	2.0	(155.5)			308
第341図3	40I7	40-J7-6	98	頁岩	古期	頭部2/3	(7.4)	(2.7)	(2.1)	(45.7)	文様(沈線)4本あり 被熱・敲打痕あり		72棒
第341図4	46I7	46-J7-8	156			頭部小片	5.2	2.2	6	7.6	下端段は敲打作出、研磨→文様線		
第341図5	44J1	44-K1 表探		粘板岩	雄勝		(6.3)	(2.5)	0.9	(16.0)	沈線・研磨痕・敲打痕あり		149
第341図6	45J2	45K2-2	26			小片	7.1	2.8	0.6	16.0	研磨痕・文様線あり。線状痕目立つ、左側縁微小剥離→再生か		
第341図7	44J1	44k1-15	107			頭部小片	6.7	1.0	0.8	5.4	敲打痕跡一部→丁寧な研磨→文様線鋭角沈線状		
第341図8	46I7	46-J7-8	159	粘板岩	雄勝		(10.4)	3.2	2.7	(77.8)	文様・敲打痕あり		233
第341図9	SI02	SI-02-3 C区	15	粘板岩	頁岩質	頭部～胴部	(11.3)	3.0	2.7	(97.9)	頭部～胴部上半文様あり		292棒
第341図10	46I9	46-J9-3	66	粘板岩	雄勝	頭部～頸部	(5.1)	2.9	(2.3)	49.2	被熱・文様あり		236棒
第341図11	46J1	46-K1-Nベ-2	26	粘板岩	雄勝		(5.1)	(2.5)	(1.0)	(15.1)	被熱・文様あり		257棒
第341図12	79I4	79-J4-5	4	粘板岩	頁岩質	頭部1/2	(4.4)	2.9	(1.0)	(16.2)	被熱・文様あり		51
第341図13	41I3	41-J3-1	70	粘板岩	雄勝石?		(8.9)	2.6	1.6	(43.0)	頭部～頸部文様あり 頭頂部に研磨による線状痕あり		74
第341図14	2区E T1	T-1 2区-E		頁岩	古期	頭部～頸部1/2	(4.9)	(3.4)	(1.5)	(27.2)	被熱・文様あり		311棒
第341図15	46J1	46-K1-3最下層		粘板岩	頁岩質		(4.1)	(2.5)	(0.4)	(4.1)	被熱・文様あり		255
第341図16	44I9	44J9-6	42			小片	2.0	1.5	0.2	1.1	字文細く浅めで丁寧な線、研磨痕あり		
第342図1	SI05	SI-05-5	259	粘板岩	頁岩質		(9.8)	2.6	(1.2)	(41.8)	文様・黒付着物・被熱あり		298棒
第342図2	44J0	44-K0-12	121	緑色片岩	三波川		(6.2)	2.8	(1.1)	(29.5)	文様あり		134棒
第342図3	2区E T	2区E,T-1				中小片	10.5	2.4	0.8	25.1	敲打→研磨→文様線、研磨丁寧、357と同		
第342図4	40I6	40-J6				小片	5.8	2.4	0.9	18.68	敲打→研磨→文様線、上下の剥離は欠損		
第342図5a	47J0	47K0-EA-2回目	15			3小片同一か	5.6	1.7	0.4		敲打若干残り→研磨		
第342図5b	T1	T1					4.2	1.1	0.6		敲打+研磨+沈線、研磨良く磨かれている		
第342図5c	46J1	46-K1					9.3	1.9	1.0		下端微小剥離? = 刃部として再生転用使用		
第342図6	46I7	46-J7-8	157	粘板岩	頁岩質		(24.3)	3.3	1.9	(196.0)	研磨に伴う線状痕 敲打痕		232
第342図7	43I5	43-J5-1 8区 43-J5-3	11	頁岩	古期		(11.0)	2.5	(2.0)	(66.7)	頭部～胴部被熱あり		110A 100B
第342図8	44J0	44-K0-Nベ-5	1	粘板岩	粗悪、錳物片を多含	頭部～胴部上半	(7.0)	2.6	1.8	(39.1)	被熱後? 敲打・赤ぬりを施したと思われる		148棒
第342図9	44J2	44-K2-15	137	緑色粘板岩		頭部～胴部上半	(13.0)	2.7	2.0	82.4	被熱あり 両側面に稜あり		196棒
第342図10	UTK 西斜面	UTK 西斜面		頁岩	古期	頭部～胴部上半	(5.9)	3.5	3.0	(59.8)			283
第342図11	46J0	46-K0-3	148	粘板岩			(6.0)	(2.3)	(1.1)	(17.7)	被熱あり		240
第342図12	48I8	48-J8-1	20	緑色片岩	三波川		(17.3)	4.7	(2.8)	(432.0)	破損部に加工あり 両側面に稜をもつ		264
第342図13	41I3	41-J3-2	9	緑色片岩	三波川		(5.3)	(2.9)	(1.2)	(28.4)			75
第342図14	46I7	46-J7-4	3	頁岩	古期	頭部～頸部	(4.4)	(3.2)	(1.0)	(20.3)	研磨に伴う線状痕 沈線2本 頭部にミガキ面あり		229
第342図15	42I7	42-J7 表探		緑色片岩	三波川	頭部のみ	(5.3)	3.8	(1.3)	(55.5)	破損部に加工あり		91
第342図16	44J0	44-K0-Nベ-5	7			頭部小片	3.2	2.5	2.3	7.3	研磨痕不明瞭		
第343図1	SI05	SI-05-10 C区 40-J7-1	60	粘板岩	頁岩質		(14.5)	(3.0)	(0.9)	(49.1)	被熱あり		23
第343図2	40I5	SD-12 40-J5	52	緑色片岩	三波川		(7.7)	3.5	16.5	(66.6)			43
第343図3	SI01	SI-01-1	81	黒雲母片岩		1/2	(6.8)	3.3	(1.4)	(49.2)	秩父産 被熱・剥離あり		1
第343図4	45I6	45-J6					8.4	4.3	1.4	69.7	板状に剥離、研磨痕跡不明瞭		
第343図5	41I7	41-J7-6	22	粘板岩			(2.9)	(2.2)	(1.2)	(7.9)	被熱あり		83
第343図6	45I9	45-J9-25区					8.6	3.3	1.4	70.8	剥離少→敲打+研磨、全体に凹凸残る		
第343図7	44J2	44-K2-5 47-K1-Nベ-1	43.5	緑色片岩	三波川		(11.0)	(3.2)	(1.0)	(58.2)	被熱あり		186棒
第343図8	44I8	44-J8 10区 攪乱		緑色粘板岩	三波川?	胴部のみ	(10.1)	(3.1)	(3.1)	(164.4)	被熱・敲打痕あり 断面円形		121
第343図9	44J1	44-K1	229				15.3	3.0	2.1	134.4	右半分敲打目立つ		
第343図10	40I5	SD-12 40-J5	100	緑色粘板岩			(13.0)	(3.4)	(2.5)	(185.8)	胴部破損部に加工あり(石棒類に転用か)		44
第343図11	40J8	40-K8	11	緑色片岩	三波川	胴部のみ	(24.5)	(7.1)	(5.3)	(939.0)	被熱あり		271棒
第343図12	42I7	42-J7 攪乱		緑色片岩	三波川	胴部のみ	(6.3)	(2.9)	(1.6)	(60.9)	両側面に稜あり 破損後加工あり		95
第343図13	SI07	SI-07-3	40	粘板岩	頁岩質		(14.3)	(3.0)	(1.6)	(91.5)	被熱あり 側面に明瞭な稜 研磨に伴う線状痕		300刺
第343図14	SEC T6	SEC T6,44K0-					9.3	3.2	2.0	79.5	裏剥離面		
第343図15	SI03	SI-03-6	112	粘板岩	頁岩質		(17.2)	(3.7)	(1.7)	(186.8)	研磨に伴う線状痕 黒付着物・被熱あり		296棒
第344図1	44I8	44-J8-5	12	粘板岩	雄勝		(10.0)	(2.6)	(0.8)	(32.8)	文様・弱い稜あり		119
第344図2	44J2	44-K2	89				9.3	2.9	1.3	64.8	敲打一部残り、丁寧な研磨		
第344図3	SK38	SK-38 44-K0		ホルンフェルス			(7.2)	(3.4)	(1.6)	(57.5)	被熱・成型時敲打痕あり 断面はひし形		34
第344図4	44J0	44-K0-14 46-K0-2 46-K0-4 47-K0-0	417.3 13.21 3	黒雲母片岩	三波川		(20.0)	3.0	(2.2)	(203.7)	沈線2本		140棒
第344図5	47J0	47-K0-0		粘板岩	雄勝石?	頭部1/2	(3.1)	2.8	(1.3)	(17.5)	破損部に加工あり 沈線あり		260
第344図6	44J1	44-K1-19	134				6.5	2.9	1.4	41.9	研磨痕斜方向、被熱		
第344図7	45I7	45-J7 攪乱-2		輝緑凝灰岩			(9.5)	(3.4)	(2.5)	(121.8)	被熱・敲打痕あり 両側面から端部にかけて稜をもつ		210
第344図8	42I7	42-J7 攪乱	41	黒雲母片岩	三波川	胴部のみ	(14.6)	(3.9)	(1.2)	(116.3)	被熱あり		98棒
第344図9	40I5	40-J5-3	9	輝石安山岩	緻密質		(5.3)	(5.1)	(2.2)	(103.4)	被熱あり		64
第344図10	SEC T5	SEC T-5		黒雲母片岩	三波川		(9.2)	(3.8)	(3.6)	(174.4)	被熱・敲打痕あり		303
第344図11	46J0	46-K0-3	168	頁岩	古期		(18.8)	(3.2)	(2.3)	(169.4)	被熱・明瞭な稜をもつ 破損部は摩耗して		241
第344図12	45J0, 45J1, 46J0, 46J1	45-K0-Sベ-1 46-K0-Sベ-4 46-K0-Sベ-3 45-K0-Sベ-1 46-K1-Nベ-3 45-K1 表探 46-K0-Sベ-3 T-2 上層	229.2 4.57	頁岩	古期	端部～胴部	(23.0)	3.1	1.6	(144.4)	両側面に稜あり 被熱・研磨痕あり		219棒

第22図石剣・石棒観察測定表

挿図番号	新ケッ ト	出土遺構・グリ ド	取上 No.	石材	石材備 考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考	石剣 石棒
第345図1	I4I5	I4-J5-1 I4-J5-2	1625	粘板岩	頁岩質		(13.3)	(2.6)	(1.3)	(39.9)	被熱・文様あり 断面はひし形		112
第345図2	I4J2	I4-K2-8	26	粘板岩	頁岩質		(9.1)	(2.6)	(1.0)	(29.3)	被熱・文様(稜)あり		191
第345図3	I4I5	I4-J5-2	140	粘板岩	雄勝		(12.0)	(2.1)	(1.9)	(65.6)	文様あり 断面はひし形		113
第345図4	I4J1	I4-K1-15	264	粘板岩	雄勝 石?	端部のみ	(9.1)	(2.4)	(1.5)	(39.9)	稜・被熱・割れ・文様あり レンズ状の断面 赤が残る		166棒
第345図5	2区E T	T-4-1 2区-E		頁岩	古期	端部~胴	(7.5)	(2.9)	(1.6)	(47.5)	被熱・文様あり 側面に稜をもつ		312
第345図6	SI01	SI-01-5	70	粘板岩	頁岩質	頸部~胴	(10.4)	(2.9)	(1.5)	(63.1)	破損部に加工あり 研磨痕		291
第345図7	I4I6	I4-J6-1	87	粘板岩	頁岩質		(7.9)	(2.3)	(1.2)	(32.5)	被熱あり 先端に凹みあり		115棒
第345図8	T11	T-11 3区-1	1	粘板岩	頁岩質		(13.3)	(2.8)	(2.3)	(97.3)	被熱あり 丁寧に研磨されている		309
第345図9	I6J0, I6J1	I6-K0-Sベ-2 I6-K1-4 I6-K1-5	62.64 56	緑色片岩	三波 川?	胴部~端 部	(21.7)	(3.4)	(1.7)	(179.1)	被熱・割れ・ヒビあり		246棒
第345図10	I6I7	I6-J7	155.2				9.0	2.9	1.9	57.1	研磨入念、端部欠損時剥離か		
第345図11	SI05	SI-05-9	77	粘板岩	頁岩質		(9.2)	(2.2)	(0.9)	(25.0)	黒付着物・被熱あり		299棒
第345図12	I4J1	I4-K1-19	303	粘板岩	頁岩質		(11.7)	(2.9)	(2.3)	(117.7)	被熱あり 破損部に加工あり		177
第345図13	2区E T	2区E T4					12.0	2.7	1.2	43.1	研磨線状痕斜方向入念、下部欠損時剥 離		
第345図14	I6I9	I6-J9-6 12区		緑色片岩	三波川		(5.7)	(3.2)	(1.3)	(36.5)			237
第345図15	I5I7	I5-J7 撈乱-3		緑色粘板岩		端部のみ	(5.5)	(3.3)	(1.6)	(32.9)	被熱あり 破損部に加工あり		213
第346図1	I4J2	I4-K2	295				10.0	5.2	3.9	350.8	剥離・敲打+一部研磨		
第346図2	SI01	SI-01-5 A区		粘板岩			(10.6)	(3.5)	(0.9)	(46.4)	石棒の剥片		
第346図3	SI02	SI-02-1	10	頁岩	古期		(17.5)	(3.9)	(2.1)	(185.8)	両側面に敲打痕あり		石材1
第346図4	I4J1						14.0	3.4	1.8		片面砥面、縁辺剥離一敲打		未4棒
第346図5	I0I4	I0-J4-3	82	ホルンフェ ルス		破片	(9.2)	(3.7)	(1.1)	(51.7)	両側面に敲打痕あり		
第346図6	I6J1	I6-K1-5	48	ホルンフェ ルス			(14.5)	(4.7)	(2.3)	(251.0)			未27
第346図7	I0I4	SD-12 I0-J4	14	ホルンフェ ルス			(10.4)	(4.3)	(1.6)	(96.2)	未成品		未38 棒
第346図8	79I4	A9-J4-7	8	ホルンフェ ルス			(8.6)	(4.3)	(0.9)	(46.9)			未5棒
第346図9	I4J0	I4-K0-3	168				5.8	3.2	1.1	30.8	剥離一部残り一敲打一研磨		未7棒
第346図10	I4J0	I4-K0	197				17.0	5.0	2.4	278.7	全面敲打+研磨、上辺近くかなり擦られて		
第346図11	I4J1	I4-K1-16	63	雲母片岩	三波 川?		(26.7)	5.3	5.4	(1248.0)	大型石棒胴部 搬入品か 被熱あり		
	SI01	SI01-1	396			小片					研磨痕あり、140と同一?		170棒
	SI01	SI01-2	92			小片					研磨痕わずか、再生の剥離?		
	SI01	SI01-2	256			小片					研磨痕わずか		
	SI01	SI01-2	299			小片					研磨明瞭		
	SI01	SI01-2	358			小片					敲打+研磨		
	SI01	SI01-2	113区			小片					研磨痕あり	被熱	
	SI01	SI01-4	66			小片					研磨痕わずか		
	SI01	SI01 C区上層				小片					研磨痕明瞭、側面の稜明瞭、同一あり?	被熱	
	SI01	SI01 C区上層				小片					研磨痕あり		
	SI02	SI2-5床下5-S-	3051			小片					研磨痕あり	被熱	
	SI03	SI3-2	111			剥離小片					研磨痕なし		
	SI03	SI3-3	B区			剥離小片					研磨痕なし		
	SI03	SI3-4	132			小片					研磨痕あり、基部?		
	SI03	SI3-4	258			小片					研磨痕あり		
	SI03	SI3-4	320			剥離小片					研磨痕なし		
	SI03	SI3-6	40			小片					敲打+研磨		
	SI03	SI3-7	C区			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	SI03	SI3-8	C区			剥離小片					研磨痕なし		
	SI03	SI3-10	3			小片					研磨痕あり		
	SI03	SI3-c区+I1J6 Eヘルト				小片					敲打+研磨、やや大形の石棒か	被熱	
	SI03	SI3-c区+I1J6E ヘルト				剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	SI03	SI3-c区				剥離小片					研磨痕なし		
	SI03	SI3	埋土			剥離小片					研磨痕あり		
	SI03	SI3	埋土			小片					研磨痕あり		
	SI03	SI3 Aヘルト				剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	SI03	SI3 ヘルト内				小片					研磨明瞭		
	SI05	SI5-5	75			剥離小片					研磨痕なし		
	SI05	SI5-7				小片					研磨痕あり		
	SI05	SI5-9	A区			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	SI05	SI5-10	91			小片					研磨痕なし、石棒?		
	SI06	SI6-1				剥離小片					研磨痕一部	被熱	
	SI06	SI6-1				小片					研磨痕一部、2点同一か		
	I2I6	I3J6表探				小片					研磨痕一部		
	SI06	SI6-2	C区			剥離小片					研磨痕あり		
	SI06	SI6-3	39			小片					敲打+研磨		
	SI06	SI6-5	A区			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	SI06	SI6-7				小片					敲打+研磨		
	SI06	SI6-7				剥離小片					研磨痕あり		
	SI06	SI6 ACヘルト				小片					研磨痕あり、文様あり	被熱	
	SI06	SI6 BDヘルト				小片					研磨痕あり	赤彩?	
	SI07	SI7-3	42			小片					研磨痕一部		
	SI08	SI7-3	C区			剥離小片					研磨痕一部		
	SI09	SI7-4	B区			剥離小片					研磨痕一部	被熱	
	I3I5	I3J5内撈乱				小片					研磨痕あり	被熱	
	I5J1	SD1 I5k1 16区				剥離小片					研磨痕一部		
	I5J7	SD1 I5k7	39			小片					研磨痕一部		

第22図石剣・石棒観察測定表

挿図番号	新グリップ	出土遺構・グリップ	取上No.	石材	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考	石剣石棒
	4516	SD4 45j6内				小片頭部					研磨明瞭		
	4517	SD4-1 45j7	97			小片					研磨痕あり		
	4517	SD4 45j7	62			小片					研磨痕あり	被熱	
	4519	SD4 45j9 25区下層				小片					研磨痕あり、粗い、基部or頭部		
	46J0	SD4 46k0				小片					研磨痕なし	被熱	
	4015	SD12 40j5	6			中片					敲打+研磨	被熱	
	4015	SD12 40j5	28			頭部中片					研磨痕あり		
	4017	SD12-D 40j7-58区				剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	4516	45j6内 SD16				中片					研磨痕あり、57と同一	被熱	
	4517	45j7 攪乱2				中片					研磨痕あり	被熱	
	SEC T1	SEC T-1				小片					研磨痕あり		
	44J2	44k2最下層				小片					研磨痕一部、6片同一、接合?		
	SEC T2	SEC T-2				小片					研磨痕一部		
	44J1	44k1-20	69			小片					研磨痕一部		
	44J3	44k3-8	1			小片					研磨痕一部		
	44J2	44k2-3	6区			小片					研磨痕一部		
	44J4	44k4-7	5区			小片					研磨痕一部		
	SEC T2	SEC1 T-2 SEC1-3-3				小片					研磨痕あり	被熱	
	SEC T1	SEC1 T-3				剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	SEC T5	T-5 SEC				剥離小片					研磨痕なし		
	SEC T6	SEC T-6+SEC8-7-4				中小片					研磨明瞭	304①	
	SEC T6	SEC T-6+4k0-13 13区				小片					全周研磨		
	SEC T6	SEC T-6				中小片					研磨痕あり		
	SEC T6	SEC T-6				小片					敲打+研磨、3片+微細片、1個に接合?		
	SEC T6	SEC T-6 SEC10-5-2				中小片					敲打+研磨小、未製品?		
	SEC T6	SEC T-6				中小片					研磨明瞭、再生?	306③	
	SEC T6	SEC T-6				小片					研磨明瞭		
	SEC T7	SEC T-7				小片					研磨明瞭		
	7915	79j5-5				小片					研磨明瞭	被熱	
	7915	79j5-6No.4+2区E T-1				小片					敲打+研磨	被熱	
	7916	79j6-3	25									遺物不明	
	7916	79j6-Eヘルト1-25区				小片					研磨痕あり(小)	被熱	
	7916	79j6-Eヘルト1-25区				剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	7917	79j7-6-15区				小片					研磨痕一部		
	4014	40j4-1				剥離小片					研磨痕なし		
	4014	40j4-2	22			剥離小片					研磨痕なし		
	4014	40j4-2	52			頭部小片					研磨痕あり	被熱	
	4013	40j3-2	49			小片					研磨明瞭、3片接合	被熱	
	4014	40j4-3	1										
	4017	40j7表探											
	4014	40j4-3	24区			剥離小片					研磨痕なし		
	4015	40j5-1	5区			小片					研磨痕あり		
	4015	40j5-3	85			小片					研磨痕あり	被熱	
	4015	40j5-1	18区										
	4015	40j5-4	34										
	4016	同一40j6-0											
	4015	40j5-6	28			小片					研磨痕あり		
	4015	40j5-Sヘルト1				小片					研磨痕あり、縁辺剥離再生?		
						小片					研磨痕・文様線あり	216	
	4016	40j6-1	18			小片					研磨痕あり		
	4016	40j6-2	19			小片					研磨痕あり		
	4016	40j6-Eヘルト5区				小片					研磨痕なし		
	4016	40j6-Wヘルト1	21区			小片					研磨明瞭	被熱	
	4017	40j7-6	73			小片					研磨痕なし		
	4017	40j7-6	13区			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	4014	40j4-1				小片					研磨痕一部		
	4015	40j5-1				基部?小					研磨痕あり	171	
			25区			小片					研磨痕あり		
	4015	40j5-Nヘルト1				小片					研磨痕あり	被熱	
	4016	40j6-0				剥離小片					研磨痕なし		
	4016	40j6-2	129			小片					研磨痕あり	被熱	
	4016	40j6-Nヘルト1				剥離小片					研磨痕なし		
	4016	40j6-S-2	42			小片					研磨痕一部		
	4016	40j6-Eヘルト	5区			剥離小片					研磨痕なし		
	4016	40j6-Eヘルト	15区			小片					研磨痕あり		
	4215	42j5表探				小片					敲打痕一部		
	4215	42j5表探				剥離小片					研磨痕なし		
	4215	42j5-2	15区			小片					研磨痕あり	被熱	
	4215	42j5-3	28			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	4215	42j5-1S	77			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	4216	42j6-1	14			小片					研磨痕あり		

第22図石剣・石棒観察測定表

挿入番号	新グリット	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考	石剣石棒
	4216	4216-1	164			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	4216	4216-2	51			剥離小片					研磨痕あり		
	4216	4216-最下層				小片	2.6	1.4	0.2		研磨痕・文様線あり		
	4216	4216-Sヘルト				小片					研磨痕あり		
	4216	4217-1	20			小片					研磨痕・文様線あり		
	4216	4216-Nヘルト				小片					研磨痕あり	被熱	
	4217	4217-Nヘルト				小片					研磨痕あり	被熱	
	4217	4217				小片					研磨痕あり		
	4315	4315	12区			剥離小片					研磨痕なし		
	4315	4315-2	19区			小片					研磨痕なし		
	4315	4315-3	9区			小片					研磨痕なし		
	4315	4315-5	17			剥離小片					研磨痕一部		
	4315	4315-5	19			小片					研磨痕一部		
	4315	4315-Wヘルト	2			剥離小片					研磨痕なし		
	4316	4316表探				剥離小片					研磨痕一部	被熱	
	4316	4316-Wヘルト	6区			剥離小片					研磨痕なし		
	4317	4317-1	55			剥離小片					研磨痕なし		
	4317	4317-2	112			剥離小片					研磨痕なし		
	4317	4317-3	6区			中小片					研磨痕あり、基部?	被熱	
	4317	4317-3	6区			小片					研磨痕・文様線あり	24.10-6、19-17	
	4317	4317-3	12区			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	4317	4317-4	14区			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	4317	4317-E	23			小片					敲打+研磨		
	4414	4414-Wヘルト				剥離小片					研磨痕一部	被熱	
	4415	4415表探				中小片					研磨痕あり、基部?	被熱	
			63			剥離小片					研磨痕なし		
	4416	4416-4	17区			小片					研磨痕あり	被熱	
	4418	4418-2	23区			剥離小片					研磨痕一部	被熱	
	4418	4418-3	64			小片					研磨痕あり	被熱	
	4419	4419表探				剥離小片	3.5	1.2	1		研磨痕なし	被熱	
	4419	4419-1	38			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	4419	4419-2	7区			剥離小片					研磨痕一部	被熱	
	4419	4419-6	42			小片					研磨痕・I字文様線あり		
	4419	4419-6	96			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	4419	4419-6	11区			小片					研磨痕一部	被熱	
	4419	4419-7	11区			小片					研磨痕一部	被熱	
	4419	4419-9	73			剥離小片					研磨痕なし		
	4419	4419-10	20区			小片					敲打+研磨		
	44J0	44k0表探				剥離小片					研磨痕一部		
	44J2	44k2-15	117			完存					敲打+研磨、2点接合、技法は石棒類だが定型石棒ではない		
	44J0	44k0-3	197										
	44J0	44k0-3	13区			小片					研磨痕一部	被熱	
	44J0	44k0-4	16			小片					研磨痕あり、石棒ではないか	被熱	
	44J0	44k0-4	6区			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	44J0	44k0-6	189			小片					研磨痕一部	被熱	
			266			剥離小片					研磨痕一部		
	44J0	44k0-7	7区			頭部小片					敲打+研磨	被熱	
	44J0	44k0-7	23区			小片					敲打+研磨		
	44J0	44k0-8	104			剥離小片					研磨痕なし、2片	被熱	
	44J0	44k0-8	207			小片					敲打+研磨一部	被熱?	
	44J0	44k0-10-1	381			中小片	9.2	5.6	4.4		敲打+研磨粗い、中～大型石棒		
	44J0	44k0-11	8区			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	44J0	44k0-12	248			剥離小片					研磨痕なし		
	44J0	44k0-12	1区			小片					研磨痕あり、稜側面研磨	被熱	
	44J0	44k0-12	8区			小片					研磨痕あり	被熱	
	44J0	44k0-12	17区			小片					研磨痕一部	被熱	
	44J0	44k0-13	385			剥離小片					研磨痕なし		
	44J0	44k0-13	8区			小片					研磨痕あり		
	44J0	44k0-13	13区			剥離小片					研磨痕一部	被熱	
	44J0	44k0-14	136			剥離小片					研磨痕一部	被熱	
	44J0	44k0-14	8区			剥離小片					研磨痕一部		
	44J0	44k0-14	12区			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	44J0	44k0-14	16区			小片					研磨痕あり	被熱	
	44J0	44k0-15	33			小片					研磨痕あり		
	44J0	44k0-15	11区			小片					研磨痕一部	被熱	
	44J0	44k0-15	22区			小片					研磨痕あり、やや扁平大型の石棒か	被熱	
	44J0	44k0-16	52			剥離小片					研磨痕一部、2片同一	被熱	
	44J0	44k0-16	38			剥離小片					研磨痕一部	被熱	
	44J0	44k0-16	55			小片					研磨明瞭		
	44J0	44k0-20	63			中小片					研磨明瞭	被熱	
	44J0	44k0最下層	13			小片	8.8				研磨痕あり	被熱	
	44J0	44k0-N-2	23			小片	12.5				研磨明瞭、裏剥離		
	44J0	44k0-N-5	7			頭部小片					研磨痕あり	被熱	
	4517	4517-1	63			中小片、板	7.0	5.7	1.9		2片接合、砥石?石棒ではない	被熱	
	44J0	44k0-Eヘルト-1											
	44J0	44k0-S-6	289			小片					研磨痕一部		
	44J0	44k0-Wヘルト				剥離小片					研磨痕あり	被熱	

第22回石剣・石棒観察測定表

挿図番号	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上 No.	石材	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考	石剣石棒
	44J1	44k1表探				剥離小片					研磨痕一部	被熱	
	44J1	44k1表探				小片					研磨痕・文様線あり		
	44J1	44k1-3	14区			剥離小片					研磨痕一部	被熱	
	44J1	44k1-7	142			小片					研磨痕あり、砥石?266と同一	被熱	
	44J1	44k1-4	70			剥離小片					2点同一		
	44J1	44k1-5	54			剥離小片					研磨痕一部	被熱	
	44J1	44k1-6	80			小片					研磨痕一部	被熱	
	44J1	44k1-8	63			小片					研磨痕なし	被熱	
	44J1	44k1-11	39			小片					研磨痕あり	被熱	
	44J1	44k1-11	168			頭部小片					研磨痕・文様線あり	被熱	
	44J1	44k1-11	175			小片					研磨痕あり		
	44J1	44k1-11	212			中小片	6.0				研磨痕あり		
	44J1	44k1-12	155			中小片	6.8				研磨痕あり、2側面	被熱	
	44J1	44k1-12	238			小片					研磨痕あり	被熱	
	44J1	44k1-12	13区			小片					研磨痕あり	被熱	
	44J1	44k1-12	21区			剥離小片					研磨痕なし		
	44J1	44k1-13	229			中小片	15.2				敲打+研磨		
	44J1	44k1-13	24区			中小片					研磨痕あり		
	44J1	44k1-14	231			剥離小片					研磨痕なし		
	44J1	44k1-14	2区			剥離小片					研磨痕一部	被熱	
	44J1	44k1-15	107			頭部小片					研磨痕・文様線あり		
	44J1	44k1-15	285			小片					研磨痕一部		
	44J1	44k1-15	409			小片					研磨痕あり		
	44J1	44k1-15	12区			頭部小片					研磨痕・段差あり	被熱	
	44J1	44k1-16	151			小片					研磨痕あり		
	44J1	44k1-17	313			中小片	4.9	3.0			研磨痕あり2面	被熱	
	44J1	44k1-17	1区			小片					研磨痕一部、側面の稜あり		
	44J1	44k1-18	11区			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	44J1	44k1-18	21区			頭部小片					研磨痕あり、線状痕		
	44J1	44k1-19	25			剥離小片					研磨痕なし		
	44J1	44k1-19	115			頭部小					研磨痕あり2面		
	44J1	44k1-19	134			中小片	長さ6.7				全周研磨、やや扁平な石剣	被熱	
	44J1	44k1-20	143			基部近く片	12.8				研磨痕あり片面	被熱	
	44J1	44k1-20	206			小片					研磨痕一部		
	44J1	44k1-22	18区			小片					敲打+研磨少、未製品?		
	44J1	44k1床面	23			中小片	7.4				研磨痕あり片面		
	44J1	44k1-N-1	17			頭部小					研磨痕あり		
	44J1	44k1-N-6	86			剥離小片					研磨痕一部、微細片		
			296			小片					研磨痕あり		
	44J1	44k1-S^'ルト-4				小片					研磨痕一部	被熱	
	44J2	44k2-3	49			小片					研磨痕あり2面	被熱	
	44J2	44k2-3	25区			小片					研磨痕一部	被熱	
	44J2	44k2-4	172			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	44J2	44k2-5	39			中小片	5.9	2.8	2		研磨痕全周、石剣	被熱	
	44J2	44k2-5	14区			小片					研磨痕あり	被熱	
	44J2	44k2-7	17			小片					研磨痕一部		
	44J2	44k2-7	23区			小片	6.1	3.9			研磨痕あり		
	44J2	44k2-10	2区			剥離小片					研磨痕あり	被熱	
	44J2	44k2-10	4区			小片					研磨痕あり	被熱	
	44J2	44k2-13	147			中小片	11.7	3.0	1		研磨痕あり		
	44J2	44k2-14	32			小片、基部					研磨痕一部	被熱	
	44J2	44k2-14	296			小片					研磨痕あり1面、基部または頭部か	被熱	
	44J2	44k2-15	1			小片					研磨痕あり1面、線状痕目立つ		
	44J2	44k2-15	76			小片					研磨痕なし		
	44J2	44k2-15	13区			小片					研磨痕一部		
	44J2	44k2-16	53			小片	4.2	3.0	1		研磨明瞭		
	44J2	44k2-16	89			小片					研磨痕あり、石剣中位	二17-5	
	44J2	44k2-16	135			剥離小片					研磨痕あり		
	44J2	44k2-16	2区			小片					研磨痕あり	被熱	
	44J2	44k2-20	41			剥離小片					研磨痕あり		
	44J2	44k2-N^'ルト-2				小片					研磨痕あり		
	44J2	44k2-N3	244			小片					研磨痕なし、未製品?		
	44J2	44k2-N3	259			小片					研磨痕あり		
	44J2	44k2-N^'ルト-5				小片					研磨痕・文様線あり		
	44J3	44k3表探				剥離小片					研磨痕なし		
	44J3	44k3-3	69			小片					研磨痕あり	被熱	
	44J2	44k2-N^'ルト	15区			小片					研磨痕あり		
	45I7	45j7表探				小片					研磨痕あり	207?	
	45I9	45j9表探①				小片					研磨痕なし		
	45I9	45j9				小片					研磨痕一部	被熱	
	45I9	45j9表探				剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	45I9	45j9-2	38			小片					研磨痕あり、中位		
	45I9	45j9-2	13区			小片					研磨痕あり		
	45I9	45j9-2	53			剥離小片					研磨痕なし		
	45I9	45j9-W2	37			小片					研磨痕あり		
	45J0	45K0-2	18区			小片					研磨痕あり	被熱	
	45J0	45K0-2	24区			小片					研磨痕あり	被熱	
	45J0	45K0-3	2区			剥離小片					研磨痕なし?石棒類?		

第22回石剣・石棒観察測定表

挿図番号	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考	石剣石棒
	45J0	45K0-最下層				剥離小片					研磨痕なし? 石棒類?		
	45J1	45K1-4	60			小片					研磨痕一部	被熱	
	45J1	45K1-4				剥離小片					研磨痕なし?		
	45J2	45K2表探				剥離小片					研磨痕なし?		
	45J2	45K2-2	26			小片					研磨痕・文様線あり		
	45J2	45K2-3	18区			小片					研磨痕あり、石棒か?		
	45J2	45K2-4	42			微小片					研磨痕あり		
	45J2	45K2-N ¹	13区			小片					研磨痕あり		
	46J7	46J7-1	17区			小片					研磨痕あり	被熱	
	46J7	46J7-2	22			小片					研磨痕あり、大きめの石棒か		
	46J7	46J7-2	55			小片					研磨痕あり、整形痕明瞭		
	46J7	46J7-2	64			小片					研磨痕あり	被熱	
	46J7	46J7-2	137			小片					研磨痕あり		
	46J7	46J7-7	128			小片					敲打+研磨		
	46J7	46J7-8	T-			小片					研磨明瞭、2片接合、縁辺再生?	1968/6/1	
	46J7	46J7-8	T-			小片					研磨明瞭		
	46J7	46J7-8	156			小片					311と同一?		
			T-			小片					研磨痕あり		
	46J8	46J8-0				小片					研磨痕なし?	被熱	
	46J8	46J8-0				小片					研磨痕・文様線あり		
	46J8	46J8-0				小片					研磨痕なし		
	46J8	46J8-0				小片					研磨痕あり	311と同	
	46J8	46J8-1	11			小片					研磨痕あり		
	46J9	46J9-0				基部小片					研磨痕あり		
	46J9	46J9-2	3			小片					研磨痕あり	被熱	
	46J9	46J9-4	23区			微小片					研磨痕なし?		
	46J9	46J9-4	23区			微小片					研磨痕なし?		
	46J9	46J9-10	12区			小片					研磨痕あり		
	46J9	46J9-S ¹ -1	13			小片					研磨痕あり		
	46J0	46K0-3	268			小片					研磨痕なし?		
	46J0	46K0-5	17区			小片					研磨痕あり		
	46J0	46K0-6	145			小片					研磨痕なし		
	46J0	46K0-8	7区			小片					研磨痕あり、側面の稜明瞭		
	46J0	46K0-最下層	404			中小片					研磨明瞭、文様線or傷		
	46J1	46K1-E1	5			中小片					研磨痕あり		
	46J0	46K0-S ² 回	84			小片					研磨痕あり、研磨痕粗い	被熱	
	46J1	46K1-4	18			小片					研磨痕あり、研磨痕粗い		
	46J1	46K1-4	58			小片					研磨痕あり	被熱	
	46J1	46K1-4	61			小片					研磨痕あり、側面、小型または未製品		
	46J1	46K1-5	54			小片					研磨痕一部	被熱	
	46J1	46K1-5	8区			小片					研磨痕一部		
	46J1	46K1-8	13区			小片					研磨痕あり、研磨痕粗い	被熱	
	46J1	46K1-12	30			小片					研磨痕あり、磨製石斧?	4.7-1	
	46J1	46K1-N ¹ -11	5区			小片					研磨痕一部	被熱	
	46J1	46K1-E ¹ -3				小片					研磨痕あり	被熱	
	46J1	46K1-サブ ¹ -3	7区			小片					研磨痕一部		
	46J1	46K1-サブ ¹ -3	10区			小片					研磨痕あり	被熱	
	47J7	47J7-0				小片					研磨痕あり	被熱	
	47J8	47J8-0				小片					研磨痕なし	被熱	
	47J9	47J9-0				小片					研磨痕一部	被熱	
	47J0	47K0-2	59			剥離小片					研磨痕なし?	被熱	
	47J0	47K0-E ¹ -2回	15			小片					研磨痕・文様線あり		
	47J1	47K1-0				小片					研磨痕一部		
	47J1	47K1-W2	33			小片					研磨痕なし、石棒か?		
	48J9	48J9-2	2			小片					研磨痕あり	被熱	
	49J6	49J6-0				小片					研磨痕あり		
	49J8	49J8-0	9			小片					研磨痕あり		
	T1	T-1表探				小片					研磨痕あり		
	T1	T-1表層②				小片					研磨痕あり		
	T1	T-1表層③				小片					研磨痕あり		
	T1	T-1表層①				小片					研磨痕・文様線あり、端部?		
	T1	T-1上層				小片					研磨痕あり		
	T2	T-2表探				小片					研磨痕あり		
	T2	T-2表探				小片					研磨痕あり、破砕後再生?		
	T2	T-2上層				小片					敲打+研磨		
	T2	T-2上層				小片					研磨痕あり		
	T2	T-2上層				小片					研磨痕あり		
	T3	T-3表探				小片					敲打+研磨		
	T3	T-3表探②				剥離小片					研磨痕なし		
	T3	T-3上層				剥離小片					研磨痕一部、再生?	被熱	
	T3	T-3上層④				小片					研磨痕あり、研磨痕粗い		
	T3	T-3上層⑤				小片					研磨痕あり	被熱	
	T3	T-3上層①?				小片					研磨痕一部	被熱	
	T3	T-3上層②				剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	T3	T-3上層②				小片					研磨痕一部	被熱	
	T3	T-3上層⑥				剥離小片					研磨痕なし		
	T3	T-3上層①				小片					研磨痕あり、研磨痕粗い	被熱	
	T3	T-3上層④				小片					研磨痕一部		
	T4	T-4表探				剥離小片					研磨痕なし、2片接合		

第22図石剣・石棒観察測定表

挿図番号	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上 No.	石材	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考	石剣石棒
	T4	T-4上層<281>				剥離小片					研磨痕なし		
	表探	表探				小片					研磨痕一部、脆弱、やや大型の石棒類か		
	1区表	1区表探				剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	2区E	2区E.T-1									石棒	被熱	
	2区E	2区E.T-1				中小片					研磨痕・文様線あり、357と同一？		
	2区E	2区E.T-1				剥離小片					研磨痕一部		
	2区E	2区E.T-1				小片					研磨痕一部		
	2区E	2区E.T-2				小片					研磨痕あり	被熱	
	2区E	2区E.T-4				中小片					敲打+研磨(基部)		
	I217	I2J7カクラン				中小片					研磨明瞭全周		
	I217	I2J7カクラン				小片					敲打+研磨		
	I217	I2J7カクラン				剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	I217	I2J7カクラン				小片					研磨痕あり	7.10-6	
	I217	I2J7カクラン				剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	I418	I4J85区カクラ				中小片					研磨痕あり	被熱	
	I516	I5J6カクラン				剥離小片					研磨痕なし		
	I517	I5J7カクラン2				小片					研磨痕あり、棒状		
	I518	I5J7カクラン2				小片					研磨明瞭	被熱	
	I5J3	I5K3カクラン				剥離小片					研磨痕なし		
	SI01	SI01 B区床面				剥離小片					研磨痕なし		
	SEC T5	SEC T-5				小片					研磨痕あり		
	I015	I0J5-3	17区			小片					研磨痕あり、段あり		
	I4J0	I4K0-3	294			剥離小片					研磨痕なし		
	I4J0	I4K0-15	18区			剥離小片					研磨痕なし		
	I4J1	I4K1-1	11区			剥離小片					研磨痕なし	被熱	
	I519	I5J9-2	238			剥離小片					研磨痕一部	被熱	
	I5J2	I5K2-1	2区			剥離小片					研磨痕一部		
	I6J	I6K-N ^ハ 5	139			剥離小片					研磨痕一部		
	I519	I5J9-3	154			剥離小片					研磨痕なし、未製品？2片同一か		
	SI01	SI01-1	247			剥離小片					研磨痕なし、未製品？		
	SI01	SI01-5	50			小片					敲打	被熱	
	SI01	SI01-5	54			小片					剥離+敲打		
	SI01	SI01-B区下層				剥離小片					研磨痕なし、未製品？		
	SI01	SI01-B区下層				小片					敲打		
	SI05	SI05-5	205			剥離小片					研磨痕なし		
	SI05	SI05-7	54			剥離小片					敲打+研磨(少)		
	SD12	SD12-D	16			剥離小片					研磨痕なし、未製品？		
	7914	A9J4-5	13			剥離小片					敲打？Sc？		
	7915	A9J5-E ^ハ	20区			小片					剥離+敲打		
	7916	A9J6-1	41			小片					敲打		
	7916	A9J6-3	6			小片					剥離+敲打		
	7916	A9J6-3	10			小片					敲打		
	7916	A9J6-3	12			小片					敲打		
	7916	A9J6-4	37			剥離小片					研磨痕一部(少)未製品？		
	7916	A9J6-4	38			剥離小片					研磨痕一部(少)未製品？		
	7916	A9J6-6	17			剥離小片					研磨痕一部(少)未製品？		
	7916	A9J6-7	8			小片					研磨痕一部、未製品？		
	7916	A9J6-7	25区			小片					研磨痕一部、未製品？		
	7916	A9J6	14			小片					剥離、未製品？		
	7916	A9J6-E ^ハ	15区			小片					敲打		
	7916	A9J6-S ^ハ				小片					剥離+敲打		
	7916	A9J6	埋土			小片					敲打		
	I017	I0J7-2	102			小片					剥離+敲打		
	I415	I4J5-E ^ハ				小片					剥離		
	I4J0	I4K0-3	168			基部中小					剥離+敲打+研磨、研磨明瞭	D13-6	
	I4J0	I4K0-7	56			剥離小片					敲打一部		
	I4J1	I4K1-15	372			剥離小片					研磨痕一部、未製品？		
	I4J2	I4K2-7	46			剥離小片					研磨痕なし、未製品？		
	I4J2	I4K2-18	68			基部小片					剥離+敲打+研磨		
	I4J2	I4K2-N ^ハ -1	64								研磨痕なし、剥離痕、未製品？		
	I515	I5J5-1	38			頭部小片					剥離+敲打明瞭		
	I6J0	I6K0-8	34								研磨痕なし、敲打明瞭、2片同一		
	I6J0	I6K0-3	307										
	I6J2	I6K2-N ^ハ -2	36			小片					研磨痕一部(少)未製品？製品か？		
	I016	I0J6-1				小片					剥離？目的剥離か不明		
	I818	I8J8-1	2			小片					剥離？非製品、石剣石棒類の石材		
	UTK西面	UTK西面				小片					研磨痕なし？加工不明		

第23図独鈷石観察計測表

挿入番号	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上No.	石材	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮No.
第347図1	14J0	14-K0-8 14-K0-9	250.19	ホルンフェルス(泥質)	ほぼ完形	(18.9)	5.2	2.4	(332.0)	敲打痕残り、研磨入念、両端刃部状、下端欠損は使用時剥離か	22
第347図2	14J1	SEC T-6 14-K1-17	339	角閃岩	一部欠損	(19.0)	5.9	4.5	(671.0)	敲打痕残り、研磨やや粗い、凸部磨痕顕著	2
第347図3	14J1	14-K1-9	245	閃緑斑岩	ほぼ完形	15.4	5.1	3.3	(341.0)	被熱赤変、敲打痕残り、研磨やや粗いが両端刃部状、使用時小剥離痕あり	31
第347図4	11I3	11-J3-2	40	角閃岩?	1/2	(10.0)	5.9	4.4	(259.0)	研磨入念、凸部間の凹部のみ敲打痕残り。先端刃部状、若干の微小剥離痕あり	11
第347図5	14J1	14-K1-19	171	閃緑岩	1/2	(9.3)	6.5	3.9	(239.0)	敲打痕少し残り、研磨丁寧入念、先端刃部状	34
第347図6	表採	SEC 表採		粗粒玄武岩	ほぼ完形	10.9	4.0	2.5	(148.0)	剥離痕敲打痕残り、研磨比較の入念だが全体に形不整。	6
第348図1	14I9	14-J9-Sベ-5	1	閃緑岩	1/2	10.2	9.5	3.2	414.0	表裏は研磨、側面や凹部は敲打痕残り、敲打時欠損の未製品	20
第348図2	16J1	16-K1-N-1	12	玄武岩	2/5	(12.4)	(3.7)	4.1	(190.0)	被熱黒変部目立つ。入念な研磨、先端刃部状	43
第348図3	SEC T6	SEC T-6		ホルンフェルス(泥質)	2/3	(8.4)	(4.1)	(3.4)	(183.0)	敲打痕少し残り、凸部剥落状に欠損、割れ面も擦れており、製作時で欠損か?	4
第348図4	10I5	10-J5-2	42	ホルンフェルス(泥質)	1/3	(10.0)	(2.8)	(2.2)	(64.0)	全体に研磨入念、括れ部敲打痕多く残り、先端刃部状、微小剥離痕あり	9
第348図5	14J0	14-K0-14	388	玄武岩	2/3	(6.5)	5.2	3.9	(203.0)	凹部以外研磨入念、意図的に凹部敲打痕残している可能性あり	26
第348図6	SEC T6	SEC T-6 埋土		玄武岩?	2/3	(9.2)	6.8	(3.9)	(294.0)	被熱顕著、赤変、全体やや粗い研磨、凸部製作時剥離痕や目立つ。	5
第348図7	15I8	15-J8-2	12	粗粒玄武岩	ほぼ完形	14.7	6.3	2.5	204.0	剥離痕大きく残り、括れ部等若干の敲打、縁辺の擦れ目的的な研磨か不明、形態も不整で非対称	37
第349図1	11I6	11-J6-Wベ	3	粗粒玄武岩	完形	13.3	7.7	3.5	555.0	凹部敲打痕残り、端部や側面一部も敲打痕残り。表裏もあまり研磨せず砥面活かしている。	13
第349図2	14I8	14-J8 10区表採		玄武岩	ほぼ完形	11.5	5.9	2.4	(243.0)	図上端鋭角な刃部状、括れ部~側面一部敲打痕残り、表裏面は若干の敲打+研磨	16
第349図3	16J1	16-K1-4	48	玄武岩	3/4	(10.2)	10.5	4.6	(834.0)	奥部顕著に敲打痕残り、表裏面敲打痕一部残り、研磨やや粗い、上端少し擦れ	42
第349図4	14J1	14-K1-13	284	粗粒玄武岩	1/2	(9.3)	6.1	3.0	(309.0)	表裏比較の入念な研磨で平滑、凹部敲打痕残り、若干形不整、敲打時欠損の可能性もあり。	32
第349図5	SEC T6	SEC T-6		輝緑岩?	3/4	(8.9)	7.6	5.3	(281.0)	凹部敲打痕残り、土位素材の凸部分残しており敲打+研磨されず砥面活かしている。	3
第349図6	14J1	14-K1-16	54	安山岩	完形	10.3	6.7	6.3	428.0	敲打+研磨整形、比較的丁寧な作りでシメトリ	33
第350図1	10I4	10-J4-5	11	安山岩	3/5	(5.9)	8.0	6.7	(324.0)	被熱顕著、赤変及び煤付着、敲打+研磨、一部平滑状	8
第350図2	15I8	15-J8-2	16	玄武岩	3/4	(9.7)	5.3	2.0	(139.0)	凹部敲打痕はほぼ全周だがあまり凹まないところあり、上下端部もほぼ敲打のみ、それ以外は研磨	38
第350図3	14I9	14-J9-6	92	安山岩	完形	9.1	7.5	6.8	650.0	括れ部敲打側縁のみ、上端敲打+擦れ、平坦面に近い、下端剥離は使用時欠損か	18
第350図4	17I2	17-J2-1	38	玄武岩		(14.2)	(9.1)	(3.5)	(644.0)	括れ部側縁は入念な研磨、表裏面敲打+研磨、図下端斧刃部状、使用時剥離+擦れあり、斧または敲き石に転用か	44
第350図5	14J0	14-K0-20	97	安山岩	完形	8.4	5.4	3.0	204.0	凹部敲打全周せず、表裏面の研磨一部入念、側面や端部はあまり研磨されない	30
第350図6	16I9	16-J9-Sベ-4	199	粗粒玄武岩	完形	9.8	5.8	2.5	182.0	括れ部敲打で突起状の凸部作出~表裏側面研磨、凹部敲打は側面のみ	40
第350図7	14J0	14-K0-15	152	粗粒玄武岩	2/3	(8.6)	6.1	3.3	(254.0)	凹部敲打全周あまり凹まないが、上下の研磨痕との境界は明瞭、上端刃部状、一部微小剥離痕	27
第351図1	16J0	16K0-SA-2	123	粗粒玄武岩	完形	17.7	9.7	5.2	1308.33	表裏などほぼ砥面のまま。一側縁剥離+入念な敲打、敲打は表裏面側に及ぶ。反対側縁も一部狭い範囲敲打、下端一部敲打+擦れ、独鈷石としてよいか不明	
第351図2	2区E T3	2区E T-3		玄武岩		10.5	5.9	2.9	251.9	左右側縁括れ部敲打+研磨、他の表裏面の剥離+擦れは目的か不明、上端一部敲打	
第351図3	10J8	10-K8	7	玄武岩		14.9	7.9	3.6	596.0	左右側縁中央括れ部敲打入念、裏面剥離+敲打+若干研磨、未製品か	未8
第351図4	14J2	14-K2-8	66	粗粒玄武岩	1/2	(8.0)	8.8	3.2	(333.0)	被熱赤変、一部煤付着、括れ部敲打入念、表面若干敲打+研磨	35
第351図5	10I6	10-J6-3	54	粗粒玄武岩	1/2	(11.3)	(4.0)	1.5	(94.0)	被熱顕著赤変、表裏ほぼ砥面のまま、括れ部敲打顕著、側面剥離+敲打+若干磨り、敲打時または使用時欠損か	10
第351図6	14J0	14-K0-18	142	粗粒玄武岩	ほぼ完形	10.7	4.0	2.3	(138.0)	括れ部敲打若干、他表裏面等砥面のまま、図上端敲き石状の敲打痕、下端剥離は製作時か	29
第351図7	17I3	17J3(SD09内)		ホルンフェルス(砂質)	ほぼ完形	13.4	5.2	3.8	289.55	ほぼ剥離+敲打のみ、図裏面下端近く一部磨痕	
第352図1	14I9	14-J9-6	94	安山岩	完形	6.1	7.4	4.1	253.0	敲打+研磨整形、上下端部比較的平坦な面整形	19
第352図2	12I7	12-J7		粗粒玄武岩		(8.2)	(7.0)	(5.6)	(590.0)	側面括れ部相当部及び上下一部敲打、表裏面若干の磨痕	未
第352図3	18I7	SD-09 18-J7-1	67	粗粒玄武岩	2/3	(7.4)	7.4	2.4	(225.0)	側縁括れ部敲打若干、上端敲打、表裏面は敲打+研磨殆どない	1
第352図4	15I8	15J8-カクラン		粗粒玄武岩	頭部~頭	8.9	8.3	2	186.8	括れ部剥離+敲打+若干の研磨、表裏上端はほぼ砥面のまま	
		79I7	16		屈曲部小				11.94	研磨痕あり、被熱	
		11I6	51		中小片				76.61	表面ひび割れ、5片同一、敲打+研磨	
		11I6	22区①						11.85		
		11I6	22区②						5.23		
		11I6	50						56.4		
		11I6	56						69.73		
		13I7	139	安山岩?	屈曲部片				22.77	研磨痕あり	
		14I5	14J5-1-NALト			5.2	5.2	2.2	88.27		
		14I8	14J8-2	15区	屈曲部小	3.8	3.3	1.1	18.87	裏剥離、敲打+研磨、被熱	
		14J0	14K0-6		屈曲部小	3.3	3	1.6	19.6	裏剥離、敲打+研磨	
		14J0	14K0-11	132	屈曲部小	3.4	3	2.3	24.79	21と同一? 敲打+研磨	
		14J0	14K0-14	68	屈曲部小	3.7	3.7	2.5	31.51	敲打+研磨	
		14J0	14K0-14	309	屈曲部小	7.2	3.8	1.8	39.88	敲打+研磨、被熱	
		14J2	14K2-12	169	頸部	6.8	5.8	1.8	59.47	割れ剥離面多、剥離	
		16I8	16J8-1	1	安山岩?	9.1	5.2	2.2	123.8	剥離+敲打+研磨一部	
		14J0	14K0-4	9区	小片	4.8	4	1.6	17.89	裏剥離、敲打+研磨、被熱	
		11I7	11J7-1	81		8	7.9	4.2	311.99	敲打一部+研磨一部	
		14J1	14K1-13	34	花崗岩?	12.2	5.5	4.1	331.65	独鈷石か? 縁辺剥離+敲打一部	
		16I9	16J9-12	4		9.5	5.5	3.9	171.93	完形の欠損品? 敲打一部	
		16J1	16K1-1-10区サブベ-3	15	屈曲部	7.8	6.7	3.5	256.06	剥離一部+敲打一部	

第24図石冠観察計測表

挿図番号	新クリット	出土遺構・クリット	取上	石材	石材備考	残存率	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	仮 No.
第353図1	イ4I1	イ4-J1-1	2	変質安山岩	新第三紀	2/3	(6.8)	(7.9)	(4.80)	(333.0)	被熱でかなり脆くなっている、右端部・上端等敲打、表裏粗い研磨	26-1379
第353図2	イ6I9	イ6-J9-2	86	軽石凝灰岩	新第三紀	完存	(7.6)	(11.6)	(5.10)	(343.0)	敲打+研磨整形、凸部作出、上端比較的鋭角な山形状	26-1381
第353図3	イ4J1	イ4-K1-Sベ-2	81	輝石デイサイト	新第三紀	完存	8.0	13.7	6.20	902.0	左右端部や側面一部敲打、表面入念な研磨、側面～上端一部敲打→研磨	26-1380
第353図4	イ4J0	イ4-K0-17	72	多孔質輝石安山岩	第四紀	一部欠損	17.0	8.7	5.3	1042.0	括れ部～下方ほぼ敲打のみ、頭部研磨加わる、下端部敲打だがほぼ稜面のままの部分もあり	28

第25表UTKⅡ弥生時代以降遺物観察表

挿入番号	器種	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上No.	口径・最大長 (cm)	器高・最大幅 (cm)	底径 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	胎土	色調	残存率	特徴	仮No.
第357図1	弥生土器	1112~4	11J2-4・12J1表探	No.39-42	(15.3)	(10.1)	-			白色粒少量	にぶい黄橙色	口縁破片	口縁部縄文RL+R?、頸部2本線による弧線文	1
第357図2	土師器坏	SI04	SI-04-1		13.2	4.2	-			白色粒微量	にぶい褐色	1/2	外:ヘラケズリ、内:ナデ~ミガキ、口縁部ヨコナデ	2
第357図3	土師器坏	79f1?(UTKⅡ?)	ア9-G1		7.0	3.8	-			白色粒少量	にぶい褐色	1/2	外:口縁ヨコナデ~ヘラミガキ、体部ヘラケズリ 内:ヘラミガキ	3
第357図4	土師器坏	79f2?(UTKⅡ?)	ア9-G2		(15.7)	(4.1)	-			白色粒少量	灰黄褐色内面黒変	1/6	外:口縁ヘラミガキ、体部ヘラケズリ~ミガキ 内:ヘラミ	4
第357図5	常滑壺	14J0	14-K0 表探		-	(3.9)	-			白色粒少量	外:灰褐色、内:オリーブ黄	口縁部破片	常滑、ナデ調整	5
第357図6	砥石	15I9	SD-04 下層 15-J9 10		(4.6)	(2.2)	(1.5)		(28.3)	凝灰岩			表裏砥面	7
第357図	砥石	13I2	SD-04 13-J2	No.3	(7.8)	(2.5)	(1.6)		(40.9)	凝灰岩			砥面1、3面削り線状痕	6
第357図	砥石	17J0	17-K0-0		(10.8)	(2.7)	(1.0)		(45.0)	凝灰岩			砥面1、被熱	13
第357図	鉄製品 刀	14J2	14-K2-Eベ-2	No.54	(27.8)	(2.1)	-	(7.5)	(44.8)					20
未掲載	砥石	15I5	SD-16 15-J5		(5.3)	(2.5)	(1.5)		(33.8)					8
未掲載	砥石	79I4	ア9-J4 攪乱-2		(3.8)	(2.2)	(1.1)		(13.6)				被熱	9
未掲載	砥石	79I4	10-J4-1		(4.3)	(2.8)	(1.2)		(22.1)					10
未掲載	砥石	10I6	10-J6-1		(4.3)	(2.3)	(1.2)		(15.4)					11
未掲載	砥石	17I7	17-J7-N-1	No.4	(6.3)	(2.4)	(1.4)		(37.2)					12
未掲載	古銭	79I7	ア9-J7-6	No.39	2.4	-	-	0.1	(2.2)			9/10	寛永通宝	14
未掲載	古銭	79I7	ア9-J7-6	No.39	(2.1)	(1.3)	-	(0.2)	(1.1)			1/3	鉄銭	15
未掲載	古銭	11I4	11-J4-1	No.20	2.5	-	-	(0.12)				完存	寛永通宝	16
未掲載	古銭	11I7	11-J7-0	No.27	2.7	-	-	0.12	3.4			完存	文久永宝	17
未掲載	古銭	15J0	15-K0-0	No.7	2.7	-	-	0.1				完存	文久永宝	18
未掲載	古銭	T1	T-1-G 上層		2.8	-	-	0.18	6.7			完存	寛永通宝	19

第26表UTK II 遺物観察表

挿入番号	器種	出土遺構・グ リット	取上No.	石質 鑑定/胎土	石質備 考	磨石・砥 石分類	色調	残存率	口径・最 大長 (cm)	器高・最 大幅 (cm)	底径 (cm)	重量(g)	備考	仮 No.
第362図1	古墳前期 壺	SZ-01	No.1~ 6・8~ 13・16・ 17・21・	細砂粒少量			赤褐色に ぶい橙色	3/4	(32.0)	(31.7)	-		外:口縁部4条の沈線、5~6単 位か、ミガキ丁寧、内:口縁部ミ ガキ、頸~体部ナデ	19
第362図2	古墳前期 壺?	SZ-01	No.32	白色粒多量			にぶい赤褐 色	底部~ 胸部下	-	(2.3)	(5.4)			26
第362図3	古墳前期 壺底部	SZ-01	No.28	白色粒・石英多量			にぶい橙色	底部	-	(4.0)	(6.0)		外:ケズリーナデ・ミガキ 内:ナデ	25
第362図4	古墳前期 壺?底部	SZ-01	No.14	白色粒やや多			にぶい黄橙 色	底部~ 胸部下	-	(4.2)	(10.4)		外:ナデ・ミガキ 内:ナデ	21
第362図 19	弥生土器	SZ-01-H区 埋土		白色粒微量			淡褐色	破片	-	(2.5)	-		二軒屋式?	38
第371図1	古墳前期 壺?	SZ-03	No.1	石英微量			明赤褐色	口縁部 ~頸部	(14.4)	(7.2)	-		全面赤彩、外:ハケメ調整→ミ ガキ、 内:ハケメ→ミガキ、同一片あり ミガキ丁寧、瘤上端の刻み、鋭 角な工具による	40
第371図8	土製耳飾 り	SZ-05	No.1					完形	5.1	2.3	6.0	43.9		54
第371図 15	古墳前期 高坏	SZ-06	No.11	白色粒少、褐色粒 微量、10mmの礫あ り			橙色	赤彩付 着 高坏 状器台 形?一 部欠 損	-	(2.0)	-		上位赤彩顕著に残る、ハケメ →ミガキ	57
第400図 19	土師器壺 土製円盤	SD-14 SD-02	No.7 No.20					底部	-	-	4.6		古墳前期 周縁打ち欠き→研磨、後期後 半の条線系か	16
第400図 19	土製円盤	イ2-19 埋							6.7	6.0	1.0	51.7		
第402図 1	土製石斧 打製石斧	SD-02	No.24			II-2		完存	16.5	9.1	3.0	581.0	縁辺磨痕、後期無文か 裏縁面多く残す、括れ部敲打 明瞭	2
第402図2	打製石斧	SD-03	No.26			II-未1			12.8	8.0	3.2	319.0	表縁面、筋理状剥離面残し、括 れ部若干の敲打	5
第402図3	打製石斧	SD-04	No.22	(ホルンフェルス)		II-4		完存	16.9	9.2	2.9	513.0	図上下逆?表縁面、裏筋理~ 剥離面、括れ部敲打	7
第402図4	打製石斧	SZ-06	No.16	(ホルンフェルス)		II-5		完存	14.9	6.5	3.3	326.0	図から90°回転でスクレイパー の可能性もあり、側縁一部敲 打+擦れ	8
第402図5	打製石斧	X-039	No.001	(ホルンフェルス)		II-6		完存、一 部欠 損	11.1	7.8	2.1	187.0	表裏縁面残し、括れ部敲打	9
第402図6	打製石斧	イ5-H7	No.1			II-7		完存	11.6	7.4	2.8	252.0	図と上下逆?裏縁面若干敲 打、括れ部敲打若干	11
第402図7	打製石斧	UTK-II 埋				II-8		完存	12.9	5.4	2.9	218.0	右側縁敲打、擦れ、刃部擦れ	4
第402図8	打製石斧	UTK-II				II-9		2/3	(13.3)	(10.4)	(3.3)	(565.0)	表筋理状剥離面、裏縁面、側 面若干敲打	4
第403図1	磨石	イ2-H9	No.72	輝石安山岩	第四紀	II A			4.7	4.4	4.0	129.0	炭化物付着、全体磨痕少	
第403図2	磨石	SZ-06	No.15	輝石安山岩	第四紀	II B-602		完形	5.6	5.8	3.4	128.0	分類I、表裏側面磨痕著しい	
第403図3	磨石	イ0-H5 埋土		輝石安山岩	第四紀	II B-802			6.7	5.6	2.8	152.0	分類I、全面磨痕、裏面一部 磨痕著しい	
第403図4	磨石	SD-06	No.1	輝石安山岩	第四紀	II B-701 (角)			6.7	6.0	3.5	195.0	分類I、表裏側面均一的な磨 痕	
第403図5	磨石	イ2-H9	No.41	多孔質輝石安山 岩	第四紀	II B-501			7.7	5.8	2.9	187.0	表裏磨痕、側面敲打+磨痕若 く	
第403図6	磨石	SZ-04	No.48	輝石安山岩	第四紀、 捕獲岩 含有、第 四紀	II A-701		一部欠 損	(7.1)	6.9	2.8	(203.0)	表裏磨痕、側面敲打+磨痕	
第403図7	磨石	イ1-10 表 探		多孔質輝石安山 岩	第四紀	V-501		1/2	9.1	(7.3)	(3.5)	(215.0)	赤色顔料または鉄分付着、片 面欠損、表側面一部磨痕、下 端敲打	
第403図8	磨石	UTK-II		輝石安山岩	緻密質 第四紀	II A-101			11.1	6.5	5.1	620.0	表裏側面磨痕、上下端部敲打	
第403図9	磨石	イ0-H7	No.7	輝石安山岩	第四紀	I-4			10.1	8.2	8.0	891.0	被熱黒変、不定形、部分的な 磨痕	
第403図 11	磨石	SD-09 イ2-H9	No.1 No.42	輝石安山岩 輝石安山岩	第四紀 第四紀	II B-201 II-303			12.3 9.0	8.7 7.0	6.4 4.2	982.0 396.0	表裏磨痕、上端敲打 II Bや不整、表裏+側面若 干の磨痕、側面上端敲打	
第403図 12	磨石	SD-14	No.20	輝石安山岩	新第三 紀	II B-601			(8.5)	8.0	3.0	(311.0)	表裏側面磨痕著しい、側面一 部敲打	
第403図 13	磨石	SD-14	No.21	輝石安山岩	第四紀	II B-901			8.3	6.6	2.5	212.0	顔料付着、表裏側面磨痕、上 端敲打	
第403図 14	磨石	UTK-II		輝石デイスাইト		II B-102			13.9	7.8	4.9	794.0	表裏磨痕著しい、側面磨痕少、上 下端部敲打痕多	
第403図 15	磨石	UTK-II		砂岩	古期	III-304			7.7	6.5	5.1	383.0	角を潰すような敲打、一部磨痕 加わる	
第403図 16	磨石	SD-02	No.57	変質安山岩	緑色	II A-901		敲打時 欠損?	(14.0)	6.2	3.7	(414.0)	表裏磨痕、上下端部敲打	
第403図 17	磨石	SZ-01	No.74	輝石安山岩	新第三 紀	V-901		下端欠 損は敲 打時か	9.8	9.1	4.1		表裏磨痕、側面磨痕+敲打	
第403図 18	磨石	イ0-H6	No.32	輝石安山岩	第四紀	V-103			10.9	6.7	5.0	515.0	凹み表2、側面1、裏面2、上下 端部敲打、表~側面一部磨痕	
未掲載? 第404図1	土製円盤 石皿	SD-02 イ0-16	No.54 No.29	輝石安山岩 輝石安山岩	第四紀	中VII B4		完形	6.5 17.6	4.8 14.0	2.1 4.8	42.0 1686.0	円盤か不明、未製品? 表裏3の凹み、表裏磨痕少、 側面磨痕一部	11
第404図2	石皿	イ0-16	No.28	輝石安山岩	捕獲岩 含有、第 四紀	大VII B・D		1/2	(13.6)	18.1	10.3	(4110.0)	表面の凹み小さく、自然か、表 裏側面磨痕	10
第404図3	石皿	イ0-16	No.33	輝石安山岩	第四紀	大VII B		完形	28.6	22.5	7.9	7070.0	凹み自然か、表裏側面磨痕、 タール付着	13
第404図4	多孔石	SZ-04	No.49	砂岩	古期	大VA・F		破片	(13.0)	(9.9)	(3.8)	(61.4)	表磨痕少、裏剥離面に凹み、 表にも凹み1	9
第404図5	石皿	SD-14	No.15	多孔質輝石安山 岩	第四紀	大I B2		破片	(13.4)	(7.7)	(5.8)	(849.0)	表裏磨痕、縁整形、凹み1	7
第404図6	石皿	イ0-H6	No.30	多孔質輝石安山 岩	第四紀	大I B4		1/4	(21.5)	(13.8)	(7.8)	(2530.0)	表裏側面磨痕	12
第404図7	石皿	SK-68	No.1	スコリア質安山 岩	輝石、第 四紀	大III B1		破片	(10.2)	(10.8)	(10.0)	(1224.0)	被熱、表裏磨痕、裏若干、側面 整形	1
第404図8	石皿	UTK-II 007	No.1	輝石安山岩	第四紀	中VII B		破片	(10.8)	(14.0)	(3.5)	(728.0)	表裏磨痕、裏の凹み自然また は敲打	17
第404図9	石鉢	イ2-H9	No.54	輝石安山岩	第四紀	II-1		完存	5.1	4.5	2.0	61.6	被熱、剥離部擦れ顕著	
未掲載? 第404図 10	石皿	イ1-10 表探		輝石安山岩		中VB		完形	16.1	12.6	3.0	739.0	表裏磨痕、側面加工	15
未掲載? 第404図 11	石鉢	SD-02	No.25	凝灰岩					(8.4)	(3.5)	(2.3)	(90.0)	底面1、残りの面整形痕、中近 世か	8
未掲載? 第405図1	古銭	SD-03	No.128					完形	2.37	0.45	0.22		寛永通宝	15
第405図2	独鈷石	UTK-II 埋				II-1		完存	16.6	6.9	3.2	433.0	括れ部・側縁剥離一敲打	II-
第405図3	独鈷石	SZ-01	No.72			II-1		1/2	9.5	5.7	3.0	251.0	括れ部敲打→磨痕、表裏一部 敲打+研磨	
第405図4	独鈷石	SD-02	No.86			II-1		上部欠 損	(12.0)	5.8	1.9	157.0	剥離→敲打→研磨、刃部近く 研磨顕著、括れ部敲打も顕 著、表裏面、裏剥離面、転用の 可能性あり?	
第406図7	土師器小 形埴	イ9-H7 埋土	No.1	石英・白色粒少量			にぶい褐色	1/4	(12.4)	5.8	(3.0)		外:ハケメ→ナデ、 内:ナデ	60
第406図8	土師器小 形埴	イ9-H7 埋土	No.4・5・ 6・7	灰色粒・角閃石や 多			にぶい褐色	3/4	11.2	5.4	(3.0)		外:屈曲部沈線状、下位ハケ メ、上位ナデ、口縁近辺ヨコナ デ	62
第406図9	土師器小 形鉢	イ9-H7 埋土		石英・白色粒少量			にぶい褐色	1/5	(10.8)	(5.5)	-		外:ハケメ→ナデ・ミガキ 内:ナデ	65

第26表UTK II 遺物観察表

挿図番号	器種	出土遺構・グ リット	取上No.	石質 鑑定/胎土	石質備 考	磨石・砥 石分類	色調	残存率	口径・最 大長 (cm)	器高・最 大幅 (cm)	底径 (cm)	重量(g)	備考	仮 No.
第406図 10	土師器埴 土	ア9-H7 埋土	No.2	白色粒少			橙色		(10.8)	(4.8)	-		外:ハケメ→ナデ・ミガキ 内:ナデ・ミガキ	61
第406図 11	土師器高 坏接合	イ0-I2 表探		白色粒やや多量、 雲母微量			にぶい褐色	底部～ 脚部	-	(2.6)	-		屈曲部刺突列、上位附加条? 円形孔1、内面ナデ	79
第406図 13	土師器 埴土?	イ2-H9 イ0-H6	No.59 No.14	石英・灰色粒			橙色	1/2 底部～ 体部下	7.2 -	(4.7) (3.2)	-		外:ミガキ、内:ナデ 外:ヘラケズリ→ミガキ 内:ミガキ・ナデ	99 70
第406図 14	土師器臺	イ0-H6	No.22	白色粒・石英多			灰褐色	口縁部 1/5	(15.4)	(4.4)	-		外:ハケメ→ナデ 内:口縁ハケメ、体部ナデ	73
第406図 15	土師器高 坏接合部	イ1-I2						底部～ 脚部	-	(3.6)	-		古墳時代後期?	85
第406図 16	土師器台 付臺脚部	イ0-H6	No.20	白色粒多			褐灰色	底部～ 脚部	-	(4.9)	8.2		外:ハケメ→ナデ・ミガキ 内:ハケメ	72
第406図 17	土師器台 付臺	イ2-H9	No.22・ 24・49・ 51・52	石英・白色粒多			にぶい黄橙 色	底部～ 体部下 位	-	(5.5)	7.4		外:ケズリ→ミガキ、底部ケズ リ、 内:ナデ、後期?	92
第406図 18	土師器 臺?	イ0-G5? 埋 土		白色粒・灰色粒や や多			にぶい黄橙 色	底部	-	-	7.4		外:ケズリ・ナデ 内:ケズリ・ナデ、底面ケズリ	66
第406図 19	古墳前 期?	ア9-H7 埋土		黒色粒少量			にぶい黄橙 色	底部	-	(2.1)	(5.0)		外:ナデ・ミガキ 内:ナデ	64
第406図 20	土師器 臺?	イ2-H9	No.32・ 33	石英やや多			褐色	底部	-	-	5.4		接合痕で割れ、内外面ケズリ、 一部ミガキ	93
第406図 21	土師器 小形土器	イ2-H9	No.57	白色粒・角閃石多			灰黄褐色		-	(7.5)	1.2		外:オサエ・ナデ 内:ナデ、黒変、質感は古墳時 代	97
第406図 22	土師器臺 底部?	イ2-I7?	No.102	石英・白色粒多			にぶい黄橙 色	底部	-	-	5.2		底部内面鉄分または顔料付着	102
第406図 未掲載	土師器 鉄製品 鉄砲玉	イ2-H8 イ7-H7 表探	No.2				白	底部破 完形	-	(5.6)	-		木葉痕	87 106

第27表UTKⅢ観察計測表

挿入番号	種別	出土遺構・グロブ	取上No.	石材鑑定	石材備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴・石材	仮No.
第408図13	石鏃	SD01	529	玉髓	良質	2.1	1.4	0.7	1.59	基部欠損、製作時欠損の未製品か、玉髓	1
第408図14	R.F.	SD01	埋土	珪質頁岩	新第三紀	2.2	1.5	0.8	2.7	両極剥片、上下各縁辺二次加工痕、石鏃や錐未製品の可能性あり、頁岩?	31
第408図15	打製石斧	SD01	514	ホルンフェルス		16.5	9.1	2.7	443.93	表礫面残し、括れ部敲打痕顕著、刃部直刃状若干摩滅、ホルンフェルス?	打-3
第408図16	打製石斧	SD01	190	ホルンフェルス		10.4	8.4	3	215.52	表面一部礫面残し、中央厚み残る、括れ部右側縁若干の敲打痕、ホルンフェルス?	打-2
第408図17	礫器	水田下サブトレ南		輝石安山岩		12.8	13.8	4.2	932.45	Scとすべきか。裏礫面、表中央節理面? 上端敲打痕、3辺二次加工痕ほほ片面	打-6
第409図1	礫器	SD01	282	泥質砂岩	古期	21.3	13.9	5.8	1757.18	裏面礫面、縁辺ほほ全周二次加工Sc.orR.F.の可能性あり、中央厚み減らす剥離	
第409図2	スクレイパー	SD01	219	董青石ホルンフェルス		5.7	9	2.4	121.53	一辺二次加工両面、一辺鋭角刃部状面加工部分多	
第409図3	磨製石斧	SD01	313	閃緑岩		8.9	5.7	4.4	270.8	定角、厚め、刃部欠損、1/2~2/3遺存か、敲打+研磨痕跡、概ね平滑、被熱顕著	磨-1
第409図4	ハンマー	SD01	583	脈石英		6.5	5.2	4.3	191.38	下端部敲打痕顕著、玉髓または脈石英	
第409図5	特殊敲打具	SD01	621	輝石デイス	新第三紀	5.8	4.8	2.1	71.45	平坦面に敲打痕、縁辺にも敲打・剥離痕	
第409図6	独鈷石未製品	SD01	埋土	粘板岩		9.5	5.2	3.5	217.7	剥離→敲打、中央折れは敲打時欠損か、表面中央礫面、表面中央は節理状	
第409図7	弥生土器	表探									
第409図8	土師器高坏脚	SD01									
第409図9	石製模造品	SD01									
第409図10	かわらけ	SD01				2.8	2.9	0.4	7.28	石材は日立変成帯筑波山周辺とみられ、綿雲母片岩が陥入する。側面横研磨で粗い砥石痕、穿孔は直接貫通法、5C後葉~6C初葉	
未掲載	砥石	UTKⅢ埋土				11.2	4.8	2.8	24.79	4面使用痕か、研磨顕著	
未掲載	打製石斧	SD01	122			8.8	3.1	2.4		表礫面、刃部摩滅減少、括れ部敲打著しい	打1
未掲載	打製石斧	SD01埋土				15.5	9.8	4.1	713	表礫面裏風化礫面、下方欠損、括れ部敲打	打4
未掲載	打製石斧	SD01埋土				8.3	6.5	3.7	289.6	片面礫面、上端折れ・摩滅減少	打5
未掲載	打製石斧	サトル水田下				7.7	8	2.1	54.49	打席石斧か不明、括れ部敲打痕、表裏薄板状に剥離欠	打7
未掲載	石剣類	SD01	2333			10.6	5.2	1.2	122.51	若干の敲打痕+研磨痕、やや粗く平滑ではないところもあり、欠損剥離も目立つ	石棒2
未掲載	石剣類	SD01	308			12.2	6.3	5.7	683.24	面上研磨	石棒
未掲載	二次加工剥片	SD01	422			8.2	4.3	4.4	208.52	Scの可能性あり、縦長剥片素材、一部両面加工	
未掲載	砥石	SD01	224			7.6	6	1.2		被熱、一部黒変、凝灰岩、表裏線状痕残り、砥面3、側面平滑ツルツル、非繊維状	
未掲載	砥石	SD01	106			12.8	8	6		被熱黒変、表裏砥面、裏線状痕あり、やや凹む	
未掲載	砥石	SD01	271			10.1	11.2	4.5		砥面2、砥面以外も磨痕、孔あり	
未掲載	砥石	UTKⅢサブトレ北				12.3	13	6		被熱黒変、表裏磨痕・砥面	
未掲載	砥石?	SD01	442			7.8	6.1	1.8		磨痕ある際か、表面に磨痕、裏剥離欠損面	
未掲載	砥石	SD01	538			5	5.3	3.9		片面一部礫面、側面砥面平滑ツルツル	
未掲載	R.F.U.F.	SD01埋土				4.7	3.7	1.8	21.51	二次加工痕二辺、使用痕二辺、頁岩	剥1
未掲載	U.F.	南T埋土				2.3	3.4	0.8	6.99	使用痕1辺、チャート	剥2
未掲載	R.F.U.F.	SD01埋土				3.2	2.7	1.4	7.63	二次加工1辺、使用痕二辺、チャート	剥3
未掲載	剥片	UTKⅢ埋土				1.5	2.5	1.4	6.75	加工痕使用痕無し、頁岩?	剥4
未掲載	R.F.U.F.	水田下サブトレ南				3.6	3.4	0.8	10.55	二次加工1辺、使用痕二辺、チャート	剥5
未掲載	R.F.U.F.	UTKⅢ表探				3.4	2.3	0.6	4.18	二次加工1辺片面、使用痕二辺、石鏃未製品の可能性あり	剥6
未掲載	R.F.U.F.	水田下サブトレ南				2.5	1.6	0.5	1.55	二次加工2辺、1辺は両面、頁岩?	剥7
未掲載	U.F.	SD01埋土				4.8	2.4	1.1	8.37	使用痕二辺、チャート	剥8
未掲載	剥片	水田下サブトレ南				1.6	2.5	0.6	3.44	加工痕・使用痕無し、チャート	剥9
未掲載	U.F.	SD01埋土				1.7	2.8	0.8	2.9	使用痕2辺、鉄石英?	剥10
未掲載	R.F.U.F.	SD01	182			4.7	4.2	1.9	32.83	二次加工1辺、使用痕3辺、細かな剥離痕は使用痕か、礫面残し、頁岩?	剥11
未掲載	剥片	水田下表探				4.2	3.2	0.9	10.95	加工痕・使用痕無し、質の悪い? チャート	剥12
未掲載	剥片	UTKⅢ埋土				2.4	3.7	1.2	8.35	加工痕・使用痕無し、チャートor泥岩	剥13
未掲載	剥片	UTKⅢ埋土				2	2.4	1.9	9.61	両極剥片か、加工痕・使用痕無し、チャート	剥14
未掲載	剥片	SD01埋土				2.2	2.5	1.4	9.4	加工痕・使用痕無し、チャートor泥岩	剥15
未掲載	U.F.	SD01埋土				1.6	1.7	0.4	1.27	使用痕1辺、石英質、玉髓?	剥16
未掲載	剥片	SD01埋土				2.3	1.4	1.2	3.13	加工痕・使用痕無し、頁岩?	剥17
未掲載	U.F.	SD01埋土				1.4	2.5	0.7	2.3	使用痕2辺、頁岩?	剥18
未掲載	U.F.	SD01埋土				1.8	1.9	0.8	3.12	使用痕2辺、玉髓	剥19
未掲載	U.F.	SD01埋土				1.9	1.5	0.7	1.68	使用痕1辺、玉髓	剥20
未掲載	剥片	SD01埋土				1.6	2.1	0.7	1.57	加工痕・使用痕無し、玉髓、赤味あり	剥21
未掲載	U.F.	SD01埋土				1.2	2.3	0.7	1.8	使用痕1辺、玉髓	剥22
未掲載	剥片	SD01	613			1.2	1.4	0.2	0.35	碎片に近い、加工痕・使用痕無し、玉髓	剥23
未掲載	U.F.	SD01埋土				1.3	3.1	1.1	2.75	使用痕2辺、泥岩またはチャート	剥24
未掲載	剥片	UTKⅢ埋土				2.4	2.7	1.2	7.81	加工痕・使用痕無し	剥25
未掲載	剥片	SD01埋土				3.3	2.8	1.3	12.37	加工痕・使用痕無し、鉄石英	剥26
未掲載	U.F.	SD01	528			3.8	4.9	1	14.63	使用痕2辺、鉄石英	剥27
未掲載	U.F.	UTKⅢ表探				2.2	1.7	0.8	2.9	両極剥片? 使用痕2辺、玉髓	剥28
未掲載	U.F.	UTKⅢ埋土				1.9	1.9	0.6	1.59	使用痕1辺	剥29
未掲載	剥片	SD01埋土				2.2	1	0.8	1.46	加工痕・使用痕無し、チャート	剥30
未掲載	剥片	SD01埋土				2.2	1.5	0.8		二次加工2辺、石鏃や錐未製品の可能性あり、頁岩?	剥31
未掲載	剥片	SD01埋土				1.4	1.6	0.4	1.25	加工痕・使用痕無し、チャート	剥32
未掲載	U.F.	水田下サブトレ南				1.7	3.6	0.8	6.35	使用痕1辺、チャート	剥33
未掲載	U.F.	水田下サブトレ南				1.4	2.5	0.4	1.96	使用痕1辺、二次加工ないが、やや大きな剥離あり、チャート	剥34
未掲載	U.F.	UTKⅢ埋土				1.1	2.9	0.8	5.43	使用痕2辺、両極剥片か、チャート	剥35
未掲載	剥片	水田下サブトレ南				1.3	1.9	0.4	1.14	加工痕・使用痕無し、チャート	剥36
未掲載	R.F.U.F.	水田下サブトレ南				1.2	2.2	0.4	1.26	二次加工痕1辺、使用痕3辺、石鏃未製品の可能性あり、チャート	剥37
未掲載	剥片	SD01埋土				1.7	1.5	0.5	0.9	加工痕・使用痕無し、チャート	剥38
未掲載	R.F.	SD01埋土				1.4	1.4	0.2	0.4	二次加工痕1辺一部のみ、チャート	剥39
未掲載	原石	SD01	178			4	5.4	2.9	52.76	不透明部分多い黒曜石、数力所の加撃痕、剥片とれず放	剥40
未掲載	原石	SD01	31			5.8	7.7	4.7	266.9	加工痕・使用痕無し、鉄石英	剥41

第27表UTKⅢ観察計測表

挿図番号	種別	出土遺構・グリップ No.	取上 No.	石材鑑定	石材備考	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴・石材	仮No.
未掲載	原石	SD01埋土				3.8	7.3	2.5	79.86	細かい剥離加工なし、チャート又は泥岩	剥42
未掲載	原石(残核)	SD01	245			6.3	6.4	4.6	174.75	剥片剥離の痕跡、チャート	剥43
未掲載	R.F.	SD01	185			5.3	4.9	2.8	108.86	二次加工痕または剥片剥離の痕跡、若干擦れ、敲石の可能性もあり、チャート	剥44
未掲載	R.F.orSc	SD01	572			6.2	9.7	2.7	173.81	二次加工痕1辺、隣接部微小剥離痕、チャート	剥45
未掲載	原石(残核)	SD01	107			6.7	7.3	4.5	232.21	側面及び裏面礫面、1辺剥片とりか、チャート	剥46
未掲載	原石(残核)	SD01	593			5.7	6.2	3.2	151.39	側面及び裏面礫面、加撃剥離痕？チャート	剥47
未掲載	剥片？(残核)	SD01埋土				4	6	2.5	54.83	側面及び裏面礫面、両極加撃？チャート	剥48
未掲載	剥片？(残核)	SD01埋土				3.9	5	1.8	44.88	上端加撃痕、片面礫面	剥49
未掲載	原石(残核)	SD01	181			5.2	6.7	2.9	121.7	数カ所の剥片とり加撃、鉄石英	剥50
未掲載	原石(残核)	SD01埋土				3	4.2	2.2	29.55	数カ所の剥片とり加撃、鉄石英	剥51
未掲載	U.F.	UTKⅢ				5	6.8	2.5	95.88	使用痕1辺、微小剥離痕	剥52
未掲載	原石？	SD01	730			4.4	4.7	2.5	80.81	剥離面なし、使用痕もなし、玉髄	剥54
未掲載	砕片	SD01埋土				0.9	1.7	0.4	0.41	加工痕・使用痕無し、凝灰岩？	剥55
未掲載	磁器	SD01埋土									
未掲載	陶器	青磁小片									
未掲載	陶器壺？	SD01								内面敲き、	
未掲載	陶器	SD01	540							須恵質	
未掲載	鉄器釘？	SD01	180			5.3	1.6	1.6			
未掲載	炭化材片	SD01	380							1cm未満片10点	
未掲載	炭化材片	UTKⅢ埋土								2-3cm四方片4点	
未掲載	石皿	SD01	3							2面石皿面	1
未掲載	五輪塔？	SD01	16			10.4	8	6.5		安山岩、直角な角あり	2
未掲載	石皿	SD01	71							両面磨面、孔4～5、多孔質安山岩	3
未掲載	石皿	SD01	20							2面石皿面	4
未掲載	石皿	SD01	99			11.8	14.4	4.8		磨面1、安山岩	5
未掲載	石皿	SD01	117							磨面2、多孔質安山岩	6
未掲載	石皿	SD01	126							中央大きくかつ深く円錐状に整った凹み、凹み周り磨痕顕著+小孔1、反対面もやや凹み磨痕	7
未掲載	石皿	SD01	134			16.7	25	5.7		表裏磨面、縁整形、石皿面は平滑、完存	8
未掲載	石皿	SD01	194			8.6	9.3	5		石皿面2、凝灰岩	9
未掲載	石皿	SD01	204			12.4	14.5	10		表裏磨痕、敲打の小孔重なる、端部敲打痕、石棒類や磨石兼敲石の可能性あり	10
未掲載	石皿	SD01	242			15.6	10.5	4.3		2面石皿面、かなり凹む、多孔質安山岩	11
未掲載	石皿	SD01	250							2面石皿面	12
未掲載	石皿	SD01	251			15.4	11.5	3.3		磨面2、小さな孔少、被熱、凝灰岩	13
未掲載	石皿	SD01	255							石皿面2、多孔質安山岩	14
未掲載	石皿	SD01	257							形不明、磨面1、多孔質安山岩	15
未掲載	石皿	SD01	294							形不明、磨面1、多孔質安山岩	16
未掲載	石皿	SD01	296							石皿面2、孔1～2、多孔質安山岩	17
未掲載	石皿	SD01	310							石皿面2、多孔質安山岩	18
未掲載	石皿	SD01	362			13.3	11.1	6.4		磨痕1、割れ面に孔、被熱、凝灰岩、中近世か	19
未掲載	石皿	SD01	415			35.5	21.5	6.7		2面石皿面、被熱赤変、花崗岩？	20
未掲載	石皿	SD01	417							2面研磨、砥石状、凝灰岩、被熱	21
未掲載	石皿	SD01	419							1面磨痕、側面整形の磨痕、多孔質安山岩	22
未掲載	石皿	SD01	429			13.9	13.6	4.1		2面石皿面、側面整形？緻密な花崗岩？完存	23
未掲載	石皿	SD01	475			11.7	18.3	3		石皿面磨痕、反対面も磨痕少、凝灰岩または泥岩	24
未掲載	石皿	SD01	502							石皿面2、平滑ツルツル、砥石にも近い、緻密な石、花崗岩	25
未掲載	石皿	SD01	558							側面整形、多孔質安山岩	26
未掲載	石皿	SD01	573					5.5		表裏磨痕+一部敲打、被熱著しい	27
未掲載	石皿	SD01	578							石皿面2、多孔質安山岩	28
未掲載	石皿	SD01	596			12.6	10.3	2.8		薄手、石皿面2、多孔質安山岩	29
未掲載	石皿	SD01	601							石皿面2、多孔質安山岩	30
未掲載	石皿	SD01埋土								石皿面2、多孔質安山岩	31
未掲載	石皿	水田下サブトレ南								石皿面2、多孔質安山岩	32

第28表 刈沼向原遺跡遺物観察表

挿入番号	種別・器種	出土遺構・グランド	取上No.	胎土	色調	残存率	口径・最大長 (cm)	器高・最大幅 (cm)	底径 (cm)	重量 (g)	調整・文様など	仮No.
第427図1	加尊利E式	SK-12	No.1			破片	-	(12.7)	-			1
第427図2	加尊利E式	SK-16	No.2				-	(5.0)	-			6
第427図3	安行1式	SK-82	No.1				-	(4.7)	-			9
第427図4	石皿	40-G3	No.1	安山岩?		完存	25.7	14.1	-	3420	厚さ6.4cm	14
第427図5	常滑播鉢	SK-38	No.40	白色粒微量	にぶい黄褐	口縁部	-	(4.1)	-		外:ナデ、底部ケズリ~ナデ、内:ナデ、すり目	3
第427図6	常滑播鉢	SK-38	No.35	石英・白色粒	にぶい赤褐	底部	-	(2.8)	(20.2)		外:ナデ、底部ケズリ~ナデ、内:すり目	2
第431図1	土師器杯	SI02カマド、貯蔵穴	25,124,13 6,21	白色粒	にぶい黄褐	4/5	12.7	5.5			外:口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリーミガキ一部	2
第431図2	土師器杯	SI01B区	61,134,13 5,138~	白色粒・灰色粒多	灰黄褐色	4/5	(13.6)	5.1			外:ヨコナデ、体部ヘラケズリー~ナデ・ミガキ 内:ヨコナデ・ミガキ、漆?付着	6
第431図3	土師器杯	SI01B区.C区	59,67	白色粒やや少量、黒色粒少量	にぶい黄橙	完形	13.0	5.0			外:器面荒れ、ヨコナデ、体部ケズリ? 内:ヨコナデ・ヘラミガキ(ヨコ放射状)	4
第431図4	土師器杯	SI01、貯蔵穴2	1	大きめの白色粒多、褐色粒・灰色粒やや多	にぶい褐	1/2	(12.6)	5.9			外:ヨコナデ、体部ヘラケズリー・ミガキ 内:ヨコナデ・ミガキ、内面中央器面荒れ	8
第431図5	土師器杯	SI01B区.C区	57,58,128 ~133	白色粒・褐色粒少量	褐色	4/5	14.4	5.7			外:ヨコナデ、ヘラナデ、ケズリ 内:ヨコナデ・ヘラミガキ、底面中央器面荒れ	5
第431図6	土師器杯	SI01B区	54	白色粒少量	灰黄褐色	1/3	13.8	(3.8)			外:口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリー~ナデ・ミガキ	3
第431図7	土師器杯	SI01D区	88	白色粒少	にぶい黄褐	口縁部	(12.8)	(3.0)			外:ヨコナデ、体部ヘラケズリー~ナデ 内:ヨコナデ・ナデ	9
第431図8	土師器杯	SI01	10,20	石英・白色粒・黒色粒	にぶい褐	1/3	(15.6)	(4.1)			外:口縁ヨコナデ、体部ヘラケズリー~ミガキ 内:ミガキ	1
第431図9	土師器杯	SI01C区	86	白色粒多	にぶい黄褐	3/4	16.6	4.5			外:ヨコナデ、体部ミガキ、底面近くヘラケズリ 内:ヨコナデ・ミガキ	7
第431図10	土師器杯	SI01C区	149,83	石英・白色粒やや多	にぶい黄褐	口縁部、01-No.44+70と同	(12.5)	(4.7)			外:ヨコナデ、体部ヘラケズリー~ナデ 内:ヨコナデ、木口状工具ナデ、留めの痕跡	10
第431図11	土師器甕	SI-01-A・D区	No.5~9・101~113・143~145・161・163・89・152	白色粒・石英・角閃石多	にぶい黄橙	ほぼ完形	24.2	26.4	9.8		外:ヨコナデ、体部ヘラケズリ 内:ヘラミガキ、一部ヘラナデ、下方焦付着	12
第431図12	土師器壺	SI-01-A区	No.15・36・50	白色粒・石英・角閃石やや多	にぶい褐	口縁部	18.2	(11.5)	-		外:ヨコナデ・ナデ、体部ミガキに近いヘラケズリー~ミガキ 内:ナデ・ヨコナデ	13
第431図13	土師器杯	SI01D区	93,94,146	白色粒やや多量	外:明赤褐色 内:にぶい黄褐	1/2		(12.4)	(7.8)		外:ヘラケズリー~ミガキ 内:ナデ、輪積痕残り	11
第431図14	土師器壺	SI-01-A区	No.34	白色粒多	黒褐色	底部	-	(5.8)	(7.2)		外:ヘラケズリー~ナデ 内:ナデ、底部ミガキ	14
第431図15	土師器壺	SI-01-C区	No.71・100・68・69・147	白色粒多、石英・灰色粒やや多	にぶい黄褐	底部	-	(16.5)	(7.2)		外:ヘラケズリ、底面近くは横位 内:ナデ、一部ミガキ、底近く焦げ付着	16
第433図1	土師器杯	SI-02-A・B・C・D区・埋土・カマド	No.37・38・30・32・33・16・23	白色粒・褐色粒やや多	にぶい黄橙	1/2	(14.2)	(3.3)	-		外:口縁ヨコナデ、体部ケズリ、内:口縁ヨコナデ、体部ミガキ	1
第433図2	土師器杯	SI-02	No.44・46・50	白色粒多・褐色粒少	にぶい黄褐	1/2~3/5	(13.5)	(4.2)	-		外:口縁ヨコナデ、体部ケズリ一部ミガキ 内:口縁ヨコナデ、ナデ・ミガキ	2
第433図3	土師器杯	SI-02	No.42	石英・雲母少、白色粒やや多	にぶい黄褐	1/4	(14.8)	(4.4)	-		外:漆付着、口縁ヨコナデ、体部ケズリー~ミガキ 内:ナデ一部ミガキ	3
第433図4	土師器甕	SI-02-B・C区・カマド・貯蔵穴	No.35・22・3・5・13	石英・白色粒多	にぶい褐	4/5	16.0	14.3~15.7	6.2		被熱、外:口縁ヨコナデ、体部研磨、底近くミガキ 内:口縁ヨコナデ、体部ナデ	8
第433図5	土師器甕	SI-02	No.44	白色粒・灰色粒・褐色粒やや多、小礫含む	淡褐色	4/5	(19.9)	11.7	-		外:口縁ヨコナデ、体部幅広のミガキに近いヘラナデ、底近くケズリ~ナデ 内:ヨコナデ・ナデ、底近くケズリ孔部ケズリ、輪積み痕残り	7
第433図6	土師器壺	SI-02 カマド	No.2・8・9・10	石英・白色粒多	にぶい橙	口縁破片	18.0	(5.8)	-		外:口縁ヨコナデ、体部ハケメ(木口状工具ナデ) 内:ヨコナデ・ナデ	13
第433図7	土師器壺	SI-02 貯蔵穴	No.8	白色粒多、褐色粒少、角閃石少	にぶい橙	口縁部	(22.6)	(7.8)	-		外:口縁ヨコナデ、体部ケズリー一部ミガキ 内:ヨコナデ・ナデ	12
第433図8	土師器壺	SI-02-A区・C区貯蔵穴・貯蔵穴・カマド・埋土	No.12・4・5・6・7・9・10・13・3	石英・白色粒多	にぶい褐	4/5	(18.4)	32.5	5.8		外:口縁ヨコナデ、体部ケズリ~ナデ、一部ミガキ 内:ヨコナデ・ナデ、底研磨	9
第433図9	土師器壺	SI-02 カマド	No.8・9・10	石英・白色粒多、1-2mmの礫多	にぶい褐	3/4	(18.8)	35.0	6.8		外:口縁ヨコナデ、頭部~体部上半ハケメ、体部下半~底近くケズリ 内:ヨコナデ・ナデ、底ケズリ~ナデ	10
第433図10	土師器壺	SI-02 カマド	No.7	石英・白色粒多	にぶい黄橙	口縁部一部欠損	(20.6)	33.0	5.0		被熱、外:口縁ヨコナデ、体部ケズリ、底近くミガキ 内:口縁ヨコナデ、体部ナデ、下半かきあげるケズリ~ナデ	11
第433図11	土師器壺	SI-02-C区・貯蔵穴・埋土	No.1・15	石英・白色粒多	にぶい褐	口~頭部1/4	21.0	(8.7)	-		外:口~頭部ヨコナデ、体部ケズリ~ナデ、内:口縁ヨコナデ、体部ナデ	6
第433図12	土師器壺	SI-02-C区	No.1	白色粒やや多	にぶい黄褐	底部	-	(6.9)	(6.4)		外:ヘラケズリー~ナデ 内:ナデ、底部ケズリ	4
第433図13	土師器壺?	SI-02	No.43	石英・白色粒・チャート粒やや多	にぶい黄橙	底部	-	-	(8.0)		外:粗いナデ、指頭状押圧、内:ナデ	5
第433図	縄紋後期	SI-02	No.52・55	白色粒少	黒褐色	破片	-	(5.6)	-		焦げ付着。左下がり沈線一右下がり沈線	15
第435図1	土師器高坏	SI-03	No.4	白色粒・角閃石少量	にぶい褐	脚部一部、孔3確	-	(4.1)	-		外:ミガキ、内:ハケメ・ナデ	11
第435図2	高坏脚部	SI-03	No.14	白色粒微量	にぶい橙	脚部	-	(3.4)	(10.0)		赤色顔料付着、外:丁寧なナデ、内:ナデ、端部擦れ	5
第435図3	壺	SI-03 埋土	No.11・12・13・14・31・32・33・34・35・38・45	白色粒少	にぶい橙	口縁部	19.0	(5.0)	-		外:ナデ→口縁直下及び頭部隆線上縄紋Lまたは絡糸体押捺、一部ミガキ 内:ナデ→ミガキ	1
第435図4	土師器壺	SI-03	No.3・4・5・12・20	白色粒・角閃石少量、石英やや少	にぶい黄橙	口縁部	(14.4)	(9.0)	-		外:口縁ヨコナデ、体部ハケメ一部ナデ、隆線上押捺 内:口縁ハケメナデ、体部ナデ	10
第435図5	壺	SI-03	No.8	白色粒・灰色粒少	にぶい橙	頭部破片	-	(4.0)	-		外:ナデ、隆線上櫛歯条工具または絡糸体押捺	2
第435図6	土師器小型壺	SI-03 埋土	No.7	白色粒少量	橙	口縁部	(8.4)	(3.1)	-		外:ミガキ、口端刻み 内:ナデ	12
第435図7	土師器壺(台付?)	SI-03 埋土	No.11・12・13・31・32・33・34・35・38・45	石英・白色粒・黒色粒やや多	褐色	1/3	(14.8)	(21.3)	-		外:ハケメナデ・ケズリ、口縁ヨコナデ 内:ハケメ一部、外面煤内面焦げ付着	9

第28表 刈沼向原遺跡遺物観察表

挿入番号	種別・器種	出土遺構・グリッド	取上No.	胎土	色調	残存率	口径・最大長 (cm)	器高・最大幅 (cm)	底径 (cm)	重量 (g)	調整・文様など	仮No.
第435図8	土師器壺 (台付?)	SI-03	No.18	白色粒・雲母やや多	灰褐色	口縁部	(15.8)	(4.4)	-		外:ハケメー口縁ヨコナデ 内:ハケメーヨコナデ	6
第435図9	土師器壺	SI-03	No.43	白色粒少量、黒色粒	黒褐色	口縁部破片	(14.6)	(2.5)	-		外:ハケメーナデ 内:ヨコナデ	8
第435図10	土師器壺	SI-03 埋土	No.12・13	石英・白色粒、黒色透明粒やや多	にぶい褐	口縁部~胴部、外面煤付着	(13.4)	(9.9)	-		外:口縁ヨコナデ、体部ハケメーナデ・ミガキ 内:ハケメ、口端ミガキ	4
第435図11	土師器壺?	SI-03 埋土	No.9・43	白色粒やや多	灰褐色	底部	-	(3.6)	4.0		外:ハケメ 内:ナデ、底、ナデ	3
第435図12	縄紋中期	SI-03	No.24	白色粒やや多		破片	-	(5.4)	-		加曽利E1式	14
第447図SD04-1	土師器壺	SD-04	No.2	白色粒・石英・角閃石	にぶい橙	底部破片	-	(2.5)	7.4		外:ミガキ、内:ナデ、底部ミガキ	2
第447図SD06-1	加曽利E式	SD-06+SK-03 埋土	No.2・3	雲母・石英やや多			-	11.0	-		RLR→沈線、加曽利E1~II体部	3
第447図SD06-2	石臼(上臼)	SD-06	No.15	多孔質安山岩		1/4~1/5	(20.0)	(14.6)	(9.7)	(2810)	側面にひき手孔(長3.5cm)、裏面浅い溝目、摩滅で不鮮明、縁辺擦れ著しい	15
第447図SD07-1	土師器壺	SD-07	No.1	白色粒少量	にぶい黄褐	底部破片	-	(2.0)	(10.0)		外:ナデ~ミガキ、内:ナデ、底部ケズリ	1
第447図SD13-1	打製石斧	SD-13	No.1	ホルンフェルス?		3/4	(14.2)	8.5	3.1	476	表裏面、括れ部敲打若干、刃部微小剥離+擦れ	12
第447図SD11-1	打製石斧	SD-11	No.5			1/2	(7.8)	(7.9)	(2.4)	(183.4)	表裏面残り、左側面括れ部敲打痕比較的入念、裏面欠損時剥離もあり	13
第447図SD14-1	打製石斧	SD-14	No.6			1/2	(14.2)	(13.7)	3.9	1073	表裏面残り、括れ部敲打、刃部擦れ・摩滅一部で比較的明瞭	14
第447図SD16-1	加曽利E式	SD-16	No.13				-	(5.1)	-			7
第447図SD16-2	砥石	SD-16	No.5	凝灰岩?			(6.9)	2.8	1.4	(51)	使用面1、残り3面線状痕+若干研磨状	11
第447図SD16-3	砥石	SD-16	No.4	凝灰岩?		中~下位	(5.7)	2.4	1.6	(39)	研磨面1、上下端部の一部及び3面線状痕	10
第447図SD16-4	砥石	SD-16	No.3	凝灰岩?		中位の一部	(5.0)	2.2	1.3	(22)	使用面1、残り3面整形時の線状痕	9
第447図SD17-1	加曽利E式	SD-17	No.14	雲母・石英		口縁部破片	-	(5.5)	-		隆帯→背割り沈線・交互刺突、中峰系	8
第447図SD17-2	弥生	SD-17	No.15	白色粒少量	にぶい黄橙	底部破片	-	(2.3)	(16.0)		附加条2種か、全体摩滅	5
第447図SD17-3	中世陶器	UTKM II SD17	No.4		灰褐色			(3.7)			ナデ	3
第448図1	石臼(上臼)	SK-01	No.1	多孔質安山岩		1/4	(16.0)	(13.0)	(9.2)	(2230)	表裏側面整形、下面すり目溝	1
第448図2	石臼(上臼)	SK-01	No.7	多孔質安山岩			10.0	6.4	10.1	589	1とは別個体か	2
第449図8	土師器壺 (台付?)	A7-H4 埋土	No.2・9・11	白色粒・石英少量	にぶい黄褐	1/5	(16.6)	(4.2)	-		外:口縁ヨコナデ、体部ハケメーナデ 内:口縁ハケメーヨコナデ、体部ナデ	2
第451図1	高坏?	SI05	A区、B区	白色粒微	橙		21.7	(3.8)			外:赤彩、ケズリミガキ、内:ナデ・ミガキ	12
第451図2	高坏	SI05	11	白色粒微	外:にぶい褐、内:にぶい黄橙		14.8	(4.5)			外面タール?漆?付着、ミガキ、内:ナデ一部ミガキ	11
第451図3	小形器台	SI05	6.10.C区	黒色粒・褐色粒少量	橙		(10.2)	(8.0)	(5.0)		孔3、外:ミガキ、内:坏部ミガキ、脚部ナデ	6
第451図4	小形器台	SI05	2	白色粒・石英少	橙褐色		5.8	5.5	6		外:ミガキ・ナデ 内:ナデ	2
第451図5	高坏	SI05	4	白色粒微	にぶい橙			(9.0)	13.3		外:ミガキ 内:坏部ミガキ、脚部ナデ→ハケメーナデ 孔3、下部煤付着、黒変	4
第451図6	細頸壺	SI05	9	白色粒多	外:にぶい橙、内:にぶい黄橙		(9.0)	(11.8)			外:沈線→刻み→ミガキ、内:ハケメーナデ、口端擦れ、外面~口端赤彩	9
第451図7	壺	SI05	1	白色粒・灰色粒やや多、1-4mm礫	にぶい橙		17.5	(5.4)			外:口縁ヨコナデ→ミガキ、頭部ハケメーナデ→ミガキ 内:ミガキ	1
第451図8	S字壺	SI05	7	白色粒やや多	黒褐色		13.6	(4.8)			焦げ・煤付着顕著、外:口縁ヨコナデ、以下ハケメ、内:頭部ハケメー口縁ヨコナデ・体部ナデ	7
第451図9	台付壺?	SI05	10	白色粒やや多	にぶい黄橙			(4.5)			外:ハケメーナデ、内:坏部ハケメ、脚部ハケメーナデ	10
第451図10	台付壺?	SI05	8	白色粒・灰色粒やや多	にぶい褐			(5.6)			外:脚部ハケメ・ケズリミガキ・ナデ、接続部ナデ、内:坏部ナデ・ミガキ、脚部ハケメ	8
第451図11	台付壺	SI05	3	白色粒・石英やや多	にぶい褐		(12.8)	(5.3)	(6.8)		外:ハケメー脚部では一部ナデ消し 内:ハケメー部ナデ、脚部ナデ	3
第451図12	紡錘車	SI05		白色粒少	にぶい黄橙		5	2.9			孔径0.6、重量46.1g、指頭押圧状のやや粗いナデ整形	13
第451図13	弥生壺	SI05		白色粒少、角閃石微	にぶい黄橙						外:櫛歯状工具波状文、内:ナデ、口端部刻み	14
第451図14	縄紋晚期	SI05		白色粒・石英やや多	にぶい橙		(13.6)				L+結節、内面ナデ	5

第29表剥片石器類

No.	新グリッド	遺構・グリッド	No.	石材鑑定	備考	機種	観察	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
1	SI01	SI01-1	s194	チャート		U.F.	2辺使用痕、両極剥片、粗い二次加工痕あり	2.8	1.7	0.9	4.6
2	SI01	SI01-6		頁岩	古期	R.F.orSc	2辺二次加工痕、一部両面	3.4	2.3	0.8	5.23 写真
3	SI01	SI01-埋土		泥質チャート		U.F.	使用痕一辺	2.3	2.2	0.7	4.3
4	SI01	SI01-埋土		流紋岩		U.F.	使用痕二辺	3.7	2.6	0.7	5.74
5	SI01	SI01-4	182	チャート		石錐未製品orR.F.	二次加工三辺、片面は一部、厚みある	2.7	1.3	0.7	2.31 写真
6	SI01	SI01-A区床下		珪質頁岩	新第三	U.F.	使用痕二辺	6.2	6.8	2	51.74
7	SI01	SI01-2	s173	ガラス質安山		U.F.	使用痕二辺、一面両面	6	6.8	1.2	14.89
8	SI01	SI01-5-D区		チャート		U.F.	使用痕二辺、両極剥片	4.4	3	1.3	15.3
9	SEC T2	SEC T-2	S	玉髓		R.F.or石錐未製品	一辺一部二次加工	1.9	0.9	0.5	0.78
10	SI02	SI02床下土坑-1		頁岩	古期	U.F.	一辺一部使用痕	3.3	1.7	0.9	3.34
11	SI02	SI02A-3A区	s008	チャート		R.F.or石錐未製品	一辺二次加工、二辺使用痕、二次加工は一部のみ	2.9	1.5	0.8	2.35
12	SI02	SI02床下土坑		チャート		R.F.	二次加工三辺、使用痕三辺	2.8	2.9	1.1	9.88 写真
13	SI02	SI02-5	7	珪化流紋岩		U.F.	2辺使用痕	1.7	2.7	0.5	2.38
14	SI02	SI02床下土坑		泥質チャート		R.F.	2辺使用痕、1辺二次加工	3.3	3.7	0.7	6.26
15	SI02	SI02床下土坑-5	8	チャート		U.F.	2辺二次加工	4.6	3.5	1.5	24.14
16	SI02	SI02床下土坑	31	チャート		コアorU.F.	1辺使用痕?	4.1	3.4	2.8	39.63
17	SI03	SI03-4	265	流紋岩		R.F.orSc	2辺二次加工、2辺使用痕、片面加工	4.4	2.3	1.3	11.27
18	SI03	SI03-8	11	流紋岩		U.F.	1辺使用痕	2.4	3	1.1	5.96
19	SI03	SI03-3-D区		チャート		R.F.or石錐未製品	1辺二次加工痕、3辺使用痕	1.6	3.7	0.7	4.84 写真
20	SI03	SI03-最下層		泥質チャート		R.F.	3辺二次加工痕、石匙等破損片の可能性有り	0.9	2	0.4	0.86
21	SI03	SI03-埋土		玉髓	良質	石錐or石錐未製品orR.F.	2辺二次加工痕	1.9	1	0.5	1.08 写真
22	SI03	SI03-5-B区		泥質チャート		石錐未製品orR.F.	1辺二次加工痕、1辺使用痕、側縁折れ?	2.8	1	0.5	1.54 写真
23	SI03	SI03-埋土		玉髓		U.F.	1辺使用痕	2.2	1.1	0.9	1.69
24	SI03	SI03-8-C区		泥質チャート		U.F.	2辺使用痕	1.9	3.2	0.5	2.12
25	SI03	SI03-8	38	変質流紋岩	緑色	FI	加工無し	1.6	2.2	0.9	2.58
26	SI03	SI03-6	31	泥質チャート		R.F.orピエス	1辺若干の二次加工、2辺使用痕、両極剥片	2.8	3.2	1	11.46 写真
27	SI03	SI03-最下層		黒雲母流紋岩		R.F.	2辺二次加工痕、1辺使用痕、一部両面残し	3.2	3	1.1	10.63 写真
28	SI01	SI01-3	S18後	玉髓		R.F.or石錐未製品	1辺二次加工痕	1.5	1	0.3	0.39
29	SI03	SI03-埋土		玉髓		R.F.	1辺二次加工痕部分的、	3.8	2.1	1.3	7.08
30	SI03	SI03-C区、 I1J6-EA'		泥質チャート		R.F.	2辺使用痕、1辺二次加工、石錐未製品の可能性有り	3.2	2.5	0.7	4.01
31	SI03	SI03-埋土		珪化岩	赤玉石	U.F.	3辺使用痕	2.5	3.6	0.7	6.69
32	SI03	SI03-6-C区		流紋岩		R.F.	2辺二次加工痕、1辺使用痕	2.7	3.4	0.9	7.63
33	SI03	SI03-10	81	変質流紋岩		U.F.	2辺使用痕	2.5	3.1	0.9	6.1
34	SI03	SI03-埋土		玉髓		R.F.or石錐未製品	2辺二次加工痕、片面で部分的	1.8	1.6	0.4	0.95
35	SI03	SI03-埋土		チャート		石錐or石錐未製品orR.F.	2辺使用痕、一部二次加工痕	2.9	2.3	1.3	4.28 写真
36	SI03	SI03-10-C区		ガラス質流紋	高原	U.F.	2辺使用痕、一部二次加工痕	3.4	2.8	1	7.95
37	SI03	SI03-4	37	泥質チャート		ピエスorR.F.	2使用痕、1辺二次加工痕	2.8	2	1	5.53
38	SI03	SI03-6	159	チャート		U.F.	2使用痕、裏面多	3.3	3.6	1	8.19
39	SI03	SI03-7-c区		チャート		U.F.	1辺使用痕、裏面多	1.8	3.3	0.9	6.54
40	SI03	SI03-10-c区		チャート		U.F.	2辺使用痕、裏面埋面	2.6	3	1.4	11.13
41	SI03	SI03-11-A区		変質流紋岩	赤色	R.F.	1辺二次加工痕、3辺使用痕	4.5	3.8	1.9	19.74
42	SI03	SI03-10	46	変質流紋岩	赤色	R.F.orSc	2辺二次加工痕で刃部状、1辺使用痕	3.7	3.7	1.1	17.77 写真
43	SI03	SI03-8	47	泥質チャート		ピエスorR.F.	3辺二次加工痕、両極剥片か	3.2	2.6	1.3	13.03 写真
44	SI03	SI03-8	86	泥質チャート		R.F.orSc	1辺二次加工痕、1辺使用痕、ナイフやポイントの可能性有り?被熱	6.1	2.8	1.3	19.17 写真
45	SI03	SI03-6	29	チャート		U.F.	2辺使用痕、両極剥片、ピエスの可能性あり	3.8	2.6	1.6	20.29
46	SI03	SI03A'ハット		泥質チャート		U.F.	2辺使用痕、1辺若干の敲打?	2.9	4.2	1.2	12.96
47	SI03	SI03B'ハット		チャート		R.F.orコア	2辺二次加工痕	4.8	4.7	2.6	56.81 写真
48	SI05	SI05-5	32	流紋岩		R.F.	2辺二次加工痕	2.7	3.4	1.2	11.15
49	SI05	SI05-9	161	チャート		U.F.	1辺使用痕	3.1	3.3	1.6	12.6
50	SI05	SI05-10		玉髓		U.F.	2辺使用痕、両極剥片	2.2	2.9	0.6	3.31
51	SI06	SI06-1	21	珪化岩	赤玉石	U.F.	1辺使用痕若干	2.2	3.2	0.9	5.04
52	SI16?	SI16-pit1		泥質チャート		R.F.or石錐未製品	2辺二次加工痕、1辺使用痕	4.3	3.5	1.1	11.02 写真
53	SI01	SI01-15K0-16区		泥質チャート		FI	加工無し	2.3	1.2	0.4	0.93
54	SI01	SI01-15K6	19	チャート		R.F.	1辺二次加工痕、1辺使用痕	3.4	2.3	1	6.09
55	I5I7	SD04-15J7	44	チャート		U.F.	1辺使用痕、上端埋面	4.5	3.3	1.4	21.68 写真
56	I5I7	SD04-15J7	59	チャート		U.F.	1辺使用痕、1辺敲打痕、裏面埋面、両極剥片?	2.9	3.3	1.4	12.47
57	I5I7	SD04-15J7埋土		流紋岩		U.F.	2辺使用痕	4.5	2.9	1.6	14.92
58	I5I9	SD04-15J9-25区下		流紋岩		U.F.	1辺使用痕、剥離二次加工に近い	6.6	5	2.4	73.1
59	2区E T1	2区E、T-1		泥質チャート		U.F.	1辺使用痕、厚みあり	5.7	4.2	2.7	67.46
60	T2	T-2上層		変質流紋岩	緑色	FI	2辺使用痕? = 微小剥離だが使用か不明、円柱状	2.8	2.8	2.2	19.23
61	SEC T3	SEC T-3		珪化岩	赤玉石	R.F.	1辺使用痕、石錐石錐未製品の可能性有り	2.6	1.8	1.2	4.23
62	SEC T4	SEC T-4		チャート		石錐or石錐未製品	2辺二次加工痕	2.3	1.7	0.4	1.64
63	SEC T4	SEC T-4		チャート		R.F.or石錐未製品	2辺二次加工痕、下端折れ、裏面	2.6	2.1	1	5.47
64	SEC T5	SEC T-5		変質流紋岩	赤色	R.F.	1辺二次加工痕	2.7	4.7	1.3	15.57
65	SEC T5	SEC T-5		泥質チャート		R.F.	1辺二次加工痕、3辺使用痕、下端部離状	4.2	3	1.2	11.49
66	SEC T7	SEC T-7		チャート		R.F.	1辺二次加工痕、使用痕	2.8	4	1.6	15.89 写真
67	79I4	79J4-7	1	チャート	赤色	R.F.	1辺二次加工痕、1辺使用痕	1.6	3.7	1.3	9.59
68	79I5	79J5-9-15区		頁岩	新第三	R.F.	2辺二次加工痕、裏面、ScIに近い	5	3.6	0.8	11.03 写真
69	79I5	79J5-2	5	チャート		R.F.	2辺二次加工痕、2辺使用痕	1.8	4.1	0.7	5.3
70	79I5	79J5-埋土		珪質頁岩	新第三	U.F.	2辺使用痕、刃こぼれ状	2.7	3.5	0.7	5.32
71	79I5	79J5-6	17	頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	6.2	5.3	0.8	19.52
72	79I5	79J5-5	19	チャート		R.F.orSc	2辺二次加工、2辺使用痕、裏面	2.7	3.4	0.9	7.68 写真
73	79I5	79J5-N2	9	珪化岩	赤玉	R.F.	2辺二次加工痕	3.7	3.1	1.7	18.16
74	79I5	79J5-5-19区		珪化岩	赤玉	R.F.	2辺二次加工痕	2.4	2.5	0.7	3.81
75	79I6	79J6-2		頁岩	古期	R.F.orSc	3辺二次加工痕	2.7	5.2	1.5	23.49 写真
76	79I7	79J7-2	1	泥質チャート		R.F.	1辺二次加工痕、1辺使用痕	3.7	2.3	1.2	10.28
77	79I7	79J7-3-第5区		頁岩	古期	R.F.orSc	1辺二次加工痕、3辺使用痕	3.1	3.8	0.8	9.4
78	I0I4	I0J4-E2	11	チャート		U.F.	3辺使用痕	2.4	4.7	1.5	12.8
79	I0I4	I0J4		輝石安山岩	新第三	R.F.or石匙未製品	2辺二次加工痕、使用痕、加工はほぼ片面	5.7	4	1.2	23.45
80	I0I5	I0J5-1-23区		頁岩	古期	U.F.	1辺使用痕	3.8	3.8	1.3	18.95 写真
81	I0I6	I0J6-2	54	頁岩	古期	FI	加工無し	2.2	2	0.4	1.25
82	I0I6	I0J6-3	73	玉髓		U.F.orFI	1辺使用痕? 不明瞭	1.2	1.6	0.5	0.76
83	I0I6	I0J6-4		珪化砂岩	古期	R.F.orSc? 打斧	2辺二次加工痕、使用痕、裏面残し	12.5	5.2	2.2	83.65
84	I0I7	I0J7-2	82	泥質チャート		R.F.or石錐未製品	2辺二次加工痕、1辺使用痕、二次加工1辺は片面、両極剥片?	3.5	3.3	0.9	10.82
85	I0I7	I0J7-6	41	玉髓		R.F.orSc	ほぼ全周二次加工両面、一部片面、搔器か?	2.4	3.9	1	9.3
86	I1I3	I1J3-4	26	頁岩	古期	R.F.orSc	1辺二次加工痕、使用痕、加工はほぼ片面、顕著な加工ではない	5.3	8.5	2.5	112.4
87	I1I4	I1J4-W1	18	チャート		U.F.	2辺使用痕	3.5	4.7	1.3	19.83
88	I1I4	I1J4-WA'-2		チャート		FI	加工無し	4	2.8	1	10.39
89	I1I4	I1J4-1		頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	1.9	3.5	1.4	7.23
90	I1I4	I1J4-1		黒雲母流紋岩		R.F.	2辺二次加工痕	2.4	3.6	1.1	7.49
91	I1I6	I1J6-EA'-10区		変質デイスサイト		礫	緑色、気泡多	3.3	2.3	1.9	15.62
92	I1I6	I1J6-0		チャート		U.F.	4辺使用痕、両極剥片	2.7	3.8	1.1	10.94
93	I1I7	I1J7		泥質チャート		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	3.6	4.2	1	12.07
94	I1I7	I1J7表探		頁岩	古期	U.F.	3辺使用痕	2.7	2.2	1	6.01
95	I1I7	I1J7-1	18	無珪晶質安山岩		U.F.	2辺使用痕	3.7	3.2	1.3	17.99
96	I1I7	I1J7-カクラン		頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	3.4	3.2	1.2	12.19 写真
97	I1I7	I1J7-5	66	頁岩	古期	R.F.	1辺二次加工痕、1辺使用痕	3.2	4.8	1.1	18.3
98	I1I7	I1J7-カクラン内1		無珪晶質安山岩		FI	加工無し	1.8	3.1	0.8	3.17
99	I1I7	I1J7-カクラン内		珪質頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕、線状痕明瞭	2.1	3.3	1	6.96
100	I2I6	I2J6-EA'-10区		玉髓		R.F.	1辺二次加工痕わずか	1.5	1.8	0.4	0.9
101	I2I6	I2J6-SA'		流紋岩		R.F.	2辺二次加工痕、2辺使用痕	2.8	2.9	1.5	11.24
102	I2I6	I2J6-SA'		デイスサイト		コア	二次加工、使用痕なし	4	3.9	2.6	53.14
103	I2I6	I2J6-SA'		頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	3.8	4.5	2.9	44.2

第29表剥片石器類

No.	新グリッド	遺構・グリッド	No.	石材鑑定	備考	機種	観察	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	
104	1217	12J7-カクラン		泥質チャート		ピエスorR.F.	2辺二次加工痕・使用痕、両極剥片	2.9	4.5	1.7	23.82	
105	1217	12J7-カクラン		チャート		R.F.	1辺二次加工痕、3辺使用痕	3.2	5.1	2.3	3.8	写真
106	1217	12J7-カクラン		チャート		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	3	4.5	1.7	17.66	
107	1217	12J7		流紋岩		U.F.	2辺使用痕	3.3	4.3	2.2	21.96	
108	1217	12J7-カクラン		チャート		U.F.	1辺使用痕わずか	3.1	2.6	1.2	6.43	写真
109	1217	12J7-カクラン		チャート		U.F.	1辺使用痕	2	2.3	0.4	1.97	写真
110	1217	12J7-カクラン		チャート		U.F.	3辺使用痕	2.8	4.5	1.6	19.7	
111	1217	12J7-カクラン		泥質チャート		R.F.or石鑑未製品	3辺二次加工痕、片面のみ	2.9	2	0.7	29.75	
112	1217	12J7-カクラン		チャート		R.F.or石鑑未製品	3辺二次加工痕、片面のみ	2.1	1.3	0.4	0.98	
113	1217	12J7-カクラン		泥質チャート		R.F.or石鑑未製品	2辺二次加工痕、片面	3.5	3.2	1.3	10.04	
114	1217	12J7-カクラン		チャート		FI	加工無し	1.8	2.5	0.9	3.97	
115	1316	13J6-3	44	頁岩	古期	R.F.	1辺二次加工痕わずか	2.9	2	0.8	3.92	
116	1316	13J6-1-1区		頁岩	古期	R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕、薄剥片素材	4.7	5	0.9	18.7	
117	1316	13J6-最下層	1	脈石英		コアor礫	加工無し、剥離痕も不明瞭	6.9	4.4	2.4	98.26	
118	1315	13J5-3	22	流紋岩		R.F.	2辺二次加工痕、1辺使用痕、加工不明瞭	4.1	2.5	1.3	9.93	
119	1315	13J5-4	36	頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	3.1	5.2	1.2	14.46	写真
120	1315	13J5内SK		流紋岩		R.F.	2辺二次加工痕、1辺使用痕	3.2	2.7	0.8	6.84	
121	1315	13J5-GL最下層	3	頁岩	古期	U.F.	3辺使用痕、線状痕明瞭	4.2	5.5	1.2	23.36	
122	1317	13J7-2	146	チャート		U.F.	1辺使用痕	2.2	3.3	1.2	6.05	
123	1317	13J7-3-20区		チャート		U.F.	3辺使用痕、微小剥離	3	2.5	1	8.87	
124	1414	14J4-3	10	ドイツ石		FI	加工無し	1.9	3.3	0.9	5.8	
125	1415	14J5-1	5	菱質凝灰岩		U.F.	2辺使用痕、鼓打状微小剥離少、上~裏面礫面	3.4	3.7	1.6	22.79	
126	1416	14J6-S^1-23区		チャート		R.F.	1辺二次加工痕・使用痕、使用痕少し狭い	2.1	3.3	0.8	4.77	
127	1416	14J6-W^1-1		玉髄		FI	加工無し	1.4	1.5	0.3	0.51	
128	1416	14J6-1	33	玉髄		R.F.	2辺二次加工痕、1辺使用痕	0.9	1.7	0.2	0.33	
129	1416	14J6-W^1-1		チャート		R.F.	1辺二次加工痕、1辺使用痕	2.6	2.8	1.3	10.11	
130	1416	14J6-4-16区		頁岩	古期	U.F.	4辺使用痕、Sc1に近い形状	4.3	5.5	1.4	26.24	
131	1417	14J7-4-6区		チャート		石鑑(未製品?)	全周二次加工、片面部分もあり。石鑑未製品の可能性も	2.1	1.1	0.6	1.36	
132	1417	14J7-4-8区		流紋岩		U.F.	2辺使用痕	3.6	2.5	0.8	6.17	
133	1418	14J8		頁岩	新第三	R.F.orSc	2辺二次加工痕、2辺使用痕	4	4	3.2	12.36	
134	1418	14J8表探		チャート		R.F.or石鑑未製品	2辺二次加工痕(辺の一部)	3	1.1	0.5	2.09	
135	1418	14J8-2-2区		頁岩	新第三	U.F.orR.F.	4辺使用痕、顕著な二次加工痕はなし、剥離痕は使用痕か、Sc1にも近い	7.5	4.8	1.6	51.14	
136	1419	14J9-7	16	珪化砂岩		U.F.	2辺使用痕、辺の一部鼓打・摩擦加わらば擦り切りほどではない。磨製石片未製品可能性有り。	3.7	5.7	1.2	28.04	写真
137	1419	14J9-1	119	チャート		R.F.or石鑑未製品	2辺二次加工痕、1辺使用痕	3.3	2	0.8	6.06	写真
138	1419	14J9-6	27	チャート		R.Forピエス	2辺二次加工痕、1辺使用痕	3.1	2	0.9	7.52	写真
139	1419	14J9-6	72	チャート		R.F.	2辺二次加工痕、石鑑未製品の可能性有り	3.1	2.1	1	5.38	写真
140	1419	14J9-1	75	流紋岩質溶結凝灰岩		R.F.	1辺二次加工痕一部、3辺使用痕	4.1	2.2	1.2	7.99	
141	1419	14J9-1	75	泥質チャート		U.F.	1辺使用痕	1.9	2.9	0.5	1.79	
142	1419	14J9-9	36	珪化岩	赤玉	R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕、刃こぼれ・線状痕顕著、裏礫面多	2.5	3.2	1.2	9.98	
143	1419	14J9-9	67	頁岩		石鑑(未製品?) orR.F.	3辺二次加工痕、1辺使用痕、二次加工は片面部分もあり	3	1.5	0.9	4.07	写真
144	1419	14J9-1-9区		泥質チャート		R.F.	2辺二次加工痕、2辺使用痕	2.7	2.9	1.1	9.46	
145	1419	14J9-S3	18	チャート		R.F.	2辺二次加工痕、4辺使用痕、厚みある	3.4	2.1	1.4	8.52	
146	1419	14J9-13	22	チャート		U.F.	2辺使用痕	3.4	2.3	0.7	4.06	
147	1419	14J9-1	109	流紋岩		U.F.	1辺使用痕	2.7	3.2	0.8	5.37	
148	1419	14J9-S^1-1	17	珪質頁岩	新第三	R.F.	1辺二次加工痕、3辺使用痕、二次加工は一部のみ	4	4	1.3	20.62	
149	1419	14J9-8	9	チャート		R.F.	2辺使用痕	3.7	2.1	1.1	6.67	
150	1419	14J9-1	134	チャート		U.F.	3辺使用痕	1.7	2.1	0.4	1.23	
151	1419	14J9-S^1-1	24	頁岩		U.F.	2辺使用痕	3.9	5.6	0.8	10.81	
152	1419	14J9-6	54	頁岩	古期	R.F.orSc	1辺二次加工痕、2辺使用痕	5.6	6.7	1.8	66.09	写真
153	1419	14J9-8	23	チャート		U.F.orコア	2辺使用痕、一部鼓打痕は剥離に伴う?	5.8	5.6	2.4	106.3	写真
154	14J1	14K1表探		頁岩	古期	R.F.	1辺二次加工痕、3辺使用痕	4.7	2.7	1.9	21.28	
155	14J0	14K0-18	53	珪化岩	緑色	礫	加工無し、割れ多いが目的剥片剥離ではない	1.5	1.8	0.8	2.58	
156	14J0	14K0-13	339	チャート		U.F.	2辺使用痕、微小剥離わずか	1.9	1.5	0.6	1.5	
157	14J0	14K0-16-14区		玉髄		U.F.	2辺使用痕、一部のみ、石鑑未の可能性あり?	3	1.5	0.7	2.88	
158	14J0	14K0-4	66	玉髄		U.F.	1辺使用痕わずか	2.3	1.7	0.4	1.35	
159	14J0	14K0-4	66	玉髄		U.F.	2辺使用痕	1.8	1.9	0.7	1.67	
160	14J0	14K0-6	132	チャート		U.F.	2辺使用痕、表剥離~節理面、裏礫面	4.4	4.8	1.1	23.35	
161	14J0	14K0-4-3区		チャート		R.F.	3辺二次加工痕、3辺使用痕、大きめの剥離加工だが刃部	4.3	3	2.1	26.37	
162	14J0	14K0-5	23	チャート		U.F.	2辺使用痕、両極剥片?	2.9	2.5	0.8	7.1	
163	14J0	14K0-5	205	玉髄		U.F.	1辺使用痕	3.5	2	1.6	9.38	
164	14J0	14K0-5	151	玉髄		R.F.	1辺二次加工痕・使用痕	1.9	3.2	0.8	4.7	
165	14J0	14K0-11	86	チャート		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	2.1	3.5	1.5	10.74	
166	14J0	14K0-11	82	泥質チャート		石鑑未製品orR.F.	2辺二次加工痕、1辺使用痕、加工は片面のみ	2.6	1.3	0.7	1.5	
167	14J0	14K0-15	36	泥質チャート		U.F.	3辺使用痕	3.4	1.5	0.8	3.5	
168	14J0	14K0-8-2区		チャート		U.F.	2辺使用痕	2.5	1.9	0.5	2.27	
169	14J0	14K0-17	173	チャート		U.F.	2辺使用痕	3.1	5.1	1.9	24.73	
170	14J0	14K0-10	433	珪化岩	碧玉	FI	使用痕可能性があるが不明瞭、両極剥片	3.3	1.7	1.6	11.15	
171	14J0	14K0-13	114	黒曜岩		石鑑(未製品?)	両面押圧剥離、完成品か	1.6	1.5	0.3	0.48	
172	14J0	14K0-N-3	7	流紋岩質凝灰岩		R.F.orSc	2辺二次加工痕、1辺使用痕					
173	14J0	14K0-5	38	チャート	赤色チャート	U.F.	1辺使用痕わずか	1.5	2.3	0.5	1.28	
174	14J0	14K0-9	128	流紋岩		U.F.	2辺使用痕	2.4	4.4	1.4	13.36	
175	14J0	14K0-表探		チャート	黄色	R.F.	1辺二次加工痕・使用痕、裏礫面	4	3.6	1.8	22.27	
176	14J0	14K0-9	21	珪化流紋岩		R.F.	2辺二次加工痕、やや粗い剥離加工、石鑑未製品の可能性あり	2.8	2	1.1	4.13	
177	14J0	14K0-19	95	泥質チャート		R.F.	2辺二次加工痕、3辺使用痕	4.1	3.5	2.1	19.32	
178	14J0	14K0-5	57	チャート		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	2.7	3.5	0.9	8.44	
179	14J0	14K0-16	181	珪化岩		U.F.	2辺使用痕	2.6	3.7	0.7		実物不明
180	14J0	14K0-15-6区		泥質チャート		R.F.	1辺二次加工痕、3辺使用痕	3.5	3.2	1.5	15.39	
181	14J0	14K0-15-12区		頁岩	古期	R.F.	2辺二次加工痕、2辺使用痕	4.9	3.4	0.9	13.44	
182	14J0	14K0-16	116	結核なし		U.F.or擦り切り具	3辺使用痕、うち1辺磨り摩滅	6	4.5	1.6		
183	14J0	14K0-14		泥質チャート		U.F.	2辺使用痕、裏礫面	2.6	4.6	1.2	14.81	
184	14J0	14K0-5	180	破砕状チャート		FI	加工無し	2.2	2.1	0.6	2.19	
185	14J0	14K0-19	113	玉髄		U.F.	1辺使用痕	2.5	3.4	0.5	3.45	
186	14J0	14K0-16	78	玉髄		U.F.	2辺使用痕	2.3	1.7	0.5	1.67	
187	14J0	14K0-N-3	46	珪化岩	赤玉	U.F.	2辺使用痕	2.1	3.5	0.8	5.35	
188	14J0	14K0-17	78	チャート		コア	3~4面剥離	2.2	3.1	0.8	14.42	
189	14J0	14K0-16	56	チャート		R.F.	1辺使用痕	2.2	2.1	0.5	2.69	
190	14J0	14K0-2	12	チャート		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	2.6	3.4	0.9	8.04	
191	14J0	14K0-16-19区		チャート		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	2.1	2.3	0.9	5.26	
192	14J0	14K0-14	286	チャート		R.F.	2辺二次加工痕、2辺使用痕	3.2	2.2	1.3	7.52	
193	14J0	14K0-9	287	チャート		U.F.	2辺使用痕	1.6	2.3	0.5	1.67	
194	14J0	14K0-表探		頁岩	古期	U.F.	1辺使用痕	3.5	3.2	1.6	16.14	
195	14J0	14K0-S^1-1		チャート		R.F.	2辺二次加工痕、1辺使用痕、両極剥片素材	2.8	2.8	0.8	3.83	
196	14J0	14K0-20	59	珪化流紋岩		U.F.	3辺使用痕	2.2	2.6	0.4	2.82	
197	14J0	14K0-N-4	8	チャート	黄色	U.F.	2辺使用痕	4.7	1.6	1.2	7.2	
198	14J0	14K0-5	228	頁岩	古期	U.F.	1辺使用痕	1.4	1.8	0.5	1.27	
199	14J0	14K0-5	242	頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	1.8	3.3	0.9	4.47	
200	14J0	14K0-19	91	頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	2.8	3	0.5	2.89	
201	14J0	14K0-3	11	頁岩	古期	R.F.	2辺二次加工痕、3辺使用痕	2.9	3.3	1	8.39	
202	14J0	14K0-N-4	20	輝石安山岩		R.F.	1辺二次加工痕・使用痕	2.5	3.5	1.6	14.17	
203	14J0	14K0-5	138	黒雲母流紋岩		R.F.	1辺二次加工痕、3辺使用痕	3.8	4.1	0.9	9.81	
204	14J0	14K0-N-2	52	チャート		U.F.	1辺使用痕	3.6	3.8	0.9	11.32	
205	14J0	14K0-4	122	頁岩	古期	R.F.	1辺二次加工痕、3辺使用痕	3	5.1	0.9	10.26	
206	14J0	14K0-W^1		頁岩	古期	R.F.orSc	1辺二次加工痕、3辺使用痕、Point未の可能性有り?	2.9	6.5	1.8	28.89	

第29表剥片石器類

No.	新グリッド	遺構・グリッド	No.	石材鑑定	備考	機種	観察	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
207	44J0	44K0-N-3	3	頁岩	古期	U.F.	1辺使用痕	3.7	2.6	1	9.72
208	44J0	44K0-N-3	49	玉髄		U.F.	2辺使用痕	3.1	3.5	0.6	5.76
209	44J0	44K0-8	258	頁岩	古期	U.F.	3辺使用痕、裏礫面	5.9	4.9	1.6	38.35
210	44J0	44K0-5	199	頁岩	古期	R.F.orSc	1辺二次加工痕、1辺使用痕	3.9	7.1	2.2	36.91
211	44J0	44K0-6	212	泥質チャート		U.F.	4辺使用痕	3	4.3	1.1	10.44
212	44J1	44K1-EA-1	15	チャート		U.F.	2辺使用痕、厚みある	4.3	3.4	2	26.06
213	44J1	44K1-19	236	頁岩	古期	R.F.	2辺二次加工痕、1辺使用痕、下端部石錐状に尖らせて	3.3	2.7	1.2	8.56
214	44J1	44K1-12	114	チャート		U.F.	1辺使用痕一部のみ	2.3	1.8	0.7	5.23
215	44J1	44K1-EA-2	37	チャート		R.F.	2辺二次加工痕、1辺使用痕	3.5	3.7	2	16.79
216	44J1	44K1-床面		チャート		U.F.	1辺使用痕	2	2.9	0.9	5.9
217	44J1	44K1-床面		チャート		U.F.	2辺使用痕	2.5	2.8	0.8	4.09
218	44J1	44K1-床面	33	頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	2.9	0.9	0.7	1.51
219	44J1	44K0-12-18区		チャート		U.F.	2辺使用痕	3.1	2	0.8	4.3
220	44J1	44K1-床面		流紋岩		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	2.3	5.9	1.5	19.14
221	44J1	44K1-19	89	輝石デイスait		U.F.	2辺使用痕、表一部・裏礫面	4.3	3	0.8	8.26
222	44J1	44K1-床面		頁岩	新第三	U.F.	3辺使用痕、裏礫面	3.8	5.3	1.6	36.7
223	44J1	44K1-22	12	チャート		R.F.	2辺二次加工痕、1辺使用痕、石錐等未製品・破損品の可能性	2.3	1.5	0.4	1.42
224	44J1	44K1-17	121	チャート		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕、押圧剥離、石錐未製品の可能性	2.7	1.8	0.9	2.89
225	44J1	44K1-EA-2	36	頁岩	新第三	U.F.	4辺使用痕	4.8	5.5	2.2	36.46
226	44J1	44K1-EA-最下層-5区		頁岩	古期	U.F.	3辺使用痕	3.9	3.4	0.9	9.9
227	44J1	44K1-19	276	流紋岩		U.F.	2辺使用痕	5.6	3.9	1.7	20.9
B1	44J1	44K1-サブトレ-下層				U.F.	3辺使用痕・微小剥離、裏礫面	10.4	5.4	2.2	実物不明
228	44J1	44K1-18	289	頁岩	新第三	コア	剥片剥離時の敲打痕・微小剥離、1辺使用痕?	3.8	4.2	2.7	48.95
229	44J1	44K1-7	132	チャート		R.F.	1辺二次加工痕	3	1.7	1.2	7.4
230	44J1	44K1-1-4区		チャート		U.F.	1辺使用痕	2.2	3	1.4	9.02
231	44J1	44K1-EA		チャート		U.F.	1辺使用痕	2	2.8	0.9	3.66
232	44J1	44K1-EA		チャート		R.F.	1辺二次加工痕・使用痕	2.9	1.8	0.7	3.45
233	44J1	44K1-SA-2		チャート		R.F.	1辺二次加工痕、1辺使用痕	2.7	3	0.8	8.17
234	44J1	44K1-16	494	チャート		R.F.	1辺二次加工痕	4.5	2.7	2.1	21.22
235	44J1	44K1-表採		チャート		U.F.	2辺使用痕	2.9	1.9	1.5	9.72
236	44J1	44K1-床面		チャート		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	2.7	2.5	0.7	4.3
237	44J1	44K1-床面		チャート		U.F.	2辺使用痕	3.1	2.7	0.8	8.13
238	44J1	44K1-床面		珪化岩		U.F.	2辺使用痕	3.2	3	1	10.91
239	44J1	44K1-18	348	頁岩	新第三	U.F.	2辺使用痕、一部辺～面敲打?	3.6	5.5	2.1	26.69
240	44J1	44K1-13	136	デイスait		U.F.	2辺使用痕	5.2	3.5	1.1	14.99
241	44J1	44K1-表採		デイスait		U.F.	3辺使用痕	2.7	4.1	1	8.63
242	44J1	44K1-8	138	珪化岩	緑色	Fl	加工無し、チップに近い	1.2	1.6	1.1	1.93
243	44J1	44K1-16-18区		デイスait質凝灰岩		U.F.	2辺使用痕、下端風化剥離面	5.2	2.8	0.7	7.42
244	44J1	44K1-SA-4	286	チャート		R.F.	2辺二次加工痕、3辺使用痕	4.8	2.3	0.7	5.62
245	44J1	44K1-20	123	頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	1.9	4	0.8	5.38
246	44J1	44K1-20-11区		頁岩	古期	R.F.	2辺二次加工痕、2辺使用痕、上位欠損?	2.5	3.3	0.8	9.19
247	44J1	44K1-EA-1	23	頁岩	古期	R.F.orSc	3辺二次加工痕、一部両面で丁寧な二次加工、上位欠損?ポイント一部の可能性もあり?	1.6	2	0.8	3.11
248	44J1	44K1-22-2区		珪化岩	赤玉	R.F.or石錐・石錐未製品	2辺二次加工痕・使用痕	2.6	1.9	0.6	2.85
249	44J1	44K1-16	476	チャート		U.F.	3辺使用痕	2.5	3	1	7.24
250	44J1	44K1-19	69	頁岩	古期	R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	2.4	3.8	0.7	6.78
251	44J1	44K1-SA-5	330	砂質頁岩	古期	U.F.	3辺使用痕	3.3	5.2	0.9	16.85
252	44J1	44K1-床面		チャート	黄玉	R.F.	2辺二次加工痕、3辺使用痕	3	2.6	1.6	10.93
253	44J1	44K1-床面		頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕、下端欠損?	2.7	1.8	0.6	1.79
254	44J1	44K1-SA-4		チャート		U.F.	2辺使用痕	2.9	2	1.2	10.43
255	44J1	44K1-SA-5		チャート		R.F.	2辺二次加工痕、2辺使用痕、二次加工は粗い剥離加工	1.8	2.7	0.6	2.97
256	44J1	44K1-EA-2	42	チャート		U.F.	3辺使用痕	3.3	3.2	1	12.52
257	44J1	44K1-床面		頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	2.1	3.1	1.4	5.64
258	44J1	44K1-SA-4	274	チャート		U.F.	1辺使用痕	1.8	3.4	1.4	8.04
259	44J1	44K1-19	162	チャート	赤色チャート	R.F.or石錐・石錐未製品	2辺二次加工痕、両極剥片か	3.5	1.6	0.8	3.51
260	44J1	44K1-床面		チャート		R.F.or石錐・石錐未製品	3辺二次加工痕、一部両面加工	3	2.1	0.9	6.67
261	44J1	44K1-17-7区		チャート		R.F.or石錐・石錐未製品	2辺二次加工痕、2辺使用痕、両極剥片?	1.8	2.4	0.7	2.84
262	44J1	44K1-18	44	チャート		U.F.	2辺使用痕、刃部状、大形剥片素材	4.4	5.4	1.5	38.88
263	44J1	44K1-S2	49	チャート		R.F.	2辺二次加工痕、3辺使用痕、両極剥片	1.7	3.5	1.3	7.48
264	44J1	44K1-12-18区		頁岩	古期	R.F.	1辺二次加工痕、3辺使用痕	3.6	5.9	1.6	29.53
265	44J1	44K1-最下層		頁岩	古期	R.F.or石錐未製品	2辺二次加工痕、2辺使用痕	1.4	4.3	0.9	6.18
266	44J1	44K1-16	96	チャート	赤色チャート	R.F.(未製品?) or R.F.	3辺二次加工痕、1辺使用痕	3	1.8	0.8	4.36
267	44J1	44K1-13-1区		チャート		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	2.4	3.2	0.5	4.09
268	44J1	44K1-17	65	チャート		R.F.	2辺二次加工痕、2辺使用痕	2.6	1.3	0.7	1.58
269	44J1	44K1-17	245	頁岩	新第三	U.F.	3辺使用痕	3.8	4.3	1.1	18.2
270	44J1	44K1-SA-3		チャート		U.F.	2辺使用痕	3.1	4.7	1.1	10.49
271	44J1	44K1-SA-2		チャート		U.F.	2辺使用痕	3.2	1.8	1	5.32
272	44J1	44K1-16	490	輝石安山岩		Fl	加工無し	5.5	1.8	0.8	
273	44J1	44K1-18	191	頁岩	古期	R.F.	1辺二次加工痕一部・使用痕、両極剥片	3	3.8	1.4	15.6
274	44J1	44K1-18	183	チャート		R.F.	1辺二次加工痕一部、3辺使用痕	3.4	4.2	0.9	11.2
275	44J1	44K1-3	32	玉髄		U.F.	1辺使用痕	1.7	1.5	0.4	0.79
276	44J1	44K1-19	285	頁岩	古期	U.F.orFl	1辺使用痕?不明瞭	1.7	2	0.3	1.02
277	44J1	44K1-19	347	チャート		U.F.	3辺使用痕	2.8	4.4	1	8.18
278	44J1	44K1-N-2		チャート		R.F.or石錐未製品	2辺二次加工痕一部両面加工	3.9	2.3	0.9	6.3
279	44J1	44K1-3	66	チャート		U.F.	2辺使用痕、両極剥片?	1.8	2.6	0.7	3.44
280	44J1	44K1-22	36	チャート		U.F.	2辺使用痕	3	2.1	1	3.66
281	44J1	44K1-床面		チャート		U.F.	4辺使用痕	1.9	3.1	1.4	9.51
282	44J1	44K1-21-22区		チャート		U.F.	4辺使用痕	4.3	3.5	1	13.82
283	44J1	44K1-1-24区		頁岩	古期	U.F.	3辺使用痕	2.1	3.1	0.6	3.92
284	44J1	44K1-8	124	チャート		R.F.	3辺二次加工痕、2辺使用痕	2.8	3.6	0.7	10.31
285	44J1	44K1-19	61	チャート		Fl	加工無し	1.6	3.2	1	3.99
286	44J1	44K1-16	164	泥質チャート		U.F.	2辺使用痕	2.2	3	0.9	5.56
287	44J1	44K1-22-12区		チャート		U.F.	2辺使用痕	1.9	4	1.2	6.98
288	44J1	44K1-16-7区		頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	3.5	2.6	0.8	5.19
289	44J1	44K1-床面	15	チャート		U.F.	1辺使用痕、やや細かい剥離は加工ではない、両極剥片	1.8	2.4	1.6	4.53
290	44J1	44K0-WA		頁岩	古期	R.F.or石錐未製品	2辺二次加工痕一辺片面、別1辺使用痕	2.6	3.6	0.7	5.17
291	44J1	44K1-床面		流紋岩		R.F.orU.F.	1辺二次加工痕・使用痕、やや粗い二次加工	3.5	4.8	1	16.75
292	44J1	44K1-14-7区		チャート		U.F.	1辺使用痕?不明瞭	3.2	3.3	1.5	19.19
293	44J1	44K1-2	58	変質流紋岩	赤玉様	U.F.	2辺使用痕?不明瞭	2.4	3.7	0.8	7.29
294	44J1	44K1-16	302	チャート		U.F.	2辺使用痕	1.9	2	0.9	3.92
295	44J1	44K1-EA-1	24	頁岩	古期	U.F.	3辺使用痕	2.8	4.9	1.5	17.82
296	44J1	44K1-S4	261	チャート		U.F.	2辺使用痕	3.3	2.2	0.4	3.28
297	44J1	44K1-床面	19	チャート		U.F.	2辺使用痕	4.3	3.6	0.6	5.98
298	44J1	44K1-SK36		チャート		R.F.	1辺二次加工痕わずか、1辺使用痕	4.6	2.7	1.6	15.87
299	44J1	44K1-2	4s	チャート		U.F.	2辺使用痕、両極剥片	3.3	3	0.7	8.78
300	44J1	44K1-SA-4		風化チャート		Fl	加工無し	1.8	1.2	0.3	0.58
301	44J1	44K1-床面		頁岩	古期	U.F.orFl.orCore	2辺使用痕、不明瞭	3.7	3	1.9	21.3
302	44J1	44K1-SA-4		泥質チャート		U.F.	2辺使用痕、一部二次加工に近い?	4.7	3.4	1.7	27.94
303	44J1	44K1-17	228	チャート		U.F.	2辺使用痕	2.6	3.6	1.3	6.79
304	44J1	44K0-5	58	チャート		U.F.	1辺使用痕	2.1	2.2	0.7	2.73
305	44J1	44K1-20	252	頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	3.6	4.5	0.8	12.16
306	44J1	44K1-床面		頁岩	古期	U.F.	1辺使用痕わずか	2.7	3.8	1	6.13

第29表剥片石器類

No.	新グリッド	遺構・グリッド	No.	石材鑑定	備考	機種	観察	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	
307	44J1	44K1-床面		頁岩	古期	U.F.	1辺使用痕	2.6	4.8	1.3	17.29	
308	44J1	44K1-床面		頁岩	古期	U.F.	1辺使用痕	3.8	1.5	0.9	3.7	
309	44J1	44K1-S-3	151	頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	2.2	2.3	0.8	3.74	
310	44J1	44K1-21	159	玉髓		R.F.or石髄未製品	2辺二次加工痕一部両面加工	3.1	1.4	0.6	2.69	
311	44J1	44K1-17-3区		頁岩	古期	R.F.orSc	押圧二次加工痕両面、2辺使用痕	2.7	4.5	0.9	11.18	
312	44J1	44K1-17-7区		頁岩	古期	石髄未製品	押圧剥離一部両面、片面やや粗い加工、基部折れ?	2.2	2.1	0.7	3.61	
313	44J1	44K1-13-19区		チャート		U.F.	2辺使用痕わずか	2.5	2	0.4	1.68	
314	44J1	44K1-15	36	チャート	赤色チャート	R.F.or石髄未製品	2辺二次加工痕、2辺使用痕	2.5	1.8	0.8	3.08	
315	44J1	44K1-11	142	チャート		石髄未製品?	3辺二次加工痕、一部両面加工、基部入念	4.7	2	1.3	9.82	写真
316	44J1	44K1-12	129	玉髓		石髄未製品orR.F.	縁辺全周両面二次加工押圧剥離	2.6	1.5	0.4	1.93	写真
317	44J1	44K1-6	75	珪化岩	赤玉	石髄or石髄	縁辺ほぼ全周両面二次加工押圧剥離	1.9	1.5	0.4	1.18	
318	44J1	44K1-3	43	風化流紋岩		R.F.	2辺二次加工痕、2辺使用痕	3.2	2.2	0.7	4.76	
319	44J1	44K1-13	134	チャート		U.F.	2辺使用痕	3.6	2.2	0.9	7.02	
320	44J1	44K1-10-18区		玉髓		石髄未製品orR.F.	2辺二次加工痕、1辺使用痕、転用?	2.2	1.3	0.7	1.84	写真
321	44J1	44K1-3	3	玉髓		U.F.	2辺使用痕	1.4	1.9	0.4	1.14	
322	44J1	44K1-3	80	チャート		U.F.	4辺使用痕	1.9	4.4	1.4	8.32	
323	44J1	44K1-裏探		チャート		石髄未製品orR.F.	縁辺表面全周、裏2辺両面二次加工押圧剥離	2.3	1.7	0.6	2.39	
324	44J1	44K1-4	139	玉髓		U.F.orピエス	2辺使用痕、両極剥片	2.1	2.4	0.5	2.76	
325	44J1	44K1-19	75	玉髓		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	1.9	2.4	0.4	1.46	
326	44J1	44K1-10-18区		玉髓		U.F.	2辺使用痕	2.4	2.9	0.9	6.26	
327	44J1	44K1-19	355	玉髓		R.F.	1辺二次加工痕、1辺使用痕	2.6	1.7	0.9	2.75	
328	44J1	44K1-19	301	玉髓		U.F.	1辺使用痕	1.6	2.1	0.3	1.06	
329	44J1	44K1-19	172	玉髓	メノウ	R.F.	1辺二次加工痕粗い、1辺使用痕	2.5	3.4	1	6.87	
330	44J1	44K1-S-3	148	玉髓		U.F.	2辺使用痕	3.7	2.6	1.5	10.79	
331	44J1	44K1-S-2	54	玉髓		R.F.	2辺二次加工痕、2辺使用痕	2.2	2.6	1.1	4.9	
332	44J1	44K1-22	6	玉髓		石髄未製品	2辺二次加工痕両面、基部近く加工ない、下方欠損	2.5	2.1	0.7	2.61	写真
333	44J1	44K1-20	13	チャート	赤色チャート	R.F.	2辺二次加工痕	1.6	3.8	1.3	6.64	
334	44J1	44K1-20	13	珪化岩	赤玉	U.F.	1辺使用痕	2.1	1.3	0.4	1.27	
335	44J1	44K1-17	207	珪化岩	赤玉	R.F.	1辺二次加工痕・使用痕	2.5	4.2	1	9.66	
336	44J1	44K1-13-18区		チャート		U.F.	1辺使用痕	2.1	2.7	0.7	4.29	
337	44J1	44K1-床面		玉髓		U.F.	2辺使用痕、刃部鈍角	5.8	6.5	1.2	52.01	
338	44J1	44K1-S-4	244	チャート		U.F.	2辺使用痕	3.7	5.8	2.1	34.89	
339	44J1	44K1-N-5	264	頁岩	古期	R.F.orSc	2辺二次加工痕、3辺使用痕	4.2	6.2	1.5	34.13	340-343薄手大形のU
340	44J1	44K1-5	134	頁岩	古期	U.F.	3辺使用痕	5.1	6.8	1.3	38.58	
341	44J1	44K1-19	354	頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	5.5	5.5	1.7	47.41	
342	44J1	44K1-18	68	頁岩	古期	U.F.	3辺使用痕	8.5	7.2	1	59.41	
343	44J1	44K1-22	25	頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	8.3	6.7	1.6	68.99	
344	44J1	44K1-16	149	チャート		コア	目的的剥片剥離か不明?	3.7	4.7	3.7	74.76	
345	44J1	44K1-19	249	泥質チャート		コア	不定方向の剥離、残核?	3.9	5.4	3.6	74.43	
346	44J1	44K1-13	101	頁岩	古期	コア	数カ所の剥離、残核?	4.3	4.6	3	50.65	
347	44J1	44K1-20	28	チャート		コアor剥離のある様	剥片剥離-2カ所、残核?	3.4	4.7	3.6	55.29	
348	44J1	44K1-サブトレ下層		頁岩	古期	U.F.	3辺使用痕	5.3	10.3	2.1	92.74	
349	44J2	44K2-N-2	73	チャート		R.F.	2辺二次加工痕、2辺使用痕	3.2	2.6	1.1	7.97	
350	44J2	44K2-16-2区		泥質チャート		U.F.	1辺使用痕、裏風化節理面	2.7	2.5	0.8	5.53	
351	44J2	44K2-17	90	チャート		U.F.	1辺使用痕	2	2	0.5	2.23	
352	44J2	44K2-17	14	チャート		R.F.	1辺二次加工痕	2	1.9	1.2	5.23	
353	44J2	44K2-15	172	珪化頁岩	赤玉室	R.F.	1辺二次加工痕・使用痕、加工一部不明瞭	1.4	2.8	1.2	3.76	
354	44J2	44K2-15	11	チャート		R.F.	2辺二次加工痕、3辺使用痕	2.7	3.6	1	9.78	
355	44J2	44K2-9-12区		チャート		U.F.	1辺使用痕	1.6	2.3	0.6	2.6	
356	44J2	44K2-12-3区		頁岩	古期	U.F.	1辺使用痕	3.3	4.7	1.6	21.07	
357	44J2	44K2-11	164	チャート		R.F.or石髄未製品	2辺二次加工痕、2辺使用痕、端部鋭角に尖る、不明な剥離あり	3.2	2.5	1.4	9.33	
358	44J2	44K2-12	99	(チャート)		U.F.	2辺使用痕	2.4	2.3	0.6	3.75	
359	44J2	44K2-11	142	(チャート)		R.F.	1辺二次加工痕・使用痕、コアに近い厚み	2.6	4	1.7	18.68	
360	44J2	44K2-3	105	(玉髓)		R.F.or石髄未製品	3辺二次加工痕両面2辺、1辺使用痕、押圧剥離主に片面	1.9	2.4	0.9	3.75	
361	44J2	44K2-7-4区		(鉄石英)		石髄(未製品?) orR.F.orSc	3辺二次加工痕両面2辺	3.1	2.3	1	5.07	
362	44J2	44K2-20-8区		(頁岩)		R.F.orピエス	1辺二次加工痕、2辺使用痕	2.4	2.6	1.1	5.64	
363	44J2	44K2-NH-3	338	(チャート)		R.F.orSc	3辺二次加工痕、3辺使用痕	1.1	3.6	0.9	7.54	
364	44J2	44K2-3	107			R.F.	1辺二次加工痕一部片面、全周使用痕	1.6	3.6	0.9	6.97	
365	44J2	44K2-17	69	(頁岩)		R.F.orピエス	3辺二次加工痕、1辺使用痕、両極剥片?	2.3	1.9	1	3.87	
366	44J2	44K2-4	16	(玉髓)		石髄or石髄未orR.F.	2辺二次加工痕、一部片面の押圧剥離	2.6	1.6	0.8	2.87	
367	44J2	44K2-8	120	(チャート)		R.F.	1辺二次加工痕・使用痕	1.7	2	1.9	8.67	
368	44J2	44K2-15	75	(チャート)		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	3.3	4.6	0.7	11.13	
369	44J2	44K2-1-7区		(チャート)		U.F.	3辺使用痕	2.9	5	1.3	15.63	
370	44J2	44K2-19	8	(鉄石英?)		R.F.	1辺二次加工痕やや粗い、2辺使用痕	3.4	3.3	0.9	10.58	
371	44J2	44K2-2	135			U.F.	2辺使用痕	4.3	4	1.2	15.48	
372	44J2	44K2-1-24区		(泥質チャート)		R.F.	1辺二次加工痕両面、1辺使用痕	2.5	3.4	0.9	5.17	
373	44J2	44K2-15	23			U.F.	2辺使用痕	3.8	2.8	0.6	6.58	
374	44J2	44K2-最下層		(泥質チャート)		U.F.	3辺使用痕	3.1	3.9	1.2	17.36	
375	44J2	44K2-N-5	464	(チャート)		U.F.	1辺使用痕、側面折れ?	2.7	4	0.7	6.16	
376	44J2	44K2-6	212	(頁岩)		石髄or石髄、未?	破損品?全周表裏二次加工押圧剥離、上下端欠損折れ	3.2	1.5	0.6	3.07	写真
377	44J2	44K2-9	155	(泥質チャート)		U.F.	1辺使用痕	2.2	4.3	0.8	5.92	
378	44J2	44K2-11-4区		(泥質チャート)		ピエスorR.F.	2辺二次加工痕・使用痕、両極剥片?	2.8	2.8	1	9.63	写真
379	44J2	44K2-11-13区		(流紋岩?)		R.F.	2辺二次加工痕粗い加工で1辺は片面、1辺使用痕	3.9	2.2	0.7	6.44	
380	44J2	44K2-15-1区		(流紋岩?)		R.F.	2辺二次加工痕粗い加工、1辺使用痕	2.6	3.8	1.5	13.01	
381	44J2	44K2-6	95			U.F.	1辺使用痕、粗い剥離はあり	1.9	3.5	1	5.78	
382	44J2	44K2-12	78	(チャート)		U.F.	1辺使用痕	1.7	3.4	0.6	3.46	
383	44J2	44K2-15-1区		(泥質チャート)		U.F.	3辺使用痕、一部二次加工に近いところあり、両極剥片	2.2	3.2	1.4	7.81	
384	44J2	44K2-9-12区		(鉄石英?)		U.F.	2辺使用痕	1.8	2.2	0.4	2.19	
385	44J2	44K2-5-13区		(流紋岩?)		R.F.orSc	4辺二次加工痕、2辺使用痕	4.3	4.4	0.7	14.55	
386	44J2	44K2-10-12区		(チャート)		U.F.	4辺使用痕	3.1	4.5	1	10.93	
387	44J2	44K2-6	80	(チャート)		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	3	2.3	1.7	12.96	
388	44J2	44K2-17	1			U.F.	1辺使用痕	3.3	5.1	1.7	28	
389	44J2	44K2-15	62			U.F.	2辺使用痕	2.7	5	1.2	18.72	
390	44J2	44K2-9	78			U.F.	1辺使用痕わずか、両極剥片?	2.2	1.7	0.6	1.57	
391	44J2	44K2-5-8区				U.F.	1辺使用痕	2.2	1.2	0.4	0.7	
392	44J2	44K2-9	64			U.F.	1辺使用痕	4.9	3.8	1.2	14.23	
393	44J2	44K2-11-4区				U.F.	2辺使用痕	2.8	2.2	0.9	4.47	
394	44J2	44K2-6	149	(玉髓)		U.F.	1辺使用痕、1辺一部二次加工?	1.4	1.5	0.3	0.42	旧石髄338
395	44J2	44K2-9	221			U.F.	1辺使用痕、両極剥片	2.4	4.5	0.9	9.77	
396	44J2	44K2-12-12区				R.F.	2辺二次加工痕、1辺使用痕	3.2	2.8	0.8	8.16	
397	44J2	44K2-15-8区		(チャート)		U.F.orピエス	2辺使用痕、両極、二次加工無い	2	2.9	0.7	3.86	
398	44J2	44K2-15-3区		(チャート)		U.F.	2辺使用痕	2.2	1.3	0.4	1.1	
399	44J2	44K2-8	313			R.F.orR.F.	2辺使用痕、二次加工に近い剥離による辺に使用痕	3.2	3	1.4	13.39	
400	44J2	44K2-9	60			U.F.	1辺使用痕	2.4	4.8	1.3	12.81	
401	44J2	44K2-15-2区				ピエス	1辺二次加工痕・使用痕	2.8	3.2	1.3	12.66	
402	44J2	44K2-11-12区				U.F.	2辺使用痕	4.6	4.7	1	16.14	
403	44J2	44K2-9	82			U.F.	2辺使用痕	2.8	4.3	0.9	14.69	
404	44J2	44K2-15	89			U.F.orコア	1辺使用痕、1辺顕著	3.8	5.1	2.6	44.52	
405	44J2	44K2-12	46			U.F.	2辺使用痕	7.3	3.5	1.5	32.23	
406	44J2	44K2-12-11区		(チャート)		コア	加工無し、数方向の剥片剥離	2.2	3.5	2.2	19.02	
407	44J2	44K2-11	110			U.F.	加工無し	6.1	4.9	2.2	49.48	
408	44J2	44K2-6	87	(チャート)		コア	加工無し、数方向の剥片剥離	4	6.2	3.9	112.3	

第29表剥片石器類

No.	新グリッド	遺構・グリッド	No.	石材鑑定	備考	機種	観察	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
409	14J2	14K2-15	83	(チャート)		コア	加工無し	3.7	6	2.9	90.18
410	14J2	14K2-12	161			U.F.	1辺使用痕わずか	6.3	9.2	3.7	238.6
411	14J3	14K3-7-7区		チャート		U.F.	1辺使用痕	1.4	2.8	0.6	2.2
412	14J3	14K3-表採		流紋岩		R.F.	1辺二次加工痕、3辺使用痕	3.5	4.7	1.3	14.75
413	14J3	14K3-表採		頁岩	古期	U.F.	1辺使用痕	3	2.8	1.8	22
414	14J3	14K3	123	泥質チャート		U.F.	1辺使用痕	2.5	5.3	1	10.6
415	14J3	14K3-8	3	泥質チャート		U.F.	3辺使用痕	4.2	7.2	1.6	38.88
416	15I7	15J7-カクラン-2		変質流紋岩	緑色	剥離のある様	加工無し、剥片剥離あるが、コアとは判断不可	5.5	4.5	2.3	80.62
417	15I8	15J8-表採		頁岩	古期	R.F.orU.F.	2辺使用痕、二次加工わずか	2.9	3.5	1.4	14.81
418	15I8	15J8付近カクラン		変質流紋岩	赤色	R.F.orピエス	2辺二次加工痕、3辺使用痕、両極剥片	4.1	3.5	1.3	16.66
419	15I8	15J8付近カクラン		流紋岩		コア?	加工無し、数方向の剥片剥離	4.8	4	4.2	103.3
420	15I9	15J9-表採		チャート		R.F.orSc	2辺二次加工痕、両面近い	3.1	2.1	0.6	6
421	15I9	15J9-表採		泥質チャート		R.F.	1辺二次加工痕、1辺使用痕、石鏝・石錐未製品の可能性	2.1	1.1	0.5	1.04
422	15I9	15J9-3	81	変質流紋岩	赤色	U.F.	4辺使用痕	3.5	4.2	1.2	11.31
423	15I9	15J9-2-21区		珪化岩	赤玉石	R.F.or石鏝未製品	1辺二次加工痕わずか、2辺使用痕	2.1	1.8	0.5	2.17
424	15I9	15J9-2	3	頁岩		U.F.	1辺使用痕、両極剥片? 二次加工に近い剥離あり	5.5	4.8	2	31.29
425	15I9	15J9-表採		チャート		R.F.	1辺二次加工痕・使用痕	2	1.8	0.5	1.76
426	15I9	15J9-表採		泥質チャート		U.F.orコア	1辺使用痕、縁辺剥片剥離数方向でコア残核を使用か	3.3	4.4	1.8	23.67
427	15I9	15J9-3	317	チャート		U.F.	2辺使用痕	2.5	5.2	1.1	10.15
428	15I9	15J9-3-12区		チャート		R.F.	2辺二次加工痕、1辺使用痕	2.9	3.9	0.9	12.15
429	15I9	15J9-3	228	泥質チャート		U.F.	1辺使用痕	2.6	3.2	0.8	7.19
430	15I9	15J9-3-10区		チャート		U.F.	1辺使用痕	2.9	2	1.4	9.09
431	15I9	15J9-2-5区		チャート	緑色	R.F.	3辺使用痕	1.8	3.7	1.2	7.75
432	15I9	15J9-2-22区		泥質チャート		R.F.	2辺二次加工痕、1辺使用痕	1.4	3.1	0.7	2.82
433	15I9	15J9-3	365	流紋岩		U.F.	3辺使用痕	2.2	2.5	0.4	1.85
434	15I9	15J9-表採		流紋岩		U.F.	1辺使用痕	1.9	2.6	0.7	2.7
435	15I9	15J9-表採		チャート		石鏝未製品or欠	全辺両面押圧剥離、下方折れまたは完成品?	1.9	1.5	0.4	0.99
436	15I9	15J9-2	64	玉鏝		石鏝	2辺二次加工痕、両面近い	3.4	2.8	1.5	10.97
437	15I9	15J9-2-7区		チャート		R.F.or石鏝未製品	1辺二次加工痕、3辺使用痕	4.6	1.8	1.2	7.88
438	15I9	15J9-表採		チャート		R.F.orピエス	2辺二次加工痕、3辺使用痕	2.7	2.3	1	6.27
439	15I9	15J9-表採		チャート		U.F.orコア	1辺使用痕不明瞭	3.3	1.8	1.7	11.67
440	15I9	15J9-表採		チャート		R.F.orピエス	1辺二次加工痕、2辺使用痕	2.3	3.7	1.2	12.21
441	15I9	15J9-表採		チャート		U.F.	2辺使用痕	2.1	2.4	0.9	4.56
442	15I9	15J9-表採		流紋岩		打製石斧片	2辺二次加工痕、2辺使用痕、右・下方欠損	4.9	5.8	1.6	34.37
443	15I9	15J9-2-18区		泥質チャート		U.F.	2辺使用痕	3.6	4	1.6	19.65
444	15I9	15J9-3	366	泥質チャート		コア	1辺使用痕	4.8	3.6	1.8	36.76
445	15I9	15J9-2-16区		泥質チャート		コア	数力所の剥離、残核?	2.6	4.3	2.1	30.55
446	15I9	15J9-3	62	流紋岩	珪化している?	コア	数力所の剥離、残核?	4.3	4.9	3.3	77.55
447	15I9	15J9-3	330	チャート		U.F.orコア	1辺使用痕、残核使用? 剥離敲打時の痕跡?	4.6	9.5	4.3	164
448	15J1	15K1-3	18	チャート		石鏝未製品or欠	ほぼ全辺両面押圧剥離、一部不明瞭、一部摩滅	2.2	1.4	0.4	1.22
449	15J0	15K0-3	7	玉鏝	良質	U.F.	1辺使用痕	1.3	2.4	0.9	2.73
450	15J1	15K1-2-23区		チャート		石鏝欠損?	押圧剥離全周両面ではない、非対称、未製品?	2.4	1.7	0.7	2.34
451	15J0	15K0-3	27	泥質チャート		U.F.	2辺使用痕	2.5	4.2	0.8	8.9
452	15J2	15K2-1-13区		チャート		U.F.	1辺使用痕	1.8	2.4	0.6	2.11
453	15J2	15K2-1-17区		チャート		U.F.	3辺使用痕	2.3	2.4	0.4	3
454	15J2	15K2-表採		頁岩	新第三	U.F.	1辺使用痕	3.1	3	0.7	4.62
455	15J2	15K2-表採		頁岩	古期	R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕、両極剥片	2.6	5.1	1.1	13.95
456	15J2	15K2-表採		泥質チャート		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	1.9	1.9	0.4	1.36
457	15J2	15K2-1-17区		チャート		U.F.orFl	1辺使用痕? 剥離は非目的的吗	1.9	3.3	1	5.16
458	15J2	15K2-表採		チャート		U.F.	2辺使用痕	2.9	4.8	0.9	11.98
459	15J2	15K2-4	34	流紋岩	珪化している?	R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	2.2	4.4	1.7	12.68
460	15J2	15K2-最下層-2区		変質流紋岩	緑色	R.F.	1辺二次加工痕・使用痕	2.6	5.5	1.6	26.66
461	16I7	16J7-8		チャート		U.F.	2辺使用痕	2.2	2.7	0.8	3.9
462	16I7	16J7-10	S89	玉鏝		R.F.or石鏝未製品	2辺二次加工痕、下方折れ?	2.5	2.8	1.6	10.59
463	16I7	16J7	S5	泥質チャート	緑色	U.F.	1辺使用痕	2	1	1.1	2.65
464	16I7	16J7-S^1	S208	チャート		U.F.	2辺使用痕	1.8	1.3	0.5	0.99
465	16I7	16J7-8-23区		頁岩	古期	U.F.	1辺使用痕、二次加工に近い大きな剥離加工隣接部を使	2.7	3.9	1.4	12.05
466	16I7	16J7-4-17区		流紋岩		U.F.	2辺使用痕わずか	2.4	3.2	1.2	8.41
467	16I8	16J8-2	9	頁岩	古期	U.F.	2辺使用痕	2.6	4.3	1.4	13.95
468	16I8	16J8-S^1	13	流紋岩		U.F.	3辺使用痕	5.9	6	1.6	54.12
469	16I9	16J9-4		脈石英		Fl	1片使用痕の可能性あるが、結晶化で不明	3	5.5	1.4	23.87
470	16I9	16J9-7	12	玉鏝		Fl	加工無し	1.7	2.8	0.9	6.41
471	16I9	16J9-2	28	チャート		U.F.	2辺使用痕	3.3	3.8	0.8	10.36
472	16J0	16K0-6	127	泥質チャート		R.F.	2辺二次加工痕、2辺使用痕	2.8	2.6	1.1	7.44
473	16J0	16K0-1-19区		泥質チャート		石鏝未orR.F.	3辺二次加工痕、一部両面加工	2.7	1.5	0.8	2.84
474	16J0	16K0-5	26	流紋岩		U.F.	3辺使用痕	6.7	7.1	1.8	55.66
475	16J1	16K1-S^1		チャート		U.F.	2辺二次加工痕、押圧剥離両面及び片面	2.6	1.3	0.8	3.21
476	16J1	16K1-8-22区		流紋岩		R.F.	1辺二次加工痕・使用痕、両極剥片?	1.9	4.1	2.1	6.78
477	16J1	16K1-S^2		頁岩	古期	R.F.	1辺二次加工痕、3辺使用痕、被熱	3.3	5	1.3	20.95
478	16J1	16K1-4	150	泥質チャート		U.F.	1辺使用痕	3.4	2.2	1.2	7.95
479	16J1	16K1-N^1-5	129	チャート	緑色	剥離のある様	敲打痕あり、剥離できないで放棄か、コア?	5.2	6.7	3.6	130.5
480	16J1	16K1-N^1	129	無斑晶ガラス質安山岩		U.F.	3辺使用痕	5.8	7.6	1.8	78.72
481	17I9	17J9-S^1-1	31	泥質チャート		U.F.	2辺使用痕	4.1	5.3	1.3	21.69
482	17J0	17K0-1	64	チャート		R.F.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	3.1	4.1	0.9	12.99
483	17J0	17K0-W^1-3	144	チャート		U.F.	3辺使用痕	3.9	4.3	0.5	10.11
484	17J1	17K1-W-2	39	チャート		U.F.	2辺使用痕	3.3	6.2	1.7	40.77
485	17J1	17K1-N1-サブベ-1.1-10区	11	変質流紋岩	緑色	U.F.	2辺使用痕	6.2	5.1	1.9	52.63
486	14J0	14K0-16	75	チャート		U.F.	4辺使用痕	5	4.4	1.1	28.45
487	14J0	14K0-6	231	泥質チャート		U.F.	2辺使用痕	3.5	5.7	1.4	18.25
488	14J0	14K0-6	17	泥質チャート		U.F.	2辺使用痕	4.1	4.3	1.1	6.44
489	13I5	13J5-表採		流紋岩		Sc	全周二次加工、やや大きめの剥離だがいずれの辺も刃部	8.4	4	2.5	94.7
490	13I7	13J7-3-1区? 10		変質チャート		打製石斧orSc	2辺二次加工痕、1辺使用痕、左側縁中央敲打痕	9.6	4.8	1.4	71.67
491	14J0	14K0-11	283	流紋岩質溶結凝灰岩	古期	砥石or擦痕ある様	表裏磨面、下辺若干敲打	13.5	3.6	1.3	62.87
492	14J1	14K1-17	55	泥質チャート		R.F.or機器	1辺二次加工痕・使用痕	4.7	3.3	1.6	29.85
493	14J2	14K2-17	95			敲打or剥離のある様	敲打2辺、1辺は入念、他1辺は剥離時の痕か	5	5.1	3	
494	14J2	14K2	44	チャート		敲打	敲打3辺(3カ所)、非目的的吗	3.4	3.7	?	46.09
495	14I8	14J8-5区-カクラン		ドレライト		磨石or機器	表裏+左側面磨面、左方の剥離は刃部状、下方欠損	10.2	8.5	2.8	345.4
496	14I8	14J8-10区-カクラン		泥質チャート		打製石斧orSc	両面剥離加工、左右側縁中央敲打、下辺刃部一部使用	9.5	5.1	3.2	127.9
497	14I8	14J8-5区-カクラン		泥質チャート		U.F.	2辺使用痕	6.6	5.5	1.6	30.95
498	15I5	15J5-表採		砂岩	古期	砥石片or磨石片	表裏擦痕、一部筋状磨痕、被熱	2.2	3.2	1.1	11.02
499	15I7	15J7-カクラン-2		チャート		U.F.	3辺使用痕、うち1片は顕著	8.6	10.1	2.9	189.2
500	16J0	16K0-2	311	ホルンフェルス		R.F.orSc.or機器	2辺二次加工痕、1辺使用痕	11	9.5	3.9	404.9
501	16J1	16K1-N^1-2	76			敲打orU.F.	1辺使用痕少し摩滅、2カ所敲打	9.2	6	3	
502	16J0	16K0-4	258	輝石チャート	新第三	砥石or磨石	表裏磨面	8.2	7.9	1.4	124.3
503	T1	T-1表採		重晶石ホルンフェルス		U.F.	2辺使用痕、裏面少し擦れ	10.4	3.9	2.2	84.97
504	SI03	SI03-4	200	チャート		U.F.	1辺使用痕わずか	4.5	1.7	0.8	6.28
505	SI03	SI03-8	180	チャート		石鏝or石錐未製	2辺二次加工痕、押圧剥離両面及び片面	4	1.2	0.7	3.99
506	18I7	18J7-1、SD-9	45	玉鏝		石鏝未製品or欠	左右側縁押圧剥離、左丁字、下方欠損	3.3	1.2	0.7	2.25
507	14J0	14K0-11		玉鏝		石鏝未製品?	側縁・基部押圧剥離加工、基部近くや加工少ないところ	1.8	1.2	0.3	0.6
508	14J2	14K2-8	93	泥質チャート		石鏝	上下欠損、有蓋、全周押圧剥離	1.3	1.7	0.4	1.06
509	14J0	14K0-4	146	玉鏝		石鏝未製品?	側縁・基部押圧剥離加工、一側縁の裏面加工なし	1.7	1.4	0.3	0.65
510	14J0	14K0-5	124	珪化流紋岩		石鏝or石錐	上下欠損、完成品? 側縁4辺両面押圧剥離加工	1.5	1.1	0.3	0.69
511	SI03	SI03-最下層		泥質チャート		石鏝	凹基、縁辺基部凹圧剥離加工、一部やや粗い加工	2.3	1.9	0.3	1.31

第29表剥片石器類

No.	新グリッド	遺構・グリッド	No.	石材鑑定	備考	機種	観察	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)
603	イ2I7	イ2J7カクラン		泥質チャート		U.F.	2辺使用痕、両極剥片?	3.7	2.6	1.4	8.28
604	イ2I5	イ2J5表採		泥質チャート		R.F.	1辺二次加工痕、1辺使用痕	3.6	2.4	0.6	4.59
605	イ2I7	イ2J7-W^		泥質チャート		石錐(未製品)?	2辺二次加工痕両面丁寧、摩滅は使用痕か、上端折れまたは欠損	4.6	2.9	1.3	17.04
606	イ2I6	イ2J6-1	166	無斑晶ガラス質安山岩		ピエスorR.F.	1辺二次加工痕・使用痕、両極剥片	3.5	3.7	1.4	17.65
607	イ2I7	イ2J7カクラン		頁岩	古期	R.F.orSc.	1辺二次加工痕、2辺使用痕	3.3	3.5	1.1	10.78
608	イ3I6	イ3J6-1	123	チャート		U.F.orピエス	3辺使用痕、両極剥片、一部若干の加工?	2	2.7	0.7	3.58
609	イ3I7	イ3J7表採		流紋岩		Sc.orR.F.	1辺二次加工痕、両面加工で刃部状	2.4	3.2	0.9	4.76
610	イ3I7	イ3J7-2	80	流紋岩		石錐(未製品)?	2辺二次加工痕概ね両面だが粗い加工部分もあり、下端折れ?完成品か?下端摩滅もあり	3.3	2.4	0.9	5.73
611	イ3I7	イ3J7表採		泥質チャート		Sc.orR.F.orピエス	2辺二次加工痕、2辺使用痕、加工はほほ片面、両極剥片	2.6	4.1	1.2	9.58
612	イ4I7	イ4J7-N^-2区		チャート		R.F.or石錐未製品	1辺二次加工痕片面、2辺使用痕、下方薄く扁平な剥片	3.3	2.3	1.2	5.87
613	イ4I5	イ4J5-2	66	変質流紋岩	緑色	R.F.or石錐未製品	2辺使用痕、下端細く尖らず加工か?顕著な二次加工は	2.2	2.7	0.9	2.49
614	イ4I2	イ4K2-13	162	変質流紋岩	赤色	石錐or石錐未製	2辺二次加工痕ほほ両面加工だが粗い辺のところもあり	2.1	1.8	0.7	2.66
615	イ4I4	イ4J4-4		泥質チャート		R.F.orSc.	2辺二次加工痕、2辺使用痕	2.3	3.7	1.2	9.91
616	イ5I6	イ5J6表採		泥質チャート		R.F.	2辺二次加工痕、3辺使用痕、二次加工部分的で顕著ではない、両極剥片	2.6	4	1.8	16.5
617	イ6I7	イ6J7-3-23区		泥質チャート		U.F.	2辺使用痕	2	4.1	0.5	3.79
618	イ6I7	イ6J7-2	90s	泥質チャート		石錐(未製品)?	2辺二次加工痕、2辺使用痕、加工はほほ片面	3.3	2.7	1.3	7.22
619	イ6I7	イ6J7-1-7区		砂質頁岩	古期	Sc.orR.F.	1辺二次加工痕片面、2辺使用痕	2.2	4.2	0.8	7.73
620	イ6I7	イ6J7-1-24区		流紋岩		石錐(未製品)?	2辺二次加工痕、2辺使用痕、下端折れ?	4.5	3	1.3	11.92
621	イ6I7	イ6J7-8				石錐(未製品)?	2辺二次加工痕端部近く、1辺使用痕	3.6	2.8	0.7	実物不明
622	SEC T6	SEC T-6		泥質チャート		R.F.or石錐未製品	1辺二次加工痕ほほ片面、3辺使用痕、下端尖るが加工集中していない	3.5	2.5	1.4	8.8

()は編集者観察

第30表 表礫石器剥片類

仮No.	新グリッド	出土遺構・グリッド	取上No.	使用痕	石材(担当者推定)	機種	最大長	最大幅	厚さ(cm)	重量(g)	特徴	備考
楔1	44J0	44K0-3	82	3辺	チャート?	R.F.					3辺二次加工	箱877
楔2	44J0	44K0-13	264	1辺?	チャート?	R.F.	3.3	2.9	1.2		二次加工一部	
楔3	44I2	47J2-S [^] -1	S6			Sc.or礫器					一部二次加工	
1	SI01	SI01-1	121	1辺		U.F.	11.1	10.4	3.6		礫器状、片面礫面、1辺小剥離痕	以下使用痕ある剥片(礫石器)
2	SI03	SI03-4	103	1辺		U.F.	11.9	12.5	1.9		刃こぼれ状剥離、裏剥離面	
3	SI03	SI03-4	125	2辺		U.F.	9.8	6.3	1.8		微小剥離+摩滅(敲打~磨り)	
4	SI05	SI05-5	242	3辺		礫器orSc	15.8	10.3	3.9		3辺微小剥離、目的二次加工あり?	
5	SI05	SI05-10	38	1辺		R.F.	10.8	9.8	4		1辺刃こぼれ~敲打、他加工なし	裏礫面
6	SD16	SD16	69	1辺	片岩系	U.F.	7.1	6.2	1.3		1辺刃こぼれ状、やや大きめの剥離	
7	44I4	44J4-1	1	1辺		U.F.	7.7	6.7	2.9		1辺剥離or微小剥離、一部敲打	裏剥離面
8	44J2	44K2-5	26	1辺	チャート?	U.F.	7.3	5.7	3		1辺微小剥離	
9	44J0	45K0-E [^] -1	20区	1辺	チャート?	U.F.	8.2	4.5	1.8		1辺微小剥離	
10	46I7	46J7-4	13			R.F.?	11.3	9.2	5.8		刃部状1辺微小剥離、二次加工あり?	大形、重み有り
11	46J0	46K0-13	40	1辺	ホルンフェルス?	礫器orSc	10.5	7.4	3		刃部二次加工+微小剥離、二次加工あり	裏礫面
12	46J2	46K2-6	11	2辺		U.F.	14.5	5.9	3.5		1辺微小剥離+敲打一部、他1辺敲打、他1辺微小剥離	他辺でも一部敲打
13	46I5	46J5-表探		2辺		U.F.	8.3	8.8	2.7		1辺微小剥離+敲打、磨れ、他1辺微小剥離	
14	45I8	45J8-カクラン2		3辺		U.F.	8.4	3.8	1.7		2辺微小剥離+摩滅、1辺微小剥離+摩滅	
15	2区E T3	2区E、T-3		1辺		R.F.?	5.1	6	1.2		1辺微小剥離、他1辺剥離+敲打	粗い二次加工
16	SI01	SI01-6		2辺	ホルンフェルス?	R.F.	5.8	5.1	1.9		1辺微小剥離、他1辺二次加工	
17	47J0	47K0-W [^] -1		1辺		U.F.	4.8	3.3	1.9		1辺磨り~摩滅、1面研磨面状	
	46J0	46K0-E [^] -2										
18	SI06	SI06-8-D区埋土		1辺	ホルンフェルス?	打製石斧・礫器・Scにも近い	7.8	5.5	3.7		1辺二次加工+微小剥離	裏礫面
19	SI01	SI01-C区下層		2辺		U.F.	5.3	2.7	1		2辺微小剥離、細かい二次加工なし	
20	SI03	SI03-4	235	1辺		石棒or磨製石斧未製品	7.2	5.8	2.5		1辺二次加工、裏裏面敲打痕	
21	44J1	44K1-16	90	3辺		擦切具に分類可能	9.5	4.7	2.3		3辺微小剥離、うち1辺の一部に磨り・摩滅、裏面敲打痕	
22	47J0	47K0-1	139	4辺	安山岩?砂岩?	擦切具・Sc.orR.F.	9.2	6.2	1.4		全周微小剥離、1辺敲打~磨れ	裏礫面
23	44J1	44K1-17	122	3辺		U.F.	10.7	7.1	2		3辺微小剥離	裏礫面
24	SI06	SI06-3	66	2辺		磨製石斧またはR.F.orSc	13.1	9.9	2.9		1辺二次加工+微小剥離、1辺微小剥離	
25	44J1	44K1-S3	163	2辺		Sc.orR.F.	7.8	8	2.4		1辺二次加工+微小剥離、1辺微小剥離	裏礫面
26	44J1	44K1-16	515	3辺		擦切具に分類可	10.6	3.7	2.9		1辺敲打+磨り・摩滅、1辺磨り・摩滅、1辺微小剥離若干	1面研磨面状
27	SI03	SI03-6	65	3辺		打製石斧?	5.2	4.6	2.7		1辺二次加工+敲打+微小剥離、1辺二次加工+微小剥離、1辺二次加工、上位折れ	厚みある
28	46J1	46K1-6	154	1辺		R.F.	7.7	5	2.3		1辺二次加工+微小剥離	裏礫面
29	SI05	SI05-9	118	3辺		U.F.	8.7	6	1.4		2辺微小剥離+摩滅、1辺微小剥離	裏礫面
30	SI05	SI05-9	166	3辺	チャートorホルンフェルス	R.F.orSc	4.4	4.4	2.4		2辺二次加工+微小剥離、1辺二次加工	礫面残し
31	45I9	45J9-2	14区	1辺		磨製石斧未製品か	4	2.9	0.9		1辺微小剥離一部、1面敲打+研磨	

第31表 礫石器スクレイパー類

仮No.	新グリッド	遺構・グリッド	取上No.	石材(担当者推定)	機種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考
1	SI01	SI02-床下-1	28	安山岩?ホルンフェルス?	Sc	12.7	7.2	3.7	428.8	1辺二次加工痕・使用痕	箱876
2	SI03	SI03-4	309	ホルンフェルス?	R.F.	6.9	8.1	1.3	51.82	1辺二次加工痕・使用痕	
3	SI05	SI05-7	22	ホルンフェルス?	Sc	8.5	9	4.6	302.28	1辺二次加工痕・使用痕	
4	SI05	SI05-7	55			9.5	8.6	2.9	327.77	3辺二次加工痕、主に片面	
5	SI06	SI06-3	131	砂岩?	Sc.or擦切具	7.8	13.5	3.3	309.8	2辺二次加工痕、1辺使用痕、使用痕で擦れ・摩滅擦	
6	SK33	SK33	55		U.F.	7.6	9.7	2.5	242.65	1辺使用痕、加工不明	
7	IO14	SD12.イ0J4	S004	ホルンフェルス	R.F.	6.1	9.8	3.4	223.2	1辺二次加工痕・1辺使用痕、下端刃部状だが加工無し、加工部鈍角	
8	SD13	SD13	3?	ホルンフェルス?	R.F.orSc	6.6	6.5	1.6	75.49	1辺二次加工痕、2辺使用痕	被熱
9	I417	I4J7-N ⁺ -2区		ホルンフェルス?	U.F.	3.9	4.5	0.9	15.32	1辺使用痕	
10	I415	I4J5-1	102		Sc.or機器	9.8	9.2	4.4	511.75	1辺二次加工痕、2辺使用痕	
11	I418	I4J8カクラン18区		ホルンフェルス?	Sc.or打製石斧	10.8	7.2	2.2	164.28	2辺二次加工、3辺使用痕、右側縁中央若干の敲打痕	
12	I4J2	I4K2-8	122	頁岩?	Sc.orR.F.	3.5	5.1	0.9	13.96	2辺二次加工痕	
13	I4J2	I4K2-N3	240	片岩系	石剣類or独鈷石未製品	15.2	5.4	2.4		両面剥離→敲打	
14	I514	SD16.イ5J4			Sc	7.8	11	2.2	182.42	1辺二次加工痕両面刃部状	
15	I518	I5J8カクラン2			擦切具orSc.	4.5	10.9	1.6		1辺二次加工痕、2辺使用痕、刃部状の1片ほぼ中央摩滅・擦り	
16	I617	I6J7-10	S038		U.F.	8.2	6.1	1.3	77.14	1辺使用痕	
17	I617	I6J7-6	78		擦切具	8.4	8.3	1.7	164.42	1辺使用痕、擦れ、摩滅少	
18	I617	I6J7-6	45		U.F.or擦切具	6.1	11.3	2	153.68	1辺二次加工痕、2辺使用痕、使用痕の1辺擦切の可能性あるが、不明瞭	
19	I618	I6J8-0		ホルンフェルス?	Sc.orR.F.	3.7	7.8	1.6	47.86	2辺二次加工痕、1辺使用痕	
20	I619	I6J9-2	205	ホルンフェルス	Sc	5.4	10.3	1.4	107.96	2辺二次加工、2辺使用痕、加工の1辺は両面	
21	I619	I6J9-4	56	砂岩?	R.F.orSc	5.6	10.5	1.9	122.22	1辺二次加工痕刃部作出?、3辺使用痕	
22	I619	I6J9-SA ⁻ 3	175		Sc	7.7	12.8	2.6	270.98	3辺二次加工痕一部両面、3辺使用痕	被熱?
23	I6J1	I6K1-表探		ホルンフェルス	R.F.orSc	6.5	11.2	1.6	133.81	1辺二次加工痕・使用痕	
24	I6J1	I6K1-表探		緻密重量のある石材	磨製石斧未製品	10.7	7.5	2.6		1辺二次加工痕→敲打他辺や面でも敲打痕あり。	<箱移動>
25	I6J2	I6K2-6	8	ホルンフェルス	U.F.	6.1	9.9	2.5	148.48	2辺使用痕、全体に粗い剥離はあり	
26	I7J0	I7K0-1	93	砂岩?	FI	8.2	10.5	1.6	136.81	加工無し	被熱
27	I7J1	I7K1-0			Sc.or独鈷石未製品	11	10.3	2.2	305.48	1辺二次加工痕、1側縁中央近く敲打痕あり	
28	I816	I8J6-4	4	チャート	Sc.orR.F.	5.3	9.5	2.5	122.68	1辺二次加工痕・使用痕	
29	表探	UTK表探		砂岩?	U.F.	6.9	11.6	2.1	118.27	2辺使用痕、大きめの剥離加工あり	ここまで箱876
30	SD13	SD13	20		礫	5	6.1	4.3	204.3	加工不明、上下欠損で形態不明磨製石斧や石棒類可能性残り	以下箱887
31	I312	SD04.イ3J2			磨石～台石の磨痕ある礫	11.4	9.2	2.2	353.4	磨面1面、上下欠損	
32	I415	I4J5-3	34		磨痕ある礫orU.F.	9.4	10.9	1.4	151.2	1面顕著な磨痕、1辺使用痕	
33	I616	I6J6-SA ⁻			剥離のある礫	14.2	7.6	2.9	496.33	加工不明瞭、磨製石斧等の可能性残り	
34	I4J0	I4K0-11	333		敲打石	10.6	6.3	6.2	651.6	表面剥離面→敲打、他5面敲打痕あり、目的的な礫石器ではなくハンマーの可能性高い。	
35	I4J0	I4K0-12	190	ホルンフェルス?	Sc.orR.F.	10.1	7.9	4	337.96	1辺二次加工痕・別1辺使用痕、表面若干の敲打+磨痕、機器にも近い	
36	I4J0	I4K0-14	52	ホルンフェルス?	破碎礫	7.4	5.4	3.1	124.71	1辺使用痕の可能性あり	
37	I4J0	I4K0-14	100		破碎礫	4.5	4	3.6	55.32	敲打等加工不明瞭、磨石・石皿類の可能性あり	
38	I4J0	I4K0-15	168	ホルンフェルス?	擦切具	8.4	6	4.1		2辺使用痕で磨滅、1辺は磨滅顕著で隣接面の磨り面実物不明帯状範囲に及ぶ	
39	I4J0	I4K0-17	69		剥離のある礫	9.7	13	6.8	851.97	剥離は二次加工や使用に伴う剥離ではない	
40	I4J0	I4K0-17	145	緑泥片岩?	礫	8.8	9.6	4.9	544.27	加工不明瞭	
41	I4J0	I4K0-11	14		Sc.or打製石斧	5.2	6.7	1.8	65.85	2辺二次加工、1辺使用痕、側縁に敲打痕あり	
42	I4J1	I4K1-15	392		Sc.or打製石斧	4.7	7	1.8	68.39	2辺二次加工、側縁括弧部に加工後の敲打痕あり	
43	I4J1	I4K1-15	178		U.F.or剥離のある礫	13.7	10.9	1.7	219.05	2辺使用痕不明瞭	
44	I4J2	I4K2-N ⁺ -1	49		U.F.orFI	9.2	5.4	2.8	158.86	1辺二次加工の剥離または使用痕?	
45	I4J4	I4K4-3	18		礫	9.2	6.1	1.9	122.01	敲打・研磨不明瞭、石棒の可能性も残り	
46	I4J2	I4K2-N3	331		石棒	12.4	3.2	2.3		敲打ほぼ全面、上下欠損	実物不明
47	I514	SD04.イ5J4		ホルンフェルス?	Sc	8.2	6.1	3	186.52	1辺二次加工痕、大きめの剥離加工で機器に近い	
48	I717	I7K1-16	17	ホルンフェルス?	Sc	10.6	3.5	1.2	57.75	剥離→敲打?(表裏)、石剣類の可能性も残り	打製石斧剥片とのコメント
49	I317	I3J7-E	16	チャート	コア	7.5	9	6.3	488.78	数カ所の剥離	
50	I419	I4J9-S3	2		FI	7.5	4.9	2.4	107.67	剥離あるが、目的的不明	
51	I4J0	I4K0-12	38		FI	5.7	3	1.4	30.74	敲打痕?石剣類の可能性残り	
52	I4J0	I4K0-17	143		石皿片	6.8	4.8	4.4	176.37	表面一部に磨痕	
53	I4J0	I4K0-13	55		磨石or敲打石	10.3	5.8	2.4	155.9	左片・下片敲打、表面磨痕	
54	I4J1	I4K1-12	247		FI	8.8	4.3	1.4	44.78	若干の敲打?	
55	I4J1	I4K1-8-15区		片岩	礫	4.5	6.7	1.7	48.89	表面敲打痕?	
56	I4J1	I4K1-16	507		石剣類未製品or礫	15.1	3.5	2		側面及び裏面一部敲打痕?、使用痕=敲打石の可能性もあり?	
57	I512	I5J2-最下層			U.F.	6.5	8.3	3	159.73	1辺使用痕、顕著な刃こぼれ	
58	I517	I5J7カクラン2		チャート?	礫	4.8	6	3.3	99.14	剥離非目的的か	
59	I518	I5J8表探			剥離のある礫	5.8	4.4	3	104.99	表面及び下端敲打痕あり、剥離は側縁に粗めの剥離、上位欠損	
60	I518	I5J8-2-8区			破碎礫	8.5	4.7	3.6	148.58	加工無し	
61	I518	I5J8カクラン2		安山岩?	敲打痕のある礫	14.3	5.3	3.7	313.18	一片剥離、表面に敲打痕、石皿や石棒ではない	
62	I617	I6J7-2	s9		礫or磨石	2.8	5.1	1.9	29.16	磨痕不明瞭	
63	I618	I6J8-0			FI	8.8	4.5	2.3	94.82	2辺二次加工?	
64	I619	I6J9-SA ⁻ 4	185		敲打痕のある礫	2.9	5.6	1.4	20.44	磨石の可能性あり?周縁すべて割れ	
65	I619	I6J9-3	50		U.F.	8.4	4.5	3.2	105.67	2辺使用痕、敲打痕あり、刃部として使用?	
66	I6J0	I6K0-3	229	チャート?	U.F.	8.4	7.8	2.7	119.48	1辺使用痕	
67	I6J0	I6K0-3-24区			破碎礫	5	6.2	1.8	46.31	大きな剥離あるが、目的的加工ではないか	
68	I6J0	I6K0-2	102		R.F.	12.8	5.5	2.5	193.38	二次加工と判断できないが、目的剥離か。石剣類未製品の可能性あり	
69	I6J2	I6K2-7	40		石剣未製品?	7.9	3.7	1.4		剥離→敲打(表裏)→磨り?、一側縁折れ?石剣類未製品の可能性残り	
70	I717	I7J7-0			FI	5.4	4.2	1	18.7	剥離→敲打?	
71	I7J7	I7K7-0		頁岩?	FI	6.8	3.8	1.4		剥離→敲打?(表裏)→磨り?、磨製石斧or石剣類未製品可能性残り	
72	T3	T-3上層		安山岩?	R.F.orSc	7.7	7.5	2.4	142.83	1辺二次加工痕・使用痕、大きめの剥離による刃部状	
73	SD16	SD16	s026	チャート?	コアor剥離のある礫	12.5	10.4	9.6	1793.1	剥離3方向	以下箱889
74	I4J0	I4K0-18	99	碧玉or鉄石英	コアor剥離のある礫	11	6.3	7.4	539.45	剥離4~5方向	
75	I4J0	I4K0-13	343		コアor剥離のある礫or機器	10.3	10.8	5.2	683.09	2辺二次加工	
76	I4J1	I4K1-21	121		コアor剥離のある礫or機器	8.8	9.5	7.3	622.21	大きく剥離4方向	
77	I518	I5J8カクラン		頁岩?	コアorR.F.or機器	8	7.4	5.4	290.72	2カ所2方向の剥離	
78	I617	I6J7-3	96	チャート?	コアor剥離のある礫	9.5	11.5	6.3	895.25	剥離1カ所のみ、数回の敲打痕、剥片剥離できず放	
79	I6J1	I6K1-4	83	流紋岩質凝灰岩	コアorR.F.orSc	6.8	8.7	3.5	231.08	2辺二次加工、2辺使用痕	
80	I7J1	I7K1-0			コアor剥離のある礫	7	11.7	4.2	275.07	大きく3方向の剥離、一辺刃部状で、スクレイパーやR.F.の可能性もある。面積か	
1072-1	SI01	SI01-1	s78	ホルンフェルス?	Sc	4.5	11.4	3.6	206.92	3辺二次加工痕・使用痕	
1072-2	SI01	SI01-1	s271		Sc	8.9	6.6	3.2	153.02	2辺二次加工両面、3辺使用痕	写真撮影
1072-3	SI01	SI01-1	s314		Sc	9.4	10.4	3.1	232.02	1辺二次加工痕・使用痕、粗い加工	
1072-4	SI01	SI01-1	s431		R.F.orSc	6.9	8.2	2.6	139.51	1辺二次加工痕・使用痕、加工不明瞭、礫面敲打痕	
1072-5	SI01	SI01-1	s445		Sc	7.5	7.5	2.7	164.78	1辺片面二次加工痕・使用痕	
1072-6	SI03	SI03-11、イ1J6最下層	26		Sc	11.3	12.7	3	335.82	2辺二次加工両面、2辺使用痕、裏礫面一部、一部敲打?	
1072-7	SI05	SI05-10	81		Sc	7.7	11.3	2.9	295.41	2辺二次加工半分両面、2辺使用痕	写真撮影

第32表 機器

仮 No.	新グリッド	遺構・グリッド	取上 No.	石材(担当者推 定)	機種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特徴	備考
1	SI02	SI02-床下-1	16s		機器	9.1	11.1	4	420g	3辺二次加工痕両面、剥離大きめ、Scとしても良いか	箱879
2	SI08	SI08-1	21前		磨製石斧未製品	11.7	7.3	3.5	427g	表面剥離一敲打、側面も敲打痕	
3	I5I7	SD04-I5J7	16		機器orSc	5	14.1	3.9	274.05	2辺二次加工痕両面・使用痕	早期の可能性あり?
4	SD13		16		機器	9.6	11.7	6.1	958.88	2辺二次加工痕一部両面・使用痕、打製石斧転用?未成品の可能性もあり	
5	I0I6	SD12-I0J6	76		機器	9	7.6	3.7	297.39	3辺二次加工痕一部両面、側面一部敲打痕→打製石斧再利用?	
6	SEC T4	SEC T-4		ホルンフェルス?	Sc.or機器	9.2	7.4	3.3	224.34	1辺二次加工痕・使用痕	
7	I0I4	I0J4-1	41	凝灰岩?花崗	機器orSc	6.3	13.8	4.8	675.95	1辺二次加工痕片面・使用痕わずか	
8	I0I4	I0J4-3	4	ホルンフェルス?	機器	17.4	11.7	7	1755.8	2辺二次加工痕片面	
9	I0I4	I0J4-3	32	ホルンフェルス?	機器	6.8	11.5	4.5	364.24	1辺二次加工痕片面・使用痕	
10		<欠番>									
11	I0I5	I0J5-3	31	ホルンフェルス?	機器orSc	5.7	11.9	3.8	264.36	1辺二次加工痕・使用痕、両極?	
12	I0I5	I0J5-5	8		機器orSc	7.7	9	5.6	342.81	1辺二次加工痕片面・使用痕	
13	I0I5	I0J5-5	46	ホルンフェルス?	機器orSc	7	9.4	3.4	209.26	2辺二次加工痕うち1辺は両面、1辺使用痕	
14	I0I5	I0J5-N2	48		機器	11	10.8	4.7	573.08	1辺二次加工痕片面・使用痕	
15	I0I5	I0J5-N^e-2	58		機器orSc	8.8	9	4	325.72	2辺二次加工痕片面、2辺使用痕	
16	I0I6	I0J6	s8	ホルンフェルス?	R.F.or機器	7.2	11.5	4.5	282.78	1辺二次加工痕片面不明瞭・使用痕	
17	I1I3	I1J3-2	27	ホルンフェルス?	機器or打製石斧	10.5	9.5	3.3	414.89	2辺二次加工痕一部両面・使用痕、一部面に敲打?	
18	I1I3	I1J3-4	12	ホルンフェルス?	機器	9.7	5.8	4	255.4	1辺二次加工痕	
19	I1I4	I1J4-1	14	ホルンフェルス?	機器or打製石斧	8.8	12	5	652.42	3辺二次加工痕一部片面・使用痕、一部敲打状?	~箱879
20	I2I4	I2J4-1	17	ホルンフェルス?	機器	9.1	9.3	6.2	661.64	1辺二次加工痕片面・使用痕、側縁側欠損?	以下箱880
21	I3I4	I3J4-N^e-1			機器	6.7	6.2	4.9	256.76	1辺二次加工痕片面わずか・使用痕	19③-1
22	I2I5	I2J5-2	31		機器	9.7	8	4.7	542.22	2辺二次加工痕片面	
23	I2I7	I2J7		ホルンフェルス?	機器	12.7	8.7	4.8	624.71	2辺二次加工痕一部両面、1辺使用痕	
24	I2I7	I2J7			機器orSc	7.2	9.7	5.5	442.17	1辺二次加工痕片面・使用痕	
25	I2I7	I2J7			機器	10.3	11.8	4.5	613.93	2辺二次加工痕、2辺使用痕	
26	I3I5	I3J5-1	71		機器	11.9	16.4	4.7	1067.8	1辺二次加工痕片面・使用痕	
27	I3I5	I3J5-1	105		U.F.or機器	6.9	9.4	4.2	261.86	1辺使用痕、加工痕は不明	<機器のブランク?>
28	I3I5	I3J5-2	10		剥離のある礫	7.2	12	4.7	435.97	加工痕使用痕なし	
29	I3I5	I3J5-N^e-1	7	ホルンフェルス?	機器orSc	9.7	12.5	5.3	677.9	1辺二次加工痕・使用痕	
30	I3I6	I3J6-1	100		機器	13.1	12	4.3	900.75	1辺二次加工痕片面・使用痕	
31	I3I6	I3J6-E1	2		機器orSc	14.5	12.4	3.8	701.92	3辺二次加工痕片面・使用痕	大形剥片素材
32	I3I7	I3J7-2	55	安山岩	U.F.	8	9.7	3.5	243.03	2辺使用痕	剥片素材
33	I4I3	I4J3最下層			Sc.orR.F.	8.3	6.9	2.7	139.36	2辺二次加工痕片面、1辺使用痕、いずれも一部のみ	早期とのコメント
34	I4I5	I4J5-2	81		機器orR.F.	8.5	19.2	4.4	798.62	1辺二次加工痕片面・使用痕	3片に割れ
35	I4I7	I4J7-1	21		敲打痕ある礫	11.2	11.6	3.3	517.2	全周=3辺片面剥離加工→敲打、両面も敲打、磨製石斧未製品の可能性あり	27.10-10
36	I4I7	I4J7最下層		ホルンフェルス?	機器orSc	9.3	13.1	5.3	693.26	1辺二次加工痕片面・使用痕	
37	I4I7	I4J7最下層		ホルンフェルス?	機器	9	10.4	5.5	657.94	1辺二次加工痕片面・使用痕、1辺割れ・欠損?表裏礫面残	
38	I4I7	I4J7			U.F.or剥離のある礫	8.3	11.2	4.9	400.97	2辺使用痕一部、二次加工無し	
39	I4I7	I4J7最下層			機器orSc	9.4	14.9	4.7	839.52	2辺二次加工痕片面・使用痕、辺一部摩滅(擦り切りに近いところあり)、裏面敲打痕、磨り痕	ここまで箱880
40	I4I7	I4J7最下層		ホルンフェルス? 安山岩?	機器	9	13.2	6.6	691.86	2辺二次加工痕片面・使用痕、一部辺敲打?	以下箱881
41	I4I8	I4J8最下層			Sc.or機器	9.4	9.3	2.6	284.13	2辺二次加工痕片面、1辺使用痕、一部辺少し摩滅	
42	I4I8	I4J8最下層		ホルンフェルス? 安山岩?	機器orR.F.	7.7	12.7	4.5	403.04	1辺二次加工痕片面、2辺使用痕	
43	I4I8	I4J8最下層		ホルンフェルス? 安山岩?	Sc.or機器	7.5	9.5	3.8	265.66	2辺二次加工痕両面・使用痕	
44		欠番									
45		欠番									
46		欠番									
47		欠番									
48	I4I8	I4J8-10区カ クラン		安山岩?	機器	9.8	12.5	6.8	785.05	1辺二次加工痕片面・使用痕、敲打痕あるが、剥離加工時のものか?	
49	I4I8	I4J8			Sc.orR.F.	9.3	10.3	2.2	231.59	2辺二次加工痕ほほ片面、2辺使用痕、一部辺敲打痕あり	
50	I4I8	I4J8-18区カ クラン		安山岩?	機器	7.8	12.1	3.6	425.71	2辺二次加工痕片面、2辺使用痕狭い範囲	
51	I4I8	I4J8カクラン		ホルンフェルス? 安山岩?	機器	9.8	8.2	5.7	466.51	2辺二次加工痕片面・使用痕	
52	I4I8	I4J8カクラン		安山岩?	機器	12.3	12.1	5.7	852.22	2辺二次加工痕片面・使用痕	
53	I4I8	I4J8カクラン			機器	6.6	9.6	3.2	219.05	3辺二次加工痕片面、2辺使用痕	
54	I4I8	I4J8カクラン		安山岩?	機器兼敲石	6.3	6.8	4.4	199.01	1辺二次加工痕、2辺使用痕、辺に敲打、一部摩滅、表裏面にも敲打痕	早期とのコメント
55	I4I9	I4J9-3	59		機器	11.4	11.3	5.9	1101.9	2辺二次加工痕片面・使用痕、表裏面に敲打痕	
56	I4J0	I4K0-6	230		Sc.or機器	7.4	7.6	2.4	178.39	2辺二次加工痕両面、1辺使用痕	
57	I4J0	I4K0-12	224		機器	6.9	7.2	3.2	227.37	1辺二次加工痕片面・使用痕、上端敲打痕	
58	I4J0	I4K0-12	237		機器	12.4	11.8	4.2	700.38	1辺二次加工痕片面・使用痕、上端敲打痕若干、表裏礫面	
59	I4J0	I4K0-14	300	安山岩?	機器orSc	7.9	10.4	3.3	263.67	2辺二次加工痕ほほ両面・使用痕、一部辺摩滅	早期とのコメント、ここまで箱881
60	I4J0	I4K0-14	314		機器	12.5	12.7	6.6	1234.1	1辺二次加工痕片面・使用痕	箱882?
61					実物不明						
62					実物不明						
63					実物不明						
64					実物不明						
65					実物不明						
66					実物不明						
67					実物不明						
68					実物不明						
69					実物不明						
70					実物不明						
71					実物不明						
72					実物不明						
73					実物不明						
74					実物不明						
75					実物不明						
76					実物不明						
77					実物不明						
78					実物不明						
79					実物不明						
80					実物不明						
81	I4J1	I4K1-16	298		機器	7.8	12	4	396.56	1辺二次加工痕片面、1辺の一部使用痕	
82	I4J1	I4K1-N2	66		機器orU.F.	11.3	14.7	8.3	1413.5	1辺使用痕一部、加工痕は不明	
83	I4J1	I4K1-S3	166		機器	12.6	11.5	4.7	710.97	1辺二次加工痕片面・使用痕	
84	I4J2	I4K2-9	84		機器兼敲石	8.3	11.5	5.4	754.58	3辺二次加工痕片面・使用痕、剥離→敲打(辺~面一部)、顕著な敲打で摩滅部分もあり	
85	I4J2	I4K2-11	10		機器orSc	9	15.4	2.7	585.03	3辺二次加工痕片面・使用痕(刃こぼれ)	
86		欠番、円形のスクレーパー									
87	I4J2	I4K2-6	145		機器orSc	10.5	9.8	3.5	379.12	3辺二次加工痕片面、2辺使用痕、裏礫面、一部辺摩滅	
88	I4J2	I4K2-8	292		機器orSc	11	13.7	3.5	559.32	1辺二次加工痕片面・使用痕、一部摩滅、擦り切りまでではないが、かなり摩滅している	「打斧?」のコメント
89	I5I7	I5J7カクラン			機器	12.7	8.2	3	346.34	1辺二次加工痕ほほ片面・使用痕、一部摩滅、裏裏礫面	
90	I5I8	I5J8カクラン		ホルンフェルス?	機器orSc	7.7	12	3	273.27	1辺二次加工痕一部両面、1辺使用痕	
91	I5I8	I5J8カクラン			機器	9.6	9.7	5.5	594.04	1辺二次加工痕・使用痕は一部	
92	I5I8	I5J8カクラン 1			機器	7.9	9.9	4.4	282.01	2辺二次加工痕・使用痕	剥片利用の機器コメント
93	I5I8	I5J8カクラン			機器orSc	5.3	10	3.4	214.04	1辺二次加工痕・使用痕	
94	I6I7	I6J7-4	11s		機器	11.5	15.6	5.8	977.5	1辺二次加工痕・使用痕は一部	

第32表 機器

仮 No.	新グリ ド	遺構・グリ ド	取上 No.	石材(担当者 推 定)	機 種	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)	特 徴	備 考
95	I6I7	I6J7-8	123		機器	11	18	5	1363.2	1辺二次加工痕・使用痕は不明瞭	
96	I4J1	I4K1-5	44		Sc.or機器	10.9	10.7	4	353.24	3辺二次加工痕片・使用痕、1辺摩滅	
97	I4J1	I6K1-1~10 区サブヘ-4	202	ホルンフェルス?	機器orSc.or擦切 具	10.8	16.3	5.4	1026.7	2辺二次加工痕・使用痕、1辺摩滅約5cm、上端・裏稜面	「加工痕のある石 材、早期？」のコメント
98	I7I3	SD09-I7J3	1		加工痕のある礫	8.3	9.4	4.7	451.88	二次加工・使用痕なし、コアの可能性?刃部形状ではない。	
99	I8I9	I8J9-Nヘ	2		機器orSc.	5.1	10.7	3	122.41	2辺二次加工痕・使用痕	早期?のコメント ここまで箱883
100	I7I6	A7J6-7	1		機器or敲石	8.4	12.9	4.7	1142.2	1辺二次加工痕・使用痕、両面剥離加工一敲打・摩滅・擦れ	以下箱884
101	SI01	SI01-N-2	s007		機器	12.8	10.8	4.4	528.34	2辺二次加工痕一部両面・使用痕、一部辺は使用痕のみ	
102	I4I7	I4J7カクラン			機器	7.8	6.2	1.9	143.15	1辺二次加工痕一部両面・使用痕は不明瞭	
103	I4J0	I4K0-18	141		機器	13.2	7.3	2.9	390.72	下端の1辺二次加工痕・使用痕、左右側辺一部摩滅(敲)	<392><233>
104	SI03	SI03-8	33s		機器	10.6	8.7	4.8	458.15	1辺二次加工痕・使用痕(少し摩滅)、上辺一部敲打痕	
105	SI05	SI05-9	84		機器	10.4	9	4.2	444.66	2辺二次加工痕・使用痕、一部擦り切り状の摩滅	
106	SI05	SI05-10	14		機器	7.3	8.9	3.9	258.72	1辺二次加工痕・使用痕、一部摩滅	
107	SI05	SI05-10	17s	砂岩?	機器or磨石・敲石	12.3	8.7	2.8	386.99	下端使用痕?、剥離少しあるが敲打使用によるか?表裏側 面に磨り痕	
108	I4I9	SD01-I4J9	10	安山岩?	機器	10.8	13.8	5.4	795.42	1辺二次加工痕片面・使用痕は不明瞭、辺一部摩滅?	
109	I6J2	SD04-I6K2		安山岩?	機器	11.4	11.9	4.6	668.15	2辺二次加工痕・使用痕、大きく粗い剥離・一部両面	
110	SD13	SD13	12		機器	9.3	6.3	2.9	298.85	1辺二次加工痕わずか・使用痕(若干擦れ)	
111	SEC T3	SEC T-3			機器	12.5	12.8	3.9	833.41	2辺二次加工痕・使用痕不明、刃部鈍角	
112	SEC T3	SEC T-3			機器	6	11	3.8	254.13	1辺二次加工痕・使用痕、一部摩滅	
113	SEC T5	SEC T-5			機器	9.7	12.3	5.4	623.85	1辺二次加工痕・使用痕不明瞭	
114	SEC T5	SEC T-5			機器or剥離のある 礫	9	10.5	5	502.19	1辺二次加工痕片面で加工わずか、使用痕不明瞭	
115	I4J2	I4K2-11	912		機器	11.9	11.2	5	719.93	1辺二次加工痕・使用痕、やや潰れ・摩滅	
116	I5I7	I5J7-1	71		機器	14	14.8	5.3	1295.5	3辺二次加工痕片面・使用痕不明瞭、大形で重量ある	
117	I5I7	I5J7カクラン			機器	9.7	5.7	3.6	330.13	1辺(下端)二次加工痕・使用痕、辺一部少し摩滅・敲打?	
118	I5I7	I5J7カクラン		ホルンフェルス?	機器	9.9	8.5	4.2	382.82	2辺二次加工痕・使用痕	
119	I5I8	I5J8GL最下 層			機器	12.3	15.1	3.6	830.25	2辺二次加工痕ほぼ片面、1辺使用痕・若干擦れ・摩滅、大 形扁平の代表例	ここまで箱884
120	I5I8	I5J8斜面		砂岩?	機器	10.2	7.5	1.9	192.34	1辺二次加工痕片面・使用痕、やや粗い加工	以下箱885
121	I5I8	I5J8カクラン 1			機器or剥離のある 礫	11	10.6	4.9	670.45	2辺二次加工痕、刃部は欠損している下方か	
122	I5I8	I5J8カクラン			機器	6.8	15.7	4.4	557.37	1辺二次加工痕・使用痕不明瞭	
123	I5I8	I5J8カクラン			機器	7.4	10.7	4.6	468.65	2辺二次加工痕・使用痕、刃こぼれ・摩滅、上位は礫面	
124	I5I8	I5J8カクラン			機器	8.8	11.3	4.3	460.54	2辺二次加工痕・使用痕、刃部の辺やや摩滅	
125	I5I8	I5J8カクラン			機器	7.8	11.2	4.2	339.15	2辺二次加工痕片面、1辺使用痕、表上位~裏面礫面・節理	
126	I5I8	I5J8カクラン			機器orSc.	7.9	6.6	3.3	140.98	2辺二次加工痕片面・使用痕、剥離一敲打痕あり	
127	I5J0	I5K0-3			機器	11.7	17.2	8.2	2070.7	1辺二次加工痕・使用痕不明瞭	
128	I6I7	I6J7-3	88		機器	8.4	12.5	4	427.39	1辺二次加工痕・使用痕	被熱
129	I6I9	I6J9-2	10	ホルンフェルス?	機器	15.1	9.5	4	647.26	1辺二次加工痕・使用痕	
130	I6J0	I6K0-1	69		機器or剥離のある 礫	9.8	10.6	3.2	424.25	1辺二次加工痕片面、粗い剥離のみで、刃部作出か不明	
131	I6J0	I6K0-2	84		機器or敲石	12.5	7.3	2.3	336.88	1辺二次加工痕・使用痕、下端敲打痕目立つ、右側縁に剥離 一敲打痕、表裏礫面	
132	I6J0	I6K0-5	16		機器or剥離のある 礫	11.6	9.1	3.7	453.89	1辺二次加工痕、粗い剥離で刃部作出か不明	
133	I6J1	I6K1表採			機器orSc.	15.6	10.3	4.3	803.93	3辺二次加工痕ほぼ片面、2辺使用痕、右側縁擦り切り具状 に摩滅している。	
134	I6J1	I6K1-5	125		機器orSc.	11.3	11.3	5.7	739.52	2辺二次加工痕・使用痕、剥離一敲打・摩滅擦れ	
135	I6J6	I6K6	10s		機器	7.5	10.2	4.6	443.45	1辺二次加工痕・使用痕不明瞭	
136	I7I2	I7J2-1	5		Sc.or機器	8.5	8.7	2.9	232.75	3辺二次加工痕一部両面・使用痕、縁辺使用による敲打・擦	
137	I7I5	I7J5-1	10s		機器	10.9	12.7	4.9	889.31	1辺二次加工痕・使用痕不明瞭	
138	I7I9	I7J9-1	5		機器	8.7	9.5	4.7	491	1辺二次加工痕片面・使用痕、刃こぼれ・摩滅	
139	I7J0	I7K0-3			機器or残核	13.7	12.9	6.7	1200	3辺二次加工痕一部両面、2辺使用痕、全周に近い剥離ある が、刃部状は2辺	
140	I7J0	I7K0-W2	76	安山岩?	機器	8.9	12.2	3.2	267.19	1辺二次加工痕ほぼ片面・使用痕、一部擦れ・摩滅、裏面磨	被熱、以下箱886
141	I7J1	I7K1-サブヘ- 1、1~10区	57		機器	11.4	16.7	3.7	776.45	1辺二次加工痕片面・使用痕、やや粗い加工	
142	I9I6	I9J6-6	6		機器or敲石	11.4	9.5	5.4	839.89	1辺二次加工痕・使用痕、加工ではなく敲打時の剥離か?	
143	T2	T-2表採			剥離のある礫	6.6	9.4	3.7	333.61	刃部状加工なし、使用痕も無し	
144	表採	表採			機器	8.8	9.7	2.9	305.6	1辺二次加工痕・使用痕	
145	表採	表採			機器	7.1	10.2	4.6	315.39	1辺二次加工痕・使用痕	
201	SI05	SI05-9	110	ホルンフェルス?	機器	11.1	6.3	4.8	421.07	1辺二次加工痕・使用痕	箱878:No.200~
202	I5J0	I5K0-3			機器	11.3	10.2	3.7	493.69	1辺二次加工痕・使用痕	
203	I5I7	I5J7		ホルンフェルス?	機器orSc.	13.8	14	4.7	814.27	1辺二次加工痕両面・使用痕	
204	I5J3	I4K3-P8			Sc	13.5	14.2	4	979.56	2辺二次加工痕片面・使用痕、細かめの剥離加工あり	<469>の印
205	SI03	SI03-11、 I1J6最下層	25後		機器?	10.4	6.7	7	534.37	2辺二次加工・使用痕に見えるが、不明瞭で剥離のある礫の 可能性もある	

第33表骨計測表

仮番号	新グリッド	遺構・グリッド	取上番号	旧番号	重量 (g)	備考・袋へ の数字等
1		SI-01-1		Ca1	0.33	116
2		SI-01-1 X-01			0.08	
3		SI-01-1		Ca2	7.81	116
4		SI-01-1		Ca3	1.13	116
5		SI-01-1		Ca4	0.22	116
6		SI-01-1		Ca5	0.1	
7		SI-01-1		Ca6	0.76	118
8		SI-01-1		Ca7	0.04	118
9		SI-01-1		Ca8	0.11	118
10		SI-01-1		Ca9	0	118
11		SI-01-1		Ca10	0.42	117
12		SI-01-1		Ca11	0.37	117
13		SI-01-1		Ca12	0.1	117
14		SI-01-1		Ca13	0.16	117
15		SI-01-1		Ca14	0.09	117
16		SI-01-1		Ca15	2.92	117
17		SI-01-1		Ca16	0.44	117
18		SI-01-1		Ca17	8.94	117
19		SI-01-1		Ca18	36.78	117
20		SI-01-1		Ca19	0.42	115
21		SI-01-1		Ca20	0.14	115
22		SI-01-1		Ca21	0.24	
23		SI-01-1		Ca22	0.57	115
24		SI-01-1		Ca23	0.47	115
25		SI-01-1		Ca24	0.21	
26		SI-01-1		Ca25	0.15	44
27		SI-01-1		Ca25	12.61	115
28		SI-01-1		Ca27	2.48	44
29		SI-01-1		Ca29	0.07	44
30		SI-01-1		Ca30	0.07	45
31		SI-01-1		Ca31	0.45	
32		SI-01-1		Ca32	3.22	73
33		SI-01-1		Ca33	4.51	73
34		SI-01-1		Ca34	0.41	73
35		SI-01-1		Ca35	2.11	73
36		SI-01-1		Ca36	1.4	73
37		SI-01-1		Ca37	0.62	73
38		SI-01-1		Ca38	1.04	43
39		SI-01-1		Ca39	0.27	
40		SI-01-1		Ca40	0.07	43
41		SI-01-1		Ca41	0.09	
42		SI-01-1		Ca42	0.37	
43		SI-01-1		Ca43	0.05	
44		SI-01-1		Ca44	0.12	
45		SI-01-1		Ca46	0.18	
46		SI-01-1		Ca47	0.35	
47		SI-01-1		Ca48	0.22	
48		SI-01-1		Ca51	20.4	
49		SI-01-1		Ca52	0.64	
50		SI-01-1		Ca53	0.11	
51		SI-01-1		Ca53	0.52	
52		SI-01-1		Ca54	2.37	
53		SI-01-1		Ca54	0.67	
54		SI-01-1		Ca55	0.59	
55		SI-01-1		Ca56	4.05	
56		SI-01-1		Ca57	3.56	
57		SI-01-1		Ca58	1.7	
58		SI-01-1		Ca58	0.3	
59		SI-01-1		Ca59	0.25	
60		SI-01-1		Ca59	0.46	
61		SI-01-1		Ca60	0.63	
62		SI-01-1		Ca60	0.33	
63		SI-01-1		Ca61	0.22	
64		SI-01-1		Ca61	0.16	
65		SI-01-1		Ca62	0.46	
66		SI-01-1		Ca64	0.2	
67		SI-01-1		Ca65	0.9	
仮番号	新グリッド	遺構・グリッド	取上番号	旧番号	重量 (g)	備考・袋へ の数字等
135		SI-01-3		Ca013	0.82	
136		SI-01-3		Ca001	1.06	
137		SI-01-3		Ca002	1.23	
138		SI-01-3		Ca003	0.3	
139		SI-01-3		Ca004	3.37	
140		SI-01-3		Ca005	1.08	

仮番号	新グリッド	遺構・グリッド	取上番号	旧番号	重量 (g)	備考・袋へ の数字等
68		SI-01-1		Ca66	0.95	
69		SI-01-1		Ca67	1.11	
70		SI-01-1		Ca68	0.22	
71		SI-01-1		Ca69	2.45	
72		SI-01-1		Ca70	2.08	
73		SI-01-1		Ca71	1.1	
74		SI-01-1-2		Ca001	2.95	
75		SI-01-1-2		Ca002	1.01	
76		SI-01-1-2		Ca003	0.74	
77		SI-01-1-2		Ca004	1.49	
78		SI-01-1-2		Ca005	12.12	
79		SI-01-1-2		Ca006	0.31	
80		SI-01-1-2		Ca007	14.67	
81		SI-01-1-2		Ca008	2.23	
82		SI-01-1-2		Ca009	2.16	
83		SI-01-1-2		Ca010	0.24	
84		SI-01-1-2		Ca011	2.9	
85		SI-01-1-2		Ca012	5.76	
86		SI-01-1-2		Ca013	12.79	
87		SI-01-1-2		Ca014	2.06	
88		SI-01-1-2		Ca015	1.9	
89		SI-01-1-2		Ca016	0.83	
90		SI-01-1-2		Ca017	0.24	
91		SI-01-1-2		Ca019	0.98	
92		SI-01-1-2		Ca020	1.71	
93		SI-01-1-2		Ca021	0.72	
94		SI-01-1-2		Ca022	0.24	
95		SI-01-1-2		Ca023	2.88	
96		SI-01-1-2		Ca024	0.39	
97		SI-01-1-2		Ca025	3.82	
98		SI-01-1-2		Ca028	0.6	
99		SI-01-1-2		Ca029	0.89	
100		SI-01-1-2		Ca030	1.2	
101		SI-01-1-2		Ca031	8.17	
102		SI-01-1-2		Ca032	9.9	
103		SI-01-1-2		Ca033	0.61	
104		SI-01-1-2		Ca034	0.21	
105		SI-01-1-2		Ca035	1.74	
106		SI-01-1-2		Ca036	1.53	
107		SI-01-1-2		Ca037	0.53	
108		SI-01-1-2		Ca038	2.3	
109		SI-01-1-2		Ca039	0.21	
110		SI-01-1-2		Ca040	1.55	
111		SI-01-1-2		Ca041	0.16	
112		SI-01-1-2		Ca042	2.4	
113		SI-01-1-2		Ca043	0.6	
114		SI-01-1-2		Ca044	0.47	
115		SI-01-1-2		Ca045	0.3	
116		SI-01-1-2		Ca046	4.87	
117		SI-01-1-2		Ca047	0.25	
118		SI-01-1-2		Ca048	1.55	
119		SI-01-1-2		Ca049	0.86	
120		SI-01-1-2	No.340		0.18	
121		SI-01-1-2 第24区			0.95	
122		SI-01-1-2 S-156			0.36	
123		SI-01-1-2		S182	1.85	
124		SI-01-3		Ca001	1.68	
125		SI-01-3		Ca002	0.13	
126		SI-01-3		Ca004	0.32	
127		SI-01-3		Ca005	0.43	
128		SI-01-3		Ca006	0.93	
129		SI-01-3		Ca007	2.11	
130		SI-01-3		Ca008	4.2	
131		SI-01-3		Ca009	0.69	
132		SI-01-3		Ca010	2.16	
133		SI-01-3		Ca011	0.48	
134		SI-01-3		Ca012	0.31	
仮番号	新グリッド	遺構・グリッド	取上番号	旧番号	重量 (g)	備考・袋へ の数字等
202		SI-03-2	No.196		0.15	88,8-1
203		SI-03-2	No.206		0.28	88,8-1
204		SI-03-4	No.240		0.72	
205		SI-03-4	No.326		0.36	
206		SI-03-10	No.142		0.44	
207		SI-03-10 B区			1.14	89,6-1

第33表骨計測表

141		SI-01-3		Ca006	0.14		
142		SI-01-3		Ca007	0.48		
143		SI-01-3		Ca008	3.43		
144		SI-01-3		Ca009	2.44		
145		SI-01-3		Ca010	0.37		
146		SI-01-3		Ca011	0.62		
147		SI-01-3		Ca012	1.69		
148		SI-01-4	No.60		0.18		
149		SI-01-4	No.163		0.14		
150		SI-01-4	No.164		0.42		
151		SI-01-4	No.254		0.17		
152		SI-01-4	No.255		1.78		
153		SI-01-4	No.256		0.26		
154		SI-01-4	No.257		0.21		
155		SI-01-4	No.258		1.87		
156		SI-01-5	No.7		15.27	15,12-10	
157		SI-01-5	No.8		6.84	15,12-10	
158		SI-01-5	No.63		0.16	99,16-16	
159		SI-01-5 A区			0.79	15,12-5	
160		SI-01-5 D区			1.44		
161		SI-01-6			4.66		
162		SI-01-6			9.34		
163		SI-01-6			1.47		
164		SI-01-6			0.95		
165		SI-01-6	No.4		33.21		
166		SI-01-6	No.35		0.83		
167		SI-01-6	No.36		5.87		
168		SI-01-6	No.37		12.99		
169		SI-01-6	No.38		2.51		
170		SI-01-B区 上層			0.85		
171		SI-01-B区 下層			0.44		
172		SI-01-B区 下層			1.01		
173		SI-01-1 15区			0.09		
174		SI-01-C区 下層			0.57		
175		SI-01-C区 完掘			4.4		
176		SI-01-N-2		Ca001	7.45		
177		SI-01-N-2		Ca002	5.56		
178		SI-02-床下土抗		Ca048	0.32		
179		SI-02-床下土抗	No.1		1.35		
180		SI-02-床下土抗	No.37		2.03		
181		SI-02-床下土抗	No.45		0.01		
182		SI-02-床下土抗		Ca047	9.17		
183		SI-02-床下-2	No.1		0.83		
184		SI-02-床下-2	No.2		4.06		
185		SI-02-床下-2	No.3		0.44		
186		SI-02-床下-3	No.1		9.47		
187		SI-02-床下-4	No.1		2.44		
188		SI-02-床下-4	No.2		7.37		
189		SI-02-床下-4	No.3		0.25		
190		SI-02-床下-4	No.4		0.06		
191		SI-02-床下-4	No.5		4.25		
192		SI-02-床下-4	No.6		1.22		
193		SI-02-床下-6	No.1		1.9		
194		SI-03-1 イ1J7-5	No.12		0.17		
195		SI-03-1	No.18		0.16		
196		SI-03-1	No.33		0.6		
197		SI-03-1	No.43		0.01		
198		SI-03-1	No.46		0.28		
199		SI-03-2	No.127		0.03	88,8-4	
200		SI-03-2	No.172		0.25	88,8-1	
201		SI-03-2	No.181		0.39	88,8-1	
仮番号	新グリッド	遺構・グリッド	取上番号	旧番号	重量 (g)	備考・袋への数字等	
269	イ4J0	イ4K0-16	No.189		0.12	キ10-9	
270	イ4J0	イ4K0-17	No.118		2.18	タ13-10	
271	イ4J0	イ4K0-17 第18区			0.4	テ11-2	
272	イ4J0	イ4K0-18	No.11		0.56	46	
273	イ4J0	イ4K0-19	No.187		0.1	223	
274	イ4J0	イ4K0-19	No.189		0.14	223	
275	イ4J0	イ4K0-19	No.190		1.27	223	
276	イ4J0	イ4K0-20	No.56		0.09	271	
277	イ4J0	イ4K0-20	No.61		0.39	271	
278	イ4J0	イ4K0-N-4	No.35		1.23	370	
279	イ4J0	イ4K0-Sベルト 5回目	No.280		0.31		
280	イ4J1	イ4K1-7	No.155		2.56	G71	
281	イ4J1	イ4K1-11	No.29		1.03	M12-2	
282	イ4J1	イ4K1-11	No.211		0.08	口16-16	

208		SI-03-埋土			0.4	43,9-9	
209		SI-05-5	No.132		3.35		
210		SI-05-5	No.133		1.76		
211		SI-05-5	No.254		0.12		
212		SI-05-5	No.255		0.63		
213		SI-05-5	No.257		6.07		
214		SI-05-9	No.194		0.02		
215		SI-05-9	No.195		0.21		
216		SI-06-3	No.78		2.18		
217		SI-06-7	No.19		1.25		
218		SD-05-9			0.82		
219	イ1I5	イ1J5-1			0.02	171	
220	イ1I6	イ1J6-2 17区			1.11		
221	イ1I6	イ1J6-2 20区			1.45	21,16-5	
222	イ1I6	イ1J6-GL			0.01	27,18-12	
223	イ1I6	イ1J6 S-2	No.25		0.1	7,14-13	
224	イ1I6	イ1J6	No.37		0.02	7,14-13	
225	イ1I7	イ1J7-3	No.103		2.41	3,11-2	
226	イ1I7	イ1J7 Nベルト-1 4区			0.31	10,8-5,3	
227	イ1I7	イ1J7 最下層			0.89	16,9-8	
228	イ2I5	イ2J5-1	No.87		1.35	14,8-7	
229	イ2I6	イ2J6-2	No.39		0.91	20,8-5	
230	イ2I6	イ2J6-2	No.47		1.65	20,8-5	
231	イ2I6	イ2J6 P-16内 CA 埋土			0.16	51,13-10	
232	イ2I6	イ2J6 P-10 P内CA			3.53	51,13-13	
233	イ2I6	イ2J6 Sベルト			1.18	51,13-1	
234	イ2I7	イ2J7-1 第1区			1.54	11,9-5,3	
235	イ2I7	イ2J7-1 第2区			0.47	11,9-5,8	
236	イ2I7	イ2J7-3	No.2		0.86	11,9-9	
237	イ2I7	イ2J7-3	No.5		0.02	11,9-9	
238	イ2I7	イ2J7-3	No.7		2.2	11,9-9	
239	イ2I7	イ2J7-3	No.9		0.13	11,9-9	
240	イ2I7	イ2J7-3	No.54		1.35	11,9-9	
241	イ2I7	イ2J7-2	No.56		0.34	11,9-9	
242	イ2I7	イ2J7内 カウラン			2.15	72,8-5	
243	イ2I7	イ2J7 埋土 Pit6 Ca			0.58		
244	イ2I7	イ2J7 Pit6		Ca001	0.34		
245	イ2I7	イ2J7 Pit4		Ca002	0.37		
246	イ3I6	イ3J6-2	No.61		2.14	40,8-8	
247	イ3I6	イ3J6-2	No.84		0.2	6,8-6	
248	イ3I6	イ3J6-2	No.98		0.01	6,8-6	
249	イ3I6	イ3J6-2	No.100		0.74	6,8-6	
250	イ4J0	イ4K0-7	No.112		0.53	M6-3	
251	イ4J0	イ4K0-8	No.149		0.4		
252	イ4J0	イ4K0-10	No.507		0.84		
253	イ4J0	イ4K0-10	No.508		0.22		
254	イ4J0	イ4K0-10	No.509		0.05		
255	イ4J0	イ4K0-11	No.15		0.25	ホ17-1	
256	イ4J0	イ4K0-12	No.189		0.3	フ14-6	
257	イ4J0	イ4K0-13	No.18		0.52	N10-9	
258	イ4J0	イ4K0-13	No.20		0.16	N10-9	
259	イ4J0	イ4K0-13	No.21		0.13	N10-9	
260	イ4J0	イ4K0-13	No.22		0	N10-9	
261	イ4J0	イ4K0-13	No.23		0.64	N10-9	
262	イ4J0	イ4K0-13 第18区			0.36	ソ20-4	
263	イ4J0	イ4K0-14	No.297		0.31	テ11-11	
264	イ4J0	イ4K0-14	No.396		0.01	N10-9	
265	イ4J0	イ4K0-14	No.473		0.43	ユ14-12	
266	イ4J0	イ4K0-15	No.272		0.13	ホ17-17	
267	イ4J0	イ4K0-15	No.275		0.57	ホ17-17	
268	イ4J0	イ4K0-15	No.276		10.11	ホ17-17	
仮番号	新グリッド	遺構・グリッド	取上番号	旧番号	重量 (g)	備考・袋への数字等	
336	イ4J1	イ4K1-16	No.222		0.66	ソ11-2	
337	イ4J1	イ4K1-16	No.233		0.13	ソ11-2	
338	イ4J1	イ4K1-16	No.250		0.56	ソ11-2	
339	イ4J1	イ4K1-16	No.259		0.25	ソ8-5	
340	イ4J1	イ4K1-16	No.262		0.18	ソ8-5	
341	イ4J1	イ4K1-16	No.269		0.43	ソ8-5	
342	イ4J1	イ4K1-16	No.279		1.68	ソ8-5	
343	イ4J1	イ4K1-16	No.288		3.21	ソ13-12	
344	イ4J1	イ4K1-16	No.314		0.48	ソ13-12	
345	イ4J1	イ4K1-16	No.317		1.45	モ10-5	
346	イ4J1	イ4K1-16	No.321		0.52	モ10-5	
347	イ4J1	イ4K1-16	No.375		0.38	ソ8-6	
348	イ4J1	イ4K1-16	No.429		0.12	ソ13-12	
349	イ4J1	イ4K1-16	No.431		0.46	ソ13-12	

第33表骨計測表

283	イ4J1	イ4K1-11	No.255		0.2	口16-16
284	イ4J1	イ4K1-12	No.358		0.04	ト11-7
285	イ4J1	イ4K1-12	No.359		0.07	ト11-11
286	イ4J1	イ4K1-12	No.360		0.22	ト11-11
287	イ4J1	イ4K1-12	No.361		0	ト11-11
288	イ4J1	イ4K1-12	No.362		0.05	ト11-7
289	イ4J1	イ4K1-12	No.363		0.18	ト11-8
290	イ4J1	イ4K1-12	No.364		0.5	ト11-9
291	イ4J1	イ4K1-12	No.365		0.01	ト11-10
292	イ4J1	イ4K1-12	No.366		0	ト11-11
293	イ4J1	イ4K1-12	No.367		0	ト11-12
294	イ4J1	イ4K1-12	No.368		0.09	ト11-13
295	イ4J1	イ4K1-12	No.369		0.01	ト11-14
296	イ4J1	イ4K1-12	No.371		0.04	ト11-15
297	イ4J1	イ4K1-12	No.372		0	ト12-10
298	イ4J1	イ4K1-12	No.373		0.01	ナ12-10
299	イ4J1	イ4K1-12	No.374		0.05	ト11-11
300	イ4J1	イ4K1-12	No.375		0.03	ト11-11
301	イ4J1	イ4K1-13	No.42		0.88	
302	イ4J1	イ4K1-14	No.212		1.79	
303	イ4J1	イ4K1-14	No.236		1.05	ニ21-1
304	イ4J1	イ4K1-14	No.239		0.59	ニ21-1
305	イ4J1	イ4K1-14	No.240		0.67	ニ21-1
306	イ4J1	イ4K1-14	No.261		0.49	又10-2
307	イ4J1	イ4K1-14	No.295		0.38	又10-2
308	イ4J1	イ4K1-14	No.312		0.17	又10-2
309	イ4J1	イ4K1-14	No.319		0.05	又10-2
310	イ4J1	イ4K1-14	No.321		0.1	又10-2
311	イ4J1	イ4K1-14	No.322		0.45	又10-2
312	イ4J1	イ4K1-14	No.323		0.2	又10-2
313	イ4J1	イ4K1-14	No.324		0.1	又10-2
314	イ4J1	イ4K1-14	No.325		1.19	又10-2
315	イ4J1	イ4K1-14	No.326		0.21	又10-2
316	イ4J1	イ4K1-14 第12区			0.41	又10-2
317	イ4J1	イ4K1-14 第13区			0.35	ナ12-2
318	イ4J1	イ4K1-15	No.6		0.76	
319	イ4J1	イ4K1-15	No.12		0.29	チ10-8
320	イ4J1	イ4K1-15	No.141		0.2	ヘ13-13
321	イ4J1	イ4K1-15	No.301		0.07	ト11-7
322	イ4J1	イ4K1-15	No.329		0.05	チ10-7
323	イ4J1	イ4K1-15	No.343		0.08	ト11-7
324	イ4J1	イ4K1-15 第12区			0.43	ニ21-7
325	イ4J1	イ4K1-16	No.71		0.21	マ18-17
326	イ4J1	イ4K1-16	No.79		0.25	マ18-17
327	イ4J1	イ4K1-16	No.83		0.18	マ18-17
328	イ4J1	イ4K1-16	No.101		0.15	Y9-4
329	イ4J1	イ4K1-16	No.103		0.16	Y9-4
330	イ4J1	イ4K1-16	No.127		0.38	Y9-4
331	イ4J1	イ4K1-16	No.141		1.11	ツ11-2
332	イ4J1	イ4K1-16	No.188		0.42	ツ11-2
333	イ4J1	イ4K1-16	No.196		0.88	ツ11-2
334	イ4J1	イ4K1-16	No.213		0.28	ツ11-2
335	イ4J1	イ4K1-16	No.218		0.27	ノ8-5
仮番号	新グリッド	遺構・グリッド	取上番号	旧番号	重量 (g)	備考・袋への 数字等
403	イ4J1	イ4K1-21	No.55		0	49
404	イ4J1	イ4K1-21	No.56		0.19	49
405	イ4J1	イ4K1-21	No.58		4.71	49
406	イ4J1	イ4K1-21	No.92		0.43	241
407	イ4J1	イ4K1-21	No.166		0.03	259
408	イ4J1	イ4K1-21	No.168		0.13	254
409	イ4J1	イ4K1-21	No.186		0.57	254
410	イ4J1	イ4K1-21 第11区			1.47	301
411	イ4J1	イ4K1-22	No.21		0.34	154
412	イ4J1	イ4K1-22	No.35		0.82	154
413	イ4J1	イ4K1-最下層 床面			0.26	449
414	イ4J1	イ4K1-S-2	No.61		0.08	144
415	イ4J1	イ4K1-S-2	No.67		0.86	144
416	イ4J1	イ4K1-S-2	No.96		0.39	148
417	イ4J1	イ4K1-S-2	No.97		0.9	148
418	イ4J1	イ4K1-S-2	No.126		0.55	148
419	イ4J1	イ4K1-S-3	No.141		2.4	169
420	イ4J1	イ4K1-S-3	No.145		1.3	169
421	イ4J1	イ4K1-S-3	No.156		1.41	89
422	イ4J1	イ4K1-S-3	No.167		1.58	189
423	イ4J1	イ4K1-S-3	No.213		0.75	169

350	イ4J1	イ4K1-16	No.442		0.99	ノ8-5
351	イ4J1	イ4K1-16	No.444		0.77	ノ8-5
352	イ4J1	イ4K1-16	No.459		2.9	ト10-4
353	イ4J1	イ4K1-16	No.469		1.99	ト10-4
354	イ4J1	イ4K1-16	No.480		0.96	ヘ13-12
355	イ4J1	イ4K1-16	No.498		0.87	ト10-4
356	イ4J1	イ4K1-16	No.514		0.83	ト10-4
357	イ4J1	イ4K1-16	No.538		0.25	ノ8-6
358	イ4J1	イ4K1-16	No.558		0.4	ト10-4
359	イ4J1	イ4K1-16	No.566		0.42	ノ8-6
360	イ4J1	イ4K1-17	No.108		0	ノ8-8
361	イ4J1	イ4K1-17	No.204		0.82	ヘ13-9
362	イ4J1	イ4K1-17	No.233		0.21	Y9-3
363	イ4J1	イ4K1-17	No.329		0.28	ト10-9
364	イ4J1	イ4K1-17 第1区			1.14	ツ11-6
365	イ4J1	イ4K1-17 第8区			0.14	ツ11-6
366	イ4J1	イ4K1-17 第17区			0.69	マ18-8
367	イ4J1	イ4K1-18	No.414		0.33	246
368	イ4J1	イ4K1-18	No.415		1.39	246
369	イ4J1	イ4K1-18	No.416		0.12	246
370	イ4J1	イ4K1-18	No.417		0.18	246
371	イ4J1	イ4K1-18	No.418		0.16	246
372	イ4J1	イ4K1-18	No.419		0.17	246
373	イ4J1	イ4K1-18	No.420		0.14	246
374	イ4J1	イ4K1-18	No.421		0.11	246
375	イ4J1	イ4K1-19	No.2		0.85	252
376	イ4J1	イ4K1-19	No.6		0.29	252
377	イ4J1	イ4K1-19	No.10		0.2	252
378	イ4J1	イ4K1-19	No.16		0.55	231
379	イ4J1	イ4K1-19	No.99		1.71	335
380	イ4J1	イ4K1-19	No.103		0.27	335
381	イ4J1	イ4K1-19	No.122		2	275
382	イ4J1	イ4K1-19	No.153		0.2	335
383	イ4J1	イ4K1-19	No.176		0.23	226
384	イ4J1	イ4K1-19	No.179		0.82	226
385	イ4J1	イ4K1-19	No.192		0.27	226
386	イ4J1	イ4K1-19	No.204		3.58	226
387	イ4J1	イ4K1-19	No.268		1.88	250
388	イ4J1	イ4K1-19	No.365		0.25	250
389	イ4J1	イ4K1-19 第1区			0.29	147.4-4
390	イ4J1	イ4K1-19 第17区			2.01	129
391	イ4J1	イ4K1-19 第18区			1.23	239
392	イ4J1	イ4K1-20	No.38		0.97	247
393	イ4J1	イ4K1-20	No.59		0.17	251
394	イ4J1	イ4K1-20	No.61		0.39	251
395	イ4J1	イ4K1-20	No.74		0.39	251
396	イ4J1	イ4K1-20	No.97		0.72	238
397	イ4J1	イ4K1-20	No.112		0.09	264
398	イ4J1	イ4K1-20	No.124		0.16	264
399	イ4J1	イ4K1-20	No.154		0.51	237
400	イ4J1	イ4K1-20	No.165		0.34	237
401	イ4J1	イ4K1-20	No.193		0.01	237
402	イ4J1	イ4K1-21	No.25		1.58	241
仮番号	新グリッド	遺構・グリッド	取上番号	旧番号	重量 (g)	備考・袋への 数字等
467	イ4J2	イ4K2-12	No.229		0.15	フ13-1
468	イ4J2	イ4K2-12	No.230		0.12	フ13-1
469	イ4J2	イ4K2-12	No.232		0.3	フ13-1
470	イ4J2	イ4K2-12	No.233		0.14	フ13-1
471	イ4J2	イ4K2-12	No.234		0.87	フ13-1
472	イ4J2	イ4K2-12 第2区			1.18	
473	イ4J2	イ4K2-13	No.3		0.75	又22-19
474	イ4J2	イ4K2-13	No.6		1.59	又22-19
475	イ4J2	イ4K2-13	No.20		0.7	R10-8
476	イ4J2	イ4K2-13	No.240		0.99	又22-19
477	イ4J2	イ4K2-13	No.34		1.11	又22-19
478	イ4J2	イ4K2-13	No.75		0.26	R10-7
479	イ4J2	イ4K2-13	No.81		0.29	R10-7
480	イ4J2	イ4K2-13	No.95		0.21	R10-8
481	イ4J2	イ4K2-13	No.98		1.04	R10-8
482	イ4J2	イ4K2-13	No.138		1.04	二17-6
483	イ4J2	イ4K2-13	No.158		0.35	二17-6
484	イ4J2	イ4K2-13	No.180		0.22	二17-6
485	イ4J2	イ4K2-13 第2区			0.11	V32-7
486	イ4J2	イ4K2-14	No.240		0.43	
487	イ4J2	イ4K2-14	No.241		2.34	41

第33表骨計測表

424	イ4J1	イ4K1-S-3	No.221		0.68	
425	イ4J1	イ4K1-S-4	No.225		1.77	356
426	イ4J1	イ4K1-S-4	No.228		1.76	356
427	イ4J1	イ4K1-S-4	No.250		0.21	356
428	イ4J1	イ4K1-S-4	No.251		0.96	356
429	イ4J1	イ4K1-S-4	No.258		2.43	356
430	イ4J1	イ4K1-S-4	No.263		0.52	356
431	イ4J1	イ4K1-S-4	No.285		0.25	365
432	イ4J1	イ4K1-S-4	No.287		0.42	365
433	イ4J1	イ4K1-S-4	No.301		0.98	365
434	イ4J1	イ4K1-Nベルト 4回目			0.03	157
435	イ4J1	イ4K1-Nベルト 4回目			1.35	157
436	イ4J1	イ4K1-Sベルト 1回目	No.7		0.01	161
437	イ4J1	イ4K1-Sベルト 4回目			0.7	486
438	イ4J2	イ4K2-2	No.121		0.96	
439	イ4J2	イ4K2-6	No.160		0.15	
440	イ4J2	イ4K2-7	No.94		0.61	N8-2
441	イ4J2	イ4K2-8	No.20		0.46	R7-6
442	イ4J2	イ4K2-8	No.116		0.63	
443	イ4J2	イ4K2-8	No.168		0.27	
444	イ4J2	イ4K2-9	No.30		2.2	
445	イ4J2	イ4K2-10	No.8		0.5	ワ13-2
446	イ4J2	イ4K2-10	No.9		0.94	
447	イ4J2	イ4K2-10	No.21		0.22	
448	イ4J2	イ4K2-10	No.50		0.19	ワ13-3
449	イ4J2	イ4K2-10	No.73		0.6	ワ13-3
450	イ4J2	イ4K2-10	No.88		1.28	L14-4
451	イ4J2	イ4K2-10	No.91		2.13	L14-4
452	イ4J2	イ4K2-10	No.121		0.23	ワ13-5
453	イ4J2	イ4K2-10	No.144		0.08	L14-2
454	イ4J2	イ4K2-10	No.169		0.09	ワ13-5
455	イ4J2	イ4K2-10	No.177		0.01	ワ13-5
456	イ4J2	イ4K2-10	No.182		0.81	ワ13-5
457	イ4J2	イ4K2-11	No.84		1.72	L14-7
458	イ4J2	イ4K2-11 第8区			2.02	L14-11.3-2
459	イ4J2	イ4K2-12	No.208		0.34	ヤ10-2
460	イ4J2	イ4K2-12	No.222		0	ワ13-1
461	イ4J2	イ4K2-12	No.223		0.09	ワ13-1
462	イ4J2	イ4K2-12	No.224		2.59	ワ13-1
463	イ4J2	イ4K2-12	No.225		0.02	ワ13-1
464	イ4J2	イ4K2-12	No.226		0.07	ワ13-1
465	イ4J2	イ4K2-12	No.227		0.25	ワ13-1
466	イ4J2	イ4K2-12	No.228		0.14	ワ13-1
仮番号	新グリッド	遺構・グリッド	取上番号	旧番号	重量 (g)	備考・袋への数字等
531	イ5J9	イ5J9-3	No.120		2.4	
532	イ5J9	イ5J9-3	No.123		0.81	
533	イ5J9	イ5J9-3	No.141		0.83	
534	イ5J9	イ5J9-3	No.142		0.72	
535	イ5J9	イ5J9-3	No.157		0.8	
536	イ5J9	イ5J9-3	No.180		0.32	
537	イ5J9	イ5J9-3	No.182		0.06	
538	イ5J9	イ5J9-3	No.223		0.24	
539	イ5J9	イ5J9-3	No.224		0.17	
540	イ5J9	イ5J9-3	No.243		0.21	
541	イ5J9	イ5J9-3	No.245		0.84	
542	イ5J9	イ5J9-3	No.247		0.14	
543	イ5J9	イ5J9-3	No.250		1.25	
544	イ5J9	イ5J9-3	No.275		1.01	
545	イ5J9	イ5J9-3	No.278		0.31	
546	イ5J9	イ5J9-3	No.345		0.27	
547	イ6I7	イ6J7-1 第18区			0.23	
548	イ6I7	イ6J7-4	No.1		0	
549	イ7J0	イ7K0-Sベルト			0.19	
550		T-2 2区 E			0.32	
551		T-3 上層			0.58	
552		T-3 表採			4.25	
553		SEC T-4		Ca	14.7	
554		SEC T-4		S	0.04	SEC4-3-4
555		SEC T-4		Ca	12.82	
556		SEC T-5		Ca	1.07	
557		SEC T-5			0.96	
558		SEC T-6			0.14	
559		SEC T-6		C	0.48	SEC9-5-1

488	イ4J2	イ4K2-14	No.244		0.19	41
489	イ4J2	イ4K2-14	No.253		0.5	
490	イ4J2	イ4K2-14	No.257		0.66	
491	イ4J2	イ4K2-14	No.277		0.13	
492	イ4J2	イ4K2-14	No.307		0.01	
493	イ4J2	イ4K2-14	No.318		1.31	
494	イ4J2	イ4K2-15	No.6		0.57	U14-4
495	イ4J2	イ4K2-15	No.165		0.19	U14-2
496	イ4J2	イ4K2-16	No.9		0.45	二17-3
497	イ4J2	イ4K2-16	No.37		0.55	
498	イ4J2	イ4K2-16	No.60		0.07	R10-9
499	イ4J2	イ4K2-16	No.73		0.25	R10-9
500	イ4J2	イ4K2-16	No.80		1.24	R10-9
501	イ4J2	イ4K2-16	No.106		0.01	二17-5
502	イ4J2	イ4K2-16	No.110		0.22	二17-5
503	イ4J2	イ4K2-18	No.21		0.32	253
504	イ4J2	イ4K2-19	No.20		0.14	256
505	イ4J2	イ4K2-20 第2区			0.75	
506	イ4J2	イ4K2-20 第8区			2.08	375
507	イ4J2	イ4K2-最下層	No.4		0.12	283
508	イ4J2	イ4K2-N-3	No.223		0.43	143
509	イ4J2	イ4K2-N-3	No.254		1.77	143
510	イ4J2	イ4K2-N-3	No.313		1.02	173
511	イ4J2	イ4K2-N-3	No.335		0.2	173
512	イ4J2	イ4K2-N-3	No.348		0.05	173
513	イ4J2	イ4K2-N-3	No.390		0.08	363
514	イ4J2	イ4K2-N-4	No.425		2.35	363
515	イ4J2	イ4K2-N-4	No.446		0.33	363
516	イ4J2	イ4K2-N-4	No.472		1.42	363
517	イ4J2	イ4K2-N 2回目	No.140		3.36	168
518	イ4J2	イ4K2-N 3回目			1.05	158
519	イ4J2	イ4K2-N 3回目	No.194		0.15	143
520	イ5J9	イ5J9 表採			0.52	
521	イ5J9	イ5J9-2	No.37		11.35	
522	イ5J9	イ5J9-2	No.120		4.34	
523	イ5J9	イ5J9-3 第18区			0.49	
524	イ5J1	イ5K1-3	No.151		0.61	
525	イ5J9	イ5J9-3	No.179		1.82	
526	イ5J9	イ5J9-3	No.38		2.63	
527	イ5J9	イ5J9-3	No.75		2.82	
528	イ5J9	イ5J9-3	No.76		0.86	
529	イ5J9	イ5J9-3	No.77		0.36	
530	イ5J9	イ5J9-3	No.112		0.64	

第33表骨計測表

560		表探			2.05	4
-----	--	----	--	--	------	---

報告書抄録

ふりがな	かりぬまいせき・かりぬまむかいほらいせき
書名	刈沼遺跡・刈沼向原遺跡
副書名	宇都宮テクノポリスセンター地区開発に伴う埋蔵文化財発掘調査
巻次	
シリーズ名	栃木県埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第388集
編著者名	江原 英
編集機関	公益財団法人とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター
所在地	〒329-0418 栃木県下野市紫474番地 TEL 0285-44-8441
発行機関	栃木県教育委員会 公益財団法人とちぎ未来づくり財団
発行年月日	西暦 2017年3月31日 (平成29年3月31日)

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間 ～	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
かりぬまいせき 刈沼遺跡・ かりぬまむかいほらいせき 刈沼向原遺跡	うつのみやし 宇都宮市 かりぬまちない 刈沼地内			36° 34' 7"	139° 59' 16"	19904 ～ 20102	33,950 ㎡	独立行政法人都市再生機構が実施する土地区画整理事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
刈沼遺跡	集落跡、 墓地	縄文～古墳 時代、中世・ 近世	住居跡 15軒 ピット群 7基 土坑 135基 溝跡 22条 方形周溝墓 7基	縄文土器 土製品 弥生土器 土師器 陶磁器 石器・石製品	
刈沼向原遺跡	縄文～古 墳時代、 中世・近 世		住居跡 5軒 土坑 97基 溝跡 22条	縄文土器 石器 弥生土器 土師器	

要約	<p>縄文時代後晩期の遺構と遺物は、刈沼遺跡における中央の窪地及びこれをとり囲む環状の微高地帯に集中している。盛土や掘削の痕跡は明瞭ではないものの、いわゆる「環状盛土遺構」の可能性が高い。収納箱1,400箱と多量の遺物が出土しており、瘤付系土器群や大洞式系の多量出土、石器では磨製石斧生産など、注目すべき様相・遺跡の特徴が見出せる。</p> <p>刈沼遺跡北側には、古墳時代前期の方形周溝墓7基が確認された。他に古墳時代前期の遺構としては刈沼向原遺跡で2軒の竪穴住居跡がある。刈沼向原遺跡では、古墳時代後期の住居跡2軒も確認された。</p>
----	--

栃木県埋蔵文化財調査報告第 388 集

刈沼遺跡・刈沼向原遺跡

—宇都宮テクノポリスセンター地区開発に伴う埋蔵文化財発掘調査—

発 行 栃木県教育委員会

宇都宮市塙田 1-1-20

T E L 028 (623) 3425

公益財団法人とちぎ未来づくり財団

宇都宮市本町 1-8

T E L 028 (643) 1011

編 集 公益財団法人とちぎ未来づくり財団

埋蔵文化財センター

下野市紫 474 番地

T E L 0285 (44) 8441

発行日 平成 29 年 3 月 31 日発行

印 刷 下野印刷株式会社
